

社会医療法人 **かりゆし会** 年報 第24巻 平成29年度
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.24 2017(April 1,2017-March 31,2018)

年報発刊によせて



沖縄県地域医療構想が平成 29 年 3 月に策定され、引き続き平成 30 年 3 月に沖縄県医療計画が策定されました。前者が病床機能分化と医療連携、そして地域包括ケアシステムの構築（在宅医療と介護との連携に加え終末期医療と看取り）を中心に推進され、後者は前者に加え 5 疾病 5 事業と在宅医療、そして医療従事者確保におけるの現状分析と目標値を提示した計画を示しています。

医療計画は各ワーキンググループを中心に、熱心に時間をかけて夜遅くまで検討した結果、中身も濃く紙面も増えたようです。医療現場では良い医療を提供しようと自らの専門領域の更なる充実・向上を図るわけですが、国策と申しましうか医療制度に対して中々視点が及ばない時があります。地域医療構想では自院の病床をどうするか、当院では 308 床を高度急性期・急性期病床で進めて行くことになっています。二次医療圏において増床の機会があれば、回復リハビリ病棟 30～40 床増設を検討しています。医療計画の 5 疾病 5 事業及び在宅医療に対してはどうでしょうか。5 疾病として「がん」、「脳卒中」、「心筋梗塞等の心血管疾患」、「糖尿病」、「精神疾患」、事業として「救急医療」、「災害時における医療（DMAT 指定病院・災害拠点病院）」、「へき地の医療」、「周産期医療」、「小児医療・小児救急医療」そして「在宅医療」です。これまで 5 年毎に医療計画が策定され、二次医療圏別に医療提供体制が充足しているのか不足なのかの指標でしかありませんでしたが、平成 30 年度の診療報酬改定で、上記疾病の医療の中身と各事業実践の有無が DPC 係数の加算になっています。当院の進む道は、DPC 係数（医療制度）をも考慮した実践可能な医療や事業等の検討や計画が望まれます。

今後、10 年はどんな時代が来るのでしょうか。診療科の広い領域でロボットを用いた手術が展開されるでしょう。固形がんの多くが IVR（血管内治療）& 化学療法と放射線療法との併用で治療が行われるでしょうし、個々人にあった免疫細胞療法やゲノム解析を加味した化学療法も進んで行くでしょう。また、幹細胞移植や組織移植もより日常的に広い範囲で行われ、IT が駆使された地域医療連携もスムーズに進められて行くでしょう。

皆さん、今後 25 年前後は、建物は三世代構造（西館・S58 年、本館・H3 年、東館・H29 年）を保持し利用して行くこととなります。新たな時代の医療の中身と質の向上を、皆さんの心（意志）と手（技術）で構築・推進して行くことが必要とされている時代の到来です。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	3	耳鼻咽喉科	93
ハートライフ病院 平成 29 年度 年次報告	7	泌尿器科	94
年報発刊によせての挨拶	9	産婦人科	96
病院概要	10	皮膚科	98
組織概要	10	放射線科	99
施設概要	10	麻酔科	102
診療体制	13	血液浄化部	104
ハートライフ病院 平成29年度事業目標	14	口腔ケア科	107
患者統計	17	救急総合診療部	111
外来・救急外来	17	メディカルクラーク	115
入院	21	看護部	119
医療の質 Quality Indicator (QI)	27	各部署概要・実績	125
地域医療支援病院認定 関連統計情報	33	外来	125
ハートライフ病院 DMAT	35	救急外来	129
ハートライフ病院財務状況推移	37	人工透析室	132
社会医療法人かりゆし会 財務状況推移	38	手術室・中央材料室	136
社会医療法人かりゆし会 平成 29 年度の活動実績	39	ICU	139
かりゆし会病児保育室 利用実績推移	40	東館 4・5 階病棟 (産婦人科)	141
平成 29 年度患者満足度調査	41	3 階病棟 (整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科)	145
平成 29 年度職員満足度調査	46	東 2 階病棟 (旧 3 階新病棟)	148
部署別業務実績	51	4 階病棟 (外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)	151
医 局	52	5 階病棟 (消化器内科・小児科)	154
各科概要・実績	62	6 階病棟 (血液内科・腎臓内科)	156
内 科	62	7 階病棟 (呼吸器内科・循環器内科)	159
呼吸器内科	63	内視鏡センター	162
循環器内科	65	医療技術部	167
消化器内科	68	各部署概要・実績	167
肝臓内科	70	放射線科	167
血液内科	73	臨床検査科	175
心療内科	78	臨床工学科	179
外 科	79	栄養科	188
整形外科	84	リハビリテーション科	193
形成外科	86	医療安全管理室	199
脳神経外科	89	感染対策管理室	202
眼 科	91	栄養サポート室	206
		内視鏡センター	209

予防医学センター	214	平成 29 年度 年次報告	327
法人事務局	221	年報発刊によせての挨拶	329
ハートライフ病院 経営企画室・ 法人事務局 経営企画室	221	施設概要	330
電算係	224	はーとらいふ保育園 平成 29 年度 年次報告	333
広報係	226	年報発刊によせての挨拶	335
人事課（法人事務局）	229	施設概要	336
財務・経理課	231	かりゆし会の 1 年	339
病院 事務部	232	平成29年度 20年勤続者	344
各部署概要・実績	233	サークル活動	346
総務課	233		
管財課	234		
診療情報管理室	242		
請求業務課	244		
地域医療連携室	247		
附随業務部門 食堂とまと	257		
事務部 年度総括	260		
委員会活動	261		
ハートライフクリニック 平成 29 年度 年次報告	301		
年報発刊によせての挨拶	303		
クリニック概要	304		
組織概要	304		
施設概要	304		
患者統計	306		
部門別業務実績	311		
糖尿病内科	312		
内科	320		
小児科	322		
附属施設	323		
疾病予防運動施設リューザ	323		
ヘルシーカフェ ohana	326		
ハートライフ地域包括ケアセンター	327		

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 平成 29 年度 年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2017



理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
3. 救急医療（24 時間二次救急）
4. がんの予防と治療
5. 研修教育病院
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切

年報発刊によせての挨拶



平成 29 年度もハートライフ病院にとって素晴らしい 1 年になりました。職員一人ひとりが日々の診療のなかで患者さんに対して、また職員同士で「笑顔で親切」を実践してくださいました。そのことにより、より安全な医療、より質の高い医療が実現できました。職員の皆様、一人ひとりに心から感謝申し上げます。

数年前から 10 年後の発展を考えた増改築を計画・実現してきました。平成 29 年 8 月に 5 階建ての東館が落成し、産婦人科外来・病棟、ICU、透析室、大部分の外来の移転を行いました。明るく広々とした外来になり患者さんに喜んでいただいています。産婦人科は 30 年前に建設した古い西館で診療を行っていましたが、年々、分娩件数の減少が著明になっておりました。平成 29 年の東館新築以来、分娩件数は右肩上がりが増加しています。古い病棟で我慢していただいていた産婦人科スタッフの皆様には院長として心からお詫びいたします。もう少し早く増改築を決断すべきだったと反省しております。現在、リハビリ室の改築、手術室の増室、救急室の増改築、人間ドックの改築、内視鏡室の増改築、立体駐車場建設がすすんでいます。同じ敷地内で診療を行いながら、診療実績を落とさず増改築を行うことは至難の技です。近隣住民から苦情もなく 1 件の事故も起こさずほぼ工程表のスケジュール通りにすすんでいます。綿密な打ち合わせを繰り返した當銘事務部長を中心とした事務部のおかげだと心から感謝申し上げます。

平成 29 年 4 月より週 2 日、口腔ケア外来を開設しました。琉大口腔外科とスマイル歯科から歯科医を派遣していただいています。がんの患者さんの術前、術後の口腔ケアに加算がついており、今後、医療の質向上の観点から病院のレベルアップにつながると思います。

また、平成 29 年 4 月には「はーとらいふ保育園」を開園し 30 人の子供さんをお預かりしています。これまで何年も理事会で検討されましたが赤字になるという判断で却下され継続検討されてきました。今回、事務部が素早く補助金を申請、確保して下さったため開園が実現できました。子育てをしながら仕事を継続できる環境が少しずつ整いつつあります。事務部の方々に感謝申し上げます。

今年度も 20 年勤続勤務で表彰を受けた職員が 12 名いました。院長として誇りに思うと同時に職員を支えて下さったご家族の皆様、職場の同僚の方々に感謝いたします。

今年度の年報を読みますと 1 年間の職員皆の頑張りが詰まった年報だと実感します。また、年々ハートライフ病院の医療レベルが向上していることが数値に現れています。平成 30 年度にはここ数年、理事会に提案しては却下されている職員の健康管理と職員の健康増進に専従した産業保健師の公募・採用を実現したいと思います。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 奥島 憲彦

病院概要

(平成 29 年 4 月 1 日現在 / データ作成 総務課 吉川)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里哲好	副院長	佐久川 廣	看護部長	宮平典子
院長	奥島憲彦	循環器内科部長	與座 一	医療技術部長	宮城竜也
副院長	松元 悟	外科系統括部長	西原 実	事務部長	當銘秀之
副院長	久場良也	医局長	普天間 光彦		

施設概要

許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積 19,474.80㎡

< 本館・西館 >	規模構造	鉄筋コンクリート造	地上 9 階・地下 1 階
	建築面積	7,231.56㎡	延べ床面積 24,680.51㎡
< 東館 >	規模構造	鉄筋コンクリート造	地上 5 階・地下 1 階
	建築面積	2,118.35㎡	延べ床面積 7,549.99㎡

職員数

総数 889名

職種別

(平成29年4月1日現在 / データ作成 総務課 吉川)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	66	クラーク	16	OMA	0	ソーシャルワーカー	6
研修医	11	臨床工学士	12	視能訓練士	2	施設技術者	5
保健師	6	臨床検査技師	40	診療放射線技師	19	保育士	1
助産師	25	理学療法士	14	管理栄養士	5	その他	54
准看護師	15	言語聴覚士	4	調理師	12		
看護師	388	作業療法士	7	事務	106		
看護助手	40	薬剤師	13	医師事務作業補助者	22	合計	889

指導医・専門医・認定医・その他認定など

(平成29年4月現在 / データ作成 総務課 渡久地)

名称	人数
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	5
日本内科学会認定内科医	16
日本呼吸器学会専門医	1
日本循環器学会専門医	5
日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本心臓リハビリテーション学会指導士	1
日本消化器病学会指導医	3
日本消化器病学会専門医	6
日本消化器がん検診学会認定医	4
日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本消化器内視鏡学会専門医	8
日本肝臓学会専門医	2
日本肝臓学会指導医	1
日本感染症学会指導医	1
インфекションコントロールドクター	2
日本感染症学会専門医	1
日本血液学会指導医	1
日本血液学会専門医	3
日本透析医学会専門医	3
日本透析医学会指導医	1
日本透析医学会認定医	2
日本臨床腎移植学会腎移植認定医	1
精神保健指定医	1
日本精神神経学会指導医	1
日本精神神経学会専門医	1
日本小児科学会専門医	2
日本がん治療認定医機構暫定教育医	4
日本がん治療認定医機構認定医	6
日本外科学会指導医	2
日本外科学会専門医	8
日本外科学会認定医	4
日本乳癌学会認定医	3
検診マンモグラフィ読影認定医	8
日本食道学会認定医	1
日本大腸肛門病学会専門医	1
日本消化器外科学会指導医	3

名称	人数
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	2
日本消化器外科学会専門医	2
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本小児外科学会指導医	1
日本小児外科学会専門医	1
日本小児医会地域総合小児医療認定医	1
日本整形外科学会専門医	3
日本整形外科学会リウマチ認定医	2
日本整形外科運動リハビリテーション医	2
日本手外科学会認定手外科専門医	1
日本形成外科学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本熱傷学会専門医	1
日本レーザー医学会指導医	1
日本レーザー医学会専門医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本産婦人科学会専門医	2
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医	1
母体保護法指定医	1
日本泌尿器科学会指導医	2
日本眼科学会専門医	2
AMO Advanced Femtosecond Laser	1
iEK certification	1
日本医学放射線学会診断専門医	1
日本医学放射線学会専門医	3
日本麻酔科学会指導医	2
日本麻酔科学会専門医	3
日本麻酔科学会認定医	1
日本ペインクリニック学会認定医	1
麻酔科標榜医	4
日本集中治療医学会専門医	1
日本救急医学会救急科専門医	2
日本人間ドック学会人間ドック健診専門医	1
日本人間ドック学会認定医	1
日本体育協会公認スポーツドクター	4
日本東洋医学会認定医	1
日本医師学会認定健康スポーツ医	1

名称	人数
日本医師会認定産業医	4
身体障害者福祉法指定医	18
がんリハビリテーション研修修了者	2

名称	人数
沖縄県災害医療コーディネーター	1
日本緩和医療学会集合研修企画責任者	1
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施医	1

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. (財) 日本医療機能評価機構 一般病院 認定第 GB97-3 号
5. DPC 対象病院（Ⅲ群）
6. 地域災害拠点病院

指定医療一覧

- | | |
|--|---|
| 1. 保険医療機関 | 11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》 |
| 2. 労働者災害補償保険指定医療機関 | 12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関 |
| 3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関 | 13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関 |
| 4. 母体保護法指定医療機関 | 14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》 |
| 5. 結核予防法指定医療機関 | 15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）
18 歳以上、肝臓に係わるもの |
| 6. 生活保護法指定医療機関 | 16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療） |
| 7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関 | |
| 8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》 | |
| 9. 原爆医療法指定医療機関 | |
| 10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）《てんかん》 | |

施設認定一覧

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1. 日本脳神経外科学会認定研修施設 | 13. 日本乳癌学会関連認定施設 |
| 2. 日本内科学会認定教育病院 | 14. 日本眼科学会専門医制度研修施設 |
| 3. 日本血液学会血液研修施設 | 15. 日本消化器内視鏡学会指導施設 |
| 4. 日本がん治療認定医機構認定研修施設 | 16. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 |
| 5. 日本感染症学会研修施設 | 17. 日本救急医学会救急科専門医指定施設 |
| 6. 非血縁者間骨髄採取認定施設 | 18. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設 |
| 7. 非血縁者間骨髄移植認定施設 | 19. 日本外科学会外科専門医制度修練施設 |
| 8. 日本肝臓学会認定施設 | 20. 日本消化器外科学会専門医修練施設 |
| 9. 日本整形外科学会専門医研修施設 | 21. 日本臨床細胞学会施設 |
| 10. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 | 22. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設 |
| 11. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 | 23. 日本消化器病学会認定施設 |
| 12. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設 | 24. 日本呼吸器学会関連施設 |

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 25. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設 | 30. 日本形成外科学会教育関連施設 |
| 26. 日本透析医学会教育関連施設 | 31. 日本食道学会全国登録認定施設 |
| 27. マンモグラフィ検診施設画像認定 | 32. 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設 |
| 28. エキスパンダー実施施設（二次再建） | 33. 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認定施設 |
| 29. インプラント実施施設（一次二期再建、二次再建） | 34. 日本大腸肛門病学会関連施設 |

診療体制

標榜診療科目

- | | | | | |
|--------|---------|----------|-------------|--------|
| ●内科 | ●人工透析内科 | ●大腸・肛門外科 | ●眼科 | ●病理診断科 |
| ●呼吸器内科 | ●心療内科 | ●膵臓外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●歯科 |
| ●循環器内科 | ●小児科 | ●整形外科 | ●皮膚科 | |
| ●消化器内科 | ●外科 | ●形成外科 | ●放射線科 | |
| ●肝臓内科 | ●乳腺外科 | ●脳神経外科 | ●麻酔科 | |
| ●血液内科 | ●食道外科 | ●産婦人科 | ●リハビリテーション科 | |
| ●腎臓内科 | ●血管外科 | ●泌尿器科 | ●救急科 | |

その他、センター・専門外来など

- | | | |
|-------------------------------------|-------------|---------------------|
| ●予防医学センター
(人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診) | ●ヘルニアセンター | ●睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 外来 |
| ●内視鏡センター | ●がん相談支援センター | ●股関節外科・股関節スポーツ外来 |
| ●人工透析センター
(昼間・夜間) | ●胸やけ外来 | ●通院治療室 (外来化学療法) |
| ●無菌治療センター | ●不整脈外来 | |
| | ●甲状腺外来 | |
| | ●生活習慣病・禁煙外来 | |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科外科・整形外科・脳神経外科】

受付時間

月曜日～金曜日	午前 8:00～11:30	午後 12:00～16:30
土曜日	午前 8:00～11:30	午後 休診

診療時間

月曜日～金曜日	午前 9:00～12:00	午後 14:00～17:00
土曜日	午前 9:00～12:30	午後 休診

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

ハートライフ病院 平成29年度事業目標

ハートライフ病院 院長 奥島 憲彦

平成 28 年度は診療報酬改定で実質 - 1.0% の改定となり、それだけで当院では年間マイナス 750 万円になると試算され厳しい一年になると思われました。また、耳鼻科の常勤医の派遣が無くなり耳鼻科は年間約 1 億円の収入減が予想されました。それらの要因も加わり平成 28 年度は対前年比で減収となりました。しかし、それにも関わらず収益は前年とほとんど変わらない 3 億 7 千万円、4.6% の利益率（予想）が得られました。これもひとえに増収入と経費節減に努力した職員の皆様の頑張りのおかげです。頑張ってくださいました職員の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度も、当院は急性期医療に軸を置きながらも、現在、一部ある高度急性期機能をできる限り伸ばしていきたいと思えます。そして、地域包括ケアシステムにおける当院の役割を院外や県に実績で示して、県が策定する地域医療ビジョンに反映させたいと思えます。

平成 29 年 3 月より当院は沖縄県より 8 床の増床になり病床数が 308 床に増加しました。

平成 29 年度は病棟運営の 3 指標を各科部長へのヒヤリングや病棟運営会議での各病棟師長との検討をもとに下記のように設定しました。

※ H28 年度実績は H29 年 2 月までの実績値を入力

	H29 年度目標	H28 年度実績	H28 年度目標
新規入院患者数	720 人 / 月	709.2 人 / 月	690 人 / 月
病床利用率	285 床 (92.5%)	273.2 床 (91.1%)	281 床 (93.7%)
平均在院日数	12.0 日	11.6 日	12.4 日

この目標を達成することが黒字経営のカギになりますので全職員が日々の診療でこの数値を常に意識して努力していきましょう。

今年度もハートライフ病院は職員が生き生きと働ける、職員が日々成長を感じることができる労働環境をつくるべく努力したいと思います。各部署の事業計画などを参考にハートライフ病院の平成 29 年度の目標を下記のように設定しました。全職員でこの目標の達成に向けて努力していきたいと思えます。

平成 29 年度ハートライフ病院の目標

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. より安全な医療とより質の高い医療の実践。 | を行う。 |
| 2. 急性期医療の充実とレベルアップを図る。一部で高度急性期機能の強化を図る。 | 5. ワークライフバランスのとれた労働環境の整備を行う。 |
| 3. 健全な医療経営（増収入と経費節減）をめざす。 | 6. 職員の満足度向上を図る。 |
| 4. 5 年後を見すえた人材育成と充実した職員研修 | 7. より良い接遇の実践と接遇教育の実施。 |

増改築について

平成 29 年 9 月に増築部分がオープンします。産婦人科の外来と病棟が新しくなり満足度の高いお産ができる環境が整います。また、手狭になった一般外来も移転し、より充実した各科の外来診療ができると期待しています。バイプレーンの血管造影室が完成し脳血管内治療が安全に行えるようになり、心臓の不整脈に対する焼灼術が開始となります。透析も 8 階から移動になり患者さんの負担軽減と緊急時の対応においてより安全性が高まります。その後の改築で手術部、ICU、救急総合診療部、リハビリ、内視鏡センター、予防医学センターなどのスペース

や機能がレベルアップされます。手術件数の増加、各科の診療レベルの向上につなげたいと思います。また、それに見合った人員確保にも努力します。10年後の当院のレベルアップに応じられるような増改築にしなければなりません。皆で増改築とスムーズな移転ができ、診療に遅滞をきたさないように努力します。

財務の視点

平成 29 年度の医業収入は 8,544,353,000 円、当期利益 392,073,000 円（利益率 4.6%）を目指します。

平成 28 年 4 月より EVE やメディカルコードなどのソフトを導入し、加算や指導料の未算定を防ぐ取り組みを多職種のワーキンググループをつくり行ってきましたが今年度も継続します。これまで行ってきた DPC の機能係数 II をあげるように今年も努力します。7:1 看護入院基本料が維持できないと 2 億円の減収入になるという試算もあります。看護必要度入力漏れの防止に今年も取り組みます。現在の 7:1 の条件である重症度、医療、看護必要度 25% が来年の診療報酬改定では 30% になる可能性もあり、30% を目指してその対策を講じていきます。昨年途中から算定可能となった小児入院医療管理料 4（年 2300 万円の増収入）を維持していきます。新しい加算や高次の管理料が取れないかの検討を継続します。病棟運営の 3 指標を達成することに病院全体で努力します。また、全職員が各部署での経費節減に努力していきます。

顧客の視点

増改築により患者さんは新しい病棟、新しい診察室で快適な診療が受けられるようになります。

術後の誤嚥性肺炎の予防や術後合併症の減少に寄与し患者さんの早期退院につながるといわれている「口腔ケア」に取り組みます。平成 29 年 4 月より「口腔ケア外来」を週 2 回開設します。病棟での歯科衛生士による「口腔ケア」の指導も始まり、診療の質の向上が期待されます。現在、行っている「市民公開講座」を継続します。そして、地域の自治会、婦人会に積極的に出向いて行って「出前健康講話」を行います。今年はジャスコやサンエーにも行って「健康講話」を行う予定です。また、各市町村の健康課ともタイアップして講演を行います。今年度も、患者さんの療養環境のアメニティの向上や職員の接遇教育の強化、患者満足度評価を行い患者さんの満足度向上を図る努力を継続します。

大腸がん死亡率、全国ワーストワンというショッキングなデータを改善するため努力します。便潜血検査から大腸内視鏡検査への患者さんを増やし地域（中城村、西原町、宜野湾市、与那原町、南城市）の大腸がんの死亡率を減少させます。

患者さんに対するより良い接遇を行い、定期的な職員に対する接遇教育を行います。

これまで以上に地域のクリニックとの連携を密にし病診連携を強化します。地域医療支援病院の基準要件は紹介率 65% かつ逆紹介率 40% です。平成 29 年度は紹介率 80%、逆紹介率 70% を目指します。

平成 21 年に沖縄県で初めて「社会医療法人」に認定されました。当院は「救急医療」の分野で社会医療法人に認められましたので今年度も救急医療のより一層の充実を図っていきたいと思います。救急総合診療部の専従医師の増員を行い、夜間や土、日の体制の強化に取り組み、ドクターカーの有効活用、救急搬送件数の増加に対応できるようにします。早期に「ロード エンド ゴー」の夜間受け入れを実現し、24 時間「救急車は断らない」体制づくりに努力します。

内部プロセスの視点

医師を含めた職員がいきいきと健康的に働ける労働環境の整備に取り組みます。職員の満足度調査の結果も反

映させ、各部署の満足度向上に取り組みます。また、各部署の離職率の低下に努力します。

これまで毎年のように検討するも実現できなかった保育園が補助金の獲得により平成 29 年 4 月 1 日より開園します。子育てをしながら仕事を継続できる環境整備ができると期待しています。

年度はじめの「各科診療実績報告会」を今年度も継続します。そして、より充実した「年報」を作製します。職員の頑張りが詰まった年報を 8 月までには発刊できるように努力します。

経営企画室や請求業務課、診療情報管理室を中心に医療データが出されていますが、まだ十分にわかりやすいデータが提示できていない、DPC データの有効活用ができていない現状があります。EVE やメディカルコードなどのソフトを請求業務課職員や診療情報管理士が使いこなせるように努力します。そして、全国の同規模病院とのベンチマークや県内での各疾患のシェアの現状なども含めてリアルタイムにデータを提示できるように強化したいと思います。経営陣や各科の医師や各部署のニーズに応じたデータが提供できるようにしたいと思います。

糖尿病内科や血液内科や神経内科、腎臓内科、救急総合診療部など当院に早急に必要な医師の確保に努力します。また各職種の人材確保にも努力します。

学習と成長の視点

病院にとって「人材が宝」です 5 年後を見据えた人材育成を実現するためにより充実した職員研修を行います。人材育成、高度技術の習得、各部署の診療レベルの向上に取り組みます。また、看護部は東京女子医大八千代医療センターとの人材交流が計画されていますが、全職種で他病院と積極的に人材交流を行います。

熊本地震の際にも DMAT チームが迅速に出動しました。平成 29 年 3 月に沖縄県から難しいと思われた災害拠点病院に認定されました。これまでも災害対策委員会を中心に院内外で多くの災害対策トレーニングを行ってきました。災害対策は当院の取り組みの遅れている部分であり、食料の備蓄や水の確保などまだ多くの問題点があります。今年度も災害対策委員会を中心に多くの職員に参加していただき、災害拠点病院にふさわしい災害対策トレーニングに力を入れていきたいと思っています。

日本病院協会の「医療の質検討プロジェクト」に参加しクリニカルインジケーターをホームページに公開しています。今年度も参加を継続し、全国の病院とベンチマークを行い改善につなげたいと思っています。

今年度の病院の目標を職員一人一人が毎日の診療の中で、仕事の中で努力していただきたいと思っています。特に役職者は、病院の目標を「率先垂範」して行い、職員の模範になっていただきたいと思っています。

がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病の 4 疾病の院内体制の強化を行うと同時に救急医療、災害時における医療、離島、僻地の医療、小児救急を含めた小児医療、周産期医療の 5 事業にも市町村や県などの行政や医師会と連携して取り組んでまいります。今年度も国の医療政策との整合性を図りながら、ハートライフ病院の地域における立ち位置を把握し、地域に求められている医療は何か？を常に問い続けながら事業計画を実行していきたいと思っています。

今年度も厳しい医療環境が予想されますが、私たちは「笑顔で親切ハートライフ病院」をスローガンに職員が一丸となって「より安全な医療」「より質の高い医療」を実践していきたいと思っています。そして、患者さんやご家族が病院を出るときに「ハートライフ病院に来て良かった」と言っていただけるように努力します。そして、職員が生き生きと働ける労働環境、職員が日々成長を実感できる労働環境をつくり、健全な医療経営も実現していきたいと思っています。

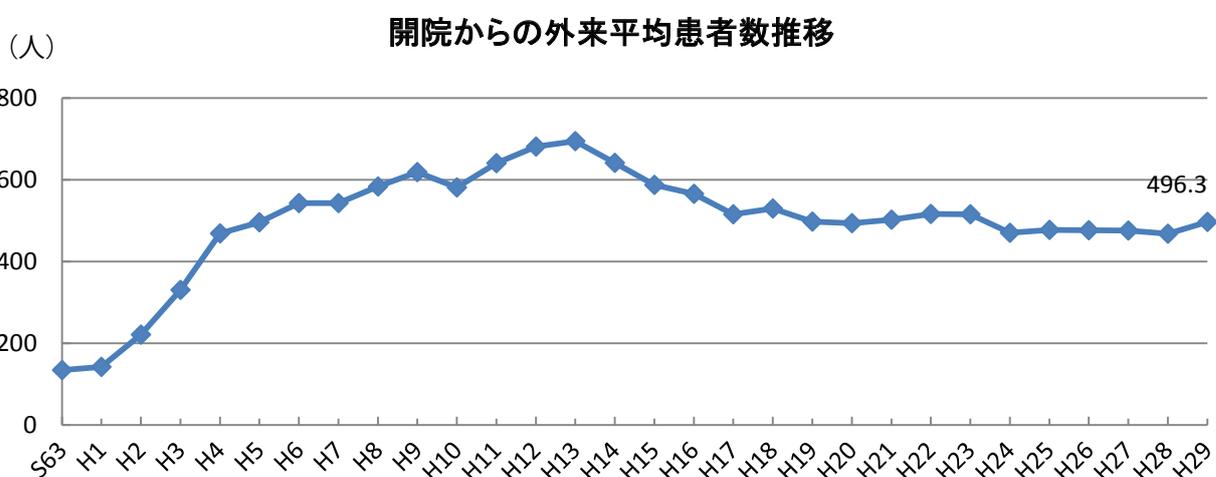
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成：請求業務課 桑江)

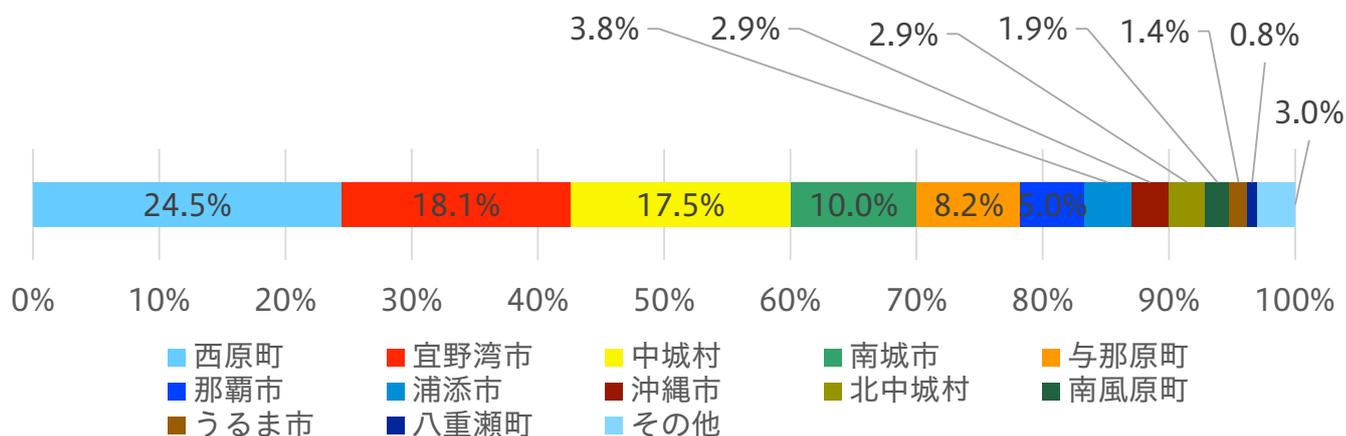
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成 25 年度	464.0	488.0	462.2	480.1	452.3	478.9	470.7	469.3	492.8	496.8	483.7	484.9	477.0
平成 26 年度	465.2	477.8	459.8	471.1	446.2	481.9	491.1	477.7	495.2	499.2	473.0	476.4	476.2
平成 27 年度	467.3	468.8	463.9	461.4	443.8	503.8	479.4	502.8	500.7	480.4	475.8	462.1	475.9
平成 28 年度	447.6	469.5	457.7	464.2	453.9	477.1	455.0	487.5	484.1	475.8	473.0	466.0	467.6
平成 29 年度	465.0	498.2	474.9	494.7	492.3	485.1	504.6	505.1	514.6	511.1	505.7	504.7	496.3



地域別外来患者数 (延べ患者数)

地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	147,000
離島	894
県外	695
その他	341
総計	148,930

沖縄本島内 外来延べ患者構成比



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

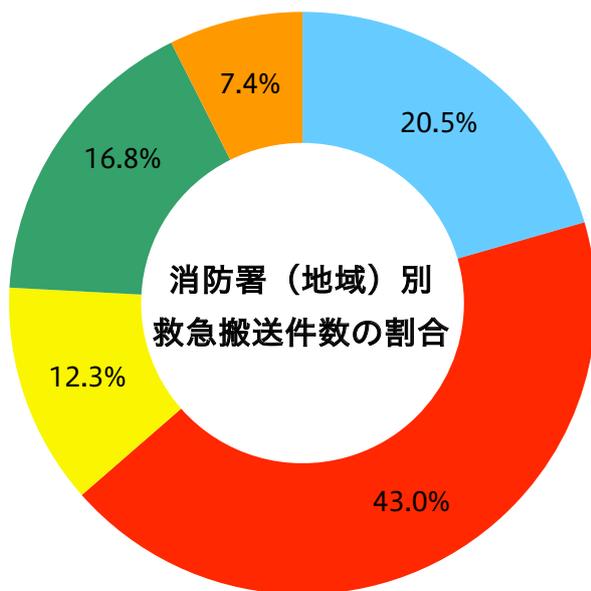
(データ作成：地域医療連携室 新垣)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
H23 年度	搬送人数	202	187	201	209	215	190	230	209	226	224	240	250	2,583	215.3	
	うち入院数	84	78	91	90	109	84	112	98	118	105	101	114	1,184	98.7	45.8%
H24 年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
H25 年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
H26 年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
H27 年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
H28 年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
H29 年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%

消防署（地域）別救急搬送件数

(地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成：地域医療連携室 新垣)

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	606	401	66.2%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,270	816	64.3%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	363	214	59.0%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	495	353	71.3%
その他消防（上記以外の市町村）	218	86	39.4%
合計	2,952	1,870	63.3%



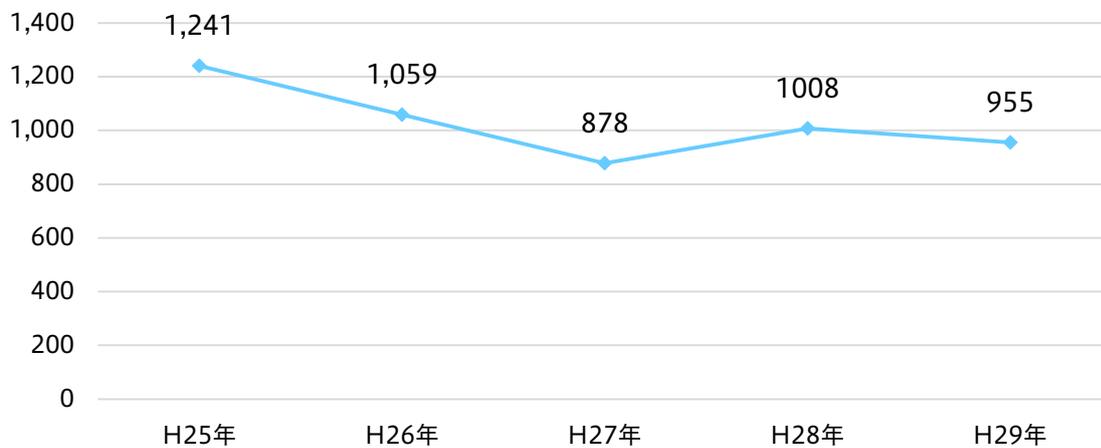
- 中城北中城消防組合（中城村・北中城村）
- 東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）
- 宜野湾市消防本部（宜野湾市）
- 島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）
- その他消防（上記以外の市町村）

外来化学療法室施行数推移

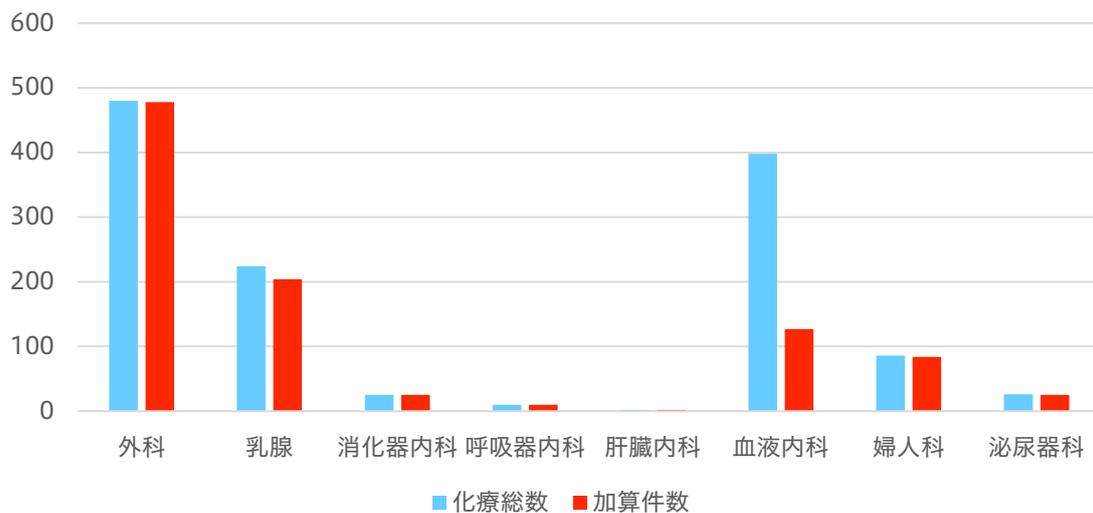
(データ作成：看護部 外来 本田)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	32	45	40	31	31	30	45	38	44	44	51	49	480
乳腺	29	12	20	18	15	14	22	18	21	20	17	18	224
消化器内科	2	3	3	2	3	2	1	2	1	2	2	2	25
呼吸器内科	0	0	0	0	1	1	1	4	1	0	0	2	10
肝臓内科	0	0	1	1	0	0	0	0		0	0	0	2
血液内科	31	40	32	28	30	31	35	36	34	36	30	35	398
婦人科	5	7	8	6	6	6	5	6	7	8	9	13	86
泌尿器科	5	4	1	1	1	1	0	1	3	3	3	3	26
合計	104	111	105	87	87	85	109	105	111	113	112	122	1,251

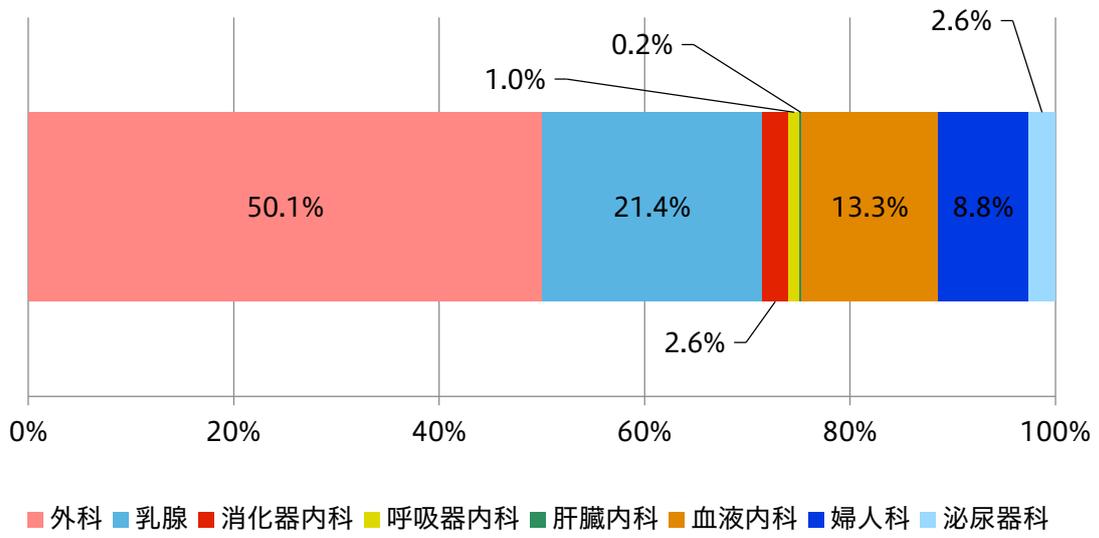
外来化学療法加算の件数年次推移



化学療法総件数と加算件数（各科別）



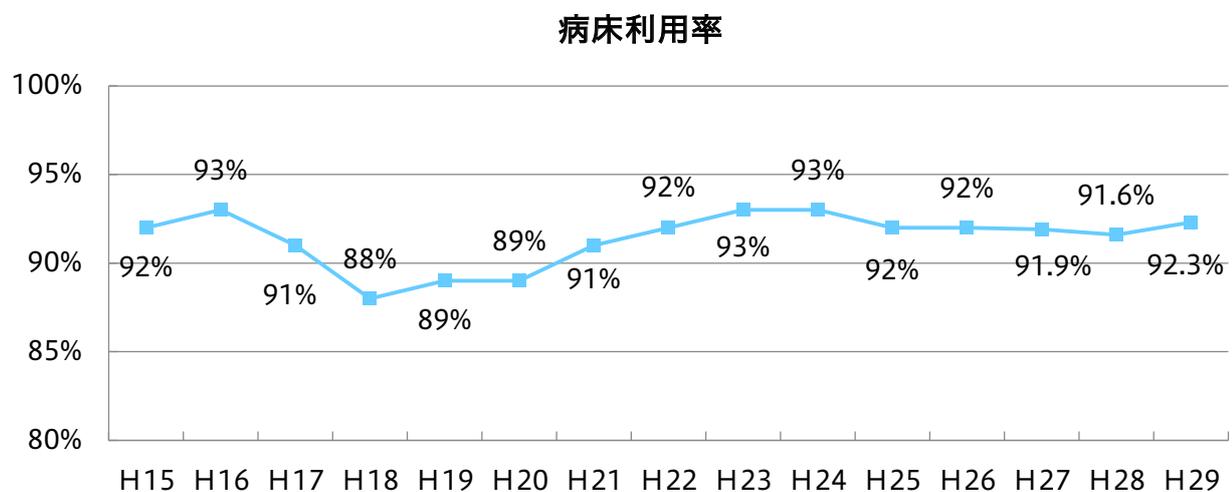
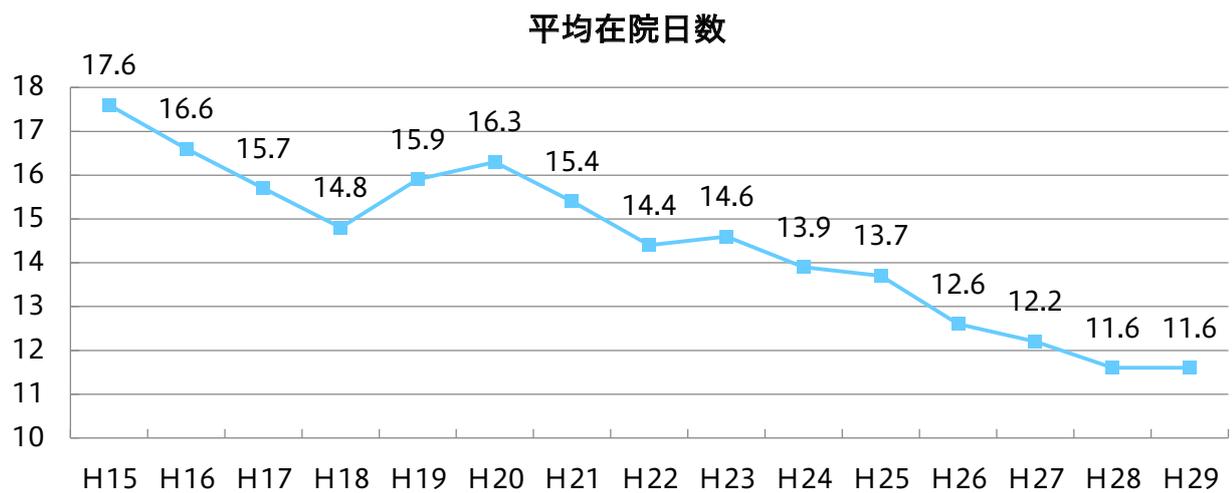
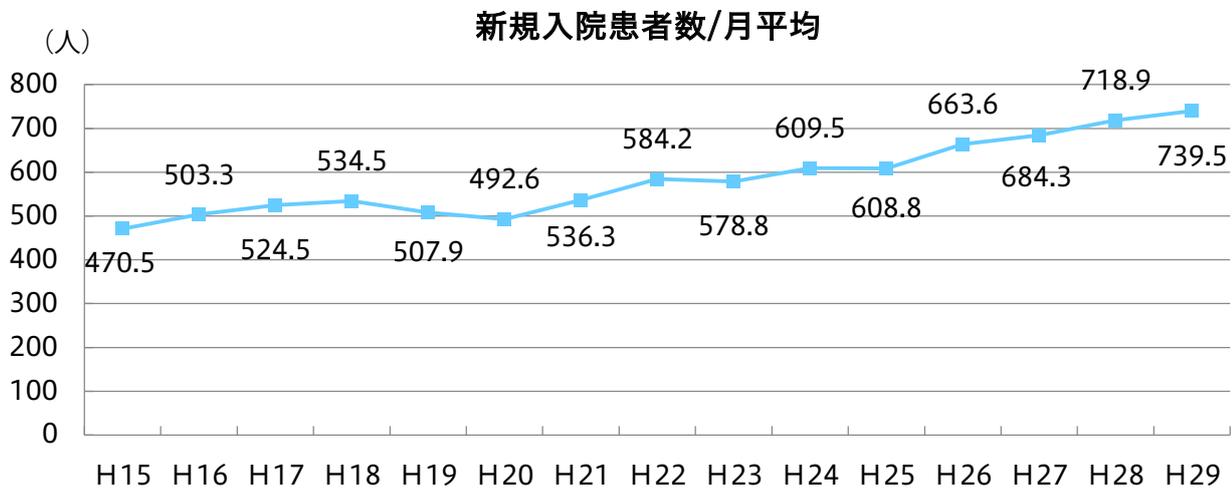
外来化学療法 診療科別割合



入院

3 指標

(データ作成：地域医療連携室 新垣)

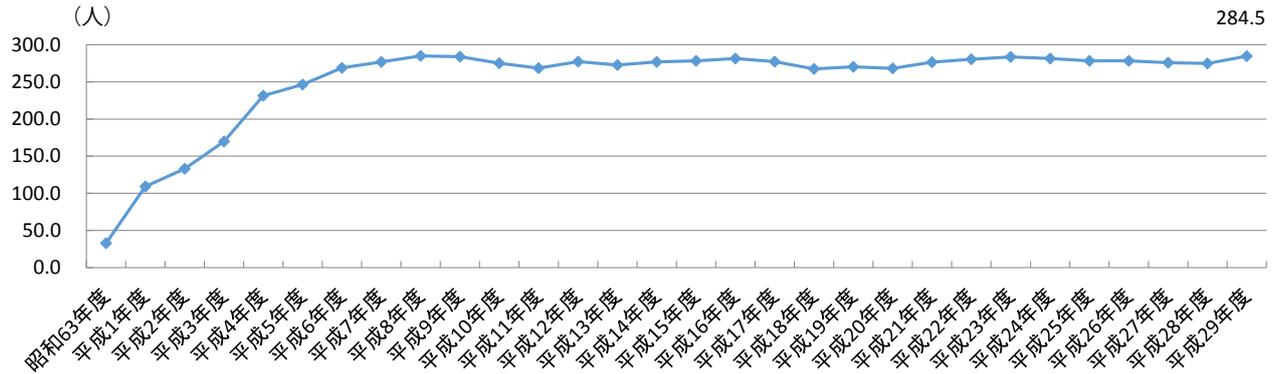


入院 1 日平均患者数推移 (稼働)

(データ作成：請求業務課 宮城)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
H25 年度	270.3	270.4	286.9	284.5	275.3	287.4	278.5	274.2	270.5	286.0	284.2	271.4	3,339.6	278.3
H26 年度	267.3	256.7	274.0	290.2	291.0	278.0	276.8	268.2	267.6	291.1	291.5	288.4	3,340.8	278.4
H27 年度	281.3	268.9	283.3	278.5	272.7	272.1	270.8	272.8	266.8	277.4	291.7	274.8	3,311.1	275.9
H28 年度	264.8	285.0	274.7	276.7	268.7	278.4	269.8	256.4	258.9	283.1	290.1	290.9	3,297.5	274.8
H29 年度	291.7	288.9	291.5	288.3	289.9	280.1	266.9	272.8	272.0	278.9	298.8	294.1	3,414.0	284.5

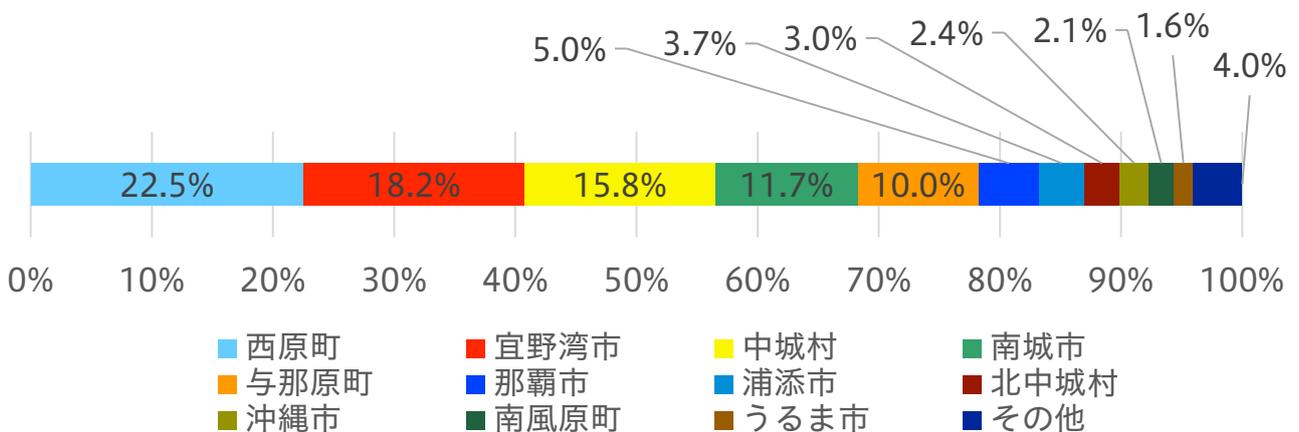
開院からの入院平均患者数推移



エリア別入院患者数 (延べ患者数)

地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	9,169
離島	127
県外	74
その他	17
総計	9,387

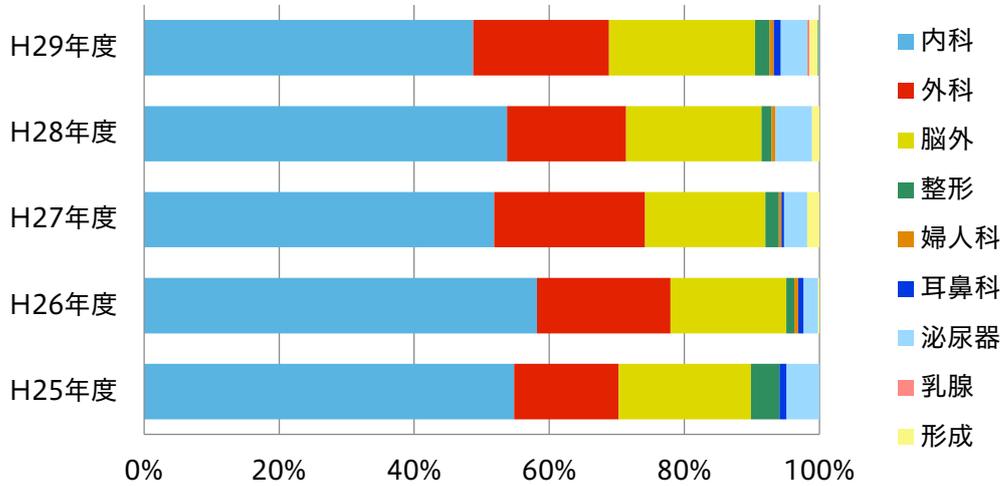
沖縄本島内 入院延べ患者構成比



ICU 患者統計

(データ作成 ICU 洲鎌)

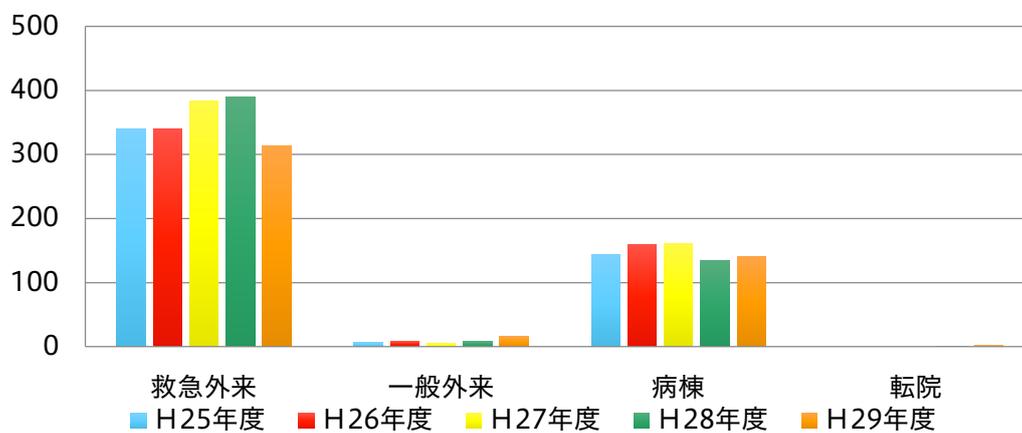
科別入院患者数



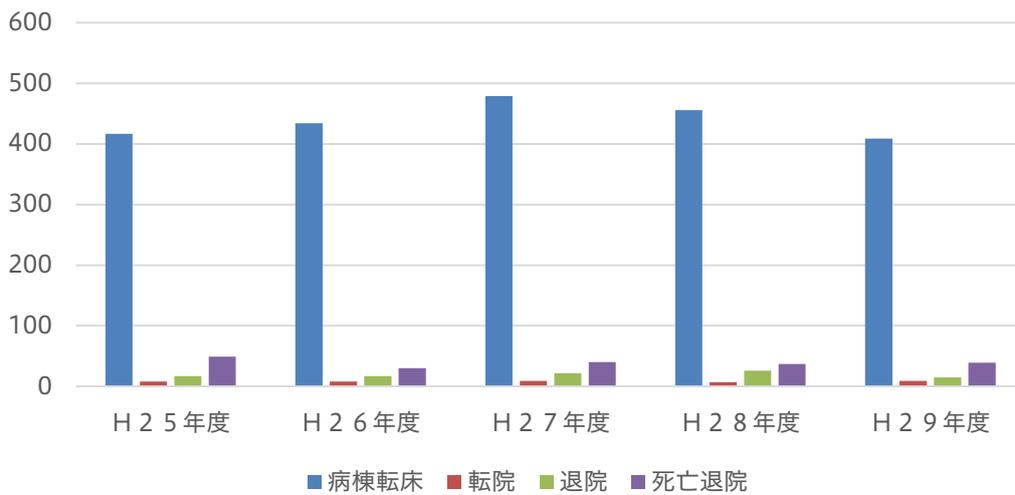
	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
内科	269	295	285	287	230
外科	76	100	123	94	95
脳神経外科	96	87	98	107	102
整形外科	21	6	11	8	10
産婦人科	0	3	2	3	3
耳鼻咽喉科	5	4	2	2	5
泌尿器科(腎臓内科)	24	11	19	29	19
乳腺外科					1
形成外科		1	10	6	6
眼科	0	1			
心療内科					1
総数	491	508	550	534	472

※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

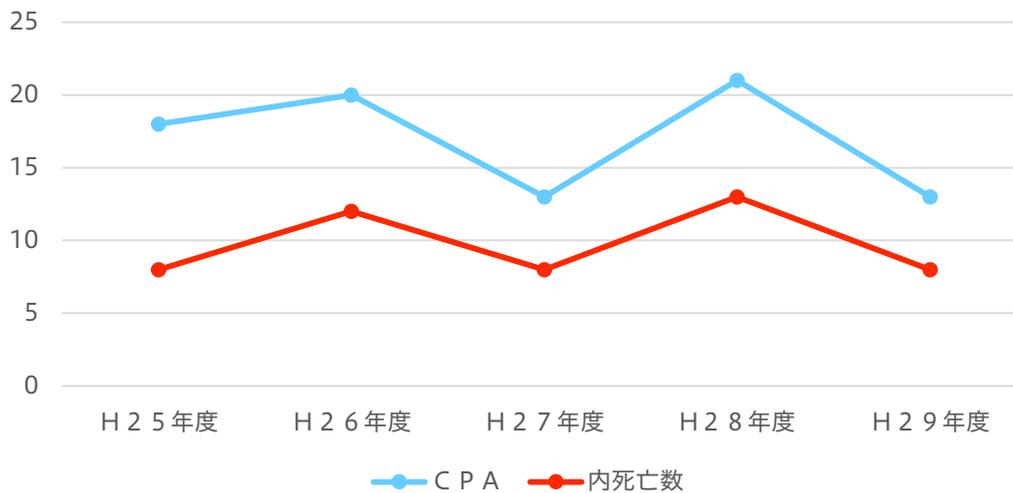
入室経路



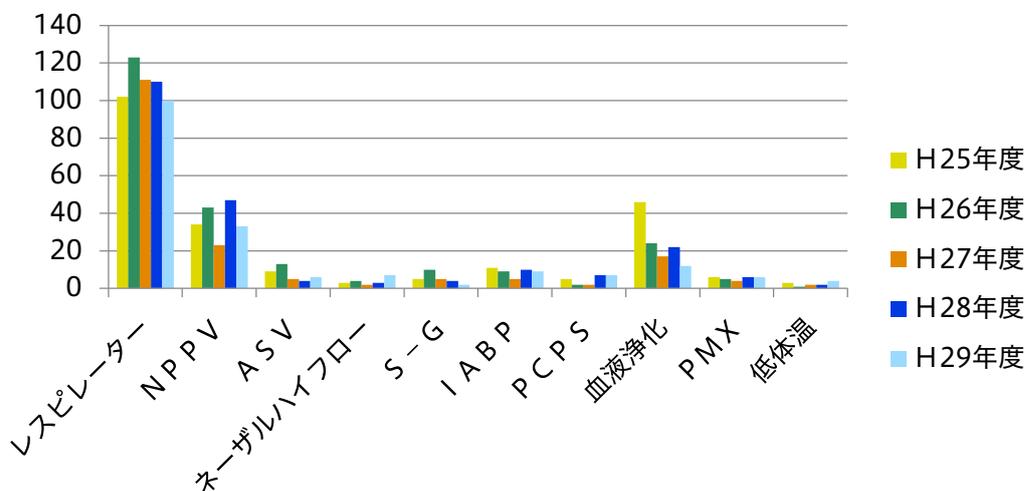
退院経路



CPA 件数（死亡数）動向



特殊治療の動向



退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成：診療情報管理室 真栄平）

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
I. 感染症および寄生虫症 (A00-B99)	男	60	2	2	1	0	1	0	0	36	0	0	1	103
	女	93	7	1	1	0	1	0	4	29	1	4	4	145
	計	153	9	3	2	0	2	0	4	65	1	4	5	248
II. 新生物 (C00-D48)	男	309	200	52	11	17	1	0	13	0	0	0	0	603
	女	179	188	6	5	25	0	0	2	0	3	98	0	506
	計	488	388	58	16	42	1	0	15	0	3	98	0	1,109
III. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50-D89)	男	15	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	22
	女	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	23
	計	35	3	0	0	0	0	0	0	5	0	1	1	45
IV. 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00-E90)	男	34	2	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	45
	女	40	3	0	1	1	0	0	0	2	0	1	4	52
	計	74	5	0	1	1	0	0	0	11	0	1	4	97
V. 精神および行動の障害 (F00-F99)	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
	計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
VI. 神経系の疾患 (G00-G99)	男	50	1	0	7	0	9	0	0	1	0	0	2	70
	女	27	2	0	13	0	9	0	2	2	0	0	2	57
	計	77	3	0	20	0	18	0	2	3	0	0	4	127
VII. 眼及び付属器の疾患 (H00-H59)	男	0	0	0	0	4	0	266	0	0	0	0	0	270
	女	0	0	0	0	5	0	329	0	0	0	0	0	334
	計	0	0	0	0	9	0	595	0	0	0	0	0	604
VIII. 耳および乳様突起の疾患 (H60-H95)	男	7	0	0	0	0	0	0	6	10	0	0	0	23
	女	23	0	0	0	0	1	0	9	13	0	0	4	50
	計	30	0	0	0	0	1	0	15	23	0	0	4	73
IX. 循環器系の疾患 (I00-I99)	男	328	45	2	0	5	92	0	0	0	0	0	35	507
	女	241	27	0	0	7	66	0	0	0	0	1	23	365
	計	569	72	2	0	12	158	0	0	0	0	1	58	872
X. 呼吸器系の疾患 (J00-J99)	男	500	16	5	1	0	0	0	19	205	0	0	9	755
	女	485	5	3	0	0	1	0	14	176	0	0	16	700
	計	985	21	8	1	0	1	0	33	381	0	0	25	1,455
XI. 消化器系の疾患 (K00-K93)	男	296	394	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	698
	女	266	262	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	533
	計	562	656	2	2	0	0	0	2	6	0	0	1	1,231
XII. 皮膚および皮下組織の疾患 (L00-L99)	男	10	21	1	7	29	0	0	0	11	0	0	0	79
	女	18	28	0	7	36	0	0	0	5	0	0	0	94
	計	28	49	1	14	65	0	0	0	16	0	0	0	173
XIII. 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00-M99)	男	7	1	0	74	3	0	0	1	3	0	0	0	89
	女	7	1	2	100	11	0	0	0	0	2	1	0	124
	計	14	2	2	174	14	0	0	1	3	2	1	0	213
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	男	73	4	71	0	11	0	0	0	5	0	0	5	169
	女	185	6	72	0	2	0	0	0	2	4	73	9	363
	計	258	10	143	0	23	0	0	0	7	4	73	14	532
X V. 妊娠、分娩および産じょく<褥> (O00-O99)	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	533	0	0	533
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	533	0	0	533
X VI. 周産期に発生した病態 (P00-P96)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
X VII . 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	男	0	5	0	0	4	1	0	2	1	0	0	0	13
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	0	5	0	0	5	1	0	2	1	0	0	0	14
X VIII . 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	計	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	5
X IX . 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	男	29	29	3	260	44	37	3	0	114	0	0	5	524
	女	28	16	0	313	19	13	0	0	75	0	4	3	471
	計	57	45	3	573	63	50	3	0	189	0	4	8	995
XX I . 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	110	90	9	89	0	0	0	0	204	0	0	0	502
	女	83	93	2	68	2	0	0	0	201	0	21	0	470
	計	193	183	11	157	2	0	0	0	405	0	21	0	972
総計		3,525	1,452	233	960	236	232	598	77	1,126	544	204	125	9,312

医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：診療情報管理室 柳)

当院では、2013年4月より日本病院会主催「QIプロジェクト」参加しています。このプロジェクトでは、日本病院会が指定する32の指標について、全国の参加病院343病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し常に医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

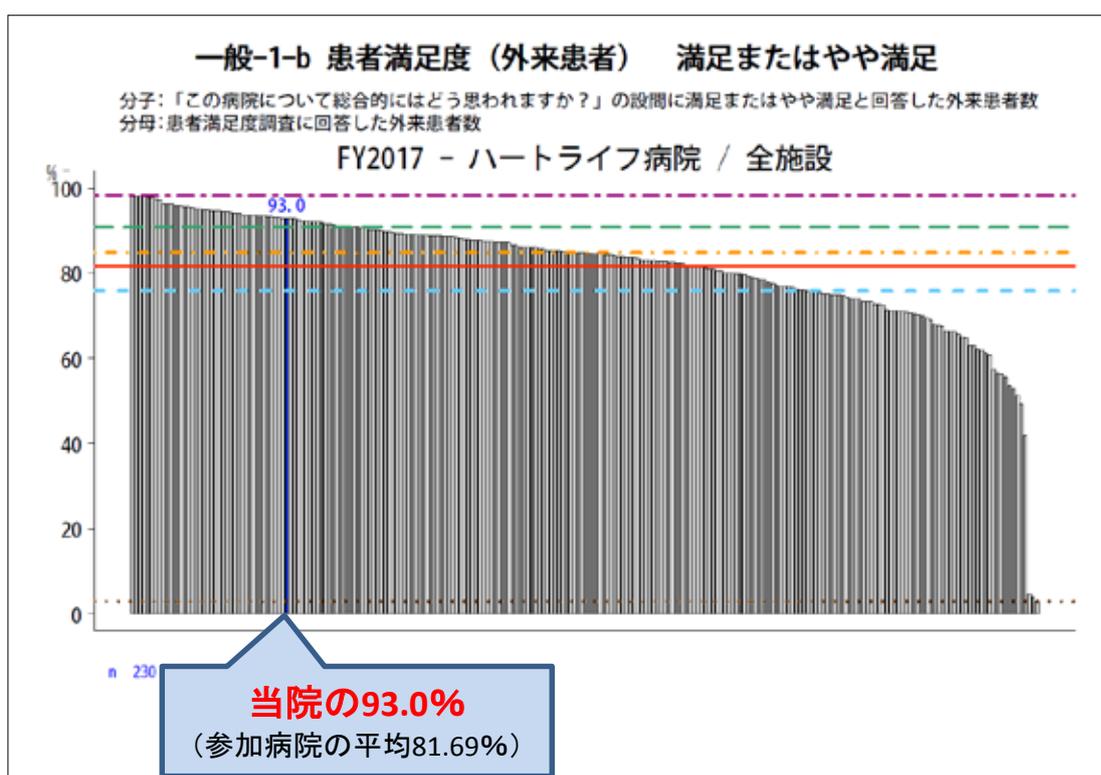
外来患者さんに「Q.この病院について総合的にはどう思われますか？」という問いに対し「不満/やや不満/どちらともいえない/やや満足/満足」の5段階で評価をして頂きました。

平成29年9月に東館（地下1階地上5階建て）を増築し本格的な運用を開始致しました。産婦人科センターをはじめ、一般外来や人工透析室、集中資料室（ICU）等が移転して、より快適な環境が整備されました。

外来における患者満足度の「満足またはやや満足」は、9割を超える高い満足度をいただきました。

※外来調査期間：平成29年10月23日～24日の2日間 回答者数：238名

	2013	2014	2015	2016	2017
満足のみ	26.4%	34.3%	32.5%	36.8%	36.0%
満足+やや満足	88.9%	90.9%	84.6%	88.3%	93.0%
どちらともいえない	10.6%	8.7%	14.5%	10.0%	6.57%
やや不満	0.5%	0.4%	0.9%	1.3%	0.43%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%

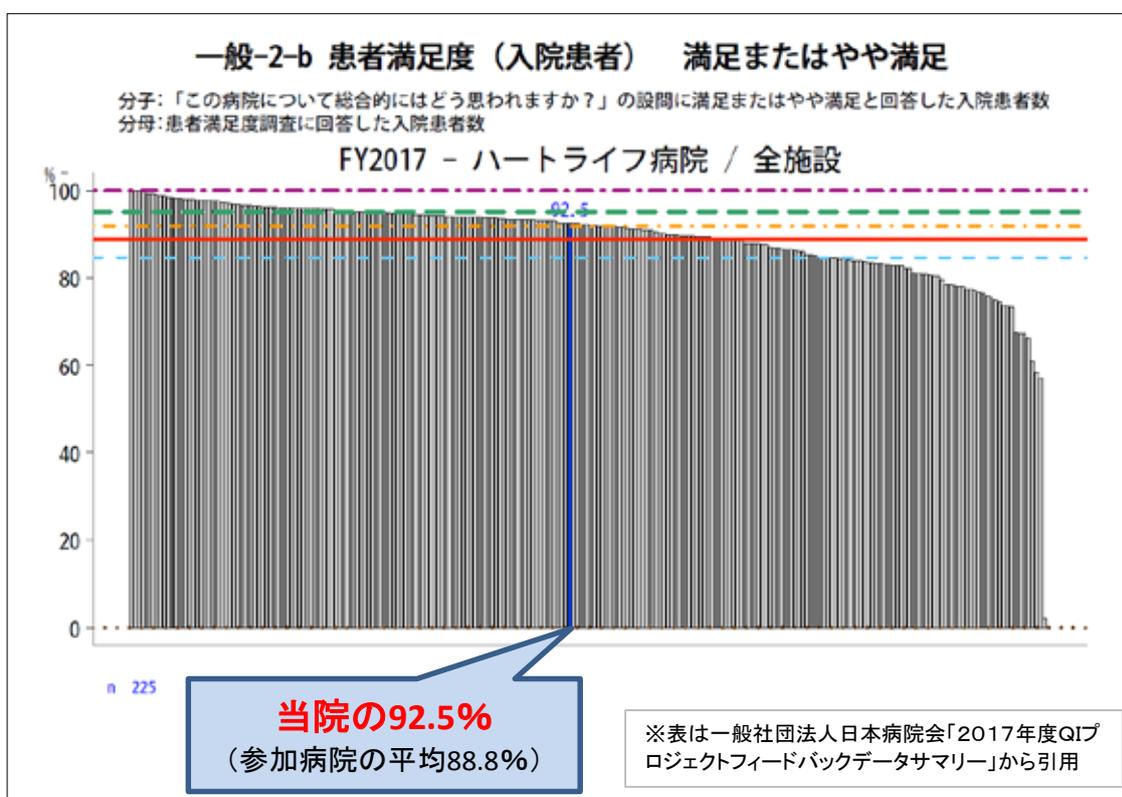


入院されている患者さんに「Q. この病院について総合的にはどう思われますか?」という問いに対し「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階で評価をして頂きました。

昨年度に比べ満足のみは 6.2% もアップしました。入院における患者満足度は、年々上昇傾向にあります。やや満足も含め 9 割を超える高い満足度をいただきました。

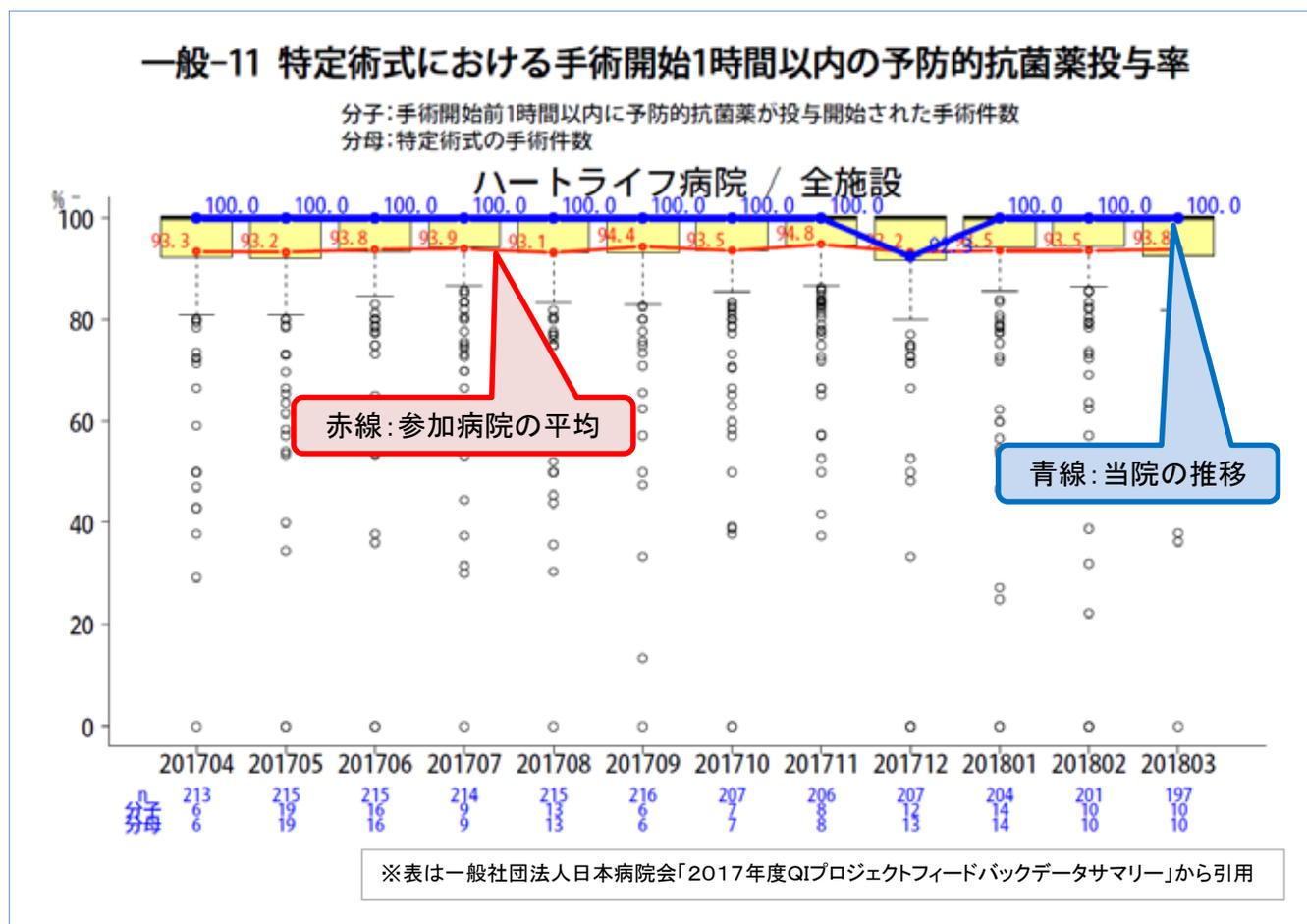
※入院調査期間：平成 29 年 10 月 23 日～ 28 日の 6 日間 回答者数：144 名

	2013	2014	2015	2016	2017
満足のみ	46.9%	44.1%	42.2%	46.8%	53.0%
満足 + やや満足	93.8%	90.6%	94.1%	94.9%	92.5%
どちらともいえない	5.4%	9.4%	4.9%	5.1%	7.5%
やや不満	0.8%	0.0%	1.0%	0.0%	0%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%



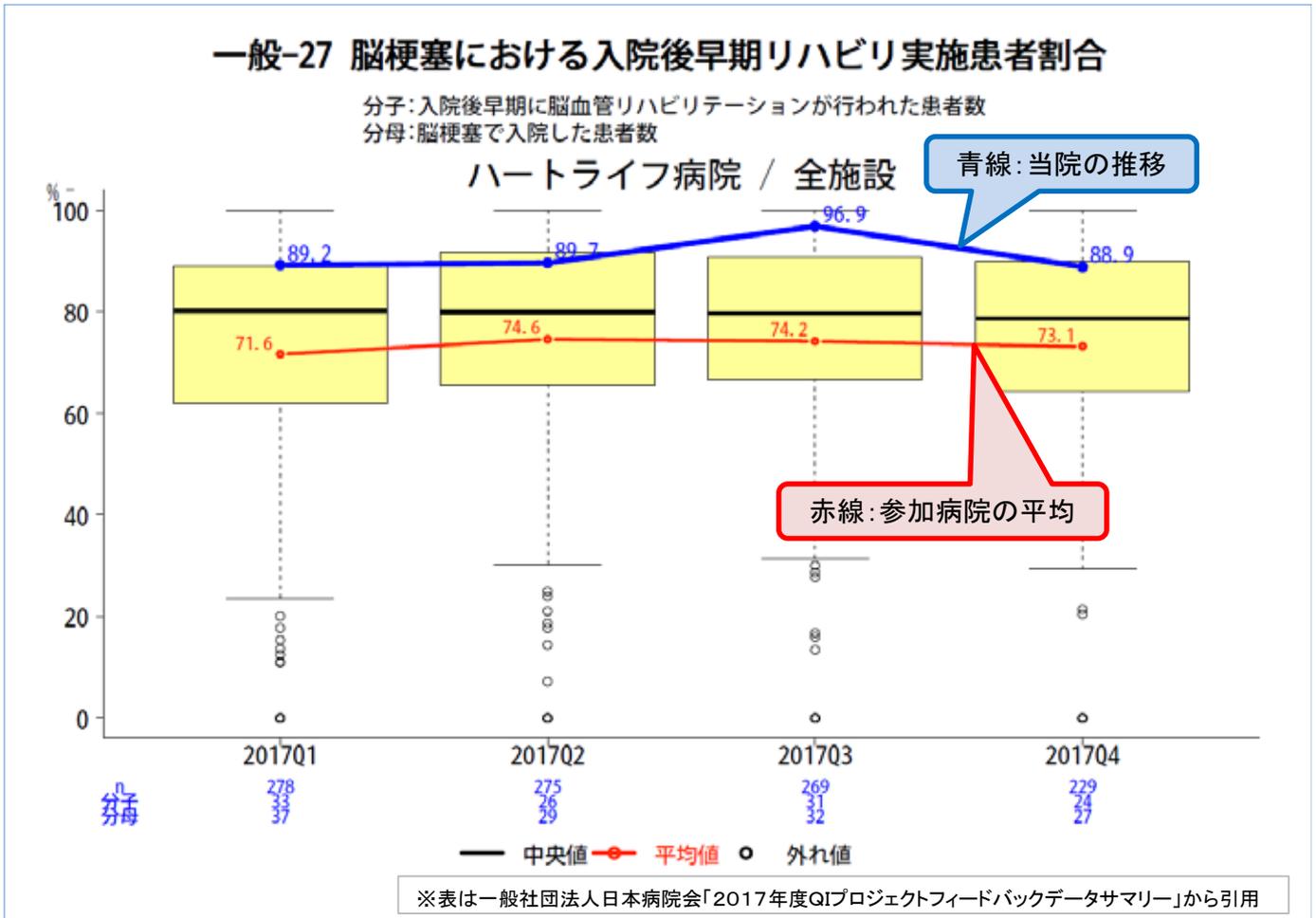
特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

感染予防の一つとして、手術執刀開始の1時間以内の抗菌薬投与が推奨されています。当院における予防的抗菌薬投与率は、ほぼ100%実施されています。



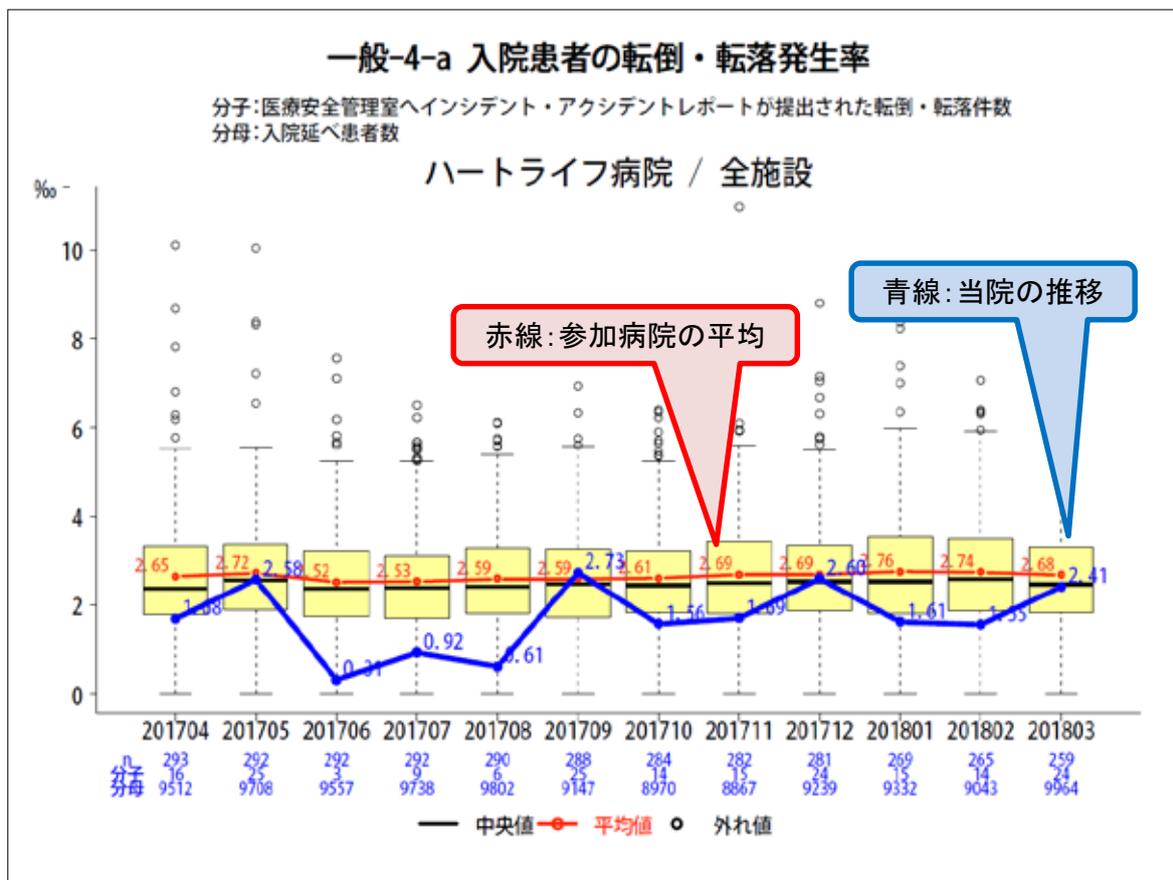
脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合

この図は脳梗塞の診断で入院し、入院後 3 日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例の割合を示しております。脳卒中の診断後できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながります。当院は 91.2% で参加病院の平均値を大きく上回っていました。(診療情報管理室)



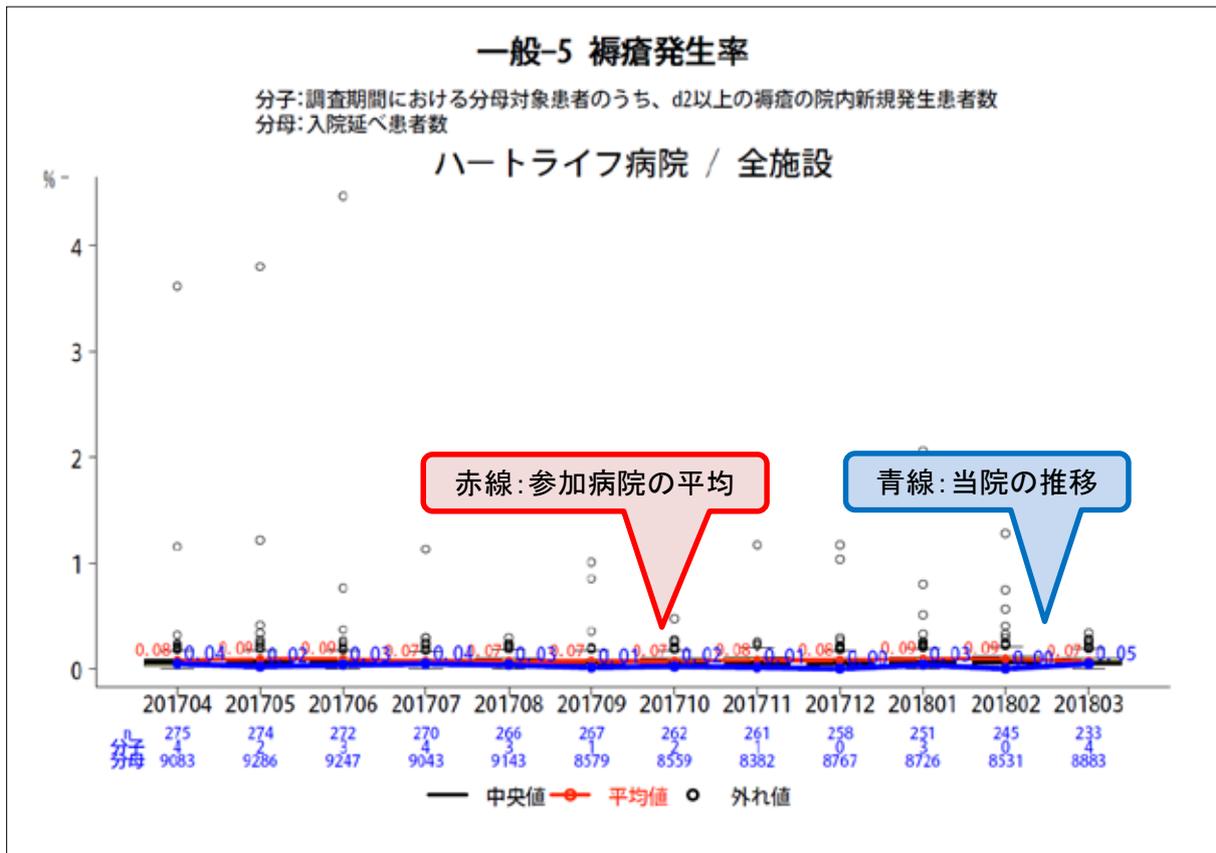
入院患者の転等・転落発生率

転倒転落には様々な要因が潜んでいます。これらの要因を多職種で連携して予防に努めており、環境整備、患者教育など患者の行動を予測した指導を強化しています。また、睡眠導入剤に関するメカニズムと転倒リスクについて勉強会も行いました。今後も転倒転落を予防しながら転倒時の障害が最小になるような現場教育を行ってまいります。



褥瘡発生率

褥瘡発生の減少への取り組みとして、今年度は新人職員だけでなく中途入職者に限定した勉強会、講習会を多く行いました。管理システムも新規導入し、褥瘡リスク患者の危険因子、看護計画、評価等、褥瘡患者の管理が一元化できました。褥瘡が発生した時には情報を共有し多職種連携し治療に関わっています。これからも予防意識を統一し再発の予防に努めてまいります。



地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率・逆紹介率

平成 26 年度より計算式と認定基準が変更になりました。紹介率 60%かつ逆紹介率 30%から紹介率 65%かつ逆紹介率 40%という厳しい基準になりました。

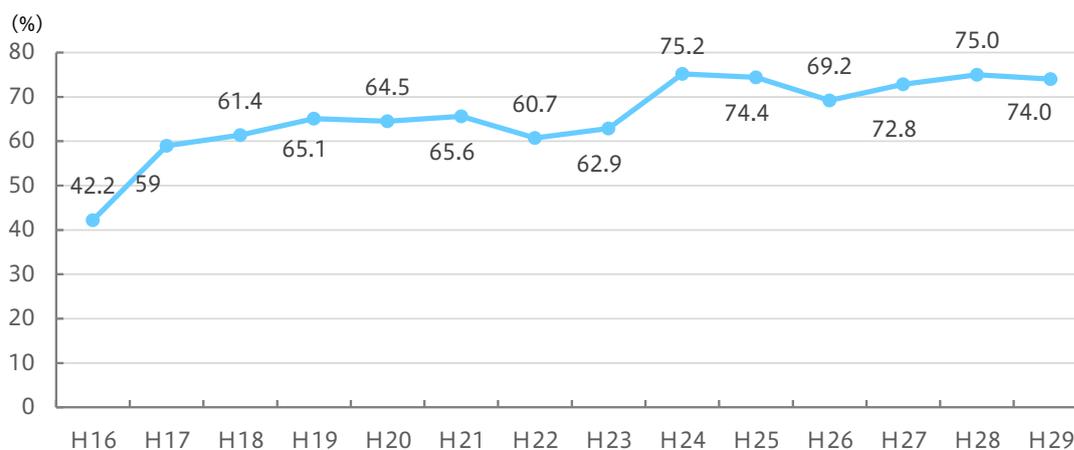
(データ作成 地域医療連携室 新垣)

紹介患者状況

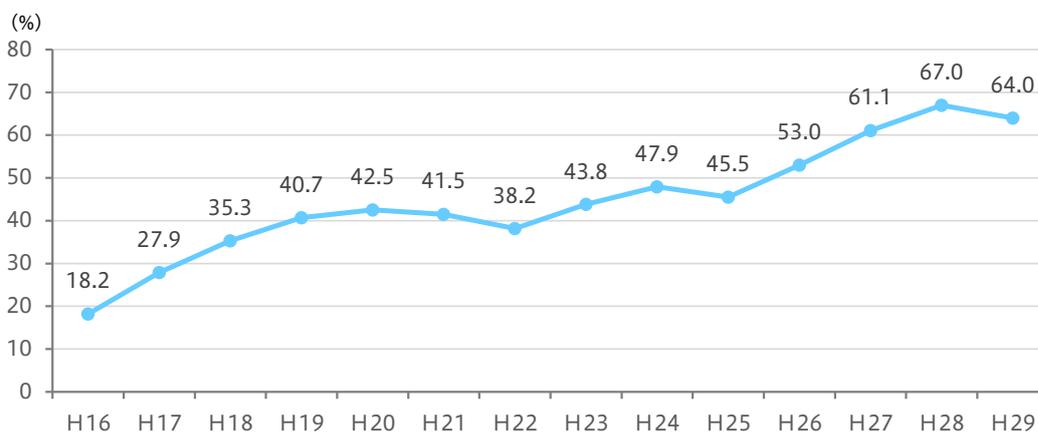
	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	患者数 (人)	月平均								
紹介患者数	6,931	578	7,591	633	8,280	690	8,596	716	8,645	720
緊急入院患者数	1,956	163								
初診患者数	18,641	1,553	18,509	1,542	17,791	1,483	18,157	1,513	18,703	1,559
救急初診患者数	7,431	619	7,700	642	6,512	543	6,761	563	7,149	596
初診救急入院患者数	738	62								
時間内初診救急搬送件数			485	40	613	51	623	52	624	52
逆紹介患者数	5,418	452	5,813	484	6,949	579	7,716	643	7,528	627
紹介率	74.4%		69.2%		72.8%		75.0%		73.9%	
逆紹介率	45.5%		53.0%		61.1%		67.3%		64.3%	

※ 1 平成 26 年度の認定基準の変更により「初診救急入院患者数」と「緊急入院患者数」の集計は行っていません。

地域医療支援病院紹介率の実績 (月平均紹介率 / 基準値 65% 目標値 71%)



地域医療支援病院逆紹介率の実績 (基準値 40% 目標値 55%)



共同利用

(データ作成 地域医療連携室 新垣)

年度別 登録医状況

	登録医数	備考
平成 25 年 3 月	299	登録医療機関は 294
平成 26 年 3 月	297	登録医療機関は 290
平成 27 年 3 月	300	登録医療機関は 292
平成 28 年 3 月	322	登録医療機関は 313
平成 29 年 3 月	323	登録医療機関は 314

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波	
平成 25 年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094	
	紹介件数	689	1,055	49	2,156	
平成 26 年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263	
	紹介件数	658	1,093	41	2,250	
平成 27 年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884	
	紹介件数	667	1,134	46	2,270	
平成 28 年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677	
	紹介件数	782	1,340	35	2,435	
平成 29 年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636	
	紹介件数	733	1,306	73	2,595	
		利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
		利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
		利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%
		利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%
		利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%

平成 29 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	10
中部医療圏	100
南部医療圏	182
宮古医療圏	13
八重山医療圏	8
その他医療圏	1
合計	314

開放病床の共同利用状況 (開放病床 22 床)

	延べ利用患者数	年間平均利用率
平成 25 年度	8,557	106.6%
平成 26 年度	8,950	115.1%
平成 27 年度	8,843	110.0%
平成 28 年度	10,521	131.2%
平成 29 年度	9196	114.4%

研修

(データ作成 地域医療連携室 新垣)

地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

内訳	回数	症例件数	参加人数		
			院内	院外	合計
救急症例検討会	4	12	189	235	424
消化器系症例検討会	6	21	116	16	132
その他講習会・講演会等	3	6	76	40	116
合計	13	39	381	291	672

救急救命士実習実績 (気管挿管：7 名・薬剤投与：0 名)

消防本部名	実習名	実習期間 (開始～終了)	成功症例	備考
東部消防組合消防本部	気管挿管	2017 年 4 月 1 日～5 月 23 日	30 例	(救気管) 第 29 - 001 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2017 年 5 月 24 日～7 月 6 日	30 例	(救気管) 第 29 - 002 号
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	気管挿管	2017 年 7 月 6 日～8 月 16 日	30 例	(救気管) 第 29 - 003 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2017 年 8 月 17 日～9 月 29 日	30 例	(救気管) 第 29 - 004 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2017 年 10 月 2 日～11 月 21 日	30 例	(救気管) 第 29 - 005 号
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	気管挿管	2017 年 11 月 22 日～2018 年 1 月 12 日	30 例	(救気管) 第 29 - 006 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2018 年 1 月 15 日～3 月 2 日	30 例	(救気管) 第 29 - 007 号

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMATとは、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの急性期の現場で活動できる専門的な訓練を受け、通常診療が行えれば避けられた死（防ぎ得た災害死）を減らすため、できるだけ多くの人に根本治療を、そのためにできるだけ多くの人を適切な医療機関へ搬送するための安定化処置を施し、最大多数の最大幸福をめざして活動をする厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加し、実績を残してきましたが、なかなかDMAT 隊員養成研修の沖縄県の受講枠を得ることができず、DMAT 指定医療機関として災害急性期に活動することができませんでした。

地道な努力と辛抱強く申請を続け、平成26年にDMAT 隊員養成研修に5名の職員が受講することができ、正式にハートライフ病院がDMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後も、各種訓練、講習会に参加しつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成28年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、活動をしてきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部副部長 兼 循環器内科 医長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科	医師（外科系）
竹本 健太	救急外来 主任	看護師
兼本 愛美	救急外来 救急看護認定看護師	看護師
江口 まり子	ICU	看護師
安里 健二	事務部企画室 電算係	ロジスティクス（事務・調整役）
安里 直樹	ドクター-専任 ER 業務調整員（ER aide）	ロジスティクス（事務・調整役）
野原 剛	臨床工学科	ロジスティクス（事務・調整役）※補助要員

活動報告

種別	名称・参加者
訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美ら島レスキュー 2017（7月・沖縄県 陸上自衛隊那覇駐屯地） 参加者：三戸正人、国吉史雄、竹本健太、兼本愛美、江口まり子、安里直樹、野原剛 ・ 平成29年度 総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練（7月・大阪府） 参加者：三戸正人（コントローラー）、国吉史雄、竹本健太、兼本愛美、江口まり子、安里直樹 ・ 平成29年度 沖縄県総合防災訓練（9月・沖縄県恩納村） 参加者：国吉史雄、竹本健太、兼本愛美、江口まり子、安里直樹、野原剛 ・ 平成29年度 航空機事故対処部分訓練（11月・沖縄県 那覇空港） 参加者：三戸正人、国吉史雄、石川樹、兼本愛美、江口まり子、平田千佳、安里健二、安里直樹、野原剛 ・ 平成29年度 九州・沖縄ブロック DMAT 実働訓練（1月・佐賀県） 参加者：三戸正人、江口まり子、安里健二、野原剛
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度 第1回 九州・沖縄ブロック DMAT 技能維持研修（6月・南風原町） 参加者：国吉史雄、竹本健太、兼本愛美、安里健二、江口まり子、安里直樹 ・ 平成29年度 沖縄県災害医療コーディネーター研修（1月・那覇市） 参加者：三戸正人、国吉史雄、野原剛 ・ 平成29年度 第1回 九州・沖縄ブロック 統括 DMAT 登録者技能維持・ロジスティクス研修（2月・熊本県） 参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、安里健二
会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度 沖縄県総合防災訓練全体会議 ・ 平成29年度 沖縄県総合防災訓練医療部会 ・ 那覇空港緊急計画連絡協議会 ・ DMAT 連絡会議

種別	名称・参加者
事務局活動	<ul style="list-style-type: none"> ハートライフ DMAT 委員会 (DMAT 隊員、企画室、臨床工学科、管財課用度)

2017/07/20
美ら島レスキュー2017



2017/07/29 (大阪府)
大規模地震時医療活動訓練



2017/09/02 (恩納村)
沖縄県総合防災訓練



2017/11/30 (那覇空港)
航空機事故対処部分訓練

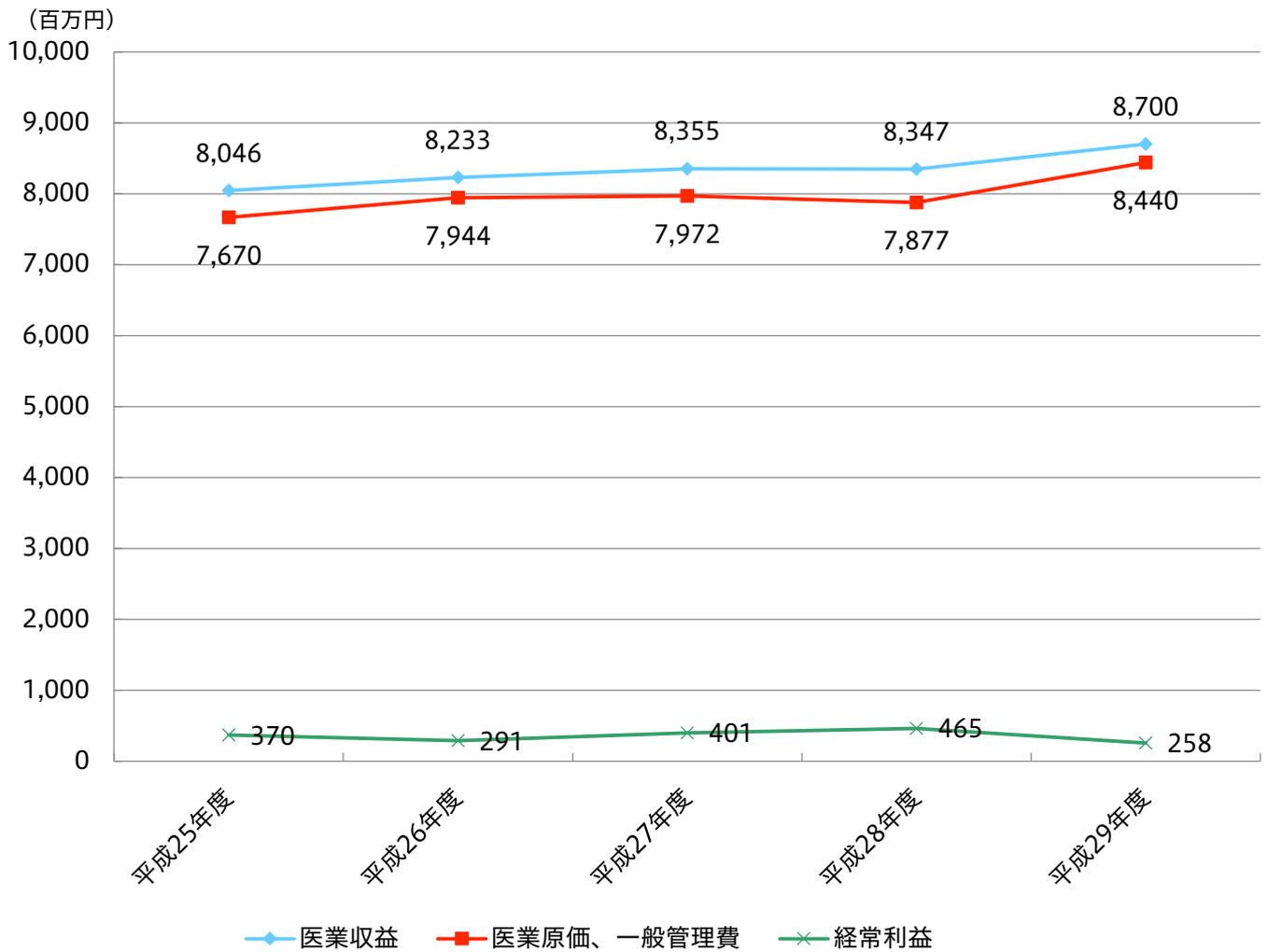


2018/01/27 (佐賀県)
九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練



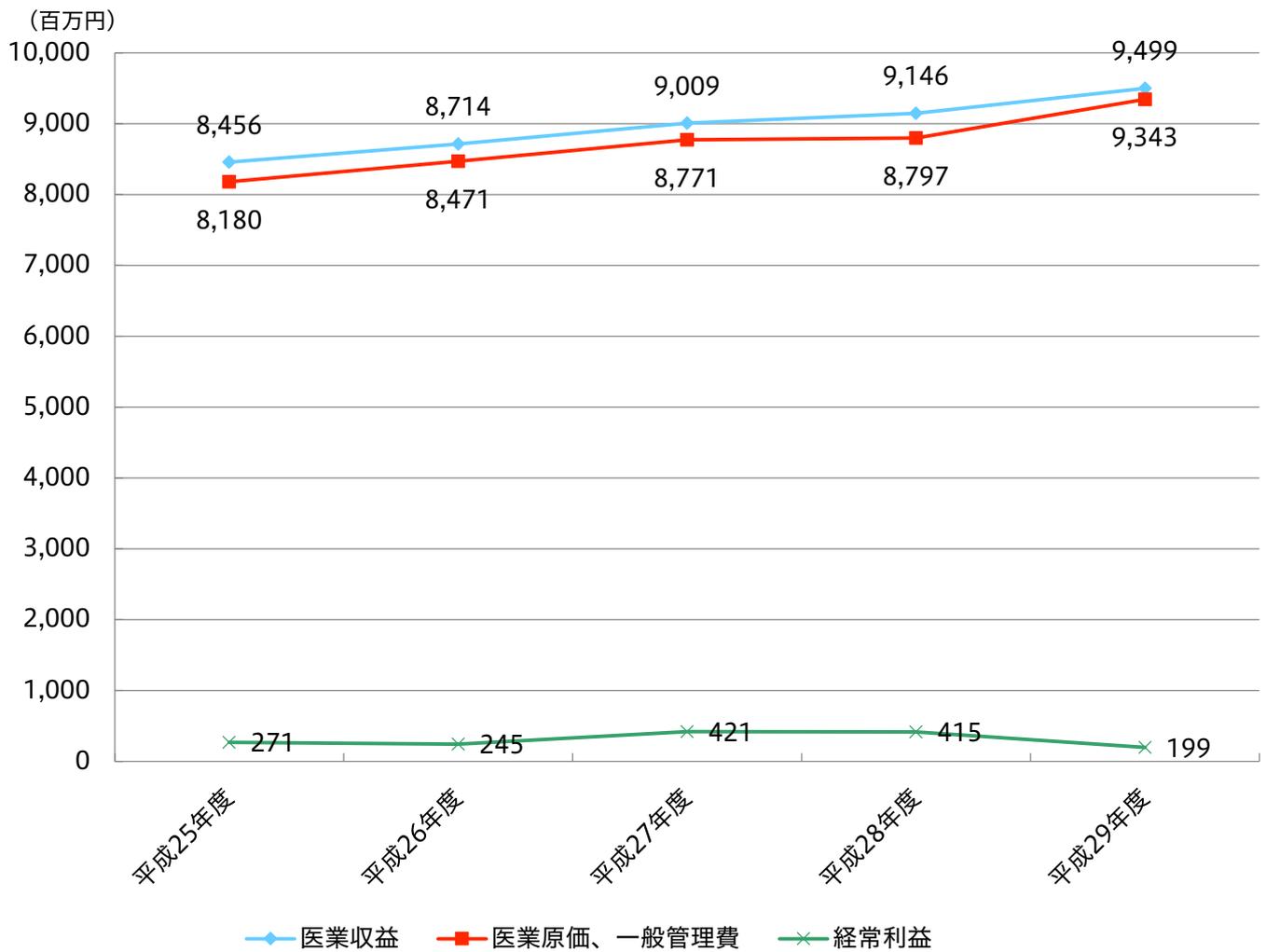
ハートライフ病院財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 平成 29 年度の活動実績

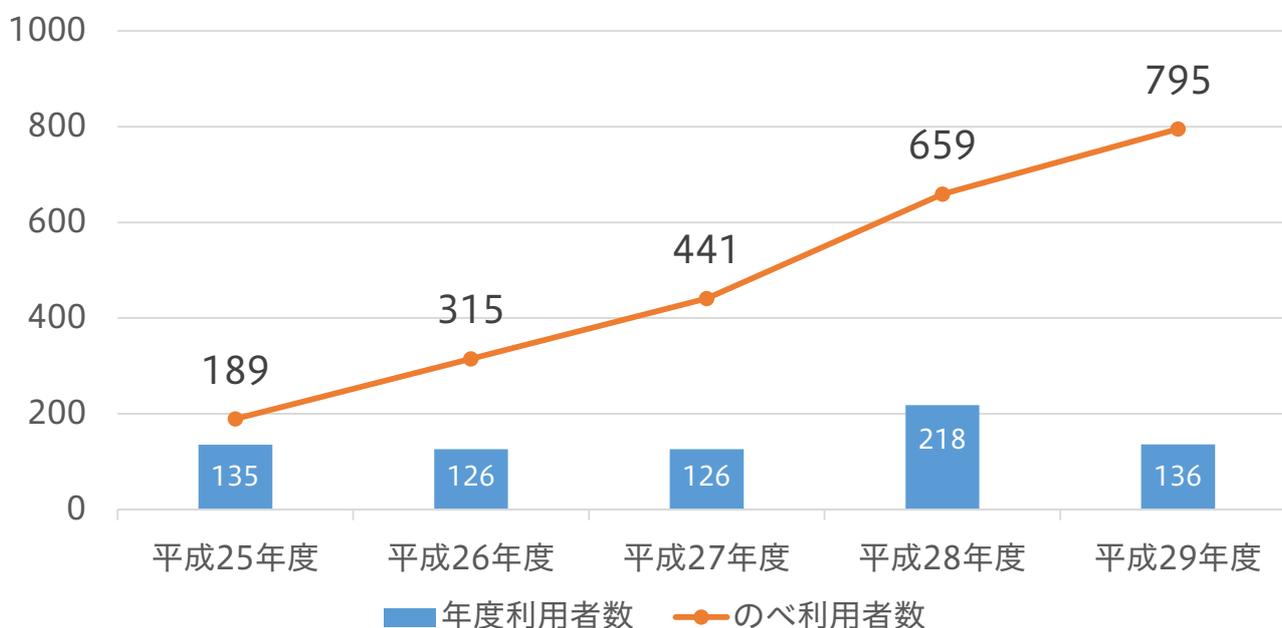
(データ作成 総務課 吉川)

日付	名称
4月1日	平成 29 年度 入職式・新入職員オリエンテーション (1 日目)
	はーとらいふ保育園 開所式・内覧会
	春季 職員健診 (35 歳未満: 4/1 ~ 11、35 歳以上: 4/1 ~ 30)
4月3日	新入職員オリエンテーション (2 日目)
	新入職者歓迎会
4月5日	講演会「病棟における尿路管理とチーム医療」 講師: 泌尿器科 喜久山 明 先生
4月24日	院内合同慰霊祭
5月16日	EVE MedicalCode 機能・操作説明会
5月28日	医療メディエーション研修会 講師: 和田 仁孝 先生 早稲田大学法科大学院教授
5月21日	新入職員歓迎 沖縄本島縦断駅伝大会
5月24日	院内感染対策講演会「標準予防策と手指衛生の5つのタイミング」 講師: 普天間 光彦 先生
6月6日	平成 29 年度 科別実績報告会 (1 日目)
6月7日	平成 29 年度 科別実績報告会 (2 日目)
6月8日	骨盤ケア教室 (職員対象プレクラス)
6月13日	認知症勉強会「睡眠薬のリスクマネジメント」 講師: 心療内科 菅野 善一郎 先生
6月28日	ME 機器管理システム操作説明会
7月5日	院内献血
7月11日	平成 29 年度 職員卓球大会 主催: 健康増進委員会
7月15日	院内緩和ケア研修会
7月28日	第4回 クリニカルパス大会
	特別講演「DPCと地域完結型医療時代のクリティカルパス」 講師: 松本 武浩 先生 (長崎大学病院 医療情報部部長)
7月31日	医療安全講演会「医療事故調査制度の現状について」
8月3日	産婦人科病棟増築記念
	地域医療講演会「他科から紹介される産婦人科疾患」 講師: 片淵 秀隆 先生 (熊本大学大学院 産婦人科学教授)
8月12日	東館竣工式・祝賀会・内覧会
8月19日	新入職員歓迎ビアフェスタ
8月21日	中部合同カンファレンス
8月22日	ハートライフ病院 開院 29 周年
9月9日	第1回 地域連携セミナー「スキンケアと予防の実践 ~共に広げよう地域連携の輪~」
	講師: 皮膚・排泄ケア認定看護師 嘉数 智子
9月26日	役職者研修会「大久保寛司の人が輝く職場の実現」 講師: 大久保 寛司 先生 (人と経営研究所 所長)
9月28日	「ハートライフ病院・ハートライフクリニック地域医療連携懇談会」 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
9月30日	市民公開講座「正しく知って予防しよう インフルエンザ」 講師: 感染対策室 石川 由希
10月12日	院内研究発表会 事務部予選会
10月16日	緩和ケア勉強会「緩和ケアにおけるステロイドの使用法」 講師: 薬剤師 上地 美和 「当院におけるがんリハビリの現状」 講師: 作業療法士 宮城 奈津希
10月17日	ランチョンセミナー「がん検診のすゝめ」
10月19日	講演会「転移性骨腫瘍の診断と治療の実際」 講師: 倉都 滋之 先生 ヘルランド総合病院副院長・整形外科部長
10月23日	患者満足度調査
10月25日	院内研究発表会 医療技術部予選会
10月27日	院内研究発表会 看護部予選会
11月7日	感染対策講演会「職業感染 (針刺し)」 講師: 感染対策室 石川 由希
11月9日	
11月13日	職員満足度調査
11月14日	医療監視 (中部保健所による立入検査)
11月16日	DMAT 講演会「事態対処医療 TACMED (タクメド) の真髄」
	講師: 若井 聡智 先生 (大阪医療センター救命救急センター医長)
	「災害時に力になれる医療者になる」 講師: 鈴木 教久 先生 (大阪医療センター DMAT 事務局災害医療技術員)
11月17日	院内研究発表会 本選
11月28日	化学療法勉強会「がん薬物療法に伴う副作用 当院における支持療法」
	講師: 平良 智 先生 (中頭病院 がん薬物療法認定薬剤師) 「当院のがん化学療法における認定薬剤師の役割」 講師: 山本 沙織 先生 (中頭病院 がん薬物療法認定薬剤師)

日付	名称
12月16日	かりゆし会大忘年会 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
12月18日	緩和ケア勉強会「がん患者の栄養管理」 講師：栄養士 高屋 美希 「在宅医療について」 MSW 川満 慎吾
12月28日	外科講演会「肝がん外科治療について」 講師：山本 雅一 先生 東京女子医科大学消化器病センター 消化器外科教授
12月29日	御用納め 納会
1月4日	仕事始め
1月5日	新春もちつき大会
1月19日	循環器内科講演会
1月31日	講演会「急性期病院における地域医療構想と地域包括ケアシステム」 講師：高山 義浩 先生 沖縄県立中部病院 地域ケア科・感染症内科 医長
1月31日	WEB セミナー「平成 30 年度 診療報酬改定 ～中医協議論を振り返って～」
2月2日	講演会「運動器エコーのすゝめ」1日目 講師：皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
2月14日	第1回 医療経営イノベーションセミナー 「2025 年を見据えた戦略的病院経営の実践」 講師：井上 貴裕 先生 千葉大学医学部附属病院 副院長 「診療報酬 2018 を乗り切る急性期病院を作るために」 講師：牧野 憲一 先生 旭川赤十字病院 病院長
2月26日	医療安全講演会「暴言暴力患者の対応」 講師：宜野湾警察署
3月2日	コンチネンスケア勉強会「排尿ケアの取組み」「排尿障害に対するリハビリテーションの取組み」「カテーテルは感染の入り口」「排尿のメカニズム」
3月12日	平成 30 年度 診療報酬改定説明会
3月19日	平成 29 年度 火災避難訓練
3月23日	「卒後臨床研修終了式」 「卒後臨床研修修了パーティ」 エリスリーナ西原ヒルズガーデン

かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成 24 年 8 月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



平成 29 年度 患者満足度調査

(データ作成 患者満足度向上委員会 富里)

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。下記に平成 29 年度に実施されました調査結果をご報告致します。アンケートにご協力して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。今後は、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

調査日時：平成 29 年 10 月 23 日（月）から 10 月 24 日（火）の 2 日間（病棟のみ 28 日までの 6 日間）

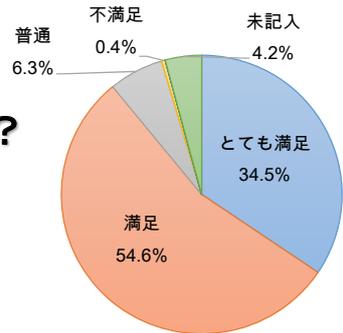
※調査場所：ハートライフ病院 外来・各病棟・透析室・人間ドック・内視鏡センター

外来

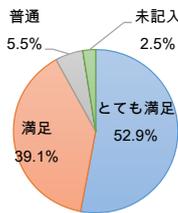
アンケート回答数
238件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

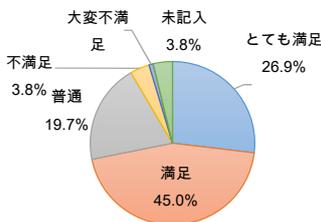
満足以上が89.1%と
概ね良い評価と
なっています。



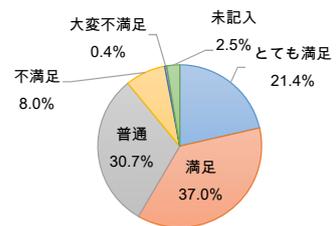
医師による診察内容は分かり易かったですか？



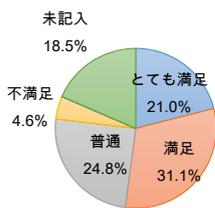
受付の待ち時間はいかがでしたか？



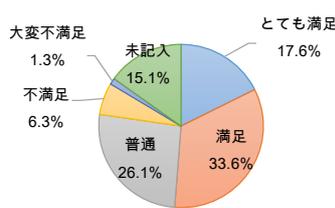
診察の待ち時間はいかがでしたか？



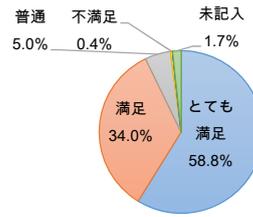
検査の待ち時間はいかがでしたか？



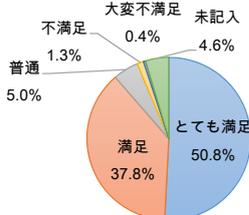
会計の待ち時間はいかがでしたか？



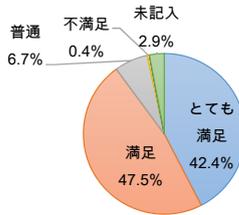
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



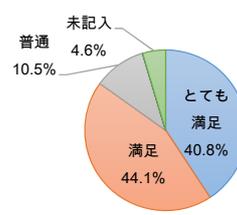
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



コメント

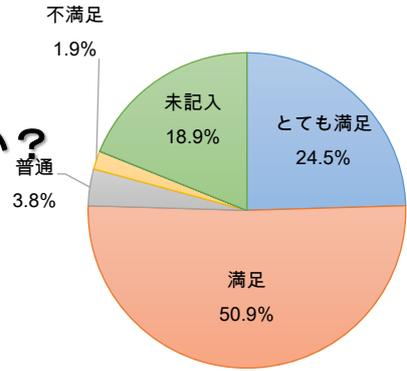
- 安心して受診できる。他市町村の為、思うように受診することができたらと思う
- 初めて来院しましたが、すごく感じが良かったです。
- 安心ですてきな病院になると思います。
- 小児科は満足しています。ただ、家族の付き添いで来る整形外科は予約しても待ち時間が長すぎると思います。

予防医学 センター

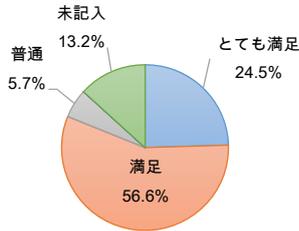
アンケート回答数
53件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

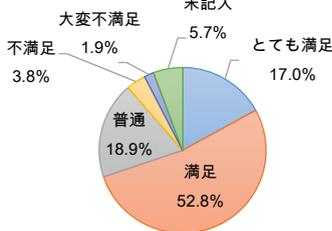
75.4%が満足以上の
評価となっています。



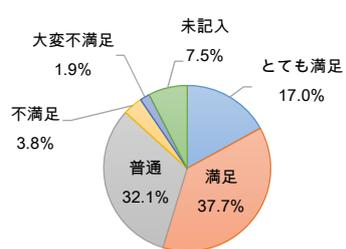
医師による診察内容は分かり易かったですか？



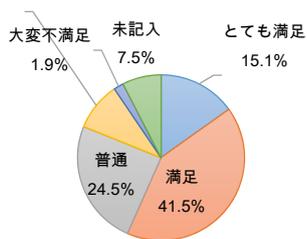
受付待ち時間はいかがでしたか？



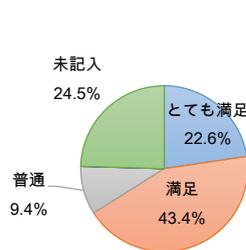
診察の待ち時間はいかがでしたか？



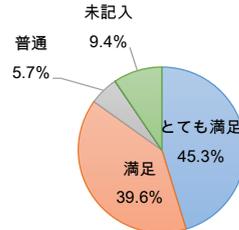
足検査の待ち時間はいかがでしたか？



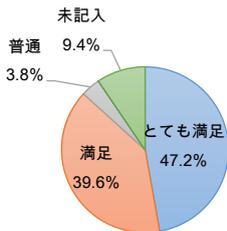
会計の待ち時間はいかがでしたか？



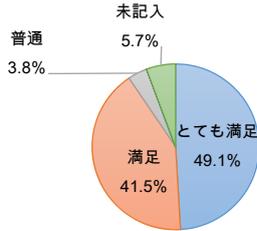
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



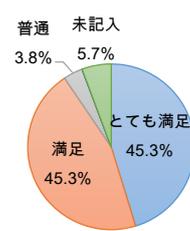
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



コメント

○各部所への案内がとてもわかりやすかった。安心して受けれたと思います。

○(X線胃部バリウム)操作室より笑い声、気になったが、先生のキャラがおもしろく楽しくてイヤな検査も楽しくできました。ありがとうございました。医療界は究極のサービス業だと思います。感謝です。

○9Fにて子宮頸がん検査で奥で待つよう案内され待っていたが後で来た番号の方が先に呼ばれた。その後私のファイルを預かりに来た。今日の検診後用事ができた為早く終わらせてくれて早目に来院したが残念な思いをしました。その他は良かったです。

○他にくらべても待たせ過ぎです。

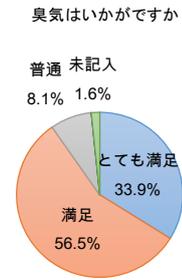
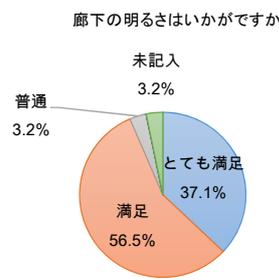
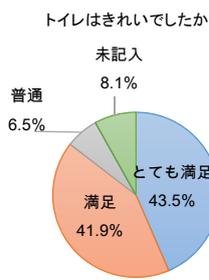
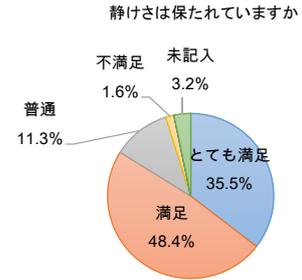
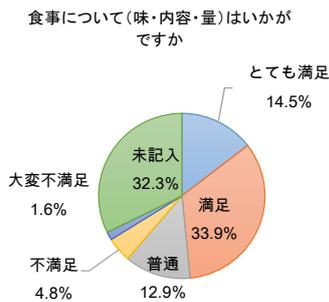
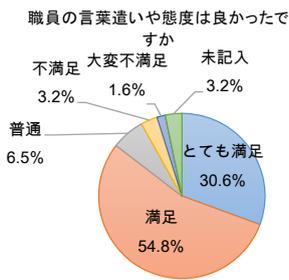
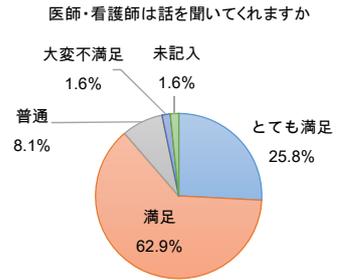
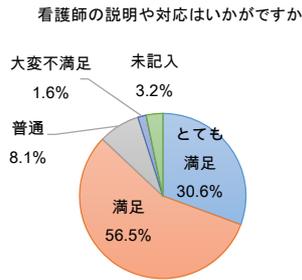
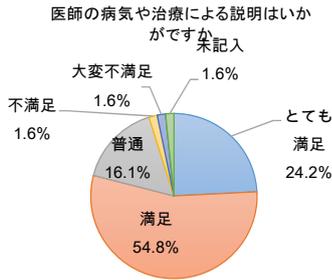
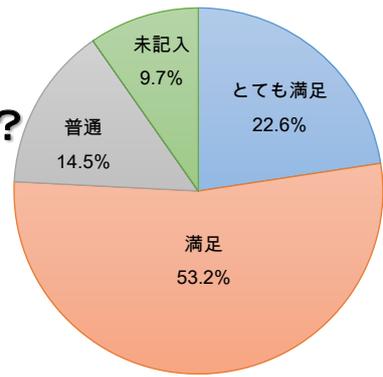
○あとどれくらい待てば自分の順番がくるのか、あと何人待ちか等がわかれば待ちやすいと思います。トイレへ行くタイミングもつかみやすいと思います。

透析

アンケート回答数
62件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

75.8%が満足以上の
評価となっています。



コメント

○いつもスタッフの皆さんが優しく声をかけてくれるので、何か聞きたいことや相談したいことがある時、声をかけやすいです。送迎担当の皆さんにも、いつもお世話になり、感謝しています。

○新しい建物になりとても上等です！遠いのがきつい(玄関から)けど…ベッドのキヨリができて静かになってよい。TVが上等、みやすくて本当にうれしい。TVの位置も上等。毎日ベッパ君にあいさつして気持ちもやわらぎます。もっといろんな会話ができるようになるともっといい。

○外来の診察で感じた事です…(派遣医師)もっと患者により添う説明をして頂きたいと思います。患者は、原因がわからず苦しい毎日をすごして不安のおもいの中で病院に助けをもとめているのですから…。「もっと重症な患者さんを私達は診ているのですよ！！」と言われた時の患者の気持ちわかりますか？

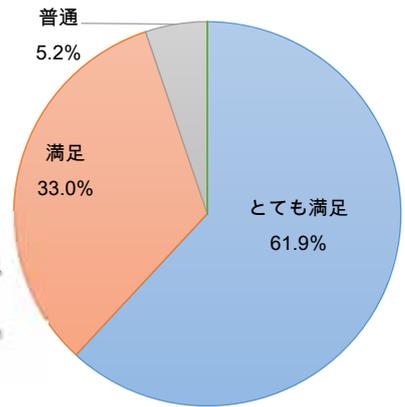
○手を洗う所が、車イスやつえを持った人の事を考えられていない。何度かチャレンジしたが、イスにすわっても手のヒラしか洗えずそれでも洗う様に言われると困ります。後、検査の時、レントゲン、エコーの時遠い。

内視鏡 センター

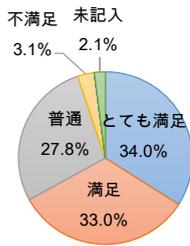
アンケート回答数
97件

【総合評価】 内視鏡での検査に 満足できましたか？

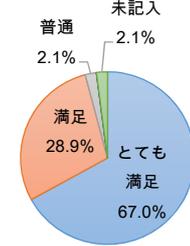
満足以上が94.9%と概ね
良い評価となっています。



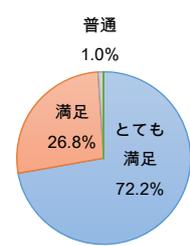
内視鏡での待ち時間



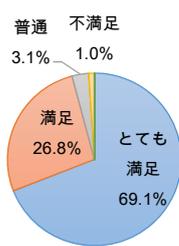
医師の言葉遣いや態度



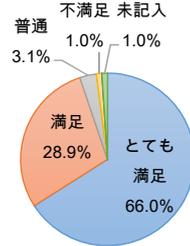
看護師の言葉遣いや態度



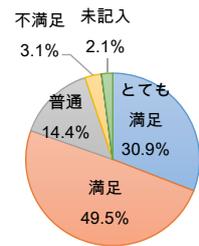
受付事務の言葉遣いや態度



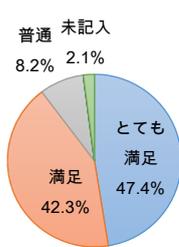
看護師の対応



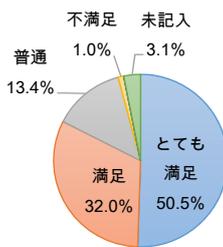
待合室の設備はいかがでしたか



検査室・麻酔部屋の雰囲気



検査後は十分に休めたか



コメント

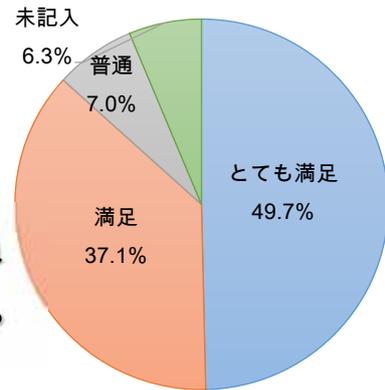
- スタッフの皆様が親切で良かったです。初めての来院なので心配していましたが、安心してドックも受ける事ができました。ありがとうございます。
- クーラーがききすぎる気がしましたが、職員の対応はすばしかったです。ありがとうございました
- 検査の不安はありましたがまったくその必要はありませんでした。ありがとうございます。
- 検査の待ち時間がとても長く感じました。あと何時間かかるとか何番目ですよとかのフォローがあればもっと良くなると思います。
- 女性と男性のまちあい室をわけてほしい

病棟

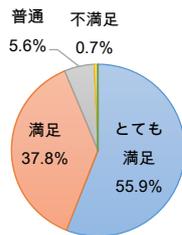
アンケート回答数
143件

【総合評価】 この病院での診療に 満足していますか

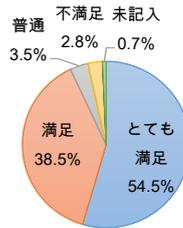
満足以上が86.8%と概ね
良い評価となっています。



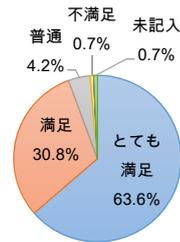
医師の病気や治療による説明はいかがですか



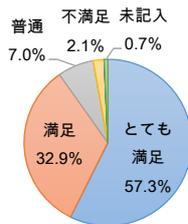
看護師の説明や対応はいかがですか



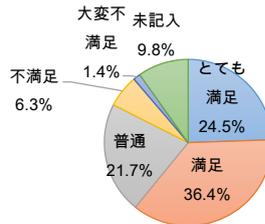
医師・看護師は話を聞いてくれますか



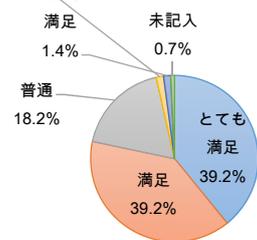
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



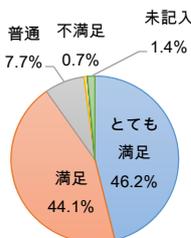
食事について(味・内容・量)はいかがですか



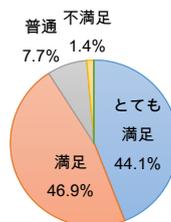
静けさは保たれていますか



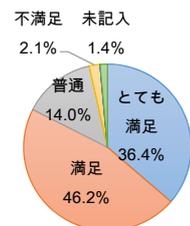
病棟・病室・トイレはきれいでしたか



病室・廊下の明るさはいかがですか



室内の温度調整はいかがですか



コメント

○子どもの急な入院だったので、心細いなか医師の先生によるしっかりと分かりやすい説明と看護師さん達のきめ細かい対応でとても安心して子どもに付き添う事ができました。また清掃員の方々にも一声二声温かい言葉をかけてもらい嬉しかったです。とてもステキな病院で100%の満足です。ありがとうございました。

○ハートライフ職員のみなさんへ

いつもいつもあたたかく接していただき心から感謝致します。皆さんの愛と笑顔に支えられています。

○廊下でのおしゃべりが気になります。看護師さん以外の職員？の私語が病室まで聞こえています。接遇も、もうすこし気をつけた方がいいかと思えます。

○PC、スマートフォン等の利用の為、無線LAN(wifi)を利用できるよう整備してほしい。

○産科を何度か利用させていただいてます。今回は東館新しくなりとてもきれいです。ただトイレ(個室)が狭すぎるかなと思えました。医師、看護師の対応はいつも満足です。

平成 29 年度職員満足度調査

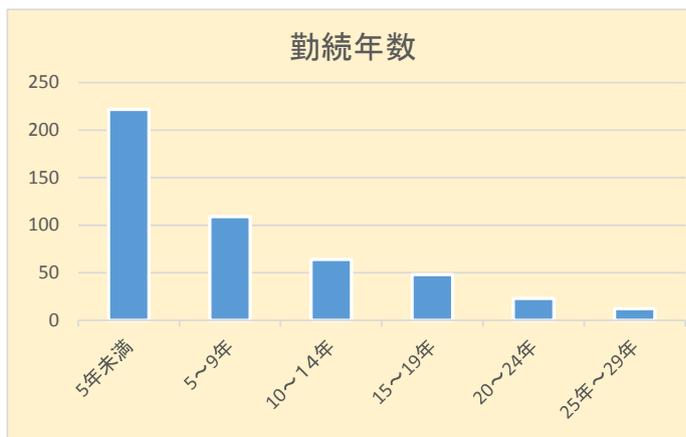
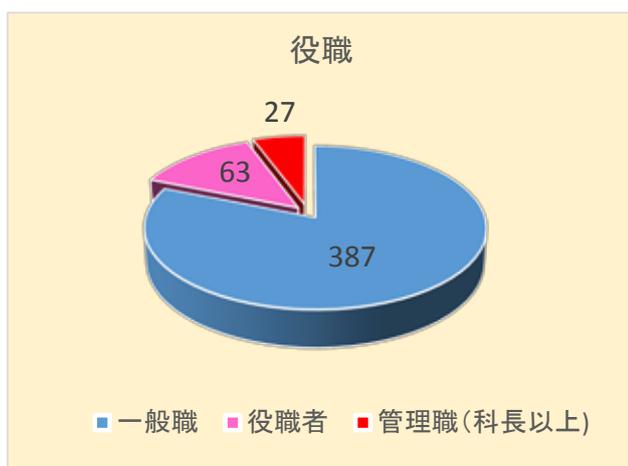
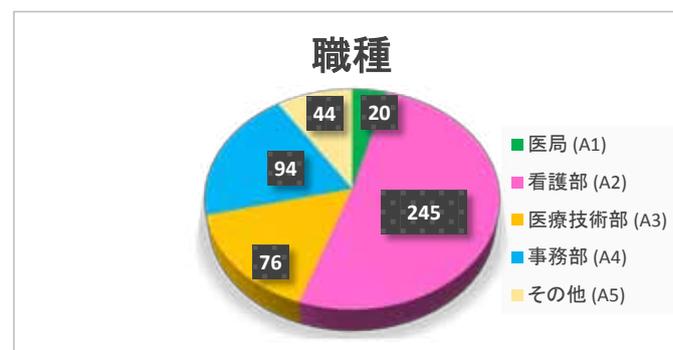
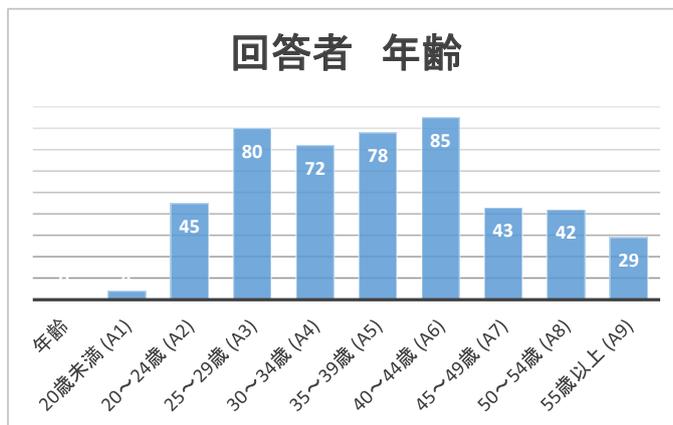
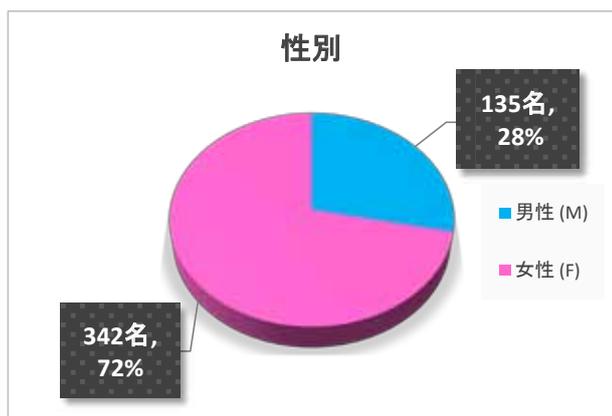
(データ作成 人事課 比嘉)

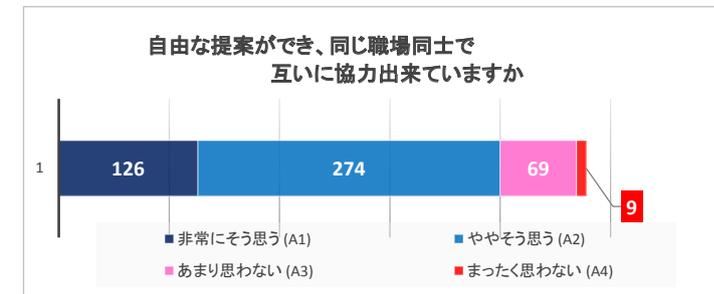
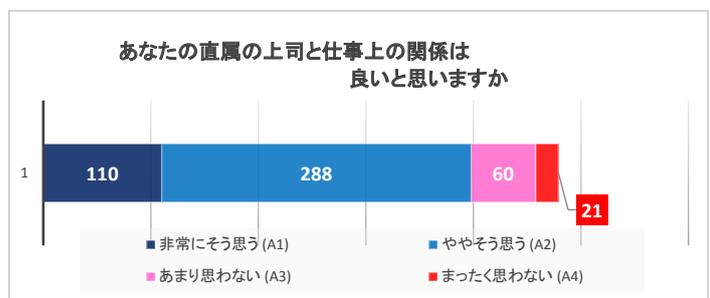
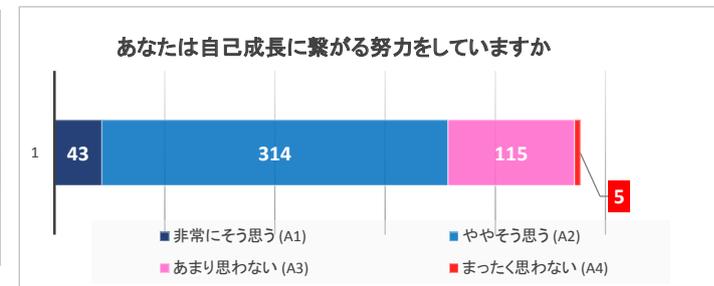
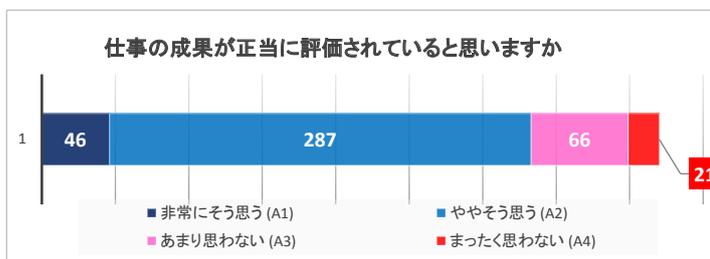
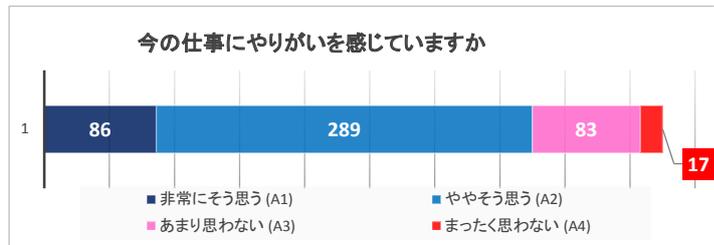
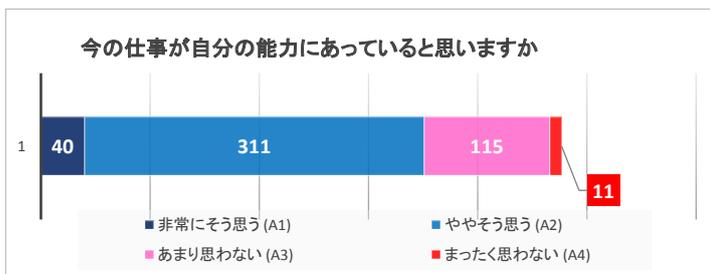
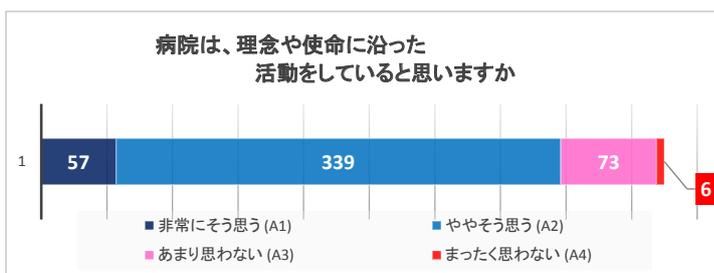
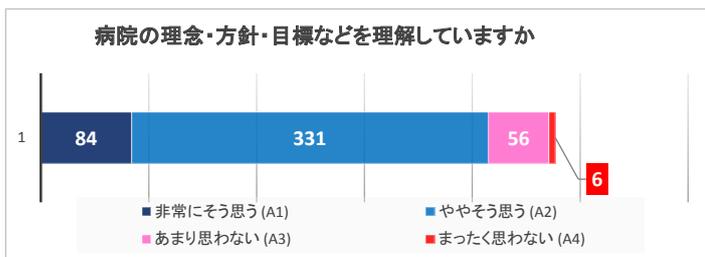
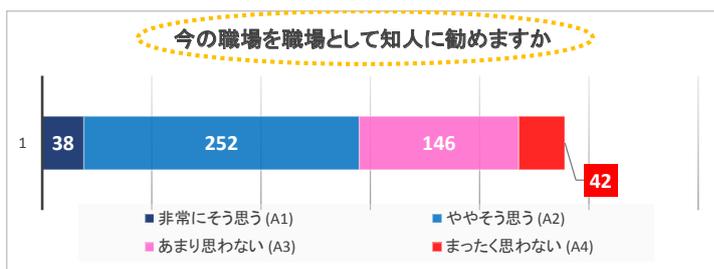
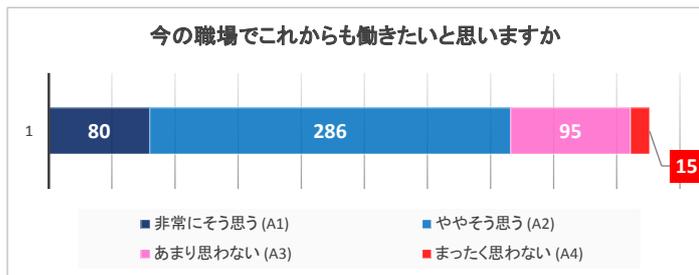
かりゆし会では職員満足度調査を行っております。働きやすく働きがいのある組織の実現に向けて、このアンケートの結果を職場改善の材料とし、職員が安心して働ける職場環境作りに取り組んで参ります。

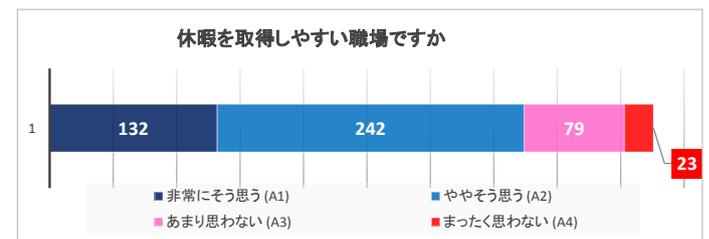
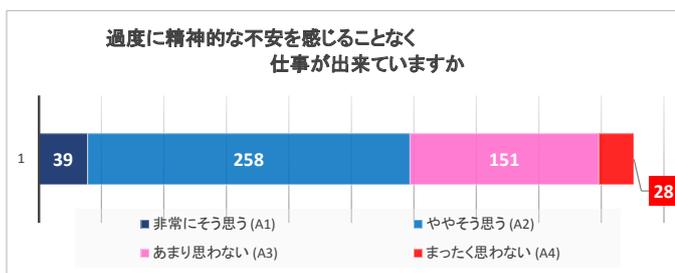
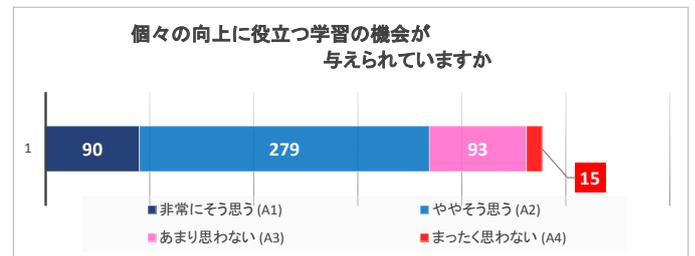
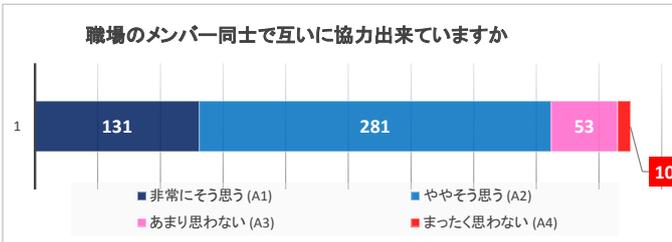
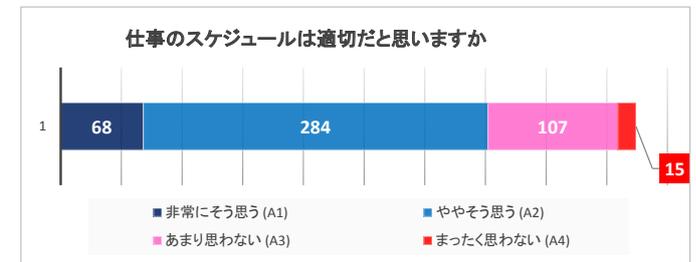
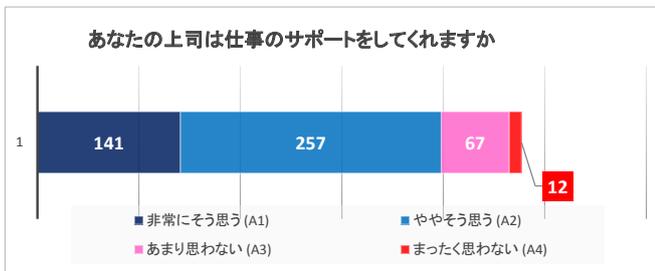
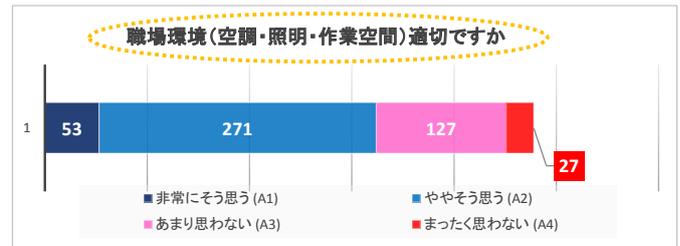
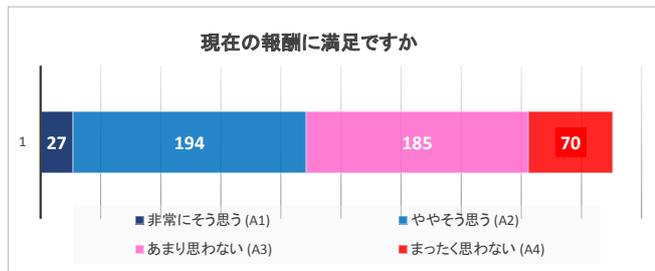
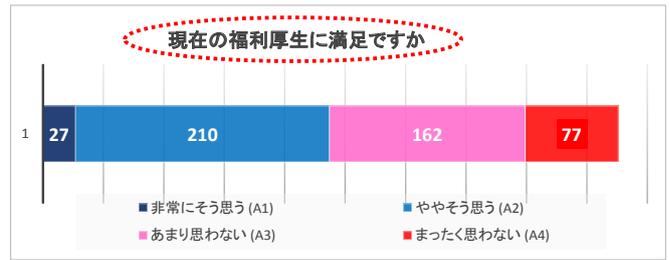
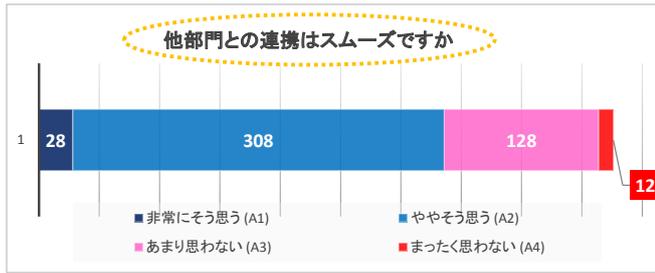
調査概要：職員数 1,054 名 (H29.11.1 時点) 回答数 479 回答率 45.54%

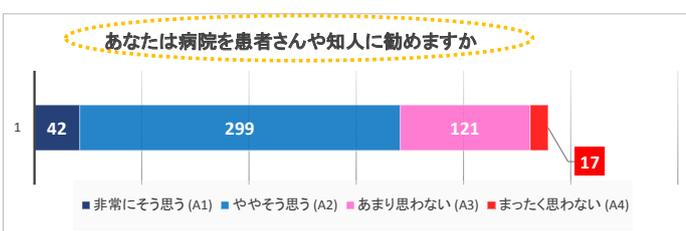
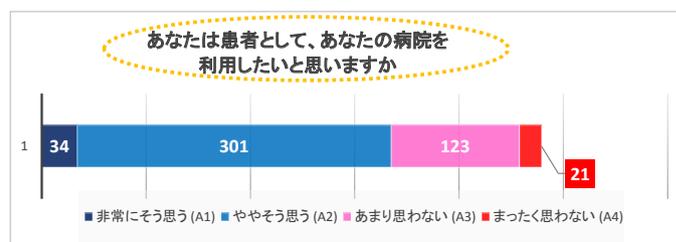
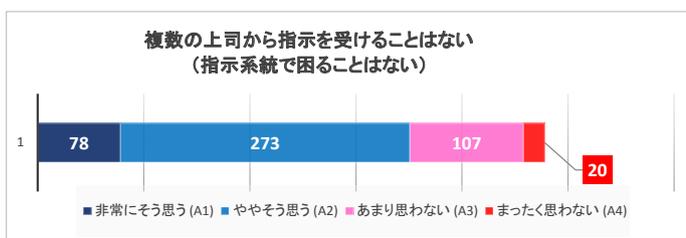
調査日時：2017 年 11 月 13 日 (月) ~ 2017 年 11 月 30 日 (木)

調査方法：グループセッション (グループウェア) を利用した調査票への入力









今回の職員満足度調査の結果、いくつかの項目で不満足という回答が多数ありました。

報酬についてはこれまで介護職員・事務職員・保育職等の給与改定し対応してきましたが、今後は給与と連動した人事評価制度の導入検討をして参りたいと思います。

また、職員から要望が多かった、「時間年次有給休暇がほしい」という要望に対しては平成30年4月より時間年次有給休暇を導入しました。

福利厚生については職員互助会の協力のもと、平成30年度より、ローコストで旅行・宿泊・レジャー、ショッピング等、幅広く利用できる福利厚生代行サービスに加入致しました。今後は多くの職員がサービスを利用し、職員一人一人が、やりがいや充実感を持ちながら働き続けられたらと思います。

今回の職員満足度調査結果をもとに改善しながら、働きやすい職場を目指していきたくと思います。今後も職員満足度調査へのご協力を宜しくお願い致します。

部署別業務実績

医 局

部門紹介

平成 29 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 21 名（内科初診担当 1 名、呼吸器 3 名、循環器 4 名、消化器 7 名、血液 5 名、腎臓内科 1 名）、外科 9 名、麻酔科 5 名、整形外科 4 名、産婦人科 4 名、小児科 3 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 2 名、眼科 1 名、形成外科 4 名、耳鼻咽喉科 1 名、放射線科 3 名、救急科 2 名（1 名は兼任）、心療内科 1 名、人間ドック 3 名、人工透析内科 1 名、初期研修医 11 名の計 77 名となっていました。

また、初期研修医 11 名、後期研修医 4 名の指導に加え、年間 60 名程のクリニカルクラークシップ（琉球大学医学部生）に対応しています。

医師数（常勤）

（平成 29 年 4 月現在）

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数 (初期研修医除く)	21	9	2	3	4	4	2	2	1	1	3	1	5	3	1	4	0	66
うち各種学会認定・専門医数	58	32	2	3	2	6	3	2	1	1	4	1	5	1	5	4	0	130 (延べ)
うち臨床研修指導医数	16	7	2	3	2	2	2	2	0	0	1	1	2	1	1	1	0	43
後期専門研修医	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
初期研修医	1 年目：6 名 2 年目：5 名																	11

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club (抄読会 / 毎週水曜日 8:00 ~ 8:30)

年	月日	担当者	演題名
2017年 (H29)	4月5日	三戸 正人	Heart Life ER 6年目の挑戦
	4月12日	狩俣 かおり	血小板が増加している時
	4月19日	釜野 武志	抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン
	4月26日	川満 豊	予防接種
	5月10日	国吉 史雄	当院DMATについて
	5月17日	宮城 純	偽膜性大腸炎について
	5月24日	山入端 敦	血液疾患診療における感染症(感染予防も含めて)
	5月31日	大西 勉	胎盤ポリープについて
	6月7日	与座 一	周術期における抗血栓療法の継続・中止・再開の治療戦略
	6月14日	銘苅 正	外科的気道確保
	6月21日	宮平 工	大腸癌について
	6月28日	普天間 光彦	耐性菌の現状
	7月5日	仲村 義一	群星ハワイ沖縄医学教育フェローシップ
	7月12日	東盛 貴光	形成外科と熱傷～広範囲重症熱傷を扱う施設へ～
	7月19日	阿嘉 裕之	三大痔疾患
	7月26日	新垣 和伸	整形外科膝関節治療に関する施設見学・当院での今後の方針
	8月2日	比嘉 麻乃	嚥下機能評価について
	8月9日	石原 千尋	コンパートメント症候群
	8月16日	西垣 大志	食道ステント
	8月23日	鷲崎 郁之	高齢者の骨折(下肢)～大腿骨頸部骨折～
	8月30日	石川 昂央	第6回日本アクセス研究会 実技研修会報告会
	9月6日	金城 太貴	新規抗凝固療法時代を迎えて
	9月13日	親川 格	Modified DSAEK using OVD in hypotonic eye with filtering surgery
	9月20日	仲本 学	H.pylori 除菌療法
	9月27日	西原 実	第16回肝胆膵内視鏡下手術勉強会
	10月4日	菅谷 明子	働き方改革:医療従事者の勤務環境の改善について
	10月11日	秋元 芳典	Cardio-Oncology 現状と課題
	10月18日	喜久本 藍	母体保護法
	10月25日	折田 均	糞線虫症～基礎と臨床～
	11月1日	嘉川 春生	前立腺癌の診断と治療
	11月15日	仲舩 拓	急性腹症を主訴に発症した成人発症の Henoch-Schönlein 紫斑症の一例
	11月22日	小橋川 裕司	白内障手術の合併症であるデスメ膜剥離から回復した3例
11月29日	松元 悟	久米島の方言(謝名堂)	
12月6日	崎原 徹裕	沖縄県北部の河川でレジャー後に発症したレプトスピラ症10例の検討	
12月13日	新垣 珠代	がんリハビリテーション(研修会)	
12月20日	島袋 泰	デキサメタゾンの術後悪心・嘔吐予防効果	
12月27日	比嘉 浩太郎	人工膝関節置換後の結核感染の1例	
2018年 (H30)	1月10日	石嶺 伝羽	火災
	1月17日	嘉陽 安美子	気胸
	1月24日	平良 志子	インフルエンザ
	1月31日	菅野 善一郎	脳機能でみる指導・教育論
	2月7日	石川 樹	薬物中毒
	2月14日	奥島 憲彦	嚥下困難をきたす食道疾患
	2月21日	山城 謙人	部活動での怪我
	2月28日	国島 知子	侵襲性肺炎球菌感染症の小児例3例
	3月7日	宮城 敬	Adult T-cell Leukemia/Lymphoma
	3月14日	大瀧 昌代	血液疾患に対する自家末梢血幹細胞移植
	3月28日	上笹 航	神経内視鏡手術

院内 CPC (臨床病理検討会)

年月日	演題名	発表者	担当者
2017年6月2日	急性心筋梗塞による多臓器不全の一例	仲本 寛	仲村義一、(琉大)小山寛文、宮城 純
2017年11月29日	成人T細胞白血病・リンパ腫(ATLL)の一部検例	嘉陽 安美子	狩俣かおり、(琉大)小山寛文、(琉大)青山 肇、宮城 純
2018年2月14日	アルコール性肝硬変に合併したCCCの一例	林 絹子	佐久川 廣、(琉大)新垣和也、宮城 純
2018年2月27日	分娩時胎児(新生児)死亡の一部検例	仲本 正哉	大西 勉、(琉大)小山寛文、久場良也
2018年3月19日	陳旧性心筋梗塞による心不全で循環不全に陥り亡くなった一例	宮崎 優樹	秋元芳典、(琉大)新垣和也、宮城 純
2018年3月27日	成人T細胞白血病・リンパ腫(ATLL)の一部検例	山城 謙人	宮城 敬、(琉大)仲地里織、宮城 純

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	
火曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 画像診断ミニレクチャー
水曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 Journal Clab (全医師対象)
木曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 基礎的手技&ケースカンファレンス
金曜日	8:00～8:15 ミニ救急症例検討会	8:15～8:45 基礎研修

画像診断ミニレクチャー

(毎週火曜日 午前8:15～8:45 医局にて)

呼吸器内科					
胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	4月11日	4月18日	4月25日	5月9日	5月16日
担当医	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦
循環器					
心電図	正常	徐脈性不整脈	頻脈性不整脈	虚血性心疾患	房室ブロック
日付	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日
担当医	三戸正人	三戸正人	三戸正人	三戸正人	三戸正人
外科					
腹部画像	正常	腹部外傷	肝・胆のう疾患	脾疾患	腸管
日付	6月27日	7月4日	7月11日	7月18日	7月25日
担当医	西原 実	西原 実	西原 実	西原 実	西原 実
整形外科					
骨単純(骨折・脱臼)	上肢	下肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	9月5日	9月12日	9月19日	9月26日	10月3日
担当医	渡慶次 学	松田 英敏	屋比久博己	渡慶次 学	渡慶次 学
放射線科					
診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日
担当医	高良 誠	高良 誠	高良 誠	高良 誠	高良 誠
脳神経外科					
頭部画像	正常	脳出血	SAH・硬膜下出血	脳梗塞	脳腫瘍
日付	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日
担当医	末吉健次	上笹 航	上笹 航	上笹 航	末吉健次

呼吸器内科					
胸部CT	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍	縦隔腫瘍
日付	1月9日	1月16日	1月23日	1月30日	2月6日
担当医	新垣珠代先生	新垣珠代	新垣珠代	新垣珠代	新垣珠代
放射線科					
シンチ	骨シンチ	Gaシンチ	心筋シンチ	出血シンチ	肺血流シンチ
日付	2月13日	2月20日	2月27日	3月6日	3月13日
担当医	高良 誠	高良 誠	高良 誠	高良 誠	高良 誠

基礎的手技（毎週木曜日 午前 8:15～8:45 医局にて）

内容	日付	担当	講師・担当医
Common disease (基本的な問診の流れ)	4月13日	研修医	仲本 寛
Common disease (基本的な手技)	4月24日	研修医	宮崎優樹
Common disease	4月27日	研修医	仲本正哉
熱中症・低体温	5月11日	研修医	林 絹子
高血糖緊急症・低血糖	5月18日	研修医	大山恵理子
急性呼吸不全 ALI/ARDS	5月25日	研修医	林 絹子
喘息発作	6月1日	研修医	太田 沙也加
高血圧緊急症	6月8日	研修医	太田 沙也加
吐血・下血	6月15日	研修医	宮崎 優樹
急性冠症候群	6月22日	研修医	仲本 寛
Medical Control について	6月29日	救急	銘苅 正
心エコー・RUSH プロトコール	7月6日	循環器	三戸正人
大動脈解離	7月13日	循環器	三戸正人
中心静脈カテーテルの挿入方法・中心静脈圧の測定方法	7月20日	麻酔科	島袋 泰
導尿・尿道カテーテルの挿入方法	8月7日	泌尿器科	嘉川春生
消毒と縫合	8月3日	外科	国吉史雄
外来における緊急止血方法	8月10日	外科	国吉史雄
グラム染色の検鏡所見	9月7日	呼吸器	仲吉博亮
腰椎穿刺の実際	9月14日	麻酔科	釜野武志
形成外科的縫合①	9月21日	形成外科	東盛貴光
輸血の適応	9月28日	血液内科	宮城 敬
救急外来における鼻出血止血方法	10月5日	耳鼻科	比嘉麻乃
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ挿入方法と胃洗浄	10月12日	外科	阿嘉先生
耳鏡の見方と異物除去（鼻腔・耳腔・咽頭・気管）	10月19日	耳鼻科	比嘉麻乃
骨折と福木固定	10月30日	整形外科	比嘉浩太郎
直腸診・肛門鏡の取り扱い	11月2日	外科	阿嘉裕之
機械的人工呼吸方法	11月9日	呼吸器	普天間光彦
動脈ラインのとり方と圧測定の方法	11月16日	麻酔科	嘉手苅由梨
形成外科的縫合②	11月30日	形成外科	東盛貴光
形成外科的縫合③	12月18日	形成外科	東盛貴光
骨髄穿刺および生検方法	12月14日	血液内科	狩俣かおり
眼底の見方とその所見	12月21日	眼科	親川 格
緊急ペースメーカー挿入と設定の仕方	1月11日	循環器	三戸正人
腹腔臓器破裂・損傷	1月18日	外科	花城直次
緊急透析の判断と適応	1月25日	人工透析内科	菅谷明子
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2月1日	呼吸器	普天間光彦
切開とドレナージ	2月8日	外科	西垣先生
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2月15日	救急	銘苅 正
眼内異物と眼外傷	2月22日	眼科	親川 格
内視鏡（GF・CF）の適応とその前処置（緊急内視鏡）	3月1日	消化器	仲本 学
スワガツカテーテルの適応とその解釈	3月8日	循環器	三戸正人
気管支鏡の適応とその前処置	3月15日	呼吸器	新垣珠代

ケースカンファレンス (毎週金曜日 午前 8:15 ~ 8:45 医局にて)

内容	日付	担当	講師・担当医
Common disease ①	4月14日	研修医	太田 也加
Common disease ②	4月21日	研修医	仲本正哉
Common disease ③	4月28日	研修医	林 絹子
アナフィラキシーショック・ショックの鑑別	5月12日	研修医	大山恵理子
敗血症	5月19日	研修医	大山恵理子
抗生剤の使い方	5月26日	呼吸器	仲吉博亮
急性心不全	6月2日	研修医	仲本 寛
除脈・頻脈	6月9日	研修医	宮崎 優樹
急性中毒	6月16日	研修医	仲本 正哉
頭痛	6月23日	脳外科	末吉健次
気胸	7月3日	呼吸器	新垣珠代
脊髄損傷について	7月7日	整形外科	比嘉浩太郎
裂傷・刺傷・挫創	7月14日	外科	西垣大志
心不全と ACS	7月21日	研修医	仲本 寛
子宮外妊娠・救急で見る産婦人科疾患	7月28日	産婦人科	喜久本 藍
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	8月4日	耳鼻科	比嘉麻乃
漢方治療①	8月25日	呼吸器	仲吉博亮
漢方治療②	9月1日	呼吸器	仲吉博亮
肺炎	9月8日	呼吸器	普天間光彦
認知症①	9月15日	心療内科	菅野善一郎
多発骨折	9月22日	整形外科	鷺崎郁之
甲状腺機能亢進症 ※クリニックにて 土曜日 8:15 ~	9月30日	DM	山本壽一
認知症②	10月6日	心療内科	菅野善一郎
急性腹症・消化管穿孔	10月13日	外科	宮平 工
肺血栓塞栓症	10月20日	循環器	三戸正人
尿管結石の救急	10月27日	泌尿器科	喜久山 明
急性肝炎	11月20日	消化器	佐久川 廣
急性膵炎	11月17日	血液内科	宮城 敬
出血傾向・DIC	11月25日	血液内科	宮城 敬
DKA・HHNC	12月1日	人工透析内科	菅谷明子
脳血管障害	12月8日	脳外科	上笹 航
救急でみる眼科疾患	12月15日	眼科	親川 格
喀血	12月25日	呼吸器	新垣珠代
多発性外傷	1月12日	外科	国吉史雄
せん妄	1月19日	心療内科	菅野善一郎
高カルシウム血症	1月26日	人工透析内科	菅谷明子
見落としやすい骨折	2月2日	整形外科	渡慶次 学
腰痛	2月9日	整形外科	比嘉浩太郎
胆石・胆嚢炎・胆管炎	2月16日	消化器	柴田大介
アレルギー	2月23日	小児科	崎原徹裕
卵巣捻転	3月2日	産婦人科	喜久本 藍
痛風発作	3月9日	整形外科	屋比久博己
腎臓内科症例	3月16日	腎臓内科	張 同輝

外部講師による教育回診

教育回診	主訴	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (66 歳男性 上腹部痛・嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2017 年 4 月 20 日	仲本正哉、宮崎優樹、嘉陽安美子、石川樹、山城謙人、平良志子、石嶺伝羽、院外研修医 1 名、医学生 6 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (20 歳女性 右下腹部痛)	群星沖縄プロジェクト	2017 年 5 月 18 日	院外研修医、宮崎優樹、太田沙也加、林絹子、大山恵理子、石嶺伝羽、石川樹、嘉陽安美子、山城謙人、平良志子、院外研修医 1 名、医学生 7 名

教育回診	主訴	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (41 歳 男性 胸痛・冷汗・嘔気)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 6 月 13 日	嘉陽安美子、仲本正哉、大山恵理子、太田沙也加、宮崎優樹、院外研修医 2 名、医学生 4 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (41 歳 女性 腹痛・嘔吐)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 6 月 20 日	石川樹、嘉陽安美子、石嶺伝羽、平良志子、太田沙也加、大山恵理子、仲本正哉、宮崎優樹、院外研修医 2 名、医学生 7 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (28 歳 女性 呼吸困難感・胸痛・嘔吐)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 7 月 6 日	石嶺伝羽、石川樹、嘉陽安美子、平良志子、大山恵理子、仲本寛、医学生 4 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (79 歳 男性 発熱・咳嗽・倦怠感)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 7 月 20 日	平良志子、石川樹、石嶺伝羽、大山恵理子、仲本寛、医学生 3 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (87 歳 男性 呼吸苦)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 8 月 17 日	石川樹、石嶺伝羽、平良志子、山城謙人、院外研修医 1 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (24 歳 男性 3 日前からの発熱、嘔気)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 9 月 7 日	石嶺伝羽、平良志子、山城謙人、院外研修医 2 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (59 歳 女性 発熱・意識障害)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 9 月 21 日	山城謙人、石嶺伝羽、嘉陽安美子、平良志子、仲本寛、仲本正哉、院外研修医 1 名、医学生 4 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (84 歳 男性 呼吸苦)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 10 月 5 日	平良志子、石嶺伝羽、山城謙人、仲本正哉、太田沙也加、宮崎優樹、院外研修医 2 名、医学生 4 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (34 歳 女性 発熱、腹痛)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 10 月 19 日	嘉陽安美子、山城謙人、石嶺伝羽、平良志子、太田沙也加、仲本正哉、宮崎優樹、院外研修医 2 名、医学生 3 名
米国ミシガン大学内科アシスタントプロフェッサー Dr. Petrilli 【Specialties: Internal Medicine, Hospitalist Area of Practice: Value-based Healthcare, Perioperative Medicine, Quality Improvement, Patient Safety】による教育回診	症例検討 (97 歳 女性 心窩部痛)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 11 月 14 日	石川樹、石嶺伝羽、嘉陽安美子、平良志子、山城謙人、太田沙也加、仲本寛、院外研修医 1 名、医学生 9 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (91 歳 女性 左口角下垂、左半身マヒ、右共同偏視、呂律難)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 11 月 30 日	山城謙人、嘉陽安美子、石嶺伝羽、平良志子、医学生 6 名
一般社団法人群星沖繩臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (93 歳 女性 腹痛)	群星沖繩プロジェクト	2017 年 12 月 21 日	糸数優樹 (琉大1)、石川樹、石嶺伝羽、嘉陽安美子、平良志子、山城謙人、大山恵理子、仲本寛、医学生 4 名
米国ミシガン大学内科アシスタントプロフェッサー Dr. Saint 【Specialties: Internal Medicine, Hospitalist Area of Practice: Value-based Healthcare, Perioperative Medicine, Quality Improvement, Patient Safety】による教育回診	症例検討 (87 歳 男性 心窩部痛)	群星沖繩プロジェクト	2018 年 1 月 10 日	石川樹、石嶺伝羽、嘉陽安美子、平良志子、山城謙人、太田沙也加、大山恵理子、林絹子、院外研修医 2 名

教育回診	主訴	主催	実施日	参加者
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (54 歳男性 咽頭痛、食欲低下)	群星沖縄プロジェクト	2018 年 2 月 1 日	平良志子、山城謙人、嘉陽安美子、石嶺伝羽、石川樹、大山恵理子、太田沙也加、仲本正哉、宮崎優樹、林絹子、院外研修医 1 名、医学生 4 名、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (59 歳女性 めまい、頭痛)	群星沖縄プロジェクト	2018 年 2 月 15 日	山城謙人、嘉陽安美子、平良志子、大山恵理子、宮崎優樹、林絹子、院外研修医 1 名、医学生 5 名、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (43 歳男性 前日夜からの心窩部痛)	群星沖縄プロジェクト	2018 年 3 月 5 日	嘉陽安美子、石川樹、平良志子、山城謙人、仲本正哉、宮崎優樹、林絹子、医学生 5 名、看護師 1 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討 (62 歳男性 発熱、発疹)	群星沖縄プロジェクト	2018 年 3 月 15 日	石川樹、山城謙人、平良志子、太田沙也加、大山恵理子、仲本寛、宮崎優樹、院外研修医 1 名、仲吉博亮先生、新垣珠代先生、医学生 5 名

外部講師による研修会・講演会

講師	演題	実施日	参加者
社会医療法人敬愛会 副院長、感染症内科・総合内科部長 新里敬先生による感染症勉強会	「感染症総論」	2017 年 6 月 8 日	参加者 13 名【1 年目研修医 5 名、2 年目研修医 3 名、後期研修医 3 名、上級医 1 名、指導医 1 名】
福井大学医学部附属病院救急総合診療部 教授 林寛之先生による講演会	「おーっ！嘔吐患者におーとせよ！」	2017 年 7 月 6 日	参加者 129 名【院内職員(研修医含む) 109 名、院外 20 名】
社会医療法人敬愛会 副院長、感染症内科・総合内科部長 新里敬先生による感染症勉強会	「抗菌薬の選び方・使い方」	2017 年 7 月 19 日	参加者 17 名【1 年目研修医 5 名、2 年目研修医 2 名、後期研修医 1 名、指導医 1 名、コメディカル 8 名】
前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 副部長 小倉崇以先生による講演会	「ECMO の過去、現在、未来～症例から学ぶ ECMO のノウハウ～」	2017 年 12 月 21 日	参加者 46 名【院内職員(研修医含む) 34 名、院外 12 名】

研修医学会発表

2 年目研修医 (13 期生)

学会名 (開催場所)	日時	タイトル	発表者と研究者
第 103 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 (福岡)	2017 年 5 月 19 日～20 日	胃食道逆流による食道狭窄に内視鏡的拡張術を行った一例	宮崎優樹、奥島憲彦、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、髙原裕夫、宮平工、西原実
第 20 回日本臨床救急医学会総会・学術集会 (東京)	2017 年 5 月 27 日～28 日	電撃傷による難治性心室細動へ ECMO を用いて、救命に成功した一例	太田沙也加、三戸正人
第 15 回日本ヘルニア学会学術集会 (東京)	2017 年 6 月 2 日～3 日	成人女性の鼠径ヘルニアに対する Neelescopic surgery としての LPEC 法の治療成績	仲本正哉、髙原裕夫、西原実、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、奥島憲彦
第 123 回沖縄県医師会医学会総会 (研修医部門推薦)	2017 年 6 月 11 日	Basedow 病と 1 型糖尿病の合併	林絹子、山本壽一、菅谷明子、張同輝
第 123 回沖縄県医師会医学会総会	2017 年 6 月 11 日	再発難治性マントル細胞リンパ腫に対するイブルチニブの使用経験	大山恵理子、狩俣かおり、山入端敦、大瀧昌代、宮城敬、友寄毅昭
第 123 回沖縄県医師会医学会総会	2017 年 6 月 11 日	胃食道逆流による食道狭窄に内視鏡的拡張術を行った一例	宮崎優樹、奥島憲彦、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、髙原裕夫、宮平工、西原実

学会名(開催場所)	日時	タイトル	発表者と研究者
第 123 回沖縄県医師会医学会総会	2017 年 6 月 11 日	PTP 誤飲により回腸穿通をきたした一例	太田沙也加、宮平工、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、高原裕夫、西原実、奥島憲彦
第 71 回日本食道学会学術集会(長野)	2017 年 6 月 15 日～16 日	リンパ節再発による気道閉塞に対し、V-V ECMO を使用して気管ステントを挿入した一例	仲本正哉、奥島憲彦、尾下陽大、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、西原実
第 71 回日本食道学会学術集会(長野)	2017 年 6 月 15 日～16 日	20 歳代女性の食道粘表皮癌の 1 例	仲本寛、奥島憲彦、国吉史雄、尾下陽大、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、西原実、青山肇
第 122 回日本循環器学会九州地方会(福岡)	2017 年 6 月 23 日～25 日	85 歳以上の超高齢者の急性心筋梗塞患者への PCI 後の予後	太田沙也加、仲村義一、三戸正人、秋元芳典、與座一
第 122 回日本循環器学会九州地方会(福岡)	2017 年 6 月 23 日～25 日	心電図伝送システムによる循環器内科医の負担軽減	仲本寛、三戸正人、仲村義一、秋元芳典、與座一
第 79 回日本血液学会学術集会(東京)	2017 年 10 月 20 日～22 日	Mogamulizumab 世代における ATL の治療成績；沖縄県単一施設における解析	大山恵理子、狩俣かおり、山入端敦、大瀨昌代、宮城敬、友寄毅昭
第 45 回日本救急医学会総会・学術集会(大阪)	2017 年 10 月 24 日～26 日	致命的と思われた喘息重責発作に対して ECMO を用いて救命した一例	太田沙也加、三戸正人、銘苅正
第 319 回日本内科学会九州地方会(福岡)	2017 年 10 月 28 日～29 日	Press through package (以下、PTP) 誤飲による回盲部穿通・膿瘍形成の一例	仲本正哉、仲村義一、三戸正人、秋元芳典、與座一、宮平工
第 37 回日本臨床麻酔科学会(東京)	2017 年 11 月 3 日～5 日	リドカインアレルギーが疑われた無痛分娩患者の一例	太田沙也加、嘉手苅由梨、釜野武志、島袋泰、久場良也
第 79 回日本臨床外科学会総会(東京)	2017 年 11 月 24 日～25 日	PTP 誤飲により腹膜炎をきたした 2 例	太田沙也加、宮平工、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、西原実、梁英樹、高原裕夫、奥島憲彦
第 123 回日本循環器学会九州地方会(福岡)	2017 年 12 月 1 日～2 日	重症虚血肢へバイパス術と血管内治療を行い TcpO ₂ で有効な血流改善を確認できた一例	仲本寛、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第 124 回沖縄県医師会医学会総会(研修医部門推薦)	2017 年 12 月 10 日	造影剤投与に起因するアナフィラキシーにより喉頭浮腫をきたした一例	仲本正哉、三戸正人、銘苅正

1 年目研修医 (14 期)

学会名(開催場所)	日時	タイトル	発表者と研究者
第 124 回沖縄県医師会医学会総会	2017 年 12 月 10 日	診断に苦慮した感染性大動脈瘤の一例	石嶺伝羽、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第 124 回沖縄県医師会医学会総会	2017 年 12 月 10 日	急性発症した PBC-AIH overlap 症候群の一例	平良志子、仲舂拓、柴田大介、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣
第 124 回沖縄県医師会医学会総会	2017 年 12 月 10 日	Facklamia hominis を起因菌とした肺炎の 2 症例	山城謙人、仲吉博亮、新垣珠代、普天間光彦

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第 13 期生 (平成 28 年 4 月 1 日～)

(左より)

- 宮崎 優樹 (琉球大学卒)
- 仲本 正哉 (琉球大学卒)
- 仲本 寛 (琉球大学卒)
- 太田 沙也加 (琉球大学卒)
- 大山 恵理子 (琉球大学卒)
- 林 絹子 (京都府立大学卒 /
平成 28 年 10 月入職)



林 絹子

医師卒後臨床研修 第 14 期生 (平成 29 年 4 月 1 日～)

(左より)

- 石川 樹 (琉球大学卒)
- 平良 志子 (琉球大学卒)
- 嘉陽 安美子 (琉球大学卒)
- 山城 謙人 (琉球大学卒)
- 石嶺 伝羽 (琉球大学卒)



研修風景

Dr.Petrilli 教育回診



クリスマス回診（呼吸器内科）



救急科研修



形成縫合レクチャー



徳田先生教育回診



第13期修了式



各科概要・実績

内 科

ハートライフ病院の内科は、内科初診担当 1 名、呼吸器 3 名、循環器 4 名、消化器 7 名、血液 5 名、腎臓内科 1 名の体制です。それぞれの専門分野において、県内でトップレベルの診療をしております。一方で、循環器内科医が救急総合診療部の診療を兼任で行っており、幅広い疾患に対応しています。また、当院は県内に 7 病院しかない内科学会の認定教育施設になっております。

内科系の詳細なデータは、各専門内科ページをご参照ください。

二次精査件数

他医療機関からの二次精査の紹介患者数 [※]	1,409
ハートライフ病院の予防医学センターからの紹介で2次精査として当院を受診した患者数 [※]	1,914

※診療科にかかわらず、すべての患者を含みます。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MC と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 13 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時から放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

(平成 28 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
呼吸器内科部長 7 階病棟医長 医局長 <専門外来>睡眠 時無呼吸症候群 (SAS) 外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	
	新垣 珠代	呼吸器内科一般	
	仲吉 博亮	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医

検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	61

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	935 名

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
挿管・人工呼吸器管理を要した気管支喘息の 4 症例	第 123 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2017 年 6 月 11 日	新垣珠代、仲吉博亮、普天間光彦
Facklamia hominis を起因菌とした肺炎の 2 症例	第 124 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2017 年 12 月 10 日	山城謙人、仲吉博亮、新垣珠代、普天間光彦
前立腺炎を契機に発症し診断と治療に苦慮した感染症心内膜症の 1 例	第 320 回内科学会九州地方会	福岡県	2018 年 1 月 20 日	仲吉博亮、新垣珠代、普天間光彦、牟田宏樹、菅谷明子（ハートライフ病院）、摩文仁克人、久貝忠男（南部医療センター心臓血管外科）

年度総括



呼吸器内科部長
普天間 光彦

平成 29 年度は年間 730 名ほどの入院患者の診療を行い、61 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広め、県医学会や日本内科学会九州地方会で演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。



循環器内科

循環器内科は、現在5名の医師が循環器全般の診療を行なっております。高血圧、脂質異常症、動脈硬化症による心筋梗塞、狭心症、閉塞性動脈硬化症に対する予防と侵襲的な治療や心不全に対する予防と治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療等を行っています。また、頻脈性不整脈に対する治療として薬物治療に加えカテーテルアブレーションも施行できるようになりました。静脈血栓症などに対する処置も行っており、循環器が扱う疾患のほとんどは対処可能です。

医師が増えた事により救急の体制も整い、緊急でのカテーテル治療や体外循環等も導入可能で、致死性の心室細動に対するV-AECMOの導入などで救命できる患者さんも増えております。

今後は機器の充実も行い、より重症な患者様の救命に貢献できる様に努力したいと考えています。

医師プロフィール

(平成29年9月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
循環器内科部長	與座 一	一般循環器内科	
循環器内科副部長	秋元 芳典	一般循環器内科	日本循環器学会専門医 日本医師会認定産業医 日本内科学会総合内科専門医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、 スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医
循環器内科医長	仲村 義一	一般循環器内科	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医
	金城 太貴	不整脈、一般循環器、 総合内科、集中治療	日本内科学会認定内科医
<専門外来>不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
ペースメーカークリニック患者数	-	226	221	222	255	308

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
冠動脈CT	412	467	508	515	443	450
トレッドミル	85	69	82	52	36	48
ホルター心電図	176	187	232	236	203	225
心筋シンチ	149	106	140	110	57	59
経胸壁心エコー	2,827	2,778	2,796	2,605	2516	2508
経食道心エコー	34	22	24	28	29	48

治療件数一覧

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
経皮的冠血行再建術(PCI)	124	125	158	116	127	133
ペースメーカー植込み術	10	21	9	25	21	26
電池交換	6	5	2	2	3	2
一時的ペースメーカー	5	10	9	16	11	9

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
IABP	7	10	9	6	9	9
PCPS	1	4	2	6	8	4
下大静脈フィルター	2	0	7	2	2	2
末梢血管拡張術 (PPI)	7	7	17	57	103	116

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
心電図 1 枚で診断できる心筋梗塞の精度	第 114 回日本内科学会	東京都	2017 年 4 月 15 日	三戸正人、仲村義一、秋元芳典、與座一
85 歳以上の超高齢者の急性心筋梗塞患者への PCI 後の予後	第 122 回日本循環器学会九州地方会	福岡	2017 年 6 月 23 日～25 日	太田沙也加、仲村義一、三戸正人、秋元芳典、與座一
心電図伝送システムによる循環器内科医の負担軽減	第 122 回日本循環器学会九州地方会	福岡	2017 年 6 月 23 日～25 日	仲本寛、三戸正人、仲村義一、秋元芳典、與座一
Press through package (以下、PTP) 誤飲による回盲部穿通・膿瘍形成の一例	第 319 回日本内科学会九州地方会)	福岡	2017 年 10 月 28 日～29 日	仲本正哉、仲村義一、三戸正人、秋元芳典、與座一、宮平工
重症虚血肢へバイパス術と血管内治療を行い TcpO2 で有効な血流改善を確認できた一例	第 123 回日本循環器学会九州地方会	福岡	2017 年 12 月 1 日～2 日	仲本寛、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
診断に苦慮した感染性大動脈瘤の一例	第 124 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2017 年 12 月 10 日	石嶺伝羽、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一

年度総括



循環器内科副部長
秋元 芳典

平成 29 年度は、與座一、秋元芳典、三戸正人、仲村義一の 4 人に加え、東京の心臓血管研究所にて不整脈の研修をしていた金城太貴が戻り、心臓血管研究所の不整脈の医師と共にカテーテルアブレーションが始まっております。ここ数年の動向を見ていると、急性心筋梗塞や狭心症にて経皮的冠動脈形成術 (PCI) を受ける患者さんは横ばいの状態です。周りに同治療を行う施設があることや、最近のステント、バルーンの開発で再狭窄がほとんど見られなくなりました。また、薬剤の進歩やエビデンスの蓄積もあり、二次予防が確立されてきたこともあります。

そんな中で今後治療として増えることが期待できるものの中にカテーテルアブレーションがあります。PSVT と言われる上室性の不整脈に加え、心房細動のアブレーションが盛に施行されるようになりました。治療法も確立されてきており、安全に治療ができるようになっております。今後、期待できる治療法と考えます。また、閉塞性動脈硬化症による下肢動脈の狭窄や閉塞に対する経皮的動脈形成術も増えております。下肢動脈の治療については仲村先生を中心に研修に行ってください治療を行っております。足の救済は予後に関わることであり、形成外科の先生とともに協力しながらさらに治療を進めていきたいと思っております。

今後、高齢化が進むにつれて心不全が増えると考えられています。また、糖尿病も増えており色々な病気を持った心不全患者さんが増加します。薬剤の進化もあり治療方法が増えていますが、それ以上に心不全に対してはリハビリテーションが重要と考えております。スタッフの充実や教育の成果もあり、現在当院の心臓リハビリテーションに通う患者さんが増えております。それに伴い再入院は減っているデータもあります。今後はさらにリハビリや患者さんの背景を考えた治療を行い、患者さんの ADL を考えた治療を行って行きたいと考えております。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医
内視鏡センター長 <専門外来> 胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来 (機能性消化管疾患)、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
内視鏡センター副センター長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療 (ESD)	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医
消化器内科医長	柴田 大介	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医
	小橋川 ちはる	消化管疾患の診断・治療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	仲舛 拓	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H28 年度	H29 年度
胃内視鏡	8,169	8,439	8,947	9,586	9,971	10,316
大腸内視鏡	2,471	2,663	2,860	3,052	3,020	2,969
ERCP	91	140	161	134	115	122

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管 (内訳)	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度	H29 年度
止血術	70	42	45	44	45	43
EMR	13	20	18	4	11	15
EVL	21	28	25	23	53	39
EIS	29	9	8	10	11	12
異物摘出術	13	10	12	16	10	6
粘膜下層切開剥離術(ESD)	19	14	22	27	17	17

下部内視鏡 (内訳)	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度	H 28 年度	H29 年度
EMR	272	280	331	355	409	310
止血術	14	11	11	14	18	17

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
免疫抑制剤終了後1年以上経過してからのHBV再活性化の1症例の検討	第123回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2017年6月11日	柴田大介、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣、宮城敬
長期生存中の悪性腹膜中皮種の1例	第55回日本癌治療学会学術集会	神奈川県	2017年10月21日	仲本学、仲舩拓、柴田大介、小橋川ちはる、宮城純、折田均、佐久川廣
当院におけるNAFLDの長期予後に関する検討	第110回日本消化器病学会九州支部例会	沖縄県	2017年11月17日	柴田大介、仲舩拓、小橋川ちはる、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣、城間丈二
血清学的異常所見に乏しかった抗ミトコンドリア抗体陰性原発胆汁性胆管炎の1例	第110回日本消化器病学会九州支部例会	沖縄県	2017年11月17日	仲舩拓、佐久川廣、折田均、宮城純、仲本学、小橋川ちはる、柴田大介(ハートライフ病院)、青山肇(琉球大学附属病院腫瘍病理)
急性発症したPBC-AIH overlap症候群の1例	第124回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2017年12月10日	平良志子、仲舩拓、柴田大介、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣

肝臓内科

文：ハートライフ病院 副院長 兼 内科部長 佐久川 廣

肝臓内科は 2 名（佐久川 廣、柴田大介）の肝臓専門医で主に診療を行っております。平成 29 年度から消化器内科専門医を目指す 2 名（仲舛 拓、林 貴徳）が肝臓疾患の診療に積極的に参加しています。

肝臓内科は肝臓疾患全般の診療を行っていますが、その中で重点的に取りこんでいるのが、B 型、C 型肝炎ウイルス性肝疾患に対する抗ウイルス療法、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）の診断と治療、肝癌の局所療法です。更に平成 29 年度は肝炎コーディネーターの協力を得て、肝炎ウイルス陽性者の拾い上げと追跡調査を行っています。

C 型慢性肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス療法は、日本において 1992 年頃から行われるようになりました。当初、インターフェロンによる治療が中心でしたが、インターフェロンは副作用が強く、高齢者には使用しにくい薬剤でした。2014 年から、直接作用型抗ウイルス剤（DAA 製剤）が保険適用になり、C 型慢性肝炎、肝硬変の治療成績は飛躍的に改善しました。当院でも 2014 年度から DAA 製剤による治療を 50 例以上に実施しており、95% 以上が治癒しています。

沖縄県は肥満の割合が全国で最も高く、肥満に関連した肝疾患である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）が増加傾向にあります。NASH の診断は肝生検を必要としますので、肝臓内科では肝生検を積極的に行っています。平成 29 年度の肝生検数は 69 件で、その中で NASH と診断した症例は 25 例でした。NASH の治療は食事療法や運動療法が基本ですので、栄養師に介入してもらい、食事指導を積極的に行っています。また、糖尿病のコントロールの悪化により、NASH が悪化する症例も多いため、ハートライフクリニックの糖尿病内科と連携して診療しています。

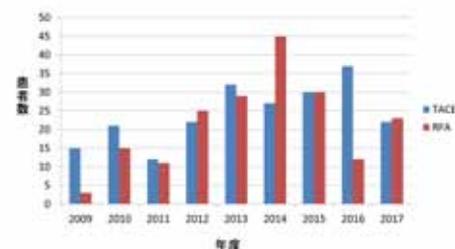
2006 年から当院で診断された肝硬変患者さんは 631 名です。これらの患者さんを成因別に分類しますとアルコール性が最も多く、全体の 46% を占め、C 型が 19%、原因不明が 18.5% で、B 型が 8.2% です。原因不明と分類される患者の多くが肥満や糖尿病を合併しており、NASH から肝硬変に進行したと思われる症例です。更に肝硬変患者さんを 2010 年以前に診断された症例と 2011 年以降に診断された症例に分けますと、2011 年以降では、アルコール性肝硬変の割合が更に増加し、全体の 53.7% を占めます。更に肥満関連肝硬変と合わせますと 70% 以上が飲酒や肥満といった生活習慣に関連する疾患に分類されます（図 1）。

当院において肝癌は増加傾向にあり、肝臓内科では肝癌の局所療法を積極的に行っています。図 2 は琉球大学医学部附属病院がんセンターがまとめた沖縄県内のがん登録データにおける施設別肝癌症例数ですが、当院は県内で最も多くの肝癌患者を診療している施設になっています。また、図 3 に当院での新規肝硬変、肝癌症例数を示しますが、新規肝癌患者数は 2013 年以降、それ以前と比較して明らかに増加しています。



肝臓内科では肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼術を積極的に行っています。肝動脈化学塞栓療法は放射線科の高良医師と共同で行っており、平成 29 年度は 22 例に実施しました。肝動脈化学塞栓療法の実施件数は 2012 年度から増加傾向にあり、その数は沖縄県内で最も多くなっています。一方、ラジオ波焼灼術は 2015 年度まで城間丈二医師が中心となって行っておりましたが、城間医師が 2016 年 4 月に開業したことで、昨年度の実施件数は減少しました。しかしながら、本年度は柴田大介の頑張りにより症例数が 11 名増加しました（図 4）。

図 4 肝癌に局所療法(TACE, RFA)施行件数の推移



肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼術を施行した患者さんは中部や南部医療圏のみでなく、北部や宮古、八重山からの紹介も増えてきています。沖縄県において、今後 60 歳以上のいわゆる癌年齢の人口が増加するため、肝癌は増加するものと思われます。また、当院を含めて沖縄県は B 型や C 型肝炎ウイルスが原因の肝癌の割合が低く、アルコール性や NASH が原因のいわゆる非 B 非 C 肝癌の占める割合が多いという特徴があります。更にこの傾向は 2011 年以降顕著になっています（図 5）。人口の高齢化と生活習慣病の増加により肝癌が増加すると思われ、肝癌の局所療法は今後も増えることが予想されます。

図 5 当院における肝癌の成因の推移
(2011 年以降アルコール性や肥満関連肝硬変が増加している)



肝炎ウイルスは血液を介して感染するため術前検査で肝炎ウイルスをチェックすることがルーチン化しています。しかしながら、検査しても陽性者が見逃され、症状がないために放置されることも少なくありません。このような見逃し症例を減らすために多くの施設で肝炎ウイルス陽性者のチェック体制を敷いています。当院でも平成 29 年度から陽性者のチェック体制を強化しました。まず、検査室に依頼して 6 か月分の B 型および C 型肝炎ウイルス陽性者のリストを作成します。次にこれらの症例の中から肝臓内科が関与していない症例を抽出し（肝炎コーディネーターによる）、さらにその中から慢性肝炎や肝硬変が疑われる症例を検索します（肝臓内科医による）。平成 29 年度は B 型および C 型各々 1 名が肝臓外来受診対象者と判定されました。更にその中の 1 例が C 型肝硬変と診断され、抗ウイルス剤の治療を受けました。幸いにも治療が奏功し、ウイルスを消失させることが出来ました。

肝臓内科の診療は病院内の様々なスタッフの協力により成り立っていますが、中でも 5 階病棟看護師、外来看護師、薬剤師、栄養士は診療の良きパートナーです。また、肝癌に対する肝動脈塞栓術は高良医師を始めとする放射線科のスタッフの協力が必要ですし、肝胆膵外科グループには手術を依頼しています。その他にも事務系職員やメディカルクラークのサポートにより、日々の診療が円滑に行われており、今後とも多くの職員の協力を得て、更に診療内容を向上させたいと思います。

年度総括



消化器内科部長
宮城 純

上部消化管内視鏡検査件数は徐々に増加してきており、29年度は1万件を突破しました。内視鏡室の現状では飽和状態と思われます。内視鏡室の拡張や人員の増強等を行えば、今後も増加が見込まれます。

下部消化管内視鏡検査は徐々に増加していましたが27年度に3,000件を突破した後は頭打ちとなっています。平成29年度は「大腸がん早期発見プロジェクト」も開始していますが、下部消化管内視鏡検査の件数が増えていないことからまだ「大腸がん早期発見プロジェクト」の効果は表れていないと思われます。今後さらに啓蒙が必要です。

平成24年2月から、ヘリコバクターピロリの検査・除菌の保険適用疾患の拡大により、ヘリコバクターピロリの検査・除菌療法が急増しました。しかし検査件数は平成29年度は平成28年度を下回りました。今後は現行の件数前後で推移すると思われま

平成30年度目標

- ・ 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
- ・ 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
- ・ 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
- ・ 近隣の病院、医院等からの紹介患者の積極的な受け入れを行います。
- ・ 外科とも緊密に連携し診断・治療を行います。
- ・ 外科とも連携し、近隣の病院、医院等との症例検討会等を継続します。
- ・ 消化器病関連の学会や研究会に更に活発に参加及び発表します。
- ・ 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。平成29年度のスタッフは宮城 敬、狩俣 かおり、大瀧 昌代、山入端 敦の4人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大瀧が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を10床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週1回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

医師プロフィール

(平成29年9月現在)

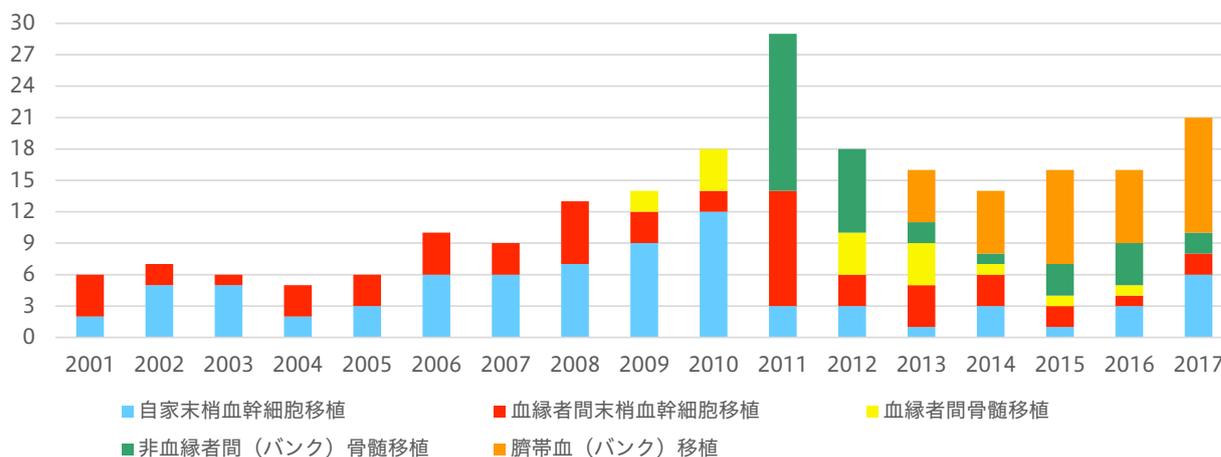
役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科副部長 6階病棟医長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科医長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
	大瀧 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
自家末梢血幹細胞移植	3	1	3	7	3	6
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	3	4	3	2	1	2
同種血縁者間骨髄移植	4	4	1	1	1	0
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	8	2	1	3	4	2
臍帯血移植（臍帯血バンク）	0	5	6	8	7	11
計	18	16	14	21	16	21

ハートライフ病院の造血幹細胞移植数（年次推移）



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
再発難治性マントル細胞リンパ腫に対するイブルチニブの使用経験	第 123 回沖縄県医師会 医学会総会	沖縄県	2017 年 6 月 11 日	大山恵理子、狩俣かおり、山入 端敦、大濱昌代、宮城敬、友寄 毅昭
Mogamulizumab 世代における ATL の治療成績；沖縄県単一施設における 解析	第 79 回日本血液学会学 術集会	東京都	2017 年 10 月 20 日 ～ 22 日	大山恵理子、狩俣かおり、山入 端敦、大濱昌代、宮城敬、友寄 毅昭

年度総括



血液内科副部長
宮城 敬

平成 29 年 4 月より血液内科部長に就任いたしました宮城 敬と申します。おもに成人対象の造血幹細胞移植を行っており、骨髄バンク・さい帯血バンクの認定施設です。移植件数については全体としては横ばいですが、疾患特性から平均入院患者数、延べ入院患者数が多く、在院日数が長い傾向は変わらず、医師の負担が懸念される所です。継続できる医療、安全で質の高い医療を提供できるような人、システムの環境づくりに努力する所存です。今後ともご協力、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

内科年度総括



内科部長・副院長
佐久川 廣

平成 29 年度の内科外来延患者数は 38,632 名で、昨年度と比較して 801 名減少（2%の減少）しました。入院患者数に関しては、新規入院患者数が月平均 319.3 名で、平成 29 年度の目標であった 340 名を下回り、また、前年（337.2 名）と比較して 17.9 名の大幅な減少となりました。しかしながら平均在院日数が長くなった（平成 28 年度 13.1 日→平成 29 年度 13.9 日）ため、病床利用数は平均で 142.7 と前年（143.0）と変わらない結果になりました。また、平成 29 年度の内科の病床利用数の目標は 144 であったことより、それを僅かに下回る（達成率 99%）結果となりました。

当院は救急医療で社会医療法人と認定されており、救急医療の充実が重要と認識されています。平成 29 年度の救急車搬入件数は病院全体で 2952 件であり、そのうち 78% が内科症例でした。また、救急搬入での入院患者数は 1360 名（救急搬入での入院率：46%）で、そのうち 80.9% が内科症例でした。

救急医療は当院にとって重要な分野ですが、病床稼働率を安定させるためには予定入院を増やす必要があります。平成 29 年度の内科退院患者数を年齢階層別に分けて、緊急入院（救急搬送入院を含む）と予定入院患者数を比較すると、緊急入院は高齢者の占める割合が高いことが分かります。グラフからの明らかなように、80 歳代、90 歳代の患者数が多く、緊急入院患者数全体の 52.1% を占めます（図 1）。一方、予定入院は 60～79 歳の年齢層に多く、83% は 80 歳未満です。また、データには示しませんが、80 歳以上の患者さんの平均の日当額は 4 万円代前半で、70 歳代以下の年齢層の平均日当額と比較すると、1 万円以上低下します。日当額の低い患者さんは、専門医療の必要性がない患者さんが多く含まれます。つまり、急性期病院でなくても慢性期や地域包括ケア病棟等で診療することが可能な症例が多いと推測されます。今後はこのような高齢の患者さんを地域全体でどのようにケアしていくか、他施設との連携や話し合いが重要になると思われます。

平成 29 年度の入院と外来を合わせた内科の収益が約 33.5 億でした。病院全体の入院・外来総収益（約 81.9 億）の 40.9% であることを考慮すると高収益部門と評価できます。しかしながら、医業収益と最終利益は必ずしも比例しないことより、原価計算により利益の評価が必要になります。今後は収益を上げながら、医薬品や医療材料のコストを抑えて、より高い利益を目指す必要があります。

内科の診療グループ別には、循環器内科が平成 28 年度と比較して、約 1.2 億円の増収となっており、外来、入院ともに増収となりました。一方、血液内科は、メンバーが 5 名から 4 名に減少したことが大きく影響し、約 2.3 億の減収になりました。消化器内科と呼吸器内科は大きな変動なく、それぞれ、微増でした（図 2）。医師数の増加、減少は収益に大きな影響を及ぼすことより、今後は現在の医師数を最低でも確保しながら、若手を中心に常勤医を増やすことが最重要課題です。

図 1

年齢階層別退院患者数（内科、予定入院と緊急入院）

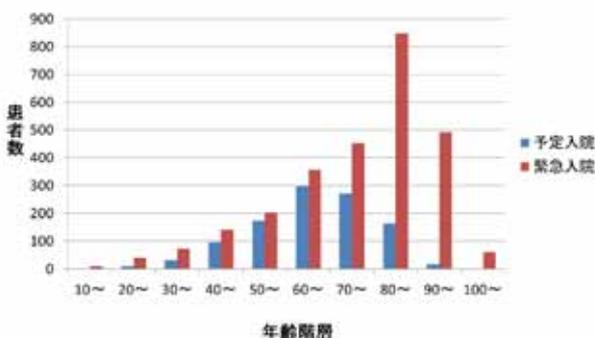
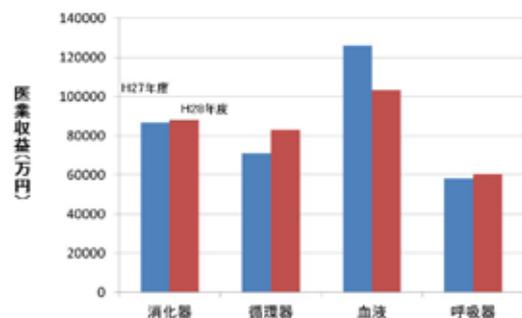


図 2

内科各診療グループ別医業収益（平成28年度と29年度の比較）



小児科

当院小児科では二次病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、3名の医師が連携し感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や1ヶ月健診を行っています。

また二次医療機関としてだけでなく、中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や西原小学校と中城小学校の校医や保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標として活動しています。

平成 27 年 4 月から一年間、あいち小児医療総合センターアレルギー科で研修してきました、崎原徹裕医師が平成 28 年 4 月から小児アレルギー外来を開設し診療を開始しました。小児の食物アレルギーの診断・治療を中心に行っており、ほかにも薬剤アレルギーの診断や、看護師や栄養士と共にアレルギー性皮膚炎等のスキンケアや食事療法指導なども行っています。毎週金曜には入院による食物負荷試験を行っています。

医師プロフィール

(平成 29 年 4 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医 地域総合小児医療認定医
	川満 豊	一般小児科	日本小児科学会専門医
	崎原徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
沖縄県北部の河川でレジャー後に発症したレプトスピラ症 10 例の検討	第 120 回 日本小児科学会学術集会	東京	2017 年 4 月 14 日	崎原徹裕
食物アレルギー診療における抗原特異的 IgE 抗体価の限界と Prediction model の有用性の検討	第 89 回 沖縄小児科学会	沖縄県	2017 年 9 月 10 日	崎原徹裕
アナフィラキシー歴のある鶏卵アレルギー児に対する食物経口負荷試験	第 91 回 沖縄小児科学会	沖縄県	2018 年 3 月 11 日	崎原徹裕
当院で 2017 年度に経験した侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) の 3 例	第 91 回 沖縄小児科学会	沖縄県	2018 年 3 月 11 日	国島知子

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
沖縄県の河川でのレジャー活動で集団発生した小児レプトスピラ症	日本小児科学会雑誌	2017 ; 121 : 1685-1694	崎原徹裕、川満豊、泊弘毅、中馬卓也、松茂良力、国島知子

年度総括



小児科部長
国島 知子

新生児を除いた小児科の総入院患者数は、在院日数の短さ（3.2日/人）や治療退院率の高さを維持しながら、714名でした。入院患者の30%は紹介患者で、73%は3歳未満の小児が占めています。感染性疾患が58%と大半を占めていますが、アレルギー外来開設の影響でアレルギー性疾患の割合が39%と高くなってきています。

また、当院での全出生児の出生児診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じて分娩の立ち会いや、24時間オンコール体制ではありますが、産科医からの要請時に新生児蘇生を行っております。新生児室での病児管理も行っており平成29年度は177名を管理しました。

外来に関しては、クリニックと病院小児科の役割分担を明確にし、クリニック小児科は急性期患者を、病院小児科は慢性患者の定期フォローを行っており、かりゆし会の小児科としての外来患者数は15,382名となっています。

心療内科

当科は医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

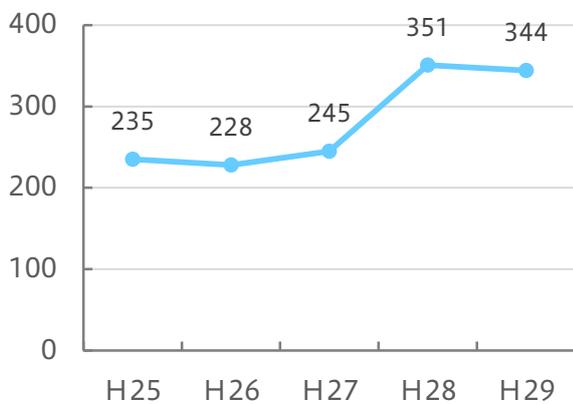
自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

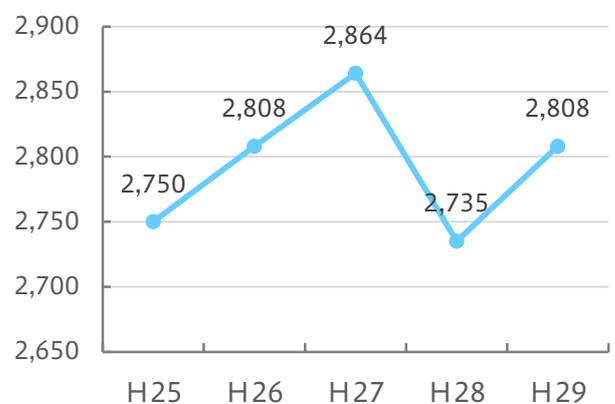
(平成 29 年 4 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科医長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



年度総括



心療内科
菅野 善一郎

心療内科を立ち上げて 8 年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、実績に伴いそれなりに役立っているという自負も育ってきております。

認知症やせん妄への対応も増えており、高齢化社会での精神科医療のニーズを実感しております。

外科

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカラシアの POEM 治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本消化器内視鏡学会専門医
外科系統括部長 外来診療部長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、抗がん剤治療	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、抗がん剤治療、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内視鏡外科学会評議員 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
膵臓外科部長	梁 英樹	膵・胆道外科、消化器外科全般	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本乳癌学会認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
消化器外科部長・ 4 階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
ヘルニアセンター 長	高原 裕夫	小児・成人の鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア（癒痕ヘルニア・臍ヘルニア）	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会専門医 日本小児外科学会指導医
大腸・肛門外科副 部長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど）、便通異常などに対して注射療法	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
乳腺外科副部長	野村 寛徳	乳癌、甲状腺外科、一般外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 検診乳腺エコー読影認定医
	西垣大志		日本外科学会専門医
	国吉 史雄	一般外科	
血管外科	仲栄真 盛保 (非常勤)		日本外科学会専門医 日本脈管学会専門医

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
肺	
胸腔鏡下手術	4
食 道	
POEM 手術	7
食道癌 ESD	8
食道悪性腫瘍手術	6
甲状腺	
甲状腺良性腫瘍手術	9
甲状腺悪性腫瘍手術	7
乳腺	
乳腺悪性腫瘍切除術	44
乳腺腫瘍摘出術	12
腋窩郭清術	1
胃	
腹腔鏡下胃切除術（悪性）	7
胃悪性腫瘍手術（開腹）	5
胃全摘術（悪性）	4
腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	2
胃腸吻合術	3
胆嚢・胆管	
腹腔鏡下胆嚢摘出術	90
開腹胆嚢摘出術	10
胆管切開結石摘出術	4
胆管悪性腫瘍手術	1
総胆管胃（腸）吻合術	3
肝 臓	
肝切除術	11
開腹ラジオ波	1
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	4
肝外胆道切除術	1
肝縫合術	1
脾 臓	
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	5
小 腸	
小腸切除術	4
腸閉塞症手術	11
虫 垂	
腹腔鏡下虫垂切除術	53
開腹虫垂切除術	4
結 腸	
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	18
開腹結腸悪性腫瘍切除術	24
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	1
開腹結腸切除術（良性）	6
直 腸	
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	4
開腹直腸悪性腫瘍切除術	9
人工肛門造設術・閉鎖術・形成術	16
直腸脱手術	1

手技	件数
肛 門	
痔核硬化療法	49
痔核根治手術	4
痔瘻根治手術	5
肛門形成手術	1
肛門ポリープ切除術	1
肛門皮膚剥離切除術	1
毛巣洞手術	2
膿皮症	3
ヘルニア	
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（成人）	105
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（小児）	51
鼠径ヘルニア手術	2
臍ヘルニア手術（成人）	7
臍ヘルニア手術（小児）	1
腹壁瘢痕ヘルニア手術	14
白線ヘルニア	1
停留精巣固定術	5
腹腔鏡下ASH切開ドレナージ術	1
胃 瘻	
胃瘻造設術	40
その他部位	
十二指腸ポリープ切除術	1
気管切開術・気管孔閉鎖術	2
大網、腸間膜、後腹膜手術	2
リンパ節生検	16
腸瘻造設術	2
体表の手術	16
CV ポート	32
大腸全摘	1
デンバーシャント留置術	1
腹腔鏡下尿管管切除術	1
急性汎発性腹膜炎手術	7
試験開腹術	1
メッシュ除去術	1
止血術・血腫除去術	4
計	410
総合計	976
外来ナート	195
外来ナート含まない件数	781

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
小児鼠径ヘルニアの de novo タイプに対する至適手術法は？	第 54 回日本小児外科学会学術集会	宮城県	2017 年 5 月 11 日	髙原裕夫、西原実、国吉史雄、尾下陽大、花城直次、宮平工、奥島憲彦
胃食道逆流による食道狭窄に内視鏡的拡張術を行った一例	第 103 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡	2017 年 5 月 19 日～20 日	宮崎優樹、奥島憲彦、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、髙原裕夫、宮平工、西原実
成人女性の鼠径ヘルニアに対する Neelescopic surgery としての LPEC 法の治療成績	第 15 回日本ヘルニア学会学術集会	東京	2017 年 6 月 2 日～3 日	仲本正哉、髙原裕夫、西原実、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、奥島憲彦
成人鼠径ヘルニアに対する至適術式としての LPEC 変法の可能性				西原実、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、髙原裕夫
小児外鼠径窩に見られる直接型外鼠径ヘルニア	第 16 回 LPEC 研究会	東京都	2017 年 6 月 3 日	髙原裕夫、西原実、国吉史雄、仲本正哉、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、奥島憲彦
胃食道逆流による食道狭窄に内視鏡的拡張術を行った一例	第 123 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄	2017 年 6 月 11 日	宮崎優樹、奥島憲彦、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、髙原裕夫、宮平工、西原実
PTP 誤飲により回腸穿通をきたした一例				太田沙也加、宮平工、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、髙原裕夫、西原実、奥島憲彦
臍頭十二指腸切除後の難治性腹腔内出血に対する一期的吻合再建の経験				梁英樹、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦
肛門部嚢腫（奇形腫）の一例				阿嘉裕之、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、宮平工、花城直次、西原実、梁英樹、奥島憲彦
糖尿病患者に発生した腸管嚢胞状気腫症の 1 例				花城直次、阿嘉裕之、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、宮平工、西原実、梁英樹、奥島憲彦
切除不能大腸癌に対し、Cape+Bmab 療法が長期間奏功している高齢者の一例				宮平工、阿嘉裕之、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、花城直次、西原実、梁英樹、奥島憲彦
約 10 年生存した Stage IVb 膵癌の一例				西原実、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、髙原裕夫
リンパ節再発による気道閉塞に対し、V-V ECMO を使用して気管ステントを挿入した一例	第 71 回日本食道学会学術集会	長野	2017 年 6 月 15 日～16 日	仲本正哉、奥島憲彦、尾下陽大、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、西原実
20 歳代女性の食道粘表皮癌の 1 例				仲本寛、奥島憲彦、国吉史雄、尾下陽大、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、西原実、青山肇
乳腺外来診療を MC(Medical Clark) と共に行うことの有益性と今後の課題	第 25 回日本乳癌学会学術集会	福岡県	2017 年 7 月 15 日	野村寛徳、白石牧子、国吉史雄、尾下陽大、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、奥島憲彦
Cape+Bmab 療法が長期間奏功している高齢者切除不能大腸癌の一例	第 55 回日本癌治療学会学術集会	神奈川県	2017 年 10 月 20 日	宮平工、西原実、奥島憲彦
肛門部嚢腫（奇形腫）の一例	第 72 回日本大腸肛門病学会	福岡県	2017 年 11 月 10 日	阿嘉裕之、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、宮平工、花城直次、西原実、梁英樹、奥島憲彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
PTP誤飲により腹膜炎をきたした2例	第79回日本臨床外科学会総会	東京	2017年11月24日～25日	太田沙也加、宮平工、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、西原実、梁英樹、嵩原裕夫、奥島憲彦
前立腺癌術後の外鼠径ヘルニアに対しての至適術式としての工夫				西原実、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、嵩原裕夫
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の手法	第30回日本内視鏡外科学会総会	京都府	2017年12月7日	宮平工、国吉史雄、西垣大志、花城直次、西原実、嵩原裕夫
腹腔鏡下でヘルニア門が見上げるような位置に存在し、手術に難渋した症例				西原実、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、嵩原裕夫
成人の外鼠径ヘルニアに対するLPEC法の再発足例にみられた共通点				嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、花城直次、宮平工
ハートライフ病院での胆管十二指腸端側吻合術の経験	第124回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2017年12月10日	梁英樹、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、西垣大志、宮平工、花城直次、奥島憲彦
腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術の際に偶然発見された対側鼠径ヘルニアに対しても手術を行った症例の検討				西原実、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、嵩原裕夫
歯科、口腔外科のない病院で口腔ケア外来をたちあげて				奥島憲彦、宮平工、友寄毅昭、安里竜、稲福怜美奈、幸喜奈緒子、稲嶺美希子、宮城淳、石原悟、本田由佳理、安谷屋佳子、宮里毅、諸見里和也
成人外鼠径ヘルニアに対するnew model needleを使用したAvanced LPEC法	第18回Needlescopic Surgery Meeting	京都府	2018年2月3日	嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、奥島憲彦
胆管癌術後の脾仮性動脈瘤十二指腸穿破による消化管出血の1例	第54回日本腹部救急医学会総会	東京都	2018年3月8日	国吉史雄、西原実、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、嵩原裕夫

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
脾頭十二指腸切除後の難治性腹腔内出血に対する一次的脾吻合再建の経験	胆と脾 (0388-9408)	38巻11号 Page1325-1328(2017.11)	梁英樹 西原実、国吉史雄、花城直次、宮平工、阿嘉裕之、尾下陽大、奥島憲彦
約10年生存したStage IVb 脾癌の一例	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	55巻4号 Page45-46(2017.05)	西原実、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、嵩原裕夫

年度総括



外科部長
宮平 工

平成 29 年度は院長の奥島憲彦（食道）、ヘルニアセンター長の嵩原裕夫（ヘルニア）、膵臓外科部長の梁英樹（肝胆膵）、外科系統括部長の西原実（肝胆膵・ヘルニア）、外科部長の宮平工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城直次（胃・大腸）、大腸肛門科副部長の阿嘉裕之（大腸・肛門）、乳腺外科副部長の野村寛徳、西垣大志、国吉史雄（一般外科）の 10 名の常勤医と、非常勤の仲栄真盛保（血管）各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました。敬称略（カッコ内は専門領域）

手術件数は 976 件（外来小手術も含む）を達成し、前年より 61 件の増加でした。一昨年に琉球大学からの派遣医が 1 名減員となり昨年も同様の人員で、診療にあたっています。術式別に比較すると乳腺、甲状腺、虫垂炎、ヘルニアなどは増加傾向でした。一昨年、ヘルニアセンター長の嵩原裕夫が非常勤から常勤となり、ヘルニア症例数が年々増加しています。

外科は手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めを微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST、クリニカルパス委員会などの中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科

スタッフは、松元悟・渡慶次学・新垣和伸・琉球大学からのローテーター比嘉浩太郎・鷺崎郁之の 5 人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を頂いています。また、水曜日はじのん整形外科の新垣 薫 先生に股関節専門外来および手術指導など御協力をいただいています。バークレーじのん整形外科院長の新城 宏隆 先生には週 1 日膝関節手術を御執刀いただいています。松元悟は関節疾患を中心に外来を行い、運動器疾患の県民への啓蒙活動にも努めています。渡慶次学は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。新垣和伸と比嘉浩太郎は膝関節を担当し、関節鏡を用いた前十字靭帯再建・半月板縫合等の手術を行っています。鷺崎郁之は一般外傷を担当し、整形外科医としての研鑽を積んでいます。

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

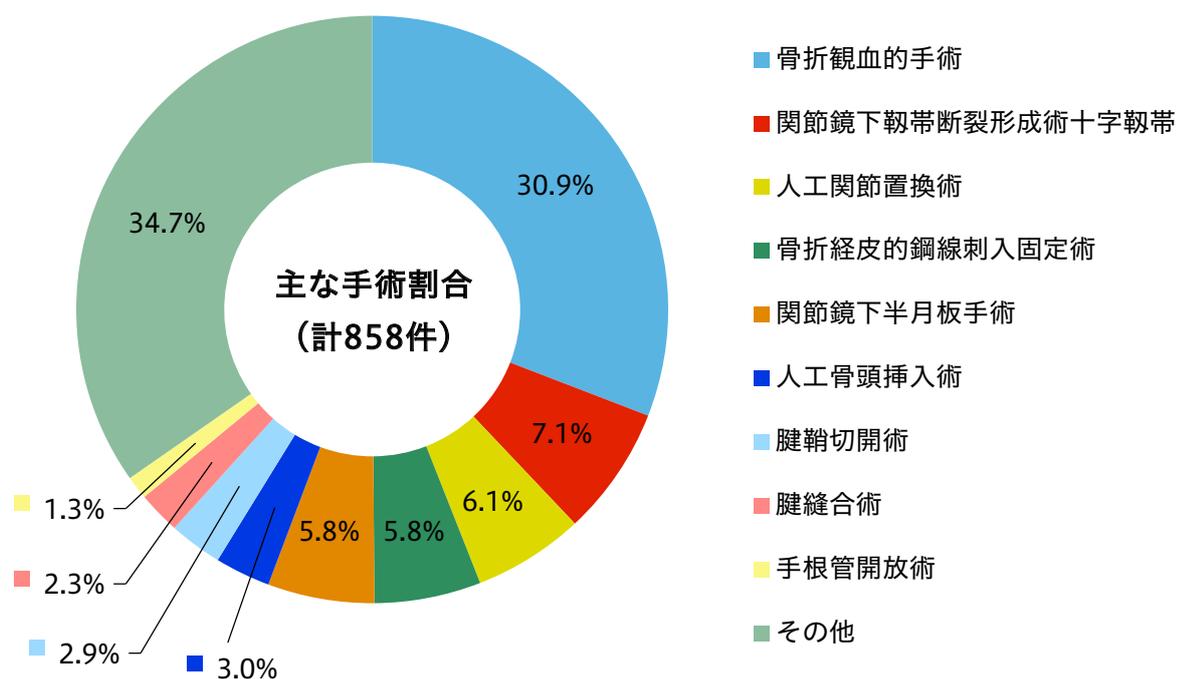
役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長	松元 悟	一般整形外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師会認定健康スポーツ医
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
膝関節外科部長 <専門外来>ス ポーツ関節鏡セン ター	新垣 和伸	関節外科 (膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本体育協会公認スポーツドクター
	比嘉浩太郎	関節外科 (膝関節)	
	鷺崎郁之	一般外傷	
<専門外来>膝関 節スポーツ外来	松田英敏	関節外科 (膝関節)	日本整形外科学会専門医
<専門外来>股関 節外来	新垣 薫	関節外科 (股関節)	日本整形外科学会専門医

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血の手術	278
関節鏡下靭帯断裂形成術十字靭帯	53
人工関節置換術	58
骨折経皮的鋼線刺入固定術	52
関節鏡下半月板手術	50

部位・行為	件数
人工骨頭挿入術	31
腱鞘切開術	34
腱縫合術	25
手根管開放術	22
その他	324
総計	927



年度総括



整形外科部長
渡慶次 学

平成 29 年度は琉球大学より膝関節外科チーフの新垣和伸医師を当院へ迎え、スポーツ関節鏡センター（膝関節外科）を開設し、新規入院患者数・手術件数ともに増加しました。手術内訳では四肢軟部腫瘍は昨年度と変化無く手外科・関節外科・骨折その他外傷症例が増加しました。

平成 30 年度は膝前十字靭帯再建術・半月板縫合術等の関節鏡視下手術および術後リハビリへの取り組みをさらに強化し、スポーツ障害患者へより満足いただける医療を目指していく予定です。今後も安全で健全な診療を継続していきえるよう努力致します。

形成外科

当科は、2011 年（平成 23 年）4 月に非常勤として診療を開始し、2014 年（平成 26 年）4 月から東京女子医科大学形成外科教室の関連施設として常勤となり 5 年目を迎えました。当科の特徴は、県内に数少ない形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やワキガなどの美容的手術のみならず、癌切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷から難治性下肢潰瘍や重度褥瘡などの慢性創傷までオールラウンドに対応できるように心がけていることです。最近は、下肢難治性皮膚潰瘍に対するフットケアを含めた総合的な治療や、救急部門における重症熱傷治療室の設置、レーザー設備の拡大などが行われました。今後もますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので今後ともよろしくごお願い申し上げます。

医師プロフィール

(平成 29 年 4 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
形成外科部長	東盛貴光	創傷外科、フットケア、手の外科、広範囲重症熱傷、下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療、マイクロサージャリーを用いた頭頸部がん術後の再建・乳がん術後の乳房再建、レーザー治療、下肢静脈瘤	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本創傷外科学会専門医
	石川 昂央	形成外科一般、創傷外科、マイクロサージャリー	
	栗原 沙織 ※ 2017 年 10 月より非常勤勤務	形成外科一般、皮膚悪性腫瘍	

認定・資格など

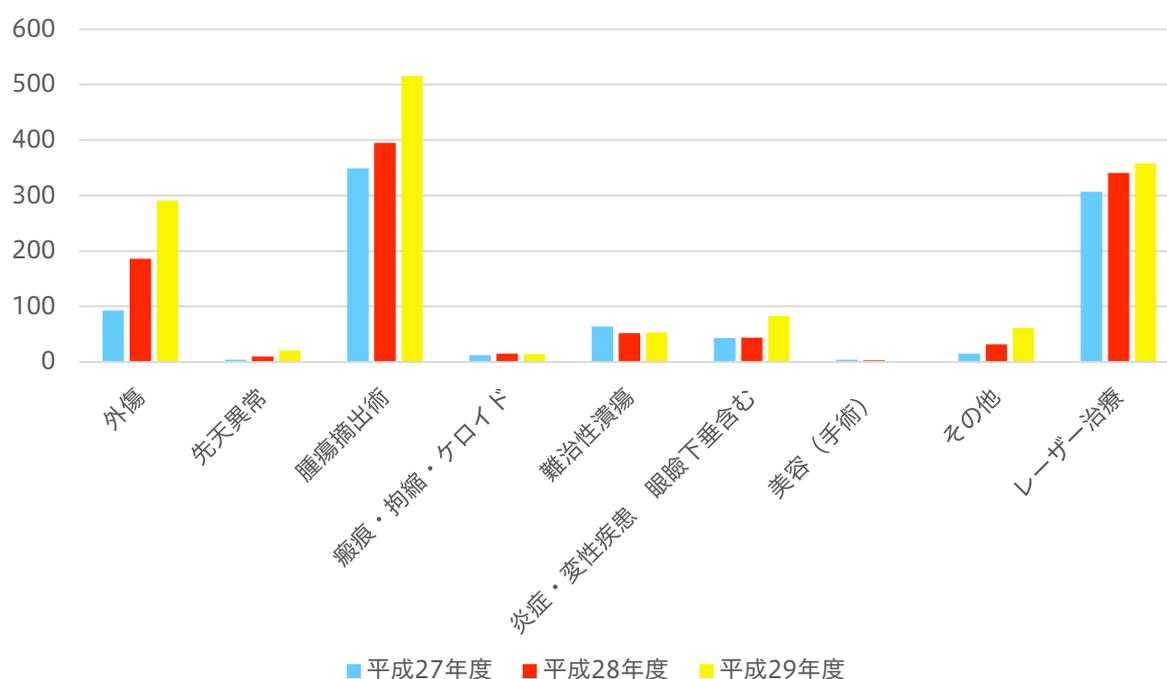
氏名	学会認定など
東盛貴光	日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー・インプラント治療責任医師 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医認定 臨床研修指導医 医療安全管理者 難病指定医 日本下肢救済・足病学会九州・沖縄地方会 評議員 日本褥瘡学会九州・沖縄地方会 世話人 沖縄実践フットケア研究会 副代表世話人 沖縄形成外科研究会 理事 琉球大学医学部医学科 形成外科学 非常勤講師 身体障害者福祉法指定医 (肢体不自由)

検査・治療・手術件数

検査・治療実績（日本形成外科学会登録データ）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
外傷	93	186	291
先天異常	4	10	21
腫瘍摘出術	349	395	516
瘢痕・拘縮・ケロイド	12	15	14
難治性潰瘍	64	52	53
炎症・変性疾患 眼瞼下垂含む	43	44	83
美容（手術）	4	3	0
その他	15	32	61
レーザー治療	307	341	358
合計	891	1,078	1,397

※外来での日帰り手術もすべて含まれます。



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Proteus vulgaris による感染を合併した創傷の治療経験	第 60 回日本形成外科学会総会・学術集会	大阪	2017 年 4 月 14 日	◎東盛貴光、栗原沙織、溝淵貴俊、櫻井裕之
イリザロフミニ創外固定器を用いた微小指節骨延長	第 60 回日本手外科学会学術集会	名古屋	2017 年 4 月 27 日	◎東盛貴光
腱切離術の治療経験	第 14 回日本褥瘡学会 九州・沖縄地方会	長崎	2017 年 5 月 20 日	◎東盛貴光
地方における熱傷専門施設の開設へ向けて	第 43 回日本熱傷学会総会・学術集会	東京	2017 年 5 月 26 日	◎東盛貴光、溝淵貴俊、栗原沙織、櫻井裕之
熱傷専門施設を目指してできることー非熱傷専門施設における重症熱傷治療の経験からー	第 123 回沖縄県医師会総会・学術集会	那覇	2017 年 6 月 11 日	◎東盛貴光、栗原沙織、石川昂央
多職種による症例検討会	第 6 回日本下肢救済・足病学会九州・沖縄地方会学術集会	大分	2017 年 10 月 6 日	◎東盛貴光

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
重症下肢虚血における経皮的酸素分圧 (TcPO2) の有用性	第 6 回日本下肢救済・足病学会九州・沖縄地方会学術集会	大分	2017 年 10 月 6 日	◎東盛貴光、栗原沙織、石川昂央
バスキュラーアクセス関連スチール症候群に対し経皮的酸素ガス分圧 (TcPO2) を用いた 1 例	第 21 回日本アクセス研究会学術集会	岐阜	2017 年 10 月 21 日	◎石川昂央、東盛貴光
当科における間欠的灌流併用陰圧閉鎖療法 (NPWTi-d) の治療経験	第 51 回新宿フォーラム	東京	2017 年 10 月 27 日	◎石川昂央、東盛貴光
足趾に生じた筋上皮腫の 1 例	第 105 回九州・沖縄形成外科学会	福岡	2017 年 11 月 11 日	◎石川昂央、東盛貴光
当科における Vascular access トラブルに対する再建手術の治療経験	第 44 回日本マイクロサージャー学会学術集会	宮崎	2017 年 12 月 7 日	◎東盛貴光、栗原沙織、石川昂央
広範囲重症熱傷に対する早期手術における腹腔内圧測定の有用性	第 124 回沖縄県医師会総会学術集会	那覇	2017 年 12 月 10 日	◎東盛貴光、石川昂央

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
熱傷専門施設を目指してできることー非熱傷専門施設における重症熱傷治療の反省からー	沖縄医学会雑誌	56 巻 (2).p31-33,2017	東盛貴光

次年度目標

- ・ 手術件数増 (1450 件 / 年)
- ・ レーザー設備充実 (機器導入)
- ・ 重症熱傷治療の充実 (受け入れ態勢構築)
- ・ フットケア外来設立
- ・ 美容医療設立
- ・ 学会発表 (2 回 / 年以上)
- ・ 論文執筆 (1 編 / 年以上)

年度総括



形成外科
東盛 貴光

常勤となり大きな問題なく 4 年目を終えました。琉球大学形成外科学教室からの要望による 1 年 6 カ月の後期研修医が 10 月から加わることで 3 名体制となり、昨年も一昨年を大幅に超える診療実績でしたが、今年も昨年よりさらに入院患者数、外来患者数、そして手術件数増となりました。

当科としての学会発表は 12 回行い、研究論文を 1 編執筆しました。また、初期研修医は 3 名、後期研修医は 2 名が研修されました。後期研修医は形成外科の基礎的な手術を多く執刀経験し、次年度はさらに高度な手術研修に入ります。さらに 1 名の初期研修医はこの春から当科の連携施設である東京女子医大病院で形成外科後期研修医 (専攻医) として研修を開始します。昨年も同様に東京で研修を行った県出身の後期研修医は新たに関連施設で奮闘しております。貴重な形成外科専門医となって当院に戻ってきて県民に貢献する日が近くまで来ます。

来年度もますます手術実績、研究業績を上げていきたいと思っておりますので、今後とも、御指導の程よろしく願いいたします。

脳神経外科

脳神経外科は脳外科専門医2名体制で主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。

発症早期の脳梗塞に対してはt-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療を第1選択としております。また、近年は脳内出血に対しても神経内視鏡手術を行いより侵襲の少ない手術が可能となりました。

今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

医師プロフィール

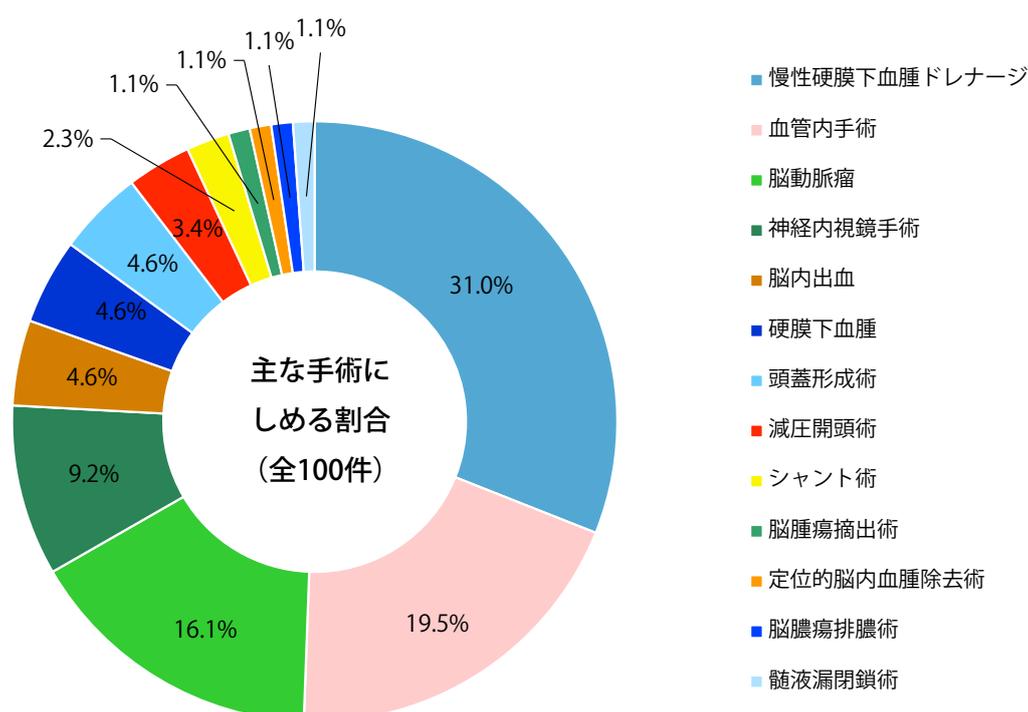
(平成29年9月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科医長 3階病棟医長	上笹航	脳血管障害、血管内治療	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医

検査・治療・手術件数

名称	件数
慢性硬膜下血腫ドレナージ	27
血管内手術	
・ 脳動静脈奇形 1	
・ 脳動静脈瘻 2	
・ 頭蓋内血管拡張術 1	
・ 頸動脈ステント術 2	
・ 中硬膜動脈塞栓術 7	
・ 血栓回収術 4	
脳動脈瘤	
・ 開頭クリッピング 4	
・ 血管内動脈瘤塞栓術 10	
神経内視鏡手術	
・ 第3脳室底開放術 4	
・ 内視鏡的血腫除去術 4	
脳内出血	4

名称	件数
硬膜下血腫	4
頭蓋形成術	4
減圧開頭術	3
シャント術	2
脳腫瘍摘出術	1
定位的脳内血腫除去術	1
脳膿瘍排膿術	1
髄液漏閉鎖術	1
合計	87



年度総括



脳神経外科部長
末吉 健次

今年度は血管内治療件数も増加、新たに神経内視鏡手術も導入して色々チャレンジした年でした。

今年度も患者さんの状態、状況に合わせて、より適した治療を選択してより安全な医療を目指していきます。

眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、それにより病院スタッフによるしっかりとした周術期の管理を行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております。皆様安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

(平成 29 年 4 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
眼科部長	親川 格	一般眼科・角膜移植（移植、特に角膜内皮移植）	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification
	小橋川裕司		

研究業績

学会発表

演題	学会名	開催地	発表年月日	演者等
DMEK 後の虹彩後癒着の検討	日本眼科学会	東京	2017 年 4 月 7 日	清水俊輝、林孝彦、親川格 ほか
DMEK における移植片の偏位方向と移植片剥離の出現率の検討	臨床眼科学会	東京	2017 年 10 月 12 日	清水俊輝、林孝彦、親川格 ほか
角膜移植のコツ（教育セミナー）	眼科手術学会	京都市	2018 年 1 月 27 日	親川格、相馬剛至、林孝彦、吉田絢子
浅前房眼に対する粘弾性物質を使用した DMEK	角膜カンファレンス	広島市	2018 年 2 月 16 日	林孝彦、親川格、加藤直子 ほか
DSAEK 術後の角膜実質厚菲薄化	角膜カンファレンス	広島市	2018 年 2 月 15 日	小橋川裕子、林孝彦、親川格 ほか
DMEK における虹彩後癒着の危険因子の検討	角膜カンファレンス	広島市	2018 年 2 月 15 日	清水俊輝、林孝彦、親川格 ほか
術中に移植片脱出を生じた DMEK 症例の術後長期経過	角膜カンファレンス	広島市	2018 年 2 月 15 日	親川格、林孝彦、加藤直子 ほか
白内障手術に合併したデスメ膜剥離に対して外科的治療を施行した 3 例	角膜カンファレンス	広島市	2018 年 2 月 15 日	小橋川裕司、親川格、林孝彦 ほか

論文著書

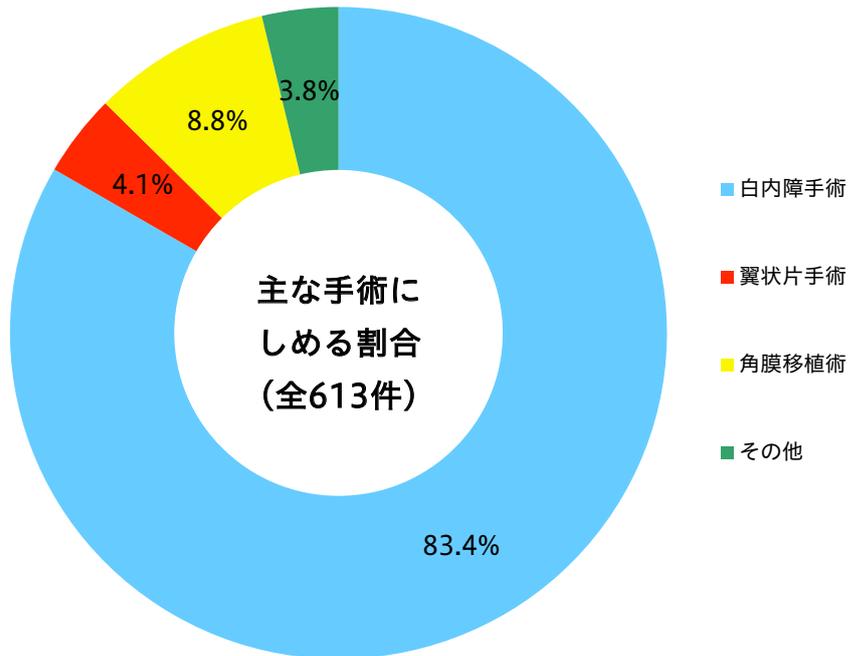
題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
Use of BBG in DMEK.	Biomed Res Int.	2017 Jun :9720389, ePub	Hayashi T, Yuda K, Oyakawa I, et al.

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
Use of four asymmetric marks to orient the donor graft during DMEK.	BMJ open ophthal.	2017 Aug 4;1(1):e000080. eCollection.	Hayashi T, Oyakawa I, Kato N
Chandelier illumination for DMEK.	Cornea	2017 Sep; 36(9):1155-7.	Shimizu T, Hayashi T, Oyakawa I, et al.
Modified DSAEK: The use of OVDs in hypotonic eyes that had undergone glaucoma filtering surgeries.	Case Rep Ophthalmol Med.	2018 Feb 1; 9387810. eCollection.	Oyakawa I, Hayashi T, Kato N, et al.

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
白内障手術	511
翼状片手術	25
角膜移植術	54
その他	23
合計	613



年度総括



眼科部長
親川 格

平成 25 年度より、角膜内皮移植術を導入することができ、より専門性を活かした眼科診療が可能になっています。

近隣の眼科クリニックを中心として沖縄県全域の眼科施設から多くの紹介患者さんの診療・治療をさせて頂いているため、今年度は年間手術総数 600 件以上、角膜移植 54 件の治療を行う事ができました。また、患者さんの負担軽減のため手術待機期間を 2 ヶ月以内に短縮することができております。外来での待ち時間は依然として長く、待ち時間の短縮は今後の大きな課題と考えています。

今年度から常勤医が 2 名体制となり、さらなる眼科診療のクオリティー向上を目標に掲げ、外来での待ち時間対策にも取り組んで参ります。

これからも患者さん一人一人に最も適した、質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同精進していきたいと考えています。

耳鼻咽喉科

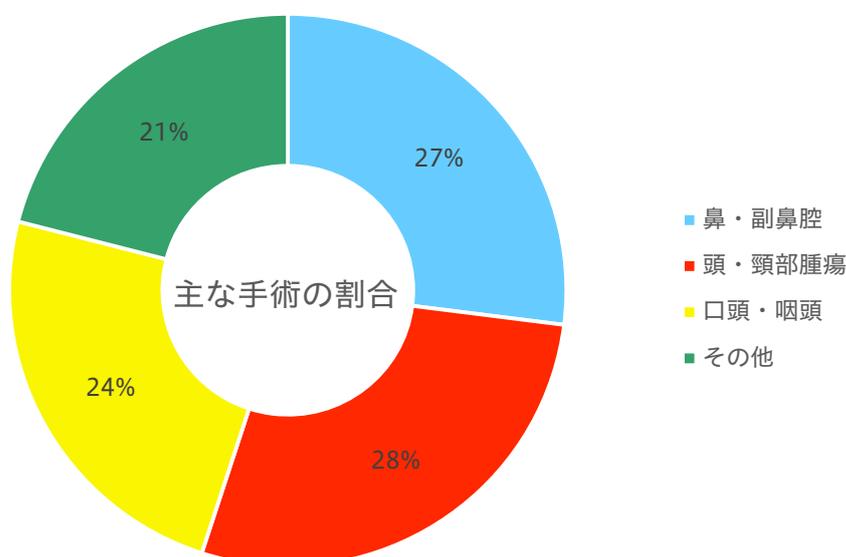
耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頭頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
	比嘉麻乃		日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修暫定指導医

診療実績



年度総括



耳鼻咽喉科
比嘉 麻乃

平成 29 年度より診療にあたらせていただいております。昨年度は常勤医不在となっ
てしまい皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。H29 年度の手術件数 29 件で、残
念ながらこれまでと比べ大幅に減少した結果となりました。当科はこれまでのように大
学病院医師と連携し診療を行ってまいります。一般外来のほか専門外来（頭頸部腫瘍、
鼻科、音声・嚥下障害など）を設けております。手術症例についても同院より各領域の
専門医を招聴し行います。また、地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方
からも患者さまをご紹介いただけるよう病診連携の維持を継続いたします。できるだけ
わかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さまに合った医療を提供できることをモッ
トーにし、平成 30 年度は入院患者数・手術症例数の増加を目指し、努力いたします。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科

当科は、平成 8 年度から琉球大学泌尿器科から派遣された常勤医 1 人体制でスタートし、平成 20 年 4 月からは常勤医 2 人体制になりました。しかしながら大学の医局員不足の影響から平成 26、27 年度は 1 人体制でした。平成 28 年度は 2 人体制になりましたが、平成 29 年度は 1 人体制に戻りました。当院の主な診療圏として北中城村、中城村、西原町、与那原町、南城市、那覇市の一部、浦添市の一部を含んでいます。人口で約 20 万人です。この広い地域で泌尿器科は琉大以外、当院と与那原中央病院のみとなっています。早急の 2 人体制への復帰が望まれます。

病診連携の浸透でクリニックや施設からの紹介の増加とともに、患者さんが年を追うごとに増加しています。特に PSA 検査が普及し、平成 28 年度は前立腺生検を 47 例施行し 30 例が前立腺癌の診断でした。前立腺全摘術は琉大や中部徳洲会病院へ紹介し、放射線治療は南部徳洲会病院、琉大病院、南部医療センターへ依頼しています。ホルモン療法の患者さんは総計 100 人に達しています。

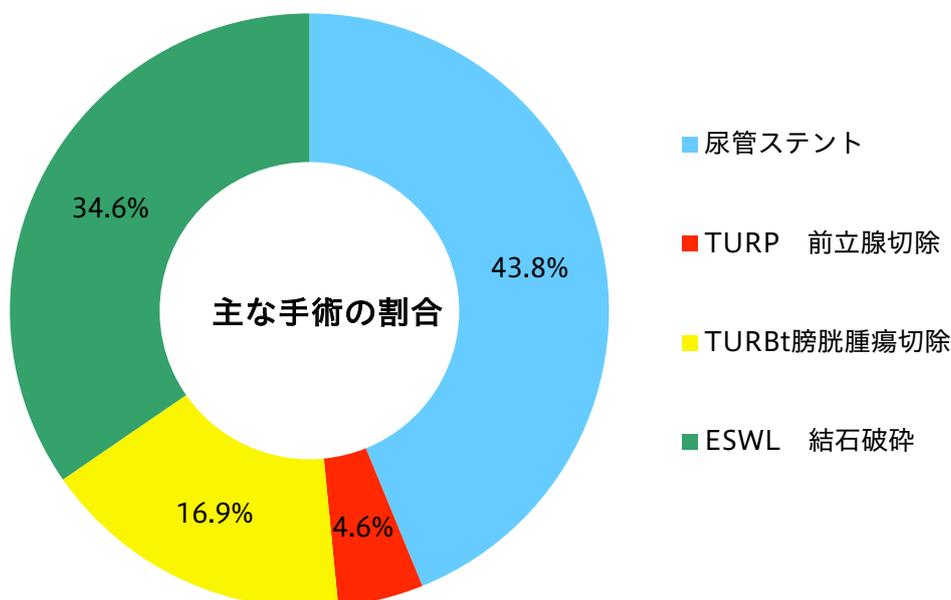
手術では、結石性腎盂腎炎等に対する尿管ステント留置術、経尿道的膀胱腫瘍切除手術、経尿道的前立腺切除術、経尿道的結石破碎術等施行しています。尿路結石治療では、平成 27 年度 6 月から体外衝撃波腎尿管結石破碎術 (ESWL) が再稼働可能となり年間平均 30 例ほどの破碎治療施行を施行しております。琉大泌尿器科からは月、金、土午前の外来の応援を頂きました。

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
	宮里 実 (非常勤)		
	安次嶺 聡 (非常勤)		

検査・治療・手術件数



年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

今年度も前年度に引き続き、外来患者さんが増加傾向にあり月に 600 ～ 700 人の外来患者数となっており、それに伴い待ち時間対策が必要です。

平成 24 年 12 月から外来に軟性膀胱鏡が導入され痛みの少ない膀胱鏡検査が可能となりました。検査数は年間 100 例以上で、平成 29 年度末までに 500 例以上施行しています。

平成 29 年度 4 月からは再び常勤 1 人の診療体制となりました。

次年度目標

1. 琉大泌尿器科との連携の継続
2. 待ち時間対策 検査日の拡充
3. ESWL の継続と症例数の増加

産婦人科

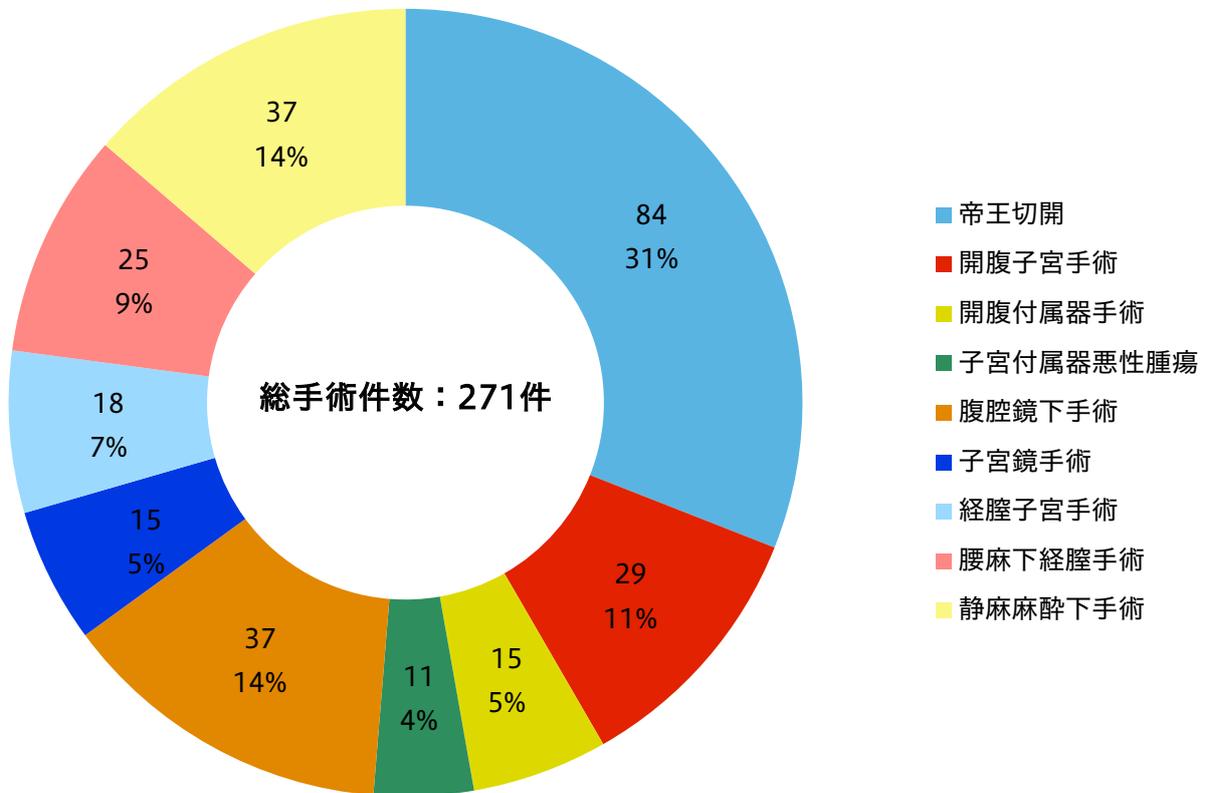
常勤医師 3 名、助産師 18 名、看護師 8 名、看護助手 3 名、医療事務 1 名の体制でした。産科領域では 35 週以降の分娩、無痛分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経膈、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本産婦人科学会指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
	喜久本 藍	一般産婦人科	
	上原 博香	一般産婦人科	日本産婦人科学会専攻医

手術件数



総分娩件数 416 件

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
卵巣癌による治療関連骨髄異形成症候群の1例	第69回日本産婦人科学会	広島県	2017年4月15日	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉
卵巣漿液粘性境界悪性腫瘍へ再発転化した術後卵巣粘性腺腫の1例	第57回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会		2017年6月9日	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉
粘性成分の混在する卵巣ブレナー腫瘍の1例	第59回日本婦人科腫瘍学会	熊本県	2017年7月27日	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉（ハートライフ病院）、青山肇（琉球大学医学部腫瘍病理）
子宮体部異型平滑筋腫の1例	第45回沖縄産科婦人科学会学術集会		2017年9月23日	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉、玉城智子
当院における無痛分娩の検討	第121回日本産科麻酔科学会学術集会	大阪府	2017年11月18日	上原博香、武田理、喜久本藍、大西勉（ハートライフ病院産婦人科）、嘉手苺由梨、釜野武志、島袋泰、久場良也（ハートライフ病院麻酔科）
偽性軟骨無形成症合併妊娠の1例	第123回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2017年6月11日	喜久本藍、上原博香、大西勉、武田理
子宮頸部細胞診異常を契機に診断された卵管癌の1例	九州連合産婦人科学会	佐賀県	2017年6月3日	上原博香、武田理、喜久本藍、大西勉（ハートライフ病院）、青山肇（琉球大学腫瘍病理）

論文・著書

名称	誌名	掲載年・号・頁	著書
子宮留膿腫穿孔の1例	沖縄県医師会医学会誌 第55巻	(第4号) p19-21	上原博香、武田理、喜久本藍、大西勉
「LEPにより子宮筋腫の増大をきたした子宮内膜症性嚢胞の1例」	日本エンドメトリオーシス学会誌	38:148-153 2017年09月	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉、青山肇
奇怪核を有する子宮平滑筋腫の1例	沖縄産科婦人科学会雑誌 第40巻	p59-63	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉、玉城智子

年度総括



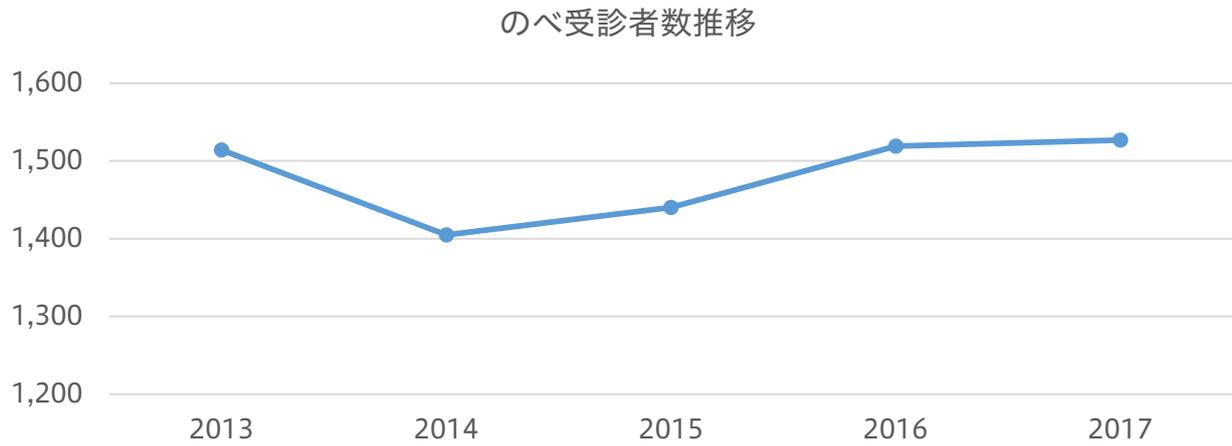
産婦人科
センター長
武田理

分娩数は平成28年度から約100件増加、現状のスタッフ数から考えて十分な健闘といえます。婦人科手術件数はほぼ横ばいでしたが、内視鏡手術件数の割合が増加しており、今後スキルアップしながら適応を広げていきたいと考えています。いずれにしても新病棟新設に伴う効果を実感しておりますが、医師・スタッフの増員が急務と思われれます。院外への広報活動も引き続き活発に推進いただけますと幸いです。宜しくお願いします。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。
診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

診療実績



放射線科

放射線科の診療はCT、MRI、RI(ラジオアイソトープ)、マンモグラフィ、IVR(血管内治療)の適用判断、検査内容の指示、診断、読影が主な業務内容になっております。画像のみを扱う画像診断と画像支援で治療を行うIVRに大きく分かれます。IVRには肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。さらに外科、内科とのカンファレンスを行います。夜間、休日の遠隔診断も受け付けています。

医師プロフィール

(平成29年9月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本医学放射線学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
	来田 美和	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 マンモグラフィ読影認定医
	東江 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本核医学会核医学専門医 日本核医学会 PET 核医学認定医

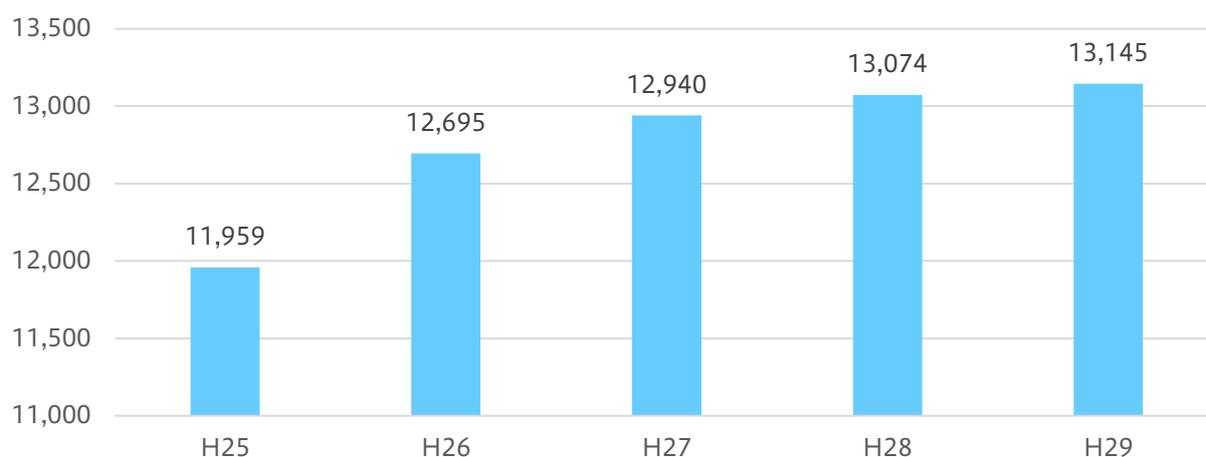
研究業績

学会発表

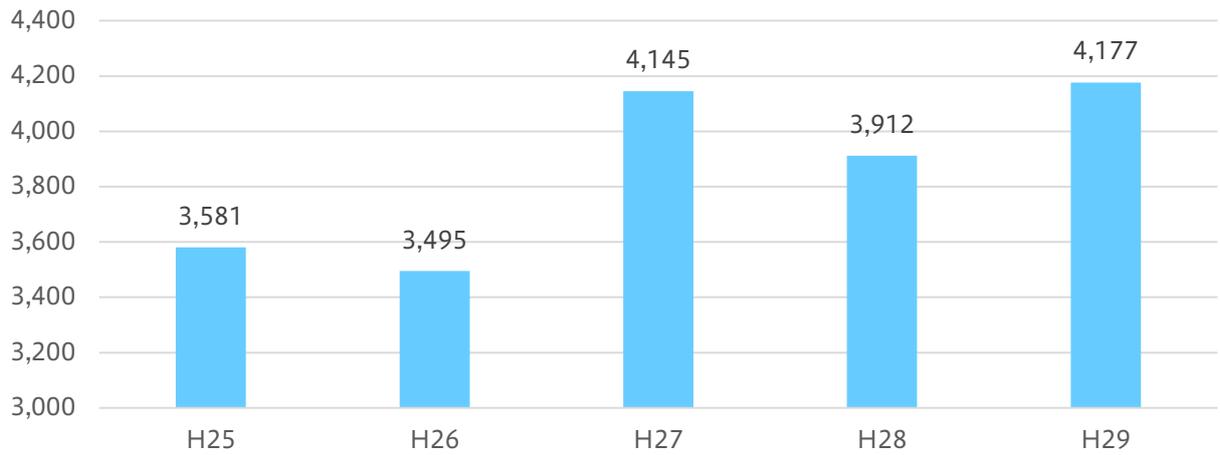
演題名	学会名	発表年月日	発表者、研究者
Conventional TACE に不応であった肝細胞癌に対し、DEB-TACE が有効であった二例	第124回沖縄県医師会医学会総会	2017年12月10日	高良誠、来田美和、東江ゆりか、佐久川廣、柴田大介

各種検査・治療件数と推移一覧

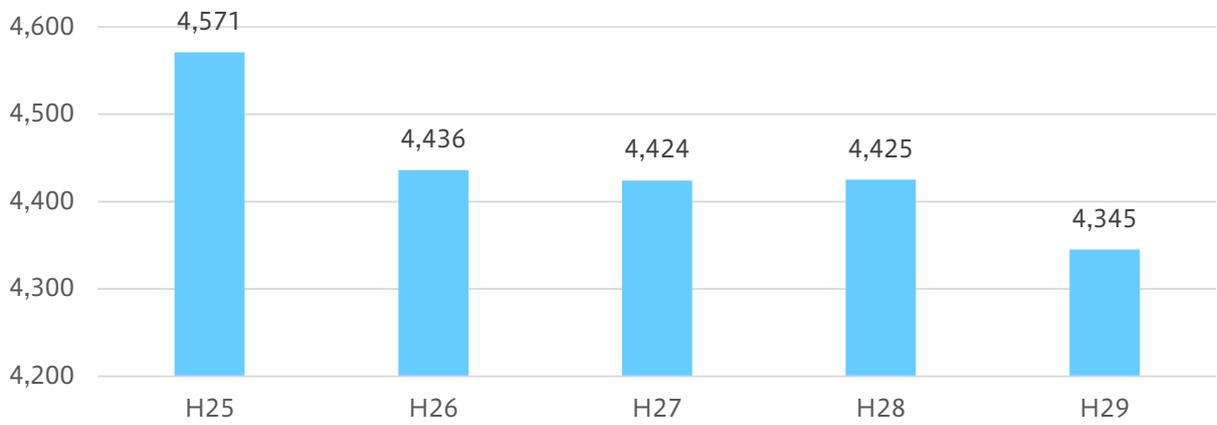
CT検査



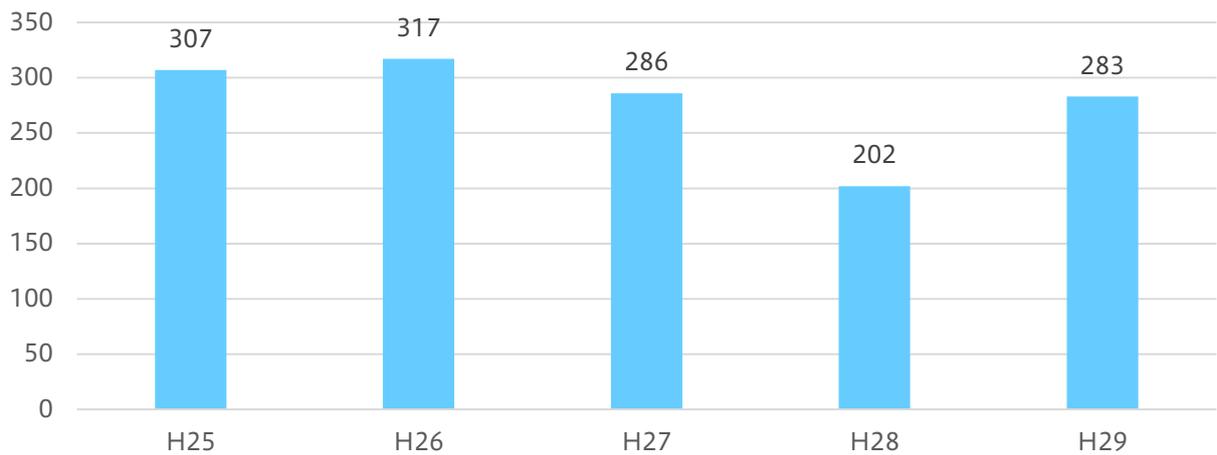
マンモグラフィ検査



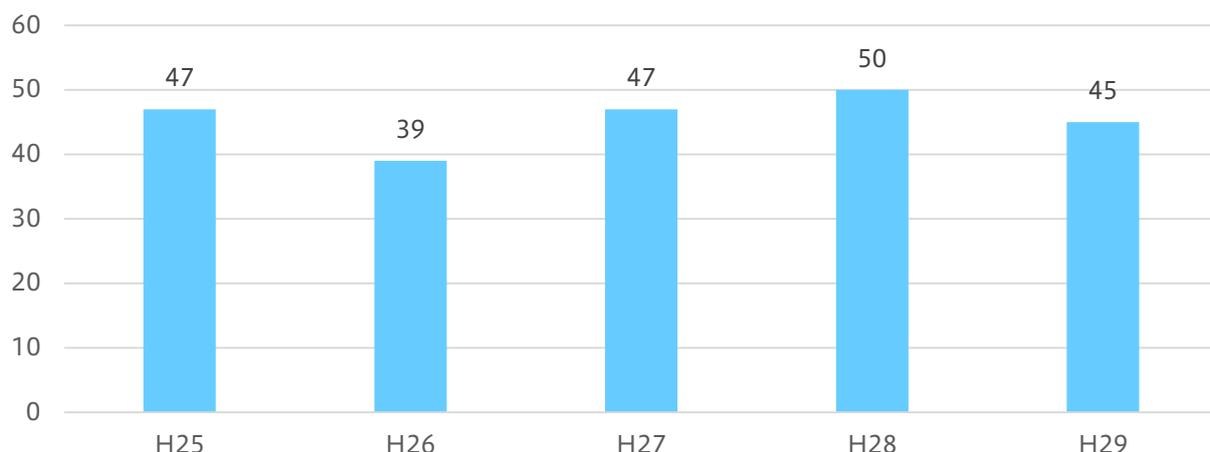
MRI 検査



RI 検査



アンギオ



年度総括



放射線科部長
高良 誠

平成 29 年度は新しくに東館が完成し、新しいアンギオ室にバイプレーンアンギオ装置が導入されました。前後 / 左右を同時に観察できる機種で、血管内治療時の利便性が向上します。従来機種より解像度が向上し、大きく被曝量が低減しています。さらに二台体制となったことで、他科の緊急とのブッキングが解消されました。放射線科の IVR は例年どおり肝動脈塞栓化学療法が多かったのですが、今回アンギオ装置に搭載された治療支援ソフトにより、腫瘍血管を見つけやすくなり、検査時間の短縮による被曝量低減と造影剤量の減少を達成できています。また従来の 64 列 CT の老朽化に伴い新しい CT が導入され、画質向上、被曝量低減を同時に達成しています。

平成 29 年度はこれまででもっとも多い常勤三名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育、至急読影など、放射線科業務に対応しました。翌診療日までの読影加算 2 の規定もクリアしました。来年度は常勤が 2 名に戻りますが、クオリティーを落とさず、今後とも放射線科医、放射線技師、検査技師が連携して取り組んでいきます。

平成 30 年度は東館の読影室完成と主に引っ越しを行います。新しい MRI の導入が予定されており、3.0 テスラというこれまでより高磁場の機械で、画質向上が期待されます。さらに二台体制になることで待ち時間の短縮と緊急対応が容易になります。

近年、RI の検査が減少していますが、本年度は件数が持ち直しています。他に代用のきかない検査なのでこれからも放射線科として適応のある症例は積極的にお勧めしていくようにします。夜間、休日の検査で判断に迷う症例では遠隔読影の依頼をお受けしています。

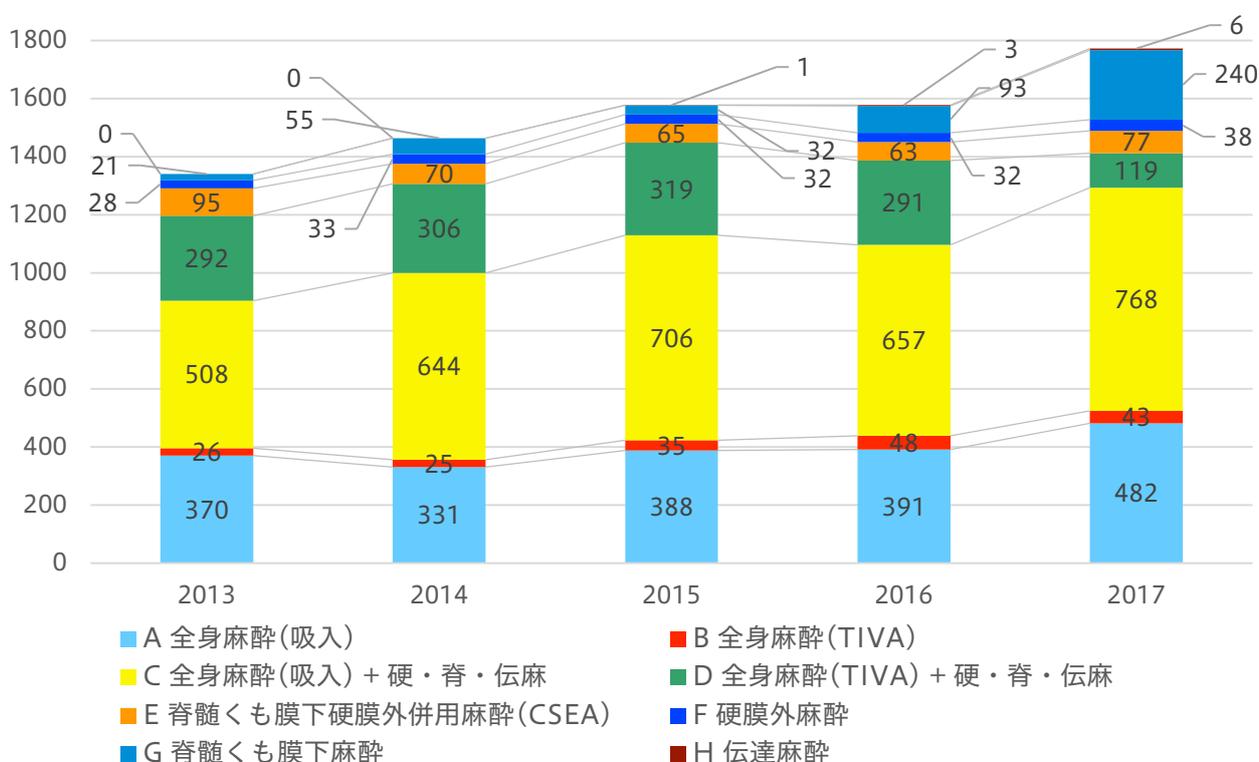
麻酔科

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

麻酔科			
副院長 手術室部長	久場 良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
麻酔科部長	島袋 泰	一般麻酔	日本麻酔科学会指導医
麻酔科副部長	釜野 武志	一般麻酔	日本麻酔科学会専門医
	嘉手苺 由梨	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医

麻酔別件数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
頭蓋内硬膜下血腫を合併した脳脊髄液減少症に対し、ブラッドパッチを施行した 2 症例	第 55 回日本麻酔科学会九州地方会	大分県	2017 年 9 月 9 日	嘉手苺 由梨、久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、喜屋武 秀文
リドカインアレルギーが疑われた無痛分娩患者の 1 例	第 37 回日本臨床麻酔学会学術集会	東京都	2017 年 11 月 4 日	太田 沙也加、嘉手苺 由梨、釜野 武志、島袋 泰、久場 良也
lidocaine アレルギー患者への計画無痛分娩の経験 反省と今後の対策	第 121 回日本産科麻酔学会学術集会	大阪府	2017 年 2 月 10 日	釜野 武志、嘉手苺 由梨、島袋 泰、久場 良也
PMX-DHP と CHDF の併用が有効であった重症急性胆管炎の一例	第 22 回エンドトキシン血症救命治療研究会	東京都	2018 年 1 月 19 日	久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、嘉手苺 由梨
エンドトキシン吸着療法と持続的血液濾過透析の併用が有用であった重症急性胆管炎の一例	第 45 回日本集中治療医学会学術集会	千葉県	2018 年 2 月 21 日	久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、嘉手苺 由梨

論文著書

論文名	雑誌名	号	
臍帯血移植後に敗血症性ショックを合併しエンドトキシン吸着療法が有効であった急性骨髄性白血病の1例	エンドトキシン血症救命治療研究会誌	第21巻1号 2017:114-117	久場 良也、島袋 泰、釜野 武志、嘉手苺 由梨

年度総括



麻酔科副部長
釜野 武志

平成29年8月の喜屋武 秀文 医師の退職に伴い、久場 良也 副院長、島袋 泰 麻酔科部長、釜野、嘉手苺 由梨 医師計4人の常勤医師で麻酔科運営を行っています。今後の手術室3床増床に向け常勤医師の確保が急務と考えております。また手術室増床工事期間中は工事の都合上皆様にご迷惑をおかけしますがご理解ください。

麻酔科の主な業務は手術麻酔で、一部集中治療室管理も行っております。外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科など各外科系手術、及び内科経口内視鏡的手術の麻酔を幅広く行っております。例年通り高度先進医療であるアカラシアに対する経口内視鏡的手術(POEM)の麻酔管理、90代の骨折手術の麻酔から乳幼児の腹腔鏡下単径ヘルニア手術の麻酔管理、帝王切開の麻酔管理まで幅広い症例の麻酔を行っているのは当院ならではの考えです。スポーツ関節鏡センター開設に伴い、関節鏡下手術は例年以上に件数が増える見込みです。集中治療室管理として、術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが予定手術件数が多くなってくると集中治療室の対応が後手に回っているのは昨年同様です。

平成29年度の麻酔管理件数は1,776件(前年12.5%増)、全身麻酔管理件数1,410件(同1.9%増)でした。全身麻酔件数に関して、常勤医師減にもかかわらず、手術件数の増加に伴い麻酔件数も増加したと考えております。

研究業績に挙げたとおり、久場副院長を筆頭に全員が可能な限り各学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。また新専門医習得条件である学会参加を全員行うために、期間中は手術制限を行い各科の先生方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



副院長
久場 良也



麻酔科部長
島袋 泰



嘉手苺 由梨

血液浄化部

血液浄化部は、医師 3 人、月曜日の夜間透析は琉大非常勤医師、正看護師 20 人、臨床工学技士 11 人、助手 2 人、医事課 1 人で診療にあたっています。平成 26 年度 6 月から菅谷医師が、平成 27 年 4 月から腎臓内科の張医師が加わり常勤 3 人体制で臨んでいます。

平成 29 年 9 月からは東館 3 階に引っ越しして現在は、透析コンソール 55 台で全自動プライミング装置付きです。日機装社の Future Net は院内電子カルテともリンクし日常業務の効率化が進んでいます。

患者さんの待ち時間対策として、朝の申し送りは 8 時開始、8 時 15 分を患者さんの入室時間に設定しています。患者さんには非常に好評です。

透析の患者数は、平成 23 年の 133 人をピークに平成 27 年度は 105 人に低下していましたが、平成 29 年度末で 126 人に増加しました。

職員数

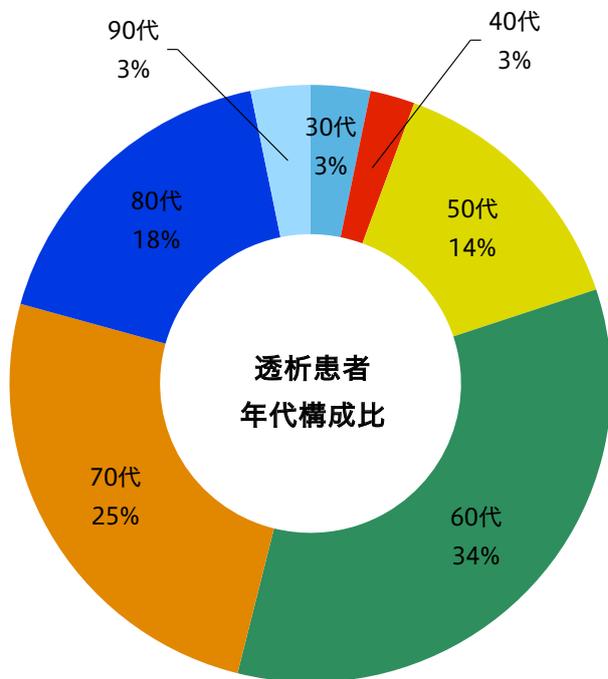
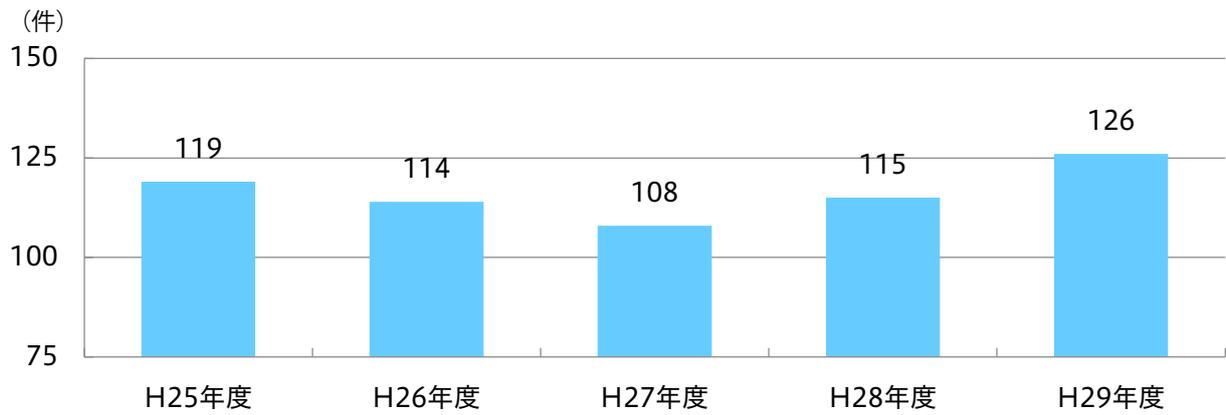
医師	3 名	臨床工学技士	11 名 (機器管理、カテ業務含む)
正看護師	20 名	助手	2 名
		事務	1 名

医師プロフィール

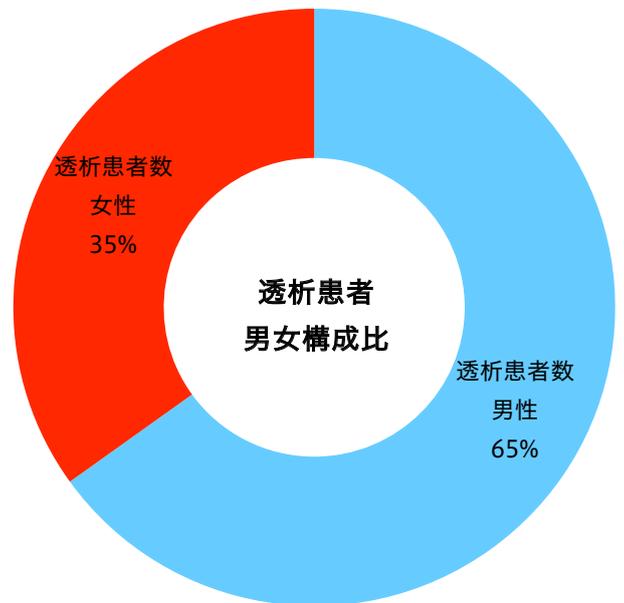
(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
血液浄化部医長	菅谷 明子	急性血液浄化、産業保険、外傷外科・集中治療	日本産業衛生学会専門医 産業医科大学産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医 日本救急医学会救急科専門医
	張 同輝	腎臓、特に慢性腎炎	日本透析医学会指導医 日本透析医学会専門医 日本腎臓学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本外科学会認定医 日本臨床腎移植学会腎移植認定医

透析患者推移



■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代
■ 70代 ■ 80代 ■ 90代



■ 透析患者数男性 ■ 透析患者数女性

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
医師として訪れたミャンマーの報告	第 44 回日本血液浄化技術学会	東京都	2017 年 4 月 22 日	張同輝
当院での腎代替選択療法外来の立ち上げ課題について	第 62 回日本透析医学会 学術集会	神奈川県	2017 年 6 月 18 日	張同輝
燃え尽き症候群を経験して	第 28 回サイコネフロロジー	北海道	2017 年 7 月 22 日	張同輝
PD 患者ゼロからの出発	第 23 回日本腹膜透析学会	福岡県	2017 年 10 月 7 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生、安里哲好
認知症・脱力・食思不振を伴った、血小板減少精査中の症例	第 27 回臨床内分泌 Update	兵庫県	2017 年 11 月 24 日	張同輝
労働災害：産業医・救急医の立場から	第 65 回日本職業・災害医学会学術大会	福岡県	2017 年 11 月 26 日	菅谷明子

年度総括



血液浄化部部長
嘉川 春生

VA 委員会では臨床工学技士が中心となり、シャント狭窄、閉塞に対してそれを未然に防ぐために定期的な PTA（経皮的血管拡張術）の依頼やシャント手術の依頼が行えるシステムを運営しています。これには、循環器内科、形成外科に相当のバックアップをいただきました。検査科には血管エコー、放射線科には血管造影 CT で協力依頼しました。

また、専門外来として腹膜透析外来を透析室で行っており、現在、腹膜透析の患者さんは 4 人となっています。スタッフのスキルアップにも一役かっています。

次年度目標

1. 業務の整理、効率化。55 床ワンフロアの効率的な活用
2. 医師 3 人体制での透析管理体制の強化 嘉川、張、菅谷
3. 腎臓リハビリテーションの取り組み継続
4. 患者さんの待ち時間対策

口腔ケア科

概要・実績

口腔ケア科は現在、非常勤歯科医師 3 名・歯科衛生士 2 名体制で月曜日と木曜日の午前・午後に外来診療を行っており、診療日以外は歯科医師がいない為、歯科衛生士が病棟にて口腔ケアを行っています。平成 29 年 4 月立ち上げ当初より周術期口腔機能管理加算を策定するため主に悪性腫瘍の術前・術後、化学療法、緩和ケアの患者を対象とし、全身麻酔下の手術予定の患者の口腔ケア、動揺歯がある場合は挿管時歯牙保護の目的でマウスピースの作成を行っています。

また入院中の誤嚥性肺炎予防、義歯の調整、動揺歯の抜歯や固定など口腔内トラブルにも可能な限り対応しています。

職員数

歯科医師	3 名	歯科衛生士	2 名
メディカルクラーク	3 名	看護クラーク	1 名

医師プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
非常勤(月曜日午前)	比嘉 盛敏	口腔外科一般	
非常勤(月曜日午後)	仁村 文和	口腔外科・口腔リハビリ	がん治療認定医 日本口腔外科専門医・指導医 日本摂食嚥下リハビリテーション認定士
非常勤(木曜日)	野澤 彩江	訪問歯科	

歯科衛生士プロフィール

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
	幸喜 奈緒子	歯科衛生士	口腔ケア 4 級 沖縄県歯科医師会歯周病認定 口のリハビリテーション医科歯科連携インストラクター 沖縄県歯科衛生士会学術理事
	浦崎 洋子	歯科衛生士	口腔ケア 4 級

診療実績

診療科別患者数

項目	累計	月平均
診療日数	97	8
延患者数	1,151	96
延患者数(一日平均)	143	12

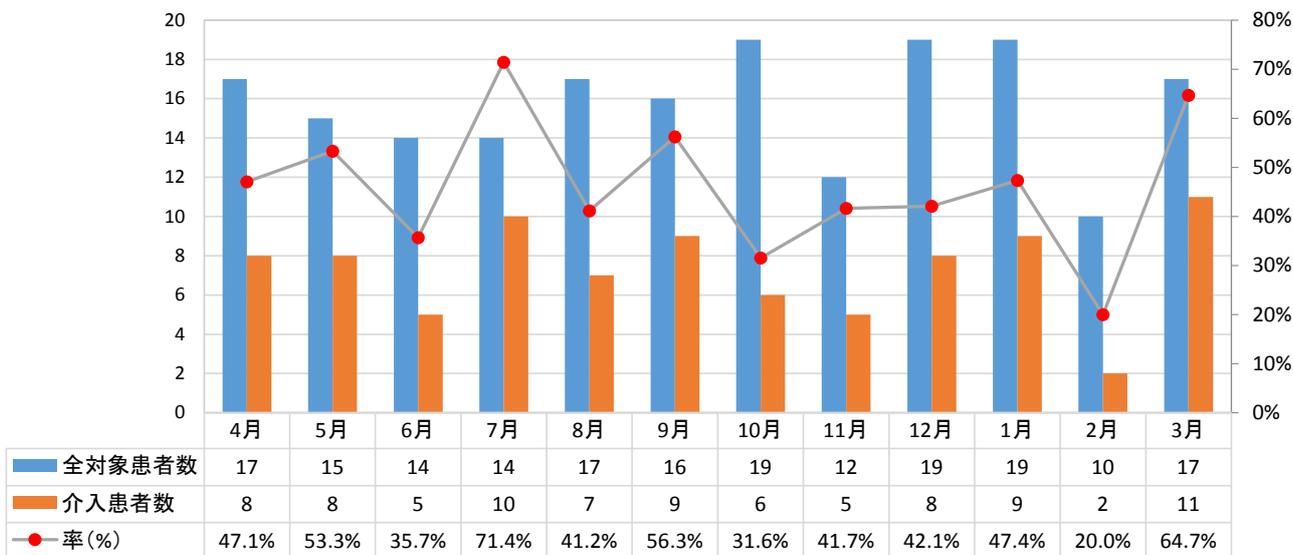
診療科別患者数

項目	累計	月平均
外科	337	28
内科	188	16
産婦人科	43	4
整形外科	36	3
形成外科	13	1

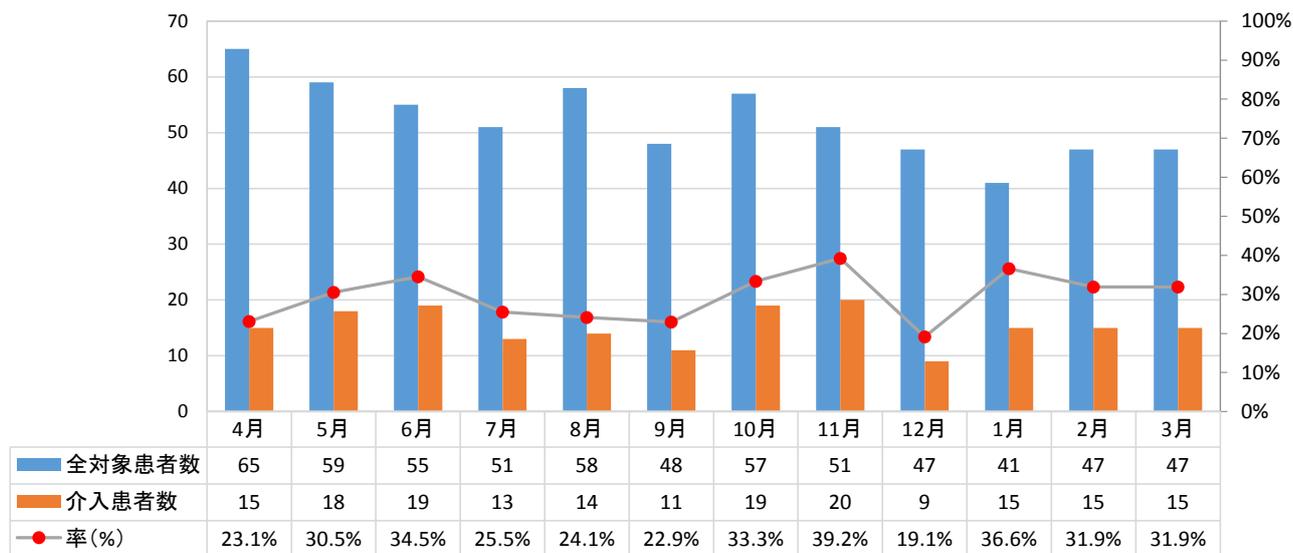
項目	累計	月平均
脳神経外科	16	1
耳鼻咽喉科	22	2
泌尿器科	9	1
眼科	9	1

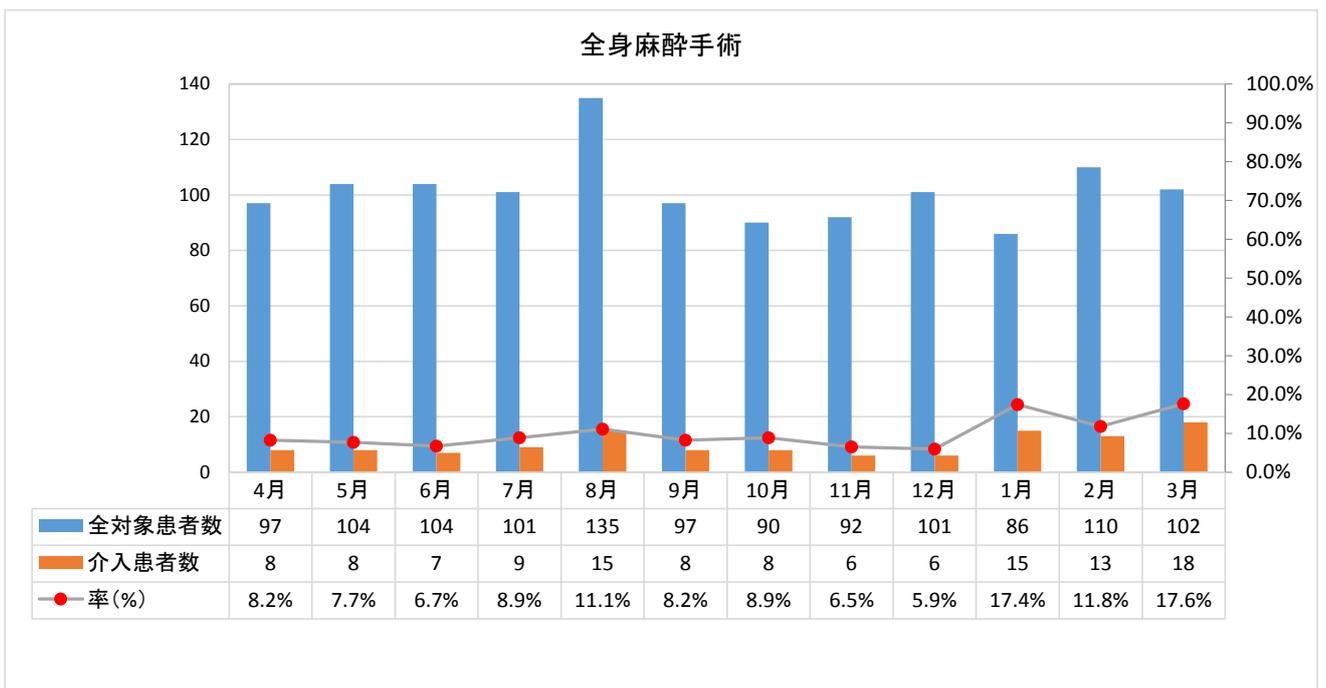
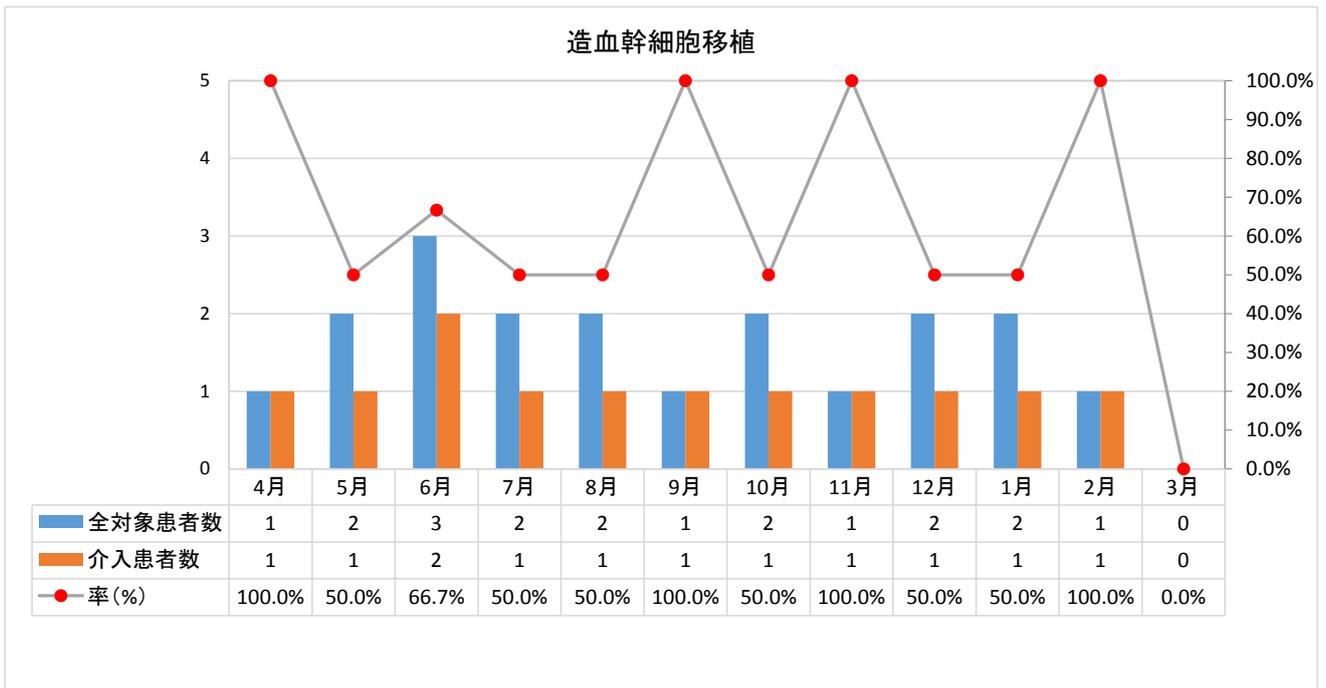
症例別実績

悪性腫瘍手術



化学療法(入院)





研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
歯科衛生士と協働した口腔ケアの取り組み	日本がん看護学会	千葉県	2018年2月5日	本田由佳理、幸喜奈緒子

講習会

講習会名	開催地	年月日	参加者
ライオン歯科材予防講習会	沖縄県歯科医師会	2017 年 5 月 21 日	幸喜奈緒子 (主催)
障害者講習会	沖縄県歯科医師会	2017 年 6 月 11 日 6 月 25 日 7 月 9 日 8 月 6 日 8 月 20 日	幸喜奈緒子
周術期歯科連携勉強会	沖縄県歯科医師会	2017 年 7 月 23 日	幸喜奈緒子
県民健康フェア	沖縄コンベンション	2017 年 8 月 20 日	幸喜奈緒子
口のリハビリテーション	沖縄県歯科医師会	2017 年 9 月 10 日	幸喜奈緒子
日本歯科衛生士会	東京	2017 年 9 月 16 日	幸喜奈緒子
周術期講習会	沖縄県歯科医師会	2017 年 10 月 15 日	幸喜奈緒子
いい歯の日	サンエー西原シティー	2017 年 11 月 5 日	幸喜奈緒子 (イベント主催)
糖尿病医療連携と歯周病	沖縄県歯科医師会	2017 年 11 月 26 日	幸喜奈緒子
口腔ケアシンポジウム IN 沖縄	琉球大学医学部付属病院	2017 年 11 月 26 日	幸喜奈緒子、浦崎洋子
摂食機能療法	沖縄県歯科医師会	2017 年 12 月 10 日	幸喜奈緒子
命を守る口腔ケア	琉球大学医学部付属病院	2018 年 1 月 11 日	幸喜奈緒子、浦崎洋子

年度総括



口腔ケア科
野澤 彩江

当科は医科からの紹介により介入可能なため、平成 29 年 4 月に開設後より各診療科からご紹介、ご依頼頂き感謝しております。
今後も看護師や ST と連携を取りながら患者さんの QOL の向上に繋げられるよう協力していきたいと考えています。

次年度の目標

平成 30 年度の 4 月より診療報酬改定により、周術期口腔機能管理の範囲が下記に広がりました。

【対象手術の例】

- 頭頸部領域、呼吸器領域、消化器領域等の悪性腫瘍の手術
- 心臓血管外科手術
- 人口股関節置き置換え術等の整形外科手術
- 臓器移植手術
- 造血幹細胞移植
- 脳卒中に対する手術

介入率と周術期口腔機能管理策定率の向上を目標としています。

救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急室」「地域に開かれた救急室」「専門診療科との高度な連携を取る救急室」「充実した研修のできる救急室」を目標に業務の改善を図っています。平成 29 年度は、ドクターカーの運用が本格的になったことが、一番のトピックスです。

研究業績

学会発表

今年度も臨床救急学会を始め多くの学会で発表を行いました。昨年度は心電図伝送システム「スクナ」の紹介に努めましたが、今年度はそれによる治療効果の解析や、県内他病院も含めた「スクナ」利用の実績なども報告しました。

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
電撃傷による難治性心室細動へ ECMO を用いて、救命に成功した一例	第 20 回日本臨床救急医学会総会・学術集会	東京	2017 年 5 月 27 日～28 日	太田沙也加、三戸正人
致命的と思われた喘息重責発作に対して ECMO を用いて救命した一例	第 45 回日本救急医学会総会・学術集会	大阪	2017 年 10 月 24 日～26 日	太田沙也加、三戸正人、銘苅正
心電図・画像伝送システムを軌道に載せるためには消防との連携が鍵である	第 45 回日本救急医学会総会・学術集会	大阪府	2017 年 10 月 24 日～26 日	三戸正人、太田沙也加、銘苅正
救急不応需を減らすためには、高齢者施設との事前連携が鍵となる	第 45 回日本救急医学会総会・学術集会	大阪府	2017 年 10 月 24 日～26 日	三戸正人、太田沙也加、銘苅正
造影剤投与に起因するアナフィラキシーにより喉頭浮腫をきたした一例	第 124 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄	2017 年 12 月 10 日	仲本正哉、三戸正人、銘苅正
12 誘導心電図伝送システム導入の現実	第 12 誘導心電図伝送を考える会	東京都	2018 年 1 月 13 日	三戸正人
瞬時電圧低下による非常時電源を含む院内停電の経験	第 23 回日本集団災害医学会総会	神奈川県	2018 年 2 月 1 日	三戸正人

医師プロフィール

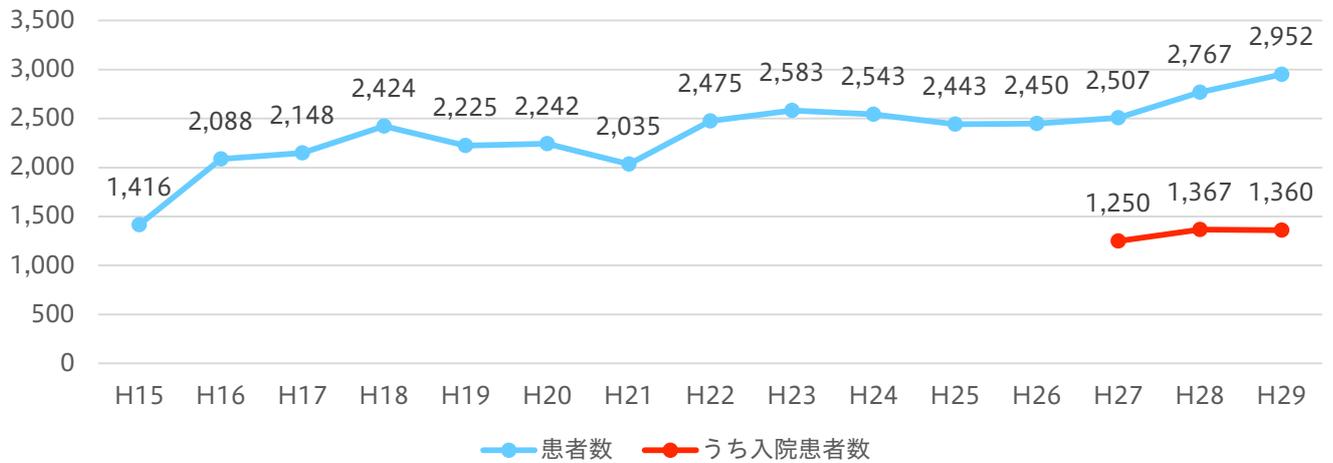
今年度は医師の体制に変化はありません。平成 29 年度から開始される新専門医制度の専攻医確保のため、県内の体制づくりの会議に積極的に参加しました。

(平成 29 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
救急総合診療部長	銘苅 正	一般外科、外傷外科	日本医師会認定産業医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、 スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター 日本心臓核医学会評議員

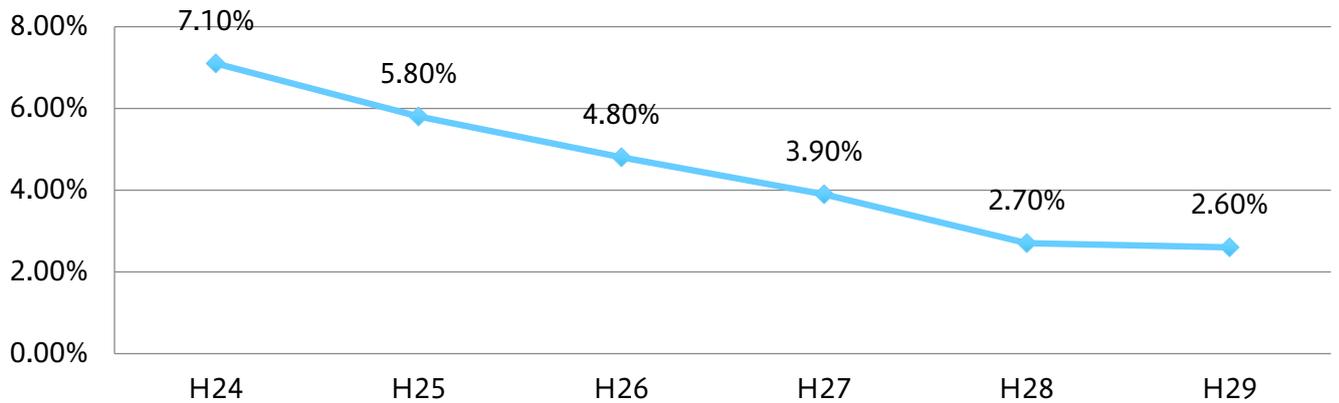
実績

救急搬送受け入れ患者の推移



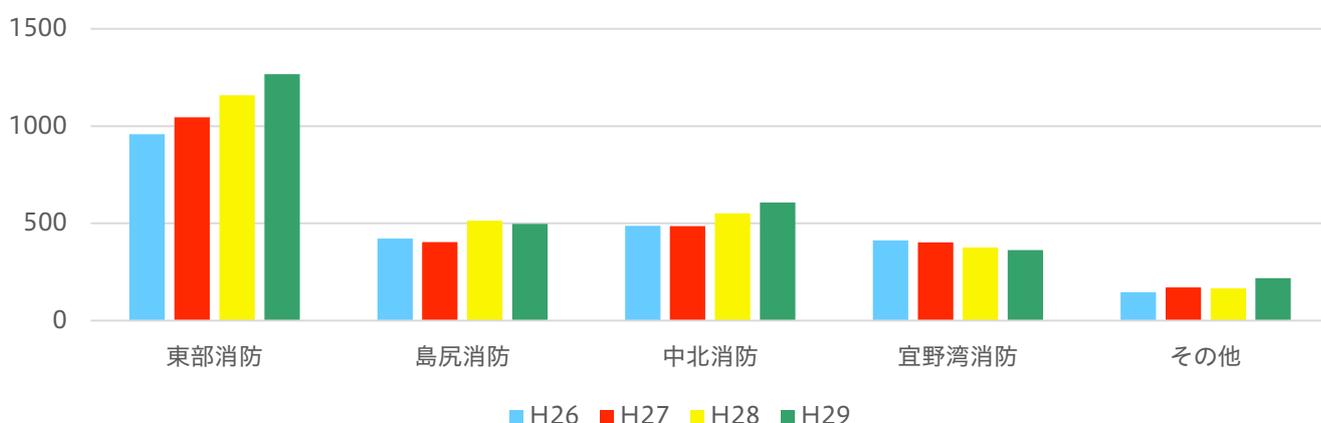
救急搬送患者数は昨年度より 185 件増加し 2,900 件を上回りました。インフルエンザの流行などで満床状態が長く続き、入院受け入れ制限期間があったため、入院率は下がっています。

不応受率



救急車の断り件数・不応受率は低下傾向にあります。受け入れ規則はほとんど守られており、当直を担当してくれている他科の先生方の協力の賜物です。

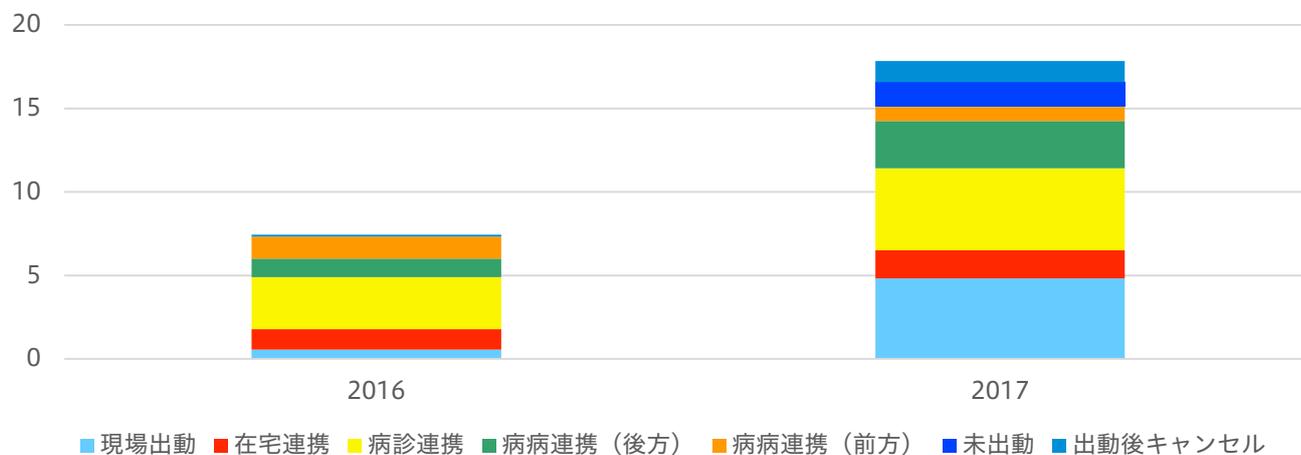
消防署別搬送数



昨年度の実績報告と比較し、東部消防と中北消防の搬送数が増加しています。これは近隣病院の救急業務縮小が影響していると分析しています。中部徳洲会の移転や琉大の救急受け入れ患者増加により、宜野湾消防の搬送数が減少しています。

その他の実績

ドクターカー一月平均出動数



DMAT 隊の訓練・教育には積極的に参加しています。三戸先生のインストラクターとしての他県を含む出張件数も増加しています。

4月には近隣消防と協定を結び、消防指令からの直接的なドクターカー出動要請が来るようになりました。救命救急士資格を持つ職員も2名確保し、多発交通事故現場や大規模産業事故現場などにも出動しています。出動後のキャンセルもありますが、地域の救急診療レベルの向上のためには、致し方ないコストと考えています。

近隣クリニックからの搬送依頼も増加していますが、特定のクリニックに偏る傾向があり、もっとひろく地域の先生方に認知していただけるよう努力が必要と感じています。

来年度の目標

平成 30 年度には、救急室の大幅な拡張・改装工事が行われます。診療を続けながらの工事なので、完成は9月中旬を見込んでいます。

その間、患者受入に問題が無いよう、救急室の体制を強化し、医局や病棟にもご協力いただけるよう努力します。

拡張工事が終了後には、教育用のシュミレーションルームが新設されるので、Off the Job トレーニングの強化に努めます。

年度総括



救急総合診療部長
銘苅 正

1：診療体制

年間 3,000 件近くの救急車を受け入れることができました。

各専門家との協力体制も安定したものになっています。

救命救急士を 2 名採用しました。

救急専属医の増員で、さらなる地域サービスができるようにするのが、一番の課題です。

2：地域支援

地域消防指令から直接ドクターカーの出動要請を受ける協定を結び、4月から稼働しています。それにより、ドクターカーの出動回数が大幅に増加しました。

3：専門診療科との連携

専門診療科との連携を今後も深めていく方針です。30 年度は、専門家の医師にお願いして、救急マニュアルの改定を予定しています。

4：研修・教育

今年度も救急室で研修した研修医には、救急や循環器の学会にいくつかの演題を出すことができました。これは副部長の三戸正人の頑張りが大きいところです。

救急や総合診療の専門家に講演をお願いしました。H30 年度も積極的に魅力的な講師をお呼びして、講演会を計画したいと思います。

当院で行っている救急隊との症例検討会は、院外からの関心も高く評価されています。研修医の教育や学会発表の訓練の場としても有効と感じています。

当院の初期研修医の中から、救急医療を希望する者が出るように努力します。その一環として、2 年目研修医の JATEC 受講を積極的に進めていきたいと思っています。

また、循環器内科や形成外科が行っているオフザジョブトレーニングを救急室のシュミレーションルームを利用してもらい、積極的に活用したいと考えています。

メディカルクラーク

職員数

総数

18名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	4

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	16

運営方針

1. 医師の業務軽減を図る
2. 他職種との協働によるチーム医療を目指す
3. スキルの向上に努める

平成 29 年度業務計画

1. 業務量の偏りをなくし、残業時間を減らす
2. 患者増対策その他ワーキンググループへ参加し、MC ができる経営貢献を図る
3. 病棟業務の新規開拓
4. 担当科を定期的に交代し、スタッフのスキルアップを図る

業務実績

文書作成

名称	H26	H27	H28	H29
生命保険文書	1,747	1,847	1,856	2,125
介護主治医意見書	485	480	462	451
傷病手当金請求書	404	464	377	436
医療要否意見書	653	606	611	642
特定疾患調査票	288	226	285	280
身障 / 年金診断書	155	265	276	279
自賠責診断書	1,107	1,181	1,118	1,108
その他	1,612	1,762	2,013	2,099
合計	6,451	6,831	6,998	7,420

名称	H26	H27	H28	H29
退院サマリー	1,053	774	827	829
高額コメント	287	290	115	152
NCD (外科手術症例登録)	805	999	916	958

統計業務

- ・ 日本胸部外科学会食道分野学術調査
 - ・ 日本内視鏡外科学会症例報告
 - ・ 日本外科学会指定施設年次報告
 - ・ 日本ヘルニア学会症例報告
 - ・ 日本血液学会疾患登録
- ・ 日本短期滞在手術外科手術手技研究会アンケート
 - ・ 外科研修関連施設実績報告（琉大・東京女子医大）
 - ・ 乳癌症例報告

活動実績

研修会・セミナー参加など

名称	開催地	年月日	参加者
第 7 回沖縄県医師事務交流会	県内	2017 年 6 月 17 日	3 名
院内緩和ケア研修会	院内	2017 年 7 月 15 日	1 名
日本医師事務作業補助研究会 第 1 回沖縄地方会	県内	2017 年 10 月 14 日	3 名
NCD セミナー 2017	東京	2017 年 11 月 22 日	1 名
日本医師事務作業補助研究会 第 2 回沖縄地方会	県内	2018 年 3 月 3 日	3 名

医局総括



医局長兼
呼吸器内科部長
普天間 光彦

日々の診療に関してはプライマリーケアから専門的な医療までエビデンスに基づき、患者さんに寄り添った医療に取り組んできました。

第一、第三木曜には、夕方に医局会を開催し、医局員の団結を深めています。

学術的領域では年間2～6回の学会への発表・参加、県内・県外の講演会参加等で知識の向上を図り、ラボ実習や手術・手技見学等で技術の研鑽に励みました。また、院内での定期的な取り組みとしては、毎週水曜のジャーナルクラブ（勉強会）、火曜・木曜・金曜の朝には研修医に対するレクチャー等、大変忙しく勉強してまいりました。

医局行事としては、年に数回の歓送迎会、ビアパーティー、研修終了パーティー、忘年会等を執り行いました。

このように活気あふれる医局として自認しておりますが、次年度は更なる飛躍を目指して努力していきます。

看護部

部門紹介

職員数（平成 29 年 4 月 1 日現在）

総数	496 名	保育士	1 名
保健師	6 名	栄養士	1 名
助産師	25 名	クラーク	18 名
正看護師	390 名	歯科衛生士	1 名
准看護師	15 名		
看護補助者	39 名		

認定看護師・認定看護管理者

氏名	認定看護分野
内間 幸人	集中ケア
島袋 すが子	慢性心不全看護
本田 由佳里	がん化学療法看護
砂川 克子	乳がん看護
兼本 愛美	救急看護
嘉数 智子	皮膚・排泄ケア

氏名	認定看護分野
石川 由希	感染管理
宮城 美那	感染管理
城間 克也	感染管理
仲地 ますみ	認定看護管理者
諸喜田睦子	診療看護師
高宮里沙	緩和ケア（研修修了）

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にされた質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

入院基本料 7：1 看護

勤務体制 二交替制

看護方式 PNS (パートナーシップ・ナーシング・システム)

【看護単位】

■一般病棟

7 階病棟 (呼吸器内科・循環器内科・糖尿病)

6 階病棟 (血液内科：クリーンルーム 10 床)

5 階病棟 (消化器内科・小児科)

4 階病棟 (外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科)

3 階病棟 (整形外科・脳外科・形成外科)

東 4・5 病棟 (産婦人科・乳腺外科)

東 2 階病棟 (混合病棟)

■ICU

■外来

一般外来

救急外来

透析室

■手術室、中央材料室

■内視鏡センター

■予防医学センター

活動実績

症例・研究発表

名称	主催	開催	日時	担当・参加者	所属
日本透析医学会学術集会発表	日本透析医学会学術集会	横浜	2017 年 6 月 16 日～18 日	伊保和加子、佐次田桃子	透析室
日本乳がん学会学術総会	日本乳がん学会学術総会	福岡	2017 年 7 月 12 日～15 日	砂川克子、	看護部
日本心臓リハビリテーション学会学術集会発表	日本心臓リハビリテーション学会	岐阜	2017 年 7 月 15 日～16 日	新垣仕言、安次嶺徹	7F
日本手術看護学会九州地区大会	日本手術看護学会	佐賀	2017 年 7 月 21 日～22 日	富田賢一	手術室
日本人間ドック学会学術大会	日本人間ドック学会	埼玉	2017 年 8 月 24 日～25 日	呉屋みなみ、高宮恵理子	予防医学センター
日本救急看護学会学術集会発表	日本救急看護学会	石川	2017 年 10 月 6 日～7 日	大宜見宗史、徳比嘉佳奈	救急外来
日本腹膜透析医学会学術集会	日本腹膜透析医学会	福岡	2017 年 10 月 7 日～8 日	田下茜	透析室
業務改善報告会	看護部	院内	2017 年 10 月 27 日	各部署担当者	看護部
中堅研修 I ⑦ 実践報告会	看護部教育委員会	院内	2017 年 11 月 24 日	中堅看護師 13 名	教育委員会
日本クリニカルパス学会学術集会発表	日本クリニカルパス学会	大阪	2017 年 12 月 1 日～2 日	狩俣愛、具志堅理沙	東 4・5F
九州人工透析研究総会発表	九州人工透析研修総会	福岡	2017 年 12 月 2 日～4 日	新里恭子、久場和子	透析室
日本看護科学学会学術集会発表	日本看護科学学会	仙台	2017 年 12 月 16 日～17 日	諸喜田睦子	看護部
日本造血細胞移植学会発表	日本造血細胞移植学会	北海道	2018 年 2 月 1 日～3 日	諸喜田雅子、宮里瀬菜	6F
日本がん看護学会学術集会発表	日本がん看護学会	東京	2018 年 2 月 3 日～4 日	本田由佳理、幸喜奈緒子	看護部
沖縄県人工透析研究会発表	沖縄県人工透析研究会	県内	2018 年 3 月 11 日	田下茜、瀬底真由美	透析室
日本集中治療医学会学術集会発表	日本集中治療医学会	千葉	2018 年 2 月 21 日～23 日	富里康太、石戸谷也寸志	ICU
認定看護師活動報告会	看護部 CN 会	院内	2018 年 1 月 29 日	講師：小波本直也 (NP) 嘉数智子 堀江恭子 諸喜田睦子	看護部

研修実績

研修名	主催	開催地	日時	担当・参加者	所属
新入職者オリエンテーション	病院	院内	2017年4月1日～ 月3日	総務課、看護部	—
新人看護師基礎看護技術研修	看護部	院内	2017年4月4日～ 4月14日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛 花城優子、仲地ますみ	主任会・教 育委員会
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	県内	2017年5月10日、 17日、24日	新人看護師33人	各看護単位
中堅研修Ⅱ看護倫理①	看護部教育委員会	院内	2017年5月12日	仲地ますみ	看護部
糖尿病療養指導カードシステム 講習会	日本糖尿病協会	県内	2017年5月14日	堀江恭子	看護部
助手研修①	看護部教育委員会	院内	2017年5月20日	米須智子、仲地ますみ、	教育委員会
中堅研修Ⅰ①	看護部教育委員会	院内	2017年5月25日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城 幸江、小橋川広美	教育委員会
領域研修(救急看護①)	看護部教育委員会	院内	2017年5月26日	兼本愛美、	CN会
地域包括ケアシステム構築に向 けて看護職に望むこと	沖縄県看護協会	県内	2017年5月27日	安谷屋佳子、多和田三由紀 志喜屋幸子、竹本直美	外来・看護 部
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2017年5月29日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛 花城優子、仲地ますみ	主任会・教 育委員会
医療事故調査制度と看護記録	沖縄県看護協会	県内	2017年6月1日	渡久山すえの、米須智子	内視鏡 4F
領域研修(DM①)	看護部教育委員会	院内	2017年6月2日	堀江恭子	CN会
助手研修②	看護部教育委員会	院内	2017年6月9日	米須智子、仲地ますみ	主任会・教 育委員会
地域包括ケアシステム構築に向 けた病院看護職の退院調整向 上への取り組み	沖縄県看護協会	県内	2017年6月10日	大城祥子、多和田三由紀 志喜屋幸子、前島真理	5F/入退院 支援室
中堅研修Ⅱ医療安全①	看護部教育委員会	院内	2017年6月16日	外間真紀子	医療安全管理 室
基礎から学ぶ救急看護	沖縄県看護協会	県内	2017年6月21日 ～22日	入与那国好美、伊佐杏澄 池根悠太	内視鏡・救 急外来
中堅研修Ⅰ②	看護部教育委員会	院内	2017年6月22日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城 幸江、小橋川広美	教育委員会
領域研修(化学療法①)	看護部教育委員会	院内	2017年6月23日	本田由佳理	CN会
日本緩和医療学会学術集会	日本緩和医療学会	横浜	2017年6月23日 ～24日	高宮理沙	
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2017年6月26日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛 花城優子、仲地ますみ	主任会・教 育委員会
緩和ケア	沖縄県看護協会	県内	2017年6月27日	宮里夏樹、中野恵	5F
小児救急看護	沖縄県看護協会	県内	2017年6月29日	新垣涼香、大城祥子	5F
新人看護師3か月フォローアッ プ研修	看護部教育委員会	院内	2017年6月30日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛 花城優子、仲地ますみ	教育委員会
認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	沖縄県看護協会	県内	2017年7月4日～ 8月15日	竹本直美、安谷屋佳子	連携室・外 来
領域研修(皮フ・排泄ケア①)	看護部教育委員会	院内	2017年7月7日	嘉数智子	CN会
新人リフレッシュ研修	看護部教育委員会	県内	2017年7月12日	主任会、プリセプター	主任会
中堅研修Ⅱ感染①	看護部教育委員会	院内	2017年7月14日	石川由希、宮城美那、城間克 也	CN会
地域包括ケアシステム構築に向 けた取り組み	沖縄県看護協会	県内	2017年7月15日	多和田三由紀、前島真理 志喜屋幸子	入退院支援 室
看護管理士フォローアップ研修	全日本病院協会	東京	2017年7月17日	宮平典子	看護部
領域研修(慢性心不全看護①)	看護部教育委員会	院内	2017年7月21日	島袋すが子	CN会
看護実践能力を育てる	沖縄県看護協会	県内	2017年7月24日	本田由佳理、石川由希	看護部
看護職と倫理	沖縄県看護協会	県内	2017年7月25日	米須智子、大城祥、島袋すが 子	5F・7F

研修名	主催	開催地	日時	担当・参加者	所属
小児感染症 予防接種	沖縄県看護協会	県内	2017 年 7 月 27 日	玉那覇久美子、	外来
中堅研修Ⅰ③	看護部教育委員会	院内	2017 年 7 月 27 日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城幸江、小橋川広美	教育委員会
領域研修(化学療法②)	看護部教育委員会	院内	2017 年 7 月 28 日	本田由佳理、	CN会
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2017 年 7 月 31 日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛花城優子、仲地ますみ	主任会・教育委員会
疑似体験で身につくこれが医療裁判だ	沖縄県看護協会	県内	2017 年 8 月 3 日	古波倉美登利、安村公均宮城幸恵	内視鏡・6F・透析室
3年目研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 4 日	比嘉憲貴、兼本愛美、竹本健太喜屋武香織、勝連しのぶ	教育委員会
新生児蘇生法Aコース	沖縄周産期ネットワーク協議会	県内	2017 年 8 月 5 日	長嶺明子	東4・5F
医療安全の動向と法的責任	沖縄県看護協会	県内	2017 年 8 月 9 日	東恩納小百合、川崎聖信奥間有太郎	OR・4F・3F
領域研修(乳がん看護①)	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 17 日	砂川克子、	CN会
中堅研修Ⅱ看護倫理②	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 18 日	仲地ますみ	看護部
中堅研修Ⅰ④	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 24 日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城幸江、小橋川広美	教育委員会
領域研修(化学療法③)	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 25 日	本田由佳理、	CN会
医療安全管理者スキルアップ	沖縄県看護協会	県内	2017 年 8 月 25 日	古波倉美登利、安村公均	内視鏡 / 6F
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 28 日	半嶺梢、花城優子、仲里寛、我那覇美帆、仲地ますみ	主任会
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	沖縄県看護協会	県内	2017 年 8 月 30 日	宮里伸也、伊藤諒、玉城玲奈、江島純子、具志堅理沙、山川七七女、大田尾祐太、大見謝奈々、	病棟看護師
領域研修(呼吸ケア①)	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 1 日	内間幸人	CN会
ミッションマネジメントと組織開発	沖縄県看護協会	県内	2017 年 9 月 7 日	島袋すが子、崎山久美、米須智子	7F・5F・4F
2年目研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 8 日	内間幸人、宮平良太東恩納小百合、渡久山すえの	教育委員会
中堅研修Ⅱ医療安全②	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 15 日	外間真紀子	医療安全管理室
臨床コミュニケーター実習研究会 クライシスコミュニケーション編	国際医療リスクマネジメント学会	東京	2017 年 9 月 16,17	外間真紀子、安村公均	医療安全管理室
コンチネンス初級セミナー	日本コンチネンス協会沖縄県支部	県内	2017 年 9 月 17 日 ～18日、10月8日 ～9日、11月3日	具志堅弘美	東4・5F
領域研修(皮フ・排泄ケア②)	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 20 日	嘉数智子	CN会
領域研修(救急看護②)	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 22 日	竹本健太、兼次翔太	CN会
特定行為研修 救急・集中ケアモデル	看護研修学校	東京	2017 年 9 月 22 日 ～3月29日	兼本愛美、	救急外来
中堅研修Ⅰ⑤	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 28 日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城幸江、小橋川広美	教育委員会
看護職と倫理(入門編)	沖縄県看護協会	県内	2017 年 9 月 28 日	川上さくら	7F
新人看護師6か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 29 日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛花城優子、仲地ますみ	教育委員会
訪問看護ステーション管理者研修Ⅰ	沖縄県看護協会	県内	2017 年 9 月 30 日	宮平典子	看護部
師長・主任合同研修	看護部	院内	2017 年 10 月 3 日	宮平典子、仲地ますみ	看護部
領域研修(慢性心不全看護②)	看護部教育委員会	院内	2017 年 10 月 6 日	島袋すが子	CN会

研修名	主催	開催地	日時	担当・参加者	所属
中堅研修Ⅱ感染②	看護部教育委員会	院内	2017年10月13日	石川由希、宮城美那、城間克也	CN会
リーダーシップ研修	沖縄県看護協会	県内	2017年10月13日	金城竜弥、今井久代	5F・東2F
フットケア研修	沖縄県看護協会	県内	2017年10月18日 ～19日	上原千晶、赤嶺美智江、久場和子、宮平良太	透析室 4F
乳がん看護スキルアップセミナー	日本乳がん研究会	東京	2017年10月19日 ～21日	砂川克子	看護部
領域研修(皮フ・排泄ケア②)	看護部教育委員会	院内	2017年10月20日	嘉数智子	CN会
認定看護管理者研修ファーストレベル	沖縄県看護協会	県内	2017年10月24日 ～12月7日	屋宜鮎美、崎山久美、比嘉藤子	3F・5F・ ケアセンター
中堅研修Ⅰ⑥	看護部教育委員会	院内	2017年10月26日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城幸江、小橋川広美	教育委員会
領域研修(呼吸ケア②)	看護部教育委員会	院内	2017年10月27日	内間幸人	CN会
プリセプター研修(上半期)	看護部教育委員会	院内	2017年10月30日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛花城優子、仲地ますみ	主任会・教育委員会
高齢化社会の現状と看護職者の役割	沖縄県看護協会	県内	2017年11月2日	屋良ちえみ、森下夏江	
看護必要度ステップアップ研修	S-Q研修会	県内	2017年11月5日	粟盛信子、崎山久美、米須智子、洲鎌正子、宮平典子、木村有希、島袋すが子、宮城つかさ	看護部
領域研修(DM②)	院内認定看護師会	院内	2017年11月10日	堀江恭子	CN会
創傷・褥そうケア	沖縄県看護協会	県内	2017年11月9日 ～10日	半嶺梢、宮平良太、金城竜弥、浦崎奈々瀬、松原賛美	4F・5F・ 7F
職域におけるがん対策の最新情報	がん対策推進企業アクション事務局	神戸	2017年11月14日	砂川克子	看護部
中堅研修Ⅱ看護倫理③	看護部教育委員会	院内	2017年11月17日	仲地ますみ	看護部
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2017年11月27日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛花城優子、仲地ますみ	主任会・教育委員会
自殺予防対策	沖縄県看護協会	県内	2017年11月27日	屋良ちえみ	看護部
領域研修(乳がん看護②)	看護部教育委員会	院内	2017年11月30日	砂川克子、	CN会
領域研修(救急看護③)	看護部教育委員会	院内	2017年12月1日	兼本愛美、	CN会
中堅研修Ⅰ⑧ 修了式	看護部教育委員会	院内	2017年12月7日	島袋すが子、宮城つかさ、宮城幸江、小橋川広美	教育委員会
領域研修(皮フ・排泄ケア③)	看護部教育委員会	院内	2017年12月8日	嘉数智子	CN会
中堅研修Ⅱ医療安全③	看護部教育委員会	院内	2017年12月15日	外間真紀子	医療安全管理室
看護師職能委員会企画研修会	沖縄県看護協会	県内	2017年12月16日	内間幸人他6名	看護部
看護師の特定行為研修シンポジウム	厚労省	東京	2017年12月20日	仲地ますみ	看護部
2年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2017年12月22日	平屋敷加代、高宮恵利子、瀬底真由美	主任会
看護師のクリニカルラダーを用いた学習支援	沖縄県看護協会	県内	2017年12月22日	安谷屋桂子、他5名	看護部
領域研修(慢性心不全看護③)	看護部教育委員会	院内	2017年12月28日	島袋すが子	CN会
領域研修(呼吸ケア③)	看護部教育委員会	院内	2018年1月5日	内間幸人	CN会
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2018年1月9日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛花城優子、仲地ますみ	主任会・教育委員会
創傷・褥瘡ケア(マネジメント編)	沖縄県看護協会	県内	2018年1月10日	松原賛美	7F
感染管理認定看護師のためのキャリア開発講座	NPO法人HAICS	東京	2018年1月12日～ 1月14日	城間克也	CN会

研修名	主催	開催地	日時	担当・参加者	所属
中堅研修Ⅱ感染②	看護部教育委員会	院内	2018 年 1 月 19 日	石川由希、宮城美那、城間克也	CN会
1年目体験発表会	看護部教育委員会	院内	2018 年 1 月 26 日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛、花城優子、プリセプター	主任会
フィジカルアセスメント(総論・実技)	沖縄県看護協会	県内	2018 年 1 月 30 日	金城美花、屋宜よし乃	3F
モニター講習会(Basic・Stepup)	日本光電	院内	2018 年 2 月 1 日～2	Basic:22 名 Stepup:11 名	看護部・ME科
新人看護職員研修教育担当者研修	沖縄県看護協会	県内	2018 年 2 月 2 日～6	大城祥子、奥間有太郎、石川由希	5F・3F・東2F
九州糖尿病看護スキルアップセミナー	九州糖尿看護研究会病	福岡	2018 年 2 月 4 日	堀江恭子	看護部
プリセプター研修(30年度向)	看護部教育委員会	院内	2018 年 2 月 9 日	仲里寛、花城優子、大城祥子、我那覇美帆、奥間有太郎、仲地ますみ	主任会・教育委員会
沖縄感染管理・洗浄滅菌研修会	沖縄感染管理・洗浄滅菌研修会	県内	2018 年 2 月 10 日	東恩納小百合、他 4 名	手術室
沖縄県看護研究学会学術集会	沖縄県看護協会	県内	2018 年 2 月 17 日	屋宜鮎美、他 8 名	看護部
プリセプター研修(下半期)	看護部教育委員会	院内	2018 年 2 月 23 日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛、花城優子、仲地ますみ	主任会・教育委員会
地域包括的視点に基づく看護管理	沖縄県看護協会	県内	2018 年 2 月 25 日	安谷屋佳子、山内美咲、仲田ひろ子	外来
戦略的診療報酬・介護報酬UP講座	S-Q研究会	県内	2018 年 3 月 4 日	山内美咲	外来
師長・主任合同研修	看護部	院内	2018 年 3 月 6 日	古波倉美登利、仲地ますみ	看護部
医療器材の正しい再生処理と関連知識	日本感染制御振興協会	県内	2018 年 3 月 10 日	宮城美那、富田賢一、宣保真理	手術室
1年目フォローアップ研修・修了式	看護部教育委員会	院内	2018 年 3 月 16 日	半嶺梢、我那覇美帆、仲里寛、花城優子、仲地ますみ	教育委員会
沖縄消化器内視鏡技師会総会教育講演会	沖縄消化器内視鏡技師会	県内	2018 年 3 月 24 日	渡久山すえの他 6 名	内視鏡センター

各部署概要・実績

外来

外来師長 安谷屋 佳子

職員数

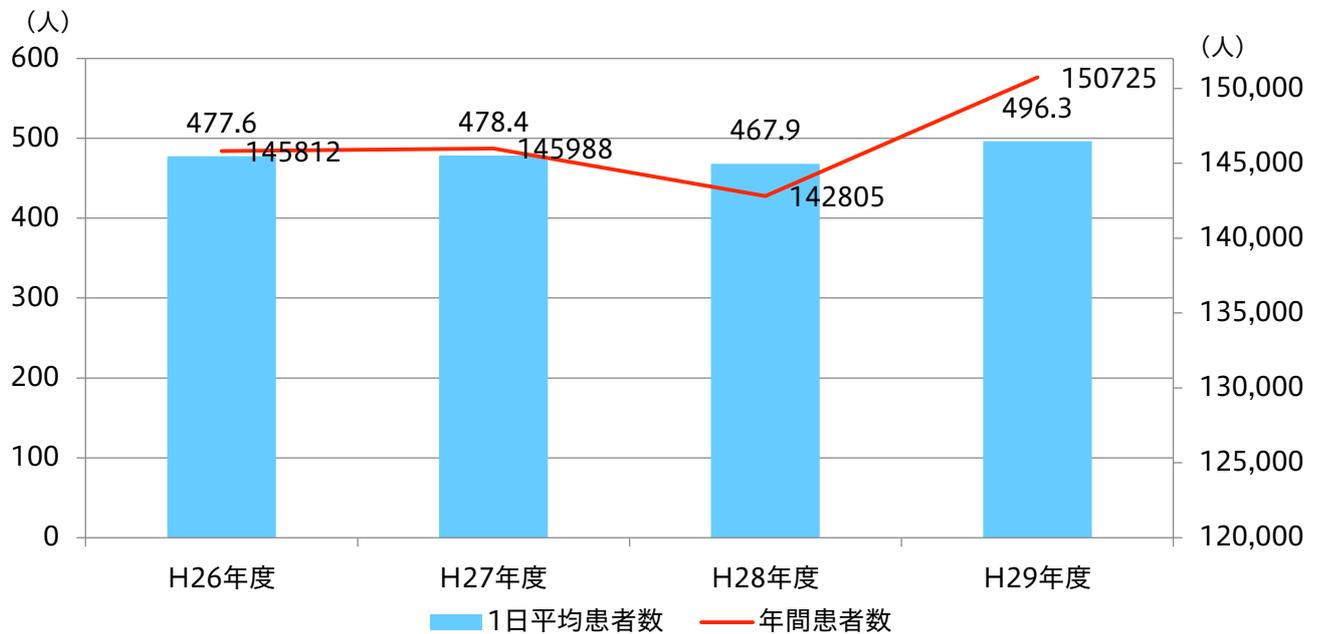
総数	43名	
看護師	26名	看護補助者 3名
准看護師	1名	クラーク 13名

資格・認定など

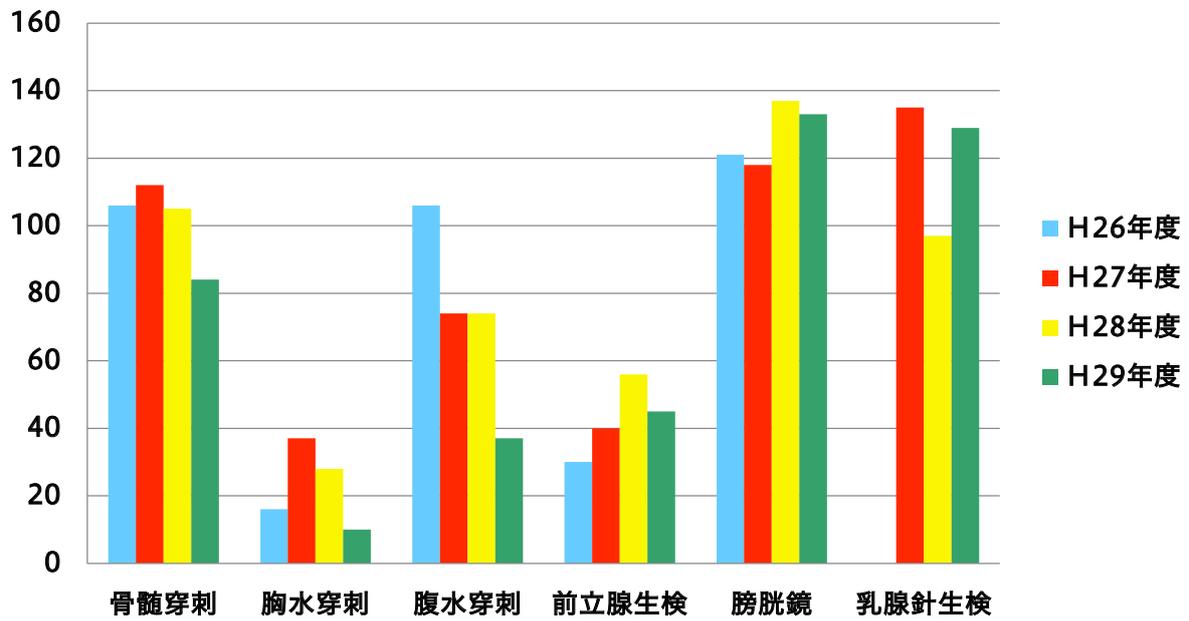
名称	人数
リンパ浮腫複合的治療技術者	1名
乳がん認定看護師	1名
慢性心不全認定看護師	1名
排尿自立指導料該当研修了者	1名
ELNEC-J 指導資格者	1名

業務実績

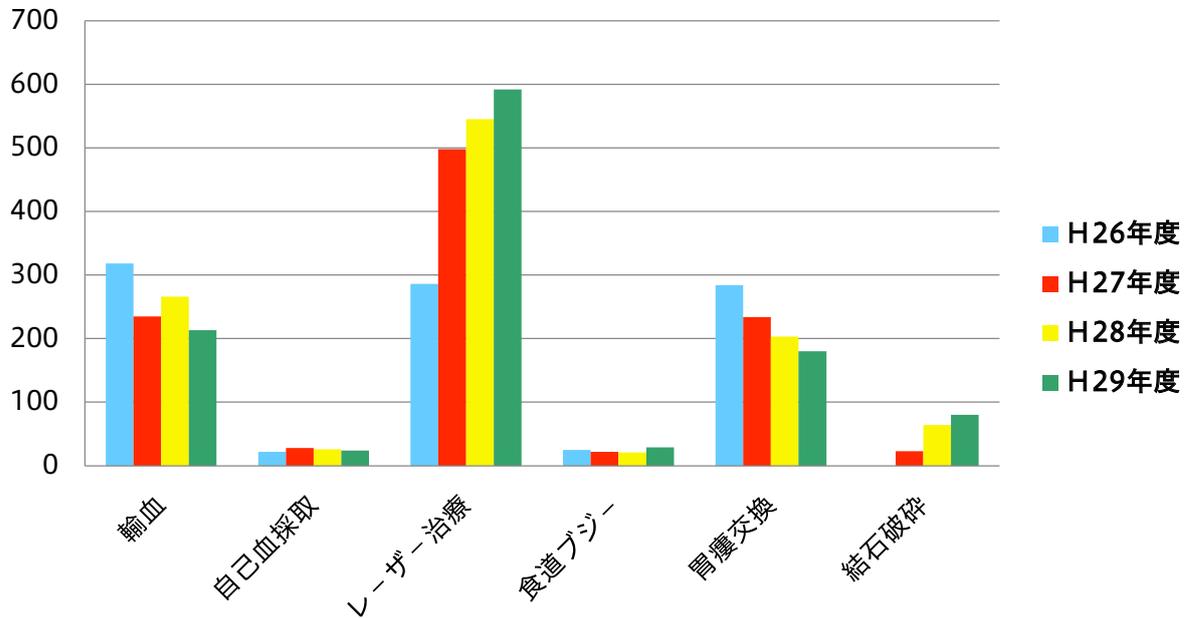
年間外来患者数と1日平均患者数



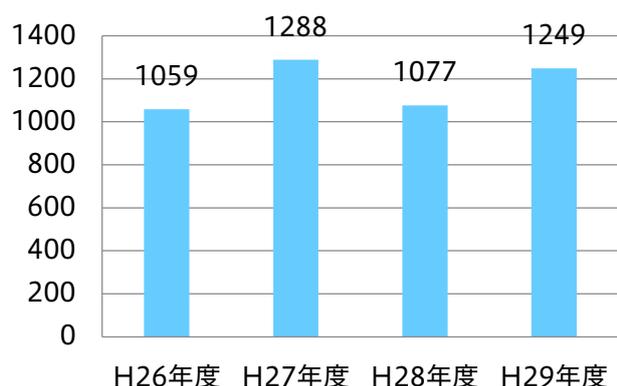
外来で行われる主な検査の年次推移



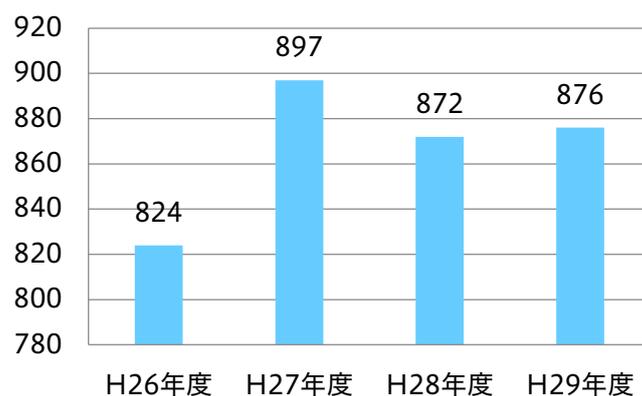
外来で行われる主な処置の年次推移



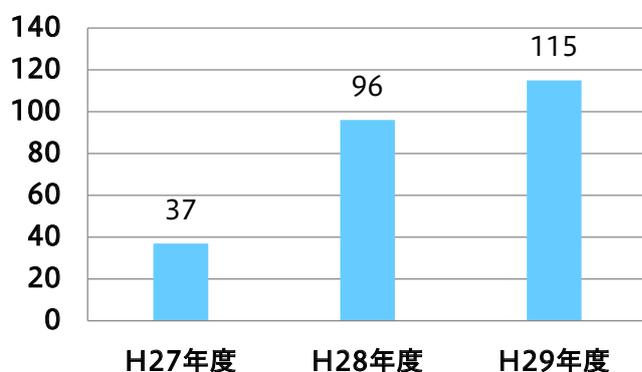
外来化学療法



無呼吸外来患者数



リンパ浮腫外来患者数



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
乳がん分子標的ハーセプチン高悪性腫瘍薬 パージェタ		院内	2017年4月27日	安谷屋佳子、神山紋子、 石原桂子
新人研修	院内教育	院内	2017年4月12日	比嘉 香織
排尿自立指導の病棟での進め方	排尿チーム	院内	2017年4月28日	安谷屋佳子、新垣薫、古 牧香織、當間直美
百日咳のワクチンについて	中外製薬	院内	2017年5月12日	安谷屋佳子、玉那覇久美 子、安里直美、大城貴子、 金城こずえ
地域包括ケアシステム構築に向けて看護職 に望むこと	看護協会	南風原町	2017年5月27日	安谷屋 佳子
化学療法ワークショップ	琉球光和	院内	2017年5月20日	石原桂子、山内美咲
明日から実践できる予防接種の間違え防止 策	中部地区医師会	北谷町	2017年6月8日	玉那覇久美子、大城貴子、 金城こずえ
睡眠時リスクマネジメントセミナー	医療安全講和	院内	2017年6月13日	安谷屋佳子
ゴナックスについて	アステラス	院内	2017年6月16日	古牧香織、玉元美紀代、 新垣薫
セーフスについて (1回目)		院内	2017年6月13日	古牧香織、玉元美紀代
セーフスについて (2回目)		院内	2017年6月29日	新垣薫、玉那覇久美子、 當間直美、古牧香織
フォルテオ (骨粗鬆薬)		院内	2017年6月27日	古牧香織、當間直美、大 城貴子、玉那覇久美子
小児感染症と予防接種	看護協会	南風原町	2017年7月27日	玉那覇久美子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
麻疹について	ジャパンワクチン	院内	2017 年 9 月 20 日	玉那覇久美子、仲松裕香、金城こずえ、安里直美、
ゾラデックス製品	アストラゼネガ	院内	2017 年 9 月 20 日	山内美咲、金城こずえ、大城貴子、仲田ひろ子、仲宗根香織、照屋夏子、仲松裕香、砂川敦子、石原桂子、古牧香織、玉元美紀代、友利知佳子、當間直美
フェソロデックス	アストロゼネガ	院内	2017 年 11 月 9 日	仲田ひろ子、遠藤由梨絵
呼吸生理と酸素療法	南西医療器	院内	2017 年 11 月 7 日	金城こずえ、安谷屋佳子、山内美咲
乳房再建について	医師	院内	2017 年 12 月 15 日	金城こずえ、安谷屋佳子、山内美咲、大滝正美、東りな、石原桂子、仲田ひろ子
看護師のクリニカルラダーを用いた学習支援	看護協会	南風原町	2017 年 12 月 22 日	安谷屋佳子、山内美咲
アイナースガイドコース	沖縄協同		2017 年 12 月 13 日	山内美咲
食物アレルギー	医師	院内	2018 年 1 月 25 日	安谷屋佳子、山内美咲、石原桂子、玉那覇久美子、羽鳥恵
日本光電モニター講習会	日本光電	院内	2018 年 2 月 1 日	仲松裕香
心臓カテーテルアブレーション	医師	院内	2018 年 2 月 2 日	安里直美、安谷屋佳子、金城こずえ、仲松裕香
アイナースガイドコース	沖縄協同病院		2018 年 3 月 10 日	安谷屋佳子

部署の取り組み

H29年度外来目標

- 1 安心・安全な医療の提供**
 - ・徹底した5R確認 ・報告・連絡・相談の徹底
- 2 個々の遂行能力向上のための教育**
 - ・知識、表現力、積極性向上に向けた取り組み
 - ・積極的に研修参加、伝達講習の実施
- 3 増改築に向けた外来体制の見直し**
 - ・急変時の知識・技術の習得
 - ・マニュアル整備と運営計画

H29年度総括

- 業務改善
 - ・注射実施方法・採血時の確認方法の見直しすることで、インシデント件数が減少した。
 - ・意思疎通できない患者の確認方法を考案し、患者誤認防止に努めた。
 - ・インシデント報告のタイミングの追加と内容分析を行い、インシデント回避につながる工夫をした。今後引き続き行っていく。
- 増改築に向けた外来体制の整備
 - ・救急委員を立ち上げ、急変時の他部署との連携方法、搬送ルートが確立できた。
 - ・H30年4月～本館CT造影検査へ外来NS派遣。
 - アレルギー出現時の対応方法を診療部と連携し、他部署と応援体制をつくることができた。
- 人材育成・WLB
 - ・自部署の技術チェック内容を見直し、個々の評価ツールとして情報共有することで科のローテーションに活用できた。
 - ・月の残業時間を分析し、時差出勤を出す工夫をした。結果、残業時間の減少につながった。
 - ・院内外の研修参加の機会を増やし、伝達講習を定着させることで個々の知識・技術習得の向上に役立った。

平成30年度の目標

- 1 安心・安全確実な看護実践**
 - ・徹底した5R確認
 - ・報告・連絡・相談の徹底
- 2 個々の知識向上と習得びに向けた教育・人材育成**
 - ・各科の特性を踏まえた専門的分野の学習とスタッフ育成
 - ・アセスメント能力向上に向けた教育
 - ・急変時の対応強化
 - ・研修参加・伝達講習の必須と継続
- 3 地域包括ケアシステムに向けたチーム医療**
 - ・他部署との情報共有と連携
 - ・外来看護師としての役割認識と行える支援の工夫

救急外来

救急外来師長 内間 幸人

職員数

総数 26名
 正看護師 24名
 救命士 2名

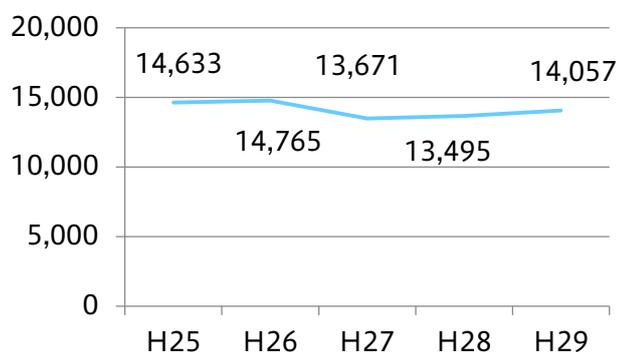
認定・資格など

名称	氏名
集中ケア認定看護師	内間幸人
救急看護認定看護師	兼本愛美
AHA BLS インストラクタ	内間幸人
	兼本愛美
	知花満津子
	平田千佳
	恒富加奈
ICLS インストラクタ	兼本愛美

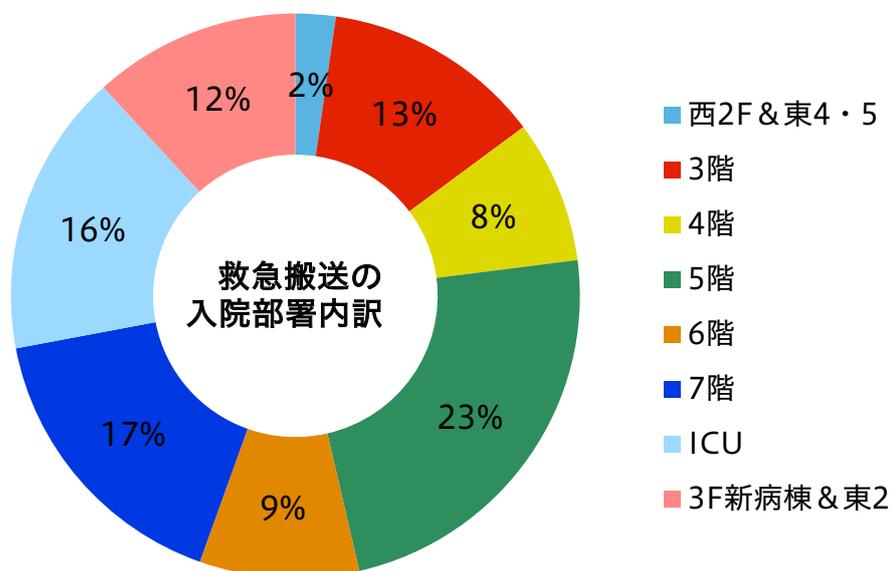
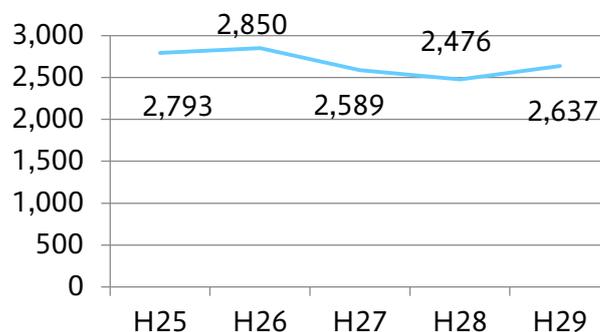
名称	氏名
MCLS インストラクタ	山田義長
JPTEC インストラクタ	兼本愛美
	兼次翔太
DMAT 隊員	竹本健太
	兼本愛美
	安里直樹

業務実績

救急受付患者年次推移



救急受付患者の入院数年次推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
A病院のドクターカーに同乗する看護師が抱く不安への取り組み	第 19 回日本救急看護学術集会	石川県	2017 年 10 月 6 日 ～ 7 日	徳比嘉佳奈 大宜見宗史 兼本愛美 内間幸人

論文著書

名称	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
【オールザッツ手技！人工呼吸ケア 1 年生できたじゃん！】 (Theme 4) 人工呼吸器からの離脱編 抜管後の呼吸状態を観察しよう"	呼吸器ケア (1347-7285)	15 巻 5 号 Page471(2017.05)	内間幸人
【オールザッツ手技！人工呼吸ケア 1 年生できたじゃん！】 (Theme 4) 人工呼吸器からの離脱編 抜管の準備をしよう (再挿管、NPPV の準備など)"	呼吸器ケア (1347-7285)	15 巻 5 号 Page470(2017.05)	内間幸人
【オールザッツ手技！人工呼吸ケア 1 年生できたじゃん！】 (Theme 4) 人工呼吸器からの離脱編 ウィーニング中の患者さんを観察しよう"	呼吸器ケア (1347-7285)	15 巻 5 号 Page469(2017.05)	内間幸人
【オールザッツ手技！人工呼吸ケア 1 年生できたじゃん！】 (Theme 1) 人工呼吸ケアの準備編 気管チューブの位置を確認しよう"	呼吸器ケア (1347-7285)	15 巻 5 号 Page434(2017.05)	兼本愛美
【オールザッツ手技！人工呼吸ケア 1 年生できたじゃん！】 (Theme 1) 人工呼吸ケアの準備編 挿管介助をしよう"	呼吸器ケア (1347-7285)	15 巻 5 号 Page433(2017.05)	兼本愛美
【オールザッツ手技！人工呼吸ケア 1 年生できたじゃん！】 (Theme 1) 人工呼吸ケアの準備編 気管挿管の準備をしよう"	呼吸器ケア (1347-7286)	15 巻 5 号 Page432(2017.05)	兼本愛美

活動実績

院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
AHA BLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	県内	2017 年 5 月 14 日	近藤祐可
AHA ACLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	県内	2017 年 5 月 20 日～ 21 日	大宜見宗史
J PTEC プロバイダーコース	一般社団法人 J PTEC 協議会	県内	2017 年 6 月 4 日	近藤祐可
J PTEC プロバイダーコース	一般社団法人 J PTEC 協議会	県内	2017 年 6 月 4 日	徳比嘉佳奈
MCLS プロバイダーコース	沖縄県 MC 協議会	県内	2017 年 6 月 24 日	平田千佳
J NTEC プロバイダーコース	一般社団法人日本救急看護学会	県内	2017 年 7 月 1～2 日	大宜見宗史
J NTEC プロバイダーコース	一般社団法人日本救急看護学会	県内	2017 年 7 月 1～2 日	知花満津子
I CLS プロバイダーコース	沖縄県医師会	県内	2017 年 7 月 16 日	竹本健太
DMAT 訓練～美ら島以心～	沖縄県	県内	2017 年 7 月 20 日	竹本健太 兼本愛美 安里直樹
大規模地震時医療活動訓練	沖縄県	県内	2017 年 7 月 29 日	竹本健太 兼本愛美 安里直樹
沖縄県総合防災訓練	沖縄県	県内	2017 年 9 月 2 日	竹本健太 兼本愛美 安里直樹
AHA BLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	県内	2017 年 9 月 16 日	篠原花織
航空機事故対処部分訓練	沖縄県	県内	2017 年 11 月 30 日	竹本健太 兼本愛美 安里直樹
AHA BLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	県内	2017 年 12 月 16 日	諸見里佳奈
AHA ACLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	県内	2017 年 2 月 3.4 日	篠原花織
統括 DMAT 登録者技能維持・ロジスティックス研修	日本災害医療ロジスティックス 研修運営事務局	県外	2017 年 2 月 24～ 25 日	兼本愛美
MCLS プロバイダーコース	沖縄県 MC 協議会	県内	2017 年 3 月 3 日	大宜見宗史
J PTEC インストラクターコース	一般社団法人 J PTEC 協議会	県内	2017 年 3 月 24 日	村吉拓馬
J PTEC プロバイダーコース	一般社団法人 J PTEC 協議会	県内	2017 年 3 月 25 日	篠原花織
J PTEC 更新コース	一般社団法人 J PTEC 協議会	県内	2017 年 3 月 25 日	恒富加奈

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
特定行為研修	日本看護協会	東京	2017年9月22日	兼本愛美

その他

研修名	開催日	担当者
県看護協会研修講師 ～基礎から学ぶ救急看護～急変予測と対応	2017年6月19日 ～20日	兼本愛美

部署の取り組み

平成29年度の目標

- ・ 安全な医療の提供
- ・ 専門性の高い看護の提供
- ・ 救急搬送件数増加
- ・ 他職種との連携強化
- ・ ドクターカー業務の確立

1.安全な医療の提供

- ・ インシデント・アクシデント発生が年間134件であった。事象レベルでは、レベル0・1の件数が109件で約80%を占めていた。要因については確認・照合不足による件数が多かった。このことから、スタッフのトラブル防止に対する意識を高めていく取り組みを実施していきたい。

2.専門性の高い看護の提供

- ・ ドクターカーによる病院前救護活動の本格運用に向けて、院外の外傷コースに7名、災害関連コースに2名が受講し、その学びを部署スタッフ対象に伝達講習会を開催した。今後も、チームメンバーを中心に継続的な実施、指導・教育、評価を行っていく。

3.救急搬送件数の増加

年間救急搬送受け入れ件数:2,952件

年間不応件数:78件

年間不応率:2.6%

救急搬送件数は、昨年に引き続き過去最多を更新した。また、不応率も前年に比べ減少した。この事は、病院内での要因としては、毎月不応受事例や受け入れ体制についての検討会を継続してきた事が考えられる。今後もこれらの推移を維持出来るよう努めたい。

4.他職種との連携

- ・ 放射線科業務(人間ドックは除く)
 - CT検査:12,230件
 - Angio:554件
 - RI:283件
 - XTV:797件
- Angio件数の内訳では、心臓が15%増加し、脳神経外科領域の検査件数が2倍強、血管内治療件数においては3倍強であった。脳血管内治療件数を今後も維持していくためには、より安全で効果的かつ効率的な対応が出来るよう努めたい。

平成30年度の目標

- ・ 安全な医療の提供
- ・ 専門性の高い看護の提供
- ・ 救急搬送件数増加
- ・ 他職種との連携強化
- ・ ドクターカー業務の確立

救急外来看護師による勉強会①



救急外来看護師による勉強会②



平成29年度総括

- ◆ 安全な医療の提供
インシデント・アクシデント発生が134件と前年度より増加した。内訳はレベル0と1で約80%を占め、3以上のアクシデントは無かった。
- ◆ 専門性の高い看護の提供
病院前救護活動時のスキルを高めることを目標に掲げ、外傷関連コースに2名受講、災害関連コースに2名受講し、部署内で伝達講習会を開催した。
- ◆ 救急搬送件数の増加
救急搬送件数は2年続けて過去最多を更新した。不応率も減少した。今後も近隣の消防や地域医療連携を図り件数の維持に努めたい。
- ◆ 多職種との連携
心臓関連と脳神経外科領域の治療件数がともに増加した。この事からも、診療態と協働し、より安全な医療の提供が出来るよう努めたい。
- ◆ ドクターカー業務の導入
今年度は、本格運用前の試験運用を実施した。本格運用に向けて、スキルアップ、症例検討会、救急隊との合同訓練など更なる連携強化に努め、ドクターカー業務の確立に努めたい。

人工透析室

人工透析室師長 宮城 幸江

職員数

総数 22 名

正看護師 20 名

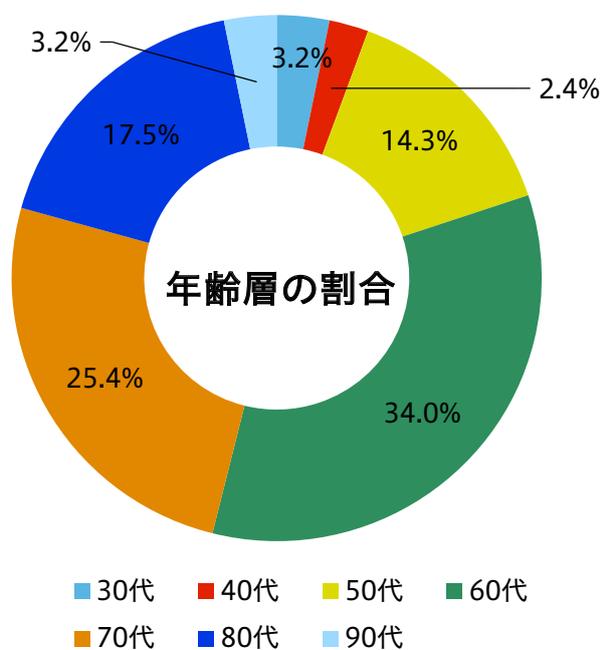
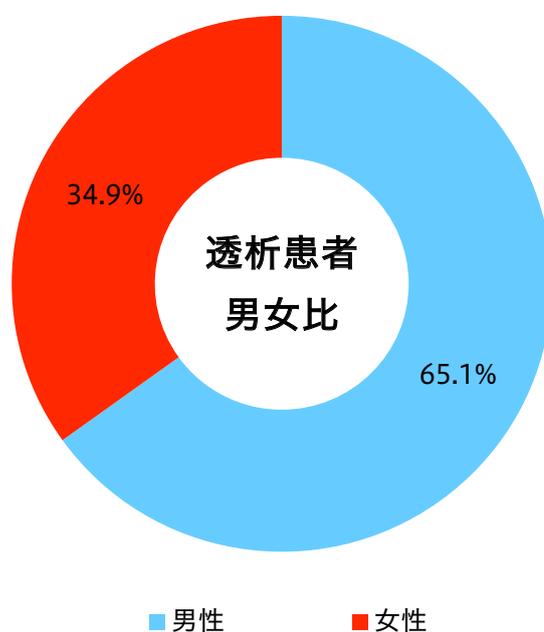
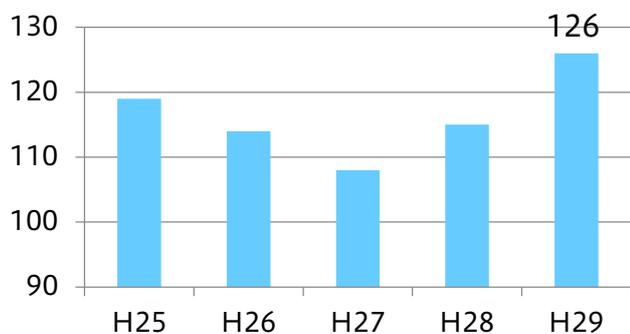
看護補助者 2 名

認定・資格取得状況

資格・認定名称	人数
透析療法指導看護師	1 名
透析技術認定士	9 名

業務実績

透析患者総数 (人)



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
長期留置カテーテル管理（感染予防）を経験して	第62回日本透析医学会学術集会、総会	神奈川県	2017年6月17日	伊保 和歌子、佐次田桃子
バック交換やカテーテルのトラブルを繰り返す患者の要因分析	第23回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	福岡県	2017年10月7日～8日	田下 茜、佐次田桃子、呉屋久子、瀬底真由美、宮城幸江
バック交換やカテーテルのトラブルを繰り返す患者の要因分析	第25回沖縄県PD研究会	沖縄県	2017年11月11日	田下 茜
シャント手洗い指導の取り組み～アンケートによる意識調査を通して	第50回九州人工透析研究会総会	福岡県	2017年12月3日	新里恭子、久場和子
バック交換やカテーテルのトラブルを繰り返す患者の要因分析	沖縄県PD ナースゆいの会	沖縄県	2018年1月20日	田下 茜
透析室における急変時対応への取り組みとその成果	第36回沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2018年1月3月11日	瀬底真由美、大工夏希
HDからPDへ療法変更した1例(PD選択から維持期までの関わりを通して)	第36回沖縄県人工透析研究会	沖縄県	2018年1月3月11日	田下 茜、佐次田桃子、呉屋久子、瀬底真由美、宮城幸江

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
透析患者のリン管理	3 価金属	透析室	2017年4月11日	赤嶺美智江、屋良淳子、田下茜、清水史恵、佐次田桃子、呉屋久子、宮城幸江
吸着型血液浄化器リクセルについて	KANEKA MEDICAL PRODUCTS	透析室	2017年4月12日	大工夏希、久場和子、屋良淳子、田下茜、清水史恵、佐次田桃子、呉屋久子、宮城幸江
より良い透析医療を目指して	協和発酵キリン	透析室	2017年4月18日	久場和子、新里恭子、赤嶺美智江、瀬底真由美、佐次田桃子、島袋さおり、宮城幸江
パーサビブ静注透析用	小野薬品	透析室	2017年4月28日	与那覇直子、赤嶺美智江、瀬底真由美、佐次田桃子、米須真由美、宮城幸江
透析掻痒症治療の最前線	鳥居薬品	透析室	2017年5月11日	新里恭子、呉屋久子、島袋さおり、知花瑞希、大工夏希、伊保和加子、赤嶺美智江、瀬底真由美、佐次田桃子、米須真由美、宮城幸江
中堅研修 看護倫理	看護部	院内	2017年5月12日	赤嶺美智江
中堅看護師能力開発研修 演習①	看護部	院内	2017年5月25日	屋良淳子、宮城幸江
領域研修(救急)	看護部	院内	2017年5月26日	田下 茜
CKD-MBDの病態と治療		透析室	2017年6月9日	新里恭子、呉屋久子、島袋さおり、知花瑞希、大工夏希、伊保和加子、赤嶺美智江、瀬底真由美、佐次田桃子、米須真由美、宮城幸江
領域研修(安全)	看護部	院内	2017年6月16日	呉屋久子、宮城幸江
中堅看護師能力開発研修 演習②	看護部	院内	2017年6月22日	屋良淳子、宮城幸江
透析アミロイド症とリクセルについて	カネカメディックス	透析室	2017年7月11日	知花瑞希、大工夏希、伊保和加子、久場和子、新垣直樹、平良美幸
領域研修(皮膚・排泄ケア)	看護部	院内	2017年7月7日	与那覇直子、上原千晶
領域研修(感染)	看護部	院内	2017年7月14日	新垣直樹
透析穿刺針について		透析室	2017年7月26日	伊保和加子、知花瑞希、大工夏希、田下茜、呉屋久子
中堅看護師能力開発研修 演習③	看護部	院内	2017年7月27日	屋良淳子、宮城幸江
中堅研修 看護倫理	看護部	院内	2017年8月18日	久場 和子
中堅看護師能力開発研修 演習④	看護部	院内	2017年8月24日	屋良淳子、宮城幸江

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域研修 (救急)	看護部	院内	2017 年 9 月 22 日	大工夏希
中堅看護師能力開発研修 演習⑤	看護部	院内	2017 年 9 月 28 日	屋良淳子、宮城幸江
鉄含有リン吸着剤は第 1 選択薬となるか		透析室	2017 年 9 月 28 日	伊保和加子、赤嶺美智江、米須真由美、佐次田桃子、島袋さおり、与那覇直子、新垣直樹、上原千晶、大工夏希、
穿刺技術の基礎	コヴィディエン ジャパン	透析室	2017 年 10 月 17 日	宮城幸江、久場和子、平良美幸、米須真由美、大工夏希、島袋さおり、新里恭子、伊保和加子、
フットケア研修	沖縄県看護協会	看護協会	2017 年 10 月 18 日	赤嶺美智江、久場和子
フットケア研修	沖縄県看護協会	看護協会	2017 年 10 月 19 日	上原千晶
領域研修 (皮膚・排泄ケア)	看護部	院内	2017 年 10 月 20 日	上原千晶、与那覇直子、
中堅看護師能力開発研修 演習⑥	看護部	院内	2017 年 10 月 26 日	屋良淳子、宮城幸江
維持血液透析患者における身体的フレイルと運動療法		透析室	2017 年 10 月 31 日	米須真由美、佐次田桃子、伊保和加子、上原千晶、平良美幸、瀬底真由美、大工夏希、新里恭子、田下茜、屋良淳子、宮城幸江
バスキュラーアクセスの基礎	コヴィディエン ジャパン	透析室	2017 年 11 月 7 日	瀬底真由美、宮城幸江、知花瑞希、赤嶺美智江、伊保和加子、大工夏希、新垣直樹、呉屋久子
領域研修 (糖尿病看護)	看護部	院内	2017 年 11 月 10 日	伊保和加子
中堅研修 看護倫理	看護部	院内	2017 年 11 月 17 日	与那覇直子
透析患者におけるサルコペニアフレイル	協和発酵キリン	透析室	2017 年 11 月 21 日	宮城幸江、久場和子、米須真由美、屋良淳子、大工夏希、佐次田桃子、新里恭子、比嘉智代、田下茜、島袋さおり、赤嶺美智江
中堅看護師能力開発研修 実践報告会	看護部	院内	2017 年 11 月 24 日	屋良淳子、宮城幸江
糖尿病について		透析室	2017 年 11 月 30 日	米須真由美、佐次田桃子、伊保和加子、上原千晶、平良美幸、新里恭子、久場和子、比嘉智代、与那覇直子、島袋さおり、呉屋久子
中堅看護師能力開発研修 振り返り	看護部	院内	2017 年 12 月 7 日	屋良淳子、宮城幸江
領域研修 (皮膚・排泄ケア)	看護部		2017 年 12 月 8 日	上原千晶、与那覇直子、
リン吸着剤ピートルについて		院内	2017 年 12 月 12 日	与那覇直子、比嘉智代、平良美幸、久場和子、知花瑞希、米須真由美
領域研修 (安全)	看護部	院内	2017 年 12 月 15 日	平良美幸、宮城幸江
領域研修 (安全)	看護部	院内	2018 年 1 月 12 日	佐次田桃子
カリメート薬効について		透析室	2018 年 1 月 30 日	宮城幸江、瀬底真由美、伊保和加子、久場和子、島袋さおり、与那覇直子、大工夏希、米須真由美、比嘉智代、平良美幸、呉屋久子、佐次田桃子
モニター講習会	日本光電	院内	2018 年 2 月 2 日	新里恭子
モニター講習会	日本光電	院内	2018 年 2 月 3 日	大工夏希
シャントトラブル対策	コヴィディエン ジャパン	透析室	2018 年 2 月 8 日	米須真由美、久場和子、大工夏希、上原千晶、アレンあやの、田下茜、新里恭子、与那覇直子、呉屋久子
透析患者の消化器症状と対策		透析室	2018 年 2 月 22 日	米須真由美、久場和子、大工夏希、田下茜、新里恭子、与那覇直子、新垣直樹、比嘉智代、瀬底真由美、宮城幸江、伊保和加子

部署の取り組み

平成29年度 目標

- ・インシデント、アクシデントの低減
- ・専門的ケア、サービスの提供
(フットケア・バスキュラアクセス・腎臓リハビリ)
- ・患者、家族への教育指導の充実
- ・接遇の向上

平成29年度 取り組みと成果①

- ◇個別性のバスキュラアクセス評価を行い、狭窄・血流不良時はマニュアルに沿って、循環器受診、シャントPTAへと繋げたことでシャント閉塞患者が減少
シャントPTA件数 H29年度(80件)
- ◇フットケアの取り組み
10月より、下肢末梢動脈疾患 管理加算取得 フットケアチームを中心にリスク分類、トラブル時はマニュアルに沿って形成外科、皮膚科へコンサルとへの流れの作成

平成29年度 取り組みと成果②

- ◇腹膜透析外来の立ち上げ(3年目)
患者4名
- ◇患者、家族への教育指導の充実
シャント感染予防(透析入室前の手洗い方法・シャント管理についてパンフレットの作成、掲示)

平成30年度 目標

- ・安全な医療の提供 マニュアルの周知・徹底
- ・専門的ケア、サービスの提供 (フットケア・バスキュラアクセス)
- ・ワークライフバランスの充実
- ・接遇向上 接遇10カ条の周知徹底

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 比嘉 憲貴

職員数

総数 21 名

正看護師 16 名

准看護師 1 名

看護補助者 3 名

メディカルクラーク 1 名

認定看護師

資格・認定名称	人数
感染管理	1 名
周術期管理チーム認定看護師	1 名

業務実績

手術総件数 3,213 件

(うち全身麻酔下手術 1,778 件)

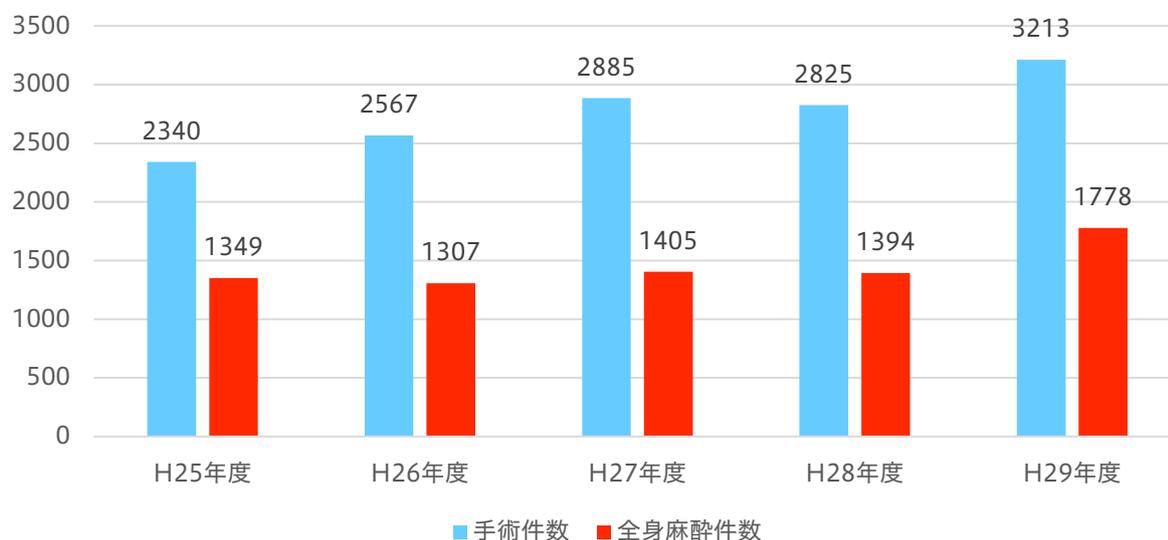
月平均手術件数

270 件

1 日平均手術件数

12 件 (最大 20 件)

手術実績推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
安全かつ効率的な手術室運営を目的とした入退室方法の見直し	日本手術学会九州地区分会	沖縄県	平成 30 年 2 月 24 日	東恩納小百合、比嘉憲貴

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催日	開催地	参加者
フレッシュマン研修	看護部教育委員会	2017年5月10日・17日	院外	内間亜稜・宮里光希
沖縄県看護協会 看護フェア	沖縄県看護協会	2017年5月13日	院外	宮城美那
院内感染対策講演会	院内感染対策対策室	2017年5月24日	院内	内間亜稜
第1回 感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	日本感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会	2017年6月1日	院外	宮城美那
新人職員対象院内 BLS	看護部教育委員会	2017年6月3日	院内	内間亜稜
医療安全領域研修	看護部教育委員会	2017年6月16日	院内	東恩納小百合
SAVE-KIKI 説明会	臨床工学科	2017年6月28日	院内	許田敏行・富田賢一・富田暁美・内間亜稜・米田梓
3ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	2017年6月30日	院内	内間亜稜・宮里光希・松川幸樹
リフレッシュ研修	看護部教育委員会	2017年7月12日	院外	内間亜稜・宮里光希・松川幸樹
中堅研修 感染	看護部教育委員会	2017年7月14日	院内	宮城美那
日本手術看護学会九州地区	日本手術看護学会	2017年7月21日	院外	富田賢一
第2回 感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	日本感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会	2017年8月3日	院外	宮城美那
院内感染	感染対策対策室	2017年8月8日	院内	久手堅緑・大城星乃
医療安全研修	沖縄県看護協会	2017年8月9日	院外	東恩納小百合
看護倫理	看護部教育委員会	2017年8月18日	院内	米田梓
中堅研修	看護部教育委員会	2017年8月24日	院内	許田敏行
2年目研修	看護部教育委員会	2017年9月8日	院内	上原直樹・東恩納小百合
大久保寛司講演会	奥島院長	2017年9月26日	院内	東恩納小百合・宮城美那
師長、主任合同研修	看護部教育委員会	2017年10月3日	院内	宮城美那・東恩納小百合・比嘉憲貴
中堅研修 感染	看護部教育委員会	2017年10月13日	院内	宮城美那
感染加算1 相互ウツド 中部徳州会病院	感染対策管理室	2017年10月25日	院外	宮城美那
院内研究発表会看護部予選	看護部教育委員会	2017年10月27日	院内	東恩納小百合・宮城美那・比嘉憲貴
第3回 感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	日本感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会	2017年11月2日	院外	宮城美那
感染対策講習会	感染対策対策室	2017年11月7日	院内	富田賢一・上原直樹・古内正樹・佐喜眞佐喜子
院内感染対策講演会	感染対策対策室	2017年11月9日	院内	東恩納小百合・許田敏行・大城星乃・久志周子・内間亜稜
日本手術学会九州地区分会	日本手術看護学会 沖縄県分会	2017年11月11日	院外	東恩納小百合、比嘉憲貴、久志周子、宮城美那、松川幸樹、富田賢一、米田梓、久手堅緑
DMAT 講演会	DMAT 事務局	2017年11月16日	院内	米田梓
院内研究発表会	実行委員会・事務部	2017年11月17日	院内	東恩納小百合・宮城美那・比嘉憲貴
実践報告会	看護部教育委員会	2017年11月24日	院内	東恩納小百合・許田敏行・米田梓・比嘉憲貴
医療安全勉強会	医療安全管理室	2017年12月4日	院内	東恩納小百合・久手堅緑・米田梓
「特定行為研修制度について知ろう!!」	沖縄県看護協会	2017年12月16日	院外	宮城美那
第5回 沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県認定看護師会	2018年1月13日	院外	宮城美那
1年目症例発表	看護部教育委員会	2018年1月26日	院内	内間亜稜・米田梓

研修名	主催	開催日	開催地	参加者
認定看護師	看護部教育委員会	2018 年 1 月 29 日	院内	東恩納小百合・宮城美那・久志周子
モニタ講習会（ベーシックコース）	日本光電	2018 年 2 月 1 日	院内	富田賢一、宜保真理、宮城美那
医療安全講習会	医療安全管理室	2018 年 2 月 26 日	院内	米田梓・宮城美那・富田暁美・呉屋真由美
日本手術学会九州地区分会	日本手術看護学会	2018 年 2 月 24 日	院外	仲嶺千絵、長嶺厚子宮城美那、富田賢一、米田梓、久志周子、呉屋真由美、上原直樹、古内正樹、大城星乃、久手堅緑、東恩納小百合、比嘉憲貴
プリセプター研修	看護部教育委員会	2018 年 2 月 23 日	院内	古内正樹、上原直樹
師長、主任合同研修	看護部教育委員会	2018 年 3 月 6 日	院内	宮城美那、東恩納小百合、比嘉憲貴
ケースレポート発表会	兵庫医科大学	2018 年 3 月 8 日	院外	富田賢一
沖縄 洗浄&滅菌セミナー 医療器材の正しい再生処理と関連知識	日本感染制御振興会	2018 年 3 月 13 日	院外	宮城美那、富田賢一、宜保真理
1 年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	2018 年 3 月 15 日	院内	内間亜稜
第 6 回 沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県感染管理認定看護師会	2018 年 3 月 17 日	院外	宮城美那

平成 28 年度総括

安全かつ効率的な手術室運営をめざし、以前から課題であった手術患者の入退室方法を見直しました。手術室は一カ所しかない前室を出入り口として全患者の入退室に対応しているため、従来の入退室方法では患者の同時刻入室時に待機時間が生じ、手術開始時間が遅延することが少なくありませんでした。さらに患者退室の際、施設の構造的な問題ではあるが搬送経路上の使用可能なエレベーター台数が物理的要因となり、当該部署スタッフの到着が遅延し、結果更なる待機時間が生じ、手術室運営の大きな障害でした。待機時間の発生は、予定手術開始時間が遅れ、タイムスケジュール超過に繋がり、医療スタッフ及び患者・家族に様々な影響を及ぼす要因となります。効率的な手術室運営に影響を及ぼしている待機時間を解消し、より安全な手術室への入退室方法について見直し、以下に取り組みました。

- ・前室で行われていた患者移動、申し送りを手術室内で行う
- ・手術室退室時にのみ行っていた当該部署への連絡を 2 段階に分けて行う
- ・転倒転落評価スコアに基づいた患者搬送方法に関する取り決めを設ける
- ・関連部署へアンケートを実施し、変更後の評価指標とする

結果、入退室法を見直したことで複数の同時刻入退室に迅速に対応でき、入退室バッティングに伴う待機時間も短縮する事が可能となりました。また部署への連絡を 2 段階にしたことで迎える病棟スタッフが到着するまでの待機時間が約半分に短縮し、速やかに次症例の準備、対応が可能になりました。更に、安全面では前室で行われていたストレッチャーからストレッチャーへの患者移動が不要となり転倒転落の危険性が低減されたこと、加えて転倒転落評価スコアに基づいた搬送方法をルール決めしたことで、関わるスタッフみんなが共通の安全意識を持って患者対応ができるようになり、年度の目標であった効率的で安全な手術室運営に近づけたと思います。

また平成 30 年度は手術室を現在の 5 室から 8 室へ造設することが決まっており、それに向けて準備を進めているところであり、引き続き、安全性・効率化に向け努力していきます。

ICU

ICU 師長 洲鎌 正子

職員数

総数 23 名

正看護師 22 名

看護補助者 1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数 27.6 名

病床利用数 4.6 床

在院日数 8.5 日

業務実績

ICU の業務実績は患者統計のページをご覧ください。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ICDSC 導入	日本集中治療医学会	東京	2018 年 2 月 21 日 ～2 月 23 日	富里康太、石戸谷也寸志、アーノルド寿々奈

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人入職者研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 4 月 3 日～4 月 14 日	平川陽稀、仲舛美奈、正野貴則、勝連しのぶ
中堅②看護師研修(倫理)	看護部教育委員会	院内	2017 年 5 月 12 日	松田早希
看護補助者研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 5 月 18 日	新里由美
救急領域研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 5 月 26 日	仲村和士
中堅②看護師研修(安全)	看護部教育委員会	院内	2017 年 6 月 16 日	松田早希
3ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 6 月 30 日	平川陽稀、仲舛美奈
WOC 領域研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 7 月 7 日	アーノルド寿々奈
中堅②看護師研修(感染)	看護部教育委員会	院内	2017 年 7 月 14 日	松田早希
3年目研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 4 日	池根悠太、勝連しのぶ
中堅②看護師研修(倫理)	看護部教育委員会	院内	2017 年 8 月 18 日	玉木紀光
2年目研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 8 日	田中優希菜、勝連しのぶ
中堅②看護師研修(安全)	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 15 日	玉木紀光
救急領域研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 22 日	池根悠太
6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 9 月 29 日	平川陽稀
師長主任合同研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 10 月 3 日	洲鎌正子、勝連しのぶ
中堅②看護師研修(感染)	看護部教育委員会	院内	2017 年 10 月 13 日	玉木紀光
WOC 領域研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 10 月 20 日	アーノルド寿々奈
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 10 月 27 日	仲舛美奈
業務改善報告会	看護部教育委員会	院内	2017 年 10 月 27 日	照屋優喜子、池根悠太
糖尿病領域研修	看護部教育委員会	院内	2017 年 11 月 10 日	山城奈保子
中堅②看護師研修(倫理)	看護部教育委員会	院内	2017 年 11 月 17 日	玉城玲奈

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
中堅実践報告会	看護部教育委員会	院内	2017 年 11 月 24 日	洲鎌正子
救急領域研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 1 月 16 日	田中優希菜
WOC 領域研修	看護部教育委員会	院外	2017 年 12 月 8 日	アーノルド寿々奈
中堅②看護師研修(安全)	看護部教育委員会	院内	2017 年 12 月 15 日	玉城玲奈
2 年目症例発表	看護部教育委員会	院内	2017 年 12 月 22 日	田中優希菜
中堅②看護師研修【感染】	看護部教育委員会	院内	2018 年 1 月 19 日	玉城玲奈
1 年目発表	看護部教育委員会	院内	2018 年 1 月 26 日	平川陽稀、仲舛美奈、正野貴則
30 年プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 2 月 9 日	照屋優喜子、池根悠太、仲村和士
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 2 月 23 日	正野貴則
師長主任合同研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 3 月 6 日	洲鎌正子、勝連しのぶ
美ら島レスキュー	沖縄県	沖縄県	2017 年 7 月 20 日	江口まり子
DMAT 訓練	日本政府厚生労働省	大阪	2017 年 7 月 29 日	江口まり子
DMAT 訓練	沖縄防災訓練	沖縄県	2017 年 9 月 1 日～9 月 2 日	江口まり子
那覇空港空機事故訓練	沖縄県	沖縄県	2017 年 11 月 30 日	江口まり子
九州ブロック DMAT 合同訓練	厚生省	佐賀県	2017 年	江口まり子
クリテカルシュミレーション	沖縄クリテカルケア看護協会	沖縄	2017 年 8 月 20 日	平川陽稀
クリテカルシュミレーション	沖縄クリテカルケア看護協会	沖縄	2017 年 10 月 21 日	平川陽稀
クリテカルシュミレーション	沖縄クリテカルケア看護協会	沖縄	2017 年 12 月 16 日	平川陽稀
クリテカルシュミレーション	沖縄クリテカルケア看護協会	沖縄	2018 年 1 月 27 日	平川陽稀、勝連しのぶ、富里康太、池根悠太

実績報告資料等

平成29年度目標

- 1) 病床利用率・6.0床・在室日数5.2を目指した運営
- 2) 安全な医療の提供
 - ・インシデント件数30件/年以下
 - ・患者誤認 0件/年
- 3) PNS 看護方式の向上
 - ・超過勤務時間減少
 - ・個人のスキルUP
 - ・プロジェクトチーム活動の継続
 - ・勉強会1回/月
- 4) 患者サービスの向上
 - ・接遇強化・クレーム0件/年
 - ・感染対策の強化(院内伝播0件/年)

アクションプラン

- ・専従医師とのカンファレンス
- ・リマインダ
- ・ISBARC
- ・毎朝5R確認呼称(患者誤認防止手順の徹底)
- ・医療安全の動向と法的責任(8/9)リンクナース研修
- ・タイムアウト
- ・院内・外活動の促進
- ・中堅研修の参加
- ・リンクナースによるスタンダードプリコーション指導
- ・ワードパレットを活用対応策(感染症発生時)

東館 4・5 階病棟（産婦人科）

東館 4・5 階病棟師長 平屋敷 加代

職員数

総数 35 名

助産師 21 名

正看護師 10 名

看護補助者 3 名

クラーク 1 名

認定・資格など

名称	人数
アドバンス助産師（助産師クリニカルラダーレベルⅢ認証）	6 名
新生児蘇生法 A コース受講終了者	20 名
新生児蘇生法 インストラクター	1 名
マタニティヨガ受講修了者（日本マタニティヨガ協会）	3 名

月平均入院患者状況

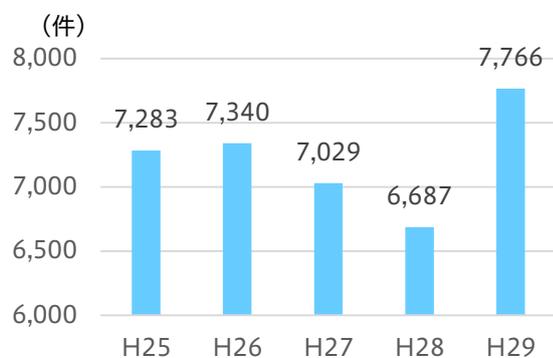
新規入院患者数 94.5 名

病床利用数 16.7 床

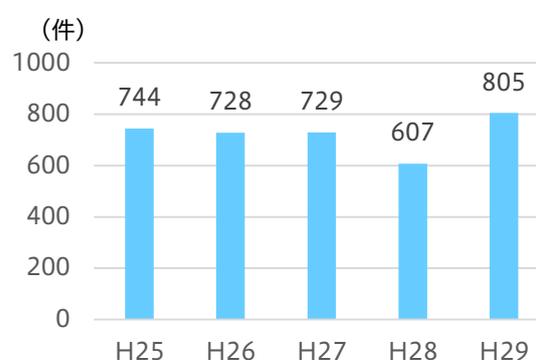
在院日数 6.0 日

業務実績

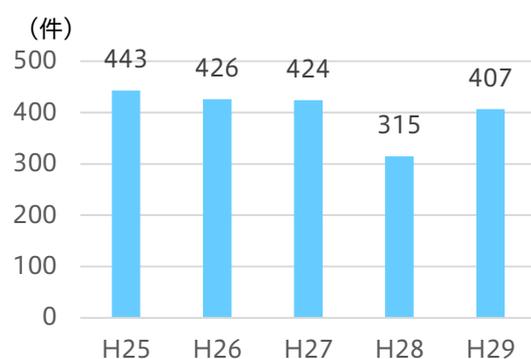
産婦人科外来患者数



産婦人科入院患者数



分娩件数



研究業績

学会発表

学会名	演題名	開催地	開催日	発表者、研究者
クリティカルパス大会		当院	2017 年 7 月 28 日	狩俣愛、具志堅理沙
	産婦人科外来 入院時チェックリスト見直し	当院	2017 年 11 月 24 日	仲村なおみ
第 18 回日本クリティカルパス 学会学術集会		大阪府	2017 年 12 月 1 日～ 2 日	狩俣愛

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部教育委員	当院	2017 年 4 月 1 日～ 14 日	伊佐朋子、外間稚都、松間貴世、 奥田美奈子
中途採用研修 感染 安全	看護部教育委員	当院	2017 年 5 月 16 日	米津梢
沖縄妊産婦整体セミナー	日本妊産婦整体協 会	ているる	2017 年 5 月 20 日, 21 日	長嶺明子、上原美佳
新入職者歓迎駅伝	健康増進委員会	沖縄本島	2017 年 5 月 21 日	江島純子、伊佐朋子、外間稚都、 松間貴世、奥田美奈子
中堅研修①	看護部教育委員	当院	2017 年 5 月 25 日	仲村なおみ
領域 救急①	看護部教育委員	当院	2017 年 5 月 26 日	江島純子、川崎綾乃
ポリナビワークショップ in 沖縄	沖縄看護連盟	ロワジュールホテル 那覇	2017 年 5 月 27 日	伊佐朋子、外間稚都
領域 DM ①	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 2 日	古謝奈津紀
BLS		当院	2017 年 6 月 3 日	伊佐朋子、外間稚都、松間貴世、 奥田美奈子
助手研修	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 9 日	宮城美和子
中堅 (医療安全①)	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 16 日	金城嘉奈子
沖縄県看護協会通常総会	沖縄県看護協会	看護協会	2017 年 6 月 17 日	崎山久美
ハイリスク妊産婦連携会議	中部保健所地域保 健班	中部保健所	2017 年 6 月 19 日	平屋敷加代
中途採用研修	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 20 日	仲宗根裕子
中堅研修②	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 22 日	仲村なおみ
領域 化学療法①	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 23 日	成田明日香、仲村なおみ
助手研修②	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 23 日	神谷國子
フリースタイル研修	名桜大学	名桜大学	2017 年 6 月 24 日	世嘉良裕美、古謝奈津紀
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員	当院	2017 年 6 月 30 日	我那覇美帆、伊佐朋子、外間 稚都、松間貴世 奥田美奈子
助産メンター会議	県立看護大学	県立看護大学	2017 年 7 月 6 日	我那覇美帆
沖縄県看護連盟総会	看護連盟	ロワジュールホテル 那覇	2017 年 7 月 8 日	平屋敷加代
助産メンター会議	県立看護大学	県立看護大学	2017 年 7 月 11 日	仲宗根裕子
リフレッシュ研修	看護部教育委員	西原中央公民館	2017 年 7 月 12 日	我那覇美帆、伊佐朋子、外間 稚都、松間貴世 奥田美奈子
領域 感染① (中堅)	看護部教育委員	当院	2017 年 7 月 14 日	神谷富士子
緩和ケア		当院	2017 年 7 月 15 日	成田明日香、仲村なおみ
領域 慢性心不全①	看護部教育委員	当院	2017 年 7 月 21 日	狩俣愛
中堅研修③	看護部教育委員	当院	2017 年 7 月 27 日	仲村なおみ
領域 化学療法②	看護部教育委員	当院	2017 年 7 月 28 日	成田明日香、仲村なおみ
クリティカルパス大会	看護部教育委員	当院	2017 年 7 月 28 日	狩俣愛、具志堅理沙
3 年目研修	看護部教育委員	当院	2017 年 8 月 4 日	古謝奈津紀
いいお産の日会議		看護協会	2017 年 8 月 5 日	富里由美子
NCPR A コース	新生児蘇生法委員 会	南部医療センター	2017 年 8 月 5 日	長嶺明子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
東館内覧会	ハートライフ病院		2017年8月12日	
領域 乳癌①	看護部教育委員	当院	2017年8月17日	成田明日香
領域 看護倫理②	看護部教育委員	当院	2017年8月18日	原順子
労務管理	看護協会	看護協会	2017年8月22日	平屋敷加代
中堅研修④	看護部教育委員	当院	2017年8月24日	仲村なおみ
領域 化学療法③	看護部教育委員	当院	2017年8月25日	成田明日香、仲村なおみ
認知症ケア		看護協会	2017年8月30日、31日	具志堅理沙、江島純子
産科管理者情報交換会		看護協会	2017年9月9日	平屋敷加代
コンチネンスセミナー			2017年9月17日、18日	具志堅弘美
領域 救急②	看護部教育委員	当院	2017年9月22日	長嶺明子
中堅研修⑤	看護部教育委員	当院	2017年9月28日	仲村なおみ
6ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員	当院	2017年9月29日	伊佐朋子、外間稚都、松間貴世、奥田美奈子
師長・主任合同研修	看護部教育委員	当院	2017年9月3日	平屋敷加代、我那覇美帆、成田明日香、原順子
領域 慢性心不全②	看護部教育委員	当院	2017年10月6日	狩俣愛
コンチネンスセミナー			2017年10月8日、9日	具志堅弘美
領域 感染②(中堅)	看護部教育委員	当院	2017年10月13日	神谷富士子
皮膚ケア	看護部教育委員	当院	2017年10月20日	具志堅弘美
中堅研修⑥	看護部教育委員	当院	2017年10月26日	仲村なおみ
院内研究発表 看護部予選会	看護部教育委員	当院	2017年10月27日	発表：金城嘉奈子、共同研究：上原美佳
院内研究発表		当院	2017年11月17日	発表：金城嘉奈子、共同研究：上原美佳
領域 看護倫理③	看護部教育委員	当院	2017年11月17日	富里由美子
中堅研修報告会	看護部教育委員	当院	2017年11月24日	仲村なおみ
ALSO	県立中部病院	琉大シュミレーションセンター	2017年11月25日、26日	長嶺明子
領域 リンパ浮腫②	看護部教育委員	当院	2017年11月30日	成田明日香
形成外科 乳房再建術勉強会	東4,5病棟	当院	2017年12月15日	東4,5階病棟スタッフ他
助産学科 別科報告会	県立看護大学	県立看護大学	2017年12月22日	仲宗根裕子
2年目症例発表会	看護部教育委員	当院	2017年12月22日	長嶺明子
南部管轄ハイリスク妊産婦連携会議	南部保健所	南部保健所	2017年12月15日	平屋敷加代
ELNEC J			2017年1月6日・7日	成田明日香、宮里夏樹
産婦健診及び産後ケア事業に関する意見交換会	沖縄県地域保健課 母子保健班	沖縄小児保健センター	2018年1月19日	平屋敷加代
領域 感染③(中堅)	看護部教育委員	当院	2018年1月19日	東初美
コンチネンスセミナー			2018年1月20日	具志堅弘美
沖縄乳がん学校	琉球乳腺倶楽部	沖縄県医師会	2018年1月20日	成田明日香、奥田美奈子
1年目症例発表会	看護部教育委員	当院	2018年1月26日	我那覇美帆、伊佐朋子、外間稚都、松間貴世、奥田美奈子
排便ケア			2018年1月27日	具志堅弘美
モニター講習会		当院	2018年2月1日	川崎綾乃、奥田美奈子
中途採用者研修	看護部教育委員	当院	2018年2月6日	大田ちひろ、金城真衣、上原美代子
プリセプター研修(H30)	看護部教育委員	当院	2018年2月9日	我那覇美帆、狩俣愛
領域研修(救急)	看護部教育委員	当院	2018年2月16日	大田ちひろ
プリセプター研修(H29)	看護部教育委員	当院	2018年2月23日	我那覇美帆、具志堅理沙、上原美佳、具志堅弘美
師長・主任合同研修	看護部	当院	2018年3月6日	平屋敷加代、我那覇美帆、成田明日香、原順子
1年目フォローアップ研修	看護部教育委員	当院	2018年3月16日	我那覇美帆、伊佐朋子、外間稚都、松間貴世、奥田美奈子

部署の取り組み

H29 年度総括

H29 年 9 月に東館病棟へ移転。

東館 4F：産婦人科の他に、乳腺外科とそれに関連する形成外科、女性の眼科入院、その他の女性患者の受け入れ

東館 5F：分娩期～産褥期の妊婦、新生児

産褥期の食事を改善、入院中のアメニティやサービスの充実

産婦人科外来：産科と婦人科に待合を分け、患者のニーズに寄り添う プライバシーへの配慮

教育では、看護学生 74 名（4 校）、助産学生 2 名（2 校）を受け入れ

今後の取り組み

PNS の充実

母子健康包括事業の一環、産後健診に向けての業務調整

助産師クリニカルラダーアドバンス助産師認証のための必須研修

助産外来枠の拡張

H30 年度 病棟目標

1. 安全な医療

- ・インシデントの共有と速やかな問題分析と対策
- ・患者誤認防止 0 件
- ・ISBARC を用いてコミュニケーションエラーをなくす
- ・安全な医療を提供する為、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にする

2. 人材の育成

- ・新入職者の育成
- ・リーダー Ns の育成
- ・4F、5F、外来の業務が支障なく行えるスタッフの育成
- ・助産師クリニカルラダー研修と認証申請

3. 私たちが目指す周産期看護

- ・外来業務の充実
妊婦さんが自分のからだの理解と自己管理が出来るようなサポート
安心したマタニティライフが送れるよう、妊婦さんに寄り添った看護
- ・安全なお産
お母さんと赤ちゃんにとって安全なお産へのサポート
自分らしいお産の心と体づくりのサポート
産む力を発揮できるお産のサポート
- ・安心な育児へつなげる
育児に自信が持てるようなサポート
母児同室による母乳育児へのサポート

4. 継続した看護

- ・外来受診時より、入院～退院に至るまでの情報共有と患者に寄り添う看護

5. 接遇

- ・クレーム 0 件
- ・あいさつ、笑顔、丁寧な言葉使い

私たちが目指す周産期看護

1. 妊婦さんが自分のからだの理解と自己管理ができるようなサポート
2. 安心したマタニティライフが送れるよう、妊婦さんに寄り添った看護
3. 自分らしいお産の心と体づくりのサポート
4. 産む力を発揮できるお産のサポート
5. お母さんと赤ちゃんにとって安全なお産へのサポート
6. 育児に自信が持てるようなサポート
7. 母児同室による母乳育児へのサポート

以上のような看護の提供を目指しています。



ハートライフ病院
産婦人科病棟



3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

3 階病棟師長 屋宜 鮎美

職員数

総数 41 名

正看護師 36 名

看護補助者 5 名

認定・資格など

名称	氏名
認知症高齢者の看護実践に必要な知識（認知症ケア加算II対象研修修了書取得）	大見謝奈々
新人看護職員研修教育担当者研修修了書取得	奥間有太郎

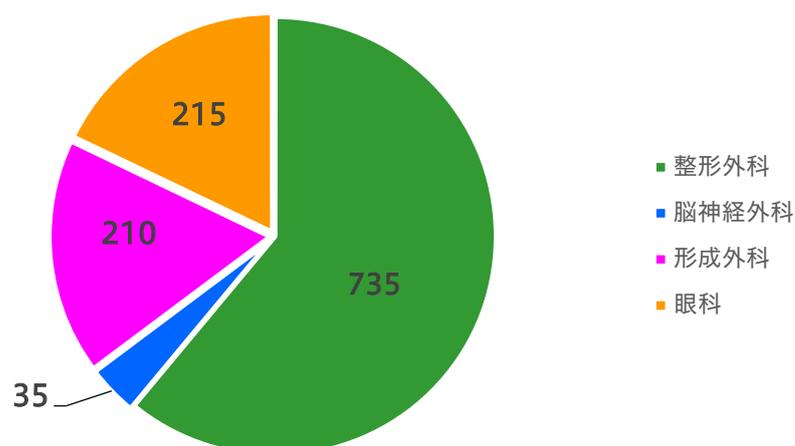
月平均入院患者状況

新規入院患者数 107.1 名

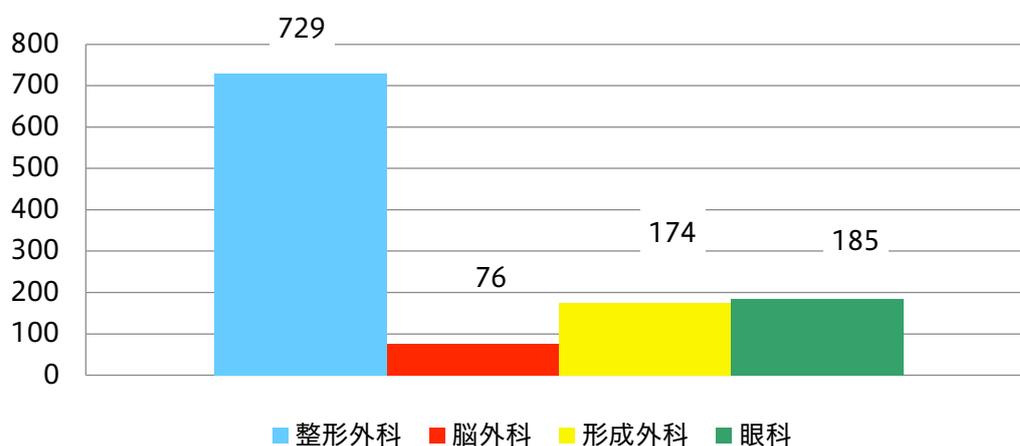
在院日数 14.9 日

病床利用数 56.1 床

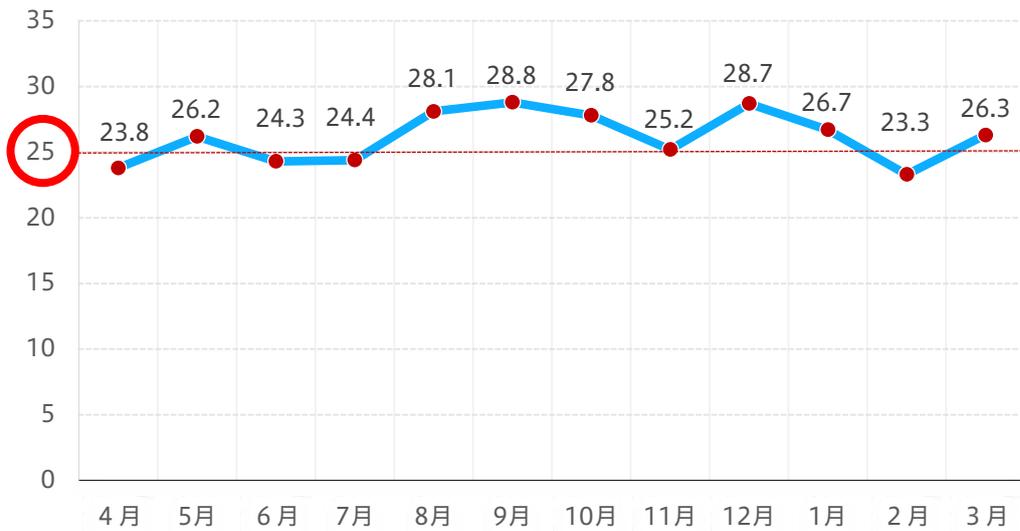
診療科別手術件数



診療科別入院患者数



重症度、医療・看護必要度



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職オリエンテーション	看護部	当院	2017年4月3日～14日	山内智里、島袋千尋、比嘉花織、兼城笑香、与那嶺なぎさ、船元恵、根間穂奈美、山田裕樹
フレッシュマン研修	看護協会	院外	2017年5月10日、5月17日、5月24日	山内智里、島袋千尋、比嘉花織、兼城笑香、与那嶺なぎさ、船元恵、根間穂奈美、山田裕樹
中堅研修①	看護部	当院	2017年5月～	永村麻衣子
中堅研修②（看護倫理）	看護部	当院	2017年5月12日、8月18日、11月17日	奥間有太郎、大見謝奈々、永村麻衣子
中堅研修②（感染管理）	看護部	当院	2017年7月14日、10月13日、2018年1月19日	奥間有太郎、大見謝奈々、永村麻衣子
中堅研修②（医療安全）	看護部	当院	2017年6月16日、9月14日、12月15日	大見謝奈々、奥間有太郎、永村麻衣子
看護補助者研修	看護部	当院	2017年6月9日、23日	新里優子、島袋涼花、小波津忍、伊良波彩花
3カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2017年6月30日	山内智里、島袋千尋、比嘉花織、兼城笑香、与那嶺なぎさ、船元恵、根間穂奈美、山田裕樹
6カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2017年9月29日	山内智里、島袋千尋、比嘉花織、兼城笑香、与那嶺なぎさ、船元恵、根間穂奈美、山田裕樹
2年目フォローアップ研修	看護部	当院	2017年9月8日	前田力、比嘉由布香、西改泰子、前田飛鳥、知念未弓、真名井菜
3年目フォローアップ研修	看護部	当院	2017年8月4日	金城優
中堅実績報告会	看護部	当院	2017年11月24日	永村麻衣子
領域別研修（乳癌看護）	看護部	当院	2017年8月7日、11月13日	金城優

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域別研修(呼吸ケア)	看護部	当院	2017年9月1日、10月27日、2018年1月5日	福末直史
領域別研修(救急看護)	看護部	当院	2017年5月26日、9月22日、2018年2月16日	松村優美、城間一樹、嘉数勇人
領域別研修(化学療法)	看護部	当院	2017年6月23日、7月28日、8月25日	久下泰代
領域別研修(糖尿病看護)	看護部	当院	2017年6月2日、11月10日	金城実花、知念宏共
領域別研修(皮膚排泄ケア)	看護部	当院	2017年7月7日、10月20日、12月8日、	詰田千沙都
医療安全の動向と法的責任	看護協会	院外	2017年8月9日	奥間有太郎
師長主任合同研修	看護部	当院	2017年10月3日、2018年3月3日	屋宜鮎美、奥間有太郎、大見謝奈々
認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)	看護協会	院外	2017年10月24日～、12月7日まで	屋宜鮎美
「高齢者の看護・認知症高齢者の看護」研修	琉球大学病院	院外	2017年10月17日	大見謝奈々
診療・介護報酬同時改定を見据えた看護必要度ステップアップ研修	日本臨牀看護マネジメント学会	院外	2017年11月5日	屋宜鮎美
新人看護職員研修教育担当者研修	看護協会	院外	2017年12月2日～12月6日まで	奥間有太郎
排泄ケア研修「看護の原点としての排泄ケア」		院外	H30年1月20日	屋宜鮎美
1年目報告会	看護部	院内	H30年1月26日	山内智里、島袋千尋、比嘉花織、兼城笑香、与那嶺なぎさ、船元恵、根間穂奈美、山田裕樹
フィジカルアセスメント	看護協会	院外	2018年1月29日、1月30日	金城実花、屋宜よし乃
プリセプター研修	看護部	院内	2017年10月30日、2月23日	屋宜よし乃、松村優美、東江隼人、城間一樹
H30年度 プリセプター研修	看護部	院内	2018年2月9日	嘉数勇人、前田力、比嘉由布香、金城優

部署の取り組み

29年度 取り組み

積極的な患者カンファレンス⇒看護の質の向上

- カンファレンスに挙げるテーマ…優先順位を考えて選択する
 - 緊急性の高い問題
 - 繰り返し起こっている問題
 - 他部門にまで影響を及ぼす問題
 - 看護師一人では解決できない問題
- カンファレンス時間の設定…病棟全体の業務の流れを把握し、可能な時間をリーダーが設定
- カンファレンスのファシリテーターをリーダーが行う…リーダー育成

カンファレンス件数



H30年度事業計画

- 患者誤認ゼロ
- 重症・医療・看護必要度毎月目標30%
- 眼科(角膜移植 海外ドナー)特別室の計画的な運用
- リーダー育成
(看護リフレクション・勉強会・急変時の対応シミュレーション・人材育成)
- 新人看護師、2年目看護師育成、病棟全体で人材育成に関わる
(PDCAサイクル)
- 記録監査
- 日本脳外科看護学会研究発表(仙台)
- スタッフの希望休暇取得(ワークライフバランス)
- 計画的な有給休暇取得

29年度総括

3階病棟は、疾患やADLの変化に伴い、自宅へスムーズに退院できない患者が多い。後方ベッドへの退院可能なタイミングを逃さずに、患者家族が納得できる入退院支援を、他職種カンファレンスを早期から積極的に実施。平均在院日数はH28年の16.8日からH29年度では、14.9日と短縮となった。

ベッドの確保により、新規入院患者の受け入れが可能であり、手術患者受け入れにより、重症度、医療・看護必要度の向上へも繋がる。H29年度の重症度、医療・看護必要度は26.2%であり目標はクリアとなっている。30年度より手術室拡大となり、手術件数の増加が予測される。受け皿となる病床の確保のため、二次的な治療が発生しないような、看護管理が重要となる。

30年度目標

1. 安全

- リスクマネジメントにより安全を確保した看護(看護誤認防止・5Rの徹底)
- 軽・速・相のしやすい環境(情報共有)
- インシデントを分析し、各スタッフにあわせて指導方法の実施(クリニカルラダーの活用)

2. 人材育成

- 正確な知識、確実な技術を持ち、看護実践を通して患者家族を尊重した看護師育成
- 自己目標の明確化
- PNS、OJT強化
- スタッフがいきいき成長できる職場づくり

3. 連携

- スムーズな入退院支援
- 他職種との連携(積極的な面談・カンファレンス参加)
- スタッフ同士の良好なコミュニケーション風土
- チームで協働し残業短縮

東 2 階病棟 (旧 3 階新病棟)

東館 2 階病棟師長 宮城 つかさ

職員数

総数 17 名

正看護師 15 名

看護補助者 2 名

認定・資格など

認定資格者	
感染管理認定看護師	城間克也、石川由希
呼吸療法認定	宮里伸也、山城敏裕、与那嶺史子
認知症・高齢者の看護実践に必要な基礎知識研修終了証取得	宮里伸也、山川七七女

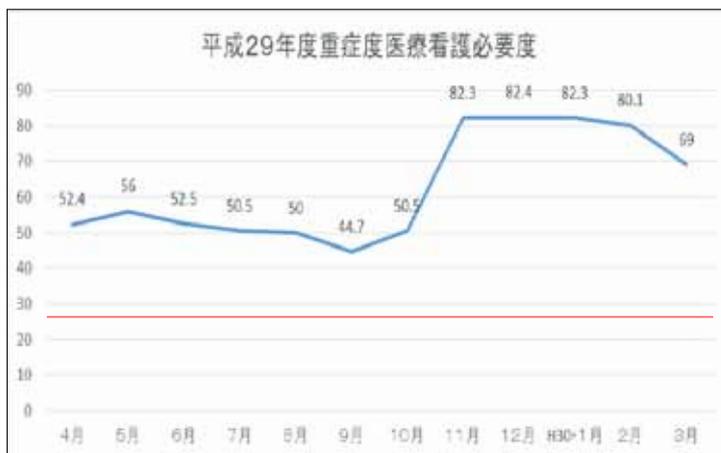
業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 30.4 名

病床利用数 7.9 床

在院日数 10.7 日



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
中堅研修②(看護倫理)	看護部教育委員会	当院	2017年5月12日	仲真菜都美
看護補助者研修	看護部教育委員会	当院	2017年5月17日	與那嶺敬子、宮里ともみ
中堅看護師実践能力解発研修	看護部教育委員会	当院	2017年5月25日	今井久代、宮城つかさ
中堅研修②(医療安全)	看護部教育委員会	当院	2017年6月16日	仲真菜都美
中堅看護師実践能力解発研修	看護部教育委員会	当院	2017年6月22日	今井久代、宮城つかさ
領域研修(皮膚・排泄ケア)	看護部教育委員会	当院	2017年7月7日	宮里伸也
中堅研修②(感染対策)	看護部教育委員会	当院	2017年7月14日	仲真菜都美、城間克也
領域研修(慢性心不全)	看護部教育委員会	当院	2017年7月21日	今井久代
中堅看護師実践能力解発研修	看護部教育委員会	当院	2017年7月28日	今井久代、宮城つかさ
中堅研修②(看護倫理)	看護部教育委員会	当院	2017年8月18日	山城敏裕
労務管理	沖縄県看護協会	南風原町	2017年8月22日	宮城つかさ
中堅看護師実践能力解発研修	看護部教育委員会	当院	2017年8月24日	今井久代、宮城つかさ
認知症高齢者の看護実践に必要な基礎知識	沖縄県看護協会	南風原町	2017年8月30・31日	宮里伸也、山川七七女
中堅看護師実践能力解発研修	看護部教育委員会	当院	2017年9月28日	今井久代、宮城つかさ
6カ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2017年9月29日	宮里光希
師長・主任合同研修	看護部	当院	2017年10月3日	宮城つかさ
領域研修(慢性心不全)	看護部教育委員会	当院	2017年10月6日	今井久代
領域研修(感染対策)	看護部教育委員会	当院	2017年10月13日	山城敏裕、城間克也
リーダーシップ研修	沖縄県看護協会	南風原町	2017年10月13日	今井久代
領域研修(皮膚・排泄ケア)	看護部教育委員会	当院	2017年10月20日	宮里伸也
中堅看護師実践能力解発研修	看護部教育委員会	当院	2017年10月26日	今井久代、外間幸代、宮城つかさ
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2017年10月30日	比嘉由香
診療・介護報酬同時改定を見据えた看護必要度ステップアップ研修	沖縄県看護協会	南風原町	2017年11月5日	宮城つかさ
領域研修(糖尿病看護)	看護部教育委員会	当院	2017年11月10日	宮里奈央
中堅研修②(看護倫理)	看護部教育委員会	当院	2017年11月17日	與那嶺史子
中堅研修実践報告会	看護部教育委員会	当院	2017年11月24日	今井久代、外間幸代、宮城つかさ
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2017年11月27日	又吉愛美
領域研修(乳がん看護)	看護部教育委員会	当院	2017年11月30日	又吉愛美
領域研修(皮膚・排泄ケア)	看護部教育委員会	当院	2017年12月6日	宮里伸也
領域研修(慢性心不全)	看護部教育委員会	当院	2017年12月29日	今井久代
中堅看護師実践能力解発研修振り返り	看護部教育委員会	当院	2017年12月7日	今井久代、外間幸代、宮城つかさ
診療情報改定と看護必要度	那覇市立病院	那覇市	2018年1月13日	宮城つかさ
沖縄県感染管理認定看護師会	南部医療センター	南風原町	2018年1月13日	石川由希
中堅研修(感染対策)	看護部教育委員会	当院	2018年1月19日	石川由希
中堅研修②(感染対策)	看護部教育委員会	当院	2018年1月19日	與那嶺史子
1年目症例発表	看護部教育委員会	当院	2018年1月26日	宮里光希
日本光電心電図講習会	日本光電	当院	平成30年2月1日・2日	新垣友香

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人看護職員研修教育担当者研修	沖縄県看護協会	南風原町	平成30年2月2日・3日・6日	石川由希
平成30年度プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2018年2月9日	新垣友香
日本感染学会・学術集会	日本環境感染学会	東京	2018年2月23日・24日	石川由希
診療情報改定と戦略	沖縄県看護協会	南風原町	2018年3月4日	宮城つかさ
師長・主任合同研修	看護部	当院	2018年3月6日	宮城つかさ
1年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2018年3月16日	宮里光希
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2018年3月30日	新垣友香

部署の取り組み

平成29年度・東2階病棟目標

- 1・安全な医療→インシデント件数
45件以下・患者誤認ゼロ
- 2・PNSの確立

- ▶ 総括
- ▶ 8月29日、本館から東館に引っ越した。それに伴い病棟名が、3階新病棟から東館2階病棟へ変更となった。ICUが隣になり、ICUからのおしだし件数の増加に伴い重症度医療看護必要度の平均値が、11月～2月80%越えとなった。当病棟の看護必要度の平均値は63.7%であった。
- ▶ 今年度トラブル件数20件、目標の45件以下の目標はクリアできた。
- ▶ 今後も安全な医療の提供を目指し取り組んでいく。

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 米須 智子

職員数

総数 39 名
正看護師 36 名
看護補助者 3 名

認定・資格取得など

名称	取得者
下部尿道機能障害の治療とケア研修修了証取得	与那嶺美咲
2016・重症度医療看護必要度院内指導者研修修了	宮平良太、与那覇明子
認知症・高齢者の看護実践に必要な知識研修修了証取得	新里紗希果、与那覇亜希子

月平均入院患者状況

新規入院患者数 120.0 名
病床利用数 50.2 床
在院日数 12.4 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職オリエンテーション	看護部	当院	2017年4月3日～14日	比嘉友美、新垣結加、宇久田莉未奈、新垣晴香、上里音彩、足立有海、坂元千亜季、姑我知裕美
フレッシュマン研修	看護協会	院外	2017年5月10日、17日、24日	比嘉友美、新垣結加、宇久田莉未奈、新垣晴香、上里音彩、足立有海、坂元千亜季、姑我知裕美
看護補助者研修	看護部	当院	2017年6月9日、23日	比嘉麗奈、津波恵理子、謝識典子、比屋根貴子、眞喜志かおり
3カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2017年6月30日	比嘉友美、新垣結加、宇久田莉未奈、新垣晴香、上里音彩、足立有海、坂元千亜季、姑我知裕美
領域別研修（慢性心不全①）	看護部	当院	2017年7月21日	末吉彩夏
領域別研修（乳癌看護）	看護部	当院	2017年8月7日	米須智子、齋藤路子
医療安全の動向と法的責任	看護協会	院外	2017年8月9日	川崎聖信
ミッションマネジメント	看護協会	院外	2017年9月7日	米須智子
領域別研修（慢性心不全②）	看護部	当院	2017年10月7日	末吉彩夏
6カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2017年9月29日	比嘉友美、新垣結加、宇久田莉未奈、新垣晴香、上里音彩、足立有海、坂元千亜季、姑我知裕美

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
師長主任合同研修	看護部	当院	2017年10月3日	米須智子、半嶺梢宮 良良太、与那覇亜紀 子
中堅研修(感染管理)	看護部	当院	2017年10月13日	玉城直美
「高齢者の看護・認知症高齢者の看護」 研修	琉球大学病院	院外	2017年10月17日	米須智子
フットケア研修	看護協会	院外	2017年10月19日	宮平良太
診療・介護報酬同時改定を見据えた看護 必要度ステップアップ研修	日本臨牀看護マネジメン ト学会	院外	2017年11月5日	米須智子
領域別研修(乳癌看護)	看護部	院内	2017年11月30日	齋藤路子
中堅研修(医療安全)	看護部	院内	2017年12月15日	川崎聖信
領域別研修(慢性心不全③)	看護部	院内	2017年12月29日	末吉彩夏
緩和ケア研修	ハートライフ病院	院内	2018年1月6日~7日	高宮里沙、上原沙織
中堅研修(安全管理)	看護部	院内	2018年1月12日	玉城直美
MDV看護必要度研修		院外	2018年1月13日	米須智子
排泄ケア研修「看護の原点としての排泄 ケア」		院外	2018年1月20日	末吉彩夏
第1回 入退院支援連携デザインに関わ る研修会」	那覇市立病院	院外	2018年1月20日日	米須智子
1年目報告会	看護部	院内	2018年1月26日	比嘉友美、新垣結 加、宇久田莉未奈、 新垣晴香、上里音彩、 足立有海、坂元千亜 季、古我知裕美
30年度プリセプター研修	看護部	院内	2018年2月9日	平良ナナ、大城絢女、 宮里大地
29年度プリセプター研修	看護部	院内	2018年2月23日	末吉彩夏
師長・主任合同研修	看護部	院内	2018年3月6日	米須智子、半嶺梢宮 良良太、与那覇亜紀 子
1年目フォローアップ研修	看護部	院内	2018年3月16日	比嘉友美、新垣結 加、宇久田莉未奈、 新垣晴香、上里音彩、 足立有海、坂元千亜 季、古我知裕美

部署の取り組み

H29年度実績報告

総括

【重点的取り組み】

在院日数短縮を目標しての取り組み

- ①全曜日の回診時、長期入院患者を報告し外科医全員で患者について理解した
- ②多職種カンファレンスを開催し退院について検討した

スタッフ育成への取り組み

- ①タイムアウトとミニカンファレンス

☆☆ 目的 ☆☆

- 1)タイムアウトでチーム以外の患者の情報を共有
- 2)個人の体験を参加者全員で共有し職種スタッフの技術や知識向上につながる



3指標(3年間の比較)



スタッフ育成

手術見学件数

- 1、腹腔鏡下胆のう摘出術（1件）
- 2、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（5件）
- 3、肝切除術（1件）
- 4、胃瘻造設術（1件）
- 5、腹腔鏡下結腸切除術（2件）

計13名の看護スタッフが手術見学を行った

手術見学をすることで術式の再認識と術後管理に繋がった



H30年度目標

- 1、安全
- 2、人材育成
- 3、PNSの確立

【H30年度重点取り組み課題】

退院前、退院後訪問の実施

- ①入院前の環境へ早期に戻れるように環境調査を行う
- ②入院中に自宅訪問を行い患者、家族が不安なく退院できるようにする
- ③退院後、自宅での状況を把握し必要時は訪問看護へつなげる



5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 崎山 久美

職員数

総数 40 名

正看護師 35 名

看護補助者 4 名

保育士・クラーク 1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数 199.8 名

病床利用数 49.0 床

在院日数 7.5 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人教育研修	看護部	院内	2017 年 4 月 1～4 月 14 日	川満真琴、森下夏江、山城由佳、富原今日子、瀬底愛美、城田琴未、安座間利奈
フレッシュマン研修	看護協会	院外	2017 年 4 月 10 日・17 日・24 日	川満真琴、森下夏江、山城由佳、富原今日子、瀬底愛美、城田琴未、安座間利奈
	沖縄看護専門学校	院外	2017 年 4 月	大城祥子、金城竜弥
中堅 2 研修 (看護倫理)	看護部	院内	2017 年 5 月 12 日	富里理恵
中堅研修 1-①	看護部	院内	2017 年 5 月 25 日	知念晶子
領域別研修救急①	看護部	院内	2017 年 5 月 26 日	諸見里佳奈
医療事故調査制度と看護記録	看護協会	院外	2017 年 6 月 1 日	米須智子
看護補助者研修	看護部	院内	2017 年 6 月 9 日	仲村嶺子、金城義乃
地域包括ケアシステム構築に向けた病院看護職の退院調整力向上への取り組み	沖縄県看護協会	院外	2017 年 6 月 10 日	大城祥子
中堅 2 研修 (安全)	看護部	院内	2017 年 6 月 16 日	富里理恵
中堅研修 1-②	看護部	院内	2017 年 6 月 22 日	知念晶子
領域別研修化学療法①	看護部	院内	2017 年 6 月 23 日	中野愛、宮里夏樹
看護補助者研修	看護部	院内	2017 年 6 月 23 日	尾崎聖子、島袋加奈恵
緩和ケア	沖縄県看護協会	院外	2017 年 6 月 27 日	中野愛、宮里夏樹
小児救急看護	沖縄県看護協会	院外	2017 年 6 月 29 日	大城祥子、新垣涼香
3ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2017 年 6 月 30 日	川満真琴、森下夏江、山城由佳、富原今日子、瀬底愛美、城田琴未、安座間利奈
領域別研修 (WOC)	看護部	院内	2017 年 7 月 7 日	金城竜弥
新人リフレッシュ研修	沖縄県看護協会	院外	2017 年 7/12	川満真琴、森下夏江、山城由佳、富原今日子、瀬底愛美、城田琴未、安座間利奈
領域別研修 (CHF①)	看護部	院内	2017 年 7 月 21 日	宮里夏樹、照喜名朝郁
中堅研修 1-③	看護部	院内	2017 年 7 月 27 日	知念晶子
看護職と倫理 (管理者編)	看護協会	院外	2017 年 7 月 25 日	大城祥子
領域別研修化学療法②	看護部	院内	2017 年 7 月 28 日	中野愛、宮里夏樹
クリティカルパス大会	ハートライフ病院	院内	2017 年 7 月 28 日	崎山 久美
3 年目研修	看護部	院内	2017 年 8 月 4 日	宮里夏樹、照喜名朝郁
領域別研修乳がん看護	看護部	院内	2017 年 8 月 17 日	宮里夏樹

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
中堅研修2(看護倫理)	看護部	院内	2017年8月18日	我謝要子
中堅研修1-④	看護部	院内	2017年8月24日	知念晶子
師長・主任合同会議	看護部	院内	2017年9月3日	崎山久美、大城祥子
中堅研修1-⑤	看護部	院内	2017年9月28日	知念晶子
6ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2017年9月29日	川満真琴、森下夏江、山城由佳、富原今日子、瀬底愛美、城田琴未、安座間利奈
リーダーシップ研修	看護協会	院外	2017年10月13日	金城竜弥
中堅研修2(感染)	看護部	院内	2017年10月13日	富里理恵
タクティールケアの魅力と効果	民間管理者会	院外	2017年10月20日	池村智子
ファーストレベル研修	看護協会	院外	2017年10月24日～12月7日	崎山久美
中堅研修1-⑥	看護部	院内	2017年10月29日	知念晶子
院内研究発表予選会	看護部	院外	2017年10月29日	照喜名朝郁、佐藤友子
プリセプター研修	看護部	院内	2017年10月30日	
沖縄県における高齢化社会の現状と看護者の役割	看護協会	院外	2017年11月2日	森下夏江
看護必要度研修	看護協会	院外	2017年11月5日	崎山久美
領域別研修(DM②)	看護部	院内	2017年11月10日	與那嶺裕
中堅研修2(看護倫理)	看護部	院内	2017年11月17日	玉村生子
院内研究発表会	ハートライフ病院	院内	2017年11月17日	照喜名朝郁、佐藤友子
創傷・褥瘡ケア	看護協会	院外	2017年11月10日	金城竜弥
中堅看護師研修実践報告会	看護部	院内	2017年11月24日	知念昌子
リーダー研修	看護連盟	院外	2017年11月28日	宮里夏樹、照喜名朝郁
領域別研修(乳がん②)	看護部	院内	2017年11月30日	宮里夏樹
領域別研修(救急③)	看護部	院内	2017年12月1日	平出彩香
領域別研修(WOC③)	看護部	院内	2017年12月8日	金城竜弥
中堅研修2(医療安全)	看護部	院内	2017年12月15日	玉村生子
2年目症例報告会	看護部	院内	2017年12月22日	糸数真優、港川誉志也
領域別研修(慢性心不全)	看護部	院内	2017年12月29日	照喜名朝郁
中堅研修2(感染③)	看護部	院内	2018年1月19日	玉村生子
心電図勉強会ベーシック	日本光電	院内	2018年2月1日	與那嶺裕、照喜名朝郁
1年目症例報告会	看護部	院内	2018年1月26日	川満真琴、森下夏江、山城由佳、富原今日子、瀬底愛美、城田琴未、安座間利奈
プリセプター研修	看護部	院内	2018年2月9日	糸数真優、港川誉志也
新人看護職員研修教育担当者研修	看護協会	院外	2018年2月2日・3日・5日・6日	大城祥子

部署の取り組み

平成29年度 5階病棟総括

☆3指標

新規入院患者数 199.8名 (148%) 病床利用 49.0名 (98%) 在院日数 7.5日

☆今年度の取り組み

- ①小児アレルギー負荷試験毎週4名⇒6名対応へ！ (185件)
- ②院外での講習会の実施
与那原・西原・中城ファミリーサポートセンター「子育てサポート養成講座」での小児看護の講習実施
- ③看護師新入職者7名の育成
1年で大きく成長している。次年度は2年目となり、ひとりひとりの患者に寄り添った看護が実践できるよう継続して育成して行く！！

平成30年度部署目標

1.安全

インシデント発生時の分析・情報共有
内服管理の徹底 皮膚剥離・患者誤認ゼロ 急変時の対応の強化

2.患者サービスの向上

患者個々に合った丁寧な看護ケア
合併症を防いで早期退院を目指す
他部署と連携したチーム医療の充実(リンクナース活動の強化)

3.接遇 ~誰に対しても笑顔で親切な対応~

4.やりがいのある職場環境 ~個々の能力を高め合える風土づくり~

自己のキャリアアップのため目標をもって取り組める
互いにとって学びとなるような部署間研修ができる

6 階病棟 (血液内科・腎臓内科)

6 階病棟師長 安村 公均

職員数

総数 41 名

正看護師 35 名

准看護師 1 名

看護補助者 5 名

月平均入院患者状況

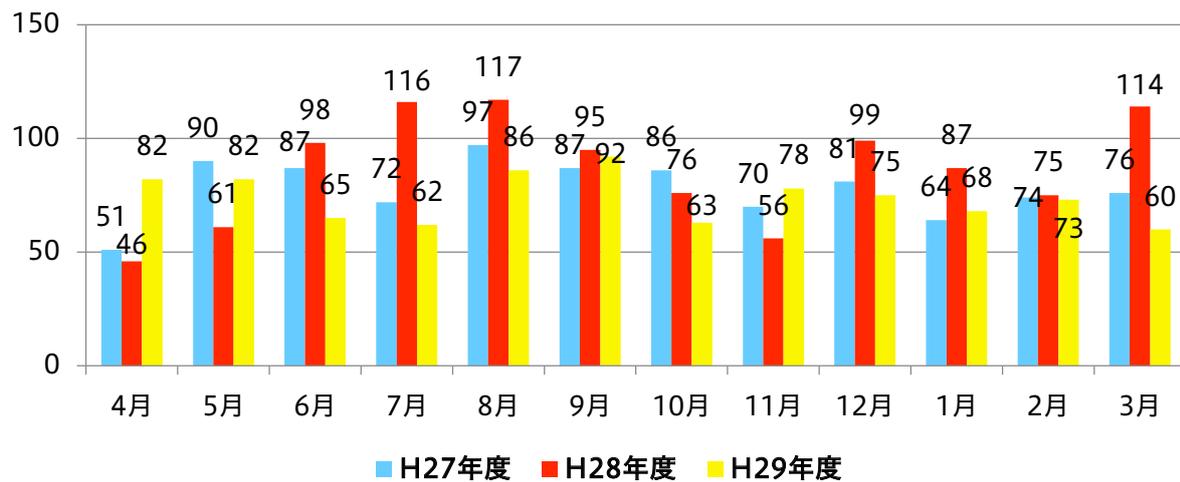
新規入院患者数 68.8 名

病床利用数 44.7 床

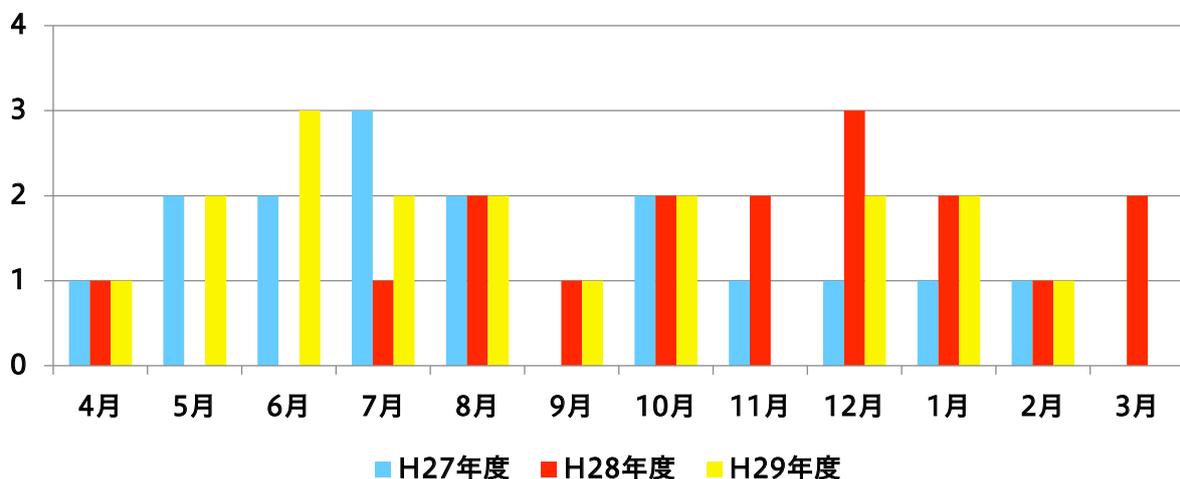
在院日数 19.6 日

業務実績

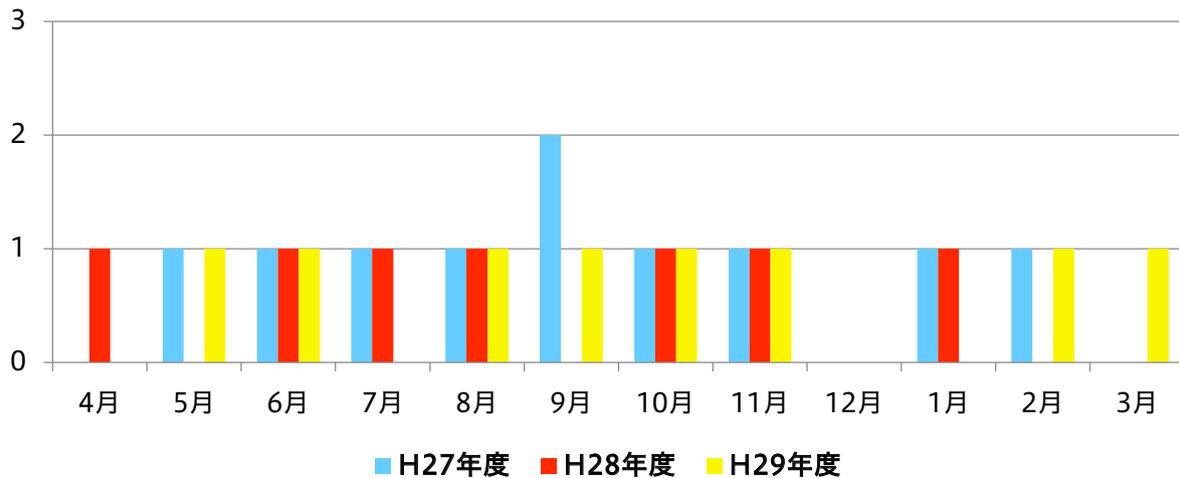
化学療法件数



移植件数



バンクドナー採取件数



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人中央研修	看護部	院内	2017年4月2～4月14日	アレンあやの、島袋麻衣、上江洲恵、與那嶺果林、上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、中村理香子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原	2017年5月10日	上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、
中堅倫理研修	看護部	院内	2017年5月12日	安里紀子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原	2017年5月17日	アレンあやの、島袋麻衣、中村理香子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原	2017年5月24日	上江洲恵、與那嶺果林
中堅研修	看護部	院内	2017年5月25日	下地久美子
救急領域研修	看護部	院内	2017年5月26日	宮里瀬菜
糖尿病領域研修	看護部	院内	2017年6月2日	諸喜田雅子
助手研修	看護部	院内	2017年6月9日	宮城幸子、城間鈴奈
中堅研修	看護部	院内	2017年6月22日	下地久美子
助手研修	看護部	院内	2017年6月23日	大城樹梨弥、知念 稜
緩和ケア学会	緩和ケア学会	東京	2017年6月24日～25日	呉屋友美
3か月フォローアップ研修	看護部	院内	2017年6月30日	アレンあやの、島袋麻衣、上江洲恵、與那嶺果林、上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、中村理香子、安村公均
排泄ケア領域研修	看護部	院内	2017年7月7日	真栄田さつき
リフレッシュ研修	看護部	沖縄市	2017年6月12日	アレンあやの、島袋麻衣、上江洲恵、與那嶺果林、上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、中村理香子、金城裕太
呼吸領域研修	看護部	院内	2017年6月22日	知念真名美
がん化学療法領域研修	看護部	院内	2017年6月23日	大宮那保
感染中堅研修	看護部	院内	2017年7月14日	安里紀子
慢性心不全領域研修	看護部	院内	2017年7月21日	上運天明穂
がん化学療法領域研修	看護部	院内	2017年7月28日	大宮那保
3年目研修	看護部	院内	2017年8月4日	新垣健司、金城裕太、城間ほたる
中堅倫理研修	看護部	院内	2017年8月18日	本郷朋美
呼吸領域研修	看護部	院内	2017年8月24日	知念真名美
がん化学療法領域研修	看護部	院内	2017年8月25日	大宮那保
呼吸領域研修	看護部	院内	2017年9月1日	知念真名美

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
2 年目研修	看護部	院内	2017 年 9 月 8 日	大城まりな、仲村渠恵理子、真境名美鈴
安全領域研修	看護部	院内	2017 年 9 月 14 日	安里紀子、本郷朋美、安村公均
救急領域研修	看護部	院内	2017 年 9 月 22 日	城間ほたる
中堅研修	看護部	院内	2017 年 9 月 28 日	下地久美子
6 か月フォローアップ研修	看護部	院内	2017 年 9 月 29 日	アレンあやの、島袋麻衣、上江洲恵、與那嶺果林、上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、中村理香子、上原拓也
師長・主任合同研修	看護部	院内	2017 年 10 月 3 日	安村公均、金城隆也
慢性心不全領域研修	看護部	院内	2017 年 10 月 6 日	上運天明徳
中堅研修	看護部	院内	2017 年 10 月 26 日	下地久美子
看護必要度研修	看護協会	南風原	2017 年 11 月 5 日	木村有希
中堅倫理研修	看護部	院内	2017 年 11 月 17 日	金城隆也
中堅研修	看護部	院内	2017 年 11 月 24 日	下地久美子
乳がん領域研修	看護部	院内	2017 年 11 月 30 日	山城由衣
中堅研修	看護部	院内	2017 年 12 月 7 日	下地久美子
安全領域研修	看護部	院内	2017 年 12 月 15 日	金城隆也
2 年目研修	看護部	院内	2017 年 12 月 22 日	大城まりな、仲村渠恵理子、真境名美鈴
慢性心不全領域研修	看護部	院内	2017 年 12 月 29 日	上運天明徳
呼吸領域研修	看護部	院内	2018 年 1 月 15 日	知念真名美
感染中堅研修	看護部	院内	2018 年 1 月 19 日	金城隆也
1 年目研修	看護部	院内	2018 年 1 月 26 日	金城裕太、島袋麻衣、上江洲恵、與那嶺果林、上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、中村理香子
血液内科学会	血液内科学会	北海道	2018 年 2 月 1 日～2 月 3 日	宮里瀬菜、諸喜田雅子
師長・主任合同研修	看護部	院内	2018 年 3 月 6 日	安村公均、金城隆也、呉屋友美
1 年目フォローアップ研修	看護部	院内	2018 年 3 月 16 日	島袋麻衣、上江洲恵、與那嶺果林、上地理恵、比嘉アンナ、比嘉真理、中村理香子

部署の取り組み

目 標	部署名	6階病棟
安全意識の向上 ・院内取り決め事項の徹底 ・PNS強化 ・インシデント2以上の低減、0～1レベルの報告を増大し、事前対策の強化 ・安全の視点を持った環境管理強化 教育 ・段階に応じた個々のスキルアップ ・新人育成体制の確立 業務 ・日別、週間業務の見直しによる効率化 ・夜勤5人体制の確立 ・WLBの推進(超過勤務の低減) ・化学療法ミキシングによる暴露対策の徹底 感染 ・院内感染対策の強化(手洗い・対策の共有と徹底)		
平成 29 年度		

総 括	部署名	6階
安全意識の向上 ・院内取り決め事項の徹底⇒取り決め事項の根拠まで大部分は理解できた。リマインドによる定期的な振り返りが必要。 ・PNS強化⇒引継ぎ、情報共有はできてきた。アセスメント・教育視点で関与が深まるとさらに強化でき課題である。 ・インシデント2以上の低減、0～1レベルの報告を増大し、事前対策の強化⇒報告・分析・情報共有は増えた。課題として本質理解の不足と、無関心・責任不足から行動を変えるまでに至っていない部分の強化が必要。 ・安全の視点を持った環境管理強化⇒ウォーキングカンファレンスなどで強化できた。継続強化は必要である。 教育 ・段階に応じた個々のスキルアップ⇒院内ラダーに沿って目標管理し、スキルアップできている。 ・新人育成体制の確立⇒プログラムに沿ってできた。次年度よりチーム振り分けをしない方法で取り組んでいく。 業務 ・日別、週間業務の見直しによる効率化⇒選番2名体制を1名体制に変更できた。また、2時間短縮することもできた。助手夜勤開始に伴い、日勤配置に課題があるため継続し取り組みが必要。 ・夜勤5人体制の確立⇒達成できた。 ・WLBの推進(超過勤務の低減)⇒タイムアウトの徹底による残業調整により一定の効果は出ている。しかし、経験の浅い看護師を中心に記録による超過が多い現状もあり課題である。残業調整を容易にするため、内容分析・取り決めができるか課題。 ・化学療法ミキシングによる暴露対策の徹底⇒安全対策は徹底できている。ミキシング可能看護師を増員・育成していく上で、投与後排泄物対策まで指導を徹底していく。 感染 ・院内感染対策の強化(手洗い・情報共有と対策徹底)⇒対策については、情報共有・早期対策はできた。今後もゴージョー使用率分析を含め、継続し対策していく。		
平成 29 年度		

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 島袋 すが子

職員数

総数 47 名

正看護師 40 名

准看護師 2 名

看護補助者 5 名

認定・資格等

名称	人数
慢性心不全看護認定看護師	1 名
重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者	2 名
下部尿路機能障害の治療とケア研修修了者	1 名
認知症高齢者の看護知識研修修了者	2 名
栄養サポートチーム専門療法士	1 名

月平均入院患者状況

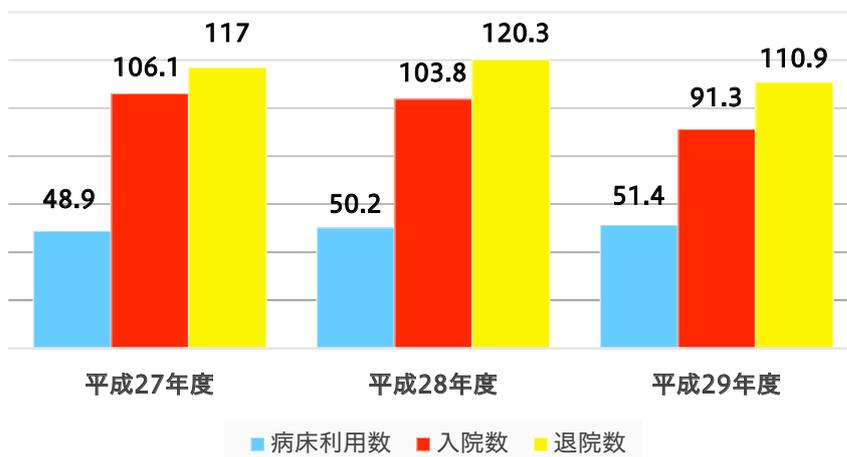
新規入院患者数 91 名

病床利用数 51 床

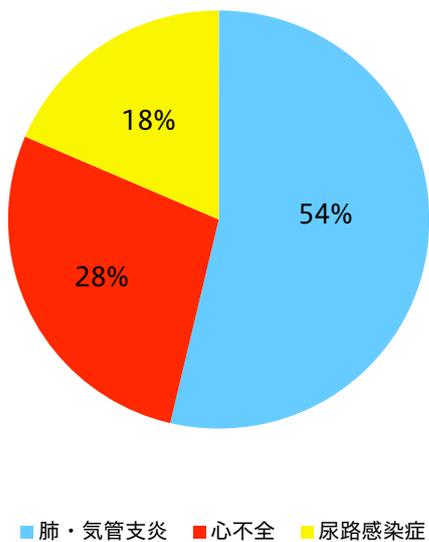
在院日数 15.5 日

業務実績

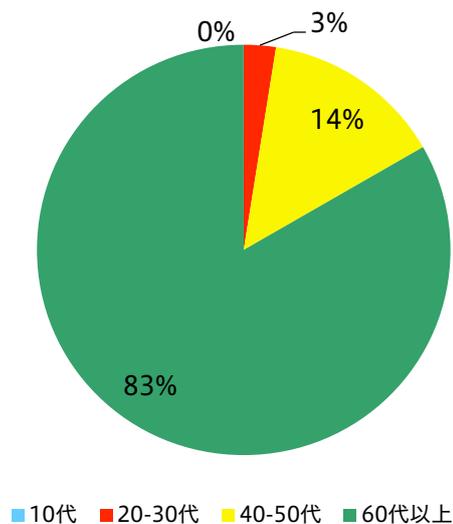
入退院実績



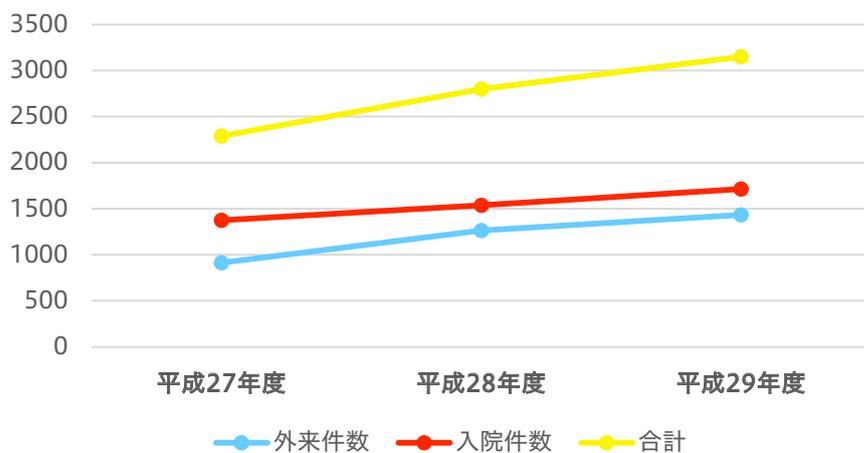
入院時診断名



入院時年齢



心臓リハビリテーション件数



■心リハ外来延べ患者数 1435 人

■退院後訪問指導回数 10 回

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
心リハ情報共有シート導入の効果～病棟全体で再発予防に取り組む～	日本心臓リハビリテーション学会	岐阜県	2018 年 7 月 16 日	安次嶺徹、花城優子、新垣仕言、宮城梨乃、與那城未咲、島袋すが子、仲村義一、三戸正人、秋元芳典、與座一

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
リハビリ緩和加算研修		石川県	2017年10月21.22日	宮城秀成
沖縄県総合防災訓練	JMAT 沖縄	恩納村	2017年9月2日	宮城秀成
院内緩和ケア研修会 2017	看護部	当院	2017年7月15日	東江幸恵、宮城秀成
院内緩和ケア研修会 2017	看護部	当院	2018年1月6.7日	東江幸恵、宮城秀成
モーター講習会(基礎編)	日本光電	当院	2018年2月1日	金城里加、知念隼軌、知念美樹
モーター講習会(上級編)	日本光電	当院	2018年2月2日	川上さくら、仲宗根幸菜
地域連携セミナー	TENA	当院	2017年9月9日	當眞さゆり
沖縄コンチネンスケアセミナー	TENA	中頭病院	2017年6月3日	宮城梨乃
日本感染管理ベストプラクティス研究会	琉球大学付属病院シュミレーションセンター	西原町	2017年6月・8月・11月	伊佐友美
第11回沖縄県ICNネットワークセミナー	看護協会	南風原町	2017年5月27日	宮城久美子
看護職と倫理(管理者編)	看護協会	南風原町	2017年7月25日	島袋すが子
平成29年度 民間病院看護管理社会研修会「労務管理 今日の課題」	看護協会	南風原町	2017年8月22日	島袋すが子
ミッションマネジメントと組織開発	看護協会	南風原町	2017年9月7日	島袋すが子
看護職と倫理(入門編)	看護協会	南風原町	2017年9月28日	川上さくら、上原芹香
創傷・褥創ケア(基礎編)	看護協会	南風原町	2017年11月9日	松原賛美、浦崎奈々瀬
創傷・褥創ケア(マネジメント編)	看護協会	南風原町	2018年1月10日	松原賛美、浦崎奈々瀬
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護協会	南風原町	2017年8月30.31日	太田尾祐太
看護必要度ステップアップ研修	ヴェクソンインターナショナル株式会社	南風原町	2017年11月5日	島袋すが子
2018年診療報酬改定研修	看護協会	南風原町	2018年3月4日	島袋すが子

部署の取り組み

平成29年度総括

- 安全な医療の提供
 - 60歳以上が83%をしめるが認知症の分析、転倒・転落のアセスメントを深めることでレベル3以上のインシデントを減らせることができた。
 - 患者誤認発生においては速やかに対応し、レベル1でとどめる事ができた。
- 患者満足度UP
 - 心リハ看護師が体制を整える事で、呼吸器疾患だけでなく循環器疾患患者も退院後訪問指導に介入する事ができた。
 - 他病棟に入院した患者を速やかに受け入れる事で、病床利用数の目標達成ができた。
- スタッフ教育・離職防止
 - 看護師主催の心リハ勉強会が毎週継続できており、心リハ学会で口演発表もできた。
 - WLBに取り組み、看護師の離職は目標内に抑えられた。

平成30年度目標

- 安全
 - ①患者誤認防止
 - ②転倒防止
- 患者サービス向上
 - ①患者ファーストケアの実践
 - ②コミュニケーションの強化
- スタッフ教育
 - ①呼吸器・循環器プロジェクトチームの稼働
 - ②PNS実践



内視鏡センター

内視鏡センター師長代行 喜屋武 香織

職員数

総数 20 名（看護部所属）

看護師 14 名

准看護師 3 名

助手 3 名

認定・資格など

氏名	認定・資格名
喜屋武香織	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
国仲トモ子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
渡久山すえの	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
上江洲さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ

氏名	認定・資格名
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
宮城愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

種別	合計
胃内視鏡	10,316
大腸内視鏡	2,969

種別	合計
ERCP	122
小腸内視鏡	2
気管支鏡	61

詳細な検査・治療実績は「内視鏡センター」をご覧ください。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
座長	第 71 回九州消化器内視鏡技師技師会	福岡	2017 年 5 月 21 日	古波倉美登利
外来患者の 9 時案内に向けての評価～出来ることから始めよう～	第 72 回沖縄県消化器内視鏡技師会	沖縄県タイムスホール	2017 年 11 月 18 日	入与那国好美
座長	第 72 回九州消化器内視鏡技師技師会	沖縄県タイムスホール	2017 年 11 月 18 日	喜屋武香織

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
研究会世話人	第 1 回沖縄県消化器内視鏡技師会	沖縄県琉球大学	平成 28 年 10 月 29 日	古波倉美登利
紙チェックリストを電子カルテに移行しての試み	第 1 回沖縄県消化器内視鏡技師会	沖縄県琉球大学	平成 28 年 10 月 29 日	山内芳
座長	沖縄県消化器内視鏡技師主催教育講演	沖縄県琉球大学	平成 29 年 3 月 5 日	古波倉美登利

活動実績

院内外研修・勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
モノポーラとバイポーラについて	当院	2017 年 4 月 25 日	渡久山、國仲、大城、前田、山内、照屋、入与那国、宮城、兼本、伊佐宮里、伊禮、喜屋武、古波倉
第 71 回九州消化器内視鏡技師研究会	福岡	2017 年 5 月 21 日	古波倉美登利、喜屋武香織
染色法について	当院	2017 年 5 月 25 日	渡久山、國仲、大城、前田、山内、照屋、入与那国、宮城、兼本、伊佐宮里、伊禮、喜屋武、古波倉
医療事故調査制度と看護記録	沖縄県看護協会	2017 年 6 月 1 日	渡久山すえの
基礎から学ぶ救急看護～急変予測と対応～	沖縄県看護協会	2017 年 6 月 20 日	入与那国好美、伊佐杏澄
潰瘍性大腸炎について	当院	2017 年 6 月 27 日	渡久山、國仲、大城、前田、山内、照屋、入与那国、宮城、兼本、伊佐宮里、伊禮、喜屋武、古波倉
看護実践能力を育てる～継続教育担当者として効果的な教育計画の企画にどう取り組むか～	沖縄県看護協会	2017 年 7 月 21 日	喜屋武香織
第 72 回九州消化器内視鏡技師研究会	沖縄タイムスホール	2017 年 11 月 18 日	渡久山、國仲、上江洲、大城、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮城、喜屋武、古波倉
沖縄県消化器内視鏡技師主催教育講演	沖縄県琉球大学	2018 年 3 月 24 日	渡久山、國仲、上江洲、前田、入与那国、兼本、伊佐、喜屋武

内視鏡センター年度総括

1. 検査件数 上部 10,000 件 下部 3,000 件

⇒実績 上部 10,316 件 下部 2969 件で上部は目標達成 下部は 31 件減少

2. 検査終了時間 上部 12 : 15 下部 16 : 15

⇒実績 上部達成率 86% 下部達成率 85%

検査件数が増加する中、前年度と比較し目標達成率が低下しています。スタッフの部署移動もあり、新しいスタッフへ指導を行いながらの結果だと評価しています。次年度は、目標達成に向けて取り組んでいきます。

3. 機器管理の徹底

⇒故障件数 6 件 (前年度比 5 件減)

検査件数増加で使用頻度、使用年数経過に伴い故障率も高くなります。故障発生時には故障分析を行い注意喚起し、機器取扱いや機器点検法の勉強会を行った結果、故障件数が減少しています。小さな変化に気づき故障が最小限に抑えられたのも感じています。次年度も、故障件数減少に向けて取り組んでいきます。

4. 安全管理

インシデント 0 件の目標に対して発生が 21 件ありました。そのうち患者誤認が 2 件ありファイル関連でした。それ以外のトラブル件数は、7 件で、1 レベルが 5 件、2a レベルが 2 件でした。事象レベルを問わず、全症例クイックセーファーを行い要因、分析、対策の立案を行い実施してきました。次年度はインシデント 0 件目標に向かって、0 レベルの報告を増やし、KYT を意識し、安全に取り組んでいきます。

5. WLB の充実

部署勉強会は、医師の勉強会は開催出来ていないが、月 1 度の内視鏡技師問題の解答を実施し、今年度 4 名の看護師が内視鏡技師取得に向けて受検しました。

院外研修は、内視鏡技師研究会や教育講演へは、積極的に参加みられ、前年度、看護研修への参加が無かったが、今年度は 3 回にわたり参加がみられ、スタッフに向けて伝達講習も開催しました。定時帰宅については、ゆいまーるボードを活用し残務処理をスタッフ全員で積極的に行い、チームワーク力を高めています。

次年度は、増改築計画の実施と病院機能評価に向けて、医師とスタッフ全員一丸となって、安全により質の高い看護を意識し取り組んでいきたいと思えます。

看護部 年度総括



看護部長
古波倉 美登利

平成 29 年度は、安全・安心の強化、人材確保と育成、患者サービスの向上を部門目標に挙げ、新年度をスタートさせました。

病院全体の取り組みとして前年度から引き続き増改築工事が進む中、部署の体制整備、部署間の調整等慌ただしい一年となりました。おかげさまで 8 月には東館が完成し、外来を始め新しい環境で業務にあたっています。特に産科にとっては利用者の方へ長年不便をおかけしていた部分もあり念願のリニューアルになりました。今後もさらなる中身の充実を図っていきます。次年度は ICU、手術室、救急外来の増改築も控えており、引き続き体制整備、環境調整を進めていきます。

安全・安心の強化については、安全管理者を中心とした現場教育が根付き、迅速な報告、発生したインシデントに対して部署レベルで主体的に取り組む等、安全意識の向上が見られます。実際の発生状況で見るとレベル 2、レベル 3 の影響が高い事象が前年度より半減、代わって影響の低い 1 レベル、0 レベルの報告が増えている

ことから一定の成果を上げることができました。引き続き安全風土の醸成に努めてまいります。

患者サービスに係るところでは、昨年からの案件でありました入院支援室を設置し、試行錯誤しながら進めているところです。入院される患者さんに対し入院前から関わることによって、診療や治療上の気になることや一人ひとりに必要な情報の提供、相談ができるようになり患者さんやご家族の安心に繋がっています。当初 2 診療科からスタートし 1 年かけて全診療科に対応疾患を増やし業務を拡大しました。今後は退院支援も含めさらなるサービスの向上を目指して環境整備、体制強化を図ります。

病院を訪れるすべての方に安心して利用していただくには、人材育成もまた私たちの重要な課題です。今年 4 月に 47 人の新卒看護師を迎えることができ、例年以上に職員教育に力を注ぎました。一般病棟では 7～8 名の新人看護師が配置され、その育成にあたっては P N S 方式をメインに新人のスキル獲得、担当するスタッフのサポートを主任会が中心となってきめ細やかな対応をしてくれました。新人それぞれの努力、現場のスタッフをはじめ病院全体の協力、また温かく見守って下さった患者さんやその家族の方々のおかげで看護職として成長しつつあり感謝しております。中堅看護師に対しては、役割認識を高め実践行動を促す目的で施設内のレベル別研修を実施しました。また病院の取り組みである認知症ケア、排尿自立支援の担当者養成研修に部署ごとに複数名を派遣し活動を開始しています。他にも組織横断的な取り組みに関わる中堅スタッフの活動状況を見聞きしますとそれぞれの成長を感じることができた一年でした。次代を担うリーダー育成の観点からは管理者の養成、認定看護師や特定行為が可能な看護師の育成も含め課題も少なくありませんが、一人ひとりが看護職としての成長を感じられるような関わりを今後も続けていきます。それから今年度は複数の看護単位で管理者の入れ替わりがありました。医療、看護を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、課題は山積ですが管理者同士が知恵を出し合い、また他職種と協働しながら、患者さん、ご家族、地域の皆さんに信頼されるハートライフ病院を目指して精進いたします。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科副技師長 石原 悟

H29年8月に新棟の東館が完成致しまして、放射線科としても東館2階にアンギオ室の増設とマンモグラフィ室が移設する事になりました。

今回、東館に導入したアンギオ装置は最新のバイプレーン型の装置で以前のシングル装置に比べ低線量で高画質が得られ更にバイプレーンで撮影することで撮影回数が減り造影剤の使用量も減らせ受検者にも優しい装置となっています。また、大型高精細モニター搭載により見たい部位が見たい様にアレンジ出来る事から術者にも優しくより安全性が高まり治療効果も上がると思われれます。

マンモグラフィ室に関しては乳腺外科の同フロアーに移設したことでマンモ撮影・乳腺エコー・診察が同じフロアー内で行うことが出来る事から特に女性のプライバシーに配慮した設計となっています。

H30年1月には10年以上使用した64列CTを64列128スライスCTに更新いたしました。

人材に関してはH30年度の3T-MRI導入に向けて1月に中堅放射線技師1名を増員致しました。MRIの立ち上げには主任技師を中心に準備を行っているところで、予定としては30年度の5月の運用開始に向けトレーニングを重ね、専従を含め2～3名が対応できるように教育を進めていきたいと考えています。また、一昨年入職した女性技師2名の検診マンモグラフィ認定取得を目指すと共に中途採用となった1名の技師を含め3人の技師が当直業務が行えるよう教育・トレーニングして行きたいと考えています。

H29年度は口腔ケア科開設に伴いデンタル用スポット撮影装置を導入しデンタル撮影を開始しました。現在は撮影をアナログ式のスポット撮影で対応していますが口腔内全体の情報が得られるパノラマ画像の必要性和対象者が増えていることからパノラマ装置の導入とデンタルスポット撮影の高精細デジタル画像化に向けて準備を進めております。

職員数

総数

18 名

職種別

診療放射線技師 17 名

助手 1 名

認定・資格

氏名	名称
宮城 竜也	基準撮影認定員
	胃がん検診専門技師
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
大城 盛寛	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
与古田 拡	核医学検査技能検定 3 級
	アドバンス診療放射線技師
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者

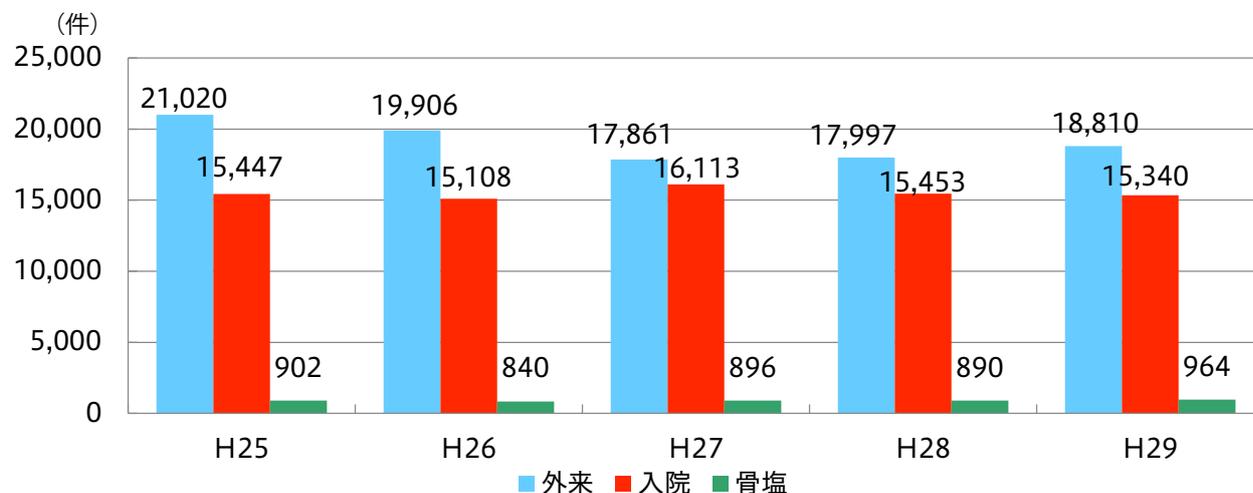
氏名	名称
松田 優二	X線CT撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波 麻利子	アドバンス診療放射線技師
	検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X線CT撮影認定技師

運営方針

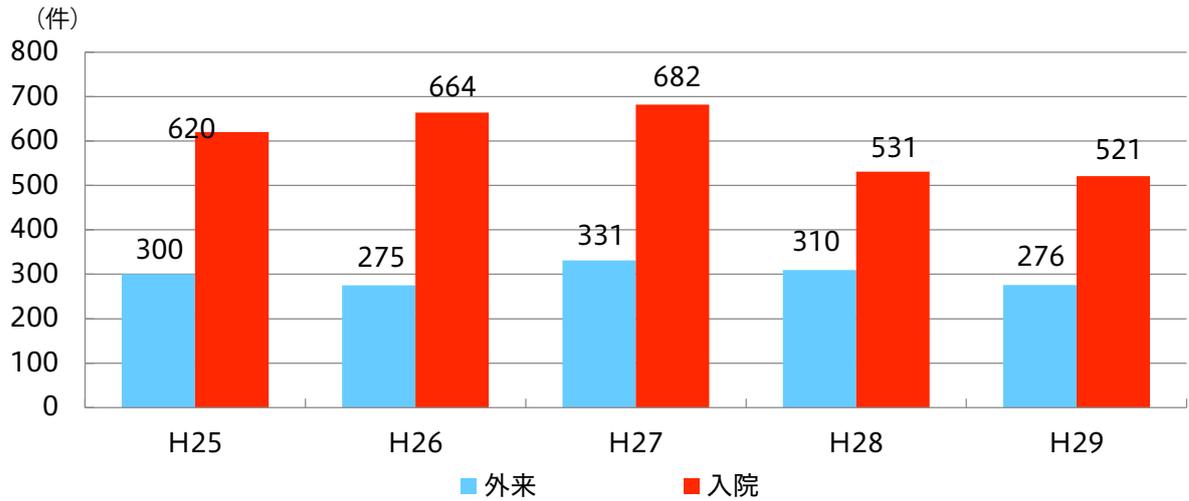
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

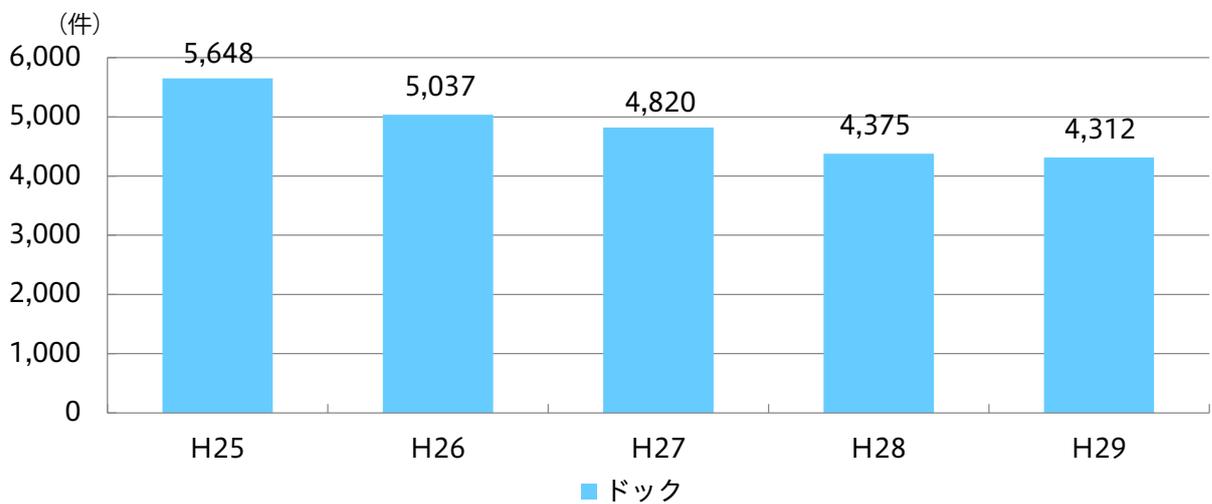
一般撮影



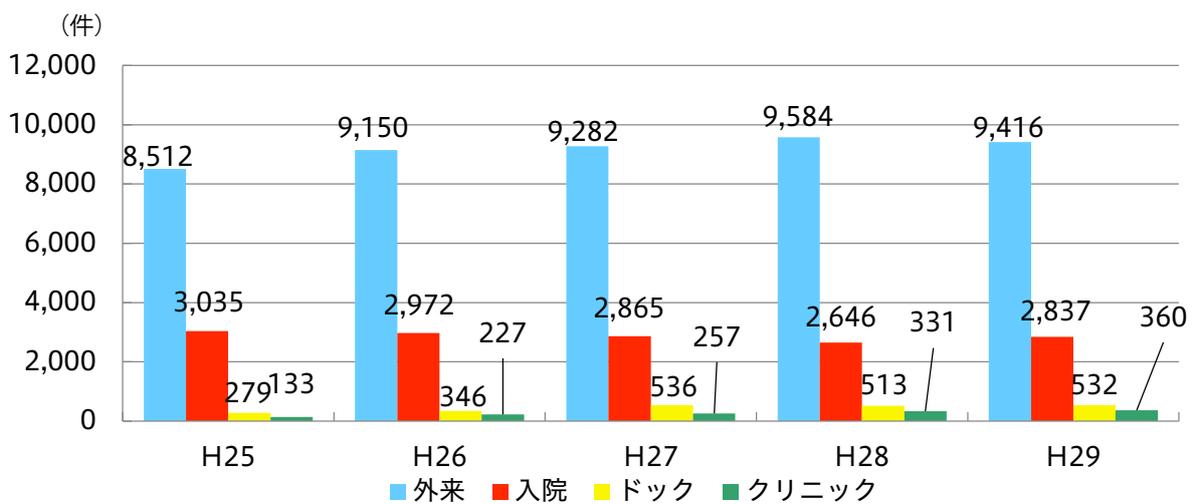
透視検査



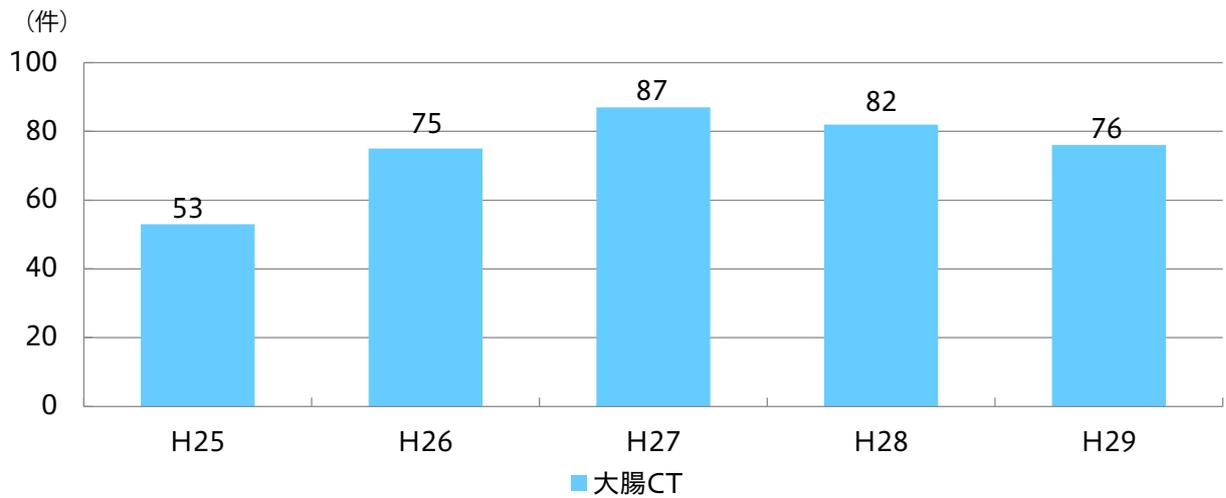
透視検査 (人間ドック)



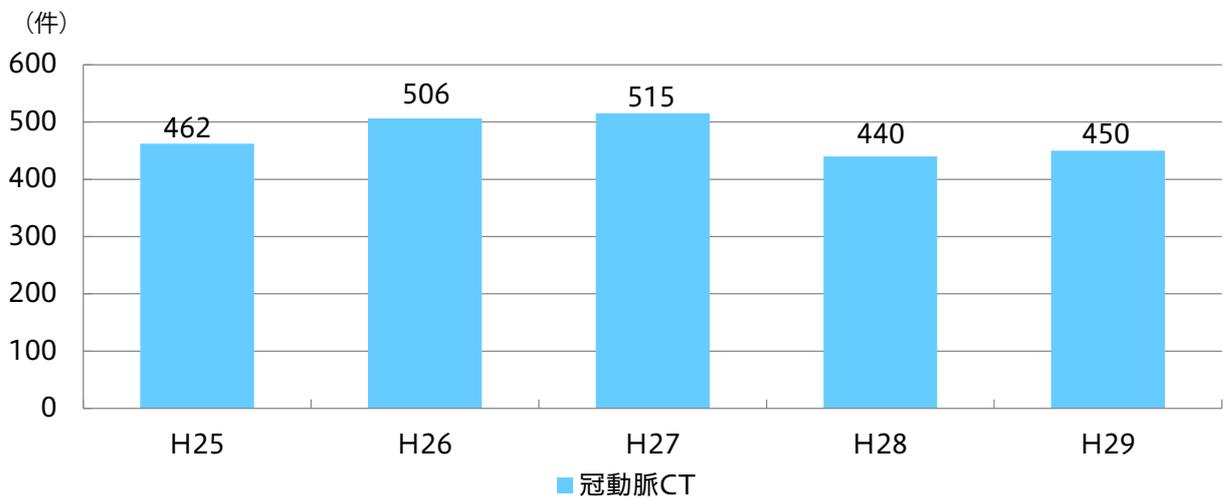
CT検査



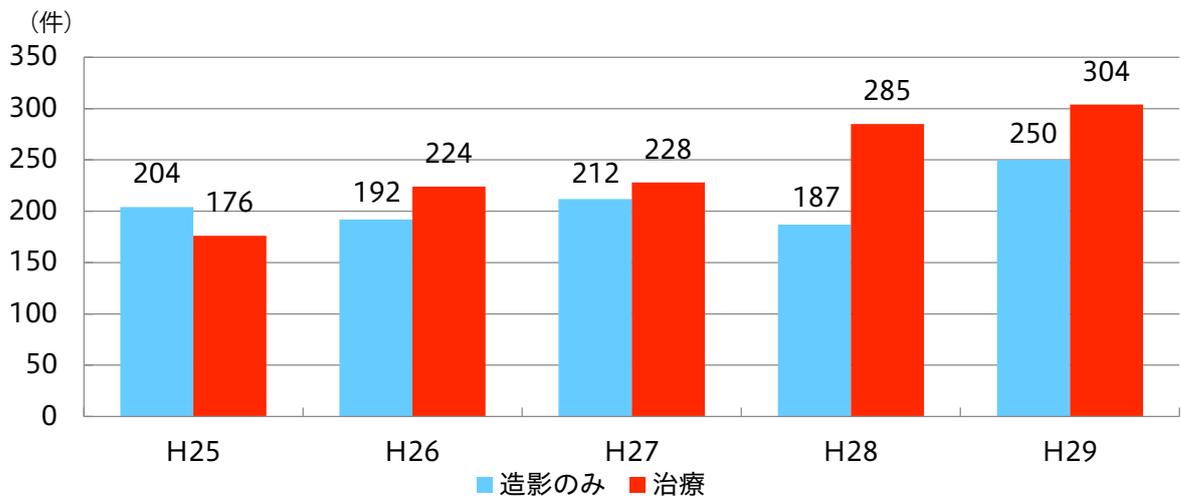
大腸 CT



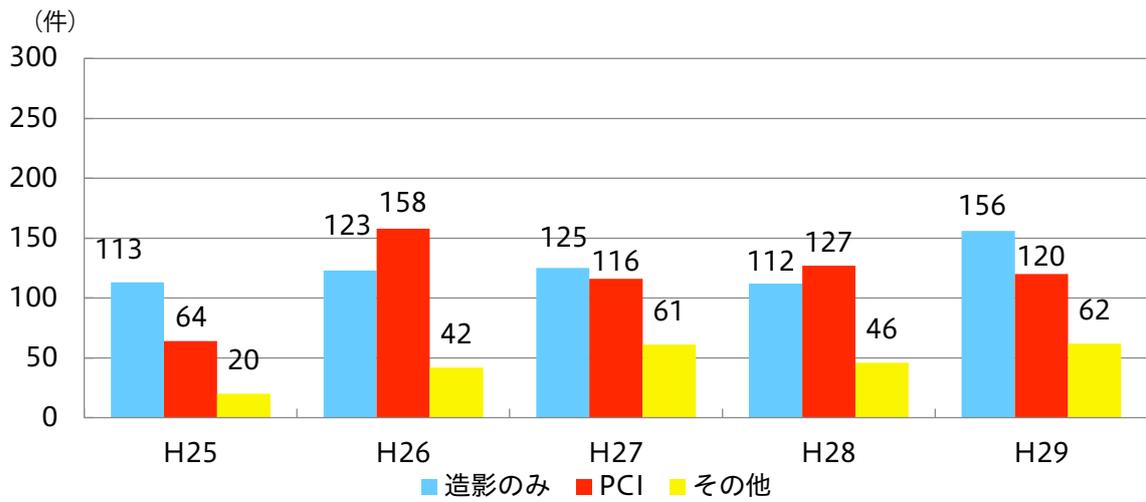
冠動脈 CT



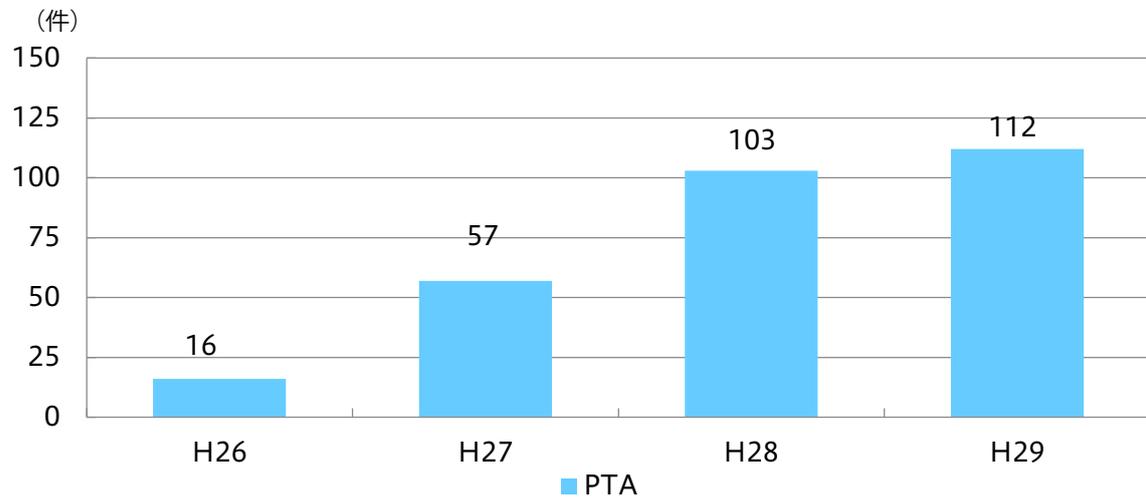
angio 総計



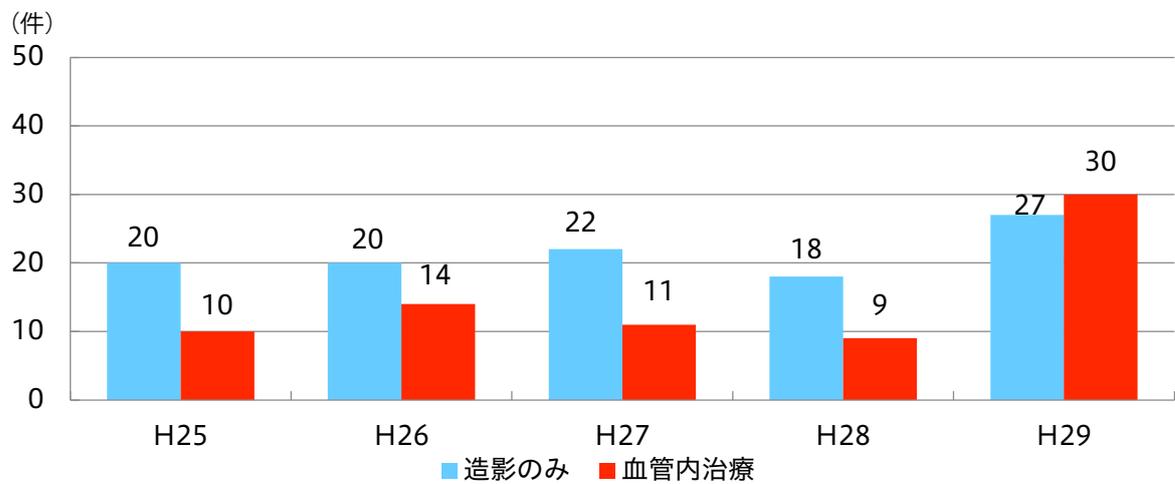
心臓カテーテル



四肢 PTA

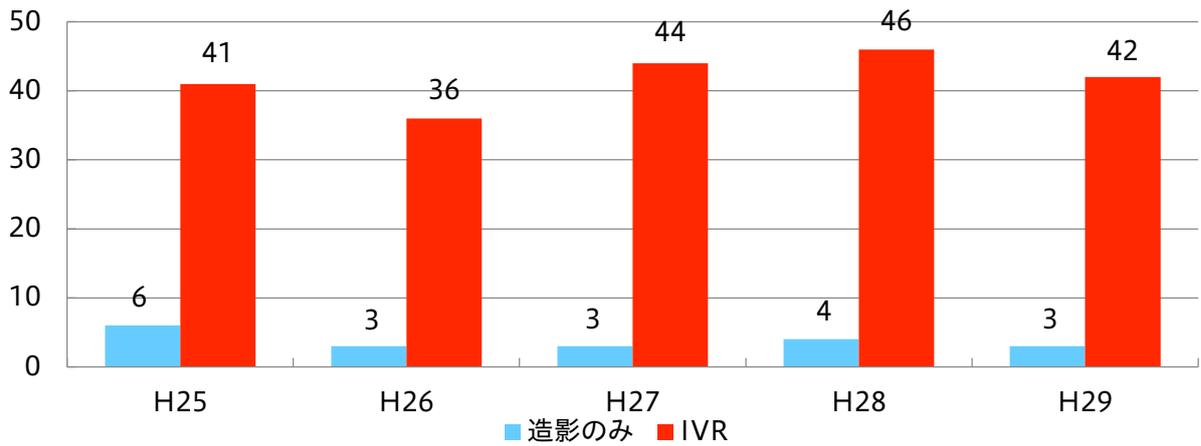


脳アンギオ



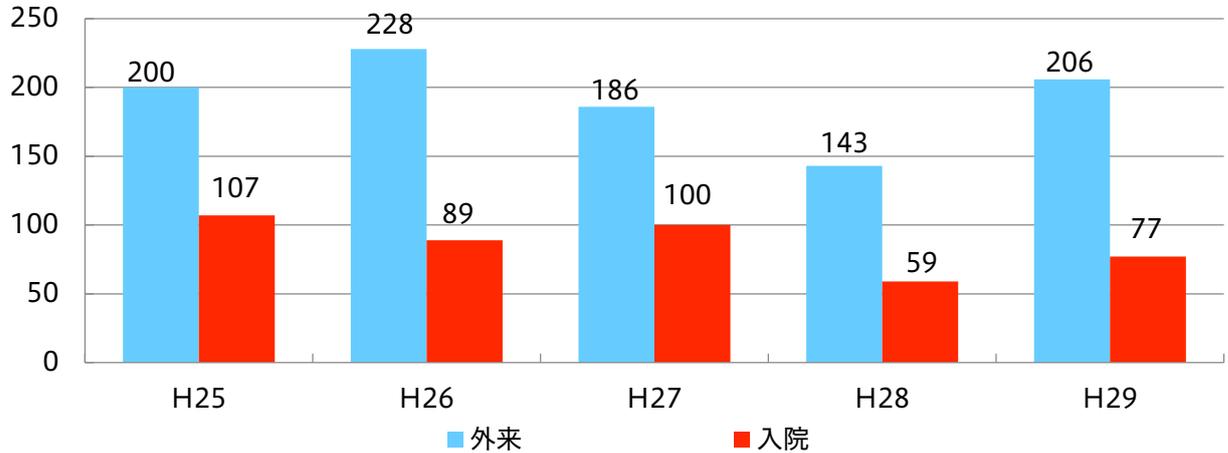
腹部アンギオ

(件)



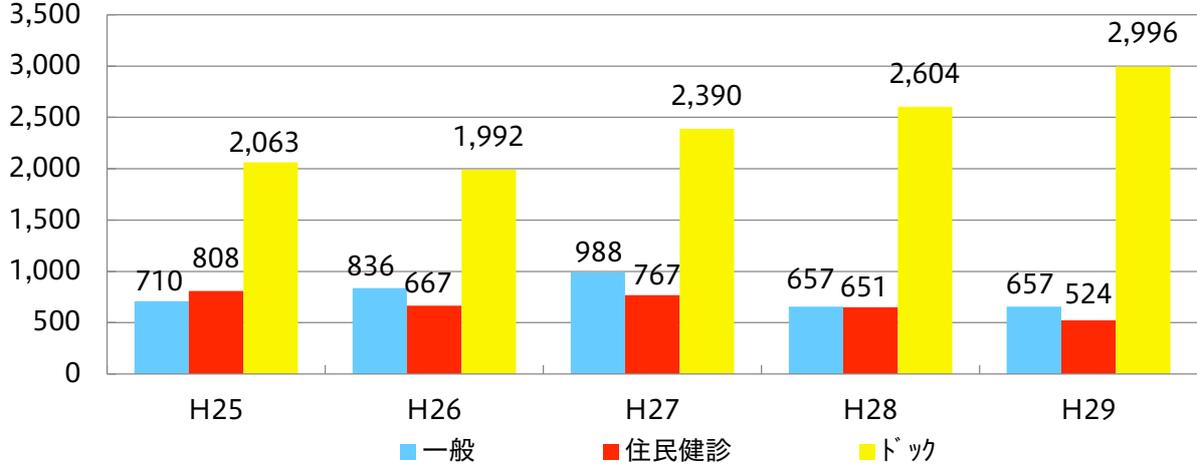
RI 検査

(件)



マンモグラフィ検査

(件)



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
食道アカラシアに対して食道 X 線造影検査が有用だった症例	第 62 回沖縄県放射線技師会学術発表会	沖縄市	H29 年 5 月	程岡 美貴
食道 X 線造影検査の有用性～正常内視鏡アカラシアの症例～	第 33 回日本放射線技師学術大会	北海道	H29 年 9 月	程岡 美貴
胃透視撮影における個々のレベルアップの試み～毎月のバリウムコンテスト開催の効果～	第 59 回全日本病院学会	石川県	H29 年 9 月	新垣 弘扇

研究発表（院内）

演題名	名称	開催地	日時	座長
	医療技術部院内研究発表予選会 医療技術部予選会 (6 部署発表)	当院	H29 年 10 月	石原 悟
	第 24 回院内研究発表会本選セッション 2	当院	H29 年 11 月	石原 悟

活動実績

院外勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
感染対策について	県技師会フレッシューズセミナー	南部医療センター	H29 年 6 月	与古田 拓
画像評価	六角会 虎の巻 沖縄大会	沖縄産業支援センター	H29 年 7 月	島尻 豊久
手術支援画像について	沖縄 CT 研究会	琉球大学附属病院	H29 年 11 月	松田 優二
1 枚のレントゲン画像から解る情報	第 16 回放射線技師のための勉強会	南部医療センター	H30 年 1 月	仲座 義富
肩関節の基礎	第 16 回放射線技師のための勉強会	南部医療センター	H30 年 1 月	島尻 豊久

科内勉強会

演題名	開催地	日時	発表者
歯科・口腔ケア・デンタル撮影について	当院	H29 年 4 月	石原 悟
刺激伝達系～心電図の基礎とアブレーション適応の不整脈について	当院	H29 年 5 月	久米 伸明
一般撮影・上肢	当院	H29 年 6 月	新垣 千登勢
糖尿病について	当院	H29 年 7 月	宮城 直哉
外傷初期診療ガイドライン～JATEC～初期診療論	当院	H29 年 8 月	出津 利恵
アカラシアについて	当院	H29 年 9 月	程岡 美貴
胃について	当院	H29 年 10 月	島尻 豊久
RI・CT Fusion	当院	H29 年 11 月	大城 盛寛
冠動脈 CT について	当院	H29 年 12 月	東金嶺 裕太郎
大動脈解離について	当院	H30 年 1 月	宇江城 彩香
Trauma PanScan 実践編・造影剤アレルギー対処法実践編	当院	H30 年 2 月	松田 優二

講習会

受講名	業務	開催地	日時	受講者
統一講習会（技師業務拡大に伴い）	造影剤注入後の抜針・止血 下部消化管検査のカテーテル挿入	南部医療センター	H29 年 4 月	津波 麻利子
				程岡 美貴
				島尻 豊久
統一講習会（技師業務拡大に伴い）	造影剤注入後の抜針・止血 下部消化管検査のカテーテル挿入	南部医療センター	H29 年 7 月	石原 悟
				与古田 拓
統一講習会（技師業務拡大に伴い）	造影剤注入後の抜針・止血 下部消化管検査のカテーテル挿入	南部医療センター	H30 年 2 月	新垣 千登勢
				松田 優二
				宮城 直哉

実績報告資料

<平成 29 年度導入機器>

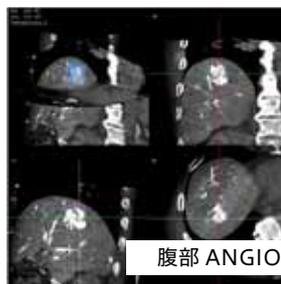
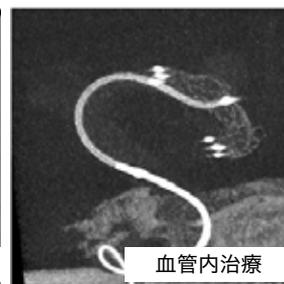
- ・デンタルスポット撮影装置新規導入
- ・アンギオ装置（バイプレーン）の新規導入
- ・マンモ装置の東館移設

H29 年 4 月に口腔ケア科の新規開設により放射線科にデンタルスポット撮影装置を新規導入致しました。現在は患者さんの増加と共に口腔内全体の画像（パノラマ装置）が必要な対象者も増えていることからパノラマ装置導入に向け準備をしております。

H29 年 8 月に東館が増築され新たに 2 階にアンギオ室も完成致しました。今回導入した装置はバイプレーン型で最新のフラットパネルを搭載し高画質で低被ばくを実現しております。従来のシングル装置に比べ循環器ではステントの重なりを見る Boost 撮影が造影剤使用せずに撮影出来るようになったことや、腹部の TACE 検査で Emboguide（アプリケーションソフト）使用により造影回数を減らす事ができ手技の時間短縮と被ばく低減につながっています。

また今回の装置には大型モニター（58 インチ）も搭載していますので目的に合った画面の配置・サイズが変更が可能となり特に脳血管治療などでは同時に 2 方向から同時に描出することや治療検査の際にロードマップ像とライブ透視を切り替えなしで同時に表示出来るようになり、より安全な検査・治療が行えます。東館 2 階には乳腺外科も移転しましたので、そこにマンモ撮影室も移設しました。それによりマンモ撮影・乳腺エコー・診察が同じフロアで行うことが出来る事から受診者に優しい設計となっています。

2018 年度には放射線科が東館連絡通路側に移転する予定となっており、新たに一般撮影室と MRI 室、全身骨密度・パノラマ撮影室の増設と CT 室の移設準備を行っております。移転後は生理検査室と放射線科受付が向かい合わせとなる為、検査の流れなど受診者にとって優しい設計となります。



臨床検査科

臨床検査科技師長 齋藤 辰好

平成 29 年度は、① 5 年後を見据えた人材育成、② 医療機器の段階的な更新、③ 病院規模に合わせた臨床検査業務の構築、④ ハートライフクリニックの業務連携の充実、⑤ 医学予防センターとの業務連携への取り組み、6 項を基本方針としました。

平成 29 年 4 月から 12 月まで東京都多摩がんセンターへ技師を派遣し細胞検査士取得を取得しました。血液担当技師が日本検査血液学会の認定血液検査技師を取得しました。血液内科の細胞調整室を使用した骨髄移植は 11 件、同一患者移植症例を含めると 15 回行いました。

夜間の緊急脳 MRI の撮影は当直技師の全員が実施でき、何時でも緊急対応をしています。

日本臨床検査技師会、沖縄県医師会、臨床検査技師会、日本医師会の外部精度管理事業にも参加し良好な結果が得られました。九州学会や沖縄県医学検査学会には座長や演題の発表がありました。また教育研修システムを充実させ細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士その他スキルアップの為に支援も構築しつつあります。

県内外大学からの学生の長期現地実習も受け入れ教育システムを構築していく予定です。

職員数

総数

37 名

職種別

臨床検査技師	32 名	検査助手	2 名
視能訓練士	3 名		

認定・資格

氏名	認定・資格名
齋藤辰好	超音波検査士 (4 領域)
島袋泰彦	超音波検査士 (4 領域)・衛生管理者
仲松勝彦	超音波検査士 (1 領域)・衛生管理者
安里奈美	超音波検査士 (2 領域)
照屋祥子	超音波検査士 (2 領域) JABTS-A 認定技師
新垣和史	緊急検査士 認定血液検査技師 (新規取得)
森山武志	2 級臨床検査士 (細菌) 衛生管理者
宮城 健	2 級臨床検査士 (細菌)

氏名	認定・資格名
津波克幸	国際細胞検査士 細胞検査士
照屋 結	細胞検査士
武島万林	細胞検査士
北川磨亜邦	細胞検査士 (新規取得)
金城奈津子	JABTS-B 認定技師
宮城和歌	JABTS-B 認定技師
宮平優子	2 級臨床検査士 (免疫血清)

沖縄県 臨床検査技師会 役員

	役職
齋藤 辰好	沖縄県臨床検査技師会 理事
津波 克幸	沖臨技病理細胞検査 副分野長 沖縄県臨床細胞学会 幹事 沖縄県医師会臨床検査制度管理細胞検査部門 解析委員

運営方針

臨床検査は疾病の①診断②治療方針決定③予後の判定にかかわる重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
有毛細胞白血病について症例解説]	血液検査定例会	那覇市	2017 年 4 月	新垣和史
乳腺 MRI 検査の両側同時撮影にて偶然発見された対側乳腺腫瘍の 1 例	第 53 回沖縄県医学検査学会	西原町	2017 年 6 月	島袋泰彦
当院における血液培養各種指標の推移	第 53 回沖縄県医学検査学会	西原町	2017 年 6 月	新垣春香
食道内圧、インピーダンス pH 検査が有用であった難治性食道炎(呑気症)の症例	第 53 回沖縄県医学検査学会	西原町	2017 年 6 月	宮城和歌
座長	第 33 回日本臨床細胞学会九州連合会学会「一般演題 VII その他(消化器・内分泌・泌尿器)」	那覇市	2017 年 7 月	津波克幸
気管支洗浄液に出現した神経内分泌腫瘍類似の肺腺癌の一例	細胞診断学研究会定例会	西原町	2017 年 10 月	津波克幸
CEA、シフラ、ヒアルロン酸値が共に上昇した胸水扁平上皮癌の一例	細胞診断学研究会定例会	西原町	2017 年 10 月	津波克幸

院内研究会

演題名	名称	開催地	年月日	発表者
糖尿病と検査について	医療技術部勉強会	当院	平成 29 年 7 月	町田絵都
座長	医療技術部勉強会 テーマ「糖尿病」	当院	平成 29 年 7 月	今畑友理子

科内勉強会

名称	年月日	発表者
便潜血機器導入にあたり	平成 29 年 4 月	島袋泰彦
血液製剤について	平成 29 年 5 月	大城小百合
CVR-R 検査につて	平成 29 年 5 月	安里奈美
ダブルマスター負荷心電図につて	平成 29 年 6 月	神谷真衣子
症例報告・検討	平成 29 年 7 月	新垣和史
グラム染色(喀痰)につて	平成 29 年 7 月	森山武志
ホルター心電図とは	平成 29 年 7 月	照屋祥子
R-CPC(症例検討)	平成 29 年 8 月	新里直子
MRI 梗塞部位につて	平成 29 年 8 月	宮城和歌
GTTにつて	平成 29 年 9 月	呉屋江合奈
甲状腺ホルモン検査につて	平成 29 年 9 月	玉城英連
椎骨動脈解離における B-PAS の意義	2018 年 1 月	田仲康彦
マスクの正しい使用方法	2018 年 1 月	宮城健
輸血検査の基礎知識	2018 年 2 月	蔵下恒
耐性菌の話題と感染対策	2018 年 3 月	新垣春香
ベットサイド細胞診の有用性	2018 年 3 月	照屋 結

検査・治療実績

生理検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	499	496	502	507	527	432	509	465	464	483	502	560	5,946
CVR-R-ECG	5	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	14
マスター心電図	15	11	18	9	6	7	9	5	16	10	13	11	130
トレッドミル負荷心電図	3	7	7	5	7	5	3	3	5	7	5	5	62
ホルター心電図	16	17	19	20	14	17	17	18	27	21	17	17	220
24時間血圧測定 ABPM	2	1	2	3	2	0	0	1	1	1	1	1	15
肺機能検査 2項目	62	61	77	75	89	55	73	71	74	61	62	82	842
肺機能検査 4項目	17	19	19	27	28	15	17	14	13	16	15	25	225
ABI測定	15	15	21	17	19	16	16	16	14	18	11	28	206
サーモグラフィ	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
呼気中尿素試験	49	48	62	36	53	52	59	56	59	57	44	50	625
脳波検査	4	6	2	5	4	9	3	4	7	7	6	3	60
睡眠・薬物賦活脳波	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
神経伝達速度(MC V)	8	7	6	5	7	5	10	10	5	2	4	5	74
聴性脳幹反応(AB R)	0	0	3	0	0	0	1	1	1	2	1	2	11
レートポテンシャル	2	2	4	3	5	2	1	1	3	2	3	4	32
終夜睡眠ポリグラ フィー	4	3	5	1	2	5	2	1	0	0	0	5	28
呼気中一酸化窒素	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺運動負荷試験	16	22	23	24	19	7	9	16	21	14	22	18	211
心エコー	3	2	3	2	3	3	1	2	2	2	2	3	28
腹部エコー	1	1	1	1	1	1	2	0	1	0	1	0	10
泌尿器科エコー	3	1	1	2	3	2	3	1	4	1	2	2	25
表在エコー	5	2	1	3	3	4	2	2	5	4	2	6	39
血管エコー	246	217	215	187	211	173	189	184	218	233	263	255	2,591
胎児エコー	300	385	355	380	341	333	320	252	312	302	269	323	3,872
経食道エコー	115	131	110	129	135	124	111	126	110	95	99	113	1,398
経皮的酸素ガス分 圧	153	121	169	192	199	152	226	148	185	155	139	158	1,997
皮膚灌流圧測定検 査	97	104	111	161	110	115	75	88	90	135	90	107	1,283
簡易聴力検査	32	26	41	31	32	32	37	35	50	28	46	63	453
標準聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
ティンパノメトリー	2	4	2	3	3	1	3	3	4	5	7	2	39
MRI	0	4	1	0	2	1	2	1	2	1	3	2	19
食道PHモニター	11	20	14	9	6	6	25	17	14	13	10	30	175
食道内圧検査	37	64	55	47	50	50	49	48	40	29	52	50	571
経直腸エコー	25	42	31	22	23	34	20	22	15	18	28	29	309
ENOG	0	3	1	0	2	1	1	0	3	0	3	2	16
アプミ骨反射検査	317	372	384	353	391	373	382	350	388	344	324	367	4,345

病理

病理・細胞検査	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診	322	335	375	365	401	347	360	342	374	358	334	382	4,295
細胞診	374	396	564	544	628	604	588	689	713	534	549	536	6,719
剖検	0	0	0	1	0	1	3	0	0	2	0	0	7
迅速組織診	4	4	6	5	7	4	2	4	3	6	6	3	54

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨髓像	19	20	12	18	21	14	19	16	14	13	14	11	191
PBSC 製剤作製 (患者数)	2	3	0	0	0	1	0	1	2	0	0	1	10
PBSC 製剤作製 (作製数)	4	4	0	0	0	1	0	1	3	0	0	1	14
骨髓血漿除去作業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

細胞調整室 (CPC)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
末梢血幹細胞処理	4	4	0	0	0	1	0	1	3	0	0	1	14
骨髓液幹細胞処理	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

科別実績

検体検査 (科別) 入外	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	3,114	3,221	2,987	3,022	3,161	2,986	2,727	2,765	3,301	3,161	3,037	3,294	36,776
外科	758	814	841	836	786	653	670	638	690	673	653	651	8,663
整形外科	246	295	316	262	265	219	293	271	260	227	278	260	3,192
眼科	28	49	44	63	61	52	64	50	42	38	44	37	572
透析科	385	382	402	388	367	387	373	376	400	412	435	406	4,713
小児科	180	171	185	207	136	156	135	170	190	160	164	245	2,099
脳神経外科	91	107	105	40	52	90	116	136	133	141	106	97	1,214
産婦人科	355	434	448	427	447	414	430	555	573	490	492	594	5,659
耳鼻咽喉科	22	28	40	32	38	22	27	24	33	34	42	27	369
心療内科	1	1	0	1	2	3	0	1	2	1	1	4	17
泌尿器科	457	493	469	465	529	474	504	472	504	394	426	464	5,651
皮膚科	5	3	5	2	3	2	2	4	6	4	6	3	45
麻酔科	6	13	6	4	5	4	0	7	7	3	2	1	58
形成外科	95	49	72	105	118	153	119	82	76	94	76	97	1,136
乳腺外科					9	86	88	89	126	100	79	105	
検診科	1,262	1,108	1,527	1,442	1,453	1,379	1,426	1,884	1,519	1,201	1,289	1,337	16,827
(ク) 糖尿病内科	1,005	951	990	917	1,049	918	1,034	894	1,041	962	988	1,039	11,788
(ク) 内科	647	575	691	628	687	588	591	544	699	665	678	585	7,578
(ク) 小児科	242	251	324	302	162	169	199	135	187	259	309	234	2,773
(ク) 検診	3	1	11	12	10	7	88	70	14	8	14	15	253
救急科	799	799	873	985	951	822	672	691	868	1,219	1,081	906	10,666
口腔ケア科							1	0	0	0	1	0	
合計	9,701	9,745	10,336	10,140	10,291	9,584	9,559	9,858	10,671	10,246	10,201	10,401	120,733

病棟実績

検体検査 (病棟)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ICU	263	230	273	220	201	166	125	129	274	223	240	198	2,542
2階西病棟	192	211	229	270	214								1,116
3階新病棟	123	118	95	96	87								519
東館 2階病棟						79	80	84	102	121	109	115	690
東館 4・5階病棟						239	220	307	276	253	265	335	1,895
3階病棟	279	308	322	306	326	327	345	280	297	295	289	270	3,644
4階病棟	363	386	414	325	406	383	379	361	401	383	400	368	4,569
5階病棟	495	490	459	411	499	455	380	442	519	521	513	550	5,734
6階病棟	622	721	564	614	583	684	526	551	661	553	529	603	7,211
7階病棟	424	502	447	503	438	415	367	448	454	475	442	485	5,400
合計	2,761	2,966	2,803	2,745	2,784	2,748	2,422	2,602	2,984	2,824	2,787	2,924	33,350

※東館の運用開始に伴い9月より「2階西病棟」は「東館 4・5階病棟」へ、「3階新病棟」は「東館 2階病棟」へ。

臨床工学科

臨床工学科技士長 大城 安

平成 29 年度は新人技士 2 名を採用し総勢 12 名体制にて事業推進を図りました。

入職 1 ～ 2 年目の新人スタッフのスキルアップを図りながら、事業計画に準じ事業計画達成に努力してまいりました。

また、これまで臨床工学技士養成校である九州保健福祉大学の実習指定病院として実習生を受入れてまいりましたが、平成 29 年度より新たに SOLA 沖縄保健医療工学院の実習生を受入れ、実習生の教育体制を強化しました。

東館新設に伴い本館 8 階透析室が東館 3 階への移転が無事済み 8 月 28 日より新館での透析がスムーズに成され 47 床から 57 床（個室含み）へ増床しました、また透析関連機器も充実し新たな環境での運用が開始されました。

平成 30 年度に向けた展望

新年度は技士全体のスキルアップを図りながら、事業計画に準じ事業の達成に努力してまいります。

特に、ME 機器管理部門は配置スタッフを増員し手術室の ME 機器管理の充実を図り、手術室業務が安全に行える様取り組みます。

職員数

総数

12 名

職種別

臨床工学士 12 名

平成 29 年度技士取得ライセンス

名 称	認定資格	主 催	開催地	実施・取得年月日	氏 名
輸液ポンプメンテナンス講習会 (OT-808C)	輸液ポンプメンテナンス講習会修了者 (OT-808C)	JMS 株式会社	沖縄県 (ハートライフ病院)	2017 年 9 月 7 日	喜瀬拓也
第 1 回 JHAT 隊員養成研修	JHAT	日本災害時透析医療協働支援チーム JHAT	東京都 (東京工科大学・蒲田キャンパス)	2017 年 7 月 15 日～7 月 16 日	野原剛
第 10 回フットケア指導士認定試験	フットケア指導士	日本フットケア学会	東京都 (KPP 八重洲ビル)	2018 年 3 月 4 日	仲程通孝

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

【ME 機器管理実績】

1. 増改築への関わり

ME 機器管理室では、平成 29 年度の東館増築に関わり、救急外来、ICU、手術室、東館 2 階病棟の生体情報モニタの更新への協力を行いました。

2. ME 機器管理システムの更新

平成 29 年度 6 月より ME 機器管理システムを更新しました。今後、現場での医療機器が安全に使用できるような還元、および医療機器の計画的な更新、資産管理に係る監査対応等で病院経営への還元を考えている。資産管理に係る監査とは、医療法人において、公認会計士または監査法人による会計監査制度が導入されることを示しています。今後、病院内の医療機器の把握のため、経理課、管財課用度係と協力して院内機器の把握を進める必要があります。加えて、2018 年度の病院機能評価にてシステムの活用を検討します。

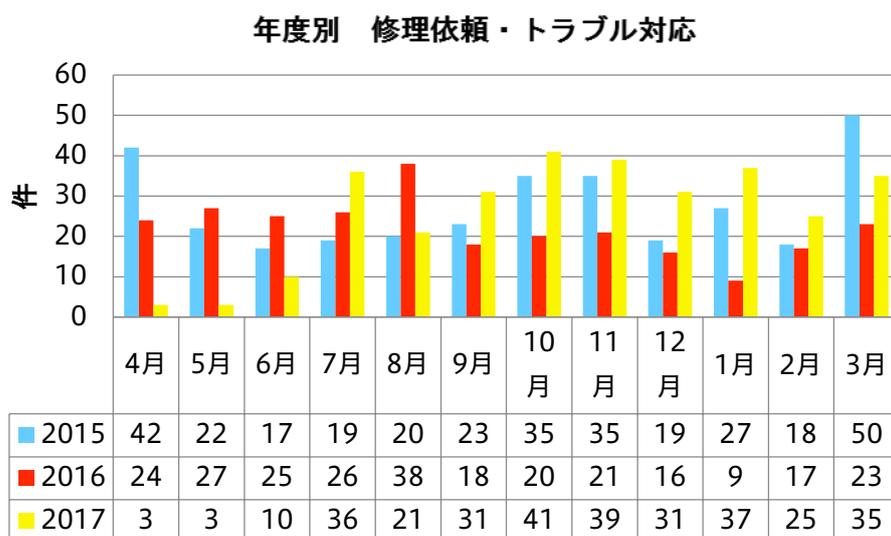
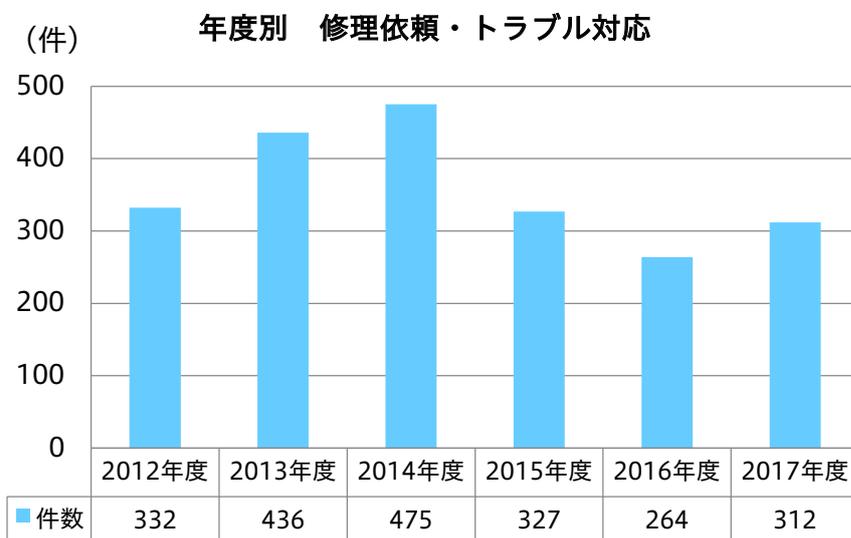
3. コスト削減への取り組み

新たな活動として、臨床工学技士の視点で院内コスト削減に取り組んだ。継続して取り組んでいる内容も含めて以下に示します。

- ・調達改善：ジェネリック消耗品の情報取得と性能評価→現場運用との有用性確認→使用者とのすり合わせ→採用変更提案というプロセスを臨床工学技士ならではの知識を生かして行いました。次に例を示します。①人工鼻（人工呼吸器用、気切用、麻酔用）、②閉鎖敷吸引、③マウント、④ユニバーサルチューブ、⑤ 12 誘導心電図用電極、⑥麻酔器用アブソーバ、⑦挿管チューブ固定具
- ・運用改善：臨床工学技士介入により、現場でやらなくて済み人的コスト削減が可能な事例、また、その作業のクオリティが改善される事例を検討しました。① NPPV 用マスクの洗浄、②エコー器の点検、③麻酔器のキャニスタ交換
- ・設備改善：医療機器老朽化によって発生する、ランニングコストの増加、不具合発生リスクの増加を見込む医療機器の更新により、両コストを削減します。①生体情報モニタの更新、②麻酔器の更新、③エコー器の更新

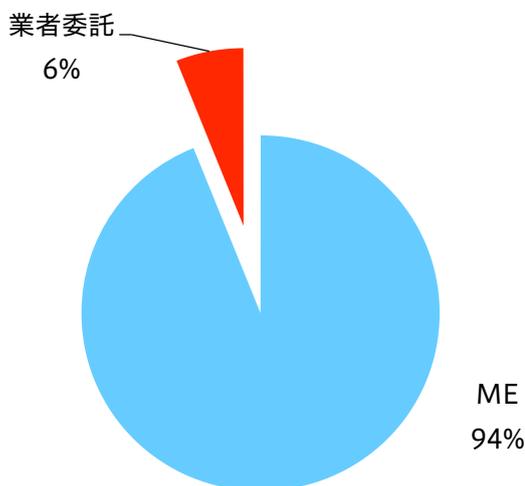
修理依頼・トラブル対応件数について

年度件数は、横ばいですが、ME 機器管理システム変更に伴い、年度初めの集計が難しい状況のため、実際は件数がもう少しあったと思われる。それに加え、現場でのシステム入力が可能になったため、今後、増加を見込んでいます。



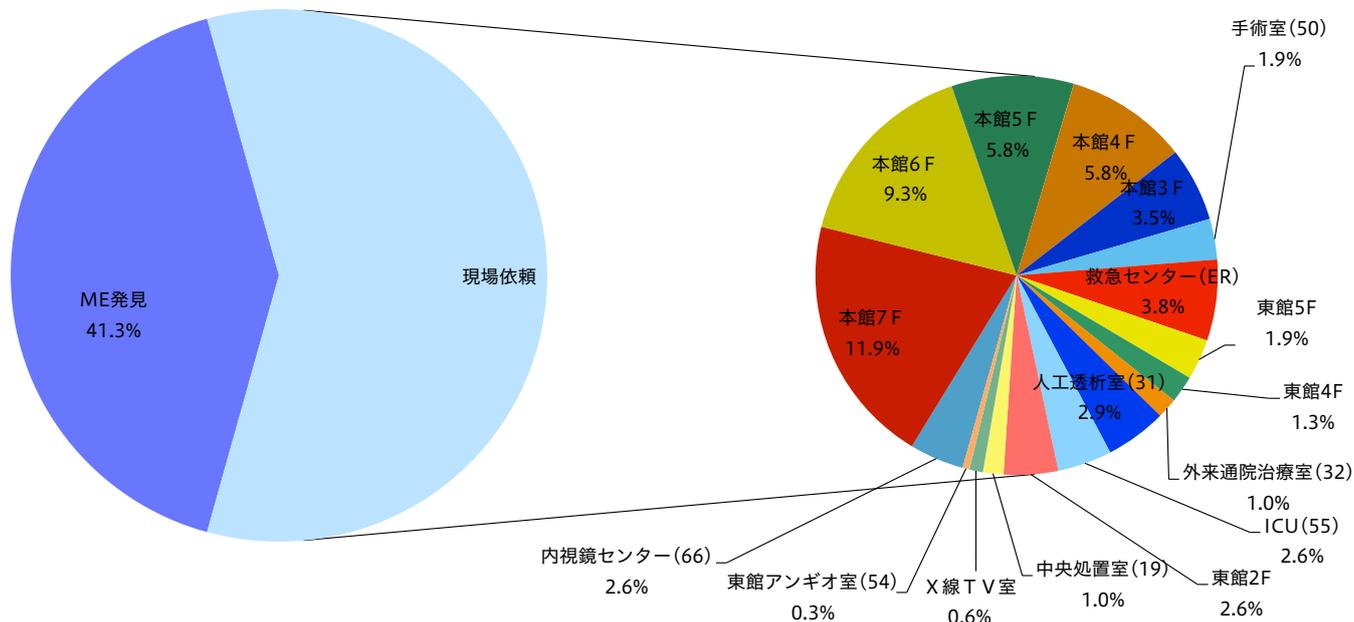
対応割合

トラブル対応は、94%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができています。また、業者委託の場合にも代替えの手配から修理箇所の確認とメーカーへの情報提供、修理完了品の受け取りと納品後の正常動作確認、原因の業務をワンストップで臨床工学技士が行い、現場の負担を減らす努力をしています。



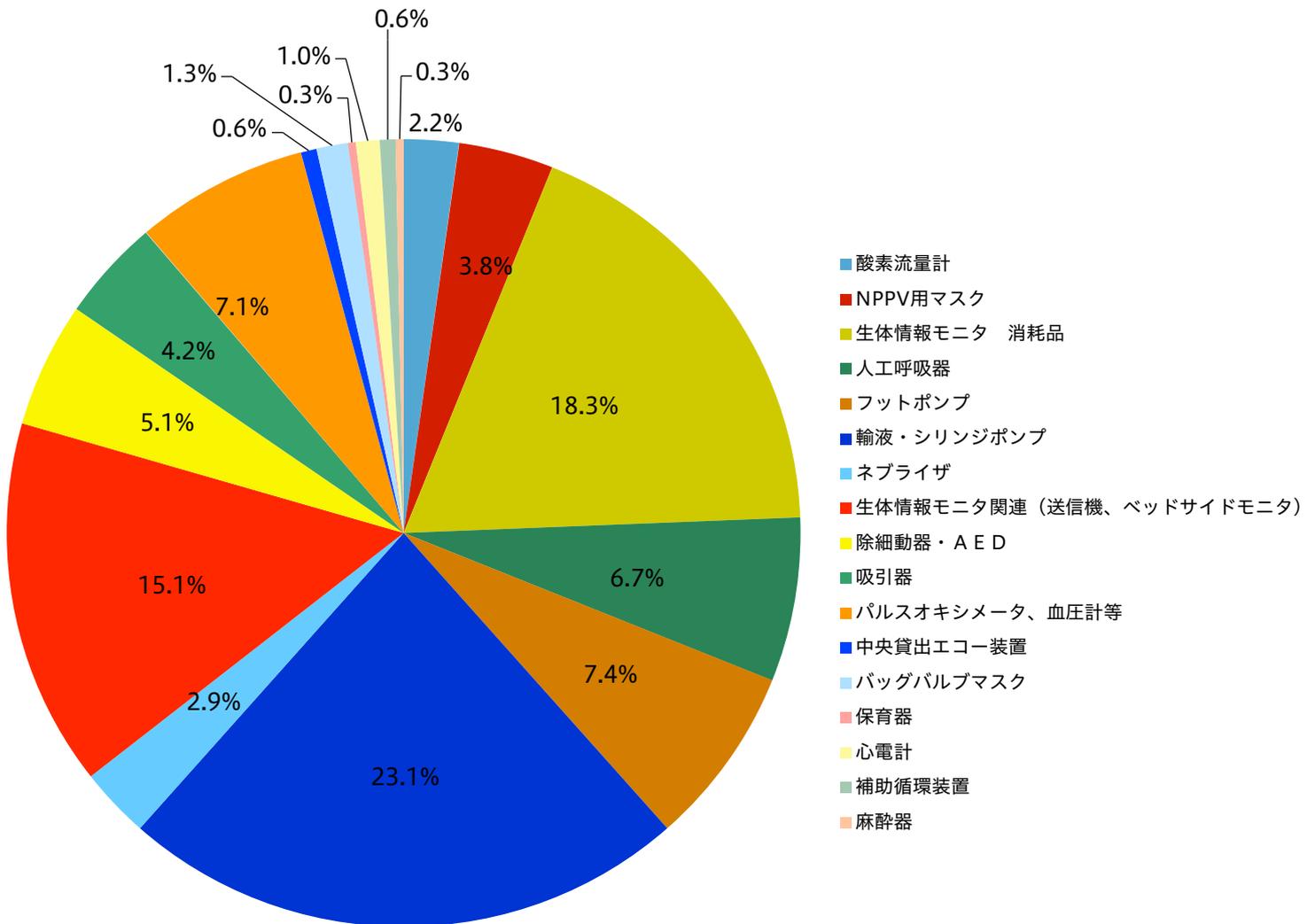
発見 / 現場依頼割合

部署依頼による点検は 59%、臨床工学技士の点検により発見された割合は 41%であり、点検により未然に防げている部分もありますが、現場で発見されるケースもあります。現場で発見されるものは、生体情報モニタの消耗品の故障であり、生体情報モニタの中でも臨床工学技士の点検の目が及んでいない送信機で発生しています。今後の点検の対象とすべきものです。



機器別割合

2017年度は集計方法を変更した結果、生体情報モニタ本体より、消耗品の対応が多いことがわかりました。今後、点検の方法を検討し、現場で使用時に発生しないような環境を作る必要があります。また、2017年度より新たに中央管理（ME管理）としたNPPV用マスクについて一定のトラブルが発生し部品交換を行って対応できました。潜在的な需要を満たし、看護師の業務コスト軽減を得ることができました。



人工呼吸器について

点検種類	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
始業点検	400 台 / 年	551 台 / 年	301 台 / 年	364 台 / 年	541 台 / 年
終業点検	327 台 / 年	359 台 / 年	366 台 / 年	436 台 / 年	465 台 / 年
使用中点検 (ラウンド点検)	2507 台 / 年 (1 日平均 8.0 台)	2576 台 / 年 (1 日平均 8.2 台)	2073 台 / 年 (1 日平均 6.6 台)	2068 台 / 年 (1 日平均 6.6 台)	2029 台 / 年 (1 日平均 6.5 台)

ポンプについて

機種	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
輸液ポンプ	2,093 台 / 年 (1 日平均 6.7 台)	2,377 台 / 年 (1 日平均 7.6 台)	2,230 台 / 年 (1 日平均 7.1 台)	2283 台 / 年 (1 日平均 7.3 台)	2290 台 / 年 (1 日平均 7.3 台)
シリンジポンプ	1,377 台 / 年 (1 日平均 4.4 台)	1423 台 / 年 (1 日平均 4.6 台)	1,385 台 / 年 (1 日平均 4.4 台)	1579 台 / 年 (1 日平均 5.0 台)	1387 台 / 年 (1 日平均 4.5 台)
経腸栄養ポンプ	46 台 / 年	29 台 / 年	23 台 / 年	44 台 / 年	35 台 / 年
フットポンプ	262 台 / 年	415 台 / 年	523 台 / 年	568 台 / 年	501 台 / 年
ドリップアイ	30 台 / 2014 年 2-3 月	267 台 / 年	273 台 / 年	310 台 / 年	428 台 / 年

肝腫瘍ラジオ波焼灼術 立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科(中止)	外科(中止)	総数
H21	2	0	0	0	2
H22	7	4	3	0	14
H23	10	2	1	0	13
H24	27	1	0	1	29
H25	29	1	0	2	32
H26	37	7	0	0	44
H27	27	12	2	0	41
H28	15	6	0	1	21
H29	13	2	1	0	16

在宅酸素療法対応件数

業者別対応件数

	フクダ	テイジン(南西)	オカノ	総数
H23	17	11	0	28
H24	12	11	2	25
H25	20	8	4	32
H26	22	16	8	46
H27	25	16	0	41
H28	28	22	4	54
H29	11	14	2	27

対応内容別対応件数

	導入	指示変更 / 再開	中止	外泊	その他
H23	27	0	1	0	0
H24	23	0	0	1	1
H25	17	7	1	1	5
H26	27	5	1	1	12
H27	27	1	0	1	12
H28	35	9	3	0	8
H29	21	0	0	0	6

レンタル対応（開始、返却）

	NPPV (VISION、V60)	NPPV (ASV-CS)	NHF ネーザルハイロー
H24	74	76	なし
H25	58	41	11
H26	106	75	18
H27	79	29	4
H28	116	52	4
H29	100	37	8

【循環器実績】

心カテ・PM埋込症例数

月	カテーテル検査								PMI	PMC	IVCF	PPI	ABL
	CAG	PCI	緊急	総PCI	IABP	ECMO	TPM	M/S	PM				
4月	13	5	3	8	0	2	2	3	23	0	11	0	
5月	15	8	5	13	0	0	0	7	10	0	8	0	
6月	14	6	7	13	4	1	1	2	25	0	9	1	
7月	8	4	1	5	0	0	1	2	18	0	10	1	
8月	21	5	2	7	1	1	0	2	17	2	5	0	
9月	9	2	1	3	0	0	1	2	17	0	7	0	
10月	7	10	2	12	0	0	0	3	26	0	5	1	
11月	9	7	0	7	1	0	0	1	15	0	11	1	
12月	14	3	6	9	1	2	1	1	24	0	19	2	
1月	15	5	5	10	1	0	0	0	17	0	7	1	
2月	19	10	5	15	0	0	2	0	18	1	10	1	
3月	17	9	4	13	3	2	1	3	20	1	10	2	
総合計	161	74	41	115	11	8	9	26	230	4	112	10	

※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカー植え込み術。PMC: ペースメーカークリニク。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカー

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法										血漿浄化療法			CART	PBSC	合計
	HD (SLED 含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CHDF	白血球 除去療法		血液 吸着		血漿吸着	PP					
						GCAP	LCAP	PMX	DHP	ビリルビン 吸着	PE	DFPP				
2017.4	2	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	11
5	4	0	0	0	4	0	9	0	0	0	0	0	0	1	4	22
6	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	12
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	5	0	0	0	23	0	8	0	0	0	0	0	0	2	0	38
9	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	1	7
10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
11	1	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	2	1	10
12	1	0	0	0	26	0	4	4	0	0	0	0	0	1	3	39
2018.1	9	0	0	0	19	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	31
2	0	0	0	0	13	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	15
3	3	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	14
計	26	0	0	0	104	0	27	8	0	0	0	0	0	25	12	202

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
指針を基にした病院内における携帯電話使用規則の見直し	CE 技術交流会	SOLA 沖縄保健医療工学院	2017 年 6 月 11 日	○仲松晋也
当院における血液浄化領域実習の実際	CE 技術交流会	SOLA 沖縄保健医療工学院	2017 年 6 月 11 日	○野原剛
座長	第 62 回日本透析医学会学術集会・総会	神奈川県横浜市(パシフィコ横浜)	2017 年 6 月 16 日	○仲松晋也
指針を基にした病院内における携帯電話使用規則の見直し	医療分野における電波利活用分科会	東京都(一般社団法人電波産業界)	2017 年 6 月 23 日	○仲松晋也
指針を基にした病院内における携帯電話使用規則の見直し	医療分野における電波の安全性等に関する説明会	沖縄県(産業支援センター)	2017 年 9 月 9 日	○仲松晋也
座長	第 12 回九州臨床工学会	大分県(大分市)	2017 年 9 月 29 日～10 月 1 日	○大城安
災害対策パネリスト	沖縄県透析医会講演会	沖縄県(ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城)	2017 年 10 月 19 日	○大城安
リクセル S-15 使用による血圧低下で使用中止になった症例報告	第 50 回九州人工透析研究会総会	福岡県(ヒルトン福岡シーホーク)	2017 年 12 月 3 日	○河西規至、仲程通孝、大濱明日香、野原剛、大城安
指針を基にした病院内における携帯電話使用規則の見直し	医療機関における安心・安全な電波利活用シンポジウム	東京都(大手町サンケイプラザホール)	2017 年 12 月 7 日	○仲松晋也
当院における災害拠点病院指定要件の自家発電機受水槽に関する検証	日本集団災害医学会	神奈川県横浜市(パシフィコ横浜)	2018 年 2 月 2 日～2 月 3 日	○野原剛
当院の透析室災害対策の現状と課題	第 14 回沖縄県腎不全看護研究会	沖縄県(ラグナガーデンホテル)	2018 年 2 月 15 日	○大城安

論文・著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
【医療機器安全教育の充実と継続】医療機器の院内教育の実際と課題 輸液ポンプ	Clinical Engineering (0916-460X)	28 巻 6 号 Page459-466(2017.05)	仲松 晋也

活動実績

職員向け医療機器研修

テーマ	実施年月日	担当・講師	参加人数
日本光電 CPRassist、心電計操作方法説明会	2017 年 10 月 30 日	伊波	7
ナカニシ 顔面骨形成に使用 シェーパー	2017 年 11 月 1 日		11
呼吸ケア勉強会「呼吸生理と酸素療法」	2017 年 11 月 8 日	喜瀬	56
日本光電 ECG-2250 使用方法説明会	2017 年 11 月 9 日	伊波	15
CHDF について	2017 年 11 月 20 日	内里	13
医療安全勉強会「DVT について」	2017 年 12 月 4 日	宮城	57
CAP 使用方法	2017 年 12 月 15 日	伊波	16
関節鏡ポンプ取扱説明	2017 年 12 月 28 日	栗山	9
NPPV m について	2018 年 1 月 10 日	喜瀬	31

テーマ	実施年月日	担当・講師	参加人数
ザビーナ 300 使用方法説明	2018 年 1 月 18 日	島袋	6
ザビーナ 300 使用方法説明	2018 年 1 月 22 日	喜瀬	5
モニタ講習会 Basic コース	2018 年 2 月 1 日		20
モニタ使用方法説明会	2018 年 2 月 21 日	平敷	12
IPPV について	2018 年 3 月 14 日	喜瀬	40
在宅 NPPV 勉強会	2018 年 3 月 28 日	鈴木	13

栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

東館増改築に伴う産婦人科病棟移転により、栄養科では専属調理師を新たに採用し、祝膳をクリニックオハナより引き継ぎ、器を陶器へ変更する等、授乳婦食を一新しました。また、栄養指導においてはメディカルクラークと連携し 30 年 1 月より入院栄養指導件数増の取り組んでいます。

職員数

総数

27 名

職種別

管理栄養士 6 名

調理師 10 名

調理補助 5 名

食器洗浄 5 名

事務 1 名

認定・資格

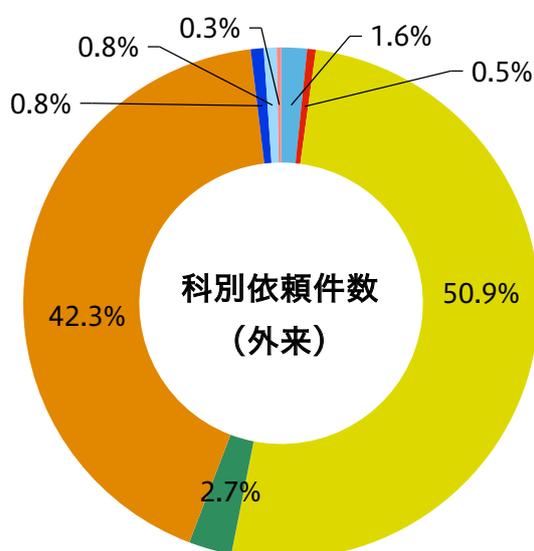
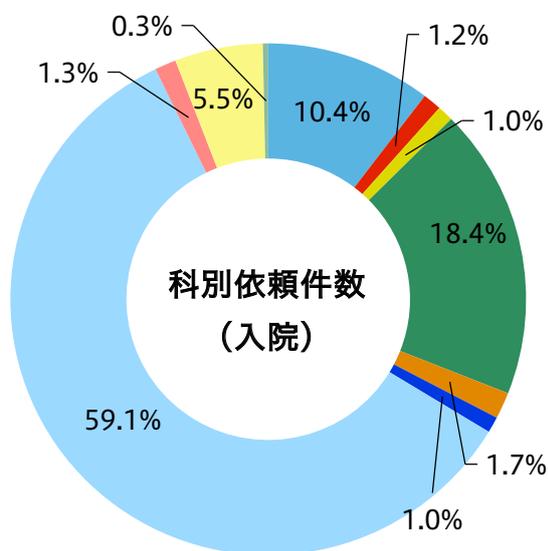
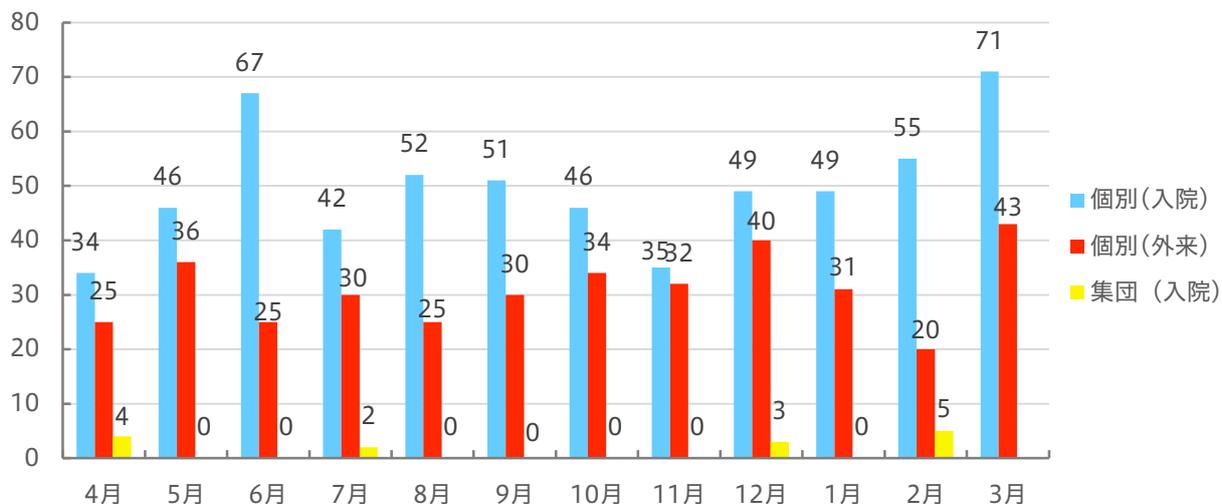
氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士

氏名	認定・資格名
当真結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士
棚原佳世	沖縄県地域糖尿病療養指導士

運営方針

- ・ 患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・ 衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・ 患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

平成 29 年度栄養指導実施件数



- 外科
- 形成
- 産婦人科
- 小児科
- 整形外科
- 透析科
- 内科
- 脳外
- 救急科
- 耳鼻科

- 外科
- 産婦人科
- 小児科
- 透析科
- 内科
- 脳外
- 泌尿器科
- 救急科

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
小児アレルギー現状報告	食事療法学会	那覇市	2018年3月3日～4日	棚原佳世
経腸栄養剤の選択	食事療法学会	那覇市	2018年3月3日～4日	當眞結子

研究発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
授乳婦食の見直し	院内発表会	院内	2017年11月18日	高屋美希

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
糖尿病の食事療法	医療技術部勉強会	院内	2017 年 7 月 21 日	棚原佳世

活動実績

科内研修

名称	実施年月日	担当
減塩食	2017 年 4 月 18 日	当真
トロミ食	2017 年 5 月 17 日	久場、東恩納
塩分摂取チェック	2017 年 6 月 30 日	真栄城
食中毒	2017 年 7 月 20 日	棚原
動体視力	2017 年 8 月 23 日	当真
料理盛り付け	2017 年 9 月 20 日	久場、山田
煮物について	2017 年 12 月 25 日	当真、吉岡

講師派遣

題名	開催地	実施年月日	参加
健康食品との付き合い方 (出前講座)	西原町	2017 年 9 月 7 日	当真結子
心リハスタッフ勉強会	院内	2017 年 9 月 19 日	久場徳子
健康食品との付き合い方 (出前講座)	西原町	2017 年 10 月 12 日	棚原佳世
心リハ教室	循環器病棟	2ヶ月毎	栄養士
緩和勉強会	院内	2017 年 12 月	高屋美希
心リハ患者勉強会	循環器病棟	2017 年 12 月 20 日	真栄城ゆかり
健康食品との付き合い方 (出前講座)	西原町	2018 年 1 月 23 日	高屋美希
肥満について (市民公開講座)	院内	2018 年 2 月 24 日	高屋美希

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
糖尿病セミナー～糖尿病の治療中断を考える～	ハートライフクリニック	2017 年 4 月 18 日	当真
リハビリテーション栄養研究会	那覇市	2017 年 5 月 13 日	真栄城
インスリンについて	宜野湾市	2017 年 7 月 18 日	久場、当真
食中毒防止研修会	宜野湾市	2017 年 8 月 18 日	瑞慶覧、比嘉彩乃
アレルギー研修会	琉球大学	2017 年 7 月～8 月	久場
糖尿病治療学術講演会	沖縄県医師会館	2017 年 9 月 9 日	久場、高屋
血糖測定器リブレ	栄養士会	2017 年 11 月 7 日	久場
摂食嚥下障害	那覇市	2017 年 11 月 23 日	当真
胃瘻研究会	ピーススクエア	2017 年 12 月 6 日	当真
排便サポート勉強会	那覇市	2017 年 1 月 27 日	真栄城、当真
日本病態栄養学会	京都	2018 年 1 月 12 日～14 日	高屋
日本静脈経腸栄養学会	横浜	2018 年 2 月 22 日～23 日	真栄城
食事療法学会	那覇市	2018 年 3 月 3 日～4 日	真栄城、久場、瑞慶覧、高屋、棚原、当真
第 13 回 NST フォーラム	浦添市	2018 年 3 月 17 日	真栄城、当真、久場

イベント参加

名称	内容	開催地	年月日	参加者
小児糖尿病サマーキャンプ	栄養指導	玉城青年の家	2017 年 8 月 4 日	当真結子

薬局

薬局長 田中 健嗣

今年度は県外からの新人と院内 CRC を迎え、薬剤師 13 名（欠員 4 名）でスタートしました。

人員確保に関しては昨年度に引き続き在職者の母校をはじめ、各大学へ積極的な P R 活動を継続しています。また、一担当者が専属で行っていた業務を見直し、複数名が対応可能な状態へシフトしてきました。

昨年度より取り組んでいる、薬局内の事務作業や薬剤師業務を事務職が代行する事より、薬剤指導件数も順調に増加しています。治験業務も院内 CRC の雇用により、対応件数が増加しつつあります。今後も日常業務を見直し、簡素化に取り組み、安全・安心の薬局を目指したいと思います。

職員数

総数

21 名

職種別

薬剤師 13 名

看護師 1 名

薬局助手 4 名

一般事務 3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
義田育美	NST 専門療法士
知念尚恵	糖尿病療養指導士

理念

- ・ 私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します。
- ・ 患者さんが喜ぶ医療を目指します。

運営方針

- ・ 全ての入院患者さんの状況把握と関与
- ・ 医薬品の適正使用
- ・ 「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

活動実績

講師・発表実績

内容	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講師	フィジカルアセスメント研修会	沖縄県	2017 年 5 月～2018 年 3 月	大関秀和
講師	沖縄県緩和ケア研修	沖縄県	2018 年 1 月 6～7 日	田中健嗣

平成 28 年度計画及び実績

項目		目標	実績
薬剤管理指導	月間	500 件	500 件
	年間	6,000 件	6,008 件
情報配信	DI ニュース		5 報
	薬審結果報告		4 報
	薬剤切り替え		27 報
	その他		6 報
薬剤師人数		23 名体制	13 名 / 17 名枠
学会参加		4 件	沖縄県薬剤師学術大会
学会発表		1 題	なし
薬剤師病棟配置			複数病棟を兼任で配置 (未算定)
スタッフ育成・認定専門薬剤師育成			フィジカルアセスメントのインストラクターを育成
実習・研修	薬局内勉強会		90 件
	県内勉強会		40 件
	県外講演会	臨床腫瘍薬学会 日本緩和医療薬学会 がん対策推進企業アクション講習会 九州大腸がんセミナー等	10 件

その他の実績

- ・ 薬剤師面積の増床
- ・ 持参薬科入力システムの導入
- ・ 院外薬局との連絡会議の定例化
- ・ 院内 CRC の雇用
- ・ 病棟定期注射カートの見直し
- ・ がん認定薬剤師、認定取得へ向けての活動 (単位取得・学会登録)
- ・ 感染対策認定薬剤師、認定取得へ向けての活動
- ・ 術前中止薬のリニューアル
- ・ ロボピックのカセットの見直し

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

現在、当院リハビリテーション科は、脳血管疾患リハ、運動器疾患リハ、呼吸器疾患リハ、がんのリハ、心大血管リハの5つの疾患別リハの施設基準を満たしています。

当科の目標として、より専門性の高いリハビリテーションの提供を挙げ、適正人数の確保に取り組んできました。継続した計画として、がんリハ認定者や呼吸認定セラピストの増員、心リハ体制の強化を推進しています。更に、ウィメンズ領域や形成外科分野のリハへ職域を広げていく取り組みも進めてきました。また、リハ科内の勉強会に加え、様々な診療科の先生、他職種の講師を招いての勉強会も継続して行っており、知識や技術の向上、各職種間のスムーズな連携に繋がっています。

2018年度も引き続き、専門療法士育成等の推進、各職種間の連携の推進に取り組み、救急及び急性期リハビリテーションの充実、拡充に向けて取り組んでいきます。

職員数

総数

29名（助手1名含む）

職種別

理学療法士	16名（育休職員・契約職員含む）	言語聴覚士	5名
作業療法士	7名	助手	1名

認定・資格

氏名	資格・認定資格
理学療法士	
玉城 義彦	介護支援専門員 地域包括ケア推進リーダー（日本理学療法士協会認定） 介護予防推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
新垣 健	がんのリハビリテーション研修終了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄 優子	がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一朗	がんのリハビリテーション研修終了
波平 静香	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修終了
福地 美香	呼吸療法認定士
弘岡 亮	心臓リハビリテーション指導士
長嶺 敦司	糖尿病療養指導士 健康運動指導士

氏名	資格・認定資格
作業療法士	
柴野比 智也	がんのリハビリテーション研修終了
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
佐々木 正雪	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
言語聴覚士	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
松川 玲子	がんのリハビリテーション研修終了 高次脳機能障害認定言語聴覚士（日本言語聴覚士会認定）

理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

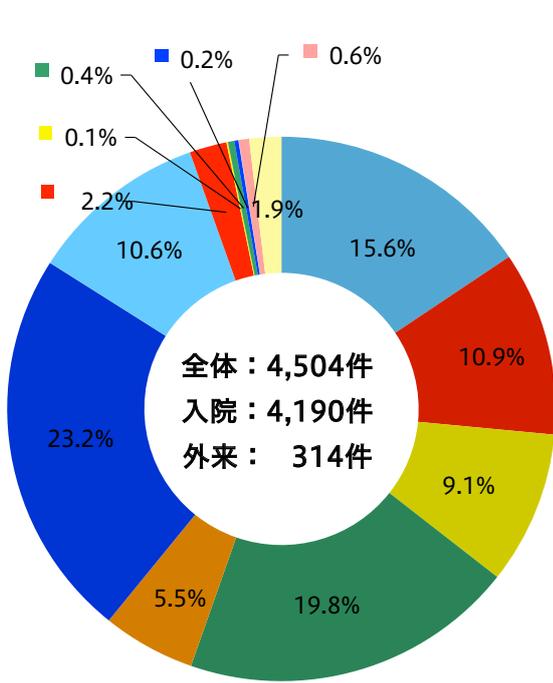
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

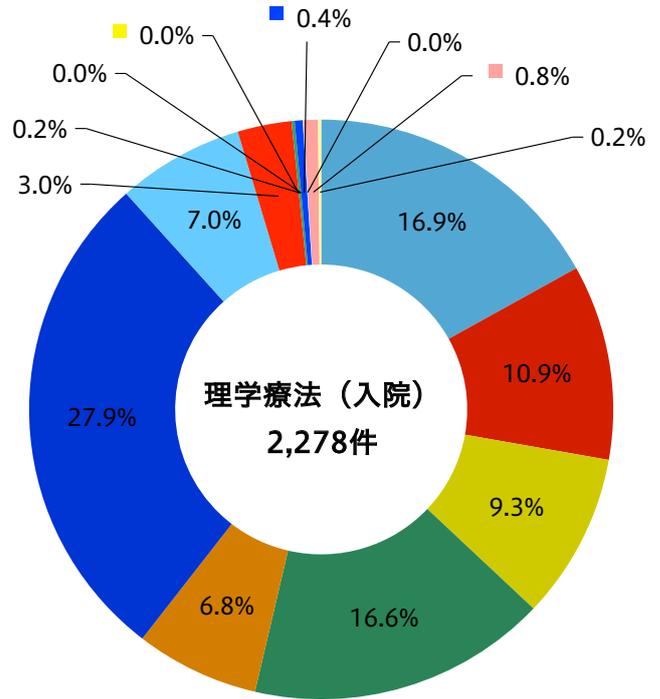
部及び個々の診療技術の向上を目指す

検査・治療実績

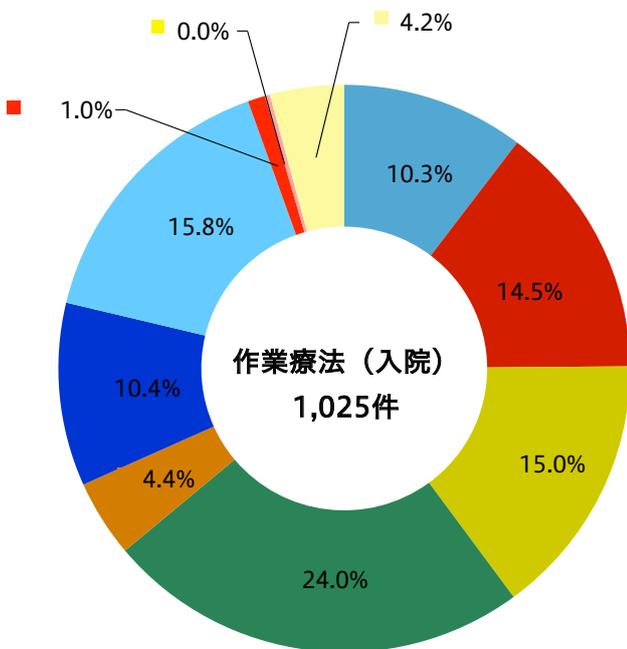
診療科別リハビリテーション処方状況



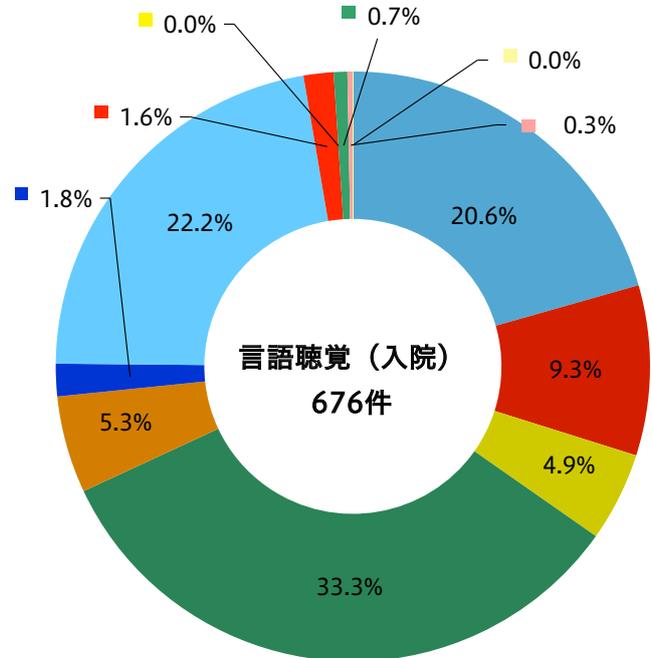
- 循環内科 ■ 呼吸内科 ■ 血液内科 ■ 他内科
- 外科 ■ 整形外科 ■ 脳外科 ■ 形成外科
- 泌尿器科 ■ 耳鼻科 ■ 麻酔科 ■ 小児科
- 眼科 ■ 産婦 ■ その他



- 循環内科 ■ 呼吸内科 ■ 血液内科 ■ 他内科
- 外科 ■ 整形外科 ■ 脳外科 ■ 形成外科
- 泌尿器科 ■ 耳鼻科 ■ 麻酔科 ■ 小児科
- 眼科 ■ 産婦 ■ その他

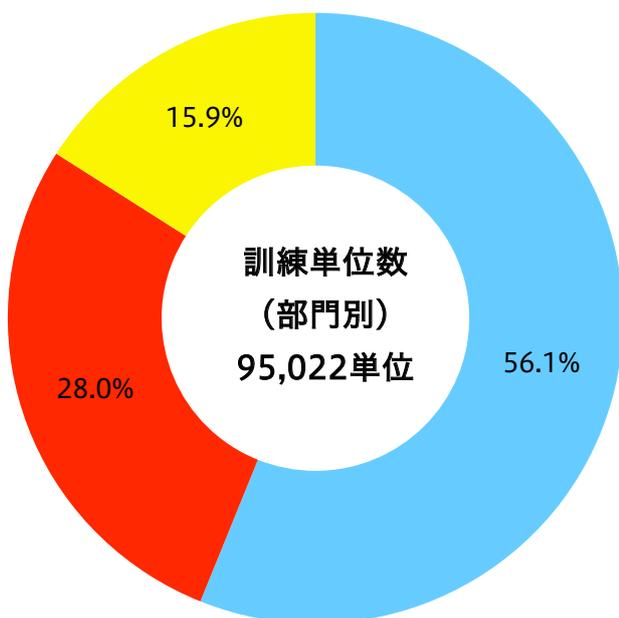


- 循環内科 ■ 呼吸内科 ■ 血液内科 ■ 他内科
- 外科 ■ 整形外科 ■ 脳外科 ■ 形成外科
- 泌尿器科 ■ 耳鼻科 ■ 麻酔科 ■ 小児科
- 眼科 ■ 産婦 ■ その他

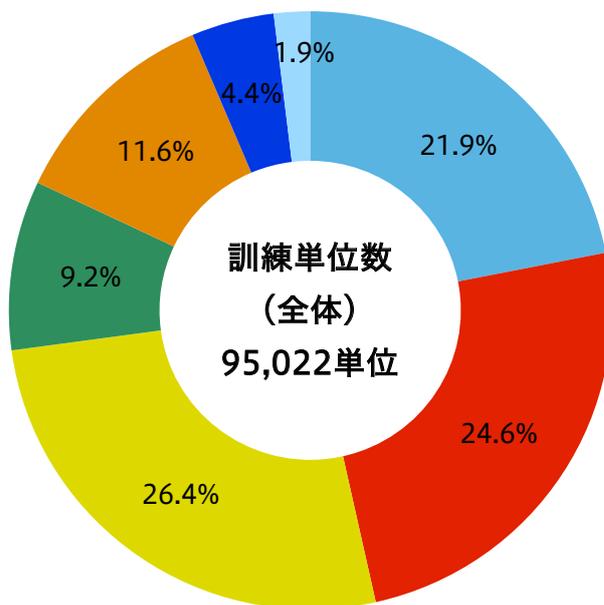


- 循環内科 ■ 呼吸内科 ■ 血液内科 ■ 他内科
- 外科 ■ 整形外科 ■ 脳外科 ■ 形成外科
- 泌尿器科 ■ 耳鼻科 ■ 麻酔科 ■ 小児科
- 眼科 ■ 産婦 ■ その他

疾患別リハビリテーション実施状況

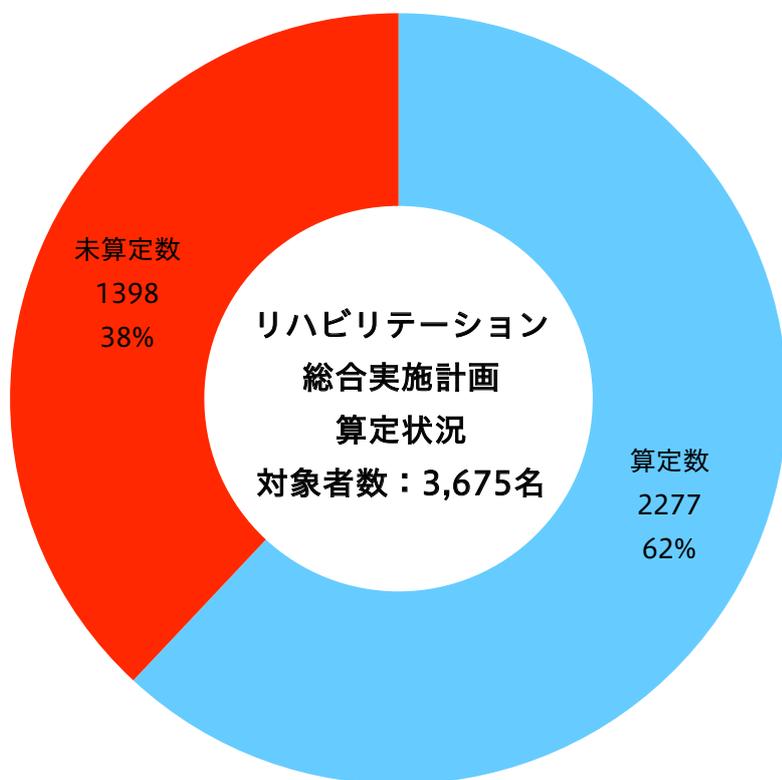


■ 理学療法 ■ 作業療法 ■ 言語聴覚



■ 脳血管 ■ 廃用 ■ 運動器 ■ 呼吸
■ がん ■ 心大血管 ■ 摂食嚥下

リハビリテーション総合実施計画



■ 算定数 ■ 未算定数

算定状況	
対象患者数	3,675
算定数	2,277
未算定数	1,398
算定率	62.0%
未算定率	38.0%
算定点数	683,100
未算定点数	419,400

活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
(発表) 心不全患者の外来リハ参加と再入院患者の特徴	第 12 回沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	沖縄県	2017 年 5 月 22 日	弘岡 亮
(発表) 高齢心不全患者への加速度トレーニングの導入効果	第 23 回日本心臓リハビリテーション学会	岐阜県	2017 年 7 月 15 日	弘岡 亮
(発表) 当院における心臓リハビリテーション実施件数増加への取り組みと今後の課題	第 59 回全日本病院学会	石川県	2017 年 9 月 9 日	弘岡 亮
(ポスター発表) 嚥下造影検査 (VF) が効果的だった食道がん患者の一例	第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会	千葉県	2017 年 9 月	大城 盛彦
(発表) 治療までに時間を要したが、大切断回避、ADLセルフケア自立にて退院に至った症例～関係性構築までの関わり方～	第 6 回日本下肢救済・足病学会 九州・沖縄地方会学術集会	大分県	2017 年 10 月 7 日	仲村 和也
(座長) 摂食嚥下ポスター発表	日本言語聴覚士会九州地区学術大会	沖縄県	2018 年 1 月	大城 盛彦

その他

名称		開催地	発表年月日	発表者と研究者
(報告会) 浜松市リハビリテーション病院研修報告会		当院	2018 年 3 月	大城盛彦
(発表) ～リハビリテーション科の取り組み～	院内研究発表会本選	当院	平成 29 年 11 月 17 日	知花勝也、藤岡 智、比嘉夏希、富田 美智代

医療技術部 年度総括



医療技術部部長
宮城 竜也

医療技術部としての平成 29 年度の取り組みは前年度と同様に人材確保に向けての活動と、医療技術部の各部署における移設の取り組みを重点に置きました。

放射線科は東館 2F に Philips 社バイプレーン Angio 装置の新規導入を行い、また西館にあった HOLOGIC 社マンモグラフィ装置を東館乳腺外来部門へ移設しました。10 年以上使用してきた 64 列 CT 装置は Philips 社 64 列 128 スライス CT へ更新しています。今後は東館へ全身用（腰椎・股関節）骨密度測定装置の導入と歯科口腔パノラマ撮影装置の導入を計画していきたいと考えています。また新しいモダリティの導入により新しい検査も増えてくるので技師のスキルアップにも力を注ぎたいと考えています。

生理検査は西館にありましたが今回、心電図、エコー、尿検査等が東館へ移設となり一般外来との動線はかなり良くなったと思われます。また 6 か月間東京多摩がんセンターへ研修派遣した検査技師が細胞検査士の資格を取得し現在では細胞検査士は 4 名となっています。独立した形であった予防医学センターの検査科を 1F の検査科と統合して今後は技師配置を効率化していきたいと考えています。

リハビリテーション科は今まで本館にありましたが、平成 30 年度は西館 2F（旧産婦人科病棟）へ移設を検討していきたいと思ひます。現在、脳血管疾患リハ I、運動器疾患 I、呼吸器疾患 I、がんリハ I、心大血管リハ I の 5 つの疾患別リハの施設基準を満たしていますが今後はさらなるスキルアップを目指したいと思ひます。

栄養科は産婦人科病棟の特に産科の授乳婦食の充実を図るため、専属の調理師を採用し入院食（祝い膳を含む）の改善を行いました。今では授乳婦から好評を得ており計画が奏功したと考えています。今後は栄養指導においてメディカルクラークと連携し入院栄養指導の増加に努力したいと考えています。

臨床工学科は今まで 8F にあった透析室が東館の 3F へ移設となります。今後増えつつある透析患者に対応するべくソフト、ハード面で強化していきたいと考えています。またバイプレーン Angio 装置の導入に伴い、当院でもアブレーション検査が始まりました。当院にはアブレーションのノウハウがないため東京都港区にある心臓血管研究所附属病院と連携を取りながら、アブレーションに精通した臨床工学士の育成に力を入れたいと思ひます。そして次年度にはオペ室にも臨床工学士を常駐できるような体制を作っていくと考えています。

薬局は近年、管理薬品の増加と薬剤師の増員により既存薬局は手狭になっており、薬品管理が困難になっていることから、今後、元地域医療連携室を薬局部門に変更するべく改修を考えています。また、患者相談室も治験に関する用途に使用するため、そのエリアも薬局部門に変更していきます。薬剤師はまだまだ定数に達していないことから、今後も薬剤師確保のため県内外へアプローチをかけ早急に薬剤師確保へ積極的に行動していきたいと考えています。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者 外間 真紀子

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者（リスクマネージャー）として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 23 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化の醸成を促進する

職員数

総数

1 名

職種別

医療安全管理室 専従看護師 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
外間 真紀子	医療安全管理者認定

活動実績

インシデント報告件数

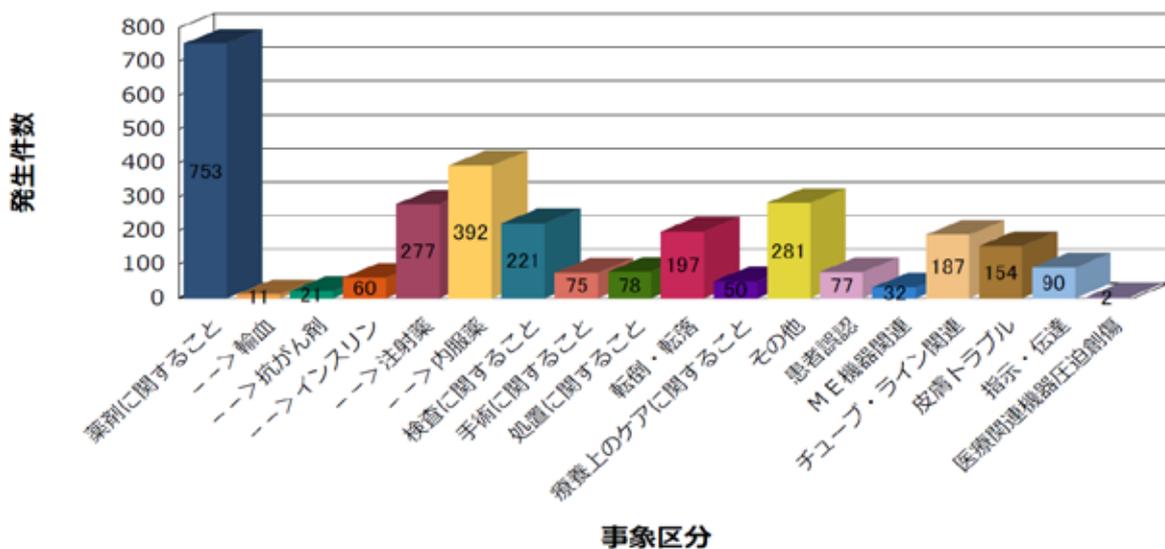
毎年、安全文化の醸成、医療事故の低減を目標に活動しています。

医療安全管理システムにより、インシデント事例の原因分析が迅速に行えるようになりました。また、新しい分析手法を導入し、必要な対策がタイムリーに検討・実施され、現場で活かされるよう働きかけています。

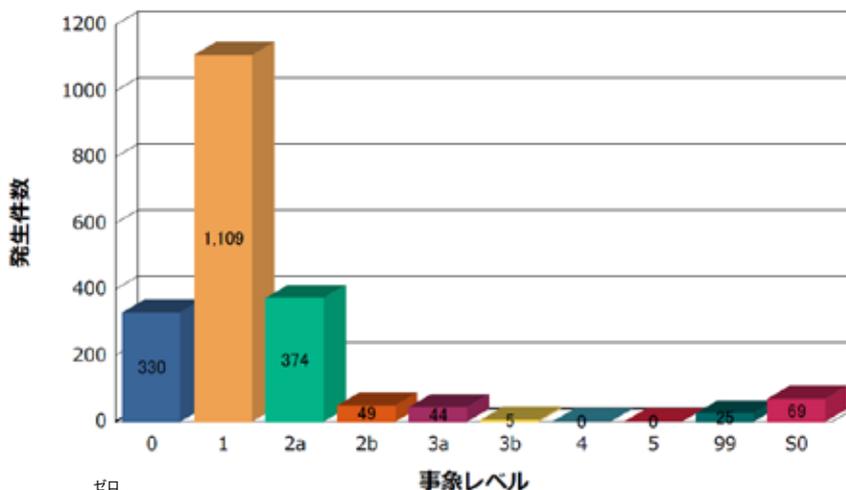
特に患者誤認防止策では、直前照合を徹底することにより医療安全活動の本質である未然防止が強化され、その結果、薬剤関連のインシデント件数も減少傾向となっています。平成 27 年 10 月より医療事故調査制度が施行され、制度の理解を行うため勉強会、講演会などを開催し事故発生時の対応マニュアルなどの作成・整備を行っています。

今後は、患者・ご家族と共に行う医療安全を強化し、安全文化の確立に努めていきます。

事象区分毎発生件数



事象レベル毎発生件数



※「S0」は当院独自の基準で患者サポート委員会で検討し対応を協議します。

研修実績

(データ作成 医療安全管理室 外間)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
医療安全について	新入職オリエンテーション	当院	平成 29 年 4 月 1 日	久場
療養環境と医療安全	看護部新入職者研修	当院	平成 29 年 4 月 5 日	外間
院内医療安全(基礎知識)	研修医 1 年目基礎研修	当院	平成 29 年 4 月 6 日	外間
入職者研修(中途)	医療安全管理室	当院	平成 29 年 5 月 16 日	外間
医療事故調査制度(看護部)	事故調査委員会	当院	平成 29 年 5 月 19 日	事故調査委員会
睡眠薬の使い方 (転倒転落予防)	事故調査委員会	当院	平成 29 年 5 月 26 日	菅野、外間
高齢者の不眠を考える	事故調査委員会	当院	平成 29 年 6 月 13 日	菅野、外間
領域研修(医療安全)	看護部教育	当院	平成 29 年 6 月 16 日	医療安全看護部会
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育	当院	平成 29 年 6 月 30 日	外間
睡眠薬セミナー(認知症看護)	医療安全管理室	院外	平成 29 年 7 月 14 日	外間、屋宜
入職者研修(中途)	医療安全管理室	当院	平成 29 年 7 月 18 日	外間
医療安全講演会 講師 ひかり法律事務所 植松 孝則先生	事故調査委員会	当院	平成 29 年 7 月 31 日	全職員対象
医療事故調査制度(技術部)	事故調査委員会	当院	平成 29 年 8 月 4 日	事故調査委員会
クライシスコミュニケーション	日本医療安全学会	院外	平成 29 年 9 月 16 日～ 平成 29 年 9 月 17 日	久場、外間、安村
睡眠薬の使い方(認知症・夜間排尿)	医療安全管理室	当院	平成 29 年 10 月 12 日	菅野、外間
DVT 院内勉強会	事故調査委員会	院内	平成 29 年 12 月 4 日	事故調査委員会
Heals 設立シンポジウム 医療対話 支援連携プロジェクト	一般社団法人 Heals	院外	平成 29 年 12 月 23 日	外間
入職者研修(中途)	医療安全管理室	当院	平成 29 年 2 月 6 日	外間
医療安全講演会 講師 宜野湾警察 生活安全課	事故調査委員会	院内	平成 30 年 2 月 26 日	全職員対象
医療事故調査制度の現状	沖縄県医師会	院外	平成 29 年 2 月 26 日	久場、外間

医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室
外間 真紀子

平成 29 年度 目標

- ①安全風土の醸成
- ②レベル 3 の低減
- ③患者誤認低減

今年度は安全風土の醸成を目標とし医療事故防止に努めてきました。0 レベル、1 レベルの報告が増え件数は増えてきましたが、レベル 3 b の事象は減少しました。患者誤認に関しては低減する事が出来ませんでした。次年度は安全に関するマニュアルの周知・遵守徹底だけでなく職業倫理・社会人基礎力に関しても医療安全教育に取り入れていきます。また、信頼される医療を提供をするために、患者誤認低減を目標に「患者誤認防止強化月間」などで医療従事者だけでなく、患者や家族の医療安全への参加に取り組みます。

次年度の課題

1. 部署での事例分析(再発防止)
2. 情報共有 連携の強化(患者家族を含むチーム医療)
3. 医療職としての責務(職業倫理・社会人基礎力)

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。平成 24 年には 1 人目の感染管理認定看護師が誕生、平成 26 年には新たに感染管理認定看護師が 2 名加わりました。感染対策管理室の専従者を感染管理認定看護師 1 名が担い、手術室と病棟へ 1 名ずつ配置となり認定看護師としての視点をもってそれぞれの役割を全うしています。専従看護師は病院全体に関わる感染管理業務を行い、兼任看護師は現場で看護ケアを行いながら感染対策を実践しております。感染対策教育は新人教育、研修医研修、感染管理領域別研修、助手研修、部署別研修、手指衛生などを専従、兼任で分担し実施しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、スタッフへ手袋やエプロンの着脱、手指衛生タイミングの指導や、感染に関する相談を受けます。週一回の耐性菌・抗菌薬ラウンドを ICT (infection control team) で実施し、ラウンド後に ICT ミーティングを行い現場での感染対策実践に繋げています。

また院内感染対策委員会やコメディカル部門も含めた各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会などの企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

平成 30 年度からは抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を立ち上げ、抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への取り組み活動を拡充させていきます。

感染管理対策室 理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

2 名

職種別

感染対策管理室 専従看護師 1 名

一般事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
城間克也	感染管理認定看護師

活動実績

平成 29 年度の目標と実績 (実績 / 目標)

MRSA 院内発生	針刺し切創・粘膜汚染	アルコール製剤使用達成度 (推奨使用量に対し)	手指衛生遵守率
63 件 / 50 件以下	32 件・4 件 / 15 件以下	74.8% / 100%	63.0% / 50% 以上

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
第 11 回 ICN ネットワークセミナー	沖縄県総合福祉センター	2017 年 5 月 27 日	ICN ネットワーク	石川由希 (座長)、城間克也
感染管理ベストプラクティス 沖縄 ワークショップ (第 1 回)	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	2017 年 6 月 1 日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会	石川由希、木村有希、照喜名朝郁、伊佐友美
第 7 回 沖縄県インフェクションコントロール研修会	沖縄県医師会館 3F ホール	2017 年 6 月 24 日	沖縄県インフェクションコントロール研修会	石川由希
第 4 回 沖縄県耐性菌研究会 ～ 薬剤耐性菌サーベイランスデータ報告会～	沖縄県医師会館 3F ホール	2017 年 7 月 29 日	大日本住友製薬株式会社	石川由希
感染管理ベストプラクティス 沖縄 ワークショップ (第 2 回)	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	2017 年 8 月 3 日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会	石川由希、木村有希、照喜名朝郁、伊佐友美
沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	2017 年 9 月 9 日	沖縄県感染管理認定看護師会	石川由希、城間克也
感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント講座 (前期)	花王すみだ事業場 セミナーハウス	2017 年 9 月 16 日～17 日	HAICS 研究会	城間克也
第 31 回沖縄県感染管理研究会	国立劇場おきなわ 小劇場	2017 年 10 月 14 日	沖縄県感染管理研究会	石川由希
感染管理ベストプラクティス 沖縄 ワークショップ (第 3 回)	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	2017 年 11 月 2 日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会	石川由希、木村有希、照喜名朝郁、伊佐友美
感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント講座 (後期)	花王すみだ事業場 セミナーハウス	2018 年 1 月 13 日～14 日	HAICS 研究会	城間克也
第 33 回日本環境感染学会総会・ 学術集会	グランドプリンスホテル新高輪 (東京)	2017 年 2 月 23 ～24 日	日本環境感染学会	石川由希
沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	2017 年 3 月 17 日	沖縄県感染管理認定看護師会	石川由希、城間克也

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策について	当院	2017 年 4 月 1 日	普天間光彦	新入職者全員
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE 着脱、手指衛生	当院	2017 年 4 月 4 日	石川由希、宮城美那、城間克也	看護部新入職者
院内感染対策研修医カレッジ	当院	2017 年 4 月 6 日	石川由希	研修医 1 年目
職業感染～針刺し事故の対応～	当院	2017 年 4 月 12 日	石川由希	看護部新入職者
清潔操作	当院	2017 年 4 月 13 日	宮城美那	看護部新入職者
手洗い・感染性胃腸炎	当院	2017 年 4 月 13 日	石川由希	保育所
おもと看護学生	当院	2017 年 4 月 25 日	石川由希	おもと会沖縄看護専門学校 1 年生

名称	開催地	年月日	演者	対象
吸引操作	当院	2017 年 4 月 28 日	城間克也	看護部新入職者
第 4 回 看護フェア	沖縄県看護協会	2017 年 5 月 13 日	宮城美那	一般
中途採用者研修	当院	2017 年 5 月 16 日	石川由希	中途採用者
標準予防策を知ろう 手洗い講習会	当院	2017 年 5 月 24 日	普天間光彦、石川由希	全職員対象
患者と自分自身を守るための感染管理の基礎知識	沖縄県看護協会	2017 年 6 月 16 日	城間克也	多施設合同就業後 1 年未満の新人看護職員
手洗い・針刺し	当院	2017 年 6 月 6 日	石川由希	国際ビル産業
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	おきなわクリニカルシミュレーションセンター	2017 年 6 月 1 日	石川由希、宮城美那	病院、施設看護師
正しい吸引瓶清掃と設置準備～いつもの業務にちょっとプラス～	当院	2017 年 6 月 9 日	城間克也	看護助手
中途採用者研修	当院	2017 年 6 月 20 日	石川由希	中途採用者
正しい吸引瓶清掃と設置準備～いつもの業務にちょっとプラス～	当院	2017 年 6 月 23 日	城間克也	看護助手
血流感染 血培採取	当院	2017 年 6 月 30 日	石川由希	看護部新人 3 ヶ月フォロー
中堅研修	当院	2017 年 7 月 16 日	石川由希、城間克也	10 年目以上の看護師
中途採用者研修	当院	2017 年 7 月 18 日	石川由希	中途採用者
リーダーの感染対策	当院	2017 年 8 月 4 日	石川由希	看護部 3 年目フォロー
中途採用者研修	当院	2017 年 8 月 14 日	石川由希	中途採用者
吸引手技勉強会	当院	2017 年 8 月 14 日	石川由希	7 階病棟看護師
手指衛生 5 つのタイミング	当院	2017 年 9 月 29 日	石川由希	看護部新人 6 ヶ月フォロー
正しく知って予防しようインフルエンザ	当院	2017 年 9 月 30 日	石川由希	一般(市民公開講座)
中堅研修	当院	2017 年 10 月 13 日	石川由希、城間克也	10 年目以上の看護師
正しく知って予防しようインフルエンザ	地域公民館	2017 年 10 月 17 日	石川由希	一般(出前健康講話)
職業感染(針刺し)	当院	2017 年 11 月 7 日	石川由希	全職員対象
職業感染(針刺し)	当院	2017 年 11 月 9 日	石川由希	全職員対象
高齢者施設の感染対策インフルエンザ/ノロウイルス	ケアセンター	2017 年 11 月 24 日	石川由希	ケアセンター職員
職業感染(針刺し)	当院	2017 年 11 月 28 日	石川由希	全職員対象
結核	ハートライフクリニック	2017 年 12 月 27 日	石川由希	ハートライフクリニック看護師
中堅研修	当院	2018 年 1 月 19 日	石川由希、城間克也	10 年目以上の看護師
中途採用者研修	当院	2018 年 2 月 6 日	城間克也	中途採用者
学校感染症について	当院	2018 年 2 月 16 日	城間克也	関西福祉科学大学 養護教諭看護臨床実習
コンチネンスケア勉強会 カテーテルは感染の入口	当院	2018 年 3 月 2 日	城間克也	全職員対象
感染性胃腸炎とインフルエンザについて	当院	2018 年 3 月 16 日	石川由希	看護部新人 1 年目フォロー

感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室
城間 克也

平成 29 年度感染対策管理室は年度途中より専従者の交代を行いました。専従者としての役目は初めてですが、専従経験のある感染管理認定看護師 2 名の部署兼任者とも連携し、それぞれの視点を活かし感染管理活動に当たっています。

前年度に引き続き手指衛生の調査を行い、遵守率は目標の 50% を越える 63% でした。調査の質を保つために設けた目標観察数 3000 場面に対し 2860 場面の観察と目標に達しませんでした、それでも十分量の観察数であったと考えております。業務の合間に調査協力を頂いた感染委員の皆さまありがとうございました。

手指衛生の調査を始め 2 年が経過し調査方法や集計も形になってきました。手指衛生遵守率向上のための勉強会はいくつかの部署で実施することが出来ましたが、全体への介入と考えると不十分でした。平成 30 年度は調査と並行し更なる介入に取り組んでいきます。

平成 28 年度より開始した「マスク講習会」は、28 年度未受講者を始め新入職者や中途入職者を対象に講習会を開催していきました。職員のマスク着用状況として、鼻出しマスクや顎マスクが依然確認出来る状況であり、正しい着用方法周知のための教育や講習会を継続し平成 30 年度も行っています。

実績報告資料

平成30年度目標

- ・MRSA院内発生 50件以下
- ・血培汚染率 3.0%以下
- ・針刺し・切創 15件以下
- ・アルコール製剤使用達成度(推奨使用量に対し)80%以上
- ・手指衛生遵守率 60%以上

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 當眞 結子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
當眞結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本静脈経腸栄養学会員

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

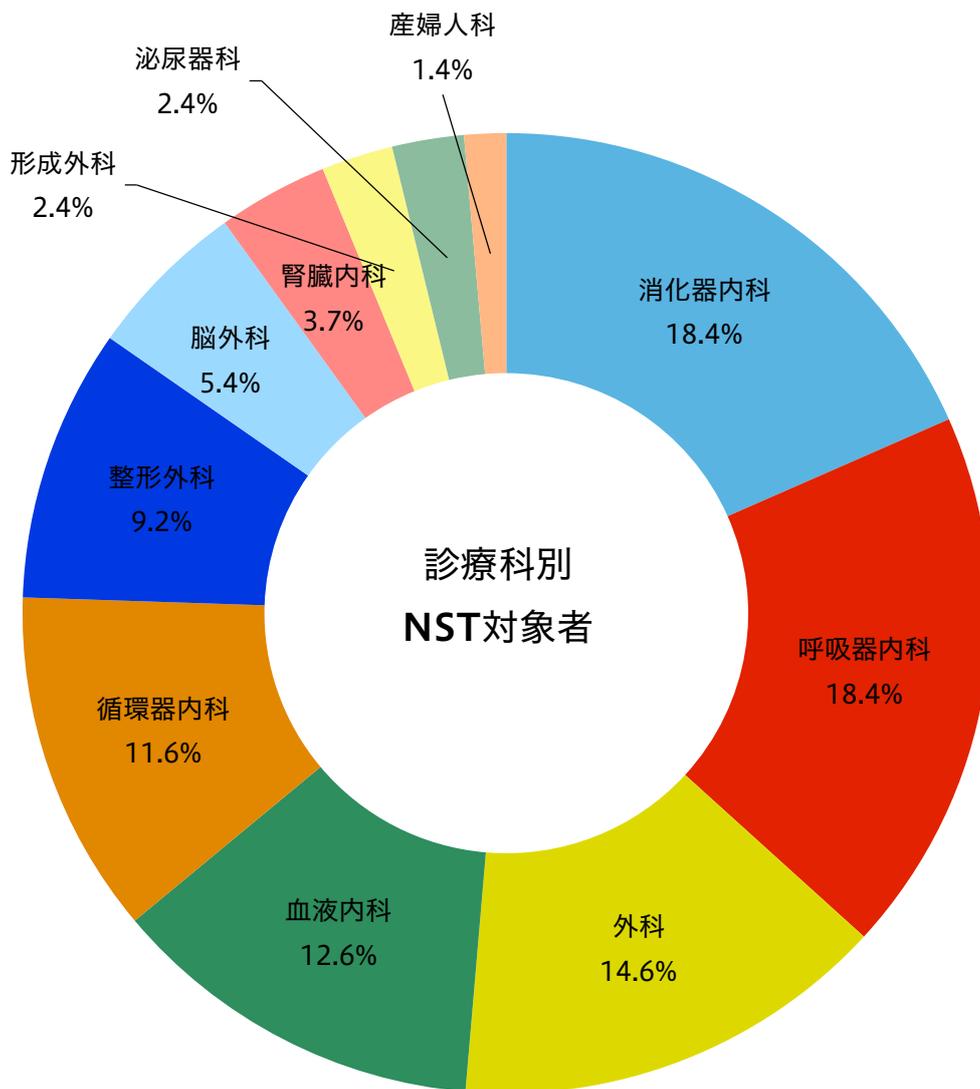
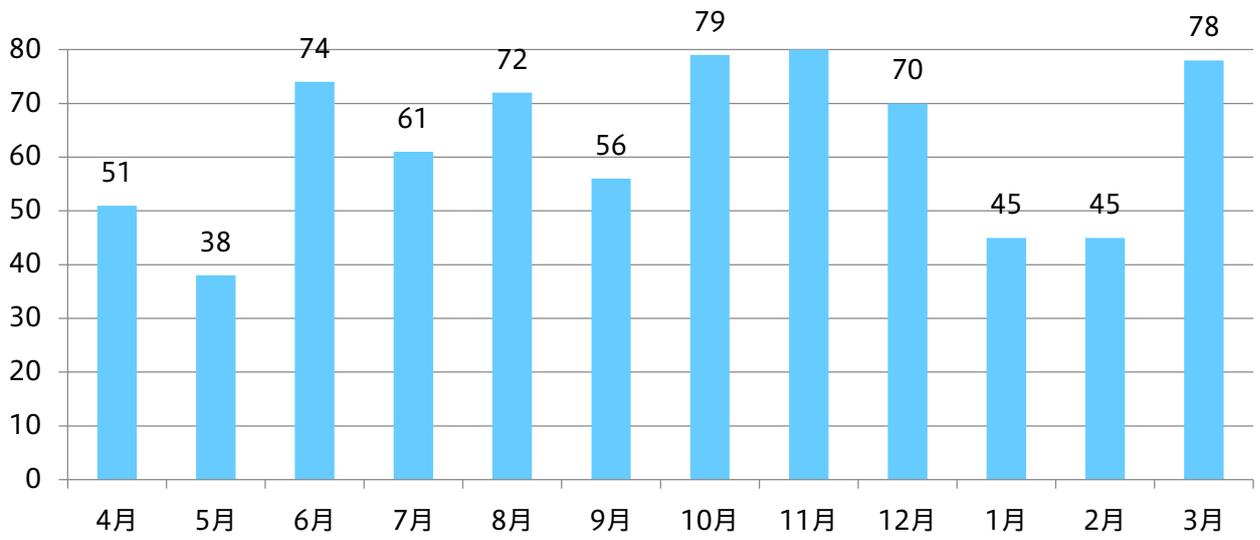
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 加算件数



活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	備考
エルネオバについて	委員会	院内	2017 年 5 月 11 日	
褥瘡対策における経腸栄養の選択	委員会	院内	2017 年 6 月 22 日	
糖質制限経腸栄養剤グルセルナ	委員会	院内	2017 年 7 月 10 日	
プロシユアについて	委員会	院内	2017 年 9 月 11 日	
第 16 回沖縄ウインドマネジメント研究会	沖縄ウインドマネジメント研究会	南風原	2017 年 9 月 30 日	
沖縄コンチネンスケアセミナー	ユニ・チャーム	浦添	2018 年 1 月 20 日	
排便サポート勉強会	タイヨーラボ	那覇	2018 年 1 月 27 日	
第 37 回 食事療法学会	沖縄県栄養士会	那覇	2018 年 3 月 3 日	当真結子発表
第 13 回沖縄 NST フォーラム	大塚製薬	浦添	2018 年 3 月 17 日	

栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室
当真 結子

平成 29 年度は、外科副部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 30 名、医療技術部 21 名で構成しています。栄養サポート室では全入院患者さんに対し、採血結果 Alb 値 3.0g/dL 以下でカンファレンス対象者のリスト作成を行い、リンクナースは NST 回診及びカンファレンスの対象となる患者さんをリストアップし、毎週月曜日に病棟回診とカンファレンスを、毎月第 2 月曜に NST 褥瘡委員会を実施しています。また平成 28 年度から創傷カンファレンスへも参加しています。

カンファレンスでは、適切な経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフに対し提案・助言を行い、フィードバックを重ね栄養状態の改善に努めました。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

栄養サポート室は、褥瘡委員会と協働で活動しており、平成 26 年度からは形成外科医が常勤となり、褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 37 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

職員数

総数 37 名

職種別

指導医 4 名	内視鏡技師 I 種 5 名
専門医 6 名	II 種 1 名
その他 7 名	看護師 11 名
	助手 3 名

担当医師

(平成 29 年 9 月時点)

	氏名	学会認定など
院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本消化器内視鏡学会専門医
副院長 内科部長	佐久川 廣	日本肝臓病学会指導医 日本感染症学会指導医 日本感染症学会インфекションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本肝臓学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
内視鏡センター 副センター長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医

	氏名	学会認定など
予防医学センター 副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医
大腸・肛門外科医長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
消化器内科医長	柴田 大介	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医
	洲鎌 理知子	日本消化器内視鏡学会専門医
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

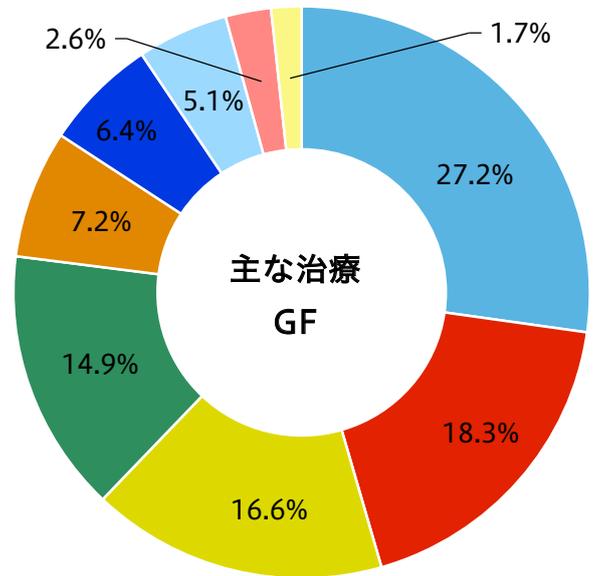
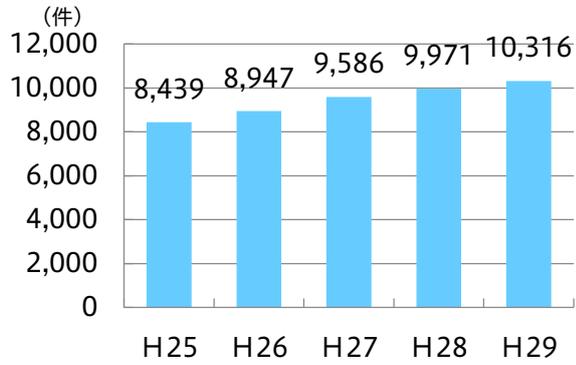
種別	合計
胃内視鏡	10,316
大腸内視鏡	2,969
ERCP	122
小腸内視鏡	2
気管支鏡	61
上部消化管 (内訳)	
止血術	43
EMR	15
EVL	39
EIS	12
食道狭窄拡張術バルーン	35
食道狭窄拡張術プジー	64
食道ステント留置術	2
焼灼術	42
異物摘出術	6
胃瘻造設術	33
粘膜下層切開剥離術	17
イレウスチューブ挿入	1

種別	合計
POEM	4
胃・十二指腸・小腸拡張	4
超音波内視鏡	15
下部消化器 (内訳)	
EMR	310
止血術	17
直腸狭窄拡張術	13
超音波内視鏡	1
粘膜下層切開剥離術	3
イレウスチューブ挿入	1
ステント	1
マーキング	1
胆道・膵管 (内訳)	
乳頭切開術 (EST)	45
乳頭拡張術 (EPBD)	18
総胆管結石砕石 / 採石術	19
経鼻胆管ドレナージ (ENBD)	3
胆管 stent	76

種別	合計
膵管 stent	22
超音波内視鏡	2
気管視鏡 (内訳)	
経気管支肺生検 (TBLB)	42

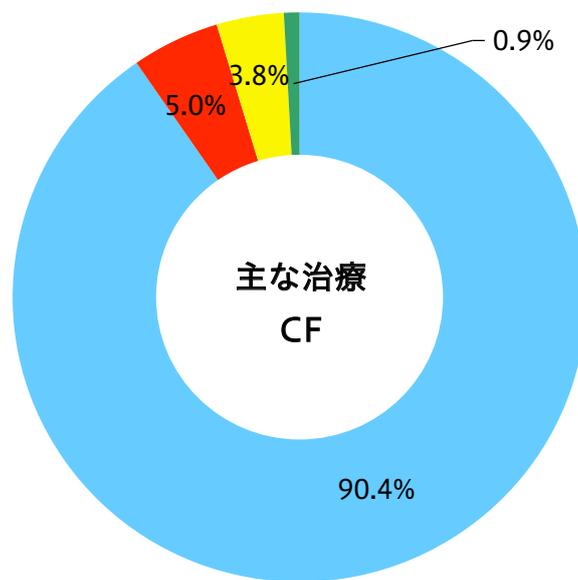
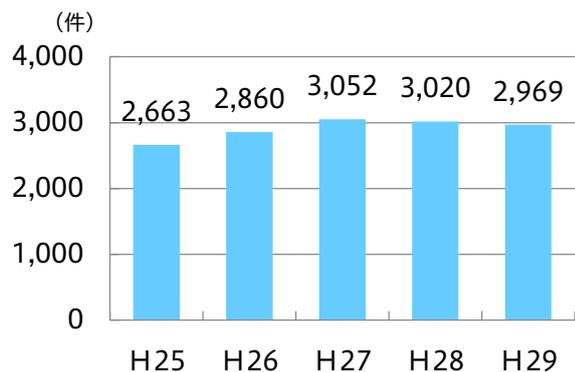
種別	合計
肺胞洗浄 (BAL)	16

GF 件数



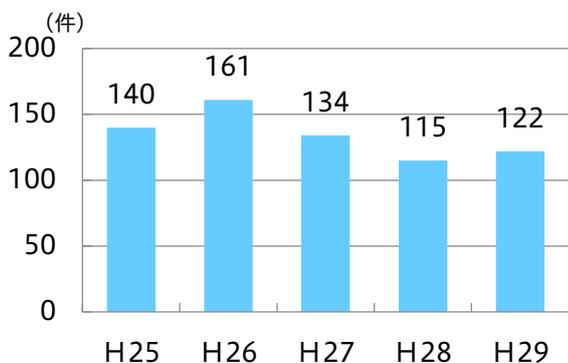
- 食道狭窄拡張術ブジー
- 止血術
- EVL
- 食道狭窄拡張術バルーン
- 粘膜下層切開剥離術
- EMR
- EIS
- 異物摘出術
- POEM

CF 件数

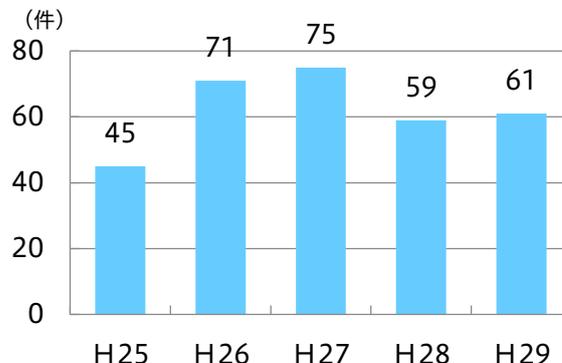


- EMR
- 止血術
- 直腸狭窄拡張術
- 粘膜下層切開剥離術

ERCP 件数



BF 件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
免疫抑制剤終了後 1 年以上経過してからの HBV 再活性化の 1 症例の検討	第 123 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2017 年 6 月 11 日	柴田大介、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣、宮城敬
長期生存中の悪性腹膜上皮種の 1 例	第 55 回日本癌治療学会学術集会	神奈川県	2017 年 10 月 21 日	仲本学、仲舂拓、柴田大介、小橋川ちはる、宮城純、折田均、佐久川廣
当院における NAFLD の長期予後に関する検討	第 110 回日本消化器病学会九州支部例会	沖縄県	2017 年 11 月 17 日	柴田大介、仲舂拓、小橋川ちはる、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣、城間丈二

内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長
折田 均

平成 29 年度の内視鏡件数は上部内視鏡検査が過去最高を更新し、念願の 1 万件を超えました。しかし、下部内視鏡検査は昨年度を若干下回りました。沖縄県の大腸がん死亡率の高さなどを考えると、下部内視鏡検査も今後は件数を増やしていかなければなりません。現在の体制（施設や人員）では、飛躍的に件数を増やすことは難しい状況ですが、2019 年春には内視鏡センターの施設拡充が予定されており、フル稼働すれば、検査件数も大幅に増えることが見込まれます。そのためには、人員（内視鏡医や内視鏡技師など）の確保を急がなければなりません。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 謝花 隆光

予防医学センターは昭和 63 年の開院時からスタートしており、当初は外来部分に位置し、平成 3 年に 9 階建ての建物が完成し 8 階へ移動しました。

スタート時の受診者はドックが 46 名、健診が 197 名でしたが、平成 29 年度には、日帰りドックが 13,10 名、2 日ドックが 3,889 名、健診が 2,057 名となりました。総受診者数は 17,470 名で、前年度より 507 名増となっています。

職員数

総数

47 名

職種別

医 師	5 名	ク ラ ー ク	7 名
看 護 師	12 名	検 査 技 師	6 名
保 健 師	5 名	助 手	2 名
一般事務	10 名		

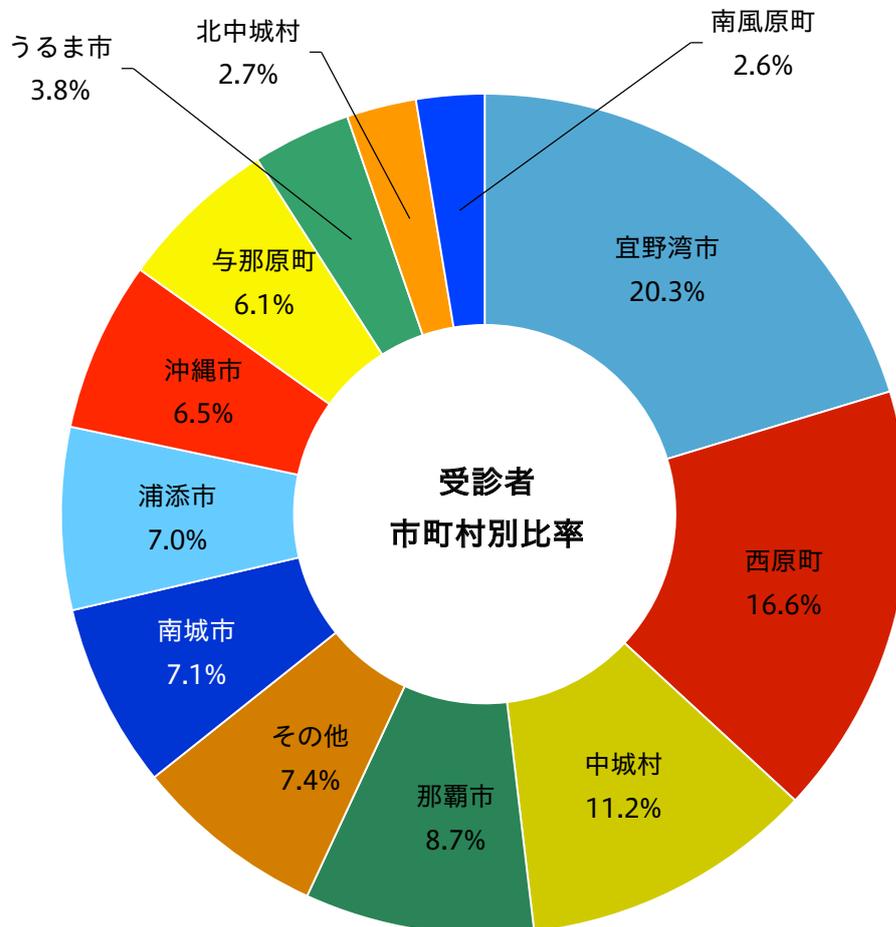
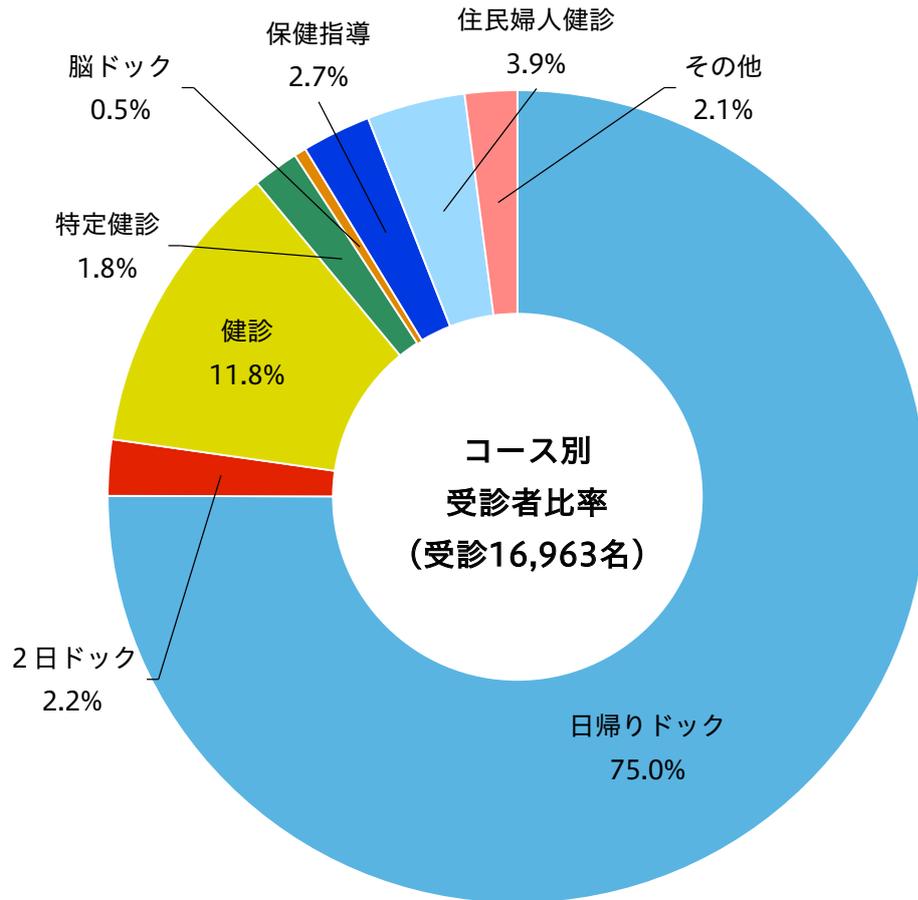
予防医学センター 理念

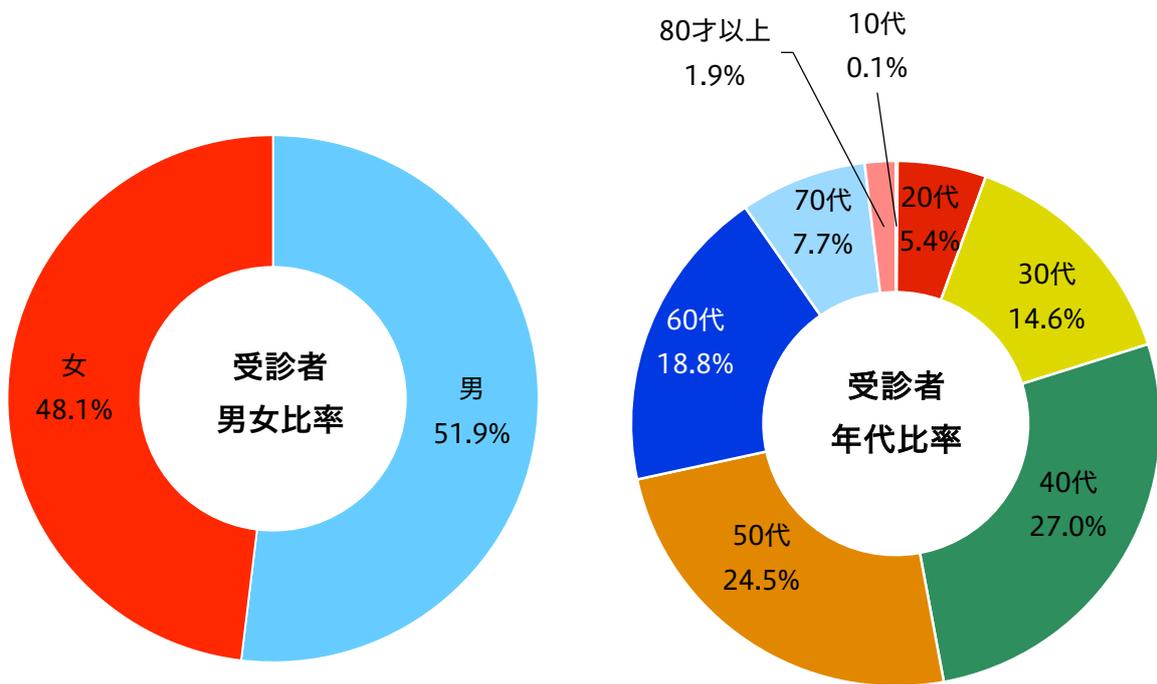
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

予防医学センター 運営方針

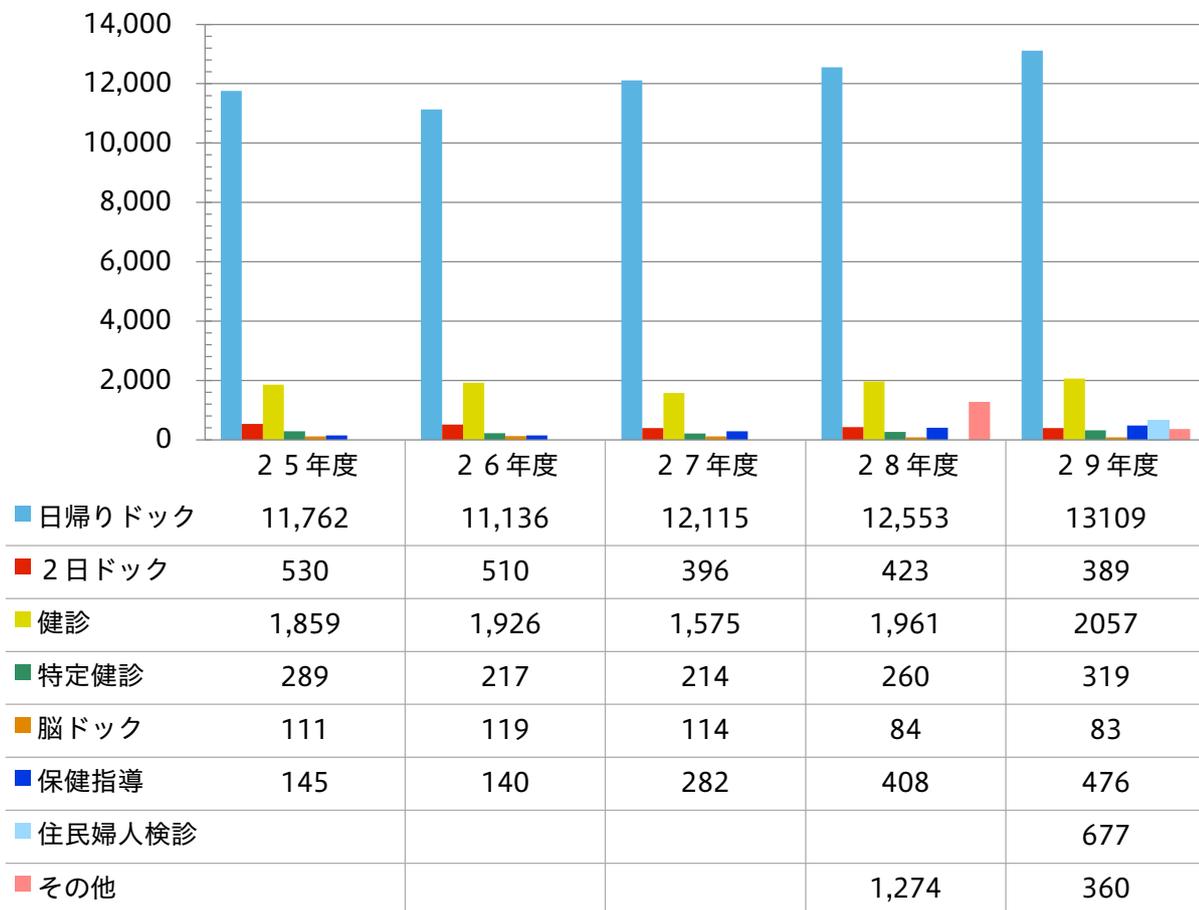
私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

検査件数

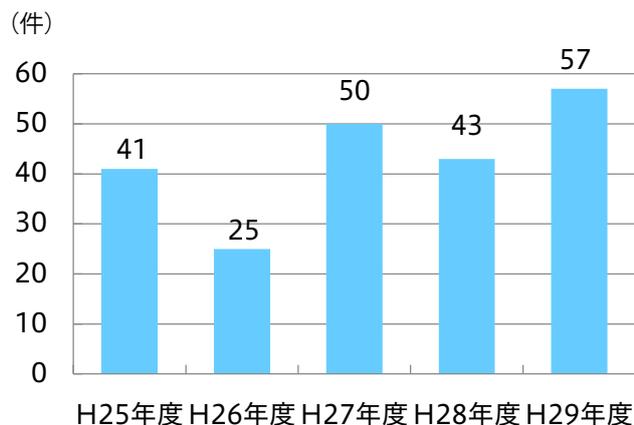




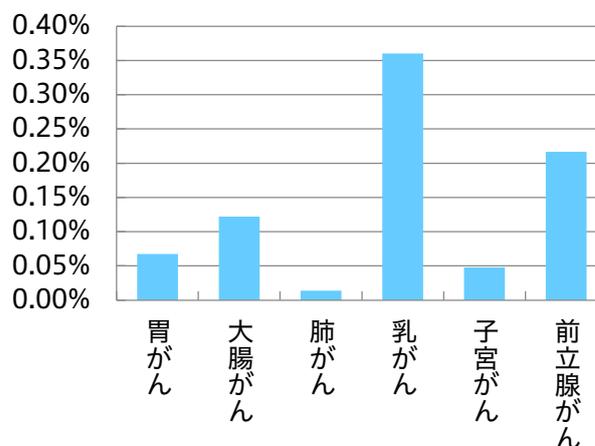
受診者数の推移



悪性腫瘍発見報告数



全受診者に対する悪性腫瘍発見率



活動実績

学会発表

演題名	主催(学会名)	場所	日時	参加者
業務改善の取り組み～ワークライフバランスの推進～	全日本病院協会	石川県	2017年9月9日～9月10日	佐藤さとみ
日本人間ドック学会学術大会	人間ドック学会	埼玉県	2017年8月24日～8月25日	呉屋みなみ

院外勉強会

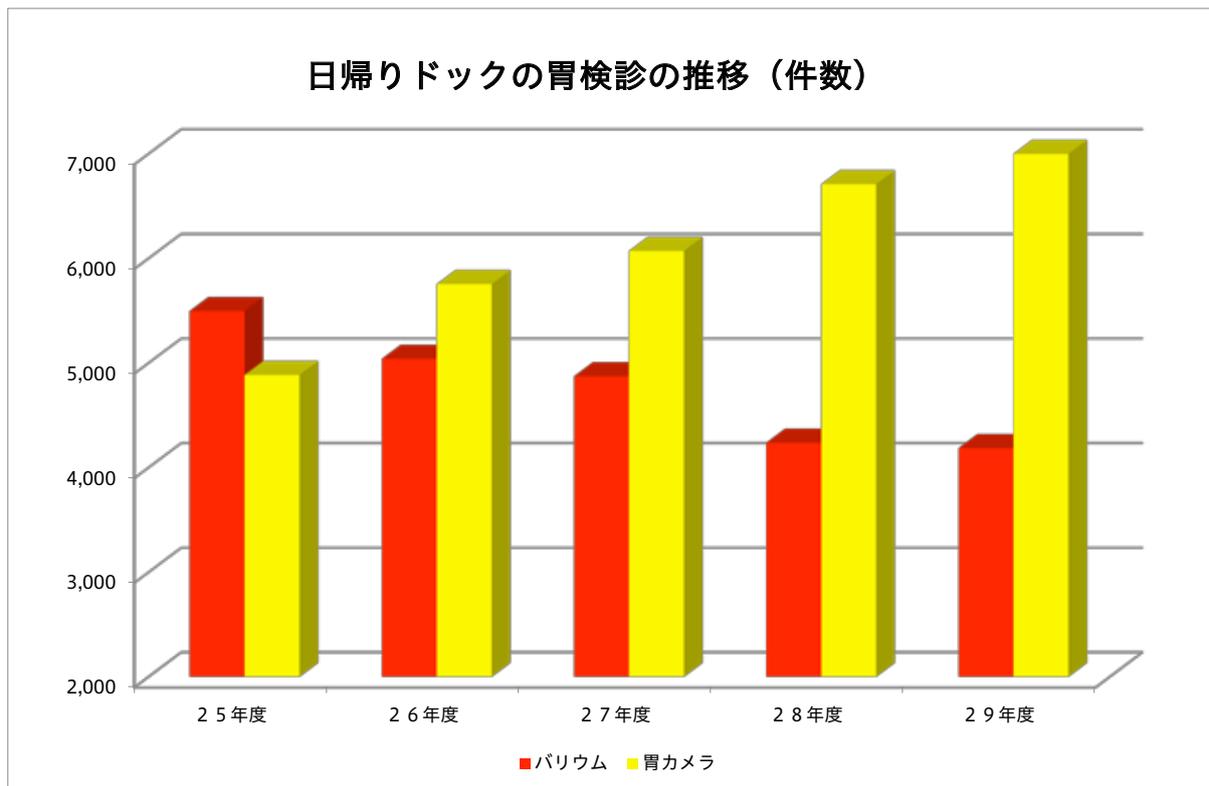
演題名	主催(学会名)	場所	日時	参加者
健診機関交流会	沖縄県健康づくり財団	アンチエイジング医療センター	2017年4月24日	桃原勝美、石川礼子
看護補助者活用の為の管理者研修	沖縄県看護協会	看護研修センター	2017年5月19日	小橋川広美
特定保健指導関係事務担当者合同打ち合わせ会	健康保険組合連合会沖縄連合会	りゅうぎん健保会館	2017年6月26日	甲斐博子、友寄一乃
師長の役割・交流会	沖縄県看護協会	看護研修センター	2017年8月2日	小橋川広美
九州消化器内視鏡研究会	九州消化器内視鏡研究会	沖縄コンベンションセンター	2017年11月18日	知花幸子・砂川紀子
健康で笑顔あふれる毎日は、楽しく正しい食生活から 浜内千波	沖縄県保健医療福祉団		2017年11月26日	友寄一乃
”長寿菌がいのち守る!”～大切な腸内環境コントロール～ 辨野義巳	沖縄県保健医療福祉団		2017年11月26日	友寄一乃
女性のための健康指導セミナー	日本家族計画協会		2017年12月2日	甲斐博子
特定行為に係る看護師の研修制度講演会	沖縄県看護協会	看護研修センター	2017年12月16日	小橋川広美
第30回人間ドック検診情報管理指導士研修会	人間ドック学会	ベルサール御成門 駅前ビル1階	2018年2月2日～2月3日	桃原勝美
2018 医師・医療スタッフのための糖尿病セミナー in 沖縄 「2型糖尿病における食事療法の新しい視点」 聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科 教授 田中逸	琉球大学 前田士郎・益崎裕章		2018年3月11日	友寄一乃

演題名	主催 (学会名)	場所	日時	参加者
健診機関交流会	浦添総合病院健診センター	浦添総合病院 健診センター 3 階	2018 年 3 月 12 日～ 14 日	友寄一乃

院内勉強会

演題名	講師	場所	日時	参加人数
糖尿病コーチングを学ぶ 信頼関係を築く傾聴と承認のスキル		ハートライフクリニック	2017 年 4 月 11 日	
CGM とフリースタイルリブレ PRO で見えてくる Weekly DPP-4 阻害剤の効果 患者治療満足度向上		ハートライフクリニック	2017 年 4 月 21 日	
第 13 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内検査	2017 年 4 月 24 日	
第 33 回 救急症例検討会 地域医療連携室		院内	2017 年 4 月 26 日	
動脈硬化予防のための脂質管理 Update		ハートライフクリニック	2017 年 4 月 28 日	
アレルギー検査勉強会	日立化成	9F フロアー	2017 年 5 月 15 日	34 人
アレルギー検査勉強会		ドック内	2017 年 5 月 15 日	
第 14 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内検査	2017 年 6 月 19 日	
医療安全 事故調査制度について (医療技術部)		院内	2017 年 8 月 4 日	
感染対策研修会 薬剤耐性菌の話題		院内	2017 年 8 月 8 日	
第 15 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内 検査	2017 年 8 月 21 日	
第 16 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内 検査	2017 年 9 月 25 日	
予防医学センター心電図異常の勉強会		ドック内	2017 年 10 月 2 日	
院内研究発表会 事務予選会		院内	2017 年 10 月 12 日	
職員対象のがん勉強会 ランチョンセミナー		院内	2017 年 10 月 17 日	
第 17 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内 検査	2017 年 10 月 23 日	
院内研究発表会 医療技術部		院内	2017 年 10 月 25 日	
院内研究発表会 看護部予選会		院内	2017 年 10 月 27 日	
事態対処医療		院内	2017 年 11 月 2 日	
第 37 回 救急症例検討会 地域医療連携室		院内	2017 年 11 月 16 日	
院内研究発表会 (本選)		院内	2017 年 11 月 17 日	
第 18 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内 検査	2017 年 11 月 20 日	
第 5 回 中堅看護師研修実践報告会		院内	2017 年 11 月 24 日	
職業感染 (針刺し)		院内	2017 年 11 月 28 日	
カラダの年齢 健康年齢	NK メディコ株式会社	9F フロアー	2017 年 12 月 1 日	22 人
カラダの年齢 健康年齢		ドック内	2017 年 12 月 1 日	
MCI スクリーニング検査	MCBI	9F フロアー	2017 年 12 月 8 日	20 人
MCI スクリーニング検査		ドック内	2017 年 12 月 8 日	
ハートライフ病院 循環器講演会		院内	2018 年 1 月 19 日	
第 19 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内 検査	2018 年 1 月 22 日	
認定看護師活動報告会		院内	2018 年 1 月 29 日	
急性期病院における地域医療構想と地域包括ケアシステム		院内	2018 年 1 月 31 日	
モニタ講習会		院内	2018 年 2 月 1 日	
第 20 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内検査	2018 年 2 月 19 日	
診療報酬改定説明会		院内	2018 年 2 月 27 日	
暴言暴力患者への対応・事例より		院内	2018 年 3 月 12 日	
第 21 回 乳腺勉強会	野村寛徳先生	ドック内検査	2018 年 3 月 19 日	

実績報告資料等



予防医学センター 年度総括



予防医学センター
センター長
謝花 隆光

予防医学センターの平成 29 年度は、人間ドック・健診受診者数増加、受診者の視点に立った業務改善、スタッフ教育の充実による健診・ドックの質の向上、オプション検査の充実はもちろんのこと、平成 28 年度から始まっているセンター改築の具体的な課題に、引き続き取り組みました。

1. 人間ドック・健診受診者数は、平成 29 年度は、17,470 人で、平成 27 年度より 507 人の増加となりました。前年度、前々年度に引き続き、消化器内科の先生方と内視鏡センターの御協力により、胃カメラ検査において、経鼻内視鏡導入および早朝検査枠設置による検査枠の拡大を図ったことによる大きいと考えられます。
2. 受診者の視点にたったサービスを提供するため、投書、ゆいまーノート（健診ドック終了後、自由に意見を記入してもらったもの）の意見、苦情、提案に対して、改善点を貼り出し、受診者にフィードバックしています。
3. 平成 27 年度より、2 日ドックが、院内での宿泊が廃止となり、ホテルでの宿泊コースと自宅からの通院 2 日コースの選択となりましたが、平成 29 年度も、その両者からの選択制を継続しています。
4. 平成 29 年度は、血液検査オプションとして、アレルギー検査（36 項目）が加わっています。これまでのオプション検査項目で、CT 検査や MRI 検査、乳腺エコー検査、マンモグラフィーなどで検査数が増加しましたが、大腸カメラ検査が減少しています。血清ピロリ菌検査や琉球大学放射線科との提携による PET 検査は、引き続き選択できるようになっています。
5. 平成 27 年 12 月より、改正労働安全衛生法により、該当する企業・事業所に対して、雇っている労働者のストレスチェックが義務化され、当院でもストレスチェックが始まりましたが、プライバシーの観点から、専門業者への委託が主流となったため、平成 29 年度から当院では、限定事業者だけにストレスチェックを行っています。
6. 医師や看護師・保健師チーム、検査科、外部からの講師による勉強会を頻回に行い、また病院の勉強会にも積極的に参加して、スタッフ間の共有知識を増やし、日常業務に役立てています。平成 29 年度は、人間ドック学会学術大会で 1 題、全日本病院学会で 1 題の演題発表を行いました。

平成 29 年度も、診察や読影に御協力して下さった医局の先生方、看護部、放射線科、臨床検査科、各外来診療科、救急室、内視鏡センター、ハートライフクリニック、薬局、地域医療連携室、栄養科、厨房、食堂とまと（敬称略）、その他各部署の御協力を深く感謝申し上げます。

法人事務局

ハートライフ病院 経営企画室・法人事務局 経営企画室

課長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の3つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。平成24年度の組織改編に伴い、企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係が包括化され、業務の幅がとて広い特徴があります。

総数

9名

職種別

企画室	事務職 3名	安里 竜、稲福 怜美奈、栗盛 信子
電算係	事務職 4名	宮城 克己、高橋 慎二、前原 純樹、安里 健二
広報係	事務職 2名	知念 政治、仲田 尚正

運営方針（平成29年4月1日更新）

1. 新規事業への早期取組

- a. 新規事業の経営企画面での関与
- b. 診療体制の活性化
- c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）

2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析

- a. 診療実績と収支構造の把握と分析
 - ① DPC データの積極活用
 - ② 原価計算・管理会計の導入
 - ③ ベンチマーク
- b. 診療マーケティング分析体制の構築
 - ① 事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用
- c. 医療制度改革の方向性の把握と分析
 - ① 診療報酬改定
 - ② 介護報酬改定
 - ③ 病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）
- d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック

3. 業務体制の強化

- a. 経営感覚と現場感覚の両立
- b. 配下部署の教育体制の強化

企画室の行動指針（平成 29 年 4 月 3 日設立）

1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案

単に情報をつめるだけでなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる

2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック

情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない

3. 法人理念と事業計画を基軸にする

いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する

4. コスト意識を持つ

1 円を積み上げる努力（現場の汗）、1 円を使う責任（重み）を忘れない

5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること

経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない

6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」

患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する

活動報告

※企画室・経営企画室の主担当分のうち、一部実績を抜粋 ※配下部署はその項を参照、★は今年度新規

区分	内容
事務局活動	★平成 30 年度診療報酬改定対応事務局 ★ストーマ外来開設事務局 ★重症度、医療・看護必要度委員会事務局 ★患者総合支援センター委員会事務局 ★事業継続計画（BCP）策定事務局 算定率向上ワーキンググループ事務局（医学管理料、入院基本料等加算） 地域災害拠点病院施設設備整備事務局（申請事務） 臍帯血移植施設事務局（契約事務） 財団法人骨髄移植推進財団非血縁者間骨髄移植・採取認定施設更新事務局 おきなわ津梁ネットワーク導入推進事務局
その他業務	配下部署（電算係、広報係、臨床研究推進事務局）の業務管理 電子カルテユーザー会システム管理者部会役員（安里） 電子カルテユーザー会沖縄地方部会世話人（安里） MDV 沖縄地区勉強会世話人（安里） MDV ユーザー会幹事病院（平成 29 年度より、奥島、安里）

学会・講習会・報告会等実績

名称	開催地	開催時期	参加者
MDV 沖縄地区勉強会（開催事務局）	本院	2017 年 5 月	MDV ユーザー
電子カルテ沖縄ユーザー会（演題発表）	浦添市	2017 年 6 月	SS システムユーザー
電子カルテ沖縄ユーザー会（座長）	中頭病院	2017 年 11 月	SS システムユーザー
おきなわ津梁ネットワーク説明会（演題発表）	県医師会	2017 年 12 月	県内医療機関

名称	開催地	開催時期	参加者
MDV 沖縄地区勉強会 (参加)	那覇市立病院	2018 年 1 月	MDV ユーザー
電子カルテユーザー会システム管理部会役員会	大阪府	2018 年 1 月	SSシステム部会役員
診療報酬改定報告会 (開催事務局)	本院	2018 年 3 月	全職員

年度総括

平成 29 年度上半期は、周術期口腔機能管理を目的とした口腔ケア科の開設から始まり、透析患者の下肢救済体制やストーマ外来の開設といった、医療の質の向上に向けてのサポートに注力しました。8 月には病院の東館がオープンし、そのための準備で連日夜遅くまで調整にあたってくれた経営企画室・電算係・広報係のスタッフには頭が上がりません。非血縁者舘造血幹細胞移植施設・診療科認定の更新を始め、日本乳癌学会関連施設認定といった施設認定のサポートも同時併行でしたので、大変だったのを記憶しています。下半期は主に、平成 30 年診療報酬改定に向けての準備活動として、各部署への改定情報の周知と対応促進にあたりました。中でも、改定の目玉である入院時支援の運用フローづくりに関わったことは、大変勉強になりました。また、年間を通じて加算等の算定率向上ワーキンググループの活動を進め、今年度には約 4,000 万円の増収事業に育っています。現場スタッフと医事課の協力あつてのことで、こちらにも頭が上がりません。増改築が完了する平成 30 年度以降は、より一層、医療の質と経営の質のバランスを考慮した取り組みが必要になろうかと思えます。そのためにも、当院がこれまで以上に地域住民に選ばれる病院になるために、知恵を絞りたいと思っています。

電算係

係長 宮城 克己

認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	

運営方針

IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める

1. 院内ネットワークの有効活用
2. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
3. スキルの向上
 - a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

活動報告

- ・ ネットワーク障害対応
- ・ 新棟建設に伴う、ネットワーク敷設とIT機器の移設
- ・ インターネットスポットのパスワード管理
- ・ 電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新
- ・ 電子カルテ定期サービスパック適用
- ・ 平成30年度医療改定、介護システム改定対応
- ・ RDSを利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧
- ・ 院内カメラシステム構築
- ・ 患者待ち時間調査結果集計
- ・ 電子カルテサーバー保守契約更新
- ・ クリニカルパス大会サポート
- ・ 緩和ケアサポート
- ・ 産婦人科・周産期システム入替
- ・ IT推進委員会の開催(1回/月)
- ・ 財務統計処理
- ・ 不要IT機器の買い取り業者への売却
- ・ IT機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減
- ・ 情報系ネットワーク機器入れ換え
- ・ 生体モニタシステムリプレース
- ・ 電子カルテサーバーリプレース
- ・ 新版医事導入サポート
- ・ 医薬品情報システム導入サポート

<進行中>

- ・ 本院増改築に伴うネットワーク敷設、IT 機器移設
- ・ 本院一クリニック間対向無線の再構築
- ・ 心電図システムサーバーリプレース

年度総括

平成 29 年度は医事システム、透析システム、生体モニターシステムのリプレイスと増改築に伴うネットワーク敷設、部門移動に伴う IT 機器移設等の作業と続き、更に今年の医療改定は大きな医療改定の時期であったこともあり、電算係としては多忙な年度でした。

平成 30 度も引き続き増改築に伴うネットワーク敷設や IT 機器移設の作業や部門サーバーのリプレイスの作業、本院 - クリニック対向無線の再構築等の作業が予定されています。

更なるスキルアップと効率のよい対応を心がけて業務を遂行していきたいと考えております

広報係

主任 知念 政治

活動目的

広報専任担当者 2 名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンターの各種広報活動を行っております。中心業務は各施設の現状や PR ポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。また、毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。

9 月に東館のオープンを迎えましたが、広報係では東館の館内誘導に限定的ではありますがユニバーサルデザインを取り入れ、ご利用の皆様へのわかりやすさを重視したデザイン導入のサポートを行いました。平成 30 年度も引き続き各所で改修工事が行われますが、工事に合わせて誘導案内の統一を進めて参ります。

増改築関連では産婦人科センターの東館移転オープンにあわせて、ハートライフ病院では初めてのテレビ CM・ラジオ CM を「私はここでママになる。」のキャッチフレーズで企画し放送を行いました。9 月から 11 月までの 3 ヶ月間ではありましたが、多くの皆様から産婦人科センターへのお問い合わせを頂くことができ、当院でのご出産を希望される妊婦さんが増えたことは広報係として非常に喜ばしく思っております。CM 制作にあたり、ご出演いただいた川満アンリ様をはじめスタッフの皆様、そして快く CM 出演をお引き受けいただいた武田産婦人科センター長、職員・ご家族を含む関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

認定・資格

認定・資格名	人数
初級システムアドミニストレータ	1
サーティファイ web クリエイター能力検定試験 上級	1

認定・資格名	人数
サーティファイ Flash クリエイター能力認定試験 上級	1
ユニバーサルデザインコーディネーター 準 2 級	1

活動報告

< かりゆし会 >

- ・公式ホームページ維持・更新
- ・採用ポータルサイトリニューアル

< ハートライフ病院 >

- ・各種パンフレット作成
- ・臨床研修事務局関連作業
 1. 修了証・アルバムの作成
 2. 募集ホームページ更新
 3. 初期研修医募集パンフレット作成



かりゆし会公式サイト

・平成 29 年度年報作成

- ・ QI プロジェクト広報
- ・ 講演会ポスター作成
- ・ その他院内掲示ポスター作成
- ・ 広報誌あすなる No. 88 ~ 91 (計 4 回の発行)
- ・ デジタルサイネージコンテンツ作成
- ・ 増改築プロジェクト
 1. 広報活動
 2. サイン計画
 3. 産婦人科センターテレビCM・ラジオCM放送
 4. 産婦人科センター特設サイト開設
- ・ 市民公開講座運営補佐
 1. 広報活動
 2. 講座運営
- ・ その他付随業務



■ 壁面誘導や天吊り誘導には、視認性の良い書体の採用と、コントラストを維持しながら内装と調和したデザインの誘導表示を採用すると共に、外国人の利用者にも場所を伝えられるように番号誘導をすべての窓口に適用しました。お手洗いの入口は視野狭窄の方にも識別しやすいよう足下にもカラーリングを施してあります。



■ デジタルサイネージによる増改築のご案内



■ 産婦人科特設サイトの開設と専用パンフレットの発行



■ 初のテレビ CM とラジオ CM を放送



< クリニック >

- ・ 糖尿病教室広報活動

- ・ その他付随業務

< 地域包括ケアセンター >

- ・ 入居者募集に係わる広報活動

< はーとらいふ保育園 >

- ・ 園児募集に係わる広報活動

主な報道・取材対応

区分	内容	掲載媒体	年月日
取材対応	看護の日特集 看護師 宮里夏樹	沖縄タイムス	2017年5月12日
取材対応	しっかり受けよう人間ドック 予防医学センター 奥島しょう子	沖縄タイムス	2017年7月12日
取材誘致・対応	ハートライフ病院東館落成	週間ほーむぷらざ	2017年8月31日
取材対応	「乳がんの正しい知識」 外科外来 砂川克子	沖縄タイムス フラビー	2017年9月3日
取材対応	ラジオいさいき健康あいらんど “ 護得久栄昇の健康チンダミ ” 高血圧について 循環器内科 秋元 芳典	FM 沖縄・ラジオ沖縄・琉球放送	2018年1月

事務局運営

1. 広報委員会

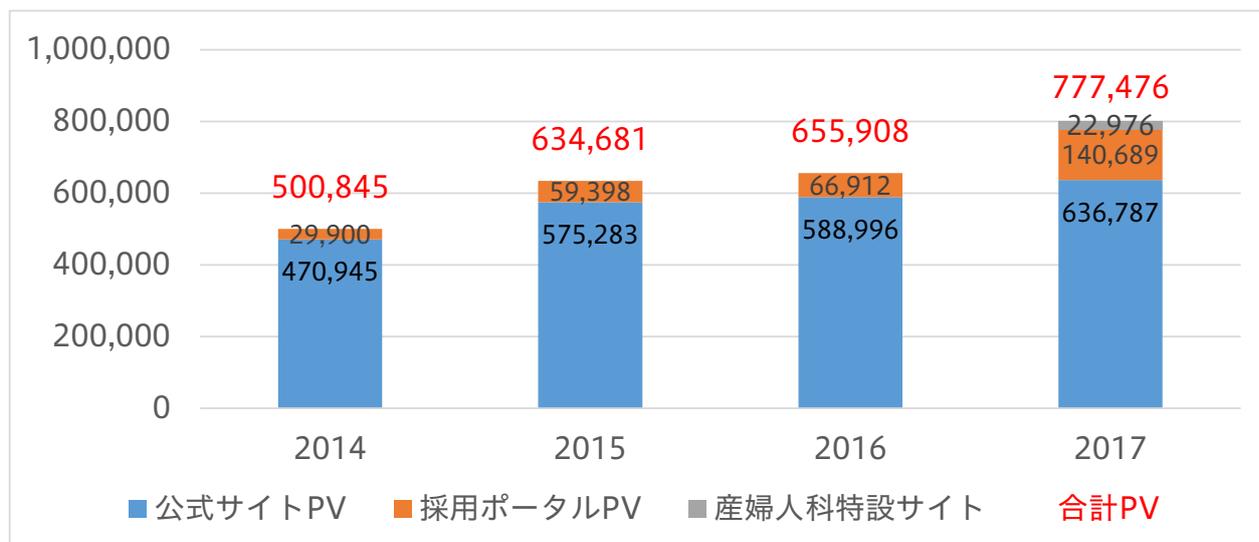
2. 年報作成委員会

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
個人情報保護「情報を守ることは自分自身を守ること」	当院	2016年4月1日	新入職員対象

公式サイト統計

ページ閲覧数 (PV) 推移



※ 2014 年より現在の集計方法に変更しましたが、経年で統計情報に誤りがあったため下方修正を行っております。

※ 2014 年 8 月 18 日より採用情報専用ポータルを立ち上げ、公式サイトより情報を分離しました。

※産婦人科特設サイトは 2017 年 9 月 1 日より公開しました。

人事課（法人事務局）

課長 比嘉 康文

職員数

総数

8名

職種別

一般事務 8名

運営方針

1. 「組織は人」＜人を大切にする＞
 - (1) 人材育成（人間性やスキルを伸ばす）
 - (2) 労務環境改善（ワークライフバランス）
 - (3) 公平な人事考課制度の確立
 - (4) 職員の精神衛生の充実
2. 「人材確保」
 - (1) 計画採用の確立
 - (2) 人材の活性化（再雇用制度・短時間勤務制度・異動・障がい者雇用）
 - (3) 離職率の低下対策

活動実績

業務実績

年月日	名称	
2017年	6月 事務総合職〔管理職候補〕定期採用（H30年度～H32年度）2名枠	
	8月 地域包括ケアセンター 介護職給与改定（基本給及び勤務地手当） ハートライフ病院病棟助手 給与改定（月給契約及び当直手当） 事務職初任給改定〔基本給UP、皆勤手当廃止〕（H30年4月1日付） 契約職員時間給最低賃金改定（H30年4月1日付）	
		9月 ドクターカー運転手危険手当の新設（H30年10月21日付）
		11月 定年後再雇用者時間給改定（事務職・他）
	2018年	1月 はーとらいふ保育園 保育士基本給改定（H30年4月1日付） 薬局薬剤師 皆勤手当廃止、基本給UP（H30年4月1日付）
2月 医局長手当、卒後臨床研修委員長手当の新設（H30年4月1日付）		
3月 年次有給休暇〔時間単位取得〕改定（H30年4月21日付）		

その他の実績

年月日		名称
2017 年	通年	社会医療法人(県内 4 法人) 事務情報交換会 1 回 / 月 参加
	4 月	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校 就職説明会
		那覇市医師会那覇看護専門学校 就職説明会
		福山大学薬学部 就職説明会
	5 月	学校法人 湘央学園 浦添看護学校 就職説明会
		北部地区医師会北部看護学校 就職説明会
	8 月	人事課 労務管理(給与計算・社会保険他)業務吸収
	9 月	全日本病院学会発表(演題)法人事務局”人事課立上げ”～離職率・退職理由からみえる当会の現状～
11 月	H30 年度 事務総合職(管理職候補)採用 企業説明会 (ハートライフ病院)	
	H30 年度 事務総合職(管理職候補)採用 企業説明会 (国立大学法人 琉球大学)	
12 月	職員満足度調査実施	
2018 年	1 月	2018 年(H30 年度) 看護部新入職者 オリエンテーション
	2 月	2018 年(H30 年度) 事務部新入職者 オリエンテーション
	3 月	第一薬科大学 薬学部 就職説明会
		沖縄県立看護大学 就職説明会
		九州保健福祉大学 薬学部 就職説明会
年俸制医師・年俸契約及び面談		

財務・経理課

財務・経理課課長 比嘉 靖

職員数

総数

5名

職種別

一般事務 5名

運営方針

1. 経理・財務内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門予算執行状況の把握。
4. 経理予算業務のマニュアル化を図る。

平成 29 年度目標

1. 法人外部監査対応に向け、各種規程ならびに体制づくり
2. 迅速な財務報告資料作成に向けた業務効率化（部署間のシステム連携）
3. 課内業務のローテート
4. 経費削減に向けた積極的な提案

活動実績

研修・セミナー参加等

日時	会場	名称
4月	当院	地域医療構想（概要）について
5月	当院	退職者へ支払う賞与の取扱いについて ホームページの広告規制について
8月	当院	医療法人会計基準の読み合わせ（注記表、付属明細表）
9月・10月	当院	医療法人会計基準の読み合わせ（有価証券、棚卸・固定・リース資産）
11月	当院	医療法人会計基準の読み合わせ（消費税等の会計処理、貸倒引当金等）
12月	当院	医療法人会計基準の読み合わせ（関連当事者との取引、税効果会計等）
3月	浦添市産業振興センター 結の街	FX4 クラウドレベルアップ研修会

病院 事務部

部門紹介

事務部は総務課、財務・経理課、請求業務課、管財課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室の 7 部署で構成されており、158 名の職員が所属しています。

職員数

総数

158 名

職種別

一般事務	98 名	施設技術者	5 名
診療情報管理士	8 名	調理師（収益部門）	2 名
医療ソーシャルワーカー	6 名	その他	39 名

各部署概要・実績

総務課

総務課課長 吉川 忍

職員数

総数

23名

職種別

一般事務	10名	患者送迎サービス係	8名
秘書	3名	司書	1名
警備員	1名		

運営方針

事務処理の迅速化を図る

各部署に対する支援強化を図る

職場環境の整備に努める

ワークライフバランスの推進

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
平成29年4月1日	平成29年度入職式・新入職員オリエンテーション(1日目) はーとらいふ保育園 開所式・内覧会
平成29年4月3日	新入職員オリエンテーション(2日目) 新入職者歓迎会
平成29年4月24日	院内合同慰霊祭
平成29年7月5日	院内献血
平成29年7月15日	院内緩和ケア研修会
平成29年8月12日	東館竣工式・祝賀会・内覧会
平成29年8月22日	ハートライフ病院 開院29周年
平成29年9月26日	役職者研修会「大久保寛司の人が輝く職場の実現」 講師：大久保 寛司 先生(人と経営研究所 所長)
平成29年10月23日	患者満足度調査
平成29年11月13日	職員満足度調査
平成29年11月14日	医療監視(中部保健所による立入検査)
平成29年12月29日	御用納め納会
平成30年1月4日	仕事始め
平成30年1月5日	新春もちつき大会
平成30年3月19日	平成29年度 火災避難訓練

管財課

課長 宮里 毅

管財課用度係

職員数

総数

7 名

職種別

一般事務 7 名

運営方針

物品の安全供給

物品の管理（在庫・定数管理）の強化

課員の教育

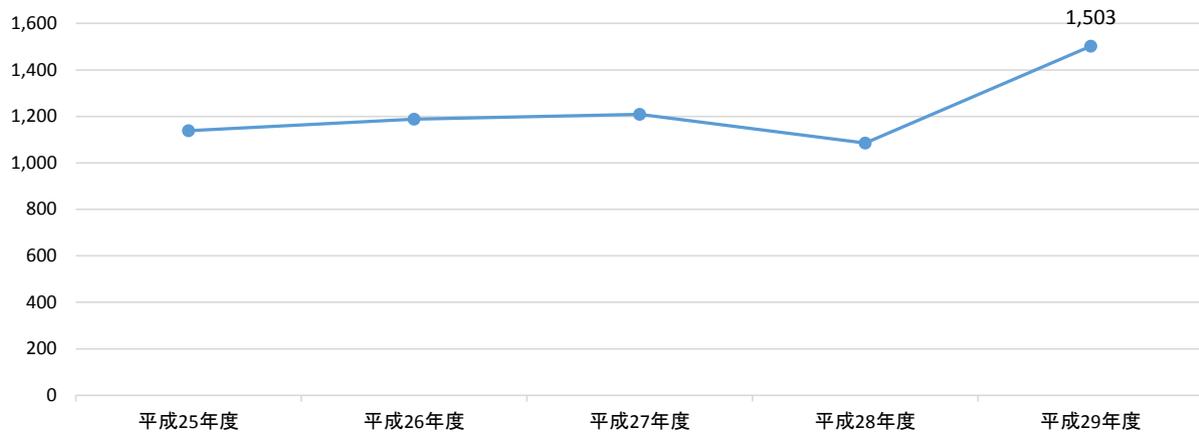
理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係実績

(業務計画)	達成度(実績)
①増改築による業務の体制づくり	チームとなって納品、医療機器設置等を速やかに実施出来た。
②各部署へ物品の安全供給	問題なく安全供給をすることが出来た。
③災害拠点病院指定による医療材料の在庫確保	通常在庫ですら倉庫に収まらない状況で、災害分の医療材料確保が困難である。
④手術室へ用度係職員の配置	増築申請処理作業や納品設置業務に追われ配置が出来ない状況にあった。
(収入計画)	達成度(実績)
①診療材料の再価格交渉	今年度は償還改訂があり、価格の見直しが出来た。
②3部署(施設・広報・電算)引き率実績の数値化	定価や値引きの徹底したデータ入力が出来ております。
③償還材料の見える化	償還材料の償還価格のデータが出るようになっている。
④増改築、増床部分の機器導入計画・見積もり等も併行して行う。	各部署の増改築担当者と用度係がチームとなって購入物品の値下げができました。
(人員計画)	達成度(実績)
①診療情報管理士の取得	取得が出来ておりません。
②管理する施設(地域包括・保育園)が増えたことと、増築棟移転に伴い診療材料を管理する箇所が多くなったこと、ワークライフバランスの取れた業務運用を目指す為、用度職員の増員を行う。	物品の供給は出来ておりますが、ワークライフバランスの取れた状況には至っておりません。
(設備投資)	達成度(実績)
①用度係の物品倉庫の増設又は用度事務所と倉庫の移動(消防法違反にあたりかねない為、廊下へ置いている物品の収納と災害拠点病院認定による材料確保の為)	業務計画にもありましたが本院は災害拠点病院を取得してあります。現在保有の材料も倉庫に収まらない状況であります。場所の移動計画もあると聞いておりますが、現在の事務所と倉庫の㎡数足りていない状況でもあり達成できていない状況です。
②SPDシステムのクライアント増設(手術室へ用度職員配置の為)	手術室への配置が出来ておりませんので、増設はしておりません。
③用度倉庫のカード施錠システム導入(物品の安全管理の為、出入管理が必要)	盗難などを防ぐ施錠カードシステムの導入でしたが、事務所と倉庫の移動も考え、設置には至りませんでした。防犯カメラシステムを導入しております。

物品仕入れの推移（単位：百万）



※通常仕入れ以外に増改築に掛った費用も計上

平成 30 年度目標

1. 災害時用物品確保の為、倉庫拡充、必要物品・数量の検討と確保
2. クリニックと地域包括支援センター、保育園の物品管理の強化
3. 医療機器の資産管理運用の検討（廃棄処分などの管理）
4. 手術室への用度課職員配置のための増員と業務拡充検討
5. 分類区分の変更と運用による管理と削減の評価
6. 改築工事（救外・小児科・予防医学センター・内視鏡室）の物品導入計画

管財課施設管理係

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

認定・資格

認定・資格	人数
第三種電気主任技術者	2
第一種電気工事士	2
第二種電気工事士	5
1 級電気工事施工管理士	1
消防設備士甲種 1 類	2
消防設備士甲種 2～7 類・特類	2
消防設備士乙 4 類	2
1 級ボイラー技士	1
2 級ボイラー技士	5

認定・資格	人数
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙 4 類	5
2 級管工事施工管理技士	1
2 級土木施工管理技士	1
第二種冷凍機械	2

運営方針

安全管理と省エネに務める

理念

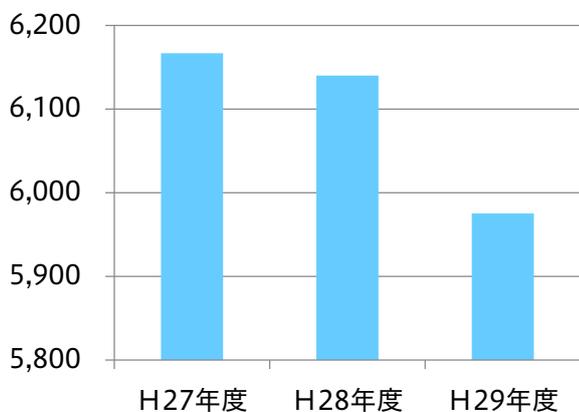
関係法令等を遵守し、建築物の設備及びその環境を常に最良の状態に維持するとともに、事故を防止し更に予防保全的業務を実施することにより耐用年数の延長を図り、省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

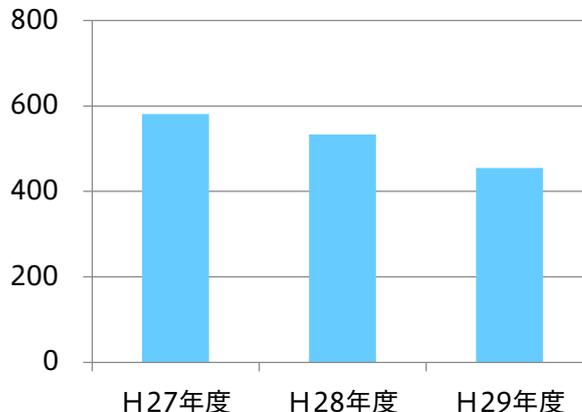
総電力量 (単位: 千 kwh)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
総電力量	6,167	6,140	5,975
対前年比	4.6% 増	0.4% 減	2.7% 減



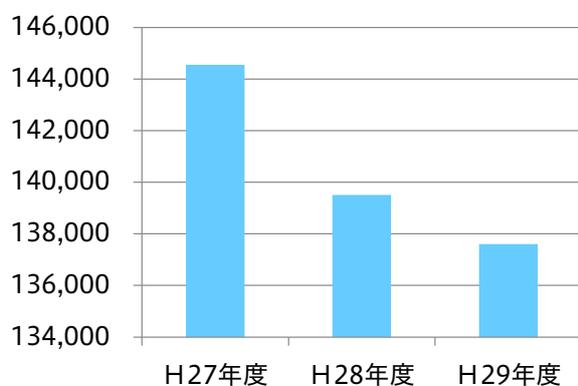
蓄熱電力量 (単位: 千 kwh)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
蓄熱電力量	581	533	455
対前年比	8.5% 増	8.2% 減	14.6% 減



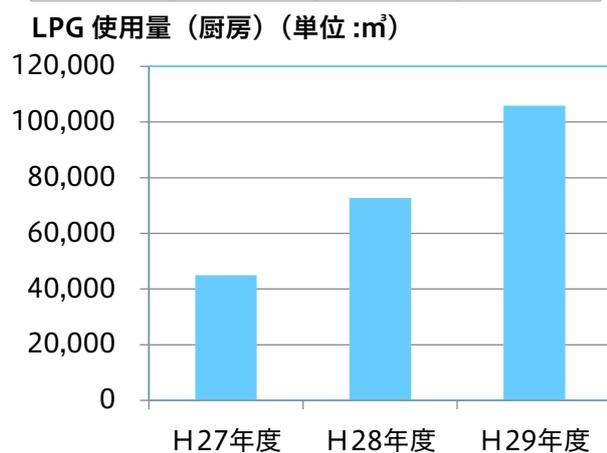
A 重油使用量 (ボイラ) (単位:ℓ)

	H27年度	H28年度	H29年度
A 重油使用量	144,553	139,505	137,607
対前年比	3.9% 増	3.5% 減	1.3% 減

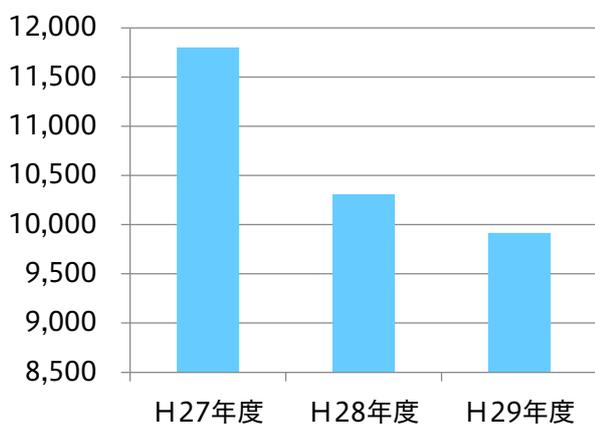


A 重油使用量 (常用発電機) (単位:ℓ)

	H27年度	H28年度	H29年度
A 重油使用量	44,975	72,727	105,909
対前年比	2.1% 増	62% 増	45.6% 増

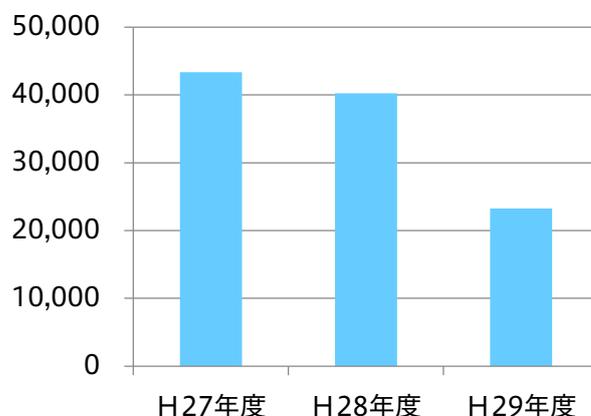


	H27年度	H28年度	H29年度
LPG 使用量	11,802	10,310	9,917
対前年比	6.0% 減	12.6% 減	3.8% 減



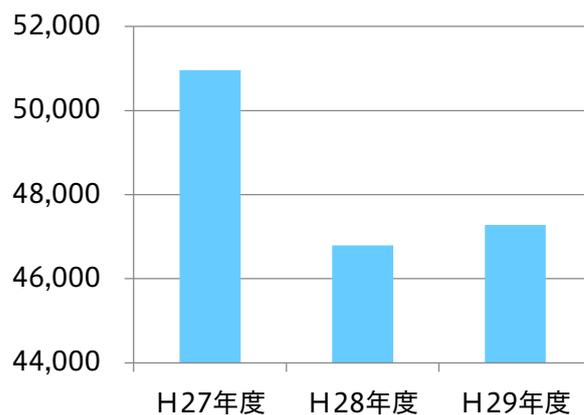
LPG 使用量 (吸収式冷凍機) (単位:m³)

	H27年度	H28年度	H29年度
LPG 使用量	43,341	40,253	23,229
対前年比	35% 増	7.1% 減	42.2% 減

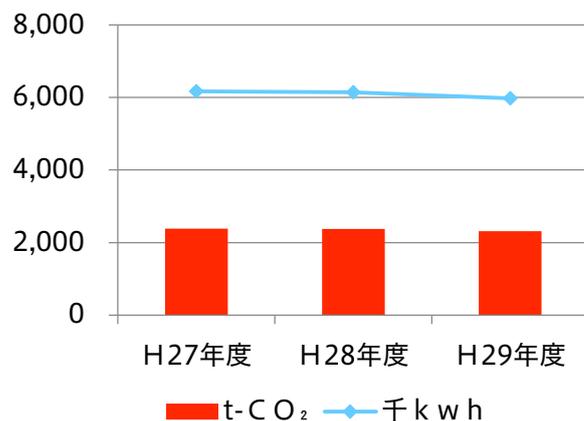


上水道使用量 (単位:m³)

	H27年度	H28年度	H29年度
上水道使用量	50,960	46,794	47,280
対前年比	6.8% 増	8.1% 減	1% 増

エネルギー使用量 (電力)・CO₂ 排出量

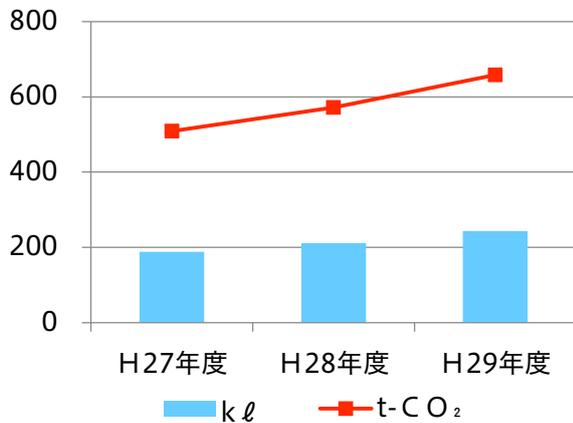
	H27年度	H28年度	H29年度
エネルギー消費量	6,167	6,140	5,975
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	2,387	2,376	2312



ハートライフ病院

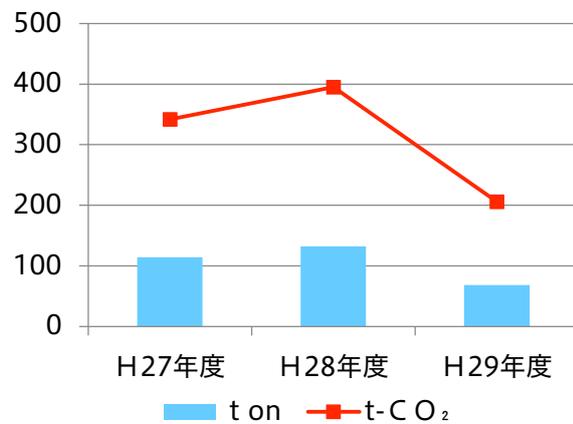
エネルギー消費量 (A 重油)・CO₂ 排出量

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
エネルギー消費量	188	211	243
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	509	572	658



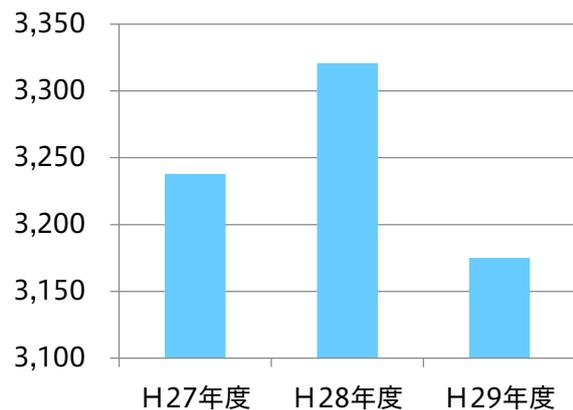
エネルギー消費量 (LPG)・CO₂ 排出量

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
エネルギー消費量	114.1	132	68.6
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	342	395	205.8



CO₂ 総排出量 (t-CO₂)

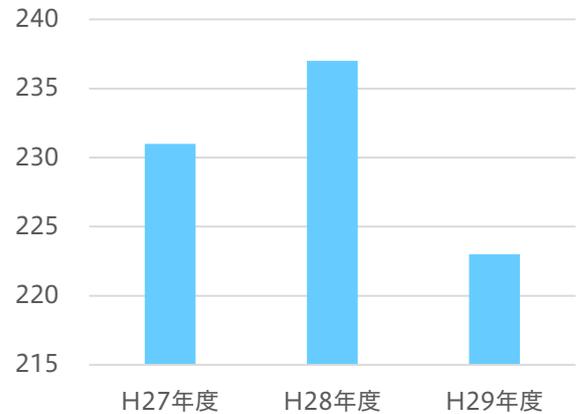
	H27 年度	H28 年度	H29 年度
CO ₂ 総排出量	3,238	3,321	3,175
対前年比	6.0% 減	2.5% 増	4.4% 減



ハートライフクリニック

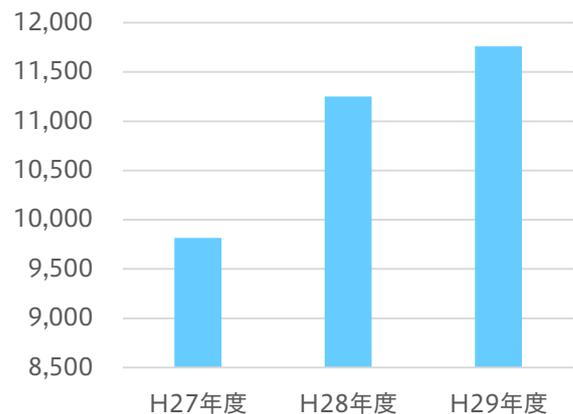
総電力量 (単位: 千 kwh)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
総電力量	231	237	223
対前年比	1.2% 増	2.7% 増	5.9% 減



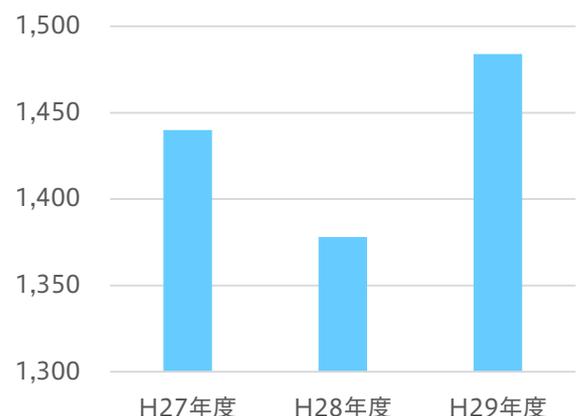
LPG 使用量 (単位: m³)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
LPG 使用量	9,815	11,250	11,762
対前年比	5.6% 増	14.6% 増	4.5% 増



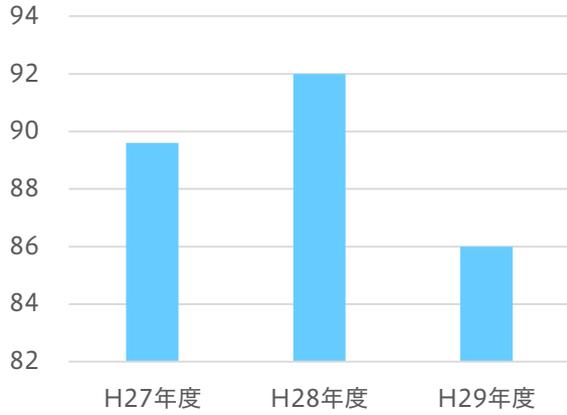
上水道使用量 (単位: m³)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度
上水道使用量	1,440	1,378	1,484
対前年比	16.4% 増	4.3% 減	7.7% 増



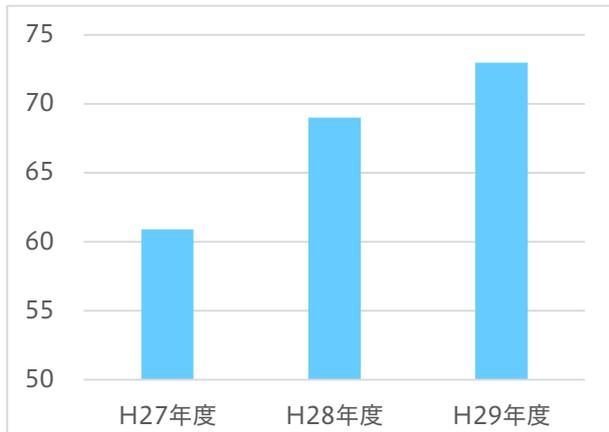
エネルギー使用量（電力）:CO₂ 排出量（t）

	H27年度	H28年度	H29年度
エネルギー消費量	90	92	86
対前年比	1.1% 増	2.2% 増	6.5% 減



エネルギー使用量（LPG）:CO₂ 排出量（t）

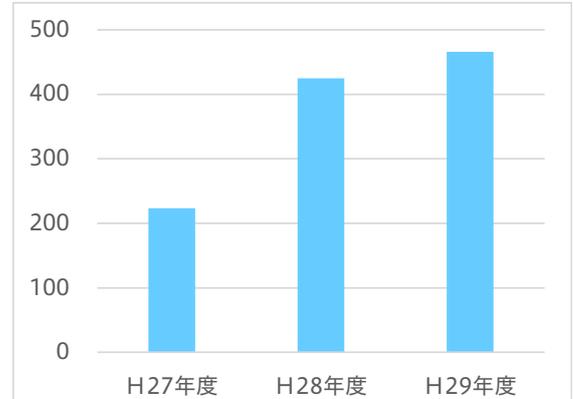
	H27年度	H28年度	H29年度
エネルギー消費量	61	69	73
対前年比	5.1% 増	13.1% 増	5.8% 増



ハートライフ地域包括ケアセンター

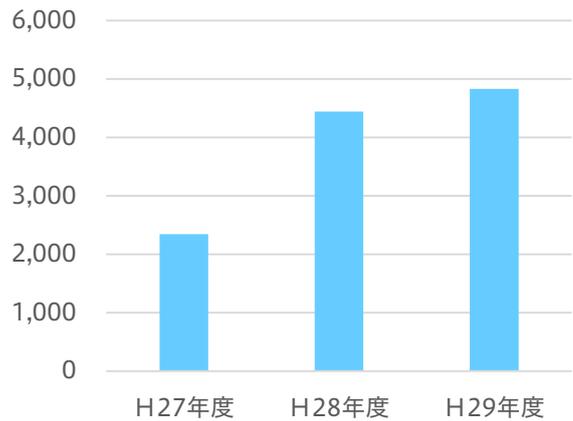
総電力量（単位：千kwh）

	H27年度	H28年度	H29年度
総電力量	223	425	466
対前年比	86.0	90.5% 増	9.6% 増



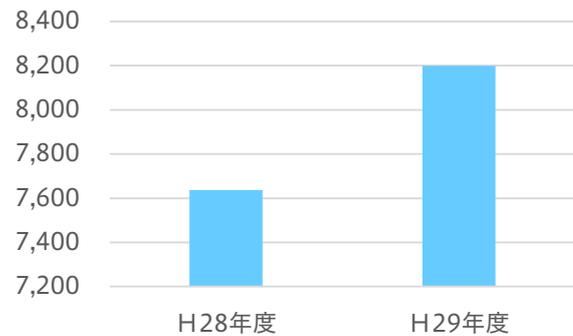
LPG 使用量（単位：m³）

	H27年度	H28年度	H29年度
LPG 使用量	2,343	4,440	4,829
対前年比		89% 増	8.7% 増



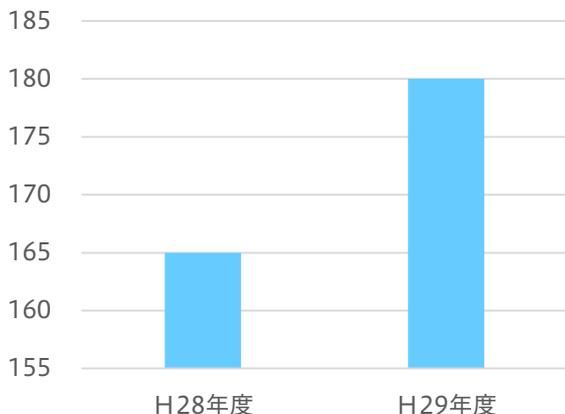
上水道使用量（単位：m³）

	H28年度	H29年度
上水道使用量	7,637	8,199
対前年比	104% 増	7.3% 増



電力 CO2 排出量 (単位: t)

	H28 年度	H29 年度
t-CO2	165	180
対前年比	90% 増	7.1% 増



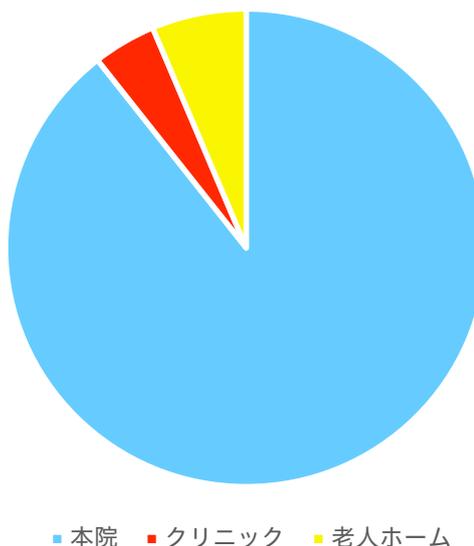
法人全体のエネルギー使用量

エネルギー発熱量:GJ

	本院	クリニック	老人ホーム
電力量	1,537	57	120
LPG 使用量	90	32	13
A 重油	245		
合 計	1,872	89	133
法人合計	2,094		
エネルギー使用割合			
	本院	クリニック	老人ホーム
	89%	4%	7%

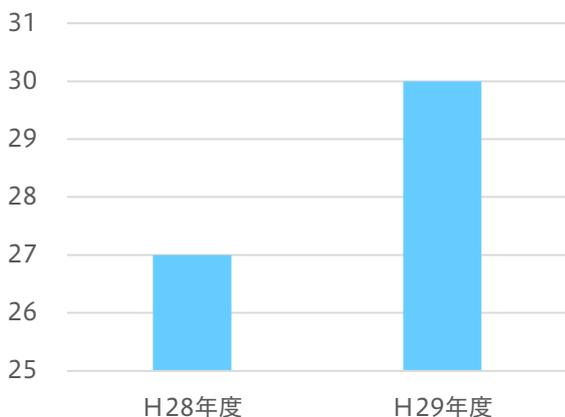
平成 28 年度 2135KL 対前年比 1.9%減少

法人全体エネルギー使用量
原油換算合 計(2094kℓ)



LPG CO2 排出量 (単位: t)

	H28 年度	H29 年度
t-CO2	27	30
対前年比	80% 増	11.1% 増



活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	氏名
消防設備士法定講習	北谷町	2017 年 10 月	比屋根 宗
消防設備士法定講習	北谷町	2017 年 10 月	具志堅徳明
危険物取扱者保安講習	沖縄市	2017 年 10 月	比屋根 宗
危険物取扱者保安講習	沖縄市	2017 年 10 月	具志堅徳明
消防設備士法定講習	宜野湾市	2017 年 10 月	比屋根 齊
高圧・特別高圧電気取扱者安全衛生特別講習	大阪市	2017 年 10 月	比屋根 齊
ボイラー技士安全及び能力向上教育講習	浦添市	2017 年 11 月	比屋根 宗

名称	開催地	年月日	氏名
第一種電気工事士法定定期講習	沖縄市	2017年12月	比屋根 斉

防災訓練

名称	開催地	年月日	担当者
新入職員向け消防訓練	当院	2017年4月1日	比屋根 斉
消防総合訓練	クリニック	2017年11月1日	比屋根 斉
消防総合訓練	当院	2018年3月19日	比屋根 斉

電気、水道、消防、建築、医療ガス等、各設備法定点検・検査及び定期自主点検の実施

2017年	4月	消防訓練・エレベーター点検・浄化槽設備点検・常用発電機点検
		第一種圧力容器法定検査・ダムウェーター点検
		受変電設備点検・貯水槽・貯湯槽清掃(ケアセンター)
	5月	簡易専用水道検査(本院・クリニック・ケアセンター)エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検・温水ポイラーばい煙測定
		消防設備点検(本院)
	6月	受変電設備点検(クリニック)害虫防除(ケアセンター)・ダムウェーター点検
		消防設備点検(ケアセンター)・衛生害虫防除(厨房・病棟)・エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検・電話交換機更新・ダムウェーター点検
	7月	飲料水水質検査・冷却水レジオネラ菌検査・受変電設備点検(ケアセンター)
		特殊建築物設備検査・エレベーター点検・ダムウェーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検・消防訓練
8月	受変電設備年次点検(クリニック)	
	消防設備点検(クリニック)・院内空調フィルター換気扇清掃・常用発電機点検	
	第一種圧力容器法定検査・エレベーター点検・浄化槽設備点検	
9月	ダムウェーター法定検査・消防訓練(本院)・受変電設備点検(ケアセンター)	
	衛生害虫防除(厨房)・医療ガス設備保守点検・エレベーター点検	
	浄化槽設備点検・浄化原水槽清掃・常用発電機点検・ダムウェーター点検	
10月	非常用発電設備年次点検・受変電設備点検(クリニック)	
	全館空調フィルター・換気扇清掃(本院)・エレベーター点検・浄化槽設備点検	
	常用発電機点検・ダムウェーター点検・受変電設備点検(ケアセンター)	
11月	貯水槽法定清掃(本院・クリニック)	
	消防設備点検(本院)・上水道タンク清掃・エレベーター点検・浄化槽設備点検	
	常用発電機点検・ダムウェーター点検・空調機フィルター清掃(クリニック)	
12月	害虫防除(ケアセンター)・受変電設備点検(クリニック)	
	衛生害虫防除(厨房・病棟)・エレベーター点検・浄化槽設備点検	
	防火・防災点検・ダムウェーター点検・消防訓練(ケアセンター)	
2018年	1月	受変電設備点検(ケアセンター)
		防火・防災対象物点検・エレベーター点検・ダムウェーター点検・浄化槽設備点検
		常用発電機点検・受変電設備点検年次点検(本院)
	2月	受変電設備点検(クリニック)
		常用発電機点検・エレベーター点検・ダムウェーター点検・浄化槽設備点検
3月	消防設備点検(クリニック)・受変電設備年次点検(ケアセンター)	
		衛生害虫防除(厨房)・エレベーター点検・ダムウェーター点検・浄化槽設備点検
		常用発電機点検・受変電設備点検(クリニック)

診療情報管理室

診療情報管理室課長 柳 学

職員数

総数

9 名

職種別

診療情報管理士 8 名 (病歴担当 5 名、がん登録担当 3 名)

一般事務 1 名 (病歴担当 1 名)

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	8

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
業務 (収入) 計画	○ DPC の機能評価係数 II アップに向けて	80%	平成 29 年度の救急医療係数が大きく下がったため、救急外来等診療部門と請求業務にて救急医療管理加算算定向上への取り組みを行い、平成 28 年度並みの算定件数をアップ。平成 30 年の救急医療係数の結果待ち
	○ 病院指標の作成と公開他	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価は行なわれた(※トップ 3 → トップ 5 へ対応済み)
	○ 診療録の監査 (量的・質的) の実施の継続及び内容の充実を図る	80%	偶数月の診療録管理委員会にてランダムに抽出した診療録 1 件の監査を実施している引続き継続をし、充実を図る
	○ 診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成	50%	委員会、患者増対策会議 (外科系) への分析資料を作成したが、その他積極的な情報発信が出来ていない
	○ 診療データ分析及び院内へのフィードバック		
	○ 導入分析ツール (MEDI-ARROWS、EVE、MedicalCode) のより一層の活用	50%	EVE、MedicalCode がまだまだ活用できていない
	○ データ精度向上への取り組み	50%	日々業務の中でチェック方法の見直しを実施
	○ コンテナのカルテの移動 (増築部分の倉庫へ)	100%	他部署からの応援をいただき、無事計画通りに移動を完了
	○ カルテ廃棄の作業 (保管スペースの確保)	0%	死亡退院後 11 年経過した退院カルテの廃棄作業に今年度も手を付けられなかった (※廃棄対象 H14.01-H18.12DC 分)
○ 整理・整頓	80%	部署内の整理整頓	
要員計画	○ 特になし		
教育研修計画	○ 診療情報管理士による全職員向けの DPC 勉強会の開催	0%	開催出来ず
	○ 平成 29 年度「第 25 回院内研究発表会」へ演題発表	0%	昨年度参加したので今年度は棄権
	○ 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会主催の院内がん登録研修会への参加	100%	H29.07.01 宮平・兼濱が参加
	○ DPC 夏季セミナーへの参加	100%	H29.08.21-22 田河が参加
	○ その他の DPC に関連する研修会等への参加	100%	県内 3 件、県外 1 件参加
	○ IT スキルの向上 (Excel・ileMaker・QlikView 等)	0%	部署内での勉強会の実施が出来なかった
	○ 請求業務課入院係りの各病棟担当勉強会へ診療情報管理室からの参加	20%	7F 病棟は実施出来たが、他の病棟は未実施
○ 請求業務課との Excel 等勉強会の継続	0%	参加者からの自発的な取り組みを計画したが実施が出来なかった	
【設備計画】	特になし		

活動実績

研修・勉強会などへの参加

題名・タイトル	目的	開催地	年月日	参加者
院内がん登録実務中級認定者研修	院内がん登録に関する高度で専門的な知識及び技術を習得すること	国立がん研究センター	2017年5月5日～5月6日	宮平奈美子
「平成29年度第1回院内がん登録研修会」	午前：県内17病院限定で、院内がん登録実務者におけるディスカッションに参加 午後：学会発表のための基本である抄録の書き方、スライドの作り方を習得する	琉球大学医学部附属病院1階小講義棟	2017年7月1日	宮平奈美子、兼濱亜紀
院内がん登録実務中級認定者研修	がん登録実務に関わる知識・技術の向上	国立がん研究センター・国際研究交流会館	2017年8月2日～8月3日	兼濱亜紀
DPC 研究班夏期セミナー（北九州会場）	DPC 研究班の講演聴講・DPC 分析実習及び情報交換	北九州・産業医科大学	2017年8月21日～8月22日	田川美智代
腫瘍学分類コース・スクーリング	スクーリング	国立がん研究センター	2017年10月20日～10月22日	真栄平久美子、大城克枝
H29年度保険データ分析に基づく地域医療の未来創造コースの受講	DPC データ分析の方法等の習得	北九州・産業医科大学公衆衛生学教室	2017年11月10日～11月11日	柳 学
医療経営セミナー・実践！自院のデータでみる疾患別の経営分析(その症例、利益は本当に出てますか？～いかに経営的な視点を臨床側に戻すか～)	自院のE・F・D/ 様式1ファイルを用いて実践形式で分析する	(株)アトル沖縄ビル2F会議室	2017年10月26日	柳 学、我如古理咲子
平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会(傍聴)	沖縄県の今後のがん対策について最新情報を収集する為	琉球大学医学部附属病院・管理棟3階	2017年11月10日	兼濱亜紀
第6回MDV沖縄地区勉強会	「EVE ビギナーレッスン」へ参加	那覇市立病院・本館3階講堂	2018年1月13日	大城克枝
第6回MDV沖縄地区勉強会	「2018年度診療報酬改定・重症度、医療・看護必要度のグループディスカッション」	那覇市立病院・本館3階講堂	2018年1月13日	柳 学、真栄平久美子、我如古理咲子
DPC 研究班セミナー(診断群分類研究支援機構主催)	DPC 研究班のDPC 研究報告の聴講とExcelによるDPCデータ解析の演習	琉球大学医学部附属病院・臨床講義棟2階・大講堂室	2018年1月20日	真栄平久美子、大城克枝、田川美智代、我如古理咲子、宮平奈美子
医療経営セミナー「2018年度診療報酬改定議論の方向性と注目ポイント」	2018年度診療報酬改定の情報収集	(株)琉葉・第1・2ホール	2018年2月8日	柳 学
医療経営セミナー「2018年4月診療報酬・介護報酬同時改定の完全解説とシミュレーション」	2018年度診療報酬改定の情報収集	沖縄県医師会館3F大ホール	2018年2月21日	柳 学
2018年病院経営戦略セミナー(MC活用研究会)第1回那覇グループ	医学管理料算定ベンチマークから自院の現状と課題を抽出、改善活動計画を実行し算定率の向上を図るため	JR九州ホテル ブロッサム那覇 2階OKIEI ROOM	2018年3月17日	我如古理咲子
診療報酬改定説明会(九州厚生局/県医師会主催/コンベンションセンター)	2018年度診療報酬改定の情報収集	沖縄県コンベンションセンター	2018年3月19日	柳 学

請求業務課

請求業務課 課長 宮城 淳

職員数

総数

44 名

職種別

一般事務 44 名（うち診療情報管理士資格取得者 2 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

- ①病院収入の確保とサポート
 - ・減点査定・レセプト返戻の対策と強化
 - ・診療報酬改定の早期対策と強化
 - ・医療保険制度改革の早期対策と強化
 - ・新規施設基準の届け出と強化
- ②保険請求知識の向上
 - ・請求漏れ防止の対策強化
 - ・職員への指導及び教育。査定・返戻の減少対策及び勉強会
- ③窓口サービスの強化・患者誤認の防止の徹底
 - ・患者さんへの目配り、気配り
 - ・氏名、生年月日の再確認

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水会医事定例勉強会	中部徳洲会	2017 年 4 月 19	宮城、伊集、新垣
第 5 回 MDV 沖縄地区勉強会	当院	2017 年 5 月 19	宮城、桑江、伊集、新垣
三水会医事定例勉強会	中部徳洲会	2017 年 8 月 16	伊集、新垣、波平、松原

名称	開催地	年月日	参加者
結核指定医療機関連絡会議(公費事務担当)	沖縄市	2017年8月18	松原、上原、奥間
三水会医事定例勉強会	県医師会	2017年10月18	桑江、波平、伊集、田中
医療経営セミナー(アトル)	与那原町	2017年10月26	宮城、伊集、新垣
労災診療費算定実務研修会	県医師会	2017年11月2	比嘉(優)、仲宗根
適時調査・個別指導対策研修会	那覇市	2017年11月11	宮城、桑江、伊集、新垣
沖縄県医師会主催接遇研修会	県医師会	2018年1月11	宮平(真)
第6回MDV沖縄地区勉強会	那覇市立病院	2018年1月13	宮城、伊集
沖縄県子供医療費説明会	県医師会	2018年2月1	桑江、上原
沖縄県更生医療説明会	県福祉センター	2018年2月6	國吉、奥間
医療経営セミナー(三水会)	県医師会	2018年2月21	宮城、桑江、新垣、田中、松原、屋我
医療経営セミナー(スズケン)	スズケン沖縄	2018年3月4	宮城
平成30診療報酬説明会(全日病)	東京都	2018年3月13	宮城
平成30診療報酬説明会(県医師会)	宜野湾市	2018年3月19	宮城、桑江、伊集、新垣、田中、松原、屋我

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネス1年生企業見学	2017年5月18日	4人
日経ビジネス専門学校2年生企業実習	2017年7月18日～8月12日	3人
沖縄中央学園企業実習	2017年11月28日～12月29日	1人

その他

名称	開催地	年月日	参加者
日経教育グループへ講師派遣	沖縄市	2017年5月27日	宮城
日経教育グループ「合同企業説明会」職員派遣	嘉手納町	2017年8月23日	桑江

実績報告資料等

総合入院体制加算

【 算定率式 】

$$\frac{D+E+F+G}{A-(B+C)}$$

取り組み状況

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
A 総退院患者数	732	725	780	759	787	714	678	651	771	660	648	798	8,703
B 死亡退院患者数	27	20	21	15	17	18	28	14	36	29	22	27	274
C 化学療法施行患者数	38	29	31	27	39	33	42	31	33	25	29	31	388
D 診療情報提供料1(添付加算)あり患者数	160	173	182	157	185	166	158	152	163	189	173	172	2,030
E 治癒患者数(老人保健施設等含)	79	94	70	82	74	67	50	62	77	54	65	86	860
F 地域連携診療計画加算(退院支援加算)	20	15	27	17	13	10	10	10	17	11	17	24	191
G 退院後外来にて情報提供料1(添付加算)算定患者数	31	34	25	36	30	21	33	28	31	37	22	35	363
総合入院体制加算40%以上	43.5%	46.7%	41.8%	40.7%	41.3%	39.8%	41.3%	41.6%	41.0%	48.0%	46.4%	42.8%	42.8%
<<参照>> H28年度	43.4%	45.7%	42.2%	49.2%	43.8%	40.9%	46.5%	44.2%	40.7%	44.0%	42.2%	44.9%	43.9%
救急搬送後の精神疾患又は精神療法算定件数 (年間20件以上)	0	1	3	3	1	2	8	6	2	4	7	5	42

DPC 29年度 緊急入院・予定入院・緊急入院(救急医療除く)

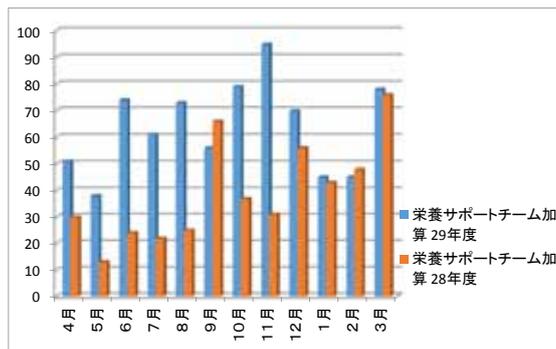
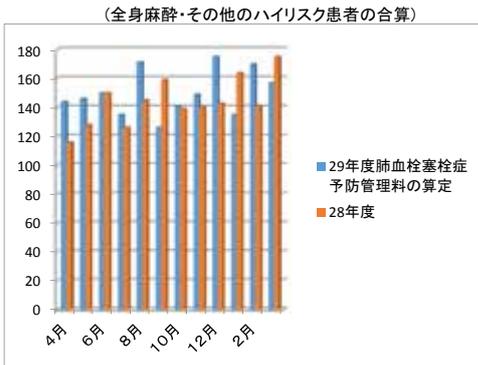
平成28年	患者数		患者数		患者数	
月	29年度予定入院	28年度	29年度緊急入院	28年度	29年度A:緊急入院(救急医療入院を除く)	28年度
4月	185	153	214	148		232
5月	204	180	216	129		208
6月	212	193	211	154		225
7月	199	170	189	120		253
8月	228	191	183	112		230
9月	209	209	175	96		217
10月	211	154	147	115		219
11月	192	170	156	108		206
12月	179	173	168	141		230
1月	225	200	160	134		240
2月	185	158	157	176		221
3月	232	209	203	237		213
合計	2,461	2,160	2,179	1,670		2,694
						3,360

肺血栓栓症予防管理料の算定状況

月	29年度肺血栓栓症予防管理料の算定	28年度
4月	144	116
5月	146	128
6月	150	150
7月	135	126
8月	171	145
9月	126	159
10月	141	139
11月	149	140
12月	175	143
1月	135	164
2月	170	141
3月	157	175
合計	1,799	1,726

栄養サポートチーム加算

月	29年度	28年度
4月	51	30
5月	38	13
6月	74	24
7月	61	22
8月	73	25
9月	56	66
10月	79	37
11月	95	31
12月	70	56
1月	45	43
2月	45	48
3月	78	76
合計	765	471



地域医療連携室

地域医療連携室 主任 砂川 直樹

職員数

総数

14名

職種別

一般事務	7名	入退院調整看護師	1名
医療ソーシャルワーカー	6名		

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	6
精神保健福祉士	1

認定・資格名	人数
介護支援専門員	1
医療福祉連携士	1

理念

ハートライフ病院地域医療連携室は、「患者さん」を中心として「地域社会・連携先各機関」と「ハートライフ病院」がスムーズに連携出来るように機能することを目的として存在する。

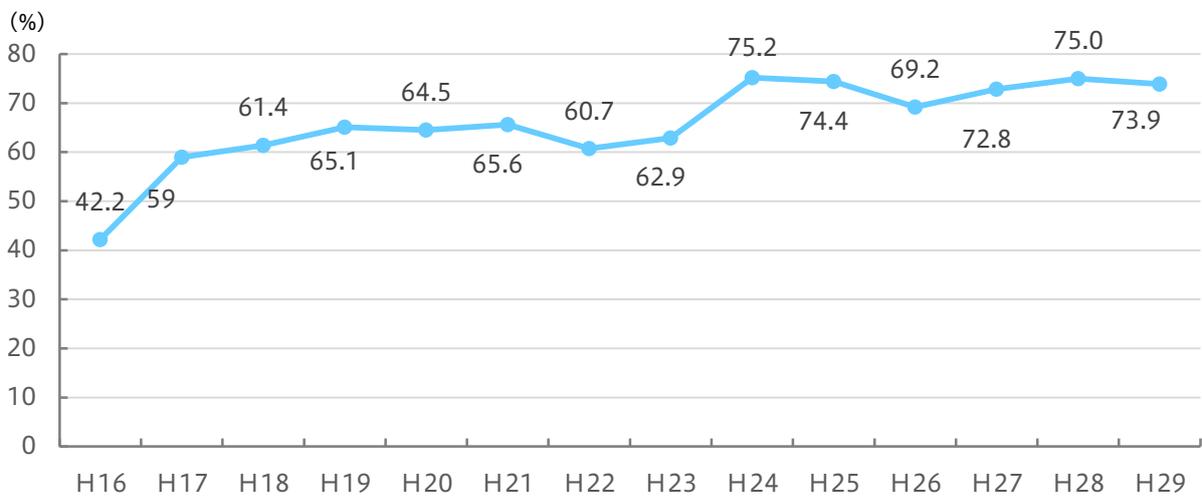
運営方針

- ①患者さんとそのご家族、連携先各機関の信頼に応える支援を目指す。
- ②院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築に努める。
- ③常に、部署のチーム力と接遇スキルの向上を目指し続ける。

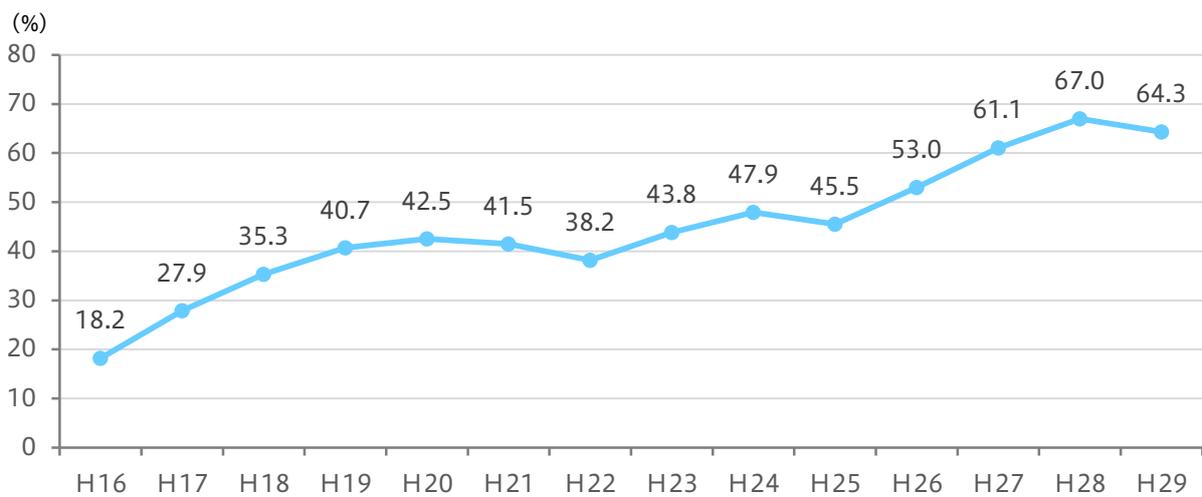
業務実績

【前方連携（事務）担当の実績報告】

地域医療支援病院紹介率の実績（月平均紹介率 基準値 65% 目標値 71%）



地域医療支援病院逆紹介率の実績（月平均逆紹介率 基準値 40% 目標値 55%）

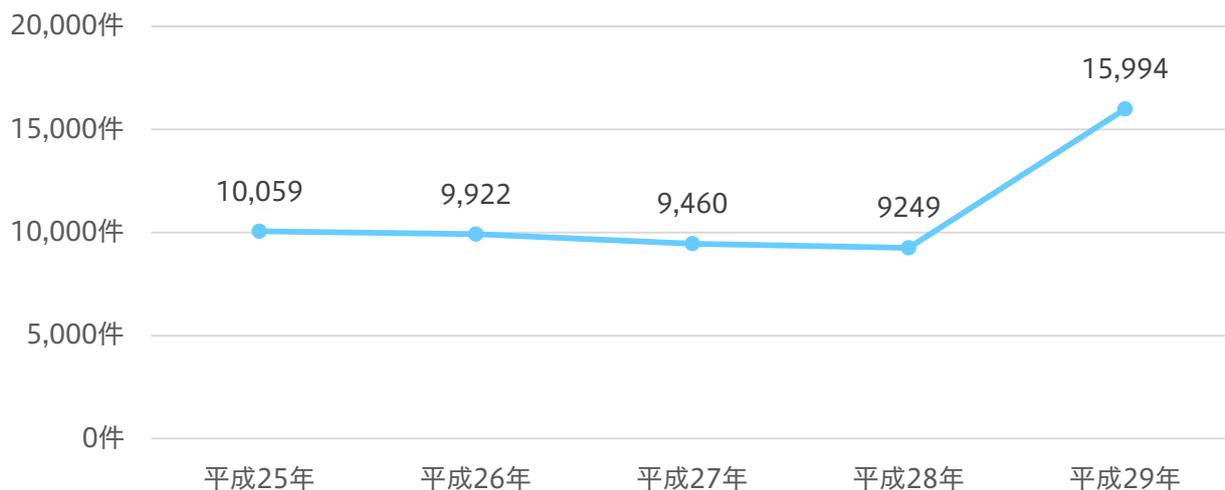


【後方連携（医療ソーシャルワーカー）担当の実績報告】

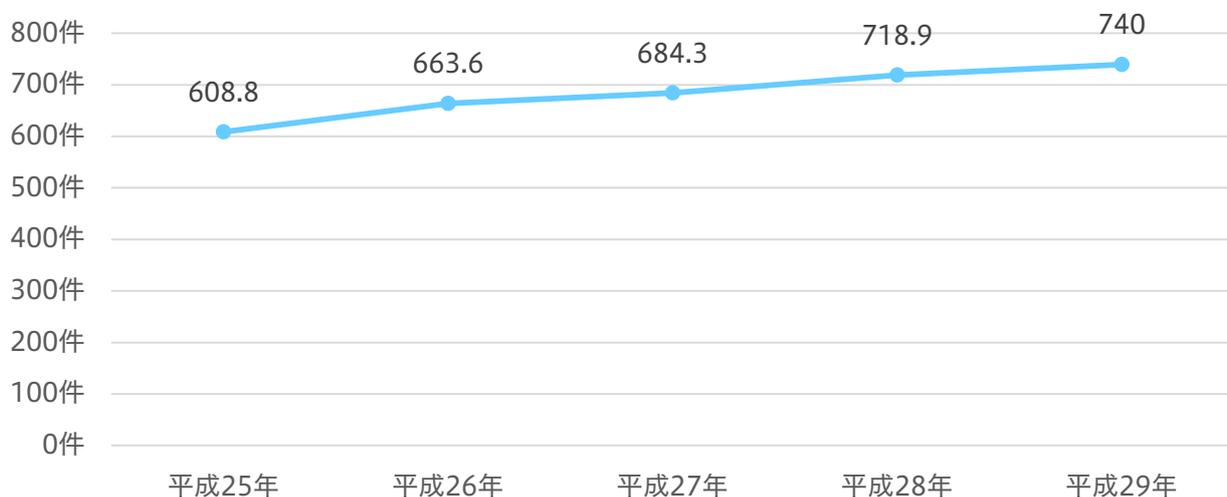
全体の相談件数の推移

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
延べ件数	10,059	9,922	9,460	9,249	15,994
月平均の延べ件数	838	826	788	771	1,333
月平均の新規入院	608.8	663.6	684.3	718.9	739.5
病床利用人数	276.8	277	275.7	274.7	288.4
在院日数	13.7	12.6	12.2	11.6	11.6

延べ件数

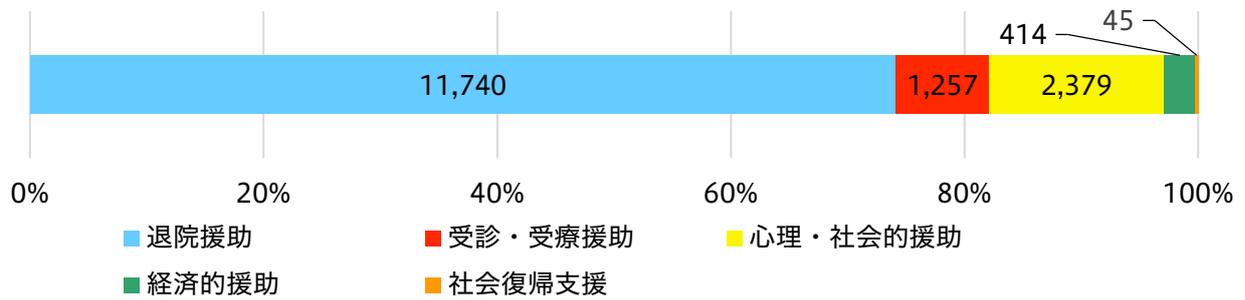


月平均の新規入院

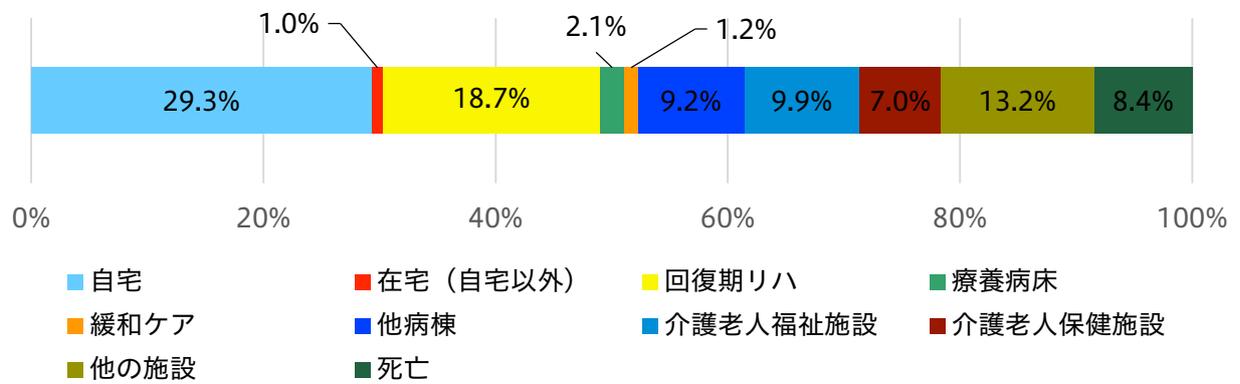


【相談援助ケース（入院）の概要】

相談援助内容



MSW 援助後の退院先種別



【卒後臨床研修事務局の実績報告】

卒後臨床研修事務局主催のセミナーや懇談会など

内容	開催地	日程
新研修医オリエンテーション	当院	2017年4月5日～7日
福井大学医学部附属病院救急総合診療部 林寛之先生による講演会	当院	2017年7月6日
前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 小倉崇以先生による講演会	当院	2017年12月21日
平成29年度第1回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2017年6月22日
平成29年度第2回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2018年3月8日
平成29年度初期臨床研修医修了式・修了パーティー開催	西原町	2018年3月23日

セミナー・勉強会などへの参加

内容	開催地	日程
群星沖縄新研修医オリエンテーション	宜野湾市	2017年4月3日～5日
沖縄県医師会新研修医歓迎レセプションへの参加	南風原町	2017年4月7日
群星沖縄会議	浦添市	2017年4月10日～2018年3月12日
平成29年度臨床研修医確保対策合同説明会参加モデル事業第1回作業部会への参加	南風原町	2017年6月7日
研修医募集定員に係る調整会議への参加	南風原町	2017年6月16日
琉球大学医学部クリニカルクラークシップに関する会議	西原町	2017年9月29日
県内の専門(後期)研修説明会	南風原町	2017年12月10日
群星沖縄ポートフォリオ大会・忘年会への参加	那覇市	2017年12月11日
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第2・第4火曜日
基本的臨床能力評価試験	当院	2018年2月3日
群星沖縄修了式への参加	宜野湾市	2018年3月14日
臨床研修事務担当者勉強会への参加	南風原町	2018年3月16日
臨床研修病院長等会議への参加	南風原町	2018年3月26日

医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部クリニカルクラークシップ学生(5～6年次)受け入れ(延べ50名)	2017年4月17日～2018年3月16日
琉球大学医学5～6年次学生1日泌尿器実習受け入れ(延べ9名)	2017年4月10日～2018年2月26日
医学生病院見学受け入れ(延べ26名:県外9名、県内17名)	2017年5月31日～2012年3月29日
琉球大学医学部附属病院 1年目研修医受け入れ(1名:救急1名) 2年目研修医受け入れ(6名:救急1名、消化器内科1名、循環器内科1名、血液内科1名、麻酔科1名、放射線科1名)	2017年4月1日～2018年2月28日
山口大学医学部附属病院 2年目研修医受け入れ(1名:産婦人科)	2017年5月1日～2017年6月30日
沖縄協同病院 2年目研修医受け入れ(1名:整形外科)	2017年6月1日～2017年6月30日
中頭病院 2年目研修医受け入れ(1名:血液内科)	2017年8月1日～2017年9月30日
大浜第一病院 2年目研修医受け入れ(1名:産婦人科)	2017年10月1日～2017年10月31日
中部徳洲会病院 2年目研修医受け入れ(1名:産婦人科)	2018年1月1日～2018年1月31日
南部徳洲会病院 2年目研修医受け入れ(1名:産婦人科)	2018年2月1日～2018年2月28日
浦添総合病院 1年目研修医受け入れ(1名:産婦人科)	2018年3月1日～2018年3月31日

リクルート活動

内容	開催地	日程
琉球大学医学部に於て初期臨床研修病院説明会への参加	西原町	2017年6月3日
レジナビフェア大阪(研修病院説明会)への参加	大阪府	2017年7月2日
レジナビフェア東京(研修病院説明会)への参加	東京都	2017年7月16日
レジナビフェア福岡(研修病院説明会)への参加	福岡県	2018年3月4日
レジナビフェア東京(研修病院説明会)への参加	東京都	2018年3月18日

研修参加実績

内容	開催地	日程
院内 BLS・ICLS (1年目研修医 5名参加)	当院	2017年4月15日
新臨床研修医 RyuMIC 講習会 AHA BLS Provider コース(G2015) (1年目研修医 5名参加)	西原町	2017年4月22日 (5名)
新臨床研修医 RyuMIC 講習会 AHA ACLS Provider コース (G2015) (1年目研修医 5名)	西原町	2017年5月20日～21日(5名)
JPTC in Okinawa (1年目研修医 2名、2年目研修医 2名参加)	中城村	2017年6月3日、2017年6月4日、2017年12月9日
第1回 T&A マイナーエマージェンシーコース in Okinawa (1年目研修医 2名、2年目研修医 2名参加)	西原町	2017年9月3日
ICLS	愛知県	2017年11月26日
エコー勉強会	当院	2017年7月17日、2017年11月25日、2018年2月24日
新生児蘇生法専門コース (2年目研修医 2名参加)	南風原町	2018年2月3日
PALS Provider コース (2年目研修医 1名参加)	浦添市	2018年3月10日～11日

その他

内容	開催地	日程
実習生対応(美東中学校 3名)	当院	2017年12月13日
平成 29 年度 RyuMIC 臨床研修指導医養成講習会(医師1名参加)	西原町	2018年1月20日～21日

活動実績

各種勉強会

開催年月日	担当科	開催場所	院外参加者	院内参加者	合計
2017年4月26日(水) 18:00～20:00	救急	講堂	52	34	86
2017年5月25日(金) 19:00～21:00	消化器	講堂	6	21	27
2017年7月26日(水) 18:00～20:00	救急	講堂	62	52	114
2017年7月27日(木) 19:00～21:00	消化器	講堂	2	23	25
2017年8月21日(月) 13:30～16:30	中部地区医師会(消化器)	講堂	5	7	12
2017年9月9日(土) 13:30～16:30	形成・皮膚	講堂	19		19
2017年10月5日(木) 19:00～20:30	消化器	講堂	3	18	21
2017年11月1日(木) 18:00～20:00	救急	講堂	45	57	102
2017年11月30日(木) 19:00～21:00	消化器	講堂	1	23	24
2018年1月19日(木) 19:15～21:35	循環器	講堂	16	69	85
2018年1月19日(木) 19:15～21:35	消化器	講堂	2	17	19
2018年2月21日(木) 18:00～20:15	救急	講堂	76	46	122
2018年3月22日(木) 19:00～20:00	消化器	講堂	2	14	16

地域医療連携室主催の研究会や懇談会など

名称	開催地	開催年月日	参加者
県民健康フェア	宜野湾市	2017年8月20日	佐久間・高澤

名称	開催地	開催年月日	参加者
地域医療支援病院運営委員会	当院	2017年8月23日	前方連携
ハローワーク適職発見プロジェクト	当院	2017年9月25日	望月
第14回 地域医療連携懇談会	西原町	2017年9月28日	連携室全員
九州MSW協議会教育研修部会	長崎県	2017年11月24日	望月
地域連携勉強会	当院	2018年1月15日	前方連携
地域連携勉強会	当院	2018年3月15日	Dr 西原・新垣・喜納
第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会 実行委員会	当院	10月より月1回	
おきなわ多発性骨髄腫患者の会	当院	通年	西田
めだかの学校 (MSW 協会初任者勉強会)	院外	通年	
めだかの放課後 (MSW 協会中堅者勉強会)	沖縄市	通年	
OGSV (MSW 協会上級者勉強会)	那覇市	通年	

講演会・懇談会などへの参加実績

名称	開催地	開催年月日	参加者
南部地区連携懇談会		2017年9月15日	Dr. 西原・新垣・砂川・喜納
牧港中央病院 40周年記念式典、祝賀会	宜野湾市	2017年8月23日	望月、西田
大浜第一病院地域連携懇親会	那覇市	2017年10月19日	Dr 西原・新垣・西田
南部医療センター・こども医療センター地域医療連携意見 交換会	那覇市	2017年10月26日	Dr 西原・望月
浦添総合病院レセプション	那覇市	2018年1月10日	砂川・西田
中頭病院レセプション	沖縄市	2018年1月25日	Dr 西原・喜納
県立中部病院連携懇談会	北谷町	2018年2月1日	Dr 西原・新垣
国立沖縄病院新病棟 落成レセプション	宜野湾市	2018年2月21日	Dr 西原・新垣
国立沖縄病院新病棟 内覧会	宜野湾市	2018年2月24日	望月・西田・川満・高澤
豊見城中央病院懇談会	那覇市	2018年3月8日	喜納

研修・講演会参加など

名称	開催地	開催年月日	参加者
医事システム講習会	当院	2017年4月18日	新垣・砂川・喜納・仲本・嶋崎
分析ソフト勉強会	当院	2017年5月16日	砂川・喜納
日本医療社会福祉協会全国大会	北海道	2017年6月2日～6月4日	望月
病院医療ソーシャルワーカー研修会	東京都	2日間	川満
嘔吐患者に应答せよ	当院	2017年7月6日	砂川
日本医療マネジメント学会 参加	宮城県	2017年7月7日～8日	新垣
DV 被害女性の早期発見と対応	当院	2017年7月25日	西田
他科から紹介される産婦人科疾患	当院	2017年8月3日	砂川
MSW 協会と老健協会の合同研修会	南風原	2017年8月16日	川満・佐久間
日本医療ソーシャルワーク学会	山梨県	2017年9月16日～17日	望月
アルコール関連問題研修会	金武町	2017年10月20日	徳盛
日本医療ソーシャルワーク学会九州沖縄地区研修会	福岡県	2017年10月28日	望月
沖縄県 MSW 協会中堅者研修会	那覇市	2017年11月19日	望月・西田
九州 MSW 研修会ながさき大会	長崎県	2017年11月25日～26日	望月
九州 MSW 協議会中堅者研修会	長崎県	2017年11月24日	望月
院内緩和ケア勉強会	当院	2017年12月18日	望月・西田・川満・高澤・徳盛
平成 29 年度沖縄県緩和ケア研修会	当院	2018年1月6日～7日	Dr 西原・竹本・望月

名称	開催地	開催年月日	参加者
急性期病院に求められる地域包括ケアシステムとの連携	当院	2018 年 1 月 31 日	竹本・望月・川満・徳盛・高澤・新垣
沖縄県ソーシャルワーカー学会 社会福祉公開セミナー	宜野湾市	2018 年 2 月 24 日	望月・川満・徳盛・高澤
化学療法勉強会	当院	通年	
平成 29 年度 在宅医療・介護連携推進事業 研修会	院外	通年	
がん相談員実務者研修会	県内	通年	
入退院支援連携デザイン研修会	宜野湾市	通年	

連携に関わる外部会議等

名称	開催地	開催年月日	参加者
おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	那覇市	2017 年 11 月 20 日	川満
南城市介護保険関係者 研修会・交流会	南城市	2017 年 11 月 29 日	川満・高澤
中部保健所管内における救急告示病院と精神科医療機関との連絡会議	沖縄市	2018 年 2 月 21 日	望月
琉球大学医学部附属病院地域医療連携連絡協議会	西原町	2018 年 3 月 15 日	望月
中部地区連携研究会	沖縄市	通年	望月
中部地区医師会広域連合区在宅医療介護連携推進会議	北谷町	通年	望月
中部地区医師会第在宅医療・介護連携推進市町村合同会議	北谷町	通年	望月
西原町高齢者虐待防止対策協議会	西原町	通年	望月
西原町高齢者虐待防止対策協議会実務者会議	西原町	通年	望月

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
「住宅型有料老人ホームで本当に看取りが続けられるか?」～急性期病院併設の住宅型有料老人ホームが目指すもの～	九州 MSW 研修会ながさき大会	長崎県	2017 年 11 月 25 日～26 日	望月祥子

血液内科移植サポートスタッフ業務

名称	対応者
血縁ドナー対応	西田
院外からの術前健診、術後健診の調整、対応	西田・新垣
レシピエントへの移植サポート業務対応	西田
臍帯血運搬費用関連	西田
骨髄バンク運搬費用関連	西田・新垣
骨髄移植の覚書・運搬調整関連	新垣
骨髄採取の覚書関連	新垣

出前健康講話

演 題	依 頼 元	日付	講演担当医師
熱中症	西原町掛保久自治会	2017 年 4 月 6 日	救急看護認定看護師 兼本 愛美
変形性膝関節症予防!～要支援・要介護にならない為の予防運動～	西原町小波津団地自治会	2017 年 4 月 12 日	理学療法士 長嶺 敦司
運動療法で糖尿病予防	西原町上原自治会	2017 年 5 月 16 日	理学療法士 長嶺 敦司
認知症予防について	西原町日間自治会	2017 年 5 月 19 日	心療内科医長 菅野 善一郎
脳卒中ってどんな病気?	西原町池田自治会	2017 年 6 月 8 日	脳神経外科部長 末吉 健次
正しい薬の飲み方・使い方	西原町小波津団地自治会	2017 年 6 月 13 日	薬剤師 田中 泉
脳梗塞に負けないために	西原町小橋川自治会	2017 年 6 月 28 日	脳神経外科医長 上笹 航
介護予防	西原町上原自治会	2017 年 7 月 19 日	理学療法士 玉城 義彦
変形性膝関節症について	西原町掛保久自治会	2017 年 7 月 20 日	理学療法士 長嶺 敦司
清く!正しく!健康食品	西原町掛保久自治会	2017 年 9 月 7 日	管理栄養士 當眞 結子

演 題	依 頼 元	日付	講演担当医師
いつまでも自分の足で歩こう	西原町幸地高層住宅自治会	2017年9月14	理学療法士 玉城 義彦
多脂肪を減らす運動は？	西原町上原自治会	2017年9月19	理学療法士 長嶺 敦司
大腸がんで死なないために～早期治療・早期発見が大切～	西原町上原自治会	2017年9月27	外科部長 宮平 工
肥満と健康	西原町池田自治会	2017年10月12	管理栄養士 棚原 佳世
正しく知って予防しよう インフルエンザ	宜野湾市野嵩1区自治会	2017年10月17	感染管理認定看護師 石川 由希
健康食品との付き合い方	西原町いいあんべ一家(西原町じぶん教室)	2018年1月23	管理栄養士 高屋 美希
これなら私にもできる!変形性膝関節症予防～自分の膝は自分で守ろう～	西原町上原自治会	2018年3月16	理学療法士 長嶺 敦司

実習生受け入れ

名称	開催地	開催年月日	対応者
専門学校那覇日経ビジネス	当院	2017年8月3日	望月・喜納
名桜大学	当院	2017年8月31日	望月・喜納
沖縄看護専門学校看護実習生(老年看護)	当院	年6回	望月・高澤
沖縄国際大学社会福祉士相談援助実習	当院	2017年8月7日～9月7日	望月・西田・宮城・川満・徳盛・高澤
名桜大学学生受け入れ(診療情報管理士)	当院	2017年8月31日	望月
ぐしかわ看護専門学校統合実習	当院	年4回	望月・川満
実習生受け入れ(沖縄中央学園)	当院	2017年11月29日	前方連携
沖縄看護専門学校統合実習	当院	年3回	望月

市民公開講座

名称	年月日	演者
大腸カメラを使わない大腸検査	平成29年4月22日	放射線科 松田 優二
口腔ケアで合併症予防 歯科衛生士	平成29年5月27日	歯科衛生士 幸喜 奈緒子
もっと知りたい子どもの食物アレルギー	平成29年6月24日	小児科 崎原 徹裕
高齢者と薬	平成29年7月22日	薬局 義田 郁美
これなら私にも出来る!変形性膝関節症予防	平成29年8月26日	疾病予防運動施設リユーズ 長嶺 敦司
正しく知って予防しようインフルエンザ	平成29年9月30日	感染対策管理室 石川 由希
大腸がんで死なないために	平成29年11月18日	外科部長 宮平 工
肛門から出血!痔か大腸がんか?	平成29年12月16日	大腸・肛門外科副部長 阿嘉 裕之
乳がん～早期発見と治療について～	平成30年1月27日	乳腺外科副部長 野村 寛徳
肥満と健康	平成30年2月24日	栄養科 高屋 美希
大腸がん～費用面から～	平成30年3月26日	医師 西原 実、薬剤師 田中健嗣、MSW 川満慎吾

実績報告資料等

平成29年度の目標

- I. 社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受け入れ件数1,700件/年↑
僻地医療の検討と取り組み
- II. 地域医療支援病院（紹介率65%↑・
逆紹介率40%↑）としての役割強化
目標 紹介率80%・逆紹介率70%
- III. 新規入院患者数増 目標720人/月
- IV. 病床利用率92.5%の達成
（92.5%=平均利用率285床）
- V. 平均在院日数の短縮 目標12.0日以内

達成度（実績）

- ① 救急隊への毎月の訪問、救急症例検討会の内容の充実。近隣登録医ヘドクターカー型救急車出動を行い、救急隊の負担軽減に繋がっている。夜間救急受け入れの目標は達成した。
- ② 紹介率 73.9%・逆紹介率 64.3% ⇒ 目標未達成
- ③ 各種勉強会、地域医療連携懇談会の開催。
- ④ 新規入院患者数は739.5/月、平均在院日数11.6日と目標『達成』。病床利用率は284.4床と目標未達成。

平成30年度の目標

- I. 社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受け入れ件数1,700件/年↑
僻地医療の検討と取り組み
- II. 地域医療支援病院（紹介率65%↑・
逆紹介率40%↑）としての役割強化
目標 紹介率80%・逆紹介率70%
- III. 新規入院患者数増 目標740人/月
- IV. 病床利用率92.5%の達成
（92.5%=平均利用率285床）
- V. 平均在院日数の短縮 目標11.7日以内

附随業務部門 食堂とまと

課長 比嘉 靖

院内食堂として別館1階で営業を行っています。お客様の約6割が病院職員で、平日の日替わりランチ2種類、店舗販売の弁当については、職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。また、当院人間ドックを利用されたドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8階人間ドックの専用レストランにてお食事を提供しております。営業は、月曜日から土曜日、11時30分から15時まで、日曜日は休日になります。

平成29年度は、前年に比べて売上高、客数（一般客、職員）共に増加しました。病院増改築に伴う工事関係業者の利用も増加の要因と考えます。



店舗外観



ドック食

職員数

総数

10名

職種別

調理師 2名

調理補助 7名

調理員 1名

経営方針

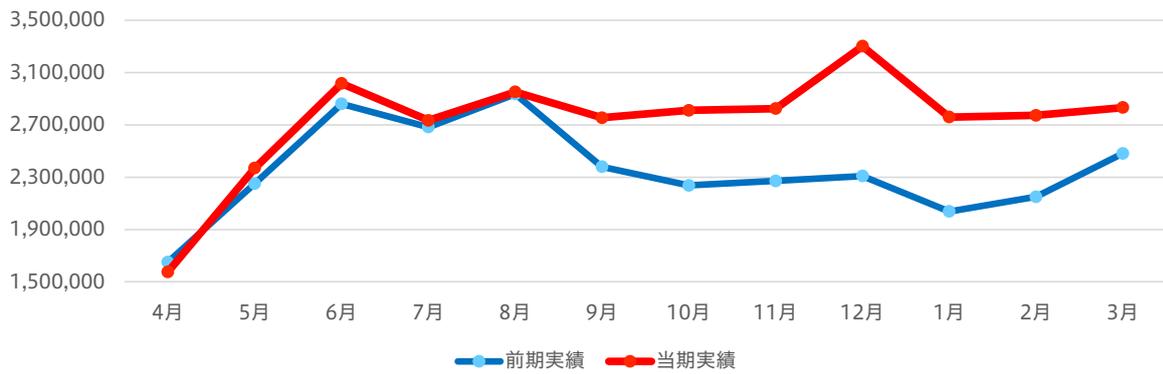
職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

活動報告

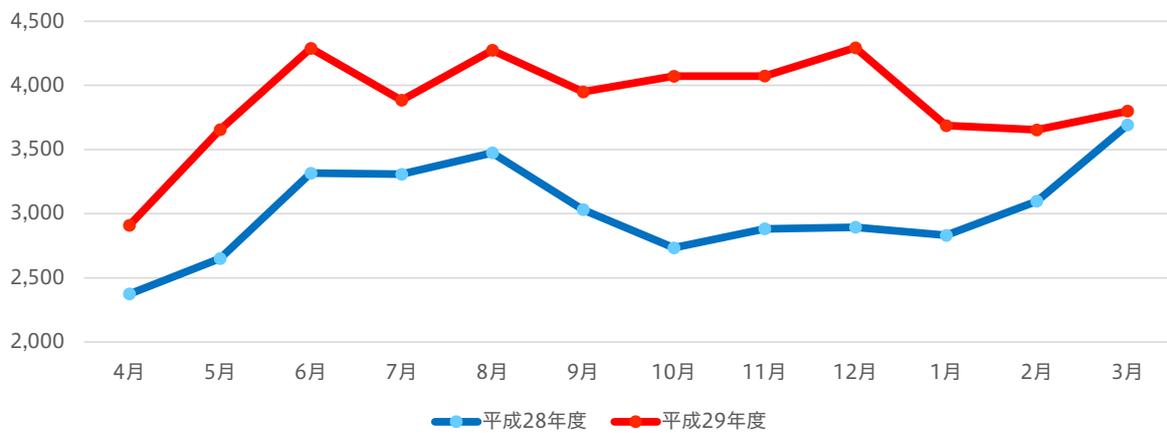
- ・ 人間ドック食メニューの刷新（平成29年12月）
- ・ 営業許可証の5年更新（平成30年1月）
- ・ 新規ランチメニューを追加（平成30年2月）
- ・ お客様の要望に応えるためのアンケート調査を実施（平成30年3月）

業務実績

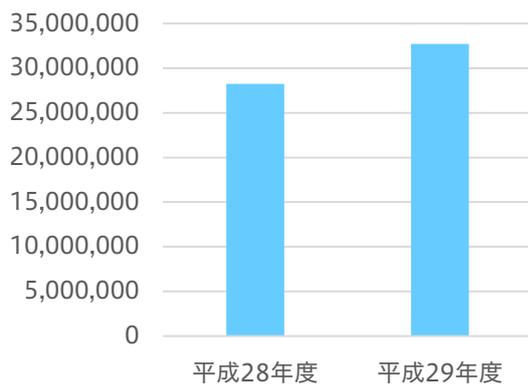
売上推移



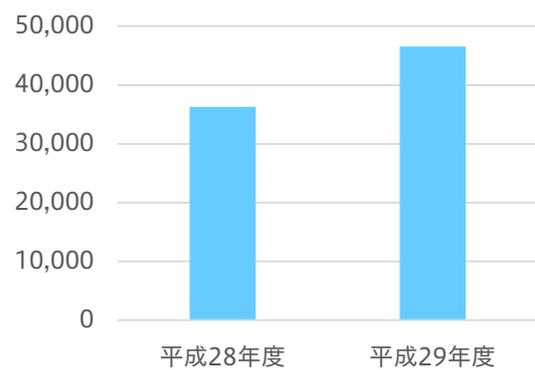
客数推移



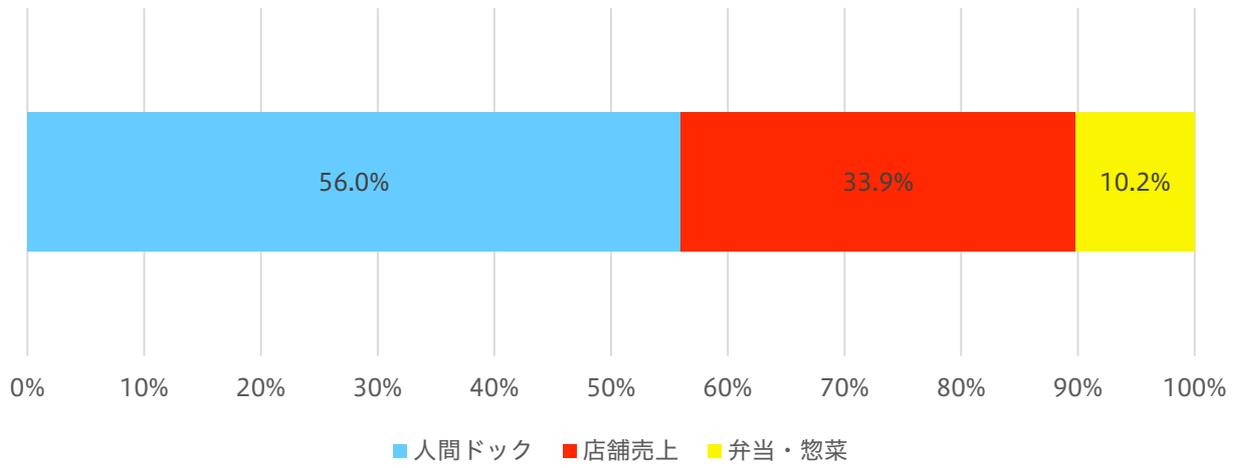
総売上高推移



総客数推移



売上割合



事務部 年度総括



事務部長
當銘 秀之

平成 29 年度は、年度途中で事務局長が新たに就任し、事務部長も 2 名体制となりましたので、事務部全職員が法人事務局所属になりました。毎年多少なりとも組織改革を行い、今後も業務改善と時代に対応した組織作りを行ってまいります。

さて、平成 24 年から構想を開始し順調に工事が進捗していました東館増築工事が 7 月に竣工を迎え、9 月から運用が開始されました。構想開始から竣工まで 5 年に及ぶ長期間に渡っての一大プロジェクトが無事完了致しました。一番大きな工事は終了しましたが、現在も本館と西館の改修工事は進んでおり、平成 30 年 4 月には手術室 3 室の増室工事、放射線室、生理検査室、地域医療連携室の改修工事が終了します。それ以降もリハビリテーション室、救急センター、予防医学センター、内視鏡センター、小児科診察室の改修工事が次年度中に次々と完了予定です。同時に進行している立体駐車場建築工事も 5 月には完成・運用開始の予定です。工事期間中は、ご利用の皆様へご迷惑ご不便をお掛け致しますこととお詫び申し上げますとともに、今後も職員の皆さま方の更なるご協力を宜しく願います。

平成 29 年度は、保育園の開設、市民公開講座の実施、各種加算や指導料取得に向けた多種ワーキンググループの活動に事務部職員が多数関わり、素晴らしい成果・結果を残しました。各担当者の尽力に心より感謝申し上げます。また、多忙の中、職員の皆さんは資格取得にも挑戦し、新たに以下資格試験に合格者を出すことができました。今後も職員が自己啓発に取り組むことができるように、サポートしていきたいと考えています。

- ・ 診療情報管理士 : 2 名 (内 1 名はクリニック所属)
- ・ 医療経営士 3 級 : 2 名
- ・ 医療情報技師 : 1 名

平成 30 年度は、病院目標の一つでもあります 5 年後を見据えた人材育成に取り組みます。その第一弾として、4 月から大学新卒者を迎えて、9 カ月間の長期研修を行います。数年先に新卒入職者の成長している姿を見ることが、今から大変楽しみです。

また、平成 30 年度は、医療介護同時改定、社会医療法人の監査、病院創立 30 周年記念、病院機能評価受審と、イベントが多々ありますので、「笑顔で親切」のスローガンのもと、様々なイベントを職員一丸となって乗り切っていく所存です。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	29 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	外間真紀子
委員名	<p>【医局】久場良也、高良 誠、仲本正哉、大田沙也加、石川 樹 【看護部】宮平典子、外間真紀子、安村公均、古波倉美登利、宮城幸恵、堀江恭子（糖尿病療養指導士）、甲斐博子 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣、田中 泉、大城 安、野原 剛、真栄城ゆかり、石原 悟、斉藤辰好、長嶺敦司、島田真紀子、佐々木正雪 【事務部】仲地智俊、宮城淳、河上裕一、大湾政作 【ハートライフクリニック】林 広江 【ハートライフ地域包括ケアセンター】比嘉藤子</p>		
活動目的	<p>1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上をはかる。 2) 医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。</p>		
活動内容	<p>1) 医療事故防止策の検討及び研究に関すること 2) 医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3) 医療事故防止のための職員に対する指示に関すること 4) 医療事故防止のために行う提言に関すること 5) 医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6) リスクマネージャーの養成に関すること 7) その他医療事故の防止に関すること ※委員会開催：毎月第 3 金曜日 17:00 ～</p>		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	14名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	野原 剛
委員名	【医 局】久場良也 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、安村公均、外間真紀子、米須智子、宮平典子、古波倉美登利、竹本直美、宮城 つかさ 【医療技術部】野原 剛、田中 健嗣 【事務部】比嘉 靖、具志堅徳明		
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
活動内容	1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
備考	平成29年度の振り返り 医療ガス安全・管理委員会は医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的に取り組んでいます。 ※医療ガス安全・管理委員会事務局担当者が大城から野原へ変更になりました。 平成30年度に向けた展望 平成30度は医療ガスの安全管理教育を当院の医療ガス安全・管理委員が行う予定です。 また、医療ガス法定点検及び自主点検を確実に実施します。		

実績報告資料等

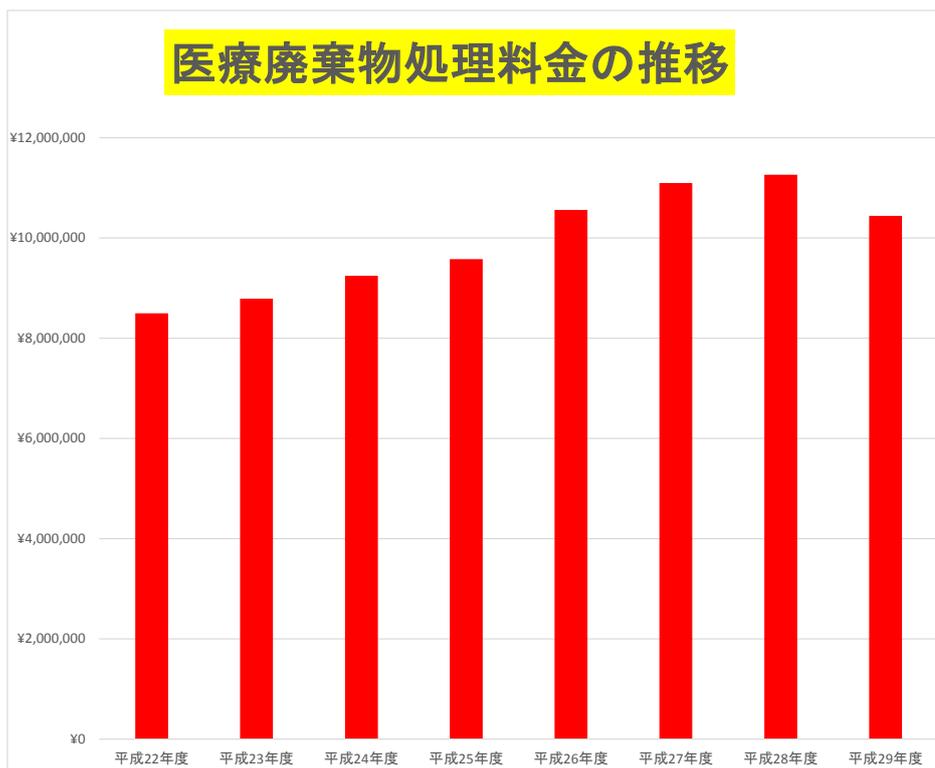
医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	14 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	外間真紀子
委員名	【医 局】久場良也、佐久川 廣、西原 実、宮平 工、與座 一、末吉健次 【医療安全管理室】外間真紀子（専従看護師） 【看護部】宮平典子、古波倉美登利、安村公均、宮城幸江 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、仲地智俊、宮城 淳、大湾政作		
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため		
活動内容	1) 医療事故発生の実事及び経過の確認に関すること 2) 医療事故の原因調査に関すること 3) 医療事故発生に伴う対応策に関すること 4) 訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	20 人
事務局・担当部署	事務部	担当者名	宮里 毅
委員名	【医 局】普天間光彦 【看護部】古波倉 美登利、内間幸人、安村公均、外間真紀子、米須智子、崎山久美、島袋すが子、比嘉憲貴、宮城つかさ、喜屋武香織、竹本直美、城間克也 【医療技術部】仲座義富、斎藤辰好、田中健嗣、砂川 実 【事務部】吉川 忍、宮里 毅、大城利信(国際ビル)		
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
活動内容	年 1 回以上、必要に応じて管理委員会を開催する。 1) 年 1 回、4 月入職者へのオリエンテーション 2) 国際ビル産業職員への処理及び取り扱い、感染対策等の説明指導 3) 処理法変更時、各部署へ説明指導		
備考			

実績報告資料



院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	19名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	石川由希/城間克也
委員名	【感染対策管理室】石川由希(感染管理認定看護師)、城間克也(感染管理認定看護師)、大湾政作(事務) 【医局】普天間光彦、奥島憲彦、花城直次、国島知子、川満豊、仲吉博亮、大山恵理子(研修医)、 仲本寛(研修医)、石嶺伝羽(研修医) 【看護部】宮平典子/古波倉美登利、宮城美那(手術室/感染管理認定看護師)、 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣、森山武志 【事務部】當銘秀之、松原穰二		
活動目的	1) 感染発生の予防と防止 2) 感染発生時の発生源の調査、拡散防止、治療 3) 再発防止 4) アウトブレイク時の早期対応 5) サーベイランスの実施		
活動内容	1) サーベイランスの計画、実施、評価 2) アウトブレイクの調査と対策への直接関与 3) 医療従事者への教育 4) 感染委員会のマネジメント 5) 感染管理に関する相談 6) 厚生労働省サーベイランス JANIS への参加 7) 部署のラウンドとチェック、指導 *耐性菌・抗菌薬ラウンド：毎週月曜日 14 時～ *環境ラウンド：1 回/月 15 部署 *感染対策委員会：毎月第 3 月曜日 17 時～ * ICT 会議：毎週月曜日 14 時 30 分～		
備考			

実績報告資料等

<h3>看護部新人研修</h3> 	<h3>ケアセンター・保育園 勉強会</h3> 
<h3>看護部領域、中途採用者、助手研修</h3> 	

安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会		
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	事務局	担当者名	吉川 忍
委員名	【医 局】奥島憲彦、菅谷明子、菅野善一郎 【看護部】宮平典子、石川由希、屋我裕子 【医療技術部】仲座義富、田中健嗣、島袋泰彦 【事務部】吉川 忍、波平勇一郎、大山朝史、宮城さおり、河上裕一 【ハートライフクリニック】高橋紗也子 【ハートライフ地域包括ケアセンター】西銘宣子		
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防		
活動内容	●春季職員健診、秋季職員健診の実施 ●メンタルヘルス研修会の開催（全職員対象、役職者対象を各3回） ●ストレスチェックの実施（H 29.12） ●職員B型ワクチン接種3回実施 ●職員インフルエンザワクチン接種の啓蒙 ●針刺し事故に対するフォロー実施 ●喫煙に関するアンケート調査実施 ●職員満足度調査（H29.11）ワークライフバランス委員会と共同 ●職場巡視（各部署）の実施（毎月数カ所）		
備考			

実績報告資料等



ひやみかち健康経営宣言

厚生労働省 沖縄労働局 「ひやみかち健康経営宣言」
No. 170306001
平成 27 年 3 月 6 日 登録
平成 年 月 日 更新

代表者メッセージ

沖縄が長寿日本一から転落して久しく、糖尿病罹患率が全国 1 位、肥満率も全国 1 位と長寿日本一から遠退く一方です。出生率は全国一位で少子高齢化は全国で比較すると緩やかですが、高齢者の割合も高くなっています。しかし、県民の寿命は短くなり健康寿命は更に短くなっています。健康寿命が長いことが沖縄の健康長寿日本一への最終目標で、それを実現するには現役世代の健康管理が最も重要と考えます。

社会医療法人かりゆし会では、地域の医療・保健・福祉を支える立場から「職員の健康無くして、地域の健康は守れない」をスローガンに健康経営を推進し、平成 26 年 4 月にワークライフバランス企業認証を取得いたしました。今後も、取り組みの継続と発展で、沖縄の健康長寿日本一に貢献して参ります。

取組事項

1. 「笑顔で親切」をモットーに、職員間のコミュニケーションを大切にする
2. 職員健診 100%受診の継続
3. ハラスメントをしない・させない
4. 敷地内禁煙と禁煙奨励
5. メンタルヘルス研修会の実施と職場復帰支援
6. スポーツ大会・サークル活動などの余暇活動の支援

社会医療法人かりゆし会 社会医療法人かりゆし会 社会医療法人かりゆし会
ハートライフ病院 ハートライフクリニック ハートライフ地域包括ケアセンター
院長 奥島憲彦 院長 山本 壽一 センター長 西銘 宣子

「健康経営」は厚生労働省健康経営研究所の登録商標です。


社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院


社会医療法人 かりゆし会 ハートライフクリニック

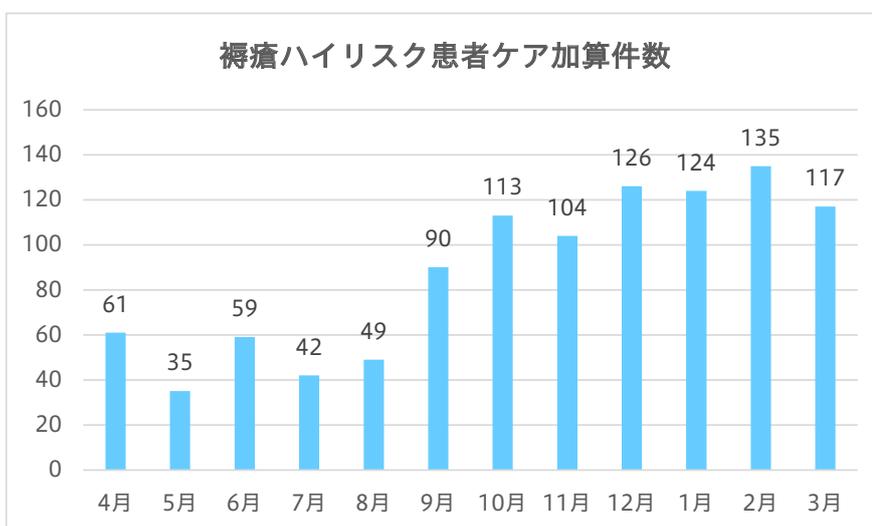
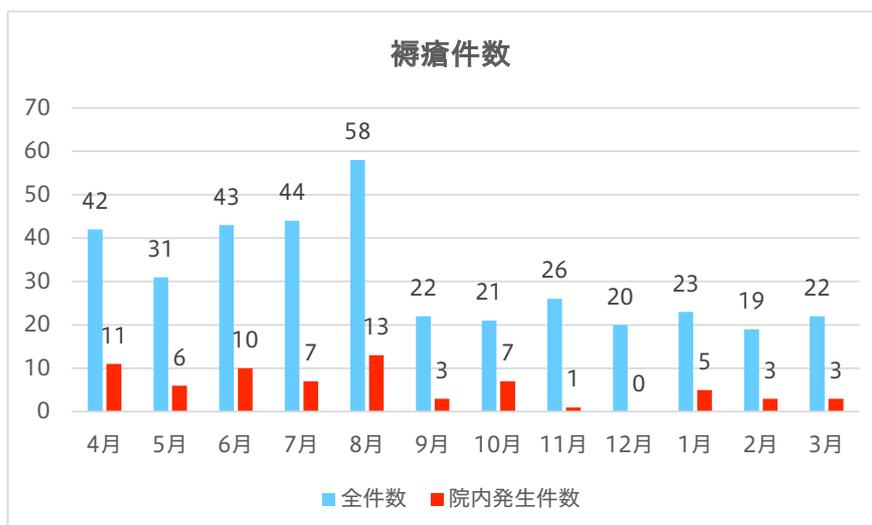

社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ地域包括ケアセンター

<http://heartlife.or.jp/>

NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会

委員会名	NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会		
委員長名	宮平 工 (NST) / 東盛貴光 (褥瘡)	構成人数	54 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	嘉数智子
委員名	<p>【医 局】宮平 工、宮城 純、阿嘉裕之、菅谷明子、東盛貴光 【看護部】嘉数智子 (褥瘡管理専従)、當眞さゆり、アーノルド寿々奈、本村いづみ、松川光代、宮里伸也、詰田千沙都、宮里 誠、比嘉由布香、與那嶺美咲、平田美加、宮城辰史、大城あやめ、平良ナナ、佐藤広美、末吉彩夏、與那城友子、與那嶺 裕、金城竜弥、玉村生子、真栄田さつき、山城由衣、諸喜田雅子、中嶋亜季美、宮城久美子、米須さやか、松原賛美、具志堅弘美、浦崎奈々瀬 【医療技術部】真栄城 ゆかり (NST 専従)、當眞結子 (栄養科)、田中 泉、西盛麻子、義田育美、富田美智代、松川玲子、大城盛彦、島田真紀子、栄野比智也、富永涼子、大見謝勝人、宮城奈津希、具志堅高弥、比嘉夏希、佐々木正雪、玉栄優子、弘岡 亮、町田絵都、新里直子 【事務部】仲宗根 豊</p>		
活動目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生 (入院時より有する) 患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上 4. 低栄養にある患者のアセスメントを行い適切なアドバイスを行う 5. オムツ交換の手技だけではなく、患者さんにとって尊厳のある排泄ケアの実施 		
活動内容	<p>毎週水曜日：褥瘡回診 毎週木曜日：NST 回診実施 外科医師、形成外科医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、褥瘡専従看護師、NST 専従管理栄養士にて回診を実施。医師による処置だけではなく、低栄養にある患者の場合は NST チームが介入し、ポジショニング指導等は理学療法士が介入し実施、指導を行なっている。</p>		
備考			

実績報告資料等



エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	7名
事務局・担当部署	管財課施設管理係	担当者名	宮里 毅
委員名	【医 局】松元 悟 【看護部】古波倉美登利 【医療技術部】仲座義富 【事務部】當銘秀之、宮里 毅、具志堅 徳明 【クリニック】野村 拓		
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、費用削減に努める。		
活動内容	1. 毎月第 2 金曜日に委員を開催し、省エネの検討を行い理事会にて提案する。 2. コピー機のランニングコスト削減を行った。 3. 契約電力の見直しを継続して行っており、最適化を行っている。 4. エネルギー合理化補助金を取得するために、業者と調整中。		
備考	【平成 28 年度実績】 ・ 全館空調に関する補助金について申請準備が完了し、次年度 6 月初旬に申請 ・ コピー機単価削減について、5 年契約で約 1700 万の削減 【平成 29 年度目標】 ・ エネルギー使用量の 1%減 (対前年比) ・ CO ₂ (総排出量) 1%減 (対前年比) ・ 補助金を活用した老朽化機器の更新 (空調・照明) ・ 24 時間使用している照明の LED への変更		

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	15人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真栄城 ゆかり
委員名	【医 局】宮平 工 【看護部】古波倉美登利、仲地ますみ、外間真紀子、洲鎌正子、宮城つかさ、米須智子、島袋すが子、安村公均、本田由佳加理、崎山久美、平屋敷加代、屋宜鮎美 【医療技術部】真栄城 ゆかり 【事務部】宮城 淳（必要時）		
活動目的	栄養管理の充実・向上とその適正な運営を図る		
活動内容	・嗜好調査、喫食調査（年4回） ・栄養管理の体制、食事計画、改善などの食事に関する検討と対策 ・上記の対策に対する評価		
備考			

実績報告資料等

嗜好調査						
1.おかずの量はいかがですか？						
おかずの量について						
	多い	やや多い	良い	やや少ない	少ない	無回答
魚や肉	5	5	57	5	3	28
野菜	7	6	52	7	3	26
果物	3	4	48	13	5	27
2.おかずの味付けはいかがですか？						
おかずの味付け						
	濃い	やや濃い	良い	やや薄い	薄い	無回答
魚や肉	2	1	55	9	5	27
野菜	1	3	55	11	5	26
果物	1	4	57	7	6	25
3.料理は適温でしょうか？						
料理は適温でしょうか？						
	ちょうど	冷めてい	無回答			
ご飯	73	6	21			
おかず	68	9	28			
汁物	66	10	23			
4.盛り付け方はいかがですか？						
盛り付けはいかがですか？						
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
	35	12	31	1	0	21

【ご意見】

- ・いつも美味しい食事有難うございます
- ・朝食のパンの回数を増やしてほしいです
- ・美味しいです。自宅でも参考にします
- ・以前みたいな選択食ができれば良い
- ・魚をカットしてほしい
- ・炊き込みご飯美味しかった
- ・いつも美味しいです。全部食べています
- ・蛋白質もっと出してほしい
- ・沖縄料理とてもおいしかった
- ・グルクンの唐揚げ硬い
- ・蒸し料理の臭いがきつい
- ・毎食果物希望
- ・朝食の冷たい料理はやめてほしい
- ・ドレッシングが付いたサラダが食べたい
- ・美味しい肉（エネ塩）

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会		
委員長名	西原 実	構成人数	13 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
委員名	【医 局】西原 実、宮城敬 【医療安全管理室】外間真紀子（専従看護師） 【看護部】安谷屋佳子、内間幸人、本田由佳理、宮城、金城 【医療技術部】田中健嗣、大関秀和、仲宗根ちひろ 【事務部】川満慎吾、田中淳也		
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	1) 化学療法の運用上の改善を行う。 2) 化学療法に係る環境の整備を行う。 3) 院内で使用されるレジメンの検証を行う。 4) 使用薬剤、器具の整備を行う。 5) 勉強会、講演の企画を行う。 6) その他、化学療法に関わるすべての事項に関して検討・対応を行う。 ※委員会開催：毎月第一木曜日		
備考			

実績報告資料等

化学療法委員会

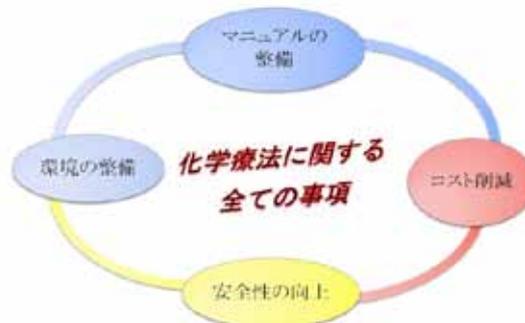
常任委員

西原外科系統括部長〈委員長〉
 宮城血液内科部長
 田中医薬品安全管理者
 大関副薬局長
 外間安全管理者
 安谷屋外来師長
 宮城4階病棟主任
 金城6階病棟主任
 内間救急外来師長
 本田師長(外科外来)〈事務局〉
 仲宗根(薬局)〈事務局〉
 川満(MSW)
 田中(医事課)

非常任委員

佐久川副院長
 喜川泌尿器科部長
 菅天間呼吸器内科部長
 武田婦人科部長
 大西産科部長
 折田内視鏡センター長

化学療法委員会の役割



H29年度の活動内容

- プロトコールシステムの整備・改定
- マニュアルの整備・改定
- 曝露対策マニュアルの改訂
- 新通院治療室の運用開始
- がん治療学会への参加
- 閉鎖式デバイスの導入準備
- 院内勉強会年2回開催
- 化学療法加算 955件
- 外来通院治療室 化学療法件数 1251件

H30年度の活動目標

- プロトコールシステムの整備・改定
- マニュアルの整備改定(曝露対策マニュアル)
- 学会発表・参加
- 院内勉強会の開催
- 閉鎖式デバイスの導入
- 化学療法加算増加・がん患者指導料の算定増加への取り組み
- 無菌調整処理加算取得に向けた取り組み
- がん患者指導管理料の算定増加

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会		
委員長名	西原 実	構成人数	8名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	宮平奈美子
委員名	【医 局】西原 実 【看護部】竹本直美、砂川克子 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】宮平奈美子、桑江 高、望月祥子、兼濱亜紀		
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん医療の提供の推進を図る。		
活動内容	1) セカンドオピニオンの受け入れ、他院への依頼 2) 緩和ケア病院への紹介 3) がん患者さんへの在宅退院への支援 4) 全国がん登録提出 5) 院内がん登録提出 6) 緩和ケア指導者研修会参加 7) 研修会・セミナー参加 8) 研修会開催 9) 沖縄県がん診療連携協議会聴講参加 10) その他		
備考			

実績報告資料等

1. セカンドオピニオン(件)	<p><他院へ依頼></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外科</td><td>15</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>3</td></tr> <tr><td>婦人科</td><td>3</td></tr> <tr><td>呼吸器内科</td><td>2</td></tr> <tr><td>血液内科</td><td>2</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>2</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1</td></tr> <tr><td>耳鼻科</td><td>1</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1</td></tr> <tr><td>腎臓内科</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>31</td></tr> </tbody> </table>	H29年度		外科	15	消化器内科	3	婦人科	3	呼吸器内科	2	血液内科	2	泌尿器科	2	脳神経外科	1	耳鼻科	1	整形外科	1	腎臓内科	1	計	31	2. 緩和ケア病院への紹介(件)	<p><病院別></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>沖縄病院</td><td>13</td></tr> <tr><td>AMC</td><td>11</td></tr> <tr><td>南部病院</td><td>1</td></tr> <tr><td>オリーブ山病院</td><td>6</td></tr> <tr><td>与勝病院</td><td>1</td></tr> <tr><td>待機中に死亡</td><td>12</td></tr> <tr><td>計</td><td>44</td></tr> </tbody> </table> <p><科別></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外科</td><td>19</td></tr> <tr><td>呼吸器内科</td><td>8</td></tr> <tr><td>血液内科</td><td>7</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>4</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>2</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>3</td></tr> <tr><td>耳鼻科</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>44</td></tr> </tbody> </table>	H29年度		沖縄病院	13	AMC	11	南部病院	1	オリーブ山病院	6	与勝病院	1	待機中に死亡	12	計	44	H29年度		外科	19	呼吸器内科	8	血液内科	7	消化器内科	4	産婦人科	2	泌尿器科	3	耳鼻科	1	計	44
H29年度																																																													
外科	15																																																												
消化器内科	3																																																												
婦人科	3																																																												
呼吸器内科	2																																																												
血液内科	2																																																												
泌尿器科	2																																																												
脳神経外科	1																																																												
耳鼻科	1																																																												
整形外科	1																																																												
腎臓内科	1																																																												
計	31																																																												
H29年度																																																													
沖縄病院	13																																																												
AMC	11																																																												
南部病院	1																																																												
オリーブ山病院	6																																																												
与勝病院	1																																																												
待機中に死亡	12																																																												
計	44																																																												
H29年度																																																													
外科	19																																																												
呼吸器内科	8																																																												
血液内科	7																																																												
消化器内科	4																																																												
産婦人科	2																																																												
泌尿器科	3																																																												
耳鼻科	1																																																												
計	44																																																												
3. がん患者在宅退院への支援(件)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>血液内科</td><td>5</td></tr> <tr><td>外科</td><td>4</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>3</td></tr> <tr><td>呼吸器内科</td><td>3</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>16</td></tr> </tbody> </table>	H29年度		血液内科	5	外科	4	消化器内科	3	呼吸器内科	3	泌尿器科	1	計	16	4. 全国がん登録提出件数(提出先:沖縄県環境衛生研究所)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>症例年</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提出年度</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>584</td> </tr> </tbody> </table>	症例年	H28	提出年度	H29	件数	584																																						
H29年度																																																													
血液内科	5																																																												
外科	4																																																												
消化器内科	3																																																												
呼吸器内科	3																																																												
泌尿器科	1																																																												
計	16																																																												
症例年	H28																																																												
提出年度	H29																																																												
件数	584																																																												
5. 院内がん登録提出件数(提出先:国立がん研究センター)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>症例年</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提出年度</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>434</td> <td>460</td> <td>509</td> <td>529</td> <td>589</td> <td>584</td> </tr> </tbody> </table>		症例年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	提出年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	件数	434	460	509	529	589	584																																						
症例年	H23	H24	H25	H26	H27	H28																																																							
提出年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																							
件数	434	460	509	529	589	584																																																							
6. 緩和ケア指導者研修会参加	<p>①緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会参加 H30年2月24日(土) 花城 直次</p> <p>②緩和ケア研修会新開催指針周知のための指導者研修会参加 H30年3月10日(土) 西原 実</p> <p>③緩和ケア研修会新開催指針周知のための指導者研修会参加 H30年3月11日(日) 菅野 善一郎</p> <p>④精神腫瘍学指導者研修会修了者に対する集合研修企画責任者のための講習参加 H30年3月11日(日) 菅野 善一郎</p>																																																												
7. 研修会・セミナー参加	<p>①第8回 沖縄県緩和ケア研修会 院内⇒ 医師 5名 看護師5名 薬剤師1名 MSW1名 計32名 院外⇒ 医師18名 院外看護師3名</p> <p>②第5回 院内緩和ケア研修会 院内⇒ 看護師9名 薬剤師1名 検査技師1名 理学療法士3名 臨床工学士1名 計23名 栄養士1名 はーとらいふケアマネ1名 MSW1名 前方連携1名 メディカルクラーク1名 入院事務1名 送迎係1名 病歴1名</p> <p>③がん対策推進企業アクション 統括セミナー参加 乳がん看護認定看護師 砂川</p> <p>④日本乳癌学会学術総会 参加 乳がん看護認定看護師 砂川</p> <p>⑤沖縄県がん相談員実務者研修会参加 MSW 川満、高橋</p> <p>⑥院内がん登録実務中級研修会・中級修了者研修会参加 診療情報管理室 宮平、兼濱/薬局治験 知花</p> <p>⑦院内がん登録実務中級研修会・中級修了者認定試験受験 診療情報管理室 宮平</p>																																																												
8. 研修会開催	<p>①第8回 沖縄県緩和ケア研修会開催 期日:H30年1月6日(土)・7日(日) 場所:当院 受講者32名</p> <p>②第5回 院内緩和ケア研修会開催 期日:H29年7月15日(土) 場所:当院 受講者23名</p> <p>③職員対象のがん対策勉強会 ランチョンセミナー開催 期日:H29年10月17日(火) 場所:当院 参加者50名</p>																																																												
9. 平成29年度 沖縄県がん診療連携協議会聴講参加	計4回	1回目/竹本、2回目/望月、3回目/兼濱、4回目/砂川																																																											
10. その他	<p>① 院内がん登録の予後情報支援事業への参加 5月</p> <p>② 沖縄県緩和ケア研修会合同検討会への参加 田中 5月</p> <p>③ 正面玄関へのがん小冊子設置(14部位) 5月</p> <p>④ 院内がん登録2015年症例QI研究参加 7月</p> <p>⑤ 沖縄県がん診療連携協議会ホームページ「がん種別セカンドオピニオンリスト」更新 8月</p> <p>⑥ 乳がん患者支援イベント リレーフォーライフ参加 砂川 11月</p> <p>⑦ 沖縄県院内がん登録2015年集計参加(17病院) 12月</p> <p>⑧ 第9回沖縄県緩和ケア研修会 琉大主催 看護師より本田、高宮ファシリテーターにて参加 2月</p> <p>⑨ 日本がん治療認定医機構 認定研修施設 更新 3月</p> <p>⑩ 「子宮頸がん、乳がん検診調査票」受診率把握のための女性職員アンケート実施 3月</p> <p>⑪ 市民公開講座 大腸癌 費用面から 西原/田中/川満 3月</p> <p>⑫ がん対策推進企業アクション がん検診のスヌメニュースレター2017 vol. 1~7配布</p>																																																												

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	9 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	弓濱義之
委員名	【医 局】 普天間光彦、新垣珠代 【看護部】 内間幸人、勝連しのぶ 【医療技術部】 仲松晋也、弓濱義之、波平静香、宮城奈津希、知花勝也		
活動目的	1) 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援 3) 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討		
活動内容	1) 1 週間に 1 度のラウンドの実施 ①対象患者は、人工呼吸器装着中の患者で IPPV、NPPV にかかわらず呼吸器からの離脱を目標としている患者 ②病棟リンク Ns やリハビリ担当者からの要請で、酸素両方を行っている患者のコンサルテーション 2) 人工呼吸器関連デバイスの変更や更新時の検討 3) 呼吸器ケアに関する勉強会の開催（酸素療法、NPPV、IPPV に関連）		
備考	1) 呼吸ケアチーム加算の加算対象となる患者に関して、加算の算定ができるよう活動していきます。		

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会		
委員長名	仲地智俊	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	仲地智俊
委員名	【医 局】 佐久川 廣（個人情報保護監査責任者） 【看護部】 古波倉美登利（部門責任者） 【医療技術部】 宮城 竜也（部門責任者） 【事務部】 當銘秀之（部門責任者）、仲地智俊（個人情報保護管理責任者）		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当院職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
活動内容	1. 個人情報保護委員会における各委員の選出 2. 個人情報保護規定指針（ガイドライン）の策定・公示 3. 内部規定の策定 4. 個人情報の取り扱いに関わる同意書の整備 5. 個人情報漏洩時の報告および連絡体制の構築 6. 個人情報の取り扱いに関する相談窓口の設置 7. 個人情報保護にかかわる職員教育の実施 8. 委託業者の監督		
備考	主な実績報告 平成 29 年 4 月 3 日 新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明を実施（安里竜企画室課長、宮城電算係係長）		

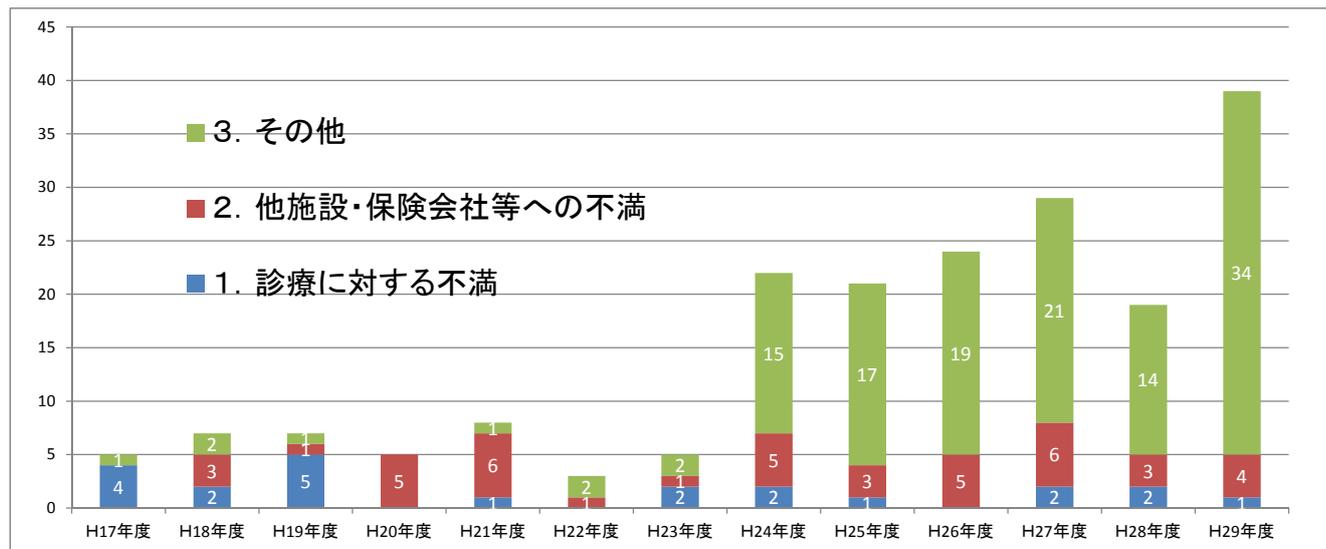
診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	16名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
委員名	【医 局】佐久川 廣、普天間光彦 【看護】仲地 ますみ 【医療技術部】田中健嗣、石原 悟、真米城ゆかり、新垣 健、新里直子、仲松晋也 【医療安全管理室】外間真紀子 【事務部】柳 学、宮城克己、桑江 高、大城真澄、田河美智代 【ハートライフクリニック】野村 拓		
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
活動内容	委員会毎月1回定例とし、第4水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

実績報告資料等

診療録開示件数の推移(申請理由別)

年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
1. 診療に対する不満	4	2	5	0	1	0	2	2	1	0	2	2	1
2. 他施設・保険会社等への不満	0	3	1	5	6	1	1	5	3	5	6	3	4
3. その他	1	2	1	0	1	2	2	15	17	19	21	14	34
計	5	7	7	5	8	3	5	22	21	24	29	19	39



卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	51名
事務局・担当部署	卒後臨床研修事務局	担当者名	當銘麻子
委員名	<p>【医 局】奥島憲彦、普天間光彦、久場良也、佐久川 廣、西原 実、山本壽一、宮平 工、島袋 泰、宮城 敬、宮城 純、與座 一、国島知子、渡慶次 学、大西 勉、武田 理、嘉川春生、東盛貴光、末吉健次、仲村義一、石川 樹、石嶺伝羽、嘉陽安美子、平良志子、山城謙人、太田沙也加、大山恵理子、仲本 寛、仲本正哉、宮崎優樹、林絹子</p> <p>【看護部】宮平典子、古波倉美登利</p> <p>【医療技術部】宮城竜也</p> <p>【事務部】當銘秀之、當銘麻子、新屋瑞希</p> <p>【外部委員】川平 稔、垣花 学、佐藤香代子、渡部 尚、涌波淳子、涌波 満、中田安彦、深谷幸雄、阿部好弘、新里 脩、朝戸末男、安里尚彦、松本ノリス、今井千春、玉城 仁 ※敬称略、順不同。</p>		
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度採用初期研修医第 14 期生 (5 名) の紹介 2. 研修スケジュールの確認 3. 初期研修再開希望者の採用について (書面会議) 4. 平成 28 年度採用初期研修医第 13 期生 (6 名) の修了判定 5. 平成 31 年度初期臨床研修医募集要項の確認 6. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討 		
備考			

実績報告資料等

卒後臨床研修管理委員会

活動目的
本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。

また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修運営協議会を設置している。

活動内容

1. 平成29年度採用初期研修医第14期生(5名)の紹介
2. 研修スケジュールの確認
3. 平成28年度採用初期研修医第13期生(6名)の修了判定
4. 平成31年度初期臨床研修医募集要項の確認
5. 研修医からの意見・要望等の検討、取り入れ

RyuMIC・群星共同ハートライフ病院研修管理運営組織と責任者

- RyuMIC・群星共同ハートライフ病院初期臨床研修プログラムによる初期臨床研修の最終責任者は、ハートライフ病院長であり、研修修了の認定は病院長が行う。
- RyuMIC・群星共同ハートライフ病院初期臨床研修プログラムを統括・管理し、実効のある研修を実施するため、本病院群(RyuMIC・群星共同プログラム)に研修管理委員会を設置している。また、実際の研修計画の策定及び円滑な実施、カリキュラム管理、研修医のサポートを行うため、ハートライフ病院長の下に卒後臨床研修管理委員会を設置している。



地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	20名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	新垣りか・砂川直樹・仲地智俊
委員名	【医局】奥島憲彦、松元 悟、久場良也、佐久川 廣、西原 実 【看護部】宮平典子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之 【外部委員】中城村長 浜田京介、西原町長 上間 明、宜野湾市長 佐喜眞 淳 南城市長 古謝景春、与那原町長 古堅國雄、中城北中城消防本部消防長 安里常要 東部消防組合消防本部消防長 神里昌二、宜野湾市消防本部消防長 浜川秀雄 島尻消防清掃組合消防長 津波古充也、中部地区医師会理事 今井千春 中部地区薬剤師会会長 前原信照、中部地区婦人連合会会長 比嘉光子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
活動内容	地域医療支援病院の認定に係る次の各項目について、内外の委員を招集し検討を行い、認定要件を満たしているかの確認および向上を図る。 (1) 開設者 (2) 紹介率(紹介率・逆紹介率) (3) 共同利用 (4) 救急医療 (5) 研修 (6) 病床数 (7) 構造設備 (8) 諸記録 (9) 委員会 (10) 患者相談 (11) その他 (12) 居宅等		
備考	年度に1回以上委員会を開催する。		

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報は、「病院概要」および「患者統計・病歴統計」をご参照ください。

- (1)開設者 (2)紹介率(紹介率・逆紹介率) (3)共同利用 (4)救急医療
(5)研修 (6)病床数

(7) 構造設備

「集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用または患者輸送用自動車、医薬品情報管理室」の設置が承認要件で、当院は満たしております。

(8) 諸記録

諸記録の①保存・管理や②閲覧など、日本医療機能評価機構の基準をクリアしており、診療情報管理室を中心に質の向上を図っております。

(9) 委員会

本委員会の設置にてクリアしております。

(10) 患者相談

専用の面談室あり。医療ソーシャルワーカー5名を配置して対応しております。

(11) その他

患者相談業務および地域の診療所等と、円滑に連携が行われる体制がとられております。

(12) 居宅等

主に在宅支援診療所や訪問看護ステーションなどの、在宅医療を担う医療機関との連携を行っております。

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	10 名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医局】松元 悟、佐久川 廣、嘉川春生、国島知子 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】宮城 淳、大山朝史 【外部委員】2 名		
活動目的	治験を行う為に必要な第 3 者機関（院長の諮問機関）として、「治験の原則」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
活動内容	稼働治験数 :3 件		
備考	稼働治験の増加に伴い、委員を 8 名から 10 名へ増員し体制を強化		

実績報告資料等

<h3 style="color: #0056b3;">主な役割</h3> <ul style="list-style-type: none"> • 治験を行う為に絶対に必要な第3者機関 • 病院長の諮問機関 • 医薬品、医療機器の主に開発データの収集を目的とするヒトを用いた「臨床試験」を客観的に判断し、実施の可否を検討する • 患者に不利にならないように眼を光らせ、安全に治験が行えるように迅速に対応する第3者機関 	<h3 style="color: #0056b3;">対象となる案件</h3> <ul style="list-style-type: none"> • 治験（開発試験） • 市販後臨床試験 • 医師主導型臨床試験 <p style="text-align: right; font-size: small;">2018年3月現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">年度</th> <th style="font-size: small;">H29</th> <th style="font-size: small;">H28</th> <th style="font-size: small;">H27</th> <th style="font-size: small;">H26</th> <th style="font-size: small;">H25</th> <th style="font-size: small;">H24</th> <th style="font-size: small;">H23</th> <th style="font-size: small;">H22</th> <th style="font-size: small;">H21</th> <th style="font-size: small;">H20</th> <th style="font-size: small;">H19</th> <th style="font-size: small;">H18</th> <th style="font-size: small;">H17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">稼働治験数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">終了治験</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">医師主導型臨床試験</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">開催回数</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">断った数</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	稼働治験数	3	2	2	3	3	3	4	2	2	2	0	0	0	終了治験	1	1	1	0	0	1	1	1	2	0	—	—	—	医師主導型臨床試験	1	0	0	0	0	1	1	1	1	3	0	0	0	開催回数	11	8	10	11	8	10	8	6	5	4	0	0	0	断った数	16	0	0	20	13	30	12	11	14	3			
年度	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17																																																																								
稼働治験数	3	2	2	3	3	3	4	2	2	2	0	0	0																																																																								
終了治験	1	1	1	0	0	1	1	1	2	0	—	—	—																																																																								
医師主導型臨床試験	1	0	0	0	0	1	1	1	1	3	0	0	0																																																																								
開催回数	11	8	10	11	8	10	8	6	5	4	0	0	0																																																																								
断った数	16	0	0	20	13	30	12	11	14	3																																																																											

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	9名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也、佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】宮平典子 【医療技術部】田中健嗣、田中 泉 【事務部】當銘秀之、宮城 淳、幾野伸夫		
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
活動内容	委員会の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用医薬品の採用 ・ 後発医薬品の採用方法 ・ 既採用医薬品の再評価の必要性 ・ 陳旧化した医薬品の取り扱い ・ 同種・同効薬の再評価 ・ 院内製剤の採否の決定 ・ 医薬品の適正な使用方法の協議 ・ 医薬品の副作用及び感染症の協議 ・ 在庫医薬品の適切な管理と運用 ・ 病院医薬品集・医薬品情報等について ・ 臨床試用医薬品の採否の決定 		
備考			

実績報告資料等

実績

審査品目	29-1	29-2	29-3	29-4	29-5	29-6	合計
審査品目	26	34	14	29	15	25	143
薬剤種別							
先発品・新薬	11	11	7	9	9	15	62
後発品	13	13	5	10	5	14	59
院内製剤				1	1		2
その他		4	2		3	1	10
審議内容							
新規採用	5	10	7	8	5	6	41
切り替え採用	8	25	7	19	6	15	80
採用規格追加				5	2	2	9
採用状況の変更	3	6		1		4	14
臨時採用	1				1	2	4
採用削除	4	3					7
限定設定状況							
患者限定			1			2	3
医師限定		3		3			6
診療科限定	9		3	2	3	5	22
外来限定	3	4	4	7	3	3	24
申請科・申請部署							
内科系	消化器	2					2
	呼吸器		1			3	2
	循環器				2	2	4
	血液		2		3	2	7
外科系	心療						0
	消化器			2			2
	乳腺					1	1
形成		2				2	
脳外科			1				1
整形外科			1				1
眼科	3				1		4
耳鼻科				1			1
泌尿器科		3	1		1	1	6
口腔ケア科	6						6
小児科					1		1
救急科			4	1	1		6
クリニック		4			4		2
薬局	15	20	7	8	5	15	70
その他		5			1	2	8

その他の審議事項

- 複数規格が採用になっている薬剤で、使用量が極端に少ない製剤の統一化を図った。
- 使用量上位の薬剤を中心に後発品への切り替えを行った。
- 開催日を第4週から第3週に変更した。
- 後発率向上のため、後発率調査・報告を定例化した。
- トロンビン製剤の適応外使用の検討を行った。
- 一般名処方への導入の検討を行った。
- 注射オーダガーの手技制限について検討を行った。
- 禁忌薬情報の処方箋記載の検討を行った。
- 院内での使用量の少ない薬剤を抽出し、整理を行った。(下表参照)

院内採用削除及び院外限定切り替え薬剤一覧

薬品名	規格	薬品名	規格	薬品名	規格
ジェービック		エスクレ坐剤	250mg	ガスコン散	10%
ゲンタマイシン注射液	10mg	コンベック軟膏		ベネット錠	2.5mg
ツムラ木防己湯		ヴォトリエント錠	200mg	へパンED配合内用剤	

平成30年度目標

- 後発品使用率の向上及び維持(年間平均90%)。
- 院内採用薬を見直し、不動態在庫の削減。
- 全体的な採用薬の見直し(同種・同効品の再評価)
- 採用ルール・審議検討ルールの見直し
- 医薬品情報士の資格取得の検討。
- マスターの整備(処方補助システムの運用・整備)
- 用法の整備(処方補助システムの運用・整備)
- 薬価改定に伴う納入値の交渉

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
委員名	【医局】佐久川 廣、阿嘉裕之 【看護部】安村公均、洲鎌 正子 【医療技術部】神谷敏敏、蔵下 恒、仲宗根ちひろ 【事務部】田中淳也		
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
活動内容	1) 手順書の作成 ①輸血医療に係る手順書を随時作成、改訂を行う。 ②手順書の内容を啓蒙する。 2) 輸血ミスの防止。 ①インシデント発生時、原因追究、対処法の検討をおこなう。 ②対処法に添った手順書の改訂や啓蒙を行う。 3) 適正使用の実施 ①“輸血療法の適正化に関する指針”に則した使用を目指す。 ②“輸血療法の適正化に関する指針”の啓蒙を行う。 ③適正使用に則さない場合、指導、検討を行う。 4) 輸血製剤の有効利用を促進する ①各種血液製剤使用量、廃棄量の報告を行う。 ②問題がある場合、個別に内容、対処法の検討を行う。 5) 副作用、感染症の報告を行う 6) その他、輸血療法全般に関する全てを議題内容とする		
備考			

実績報告資料等

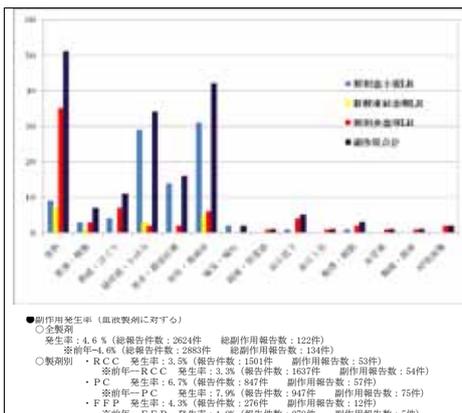
平成29年度 血液製剤使用状況報告

①血液製剤使用状況 ※()内は、H28年分(前年度)を表記

製剤種別	単位	使用量		使用金額		廃棄量		廃棄率	
		本数	(U)	(円)	(円)	本数	単位数	(%)	(%)
RBC	1U	2	2	17,728	0	0	0	0	0
	2U	1,494	2,988	26,971,274	16	32	283,616	1	0
	合計	1,501	3,000	26,989,002	16	32	283,616	1	0
FFP	120	0	0	0	0	0	0	0	0
	240	249	498	4,460,088	4	8	71,648	2	0
	480	27	108	607,859	6	24	141,702	22	0
合計	276	606	5,097,747	10	32	213,350	4	0	
PC	5U	1	5	40,100	0	0	0	0	0
	10U	781	7,810	62,382,375	1	10	79,875	0	0
	18U	53	825	6,589,000	0	0	0	0	0
合計	845	8,820	70,449,072	1	10	79,875	0	0	
HLA-PC	10U	19	190	36,025	0	0	0	0	0
	15U	0	0	0	0	0	0	0	0
	20U	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	19	190	36,025	0	0	0	0	0	
■計	2,624	12,467	102,231,846	32	55	676,841	1	0	

②自己血使用状況(診療科毎) ※()内は前年度(H28)実績

診療科	患者数	血液内科	整形外科	脳外科	総数
患者数	1名(1)	8名(9)	3名(2)	1名(1)	13名(13)
採血量	200	400	200	200	400
採血回数	0(2)	2(0)	3(2)	15(14)	4(0)
使用回数	0(2)	1(0)	3(1)	14(12)	4(0)
使用合計	1(2)	17(13)	6(4)	0(0)	24(19)
廃棄数	1(0)	1(3)	2(1)	1(1)	5(5)



③廃棄率状況(自己血含む):総数32件(H28年度 37件) ※()内は、H28年度を表記

○血液型・製剤毎分

血液型	A型	B型	O型	AB型	合計
総報告数	1(6)	10(13)	4(7)	17(11)	32(37)
廃棄数	0	7	2	7	16(14)
F/R比	0	0	0	0	50(100)
PC	0	0	1	0	1(2)
自己血	1	0	1	0	2(0)

○廃棄理由

- ▽有効期限切れ: 24件(28件)
- △危険性の高い準備血による影響: 7件(定数 O型RBC: 6単位, AB型FFP: 8単位)
- RBC-2×1(2単位 O型×1), FFP-400×6(24単位 AB型×6)
- ・通常在庫の影響: 0件(H28年度 FFP: 各4単位あり)
- ・手術準備血として依頼: 12件(手術中、後も廃棄)
- RBC-2×6(10単位 AB型×3, O型×3), O型×1
- FFP-240×4(8単位 AB型×4)
- その他: 予約品: 4件
- RBC-2×4(6単位 B型×2, AB型×2)
- ・自己血未使用: 5件(5件): 骨髄移植ドナー採取-----1件(採血時間過剰のためあて使用せず)
- ・整形外科OPE時、未使用-----2件
- ・婦人科OPE時、未使用-----1件
- ・脳神経外科OPE時、未使用-----1件

・トワブル: 3件(3件)

- ・RBC-2 破損(筒種にて輸血開始前時点に点検スタンドの転倒により輸血セットとの結合部分が破損)
- ・PC-10: 同型製剤供給時、使用予定日(当日と翌日午前中)と有効期限の確認を怠り、翌日使用予定の依頼の有効期限切れになる製剤を割棄してしまい廃棄となっていました
- ・FFP-240: 不適切な保管
- ※PC室からFFP-240×2(4単位)の解冻依頼があり2本同時に出庫⇒OPE後、電子カルテにて未実施報告してためたOPE室へ確認⇒未使用でOPE室にて室温放置⇒3時間以上経過したため廃棄

④副作用報告件数(一製剤複数報告あり)

症状	発熱	寒戦	呼吸困難	低血圧	浮腫	腰痛	頭痛	嘔吐	腹痛	皮膚発疹	その他
RBC	35	3	7	2	2	6	0	1	4	1	2
PC	9	3	4	29	14	31	2	0	1	0	0
FFP	7	1	0	3	0	5	0	0	0	0	0
合計	51	7	11	34	16	42	2	1	5	1	2
H28年度	52	9	17	34	11	48	2	5	4	1	0

⑤診療科毎の血液製剤使用量(F/R=FFP/RBC)

診療科	RBC	FFP	PC	F/R比
血液内科	1478	98	8600	0.07
呼吸器内科	74	22	0	0.31
循環器内科	60	36	40	0.60
外科	370	198	70	0.54
救急科	186	20	20	0.11
形成外科	38	0	0	0.00
産婦人科	66	0	20	0.00
整形外科	146	0	0	0.00
腎臓内科	80	72	10	0.90
消化器内科	350	60	30	0.17
脳神経外科	4	6	20	1.50
泌尿器科	64	4	0	0.06
麻酔科	76	90	20	1.18
合計	3000	606	8830	0.20

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤辰好
委員名	【医 局】佐久川 廣 【看護部】安村公均 【医療技術部】斎藤辰好、新里直子、蔵下 恒 【事務部】宮城 淳		
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので①疾病の診断②治療③予後を判断するための重要な情報を提供するものであるので質の高い検査データを提供することを目的とする。		
活動内容	1. 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2. 検査精度、機器選定並びに導入計画 3. 検査項目や正常値の検討 4. その他検査にかかわる必要事項の検討を行う		
備考	年3回開催を基本とし必要に応じ開催する		

実績報告資料等

<p>参加外部精度管理業務</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、日本医師会精度管理 2、日本臨床衛生検査技師会精度管理 3、沖縄県医師会、臨床検査技師会精度管理 4、シスメックス 5、東ソー <p>日本医師会精度管理実績</p> <p>平成 25 年 94.6 点 平成 26 年 90.6 点 平成 27 年 95.4 点 平成 28 年 97.6 点 平成 29 年 95.3 点</p> <p>日本臨床検査技師会</p> <p>平成 30 年～31 年度精度保証認証施設取得(更新)</p> <p>機器更新及び検査導入実績</p> <p>平成 29 年</p> <p>4 月 予防医学センター支援体制開始 4 月 リウマチ因子測定検査院内化 6 月 日本臨床衛生検査技師会精度管理参加 8 月 沖縄県医師会・沖縄県臨床検査技師会精度管理参加 9 月 日本医師会臨床検査精度管理参加 10 月 プロカルシトニン測定院内化 10 月 フェリチン測定院内化</p> <p>平成 30 年</p> <p>1 月 グリコアルブミン測定院内化 1 月 耐性菌スクリーニング検査院内化 1 月 鼻腔・咽頭ぬぐい液培養検査院内化 2 月 膿培養検査院内化</p>
--

倫理委員会

委員会名	倫理委員会		
委員長名	與座 一	構成人数	10 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医 局】 與座 一、宮城 敬 【看護部】 宮平典子、小橋川弘美 【医療技術部】 田中健嗣 【事務部】 當銘秀之、安里 竜、宮城 淳 【外部委員】 2 名		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
活動内容	1) 医療にかかる法律の順守に関する事項 2) 患者の権利に関する事項 3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：26 件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

実績報告資料等

審査内容

- ・ 医療にかかる法律の順守に関する事項
- ・ 患者の権利に関する事項
- ・ 医療行為等をめぐる生命倫理に関わる事項
- ・ 臓器移植および新治療法の採用に関する事項
- ・ その他、病院長または委員長が必要と認めた事項

- ※輸血に関すること、臓器移植に関すること
- ※生殖医療に関すること
- ※末期患者の治療に関すること、告知に関すること
- ※その他医療行為全般に係る患者の基本的擁護に関すること

当委員会は前項に係る所掌事項の検討機関であって、決定機関ではない。

案件内容・判断事項

- ・ 医療倫理
- ・ 職業倫理
- ・ 臨床における倫理
- ・ 臨床研究に関する倫理

・ 治験の倫理 ⇒ 治験審査委員会

29年度審議内容一覧

第29-1	Opria 腫瘍リドの15分体外前駆リド測定値比較試験
第29-2	日本人健康成人健常者における精神状態評価下・発汗に関する観察研究
第29-3	「JALSG AML209」試験併行研究 成人急性骨髄性白血病の発症・経過および治療反応性、副作用に関する遺伝子発現の網羅的解析(実施計画書改訂)に伴う審議
第29-4	エソメプラゾールとオメプラゾールのQ100症状改善効果と症状(胃)の比較-多施設無作為化オープンランダム平行群比較試験-
第29-5	角膜移植術(全層内皮移植・逆層型は角膜移植・表層内皮移植・角膜内皮移植)
第29-6	角膜内皮移植術後の角膜厚戻り(CMR)に対する018プロムフェナクドリン点眼液/ワンダム比較研究
第29-7	角膜内皮移植における眼内レンズ挿入器具(6ヶ月途中)の継続使用について
第29-8	プリリアンテブルー(造影剤を用いた角膜内皮移植手術)に関する染色法
第29-9	川崎医科大学での「骨髄移植性腫瘍の遺伝子診断研究」への協力 ※MPL遺伝子検査の実験依頼について
第29-10	「IPV被害者発見尺度(BQ-IPV)の有効性」の調査協力依頼
第29-11	当院で試験的、Mesenchymal 投与を受けた成人T細胞白血病(ATL)症例の後方視的解析を行い、予後集計において発表する事に対する倫理面の審査依頼
第29-12	マニット治療の実験(自由診療)※継続審議
第29-13	10歳以上の早期不能進行・再発脳腫瘍患者を対象としたTFTD(TAS-102/Bevacizumab)の同時併用療法※相臨床試験(KSC0180)および早期不能進行・再発脳腫瘍患者に対するTFTD(TAS-102)の早期併用療法に関する取組み(審議決定)の有効性の検討(KSC0180-A)
第29-14	滋養成分乳児における滋養成分乳児一発症予防を目的とした加熱全乳0.2g摂取の安全性と実用性の検討

29年度審議内容一覧

第29-15	HbA1c 測定精度アップの有用性に関する研究
第29-16	LETOAT(2型糖尿病)院内製剤の作成と使用について
第29-17	高齢の心房性期性心房性リズム患者に対する経皮的カテーテル消融法の有効性/安全性を評価する多施設共同第Ⅱ相臨床試験 (DAVILCO study)
第29-18	Bスポット療法の実験に伴う、院内製剤の作成及び治療についての検討
第29-19	乳幼児ピーナツアレルギー-発症率調査生体コホート研究
第29-20	「成人T細胞白血病(ATL)の同種免疫の対する放射線治療成績」についてのケースシリーズ報告および後方視的解析研究への参加
第29-21	タリメット 腫瘍薬の適応外使用の件
第29-22	ピーナツアレルギーに関するアンケート調査
第29-23	内視鏡治療行為の撮影について
第29-24	「日本人健康成人健常者における経皮的動脈硬化性狭窄治療と標準治療のランダム化比較試験」(CHD-REG)介入研究承認済みの計画書変更に伴う審議
第29-25	RF無誘導心臓起搏器心臓ペースメーカーによる長時間への影響調査に伴う審議※観察研究
第29-26	非弁脈性心臓起搏器患者における抗凝薬の製造販売後比較試験研究への参加(※14)承認済みの計画書変更に伴う審議

※29年度倫理委員会 14回開催 (迅速審議、持回り審議含む)

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	13名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
委員名	【医 局】奥島憲彦、普天間光彦、内科系医師、外科系医師 【看護部】宮平典子、竹本直美 【医療技術部】仲座 義富、田中健嗣、斉藤 辰好 【事務部】柳 学、高橋慎二、新垣 淳、真栄平久美子、大城 克枝		
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
活動内容	1) 適切なコーディングを行う体制に関すること。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

実績報告資料等

H28		H28.04	H28.05	H28.06	H28.07	H28.08	H28.09	H28.10	H28.11	H28.12	H30.01	H30.02	H30.03	
CIC(190100)	通院件数	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	1	1	
	請求率	0.00%	0.00%	0.12%	0.00%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.12%	0.20%	0.14%	0.11%	
肺炎症(190110)	通院件数	5	3	4	5	7	3	9	3	4	8	9	1	
	請求率	0.62%	0.36%	0.48%	0.61%	0.86%	0.36%	0.71%	0.40%	0.72%	1.10%	0.72%	0.11%	
その他の真菌症(190190)	通院件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	請求率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.22%	
手術・処置の合併症(190140)	通院件数	9	5	9	7	9	4	9	5	7	2	2	8	
	請求率	1.17%	0.62%	0.94%	0.87%	0.71%	0.79%	1.12%	0.70%	0.72%	0.30%	0.32%	0.92%	
胃腸道手術	件数	3	4	4	4	1	3	4	2	9	2	3	4	
退院患者数	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
(電カル数)	754	772	774	822	822	822	772	772	772	822	772	772	822	9,318
2017年度	776.5	772	767	834	824	830	784	712	702	833	709	695	876	9,318
(肺炎症)	30.5	30	30	34	30	30	30	31	30	30	30	30	43	340
(敗血症)	6.5	7	7	7	10	6	9	4	10	9	7	11	13	97
(7月以内再入院)	11.7	10	9	10	10	10	11	11	7	11	9	10	10	100
入院期間	17.2%	16.1%	17.8%	18.2%	17.2%	16.4%	16.8%	16.9%	18.2%	17.9%	18.7%	17.9%	18.1%	18.1%
入院期間	47.2%	51.6%	47.2%	45.1%	48.2%	47.6%	46.8%	44.7%	46.6%	45.9%	46.1%	46.6%	46.6%	46.6%
(10日)	64.5%	67.7%	64.5%	64.3%	65.4%	64.0%	62.5%	59.2%	62.2%	64.5%	63.5%	63.7%	65.6%	65.6%
入院期間	32.9%	32.9%	34.8%	33.1%	33.9%	33.9%	32.7%	33.9%	32.9%	32.9%	32.9%	32.9%	32.9%	32.9%
250日以上	3.1%	2.9%	3.5%	3.5%	3.7%	3.2%	3.5%	4.0%	3.7%	3.5%	3.7%	3.5%	3.5%	3.5%

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会		
委員長名	花城直次	構成人数	30名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	安村公均
委員名	【医局】花城直次、菅野善一郎 【看護部】安村公均、本田由佳理(がん化学療法認定看護師)、成田明日香、東 初美、仲村なおみ、斉藤路子、上原沙織、大里奈央、高宮里沙、中野 愛、屋比久あかね、呉屋友美、外間勝貴、伊佐友美、宮城秀也、東江幸恵、宮城久美子、久手堅政直、當眞さゆり、石原桂子 【医療技術部】大関秀和、上地美和、富田美智代、富永涼子、宮城奈津希、神里祥子、當眞結子 【事務部】川満慎吾(MSW)		
活動目的	癌の治療開始、又は生命を脅かす病に関連する問題を早期に取り組み、患者及び家族の生活の質の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り以下の項目を要件とするケアを提供する。		
活動内容	癌の治療開始、又は生命を脅かす病に関連する問題を早期に取り組み、患者及び家族の生活の質の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り、以下の項目を要件とするケアを行う。 1. 患者の痛みや、その他の不快な身体症状を緩和する 2. 患者に精神的・社会的・霊的な援助を行い、死が訪れるまで生きていることに意味を見いだせるようなケアを行なう 3. 患者の家族を患者の療養中から死別した後まで支える		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	請求業務課	担当者名	屋我竜太
委員名	【医 局】佐久川 廣、松元 悟、西原 実 【医療技術部】齊藤辰好、田中健嗣 【事務部】伊集 準、新垣 淳、屋我竜太		
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
活動内容	1) 保険診療に関すること 2) 請求漏れ、査定減の対策に関すること 3) 保険請求事務等の改善に関すること 4) レセプト作成、点検に関すること		
備考			

実績報告資料等

※平成29年度の査定率

平成29年4月	5月	6月	7月	8月	9月
0.44%	0.42%	0.37%	0.45%	0.39%	0.36%

10月	11月	12月	平成30年1月	2月	3月
0.42%	0.24%	0.37%	0.25%	0.33%	0.51%

※平成29年度救急医療管理加算査定率

平成29年4月	5月	6月	7月	8月	9月
18.51%	24.53%	27.53%	20.32%	22.75%	19.37%

10月	11月	12月	平成30年1月	2月	3月
24.62%	17.02%	19.50%	17.23%	21.23%	23.34%

※DPC係数の1つである救急医療係数を維持すべく「救急医療適正化委員会」を立ち上げ救急医療管理加算の査定率の向上を図っています。
査定されたものに関しては内容を検討し、再請求へ繋げていく。

※平成30年度目標

◆当院目標査定率0.14%の達成に努める

※目標0.14%以下への課題として

- ◆医師・看護師・コメディカル・請求業務課の連携の強化。
- ◆請求業務課の診療報酬点数解釈、点検業務の強化
- ◆査定された内容を再検証し次月請求への反映の取り組み。

IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会		
委員長名	佐久川 廣	構成人数	19名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城克己
委員名	【医 局】佐久川 廣、普天間光彦 【看護部】屋良ちえみ、安谷屋佳子、古波倉美登利 【医療技術部】田中健嗣、大城盛寛、仲松晋也、金城勝一郎 【事務部】當銘秀之、柳 学、安里 竜、宮城 淳、砂川直樹、幾野伸夫、宮城克己、高橋慎二、安里健二 オブザーバ：内間幸人（看護部／救急外来）		
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
活動内容	1) 医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2) グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3) 上記①②に係るネットワークの検討 4) IT 導入に伴うセキュリティ管理 5) 各部門システムの導入、運用検討 6) 職員の IT 知識の向上		
備考			

実績報告資料等

委員会の概要

- 充足** 2007年4月発足
第4水曜日13:00に定期開催（ツキイチに変わりました）
※電子カルテプロジェクト中は毎週開催してました。
- 目的** ITに関する導入・開発・運用・保守に関する全般を取り扱う
- 課題**
 - ①医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの運用
 - ②グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討
 - ③上記①②に係るネットワークの検討
 - ④IT導入に伴うセキュリティ管理
 - ⑤システム導入後の各部門への業務割り当て
 - ⑥職員のIT知識の向上

委員会のメンバー

委員	委員長	砂川 直樹	地域医療連携室
佐久川 廣	委員長	幾野 伸夫	薬局
普天間 光彦	室長	高橋 慎二	電算係
屋良 ちえみ	外来	安里 健二	電算係
安谷屋 佳子	外来	宮城 克己	電算係
古波倉 美登利	内視鏡室	オブザーバ	
田中 健嗣	薬局	内間 幸人	救急外来
大城 盛寛	放射線科		
仲松 晋也	臨床工学科		
金城 勝一郎	リハビリ		
當銘 秀之	事務部		
安里 竜	企画室		
柳 学	診療情報管理室		
宮城 淳	請求課		

2017年度 実績報告

- 実績**
 - 増改築に伴うネットワーク構築
 - 部署移動に伴うIT機器移設・設定
 - 新版医事・処方カルテ・医薬品情報システム導入
 - 院内カメラシステム構築
 - RDSを利用したおきなわ津梁ネットワーク閲覧環境構築
 - Etc...
- 進行中**
 - 増改築に伴うネットワーク構築
 - 部署移動に伴うIT機器移設・設定
 - 本院→クリニック間対向無線の再構築
 - 部門サーバーのリプレース

2018年度 課題と目標

- ❖IT環境の強化・利便性の向上
 - システム導入による業務効率の向上
 - 医事会計業務、診療報酬請求業務の効率向上とデータの2次利用
 - 共有ファイルサーバー内の院内作成データの保守
 - 入力されたデータを2次利用したシステムの提案
 - 部門業務のサポート
 - 部門システム導入に伴う電子カルテシステムとの連携支援
 - 既存システムで準備されていない業務の自作提供
- ❖体制面の強化（より安全に、かつ、確実に）
 - ITリテラシーの向上（使用方法・問題・課題の理解）
 - 危機管理（トラブル時や災害時・停電時対応など）
 - 院内ネットワーク、クリニック及びケアセンターとのネットワーク環境の強化

クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	37 名
事務局・担当部署	企画室、企画室電算係	担当者名	安里 竜、高橋慎二
委員名	【医局】宮平 工、大西 勉、折田 均、渡慶次 学、末吉健次、嘉川春生、親川 格、宮城 敬、秋元芳典、東盛貴光、新垣珠代、崎原徹裕、大城真澄（メディカルクラーク）、山城子エ（メディカルクラーク） 【看護部】仲地ますみ、成田明日香、屋宜 鮎美、崎山久美、米須智子、與那覇亜紀子、外間勝貴、久手堅政直 【医療技術部】神谷乗敏、仲座義富、田中健嗣、大関秀和、大見謝勝人、幾乃伸夫 【院長直轄部門】外間真紀子（医療安全管理室）、真栄城 ゆかり（NST）、石川由希（感染対策管理室） 【事務局】柳 学、安里 竜、高橋慎二、西田悠希子、松川三枝子、我如古理咲子		
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

実績報告資料等

第4回クリニカルパス大会開催

開催日時：平成29年7月28日（金）17:30～19:30

場 所：2F講堂

対 象：全職員

参加人数：111名

□一般演題 座長：外科部長 宮平 工

部 室	看護部	医 師
西2F病棟	狩俣 愛	大西 勉
3F病棟	久下 泰代	上笹 航
4F病棟	與那覇 亜紀子	宮平 工
5F病棟	崎山 久美	崎原 徹裕
7F病棟	奈良 成明	秋元 芳典

□特別演題 座長：産科部長 大西 勉

「DPCと地域完結型医療時代のクリニカルパス
 ～医療の質、安全、業務負担軽減、患者さまへの効果～
鳥取大学大学院医学部臨床医科学科医療情報学専攻 医療情報学専攻 鳥取大学病院 産科部長 大西 勉
 鳥取大学病院産科部長 大西 勉
 鳥取大学病院産科部長 大西 勉 船本 武彦 先生

外科 計550 適用率39.7%

子宮頸癌摘出+止血切除術(術中人用)	1	鼠径ヘルニア(LPEC)SOS:3歳以上	11
腹腔鏡下直腸切除術	5	鼠径ヘルニア	1
腹腔鏡下直腸切除術(術中人用+術中止血)	34	痔瘻瘻治術	3
腹腔鏡下直腸切除術(術中止血+止血)	1	痔核手術(西院附注)創部 術中止血	1
腹腔鏡下直腸切除術(術中止血+止血)	1	痔核手術(西院附注)創部 術中止血	11
腹腔鏡下直腸切除術	21	痔核手術(西院附注)創部 術中止血	1
腹腔鏡下直腸切除術	1	痔核手術(術中止血)	5
乳房切除術+SUNB	34	甲狀腺手術(郭清あり)	16
乳房切除術+術中郭清	1	瘻管内視鏡下胃腸造影術(EG)	28
乳房温存術+SUNB	7	瘻管炎	3
透析膜手術	3	開腹腹腔鏡切除術	18
肝臓炎	2	開腹腹腔鏡切除術	10
大腸EMR	4	化学療法(ロイターアパシスチン)	2
鼠径ヘルニア(成人LPEC)	5	化学療法(Doxilox)	13
鼠径ヘルニア(IAPP)	106	化学療法(RIS)	7
鼠径ヘルニア(LPEC)生後6ヶ月未満	1	胃全摘術	5
鼠径ヘルニア(LPEC)生後6ヶ月以上	23	胃切除術	8
鼠径ヘルニア(LPEC)SOS:生後6ヶ月以上	25	ディセージャリー	7

内科 計731 適用率19.1%

大腸CMR	530	PMI入院中	5
心不全4(BP)日	1	PMIS(BP)日	7
左PITA上肢(内シャント)日帰り	10	PCI入院中(乳圧)	1
右PITA上肢(内シャント)日帰り	3	PCI入院中(換骨)	12
気管支鏡検査	45	PCI入院中(造影)	3
肝生検	58	PCI(造影)	19
下腔PITA(左)	3	PCI(換骨)	63
下腔PITA(右)	1	CAG入院中(換骨)	8
ペースメーカー当日植込み	7	CAG入院中(造影)	2
ペースメーカー電池消耗	1	CAG+CD入院中(換骨)	15
ペースメーカー	1	CAG+CD(換骨)	8
ディセージャリー	1	CAG+CD(造影)	1
ジェネレータ交換(3日4日)	1	CAG(造影)	2
IFA	23	CAG(換骨)	49
PM4(BS)日	5	CAG(造影)	7
PIA下腔	1	CAG(鼠径)	7
PSG	22	ABL (AFI)	2
PMI入院日植込込み	3	ABL	1

泌尿器科 計32 適用率16.5%

前立腺生検	1
TUR-P	7
TUR-BT	22

眼科 計573 適用率95.8%

翼状片(左)	31
翼状片(右)	19
白内障(左)	258
白内障(右)	241
全層膜剥離(左)	18
全層膜剥離(右)	12
角膜内皮移植(左)	6
角膜内皮移植(右)	11

小児科 計185 適用率26.0%

アレルギー検査(0～1歳)	117
アレルギー検査(2～5歳)	56
アレルギー検査(6歳～)	12

整形外科 計175 適用率19.5%

γ-AiL+OCS(全周)	61
TKA(全周)前日入院	12
TKA(全周)前々日入院	4
TKA(膝周)前々日入院	3
THA(膝周)自宅退院	17
BHA(全周)	27
ACL(全周)	24
ACL(膝周)	17

形成外科 計1 適用率0.1%

マコト治療	1
-------	---

産婦人科 計622 適用率84.2%

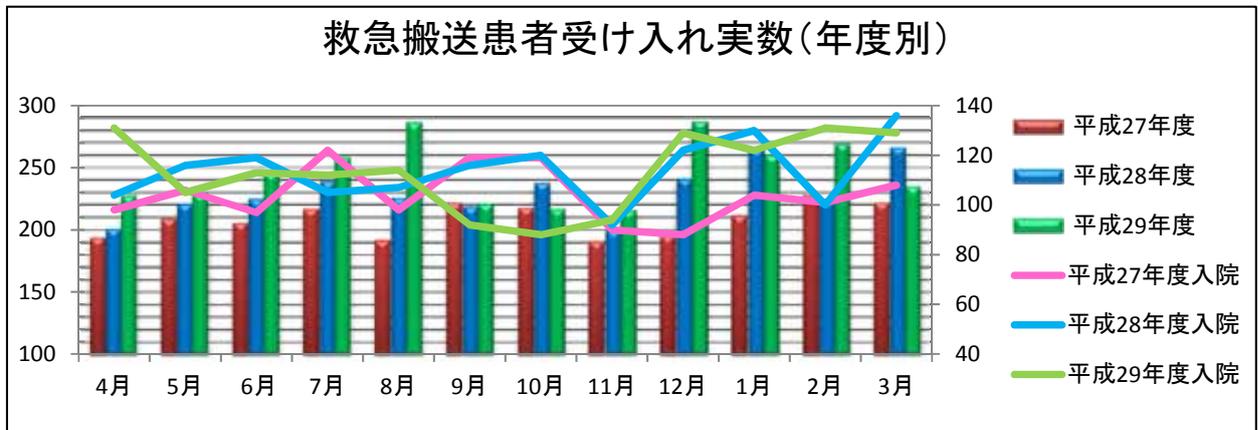
産婦人科パス使用	622
----------	-----

全体 計2,869 適用率32.3%

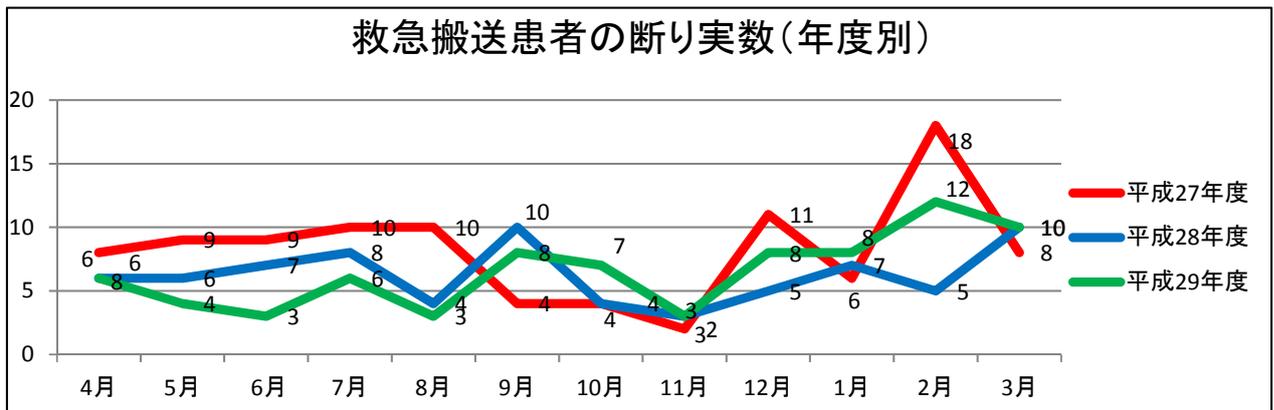
救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会		
委員長名	銘苅 正	構成人数	17名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	砂川直樹
委員名	【医 局】 奥島憲彦、久場良也、銘苅正、宮平工、末吉健次、渡慶次学、三戸正人、仲本 学 【看護部】 仲地ますみ、内間幸人、竹本健太、兼本愛美 【医療技術部】 斉藤辰好、石原 悟 【事務局】 安里竜、砂川直樹、平良美咲		
活動目的	救急総合診療部の体制（人財確保を含む）を整える。問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
活動内容	救急車搬送患者、時間外救急患者の受け入れに関する流れや問題点、救急総合診療部に係わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら話し合いをもち解決策を考え活動目的を達成する。救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に関しては救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は翌月の運営委員会で報告する。		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上、救急総合診療部委員会は毎月（第4水曜日）1回開催とする。		

実績報告資料等



年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均入院率
平成27年度	194 98	209 106	206 97	217 122	192 98	222 119	218 119	191 90	196 88	212 104	228 101	222 108	2,507	209 49.9%
平成28年度	201 104	221 116	225 119	239 105	226 107	219 116	238 120	200 92	241 122	265 130	224 100	266 136	2,765	230 49.4%
平成29年度	228 131	229 105	246 113	258 112	286 114	221 92	217 88	216 94	287 129	260 122	269 131	235 129	2,952	246 46.1%



(救急車断り件数)・・・断り件数は救急台帳より

年 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
平成27年度	8	9	9	10	10	4	4	2	11	6	18	8	99	8
平成28年度	6	6	7	8	4	10	4	3	5	7	5	10	75	6
平成29年度	6	4	3	6	3	8	7	3	8	8	12	10	78	7

患者満足度向上委員会・投書対策委員会

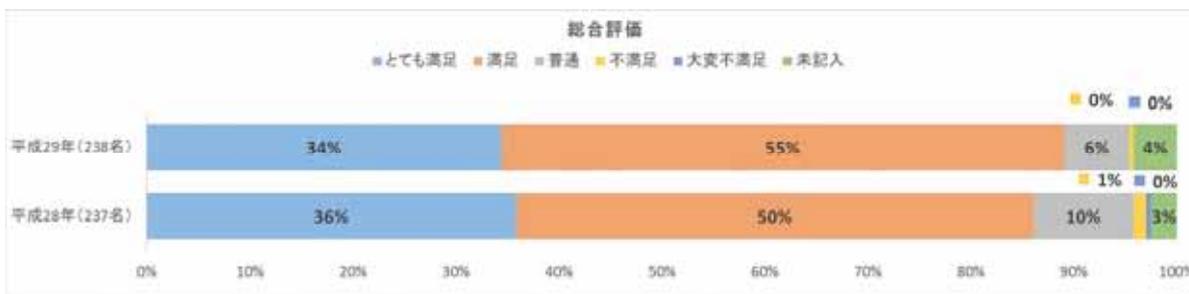
委員会名	患者満足度向上委員会・投書対策委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	6名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	富里 等
委員名	【医 局】奥島憲彦 【看護部】古波倉美登利 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、吉川 忍、富里 等		
活動目的	患者さんからの苦情相談に対して迅速に処理し、患者さんからの病院に対する信頼を向上する。		
活動内容	(1) 患者さんに対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上を図る。 (2) 患者さんからのクレームに対応する。 (3) 職員の接遇向上にむけた教育・研修・講演会等を企画立案する。 (4) 患者満足度調査。 (5) 快適な療養環境を図る。 (6) 接遇マニュアルの作成改定。		
備考	※開催日(毎月第3金曜日)		

実績報告資料等

平成29年度 患者満足度調査(外来・透析室・内視鏡センター・予防医学センター) 調査日時:平成29年10月23日(月)~24日(火) 9:00~12:00 (2日間)

< 外来 >

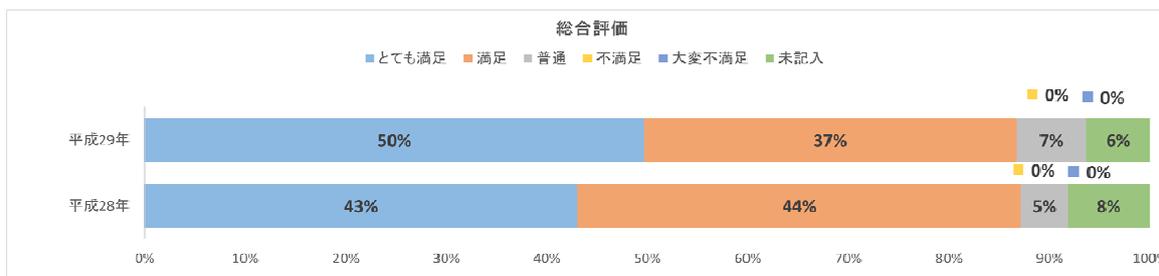
年別	とても満足	満足	普通	不満足	大変不満足	未記入	合計人数
平成29年	82	130	15	1	0	10	238
平成28年	85	119	23	3	1	6	237



平成29年度 患者満足度調査(病棟) 調査日時:平成29年10月23日(月)~28日(土)<6日間>

< 病棟 >

年別	とても満足	満足	普通	不満足	大変不満足	未記入	合計人数
平成29年	71	53	10	0	0	9	143
平成28年	37	38	4	0	0	7	86



健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部	担当者名	金城信矢(事務部) 玉城義彦(医療技術部)
委員名	ハートライフ病院 【医 局】奥島憲彦、松元 悟、菅野善一郎、菅谷明子 【看護部】安村公均、屋我裕子、 【医療技術部】富真結子、玉城義彦 【事務部】照屋尚美、金城信矢 ハートライフクリニック 【医 局】山本壽一 【リユーズ】長嶺敦司		
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
活動内容	1) 健康増進に関する会議の開催 2) 健康増進に関する相談・指導 3) 健康増進のきっかけづくり 4) 部署・サークルの健康増進活動への支援 5) 健康増進に関する情報提供 6) 健康増進に関するニーズの集約 7) 健康増進に関する環境の整備 8) 健診後の生活指導の支援		
備考			

実績報告資料等

1、委員紹介（29年度）

企画委員

委員長：奥島 憲彦（院長） 副委員長：松元 悟（副院長）
 アドバイザー：山本 壽一（クリニック院長）
 菅野 善一郎（医 局） 菅谷 明子（医 局）
 安村 公均（看護師長） 屋我 裕子（保健師）
 富真 結子（管理栄養士） 照屋 尚美（総務課）
 金城 信矢（財務・経理課） 玉城 義彦（理学療法士）
 長嶺 敦司（リユーズ理学療法士・運動指導士）

ハートライフ病院 健康増進委員会

2、平成29年度活動実績①

- 健康増進企画会議 毎月1回
- 健康増進委員会全体会議 偶数月に1回
- 朝礼時のワンポイント体操 ラジオ体操指導 毎月朝礼時
- あすなる紙面へストレッチ体操掲載 毎号掲載
- アンケート調査 行事終了毎適宜実施

ハートライフ病院 健康増進委員会

3、平成29年度活動実績②

- 新入職員歓迎本島縦断駅伝大会 5月21日(日)
21世紀の森運動公園～ハートライフクリニック
(約97名参加)
- 卓球大会(2階講堂) 7月11・12・13日
11日 8チーム(約40名)
12日 8チーム(約40名)
13日 8チーム(約40名) 参加
- 第2回ソフトハレール大会 10月28日(土)
西原町民体育館
台風第22号 沖縄最接近の為中止

ハートライフ病院 健康増進委員会

4、平成29年度活動実績③

- 2018おきなわマラソン「フルマラソン職域対抗戦」
沖縄県総合運動公園 平成30年2月18日(日)
(参加職員男女14名)
- その他過去の実績
健康講演・講習会
その他の健康増進イベントの企画・開催
地域イベント等への健康ブース出展

ハートライフ病院 健康増進委員会

医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	7 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
委員名	【医 局】松元 悟 【医療安全管理室】外間 真紀子 【看護部】宮平典子 【医療技術部】宮城竜也、神谷乗敏、新垣 健、大城 安		
活動目的	ハートライフ病院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図るため医療機器安全管理委員会を設置する。		
活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

実績報告資料



医療機器安全管理分科会

委員会名	医療機器安全管理分科会		
委員長名	仲松 晋也	構成人数	9名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・仲松晋也 (医療技術部) ・弓濱義之 (医療技術部) ・柴野比智也 (医療技術部) ・大関秀和 (医療技術部) ・斎藤辰好 (医療技術部) ・石原 悟 (医療技術部) ・安村公均 (看護部) ・具志堅徳明 (事務部) ・諸見里和也 (事務部) 		
活動目的	医療機器安全管理分科会はハートライフ病院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的方策などについて、指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。		
活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会		
委員長名	内里 司	構成人数	6名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・内里 司 (医療技術部) ・大瀧明日香 (医療技術部) ・野原 剛 (医療技術部) ・仲程通孝 (医療技術部) ・平良 航 (医療技術部) ・宮城幸江 (看護部) 		
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> (1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関する事。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関する事。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関する事。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関する事。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関する事。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全 使用を目的とした改善のための方策の実施に関する事。 (7) その他、透析液に関する事。 		
備考			

広報委員会

委員会名	広報委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	7 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医局】久場良也 【病院担当】安里 竜、知念政治、仲田尚正 【クリニック担当】松田 渚 【地域包括ケアセンター担当】比嘉康文 【地域連携担当】砂川直樹		
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医 局】奥島憲彦、嘉川春生、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】仲座義富、斎藤辰好 【事務部】當銘秀之、宮城映子、大城ますみ、仲松 泉、田河美智代、知念政治、仲田尚正 【クリニック】新垣優子 【地域包括ケアセンター】比嘉康文		
活動目的	病院年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
活動内容	病院年報の企画・データ収集・作成。 各科実績報告会の企画・運営。		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	37 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納小百合
委員名	【医 局】奥島憲彦、西原 実、高原裕夫、梁 英樹、宮平 工、花城直次、阿嘉裕之、国吉史雄、野村寛徳、松元 悟、渡慶次 学、比嘉浩太郎、武田 理、大西 勉、喜久本藍、上原博香、嘉川春生、末吉健次、上笹 航、親川 格、東盛貴光、友寄毅昭、狩俣かおり、宮城 敬、山入端敦、仲本学、折田 均、島袋泰、釜野武志、西垣大志、新垣和伸、比嘉麻乃、小橋川裕司、石川昂央		
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
活動内容	問題や議案が発生した際に開催。 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事。 機器の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
備考			

台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	6名
事務局・担当部署		担当者名	吉川 忍
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也、普天間光彦 【医療技術部】宮城竜也 【看護部】宮平典子 【事務部】當銘秀之、吉川 忍		
活動目的	1. コンディション発令(台風対策)の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員出勤時間などを決定する。		
活動内容	1. コンディション発令時刻の決定 2. コンディション解除時刻の決定 3. 診療時間の決定 通常診療休診の決定 通常診療開始の決定 4. 委員会開催日時の決定		
備考			

ICU・救急検討委員会

委員会名	ICU・救急検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	19名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医局】久場良也、佐久川廣、與座 一、西原 実、末吉健次、渡慶次学、嘉川春生、仲本 学、宮城 敬、普天間光彦、国島知子、大西 勉、武田 理、銘苅 正、三戸正人 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、洲鎌正子		
活動目的	救急外来、ICUの運営上の諸問題、搬送患者の取り扱い、感染問題、治療実績、地域消防との連携、勉強会の企画・開催などを行い、救急・集中治療に関わる質の向上とスキルアップに向けての啓蒙活動を行う事を目的とする。		
活動内容	1) BLS・ICLS コース企画・運営 2) ICLS コース企画、運営 3) 救急、災害フェアへの参加(東部消防との連携により西原のショッピングセンターにおいて BLS 講習会や健康相談会を実施する) 4) 救急カート管理(薬品・物品)		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会		
委員長名	宮平 工	構成人数	4 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
委員名	【医 局】宮平 工 【医療技術部】石原 悟 【事務部】比嘉 靖、宮城映子		
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営をはかるため必要な事項等を審議検討することを目的とす。		
活動内容	図書委員会活動：委員長が招集し年 2 回開催。(4 月・10 月) 広報活動：「図書だより」を毎月 1 回発行し、院内各部署および他病院図書室などに配布。年 1 回所蔵目録の作成。		
備考			

実績報告資料等

ハートライフ病院図書室 概要

- 利用時間：24時間利用可能(セキュリティシステムにて)
※担当者不在時 平日8:30～17:30
- 蔵書数：和書 2783冊、洋書 152冊
- 購読雑誌数：和雑誌 73誌
洋雑誌 21誌
- データベース：医中誌Web、PubMed、UpToDate、メディカルオンライン、ClinicalKey
- 視聴覚資料：DVD 55枚、CD-ROM 15枚、ビデオ 24本
- 機器の利用：パソコン3台、プリンター1台、視聴用DVD/ビデオ1台
- 図書室サービス：文献検索、文献複写依頼、図書購入手続



ハートライフ病院図書委員会

図書室業務実績(平成29年度)

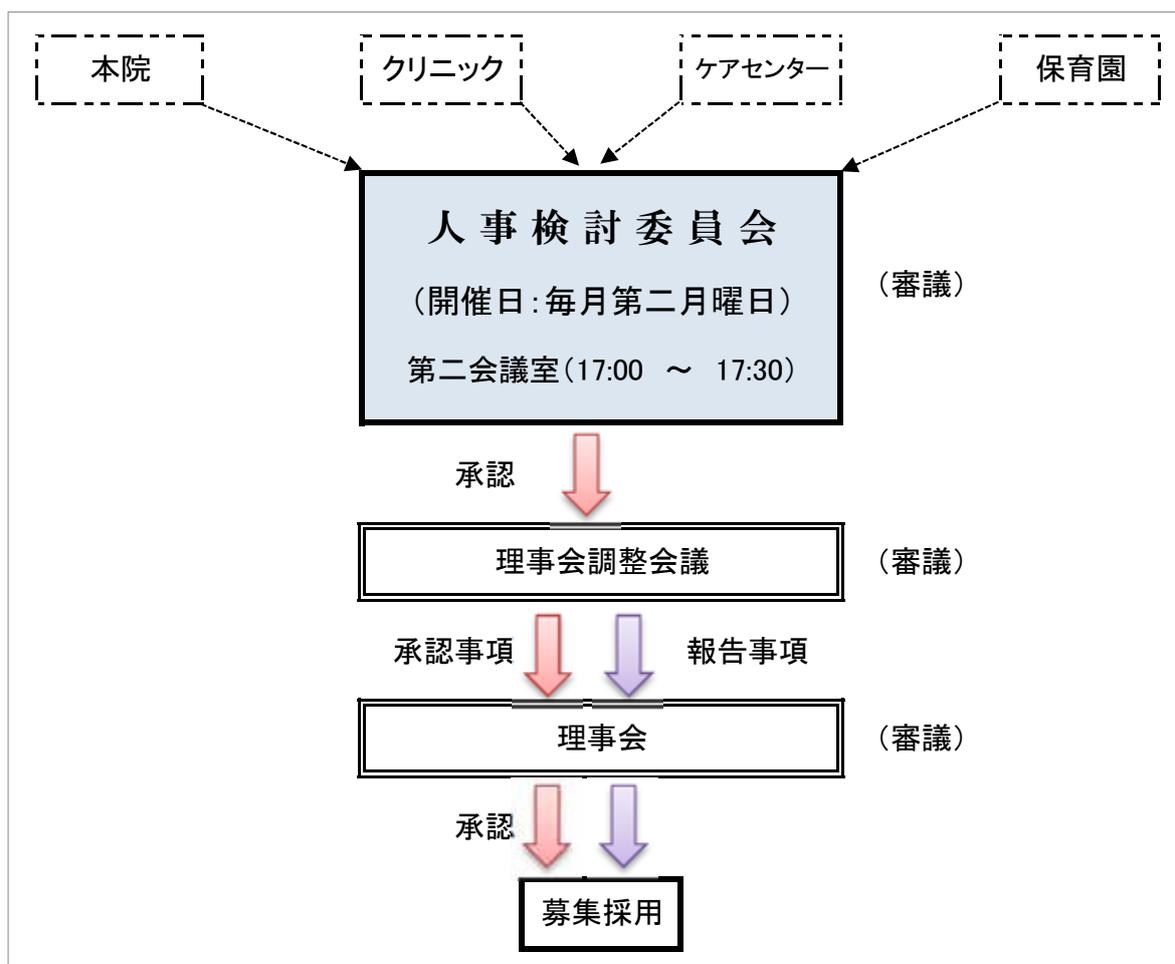
文献複写依頼	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
医 局	307	547	573	446	422
看護部	57	35	21	7	26
コメディカル	61	13	65	36	9
事務部	4	1	13	1	2
クリニック等外部	312	97	122	0	0
その他(既済)	0	0	0	0	0
小 計	741	683	784	490	459
メディア利用(オンライン データベース等)	6053	7083	6224	7063	5520
読書会の依頼	154	179	121	98	83

受入資料	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
和雑誌(冊数)	72	74	73	70	73
洋雑誌(冊数)	30	30	31	30	21
図書(書籍)	151	183	159	133	125

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	6名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医 局】奥島憲彦 【看護部】古波倉 美登利 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之 【法人事務局人事課】仲地智俊、比嘉康文		
活動目的	1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保 2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し経営に寄与する。 3. 職員の採用（増員・補充・異動、その他）は人事検討委員会を通して検討する。承認後は、理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。 4. 昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案する。 5. 業務委託の検討		
活動内容	平成 29 年度人事検討委員会開催数 12 回。承認された事案は理事会で審議され決定する。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④給与表・資格手当の見直しなどがある。平成 29 年度は、かりゆし会全体で、195 名を採用した。（ハートライフ病院 152 名、ハートライフクリニック 6 名、地域包括ケアセンター 22 名、保育事業 9 名、附随附帯業務 6 名）		
備考	人事検討委員会に提出する事案には、部署体制図を必ず添付するようお願いいたします。委員会は毎月第二月曜日に行われますので、稟議書等資料は、前週水曜日までに紙ベースにて人事課へ提出をお願いします。		

実績報告資料等



教育研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	5 名
事務局・担当部署	教育担当副部長	担当者名	仲地ますみ
委員名	【医 局】久場良也、普天間光彦 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】宮城竜也 【法人事務局人事課】比嘉康文		
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化・向上に寄与する。		
活動内容	1) 病院全体の教育・研修実施状況について以下を把握する。 ①年間計画と実績 ②各部門の教育・研修の現状 ③学会発表、参加状況 ④研修会（講習会）への参加状況 ⑤研修後の報告の有無 ※①～⑤については、各部門、委員会、チーム責任者で推進し、実施と評価を行うものとする 2) 外部からの研修（実習）受け入れ実績の集約 3) その他		
備考			

実績報告資料等

【平成29年度院内研修・講演会実績】		
内 容	実施件数	参加者(人)
医療安全	3	426
院内感染対策	4	559
教育	24	1095
発表・報告会	9	931
教養その他	12	550
計	52	3561

【平成29年度実習・研修受け入れ状況】		
医師卒後臨床研修	22	初期研修 7 後期研修 15
看護学生臨床実習	306	沖縄看護専門学校 74 ぐしかわ看護専門学校 86 北部看護学校 8 名桜大学 30 那覇看護専門学校 10 福岡看護専門学校 94 その他 4
医療技術関連実習	121	医学生 103 リハビリ 7 事務系 8 臨床検査 2 薬局 1
救急救命士臨床実習	52	中部地区MC 41 他消防 7 学生 4

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	16名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	諸見里和也
委員名	【医 局】久場良也、松元 悟 【看護部】仲地ますみ、諸喜田久美、安谷屋佳子、宮城幸江、米須智子、島袋すが子、内間幸人、安村公均、宮城つかさ、比嘉憲貴 【医療技術部】神谷乗敏、大城 安、宮城竜也 【事務部】諸見里和也		
活動目的	診療材料等に関する方針および懸案事項を審議、調整する。		
活動内容	1) 診療材料・医療消耗品等に係る方針に関すること。 2) 購買管理・在庫管理・使用管理に関すること。 3) 職員教育及び啓蒙に関すること。 4) 前各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項。		
備考			

実績報告資料等

平成29年度 診療材料検討委員会審議実績

平成30年5月
管財課 諸見里

申請審議件名	申請部署	現状使用材料	新規・変更採用材料	備考
止血剤アリスTAM	形成外科	無し	アリスTAM	ヒト由来成分ではなく植物由来成分の止血剤で安全に使用出来る。採用
除圧パット採用の件	形成外科	無し	除圧パット	足底形成に対する処置にて使用、費用は自費にて請求。採用
エスアイメッシュの採用の件	形成外科	エスアイイトメッシュ	エスアイメッシュ	エスアイイトメッシュは保険請求が出来ないがエスアイメッシュは出来る。採用
神経ブロック針の変更	麻酔科	ソノプレックス針	ソノプレックス針	価格は現在と同じ。採用
小児用カフ付気管チューブ採用の件	麻酔科	カフ無挿管チューブ	マイクロカフ付気管チューブ	現在はカフ無タイプで抜ける可能性があり、安全なカフ付チューブへ変更。採用
吸着型血液器リクセル採用の件	臨床工学科	無し	リクセル	保険医療材料で償還出来る。採用
プラスチック手袋の変更	用度	プロシエアグローブ	シンガープラテ	年間約70万削減
吸引カテーテルの変更	用度	トップ吸引カテーテル	ニプロ吸引カテーテル	
ティスポマスクサイズの変更	用度	ヤマトマスク	メディコムマスク	

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会		
委員長名	松元 悟	構成人数	11 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	宮里 毅
委員名	【医 局】松元 悟、久場良也 【看護部】古波倉美登利、外間真紀子 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、大城 安、斎藤辰好 【事務部】當銘秀之、宮城 淳、宮里 毅		
活動目的	・委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 ・年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。		
活動内容	1. 毎月第一金曜日に委員を開催し、必要物品・機器の購入検討を行い理事会にて承認を得る。 2. 承認を得た物品・機器を現金購入および割賦購入する。		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会		
委員長名	當銘秀之	構成人数	8 名
事務局・担当部署	事務部・総務課	担当者名	富里 等
委員名	【医局】奥島憲彦、菅谷明子 【看護部】古波倉美登利 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、吉川 忍、比嘉康文、富里 等		
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
活動内容	医師の勤務負担軽減（医師勤務実績表を作成し当直明け休日を推進） 「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業」認証の取得（H26.4 月） 職員満足度調査（H29.11 月実施）人事課、衛生委員会との共同 36 協定の遵守 かりゆし会 年次有給休暇取得率集計 タイムレコーダ打刻徹底周知（実労働時間の把握）		
備考	※開催日：毎月第 4 木曜日		

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会																										
委員長名	西原 実	構成人数	7名																								
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	桑江 高																								
委員名	【医局】西原 実 【医療技術部】仲座義富 【看護部】宮平典子、屋良ちえみ 【事務部】桑江 高、望月祥子、吉川 忍																										
活動目的	1. 医療従事者と患者等との円滑なコミュニケーションを図る 2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する。																										
活動内容	<p>1. 開催日 毎週木曜日 13時から14時（平成29年度計45回（通算268回）実施） 2. 場所 3階第2会議室</p> <p>(1) 主な議事内容の分類（述べ件数、平成29年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医師の説明・対応</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治療</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>検査</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>接遇・配慮</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>受診・入院対応</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>医療費・診断書</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>組織上の問題</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本委員会体制</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>連携上の問題</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>施設・環境整備</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 本委員会に寄せられた事例から、提案・改善に至ったもの ・不当な対応を訴える患者の対応について、医師、外来師長とカンファレンスを行い、対応に困った際には医療安全管理者が待機し、スタッフへ対応についてアドバイス及び患者対応を行うこととなった ・メディエーター研修への参加要請…院内のメディエーター養成研修修了者は現在34人 ・患者サポートカンファレンスを開催し、現場にフィードバックすることで、当委員会への相談は減少。現場で対応、解決する事例が増加したことが考えられる</p>			医師の説明・対応	1	治療	0	検査	2	接遇・配慮	10	受診・入院対応	8	医療費・診断書	0	組織上の問題	1	本委員会体制	5	連携上の問題	1	施設・環境整備	40	その他	15	計	83
医師の説明・対応	1																										
治療	0																										
検査	2																										
接遇・配慮	10																										
受診・入院対応	8																										
医療費・診断書	0																										
組織上の問題	1																										
本委員会体制	5																										
連携上の問題	1																										
施設・環境整備	40																										
その他	15																										
計	83																										
備考	平成29年度第35回患者サポートカンファレンスより宮平典子（看護部）から古波倉美登利へ変更																										

QI 委員会

委員会名	QI 委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	11 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
委員名	【医局】奥島憲彦、末吉健次、高良 誠 【院長直轄部門】外間真紀子、嘉数智子 【事務部】柳 学、安里 竜、知念政治、安里健二、田中淳也、真栄平 久美子		
活動目的	当院は 2012 年度より引き続き日本病院会主催の「QI プロジェクト 2017」に参加しております。QI (Quality Indicator) とは「医療の質の指標」を意味しています。 標準的な診療が行われているか、その実施率等を数値化し客観的に評価して「医療の質改善」繋げていくことを目的としております。		
活動内容	下記 32 項目の臨床指標データの収集。 1. 患者満足度 (外来患者) 2. 患者満足度 (入院患者) 3. 死亡退院患者率 4a. 入院患者の転倒・転落発生率・4b. 入院患者の転倒・転落による損傷発生率 (レベル 2 以上)・ 4c. 入院患者の転倒・転落による損傷発生率 (レベル 4 以上) 5. 褥瘡発生率 6. 紹介率 7. 逆紹介率 8. 尿道留置カテーテル使用率 9. 症候性尿路感染症発生率 10. 救急車・ホットラインの応需率 11. 特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率 12. 特定術式における術後 24 時間 (心臓手術は 48 時間) 以内の予防的抗菌薬投与停止率 13. 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率 14. 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c (NGSP) <7.0% 15. 退院後 6 週間以内の救急医療入院率 16. 急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 17. 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合 18. 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合 19. 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合 20. 急性心筋梗塞患者患者における退院時の ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 21. 急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 22. 急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の初回 PCI 実施割合 23. 脳卒中患者のうち第 2 病日までに抗血栓治療を受けた患者の割合 24. 脳卒中患者のうち退院時抗血小板薬を処方した割合 25. 脳卒中患者の退院時スタチン処方割合 26. 心房細動を伴う脳卒中患者への退院時の抗凝固薬処方割合 27. 脳梗塞における入院後早期リハビリ実施症例の割合 28. 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合 29. 入院中にステロイドの経口・静注処方された小児喘息患者の割合 30. 統合指標 (手術) 31. (虚血性心疾患) 32. 統合指標 (脳卒中)		
備考	本誌の「医療の質 Quality Indicator (QI)」のページでデータをご覧ください。		

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会																	
委員長名	久場良也	構成人数	9名															
事務局・担当部署	総務課	担当者名	吉川 忍															
委員名	【医局】久場良也、西原 実、三戸正人 【看護部】内間幸人 【医療技術部】仲座義富 【事務部】吉川 忍、桑江 高、宮里 毅、比屋根 斉																	
活動目的	災害発生時、来院する多数の傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。																	
活動内容	災害マニュアル作成委員会、災害訓練実施委員会、防災物品購入委員会を取りまとめ、マニュアル、火災訓練、大規模災害訓練実施の検討承認。																	
備考	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">災害対策委員会</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(委員長) 久場 良也</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">├──────────┬──────────┬──────────┤</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">災害マニュアル作成委員会</td> <td style="text-align: center;">災害訓練実施委員会</td> <td style="text-align: center;">防災物品購入委員会</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(委員長) 吉川 忍</td> <td style="text-align: center;">(委員長) 三戸 正人</td> <td style="text-align: center;">(委員長) 宮里 毅</td> </tr> </table>			災害対策委員会			(委員長) 久場 良也			├──────────┬──────────┬──────────┤			災害マニュアル作成委員会	災害訓練実施委員会	防災物品購入委員会	(委員長) 吉川 忍	(委員長) 三戸 正人	(委員長) 宮里 毅
災害対策委員会																		
(委員長) 久場 良也																		
├──────────┬──────────┬──────────┤																		
災害マニュアル作成委員会	災害訓練実施委員会	防災物品購入委員会																
(委員長) 吉川 忍	(委員長) 三戸 正人	(委員長) 宮里 毅																

増改築検討委員会

委員会名	増改築検討委員会		
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	16名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	宮里 毅
委員名	【医局】奥島 憲彦、松元 悟、久場良也、佐久川 廣、西原 実、山本壽一、與座 一、秋元 芳典 【看護部】古波倉美登利 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、安里竜、後原保光、新川進、比屋根宗、宮里毅		
活動目的	増改築計画の立案、および関連する業務・内容の検討・調整業務を行う。		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎週第2・第4水曜日開催。 2. 工事関連部署との調整。 3. 工事内容の検討・修整、および決定事項の周知。 4. 引越しのスケジュール調整と実施 5. 内覧会の準備対応 		
備考			

ハートライフクリニック 平成 29 年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2017

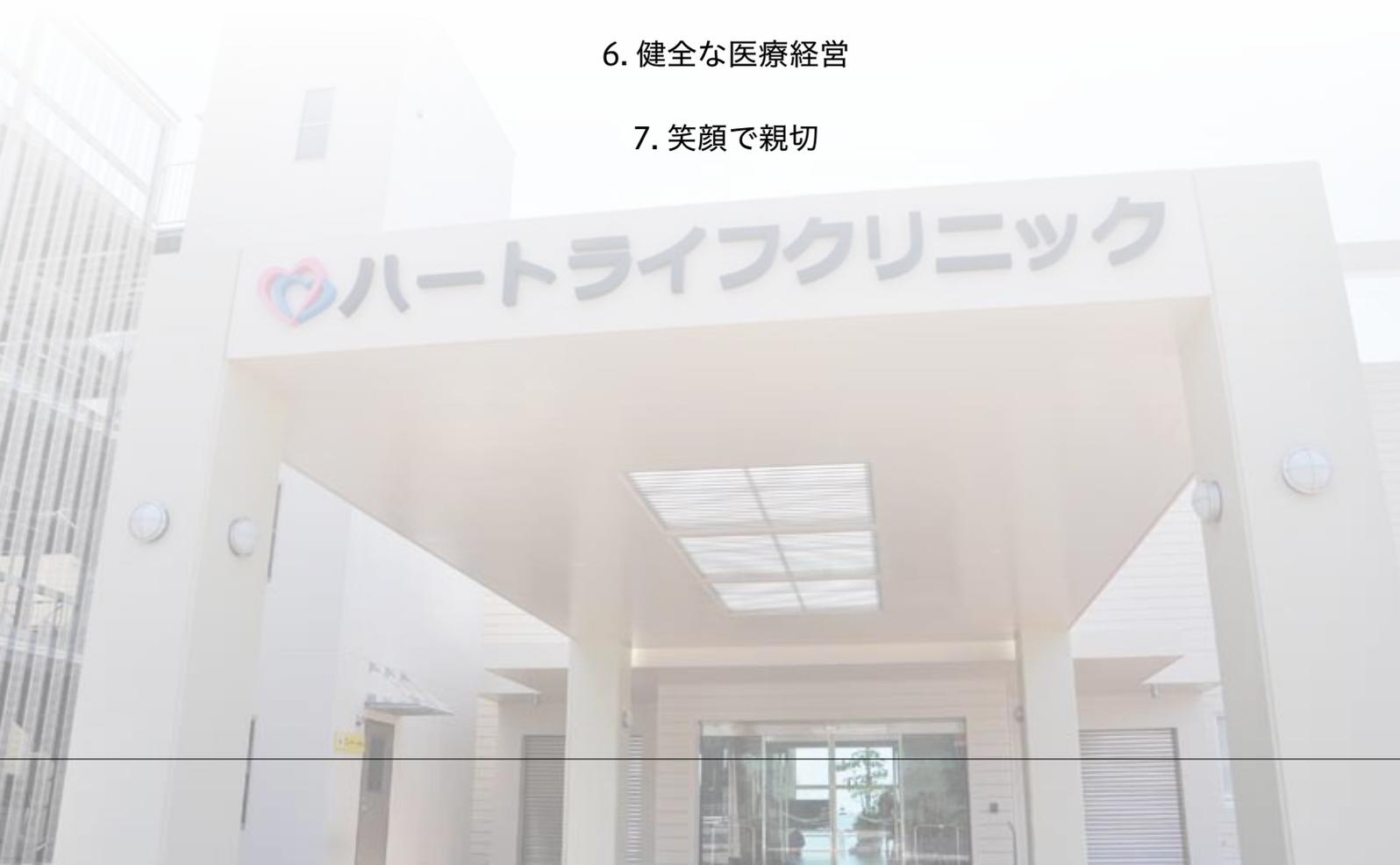


理念

わたしたちは心と心をつなぐ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

年報発刊によせての挨拶



ハートライフクリニックが誕生して6年目の年報となりました。クリニックの受診患者さまは、開院以来毎年増加し、平成29年度は39,597名と過去最高の受診者数を記録しています。開院より満6年で延べ184,308名もの多くの患者さまに受診して頂きました。受診患者さまは西原町、中城村、宜野湾市からが圧倒的に多く、与那原町、南城市と続きます。地域のかかりつけ医療機関として認識されてきたことと思われます。さらに、糖尿病内科では与那国島から北大東島まで8つの離島から定期通院される患者さま、外国籍の患者さまもおられ、専門性の高い医療を求めて受診されているものと思われます。

平成29年度のクリニック内科は、常勤が上地 華代子 医師1人となり、本院の循環器内科部長の與座一 医師、内科部長を兼任する副院長の佐久川 廣 医師、理事長の安里 哲好 医師にお力添えを頂きました。また、総合内科医師の徳田 安春 先生、琉球大学第3内科から山田 義貴 先生、土曜診の高山 真一 先生にも非常勤として内科診療を担って頂きました。増加する内科患者さまに対応するため常勤の医師確保が内科の課題です。小児科では、本院から副部長(現部長)の国島 知子 医師と川満 豊 医師、崎原 徹裕 医師、普久原 夏 医師、そして琉球大学小児科学教室から多くの医師を派遣して頂きました。依然として医師数の不足から土曜日の外来と平日2コマの外来を縮小し、患者さまにはご迷惑をお掛けしている状況です。早急の医師確保が小児科の課題です。糖尿病内科では1型糖尿病や重症合併症の紹介患者さまが多く、地域での糖尿病医療の専門性を発揮しています。透析予防チーム医療、フットケア外来、持続皮下グルコースモニター（CGM）、インスリン持続皮下注射療法などの高度な糖尿病医療もおこなっています。土曜日には糖尿病教室と患者会を開催しています。糖尿病内科も定期通院中の患者数に対して担当医師数が不足しているため新規患者さまの受け入れを止めている状況です。多くの受診希望患者さまにご迷惑をお掛けしています。糖尿病治療専門医師の確保が課題です。

各科ともそれぞれの特徴を活かした診療を円滑に進めるために看護師、管理栄養士、放射線技師、臨床検査技師、臨床心理士、メディカルクラーク、医事課スタッフがお互いに連携を取りながらクリニックの診療をサポートしています。

クリニックでは最小人数で運営しているためハートライフ病院からの人的支援のお陰で医療の質が保たれています。本年報ではクリニックの状況がデータとして表現されています。今後とも皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフクリニック
院長 山本 寿一

クリニック概要

(平成 29 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地

〒 903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院長 山 本 壽 一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡

規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

職員数

総数 53 名

職種別

(平成 29 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	3	クラーク	7	臨床心理士	1	その他	2
非常勤医師	17	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	9	臨床検査技師	2	理学療法士	1		
准看護師	2	放射線技師	1	一般事務	5		

指導医・専門医・認定医

(平成 29 年 9 月現在 / データ作成 企画室広報 仲田)

名称	人数
日本内科学会総合内科専門医	5
日本内科学会認定医	8
日本総合診療医学会認定医	1
日本プライマリケア連合学会指導医	1
日本プライマリケア連合学会認定医	1
日本糖尿病学会研修指導医	1
日本糖尿病学会専門医	4

名称	人数
日本内分泌学会指導医	1
日本内分泌学会専門医	2
日本循環器学会専門医	1
日本呼吸器学会専門医	1
日本小児科学会指導医	1
日本小児科学会専門医	5
地域総合小児医療認定医	1

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 特定疾患治療研究事業医療機関
5. 小児慢性特定疾患治療研究事業医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、専門外来など

- 禁煙外来

受付時間

月曜日～金曜日 午前 8:00～11:30
午後 13:00～16:30
土曜日(内科・小児科)
午前 8:00～11:30

診療時間

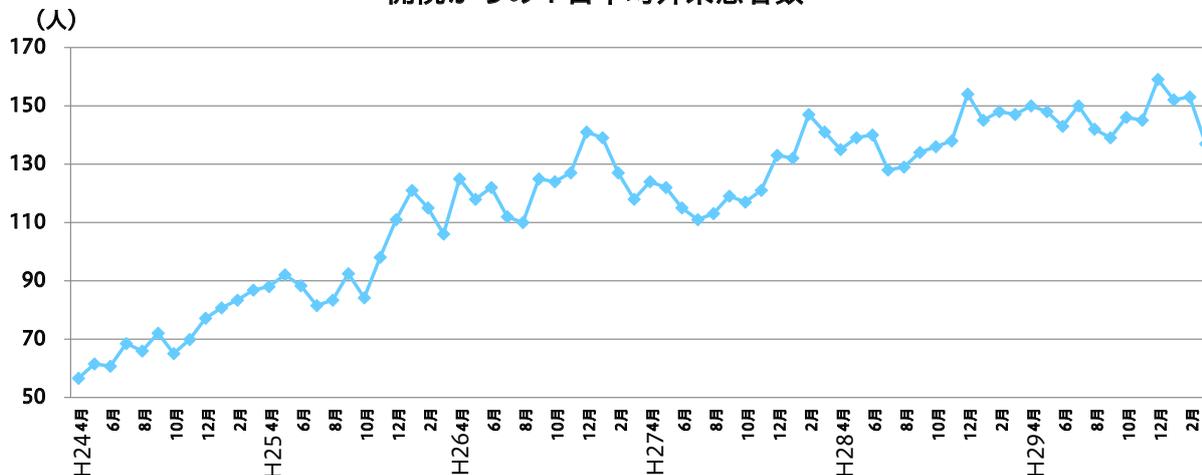
月曜日～金曜日 午前 9:00～12:00
午後 14:00～17:30
土曜日(内科・小児科)
午前 9:00～12:00

休診日

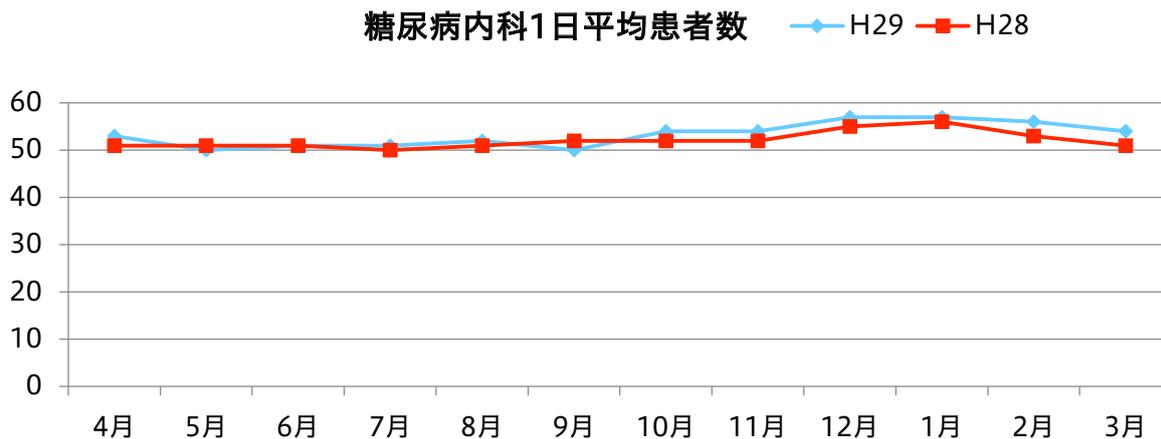
糖尿病内科/ 土曜日・日曜日・祝祭日
内科・小児科 / 土曜日午後・日曜日・祝祭日

患者統計

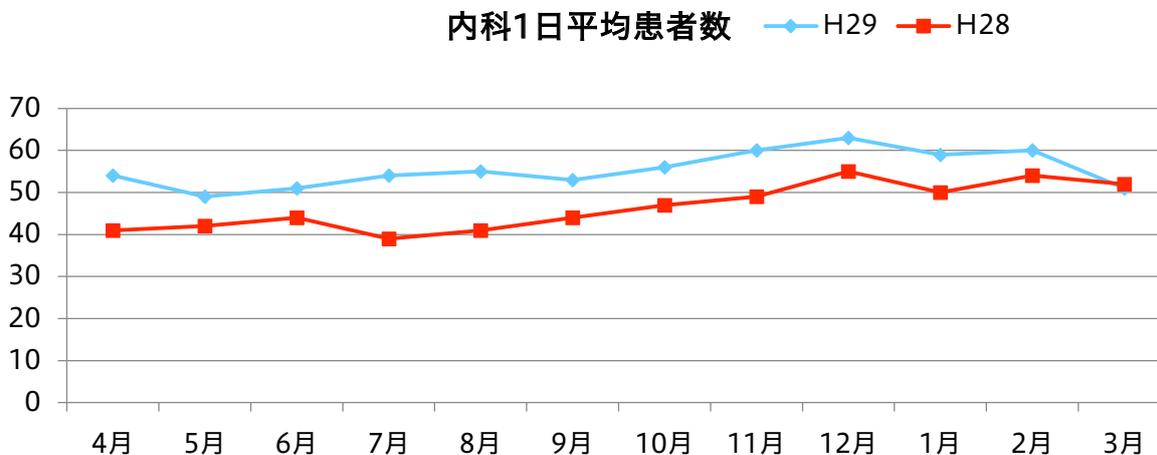
開院からの1日平均外来患者数



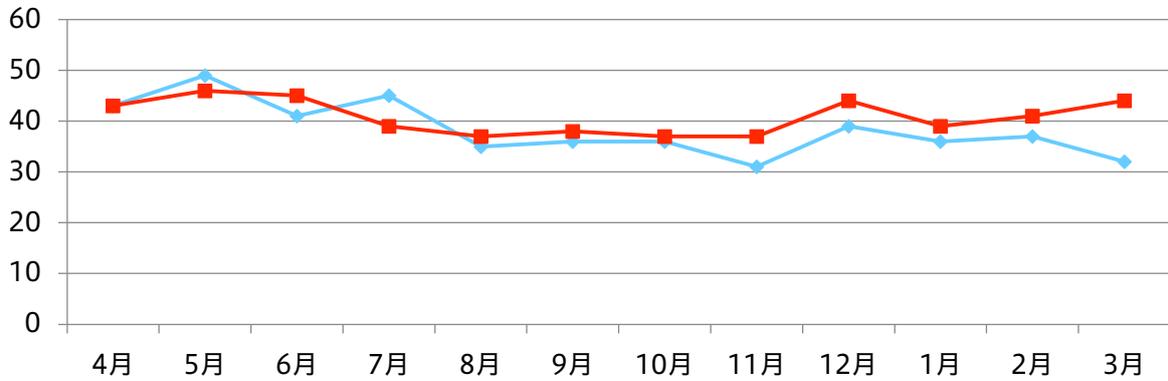
糖尿病内科1日平均患者数



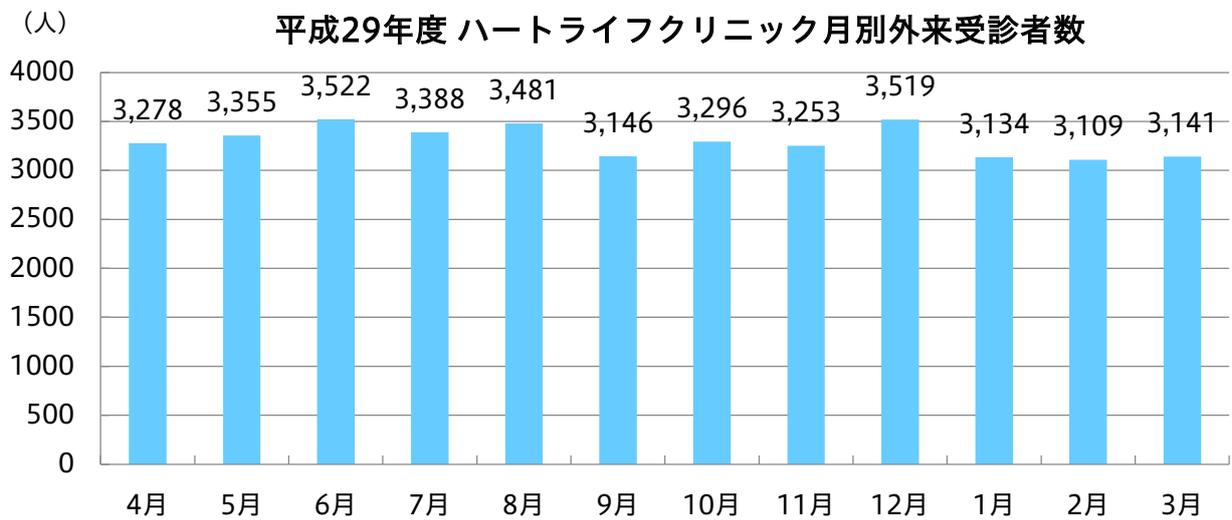
内科1日平均患者数



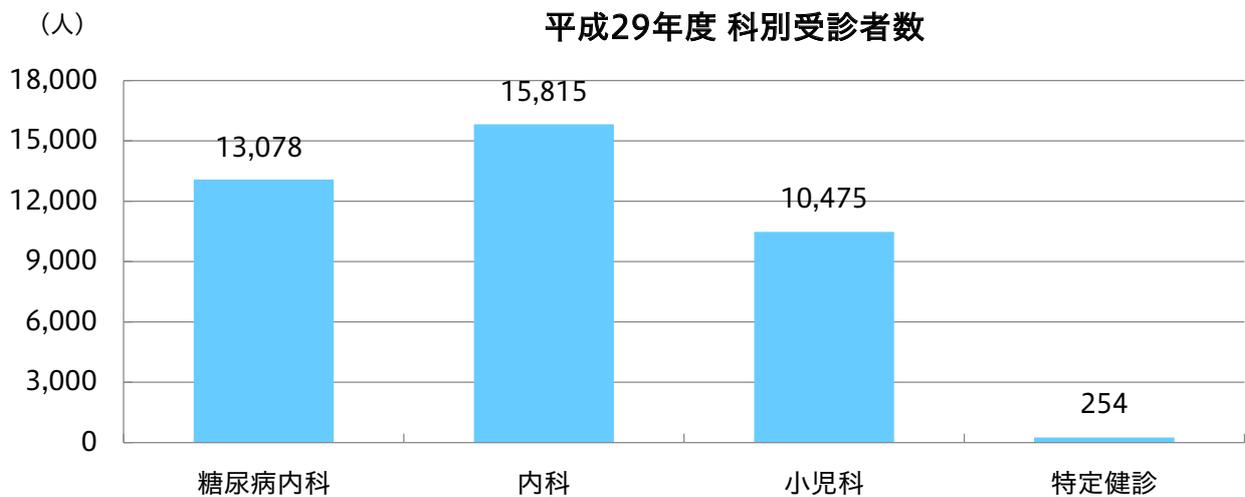
小児科1日平均患者数 H29 H28

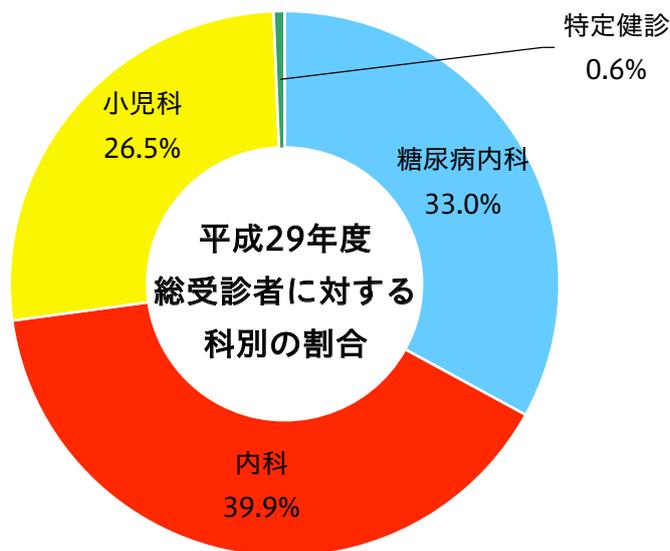


平成29年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数

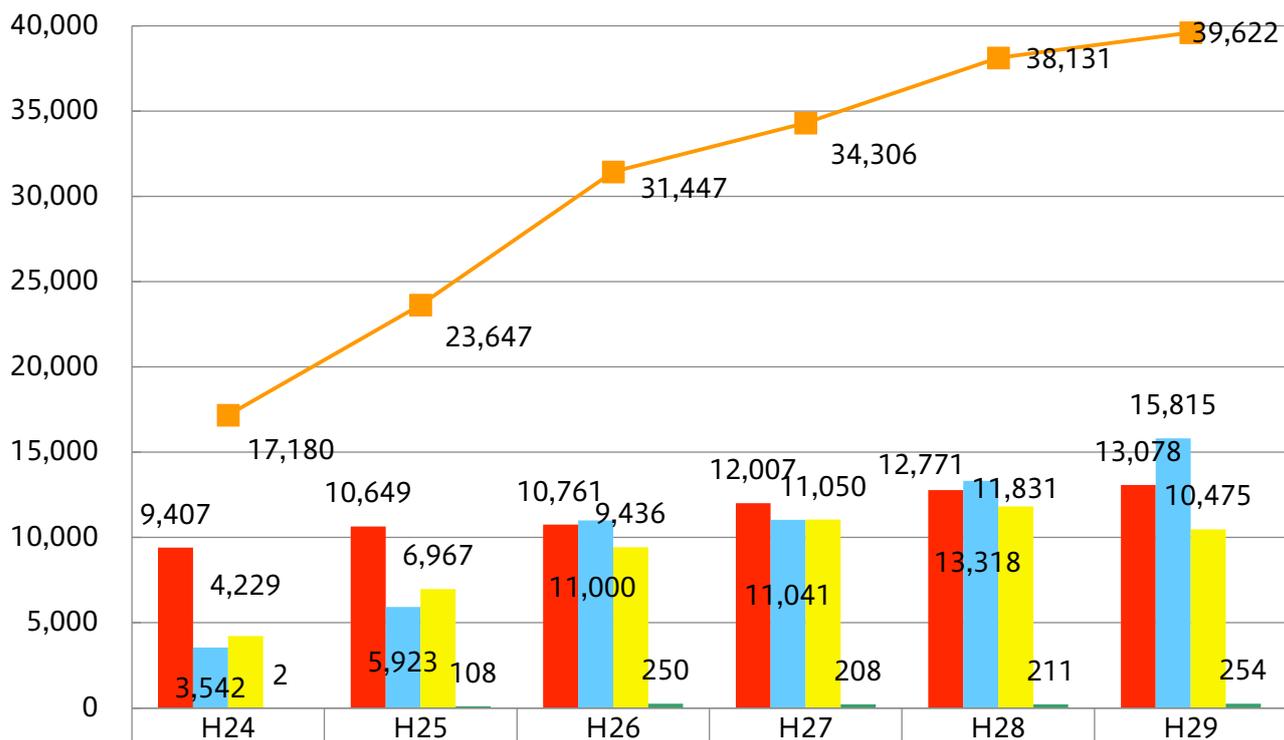


平成29年度 科別受診者数



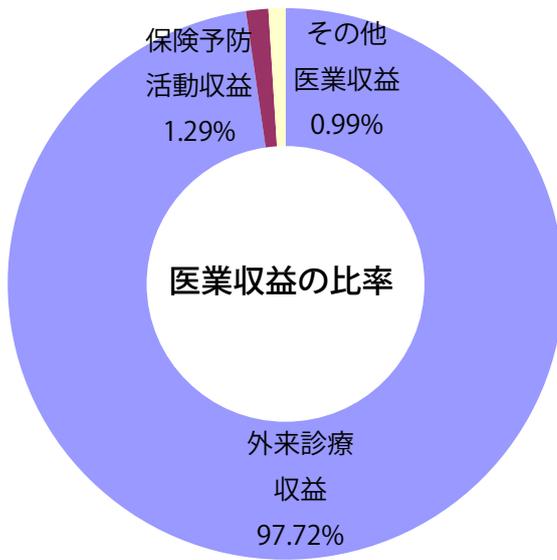


(人) 外来受診者数 年次推移 (平成24年度～平成29年度)



糖尿病内科	9,407	10,649	10,761	12,007	12,771	13,078
内科	3,542	5,923	11,000	11,041	13,318	15,815
小児科	4,229	6,967	9,436	11,050	11,831	10,475
特定健診	2	108	250	208	211	254
合計	17,180	23,647	31,447	34,306	38,131	39,622

財務情報



ハートライフクリニック 部門別業務実績

糖尿病内科

部門紹介

ハートライフクリニック糖尿病内科は、患者さまの生活習慣や価値観を尊重しながら、患者さまが糖尿病と共によりよい目標を目指して治療が続けられるようにサポートし続けることです。

糖尿病内科では、最新のインスリンポンプ療法やインクレチン自己注射療法、インスリン強化療法、14日間3分間隔で血糖を自動測定するな持続皮下グルコースモニター（CGM）などを、外来ベースで導入しています。重症の合併症を持つ患者さまも紹介で受け入れしています。また、糖尿病治療による心理的負担で疲弊した患者さまも本島内だけでなく離島からも通院されています。特にインスリンがなければ生きていけない1型糖尿病患者も多数通院されています。

看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、臨床心理士が糖尿病患者の療養指導を行います。日本糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフ7名で、透析予防のためのチーム医療、下肢の切断予防を目的としたフットケアなどの加算がとれる施設として厚生労働省から認定されています。

普段の診療以外では、糖尿病内科休診日である土曜日に外来教育コースや糖尿病患者会「ハッピーハート会」を定期的で開催しています。1型糖尿病患者勉強会「ポパイの会」を年3回開催し多数の患者さまが参加されました。さらに、日本糖尿病協会主催のウォークラリーや糖尿病週間の一般市民への啓発運動などにも協力しています。

職員数

総数 17名

医師 6名（常勤1名、非常勤5名）

臨床心理士 1名

看護師 5名

メディカルクラーク 3名

管理栄養士 2名

クラーク 1名

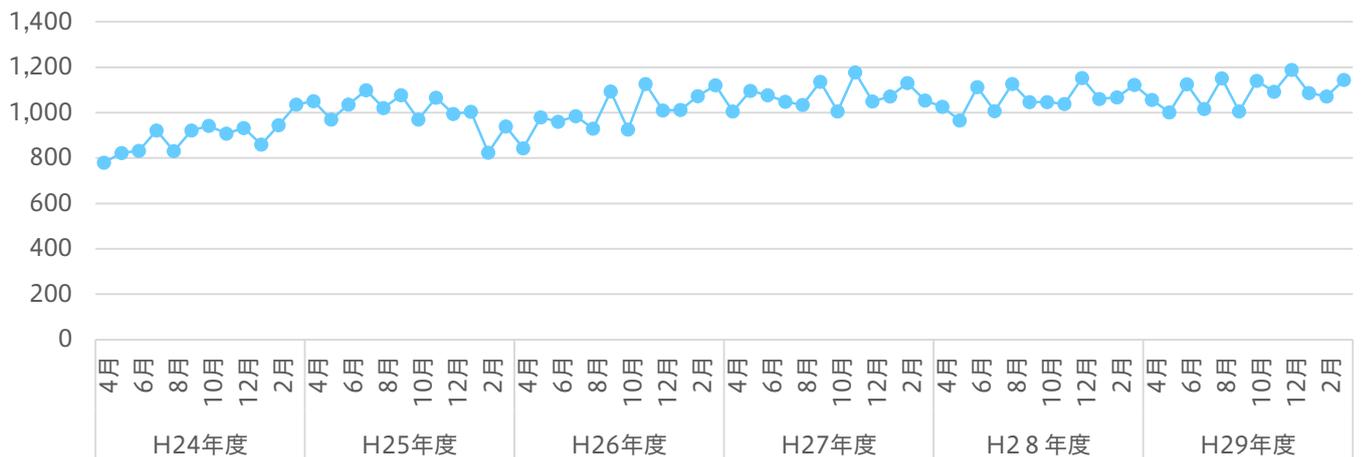
検査技師 1名

認定・資格

名称	人数
日本糖尿病療養指導士	7

名称	人数
沖縄県地域糖尿病療養指導士	2

開院からの受診者数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講演会講師「心理学から治療中断の意味を考える」	糖尿病セミナー	沖縄県	平成 29 年 4 月 18 日	高橋紗也子
ポスター発表「糖尿病チーム医療における心理士との協働の必要性と課題」	第 60 回日本糖尿病年次学術大会	愛知県	平成 29 年 5 月 18 日	高橋紗也子
講演会講師「病を抱えて生きる人への心理的支援-ターミナル・認知症・糖尿病・HIVから-」	今野診療所勉強会	和歌山県	平成 29 年 5 月 28 日	高橋紗也子
糖尿病療養指導士の役割と活動	第 5 回 OCDEL 基礎講習会	沖縄県	平成 29 年 7 月 9 日	仲里幸康
透析・糖尿病患者の足病変における連携～連携の情報と紹介タイミング～紹介するタイミングと患者の選択	第 24 回沖縄実践フットケア研究会	沖縄県	平成 29 年 7 月 25 日	山本壽一
講演会講師「心理学から糖尿病治療中断の意味について考える」	中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 推奨講演会	沖縄県	平成 29 年 8 月 23 日	高橋紗也子
症例から学ぶ糖尿病心理	奥口内科勉強会	宮城県	平成 29 年 9 月 2 日	山本壽一
新しい血糖測定機リブレを用いた糖尿病チーム医療の実際	中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 推奨講演会	沖縄県	平成 29 年 9 月 13 日	仲里幸康
新しい血糖測定機リブレを用いた糖尿病チーム医療の実際	中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 推奨講演会	沖縄県	平成 29 年 9 月 13 日	新垣優子
新しい血糖測定機リブレを用いた糖尿病チーム医療の実際	中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 推奨講演会	沖縄県	平成 29 年 9 月 13 日	長嶺敦司
新しい血糖測定機リブレを用いた糖尿病チーム医療の実際	中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 推奨講演会	沖縄県	平成 29 年 9 月 13 日	伊保希望
新しい血糖測定機リブレを用いた糖尿病チーム医療の実際	中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会 推奨講演会	沖縄県	平成 29 年 9 月 13 日	山本壽一
発表「1 型糖尿病を抱えながらの人生を模索する思春期女子との心理療法過程の振り返り」	第 4 回日本糖尿病医療学学会	京都府	平成 29 年 10 月 7 日	高橋紗也子
座長	第 4 回日本糖尿病医療学学会	京都府	平成 29 年 10 月 8 日	大橋健・任和子・高橋紗也子
シンポジスト「医療学は何を目指すのか?～糖尿病内科専任の臨床心理士の立場から～」	第 4 回日本糖尿病医療学学会	京都府	平成 29 年 10 月 7 日	高橋紗也子
血糖測定機リブレについて	日本糖尿病協会 沖縄県栄養士部会 研修会Ⅱ	沖縄県	平成 29 年 11 月 7 日	仲里幸康
血糖測定機リブレを用いた栄養指導の実際	日本糖尿病協会 沖縄県栄養士部会 研修会Ⅱ	沖縄県	平成 29 年 11 月 7 日	新垣優子
発表「HIV 陽性者の心理的支援の重要性に関する検討 (1)」	日本エイズ学会学術集会	東京都	平成 29 年 12 月 1 日	田中史子・古野裕子・荒木浩子・市原有希子・清水亜紀子・高橋紗也子・仲倉高広・野田実希・山崎基嗣・山本喜晴・大山康宏
発表「HIV 陽性者の心理的支援の重要性に関する検討 (2)」	日本エイズ学会学術集会	東京都	平成 29 年 12 月 1 日	古野裕子・田中史子・荒木浩子・市原有希子・清水亜紀子・高橋紗也子・仲倉高広・野田実希・山崎基嗣・山本喜晴・大山康宏
講師	日本糖尿病療養指導士認定機構 認定更新者用講習会	沖縄県	平成 29 年 12 月 2 日	仲里幸康

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講師	日本糖尿病療養指導士 認定機構 認定更新者 用講習会	沖縄県	平成 29 年 12 月 3 日	新垣優子
講演会講師「当院における糖尿病 病患者への臨床心理士の関わり の実際」	出雲糖尿病トータルケア 研究会	島根県	平成 29 年 12 月 5 日	高橋紗也子
当院における lahGlucosuMonitoring(FGM) シ ステムの使用状況について	第 12 回九州 DM セミ ナー	福岡県	平成 30 年 1 月 20 日	仲里幸康
講演会講師「事例検討の意義」	第 1 回日本糖尿病医療 学学会 関東地方会	東京都	平成 30 年 2 月 11 日	皆藤章・高橋紗也子・千葉友 里香
座長	第 1 回日本糖尿病医療 学学会 関東地方会	東京都	平成 30 年 2 月 11 日	大橋健・高橋紗也子
当クリニックにおけるリブレを用 いた栄養指導の実際と今後の課 題	第 37 回食事療法学会	沖縄県	平成 30 年 3 月 3 日	柴田みね子
司会	第 37 回食事療法学会情 報交換会	沖縄県	平成 30 年 3 月 3 日	新垣優子
ファシリテーター	糖尿病医療学 in 岐阜	岐阜県	平成 30 年 3 月 21 日	高橋紗也子

患者教育活動

ポパイの会開催

1 型糖尿病患者さんご家族を対象に、勉強会や情報交換会を開催しています。

開催日	テーマ	担当	参加者数
6 月 24 日 (土)	リブレの機能について	担当 仲里 / 検査技師	15 名
	実際にリブレを使用して感じた利点と欠点	担当 伊保 / 看護師	
	最新の糖尿病治療について	担当 山本 / 医師	
	最新治療についてのディスカッション	担当 伊保 / 看護師	



■最新の糖尿病治療について



■ディスカッション風景

ハッピーハート会

ハッピーハート会は患者、スタッフで構成されており、糖尿病に対する意識を深めること、また患者さん同士の親睦を図ることを目的としています。

テーマ	担当	開催日	参加人数
平成 28 年度 総会	スタッフ・会員	5 月 31 日	5 人
室内で出来るゴム運動	理学療法士	7 月 29 日	17 人
バイキング～忘年会～	栄養士	12 月 16 日	23 人
第 10 回 美ら海ウォークラリー -	通院患者様	11 月 27 日	雨天中止
血糖コントロール～成功例・失敗例～	通院患者様	2 月 24 日	14 人



体験談～成功例・失敗例～



バイキング～忘年会～



室内で出来るゴム運動



糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んでいただいたり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
4月1日	夏はもうすぐ！夏専用の運動療法を考えよう！～熱中症対策～	理学療法士 / 長嶺	4名
	沖縄の夏は暑い！健康に過ごすための熱中症クイズ	臨床心理士 / 高橋	
	薬について	薬剤師 / 津波古	
4月8日	上手に水分補給	管理栄養士 / 柴田	5名
	検査について	臨床検査技師 / 仲里	
5月13日	糖尿病にストレスって関係あるの？	臨床心理士 / 高橋	7名
	検査について	臨床検査技師 / 仲里	
5月27日	栄養バランスについて～もっともって〇〇をとろう～	管理栄養士 / 柴田	8名
	知って考えよう糖尿病	看護師 / 玉那覇	
6月3日	腎症 1～5 期 知っていますか？	看護師 / 久高	8名
	さまざまな運動療法の紹介「Q & A」	理学療法士 / 長嶺	
	薬について	薬剤師 / 上地	
6月10日	体の中のそら豆～腎臓ってどんな働き～	看護師 / 島袋	8名
	腎生しについて	臨床検査技師 / 仲里	
6月17日	今日から変わる！あなたの腎臓を守る食事	管理栄養士 / 柴田	8名
	病気と一緒に過ごすということ～糖尿病との付き合い方～	臨床心理士 / 高橋	
7月1日	コツコツ食事療法	管理栄養士 / 柴田	0名
	血糖を測ってみよう	臨床検査技師 / 仲里	
7月15日	あなたは準備期？行動期？こんな時あんな時どうする？	看護師 / 玉那覇	6名
	糖尿病との長～～いおつきあい	臨床心理士 / 高橋	
8月5日	大変な時こそ、備えて安心！自分でできる災害対策！	臨床心理士 / 高橋	10名
	災害時の運動療法は他の疾患にならないように予防する	理学療法士 / 長嶺	
	薬について	薬剤師 / 津波古	
9月16日	もしもの時～実例から学ぶ災害時の食事療法～	管理栄養士 / 柴田	12名
	災害時の血糖変動と注意点	臨床検査技師 / 仲里	
10月21日	口は体の入り口～いい事あるぞ口のケア	歯科衛生士 / 幸喜	19名
	あなたの知らない目の奥の話	医師 / 山本院長	
11月11日	今さら聞けない糖尿病食 基本の話	管理栄養士 / 柴田	16名
	糖尿病連携手帳の本当の使い方～活用術基礎編～	看護師 / 伊保	
	薬の基礎編～服薬している薬の解説をします～	薬剤師 / 上地	
12月9日	これならできる！運動療法～自分に合った運動を探してみよう～	理学療法士 / 長嶺	17名
	糖尿病の検査の総論	臨床検査技師 / 仲里	
	糖尿病とストレス イライラすると血糖値上がる！？	臨床心理士 / 高橋	

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
1月13日	血管年齢を若くする方法	看護師 / 久高	35名
	動脈硬化に関する検査について	臨床検査技師 / 仲里	
	認知症 ～脳の血管を大切に～	臨床心理士 / 高橋	
	動脈硬化の予防薬について	薬剤師 / 津波古	
2月3日	自分の足 ～見て、触って、変えていこう～	看護師 / 島袋	18名
	足の検査について	臨床検査技師 / 仲里	
	健康は足元から「もっと私(足)見て～」	理学療法士 / 長嶺	
3月10日	もう後悔しない! くわっちいの賢い食べ方	管理栄養士 / 柴田	13名
	”くわっちい” 食べる? 食べない?	看護師 / 玉那覇	
	口腔ケアのタイミング	歯科衛生士 / 幸喜	



ある日の外来教室の風景 (看護師)



ある日の外来教室の風景 (臨床検査技師)



健康の土台作り



イベント対策 (くわっちいとの付き合い方)

糖尿病月間



糖尿病内科ではインスリンの発見者フレデリック・バンディング博士の誕生日に制定された11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ、11月1日から11月30日の間イベントを開催しました。イベントはクリニック利用者の方を対象に参加型で行い大盛況に終わりました。

～イベント内容～

1. ブルーサークル
2. パネル展示（患者会・外来教室・栄養士・看護師・心理士・理学療法士・Dr）
3. 糖尿病関連の資料展示
4. 自己血糖測定体験（32人）
5. パネル de クイズ・スタンプラリー（達成者39人）
6. 試食コーナー～食物繊維を摂ろう～（500人）



看護師パネル



自己血糖測定



院内パネル展示

心理相談室

ハートライフクリニック2Fの糖尿病内科には「心理相談室」があります。全国でもめずらしい糖尿病内科内の相談室です。来院される方の「こころ」と「からだ」、「毎日の暮らし」をトータルでサポート出来るようにと開室しています。

平成28年度4月から、常勤の臨床心理士として高橋紗也子（たかはしさやこ）が在籍しています。

支援内容		平成29年度実績	
患者様向け	カウンセリング	糖尿病の話だけに限らず、心にひっかかっていること、日々のことを時間をゆっくりとってお伺いしています。	188件
	心理アセスメント	心理アセスメントで性格傾向や抑うつ感などを評価することで、具体的に療養計画に繋げていくことが出来ます。	1件
	認知機能アセスメント	認知機能アセスメントで、認知機能の傾向を知ることで、ご自身の得意不得意を知って、より主体的に生活をおくること、家族が日常生活で支援出来るポイント、医療スタッフの治療方針の検討に役立ちます。ご家族の介護相談にも応じています。 ※スクリーニング検査となりますので、診断には精査が必要となります。	21件
	糖尿病教室	糖尿病の方がご自身の工夫で療養生活を送っていただくために必要な知識の心理に関することを講義しています。	月1回
	糖尿病患者会（ハッピーハート会）	糖尿病を抱える方同士で支え合う仲間の集まりである患者会のイベントの手伝いや病気という繊細な話に触れる時のフォローアップをしています。	年4回
スタッフ向け	シェアリング	よりきめ細やかなケアのために医療スタッフ間で患者様の情報を共有する会をコーディネートしています。	週1回
	カンファレンス	症例を通して、「からだ」と「こころ」両面からのケアを考えるためのカンファレンスをコーディネートしています。	月1回

栄養の日

2017年、日本栄養士会は8月4日を「栄養の日」、8月1日から7日を「栄養習慣」に制定しました。

ハートライフクリニックでは、来院される皆様に栄養の日の紹介と日常の自分とその家族の食生活を考えてもらえるように、ポスターを貼りだし、栄養についてお話ししました。

栄養の日

たのしく食べる、カラダよろこぶ



内科

内科医長 上地 華代子

部門紹介

平成 30 年より常勤は呼吸器内科医 1 名に加え、本院の先生方の応援をいただき、月、土を除く午前は 2 診体制としております。 與座医師の循環器内科の外来診療も週 3 回から 4 回となり定期患者数が増加しております。その他、2 週に 1 回木曜日午後（第 1 週、第 3 週）は総合内科の徳田医師、水曜日午前は琉大の腎臓内科の先生にきていただいております。

また、午後を中心に禁煙外来を行っており、初診は火曜日午後が望ましいのですが、日時は相談可能ですのでお問い合わせいただきますようお願い致します。

職員数

総数 14 名

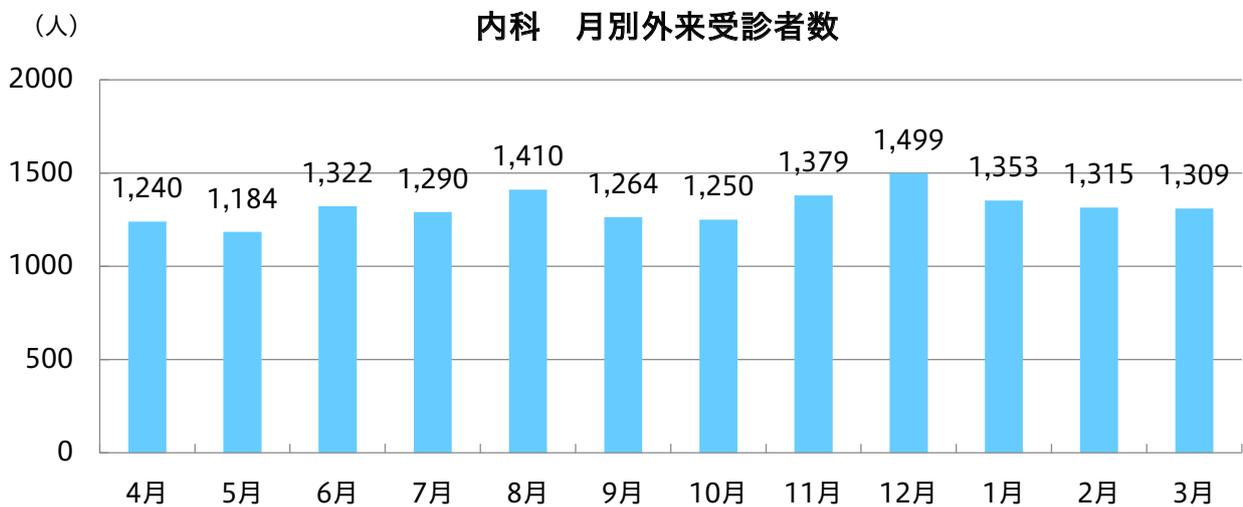
医師 8 名（常勤 1 名 非常勤 7 名）

メディカルクラーク 1 名

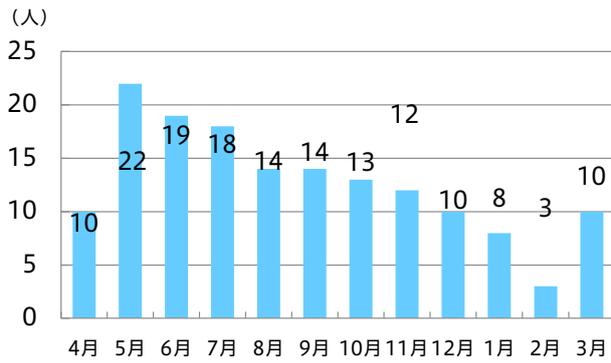
看護師 4 名

クラーク 1 名

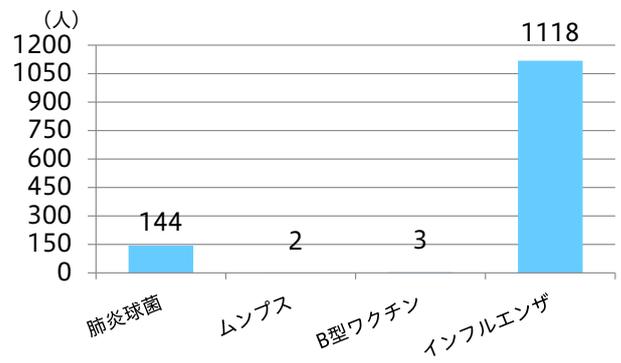
業務実績



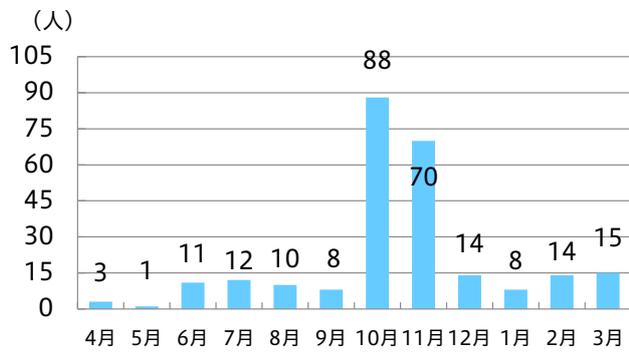
禁煙外来受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



特定健診受診者数



小児科

ハートライフ病院小児科副部長 国島 知子

部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフ病院の医師と主に琉球大学附属病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。

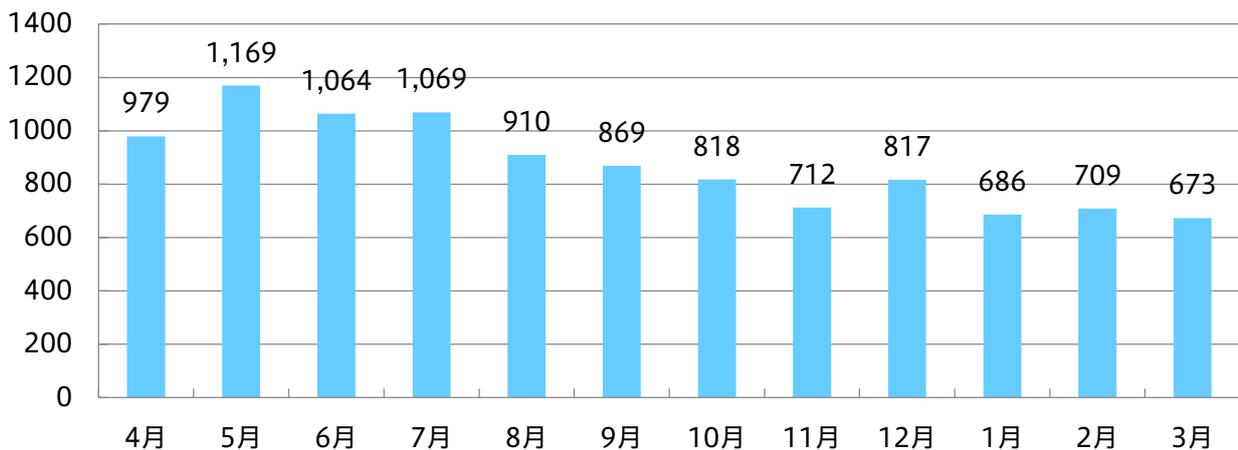
当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

業務実績

(人)

小児科 月別外来受診者数



附属施設

疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設 リューザ 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

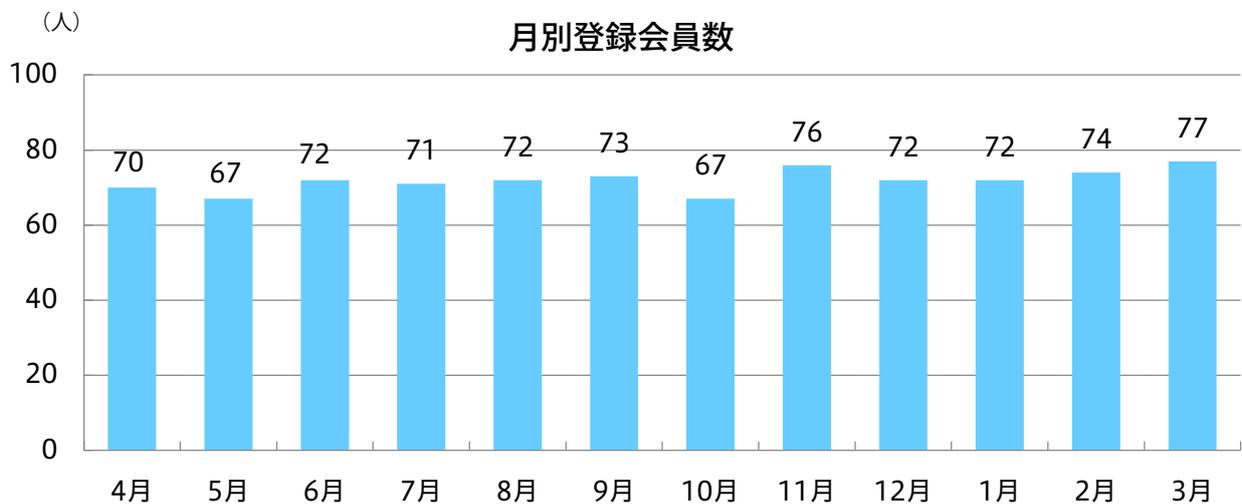
職員数

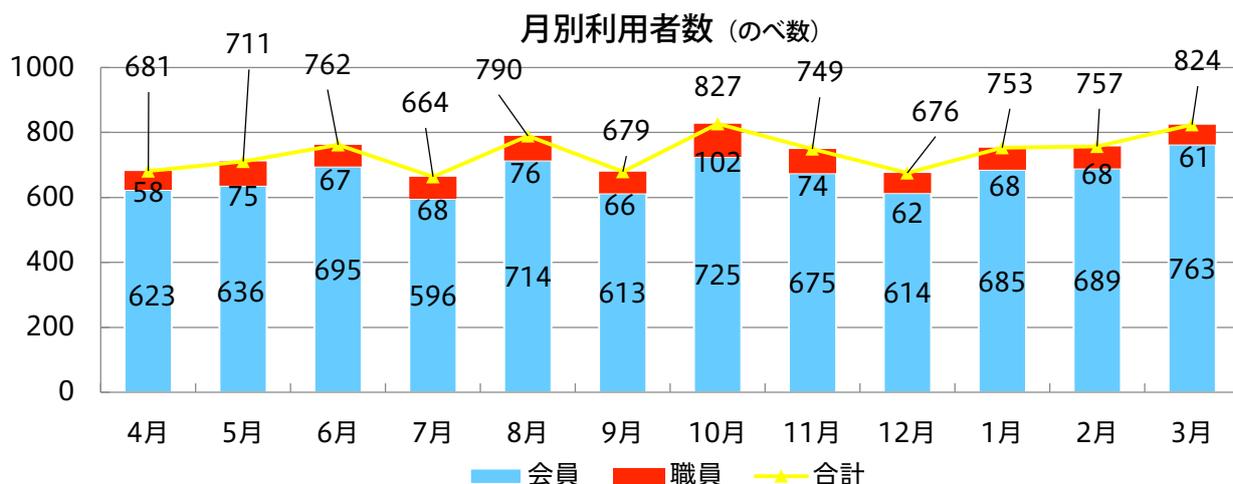
総数 5名

理学療法士 3名

健康運動指導士 2名

業務実績





研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
変形性膝関節症を呈している 2 型糖尿病患者に対する水中運動の効果及び種目別の血糖変動を検証する	第 60 回日本糖尿病学会 年次学術集会	名古屋国際会議場	2017 年 5 月 18 日	長嶺敦司

活動実績

講演会参加実施

名称	開催地	年月日	講師
出前講座「変形性膝関節症予防について」 ～要支援・要介護にならない為の予防運動	西原町小波津公民館	2017 年 4 月 12 日	講師：長嶺敦司
出前講座「運動療法で糖尿病を予防しよう」 ～自分の膝は自分で守ろう～	西原町上原公民館	2017 年 5 月 16 日	講師：長嶺敦司
出前講座「変形性膝関節症について」	西原町掛保久公民館	2017 年 7 月 20 日	講師：長嶺敦司
第 7 回アクアセラピーシンポジウム 「運動器疾患に対するアクアセラピー」	田園スイミングスクール (神奈川県川崎市)	2017 年 8 月 11 日	講師：長嶺敦司
第 10 回ハートライフ病院公開市民講座これならできる 「変形性膝関節症予防」	ハートライフ病院	2017 年 8 月 26 日	講師：長嶺敦司
中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第 2 回勉強会 「新しい血糖測定器リブレを用いた糖尿病チーム医療の実際」	中部医師会	2017 年 9 月 13 日	講師：長嶺敦司
「体脂肪を減らすための運動」	西原町上原公民館	2017 年 9 月 19 日	講師：長嶺敦司
第 15 回認定更新者用講習会 「ケーススタディ 2 運動療法の進め方」	あめくふれあいセンター	2017 年 12 月 3 日	講師：長嶺敦司
医療法人おもと会沖繩リハビリテーション福祉学院 「糖尿病の運動療法」	沖繩リハビリテーション福祉学院 (与那原町)	2017 年 12 月 12,14,19,21 日	講師：長嶺敦司
更新必修講座 更新必修講座 沖繩 会場	健康文化村 健康文化村 カルチャーリゾート	2018 年 1 月 28 日	司会：長嶺敦司
平成 29 年度沖繩県職場の健康力事業 「リューザバンドを使用して出来る簡単！健康体操」	リウコン株式会社	2018 年 2 月 3 日	講師：長嶺敦司
出前講座「変形性膝関節症予防について」	西原町上原公民館	2018 年 3 月 16 日	講師：長嶺敦司

広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
リューザバンドでいつでも!どこでも!ヘアゴムエクササイズ! Part ①「お尻の横側の体操、おしりの体操」	No.89 春号	長嶺敦司
リューザバンドでいつでも!どこでも!ヘアゴムエクササイズ! Part ②「ももの前の体操、股関節の体操」	No.90 夏号	長嶺敦司
リューザバンドでいつでも!どこでも!ヘアゴムエクササイズ! Part ③「おしりの筋肉の強化」	No.91 秋号	長嶺敦司
リューザバンドでいつでも!どこでも!ヘアゴムエクササイズ! Part ④「A&W、もも横こすり」	No.92 新年号	長嶺敦司

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 新垣 優子

部門紹介

ヘルシーカフェ ohana (オハナ) は、ハートライフクリニックに来院される方や、生活習慣病が気になる方へお食事を提供しています。

カロリー計算されたモーニングセット・ランチや日替わり弁当、お客様の要望に合わせたオードブルやスイーツの予約注文も承っています。今年度から日替わり弁当に、ご飯少なめ野菜多めの弁当(主食玄米)が販売され、女性の方や活動量の少ない方に支持されています。また、ハートライフ病院 産婦人科で出産された方へお祝い膳と特別コース料理、医局の当直弁当、院内講演会の軽食、小児デイケア(職員の子供対応)の幼児食なども利用していただいています。また、外来受診者の食事は、刻み食の対応もしています(要予約)。今年度も衛生面に配慮し、お客様の食事サポートを行います。



ご飯少なめ食物繊維まじり弁当



新メニューのもずく丼



月替わりヘルシーランチ

職員数

総数 5 名

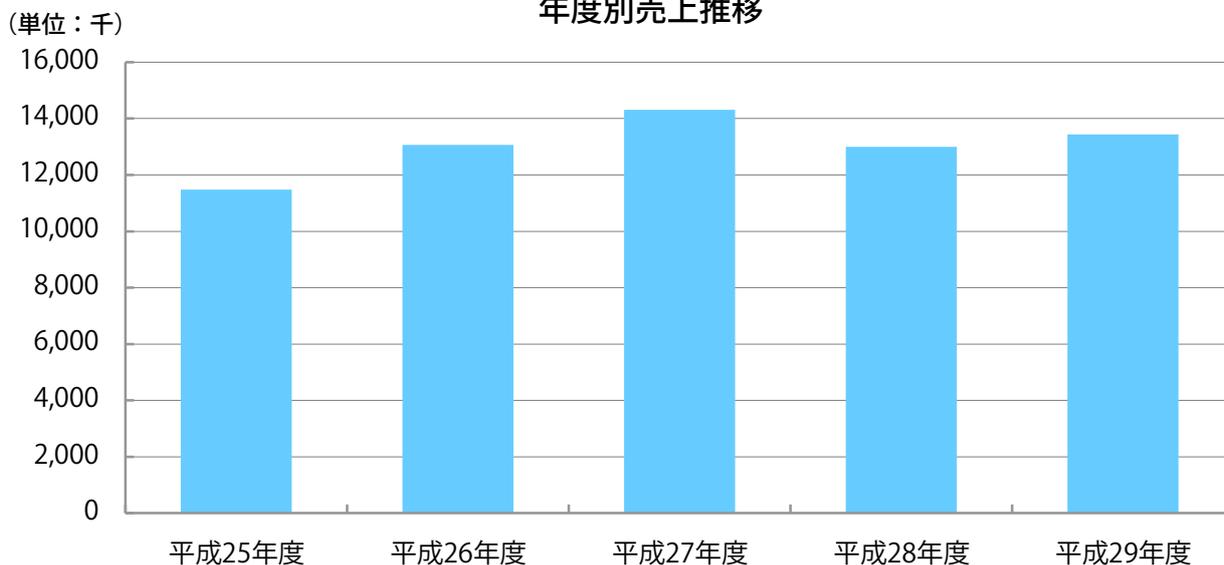
調理師 1 名

フロア(配膳) 1 名

調理補助 3 名

業務実績

年度別売上推移



ハートライフ地域包括ケアセンター 平成 29 年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2017



理念

わたしたちは、心と心を結ぶ信頼される、医療と介護をめざします

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。



年報発刊によせての挨拶



当ケアセンターは平成 29 年 7 月に 2 周年を迎えました。特徴としては同法人の病院と隣接していることの影響からか、医療必要度や介護度（H30.3 月現在、平均 3.3）の高い入居者が多くいらっしゃいます。また、看取りやターミナルケア目的の入居者受け入れも行っているため、死亡退去等で月に 3～4 名の入居者数の変動もあり、平成 30 年 3 月末入居者数は、78 名と目標に到達していません。

平成 29 年度の新規入居者は 3 月末で 35 名、死亡退去者が 23 名で内ホームでの看取りは 9 名でした。当センター利用者の平均介護度は 3.3（3 月末時点）で、認知症高齢者の割合も多く、かなりのマンパワーを必要とする状況があります。そのような厳しい状況の中でも利用者に対して真摯に向き合い良いサービスを提供しているスタッフの皆様に対して、センター長として感謝の念に堪えません。

経営的な課題と、より良い職場風土醸成に向け、当センターが喫緊で解決すべき課題は大きく以下の 2 点です。

- ①離職率低減（平成 28 年度実績 53.1%）
- ②マンパワー不足による入居者受け入れ制限の解除

マンパワー不足の中での入居者受け入れは、スタッフを疲弊させる要因となり、『高い離職率』～『入居者制限』と負の連鎖を痛感せざるをえませんでした。そんな中でも現スタッフは「入居者やご家族様を笑顔にするために」親切丁寧な対応を心掛けて日々のケアを行っており、『良いスタッフに恵まれている』と自負するところでございます。人財確保は重要課題です。「今頑張っているスタッフを辞めさせない事」、まずは離職率低減に努める事が優先となります。そこで昨年より管理者研修の受講奨励や介護職の処遇改善を実施してまいりました。その効果もあり、平成 30 年 3 月末時点では離職率が 31%まで改善しています。介護業界の近況では、人手不足の為小規模事業所は閉所を余儀なくされているという情報を聞き、脅威と機会が混同する心境にあります。

平成 30 年度の介護報酬改定では、当センターのような大規模施設は減算等々によるマイナスとなる事が予測されており、限られた人財で生産性向上を図っていくことが求められます。各事業所は、目標達成のため取り組んで参ります。当センターの入居をご希望されるほとんどの方から、『病院が隣接している』ことと『看護師が 24 時間配置されている』ことに対して、「とても安心感があります」というお言葉をいただきます。また入職して下さった職員からは、入職先を決めるにあたり『かりゆし会・ハートライフ病院』のネームバリューも影響したという言葉を聞き、「かりゆし会」の職員として誇りに思うと同時に、襟を正す良い機会となっています。当センターは『社会医療法人かりゆし会』の中の組織であり、今後もハートライフ病院、ハートライフクリニックと密接に連携していく必要性を強く感じます。今後はかりゆし会全体はもちろん、当センターも地域包括ケアシステムの中で自らが果たすべき役割を果たしながら、地域社会の皆様から『ハートライフに介護部門があって良かった』と感じていただけるように、職員一同努力して参りたいと思います。今後とも関係者各位の皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフ地域包括ケアセンター
センター長 宮平 典子

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5 事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. ヘルパーステーションはーとらいふ
4. 訪問看護ステーションはーとらいふ
5. ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒 903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

管理者一覧

理 事 長	安里 哲好
セ ン タ ー 長	宮平 典子
事 務 長	仲地 智俊
副センター長	比嘉 藤子

職員数

総数

67名

内訳

センター長	1名
事務長（法人事務局部長）	1名
副センター長（施設長兼）	1名
事務職員	1名

●有料老人ホーム

看護師 8名（うち1名施設長兼務）
 介護職員 24名
 相談員 1名

●デイサービス

看護師 2名
 介護職員 19名
 柔道整復師 2名

●訪問看護

看護師 4名

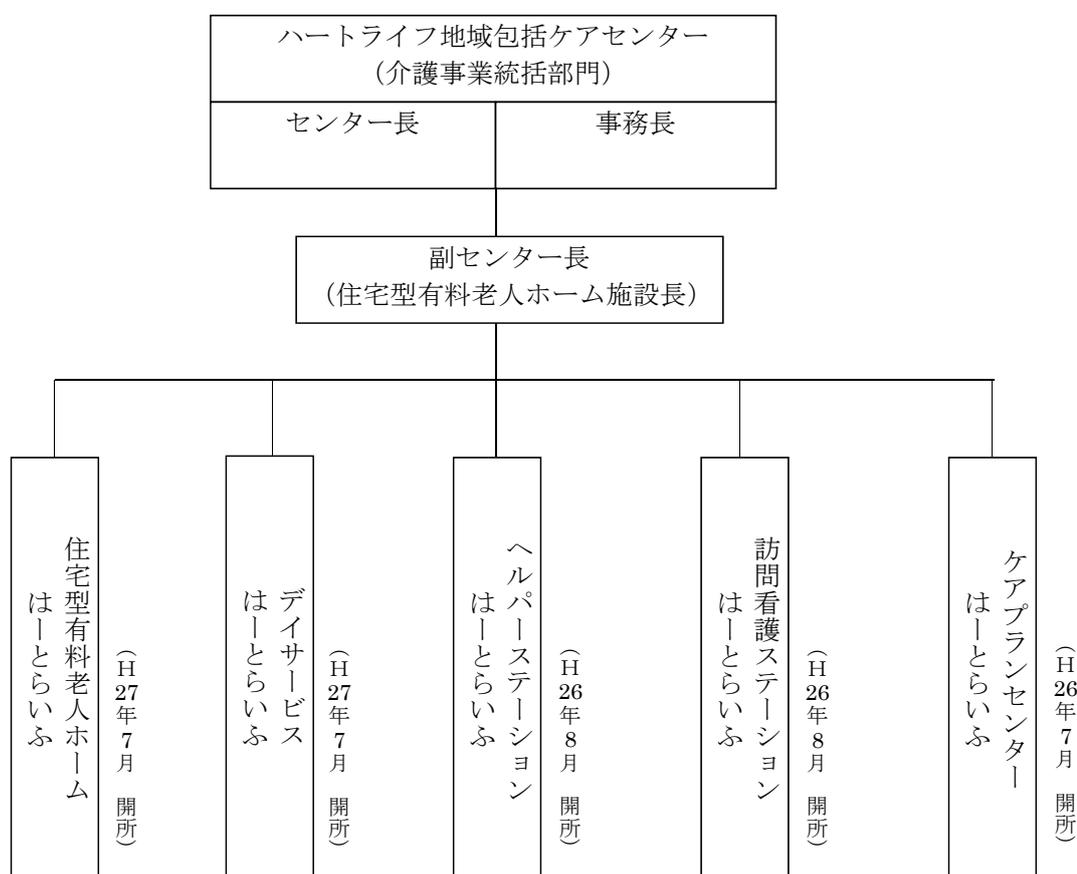
●訪問介護

介護職員 3名

●ケアプランセンター

ケアマネージャー 3名

組織図



平成 29 年度 利用者実績

住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	3	1	3	2	3	7	4	1	1	2	4	4	35	2.9
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末入居者数	74	73	71	71	69	75	79	77	77	75	78	74	893	74.4
退去者数	2	2	5	2	5	1	0	3	1	4	1	8	34	2.8
内：死亡者数	2 (2)	1 (1)	4 (2)	0 (2)	4 (3)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	6 (3)	23(16)	1.9
看取者数	0	0	3	0	1	1	0	1	0	1	0	3	10	0.8
入院者数	10	11	12	17	23	13	8	7	9	9	11	10	140	11.7
訪問診療利用者数	21	21	22	19	20	19	20	20	19	20	20	20	241	20.1
平均介護度	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.4	3.4

※死亡者数の () は入院先で亡くなった方。

デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	1	3	2	3	7	4	1	1	1	3	4	33	2.8
利用実人数	74	73	72	69	71	72	77	78	75	75	76	78	890	74.2
利用延べ人数	1,420	1,491	1,408	1,357	1,290	1,389	1,473	1,541	1,479	1,352	1,297	1,423	16,920	1410.0
一日平均数	57	55	54	52	48	53	57	59	57	56	54	53	54.6	54.6
平均介護度	3.5	3.5	3.6	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4

ヘルパーステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	0	2	3	1	1	2	3	1	5	0	3	24	2.0
利用実人数	26	27	26	26	28	25	26	28	27	39	26	28	332	27.7
延べ人数	459	461	473	449	359	350	398	371	360	384	296	329	4,689	390.8
一日平均数	15	15	16	14	12	12	13	12	12	12	11	11	12.9	12.9
平均介護度	4.1	4	4	4	3.8	3.9	3.9	3.8	3.7	3.4	3.7	3.7	3.8	3.8

訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	1	2	5	1	3	1	7	0	0	1	5	1	27	2.3
利用実人数	34	35	39	34	35	33	39	37	33	33	34	35	421	35.1
延べ人数	165	233	223	258	227	171	205	228	189	220	191	200	2,510	209.2
一日平均数	6	8	7	8	7	6	7	8	6	7	7	6	6.9	6.9
平均介護度	3.8	3.5	3.8	3.4	4	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.6	3.8	3.7	3.7

ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	4	3	2	2	7	6	5	2	5	2	3	44	3.7
利用実人数	60	62	66	67	67	71	75	81	79	82	85	89	884	73.7

はーとらいふ保育園 平成 29 年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2017



理念

私たちは心と心をつなぐ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な
心身共にすこやかな成長を保育方針とします

保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子

年報発刊によせての挨拶



平成 29 年新たに保育園が設立され、全園児数 17 名からのスタートの中、「小規模ならではの保育の充実をどのようにしていくか」保育士同士の保育観を話し合う場や、職員同士の信頼関係は勿論の事、園児・保護者との信頼関係の絆を第一に意識していこうと一丸となり取り組んできました。保育遊具を揃えていく中で、環境設定を玩具が少ないという事に捕らわれず、生活の中には子どもからの発見が多くある事や、一日一日が子どもにとって特別という生活工夫に努めてきました。2～4 歳児までの異年齢保育にあたり、園の特色の 1 つとして「園外保育」を取り入れ地域の方々とお散歩を通して交流が生まれましたが、3 歳児以降の発達という観点から、集団の学びへの保障は小規模保育での難しさが懸念されました。(次年度は、2 歳児迄の受入れを予定しています)

行事の在り方としては、未満児という事を踏まえた行事という事で、日頃の保育発表の場、親子で楽しめる場という狙いの下、させる保育ではなく子どもの成長に応じた行事は保護者からも大きな反響を頂きました。行事を増やして欲しいとのご意見もありましたが、私たち保育士が「毎日が保育園は行事・子どもにとって毎日が特別」という視点の保育は理解して頂いたのではないのでしょうか。引き続き楽しい保育の充実と行事の在り方を保護者への利便性のみならず、子どもにとっての保育を見失わぬよう園独自の運営を手掛けていきたいと考えます。そのためには、保育士の専門性の向上へ繋がる研修の提供と職員会の充実に力を入れる必要性があります。

今年度、園児数に応じての保育士確保がうまくいかず、保育士中途採用が厳しい現状がありました。又、保育士の病休が多くあり、規定に基づいての日々の保育士人数配置に他の部署からの応援をして頂いた事もありました。利用者園児数増加を目指していく上で、平行して保育士確保が大きな課題です。育士ユニフォームやエプロンを統一した事は、はーとらいふ保育園が保育士にとって働きやすくなり甲斐が感じられる環境作りの取り組みの一つです。身が引き締まり保育への意識と姿勢・衛生面への配慮に繋がりました。

開園して 1 年目、感染症が多く発生した時期はありましたが、ハートライフ病院の感染対策室との連携により対策を強化することで保育士の意識改革にも繋がりました。園児の大きな事故やケガが無かった事は、職員一同安堵しています。次年度もかりゆし会職員のお子さまにとって安全で安心な保育提供は勿論の事、仕事と子育ての両立のサポートに尽力致します。

社会医療法人かりゆし会
はーとらいふ保育園
園長 宮城 和香子

施設概要

組織概要

施設名

はーとらいふ保育園

所在地

〒 901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

管理者一覧

理事長 安里 哲好

園長 宮城 和香子

職員数

総数

職種別

園長 1 名

事務主任（連携推進担当） 1 名

保育士 8 名

保育補助 2 名

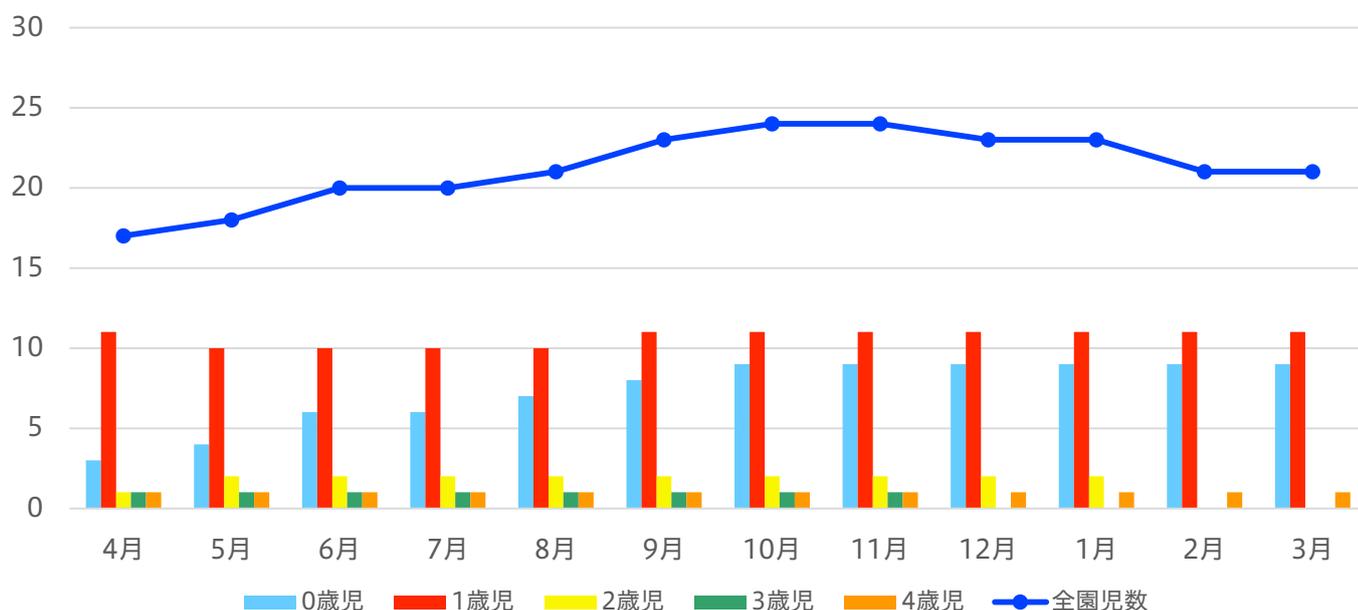
保育士配置基準	定員
0 歳児	9 名
1 歳児	11 名
2・3・4 歳児	10 名

保育料金	
0 歳児	24,300 円
1・2 歳児	24,200 円
3 歳児	19,500 円
4 歳児	16,600 円

※兄弟割引：二人目（双子以上を含む）

延長保育
時間：18 時 31 分～19 時 30 分
※ 1 回あたり 200 円頂戴します

園児在籍数



※月初め人数 (1日付け)

行事・活動

はーとらいふ保育園平成 29 年度行事	
4月	入園式
5月	警察官と一緒に・歯科健診
6月	内科健診
7月	七夕・水あそび
8月	水あそび・プール
9月	ハートライフ包括ケアセンター敬老会参加
10月	うどんあそび
11月	第1回 親子運動会・歯科・内科健診
12月	クリスマス会・ハートライフ包括ケアセンター交流会
1月	正月あそび
2月	節分豆まき・総合避難訓練
3月	ひな祭り・大きくなったよ (ミニ卒園会)
毎月行事	誕生会・避難訓練・個人面談

研修・勉強会実施報告

名称	日時	参加者
感染予防研修	2017年4月13日	全職員参加
平成29年度事業所内保育施設事例発表会	2017年6月15日	宮城和香子、花城紀子
もっと知りたい食物アレルギー	2017年6月26日	金城麻紀・宮城和香子
心肺蘇生法講習	2017年9月27日	翁長ゆりや・花城紀子・砂川智美・太田尚子・金城麻紀・樺山愛・西原日出美
インフルエンザ 感染管理専門士講座	2017年9月30日	宮城和香子・太田尚子
子育て支援研修受講 地域保育コース	2017年10月28日・29日	西原 日出美
マルトリートメント (不適切な養育) や DV により傷つく脳と回復へのアプローチ講習	2017年11月20日	宮城和香子
認可外保育施設職員研修	2017年11月26日	砂川智美・金城麻紀
子育て支援研修受講 地域保育コース	2018年1月6日～8日	西原 日出美
子育て支援研修受講 地域保育コース	2018年1月13日	西原 日出美

次年度の計画・方針

1. 対象年齢：0 歳児（生後 6 ヶ月）から 2 歳児
産休育休明けの対象者が多くいる事や、3 歳児からの集団への学び、成長過程を踏まえた上での未満児の保育の充実に努める
2. 保育料金
0 歳児（25,100 円） 1 歳児（25,000 円） 2 歳児（25,000 円）
行事費などの徴収分を保育料にまとめたものとする
3. 保育時間
開園：7 時 15 分～ 18 時 15 分 延長保育：18 時 16 分～ 19 時 15 分
保護者の方の勤怠に応じての保育時間とする
4. 園児定員数
0 歳児（9 名） 1 歳児（13 名） 2 歳児（8 名）
進級園児の兼ね合いから、保育室基準に準ずる
5. 0 歳児から 2 歳児の発達を踏まえた行事への見直し
5 月頃、懇談会（今年度の保育方針・交流会） 親子お散歩実施
6. 園庭整備
大型遊具、畑（食育）

かりゆし会の1年

写真で振り返る かりゆし会の1年

平成29年4月1日～平成30年3月31日



ハートライフ

ME機器管理システム操作説明会
講師：心療内科菅野善一郎 先生
認知症勉強会「睡眠薬のリスクマネジメント」
骨盤ケア教室（職員対象プレクラス）

平成29年度科別実績報告会（2日目）
平成29年度科別実績報告会（1日目）

5月

院内合同慰霊祭
講師：泌尿器科喜久山明 先生
講演会「病棟における尿路管理とチーム医療」
新入職者歓迎会

新入職員オリエンテーション（2日目）

はーとらいふ保育園入園式

はーとらいふ保育園開所式・内覧会

平成29年度入職式・新入職員オリエンテーション（1日目）

平成29年

4月

6月

5つのタイミング」講師：普天間光彦 先生
院内感染対策講演会「標準予防策と手指衛生の
新入職員歓迎 沖縄本島縦断伝大会
講師：和田仁孝先生 早稲田大学法科大学院教授
医療メデイエーション研修会
EVE Medical Code 機能・操作説明会
ハートライフ保育園防犯講習会

入職式



はーとらいふ保育園開所式



全島縦断





病院東館竣工式



新入職員歓迎ビアフェスタ



地域医療連携懇談会

7月

9月

講師 片淵秀隆
先生 熊本大学大学院 産婦人科学教授
「他科から紹介される産婦人科疾患」
産婦人科病棟増築記念 地域医療講演会

ハートライフ病院開院29周年
中部合同カンファレンス
新入職員歓迎ビアフェスタ
東館竣工式・祝賀会・内覧会

8月

医療安全講演会「医療事故調査制度の現状について」
講師・松本武浩 先生（長崎大学病院 医療情報部部長）
特別講演「DPCと地域完結型医療時代のクリティカルパス」
第4回クリニカルパス大会
院内緩和ケア研修会
平成29年度職員卓球大会 主催・健康増進委員会
院内献血

地域医療連携懇談会
講師：大久保寛司 先生（人と経営研究所 所長）
役職者研修会「大久保寛司の人が輝く職場の実現」
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 嘉数 智子
予防の実践へ共に広げよう地域連携の輪へ」
第1回地域連携セミナー「スキンケアと

新駅伝大会



卓球大会



科別実績報告会





はーとらいふ保育園 運動会



院内研究発表会 本選



ハートライフ病院立

患者満足度調査
 講師：倉都滋之先生 ヘルランド総合病院副院長・整形外科部長
 講演会「転移性骨腫瘍の診断と治療の実際」
 ランチョンセミナー「がん検診のすゝめ」
 講師：作業療法士 宮城 奈津希
 「当院におけるがんリハビリの現状」
 講師：薬剤師 上地 美和
 緩和ケア勉強会「緩和ケアにおけるステロイドの使用方法」

11月

「在宅医療について」MSW 川満 慎吾
 「がん患者の栄養管理」講師：栄養士 高屋 美希
 緩和ケア勉強会
 かりゆし会大忘年会 エリスリーナ西原ヒルズガーデン

10月

院内研究発表会 本選
 講師：山本沙織 先生(中頭病院がん薬物療法認定薬剤師)
 「当院のがん化学療法における認定薬剤師の役割」
 講師：平良智 先生(中頭病院がん薬物療法認定薬剤師)
 化学療法勉強会「がん薬物療法に伴う副作用当院における支持療法」
 講師：鈴木教久 先生(大阪医療センターDMAT事務局災害医療技術員)
 「災害時に力になれる医療者になる」
 講師：若井聡智 先生(大阪医療センター救命救急センター医長)
 DMAT講演会「事態対処医療 TACMED(タクメド)の真髄」
 医療監視(中部保健所による立入検査)
 職員満足度調査
 講師：感染対策室 石川 由希
 感染対策講演会「職業感染(針刺し)」
 はーとらいふ保育園運動会

12月

DMAT講演会「事態対処医療 TACMED(タクメド)の真髄」



新春もちつき大会



消化器症





本駐車場建設地鎮祭



災害医療コーディネータ委嘱状交付



卒後臨床研修修了パーティー

講師：山本雅一先生 東京女子医科大学消化器病センター消化器外科教授
外科講演会「肝がん外科治療について」

御用納め納会

1月

平成30年

2月

講演会「運動器工コへのすゝめ」二日目
講師：皆川洋至先生 城東整形外科診療部長
災害医療コーディネータ委嘱状交付
第1回医療経営イノベーションセミナー

医療安全講演会「暴言暴力患者の対応」 講師：宜野湾警察署
講師：牧野憲一先生 旭川赤十字病院 病院長
「診療報酬2018を乗り切る急性期病院を作るために」
講師：井上貴裕先生 千葉大学医学部附属病院 副院長
「2025年を見据えた戦略的病院経営の実践」

「中医協議論を振り返って」
WEBセミナー「平成30年度診療報酬改定」
講師：高山義浩先生 沖縄県立中部病院 地域ケア科・感染症内科医長
講演会「急性期病院における地域医療構想と地域包括ケアシステム」
ハートライフ病院立体駐車場建設地鎮祭
循環器内科講演会
新春もちつき大会
仕事始め

3月

卒後臨床研修修了パーティー
卒後臨床研修終了式
平成29年度火災避難訓練
平成30年度診療報酬改定説明会
「カテーテルは感染の入り口」「排尿のメカニズム」
「排尿障害に対するリハビリテーションの取組み」
コンチネンスケア勉強会「排尿ケアの取組み」

症例研究会



火災避難訓練



卒後臨床研修修了式



平成29年度 20年勤続者

かりゆし会に入職して 20 年。仲間とともに地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りました。沖縄県医師会平成 29 年度永年勤続医療従事者表彰を受けた 11 名をご紹介します。



ハートライフ病院 5 階病棟 池村 智子

新卒でハートライフ病院に入職させて頂き、必死に仕事を覚え学び、医療・看護という仕事に夢中になって働いた 10 年。30 代からは結婚・出産と 4 人の子供に恵まれお休みを頂きながら 10 年。あっという間で、私にとっては永年勤続といわれてもピンとこないところが正直な思いですが、これから先は家庭のことと両立されながらのスタイルにはなりますが、自分なりの目的や目標に向け、少しでも足跡を残せるような仕事をしていきたいと思えます。



ハートライフ病院 管財課施設係 我謝 三男

20 年間という長い勤めをさせて頂くことができましたのも、施設係職員はじめ事務部・各部署スタッフの皆様の協力・支えがあったことだと思っております。皆様のおかげと心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



ハートライフ病院 管財課施設係 具志堅 徳明

職場の皆さんと家族の大きな支えのおかげで勤続 20 年を迎えることが出来ました。本当にありがとうございました。これからも自分の持ち場で少しでも職場の力になれるよう努力していきたいと思えます。これからも宜しくお願い致します。



ハートライフ病院 麻酔科 久場 良也

光陰矢の如し、ミレニアムの大騒ぎから 17 年、ハートライフ病院に来て 20 年が過ぎ、気がつけばアラセブンに向かおうとしています。無事に 20 年を過ごせたのは職員の皆様のおかげだと感謝しています。この間、地球温暖化や少子高齢化は益々進み、生活環境は大きく変化しました。医療の問題では疾病や患者層の変化、医療安全の問題が浮かび上がってきました。職員の皆様と共にこの難局に対処していきますので、よろしくお祈りします。



ハートライフ病院 透析室 瀬底 真由美

平成 9 年に入職し気がつけば 20 年経ちました。色々なことを学ばせて頂き、感謝しています。20 年間頑張ってきたのもスタッフ・家族の支えがあってこそです。これからもハートライフ病院の一員としてより一層努力していきます。みなさんこれからもよろしくお願い致します。



ハートライフ病院 7階病棟 当真 さゆり

勤続 20 年の表彰を頂きました。20 年間勤めることができたのも、支えて下さった同僚の皆様のおかげだと心より感謝しています。

これからも患者さんの心の支えとなるよう精進を重ねて行きたいと思います。先輩や同僚、後輩に恵まれ支えられてここまでこれました。改めて心より感謝しております。



ハートライフ病院 東4・5階病棟 成田 明日香

これまで多くの方に支えられ勤続 20 年を迎える事ができ感謝の気持ちで一杯です。これからも感謝の気持ちを忘れず良い看護を提供できるよう頑張っていきたいと思います。



ハートライフ病院 臨床工学科 野原 剛

平成 9 年に入職し気がつけば 20 年が経過しました。忍耐強くない私が勤続 20 年とは稀有なことです。何より諸先輩方同僚のご指導ご鞭撻により現在があると考えております。今後も病院のために微力ながら尽力させていただき所存です。



ハートライフ病院 手術室・中央材料室 比嘉 憲貴

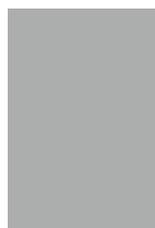
永年勤続表彰ありがとうございます。

職員の皆様のご支援、ご協力のお陰で頑張ってくることができました。これからも患者さんや病院のために、自らの役割を果たせるよう精進して参りたいと思います。



ハートライフ病院 東4・5階病棟 本村 いずみ

就職して結婚、出産といろんな事を経験し周りのスタッフや環境に恵まれあっという間に 20 年が経ちました。感謝でいっぱいです。これからも笑顔で頑張ります。



ハートライフ病院 臨床検査科 与那嶺 なり子

20 年ハートライフ病院で勤務できたことにとても感謝しています。

仕事を通して多くの方々と接することができ、またその中での経験はとても貴重で今後にも役立てていきたいと思っています。

サークル活動

サークル名	平成 29 年度の主な活動
アウトドアサークル	【4月】 県総合運動公園キャンプ 【5月】 中部キャンプ 【7月】 北部キャンプ 国頭村山岳河川トレッキング 【9月】 北部キャンプ 【11月】 北部山岳トレッキング (塩屋富士) 県総合運動公園キャンプ 【1月】 トレッキング
エクササイズサークル	美里工業高校合同練習 琉球大学との合同練習 そのほか月に複数回の練習
ゴルフ同好会	【8月】 沖縄県企業対抗ゴルフ キセゴルフ 【11月】 オーシャンキャッスル 【12月】 ジ・アッタテラス 【2月】 ジ・アッタテラス
三味線サークル	【4月】 保育園開所式での演奏 毎週複数回の練習
テニス	【11月】 第 63 回病院対抗テニス大会参加 【3月】 第 64 回病院対抗テニス大会参加 月複数回の練習
釣りサークル	【7月】 沖釣り 泡瀬沖深海釣り 【1月】 沖釣り 津堅島沖 【3月】 沖釣り 泡瀬沖・流し釣り 磯釣り(与那原マリンタウン、若狭海岸、BG 一文字)

サークル名	平成 29 年度の主な活動
バスケットサークル	【10月】 病院交流大会参加 そのほか月に複数回の練習
バレーボールサークル	毎月複数回の練習
フットサルサークル	【7月】 第 12 回病院対抗フットサル大会参加 そのほか月に複数回の練習
ボーリングサークル	【毎月 1 回の活動】 マチナトボール
マリンスポーツサークル	【4月】 シュノーケリング 【7月】 ボートダイビング 【8月】 ビーチダイビング ビーチダイビング 【9月】 SUP 【10月】 ボートダイビング

同好会

剣道	稽古日 / 毎週月曜日 19 時半～ 20 時半 (西原体育館剣道場)
----	-------------------------------------

第24回 院内研究発表会

生まれ変わるハートライフ病院 ～増築に向けた新たな挑戦～

去る11月17日(金)に「第24回院内研究発表会」が行われ、各部門から予選を勝ち抜いた計12題で本選が行われました。今年は事務部門の運営で開催され、審査員として普天間医局長、宮平看護部長、仲地法人事務部長、仲座医療技術部副部長にご参加頂きました。

3時間弱の発表、質疑が行われ見事入賞を果たした参加者は以下の通りです。



1位



1位 予防医学センター 大城 幸美
「増改築に見る予防医学センターの今後について」



2位*



2位* 手術室 東恩納 小百合
「安全かつ効率的な手術室運営を目的とした患者入退室方法の見直し」



2位*



2位* 財務・経理課 大山 朝史
「業務の効率化に向けた取組みについて」

※同点のため同率 2 位



編集後記

今年度も職員の皆さんの一年間の頑張りが一杯つまった年報が完成しました。定期的に集まり準備をしてくださった年報委員の皆様にご心より感謝申し上げます。特に広報の知念さんと仲田さんの献身的な努力のおかげで完成することができました。年報を読むとハートライフ病院が年々診療内容において充実してきていること、医療の質がレベルアップしていることを感じます。これもひとえに職員の一人ひとりが毎日の診療の現場で患者さんに対して全力投球している積み重ねだと思えます。職員の皆様にご心よりお礼申し上げます。

10年後も地域の中核病院として輝ける体制づくりが始まっています。平成30年度も皆でスクラムを組んで頑張らしましょう。

年報作成委員長 奥 島 憲 彦

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	奥 島 憲 彦 (ハートライフ病院院長)
副委員長	嘉 川 春 生 (泌尿器科部長)
委 員	菅 野 善 一 郎 (心療内科医長)
	仲 座 義 富 (医療技術部副部長)
	仲 地 ますみ (看護副部長)
	斎 藤 辰 好 (臨床検査科技師長)
	當 銘 秀 之 (事務部長)
	大 城 真 澄 (メディカルクラーク 主任)
	仲 松 泉 (メディカルクラーク)
	大 城 克 枝 (診療情報管理室)
	宮 城 映 子 (総務課図書係)
	新 垣 優 子 (ヘルシーカフェ ohana 主任)
	石 新 紘 也 (ハートライフ地域包括ケアセンター主任)
企画調整	知 念 政 治 (企画室広報係副主任)
編 集	仲 田 尚 正 (企画室広報係)

社会医療法人かりゆし会 平成 29 年度年報
第 24 巻 平成 30 年 11 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>